

ISSN 2189-2849

広島大学

日本語史研究論集

第二号

| | | |
|---|-----------------|-----|
| 平安時代の天台宗山門派と天台宗寺門派 — 寺門派の学問的愛デンツァイテイとは …………… | 松本 光隆 …… | 1 |
| 源氏物語における複合動詞「思ひ知る」の意味用法 …………… | 岡野 幸夫 …… | 11 |
| 六国史に於ける「請」の用法 …………… | 李 玉婷 …… | 20 |
| 東寺観智院蔵注好選漢字索引 …………… | 磯貝 淳一 …… | 30 |
| 金澤文庫本群書治要訓点用語集稿（二） …… | 李 玉婷・王 暄・孫 瑾 …… | 147 |
| 身延山久遠寺蔵本朝文粹訓点データ集稿（二） …………… 王暄 高田哲治 陳翰柯 戴玉潔 孫瑾 陳博林 孟津卉 張璐 王帥予 …………… | | 247 |

2016年3月

論
考
篇

平安時代の天台宗山門派と天台宗寺門派

松本光隆

―寺門派の学問的アイデンティティとは―

はじめに

ここに、さほどの紙数ではないが、先行研究の多いのを承知で記してみようとするのは、日本史学や宗教史学の分野においては、実に良く知られた平安時代中頃以降の天台宗山門派と天台宗寺門派との政治的抗争、武力衝突にまで及んだ歴史を取り上げようとしているからであって、稿者自身は、研究としては実に低いレベルの意味しか持たないと判断している。にも関わらず、稿者があえてページを裂こうとする意図は、旧稿の最後に「おわりに」として記した、

○以上、院政期の西墓点資料を取り上げ、声点の加減状況を帰納整理し、
1、西墓点資料の特徴とされる声点「△」は、平安中期末から平安後期の初頭に、慶祚が使用を始めたもので、以降、三井寺を中心とする天台宗寺門派に伝えられたものである。

2、院政期の西墓点資料で、声点「△」を使わない資料が存するが、この資料の伝来を、奥書また資料の成立事情等を示す書入を観察すると、天台宗も山門派において伝えられた西墓点資料であることが、当時の実情であった可能性が浮かび上がった。

の結論を得た。取り上げた資料の絶対量が、決して多くはなく、右の

結論の妥当性を保証するものではないかも知れないが、院政期西墓点資料の本奥書からは、山上を追われた慶祚が、恐らく三井寺を中心に、長保年間前後に、盛んに伝授を行っていた実態が知られる。更に想像を逞しくして、声点「△」の使用が慶祚に始まるとするならば、山上に対する寺門派のアイデンティティの誇示であった様にも読み取ることも可能ではあるまいか。

旧稿においては、濁音を示す「△」声点の発明者が、天台宗寺門派の慶祚であったろうと推測して、その発明は、複層的な理由であると捉えるべきであることは当然の歴史解釈の有り様であろうが、天台宗両派の動向を記述してみれば、寺門派慶祚の自派の学問的アイデンティティを主張する所に、「△」声点成立の機縁が濃いように思われると認めなければならない。「想像を逞しくして記した、寺門派のアイデンティティの誇示とは何を言うのか」との疑問が投げかけられたのを受けての起筆である。

今一つには、天台宗寺門派関係資料のみならず、南都に関わる資料にも「△」声点が現れているのであって、この理由も、この天台宗山門派と寺門派の確執に関連する言語伝播の結果であろうと考え記しておきたいと判断したからである。

一、平安時代中期における天台宗山門派と天台宗寺門派の抗争の発端

平安時代中期十世紀に始まった天台宗山門派と天台宗寺門派の抗争の発端となるであろう感情的な対立を、更に教団初期に遡ってみれば、天台宗山門派が、最澄の弟子である第三代天台座主慈覚大師円仁（七九四～八六四）の系列の僧侶集団を指し、一方、天台宗寺門派は、遡って最澄の通訳として渡唐した義真（七八一～八三三）の弟子である第五代天台座主智証大師円珍（八一四～八九二）の弟子達の系列を指しての謂いである事に始まる。円仁と円珍が、共に初期天台宗において重きを置かれたのは、両者とも渡唐を果たし、最澄が十分には伝え得なかつた密教に關しての天台宗教団における不足を補い、将来品も多く、後の天台宗教団を支える評価を得た高僧であつたからである。両者は、入唐八家の一人で、その将来録を通覧すれば、両者が天台宗教団において重んぜられた一端を垣間見ることが出来る。

天台宗慈覚大師円仁の流を天台宗山門派と言い、智証大師円珍の流を寺門派と称するが、円仁、円珍の生きた時代から存在したことはあるまい。この両系統の僧侶集団間には、平安時代初期からも種々の確執があつて、義真の後、義真の弟子達は、比叡山上を追われるような確執を産み始めている。この義真の弟子たちが、円仁の弟子系統の山僧に追われた折にも、義真の弟子である円珍は山上より下らず、以後、十二年の籠山をしたと言われる。

かかる両派の対立は、天台教団初期にして既に芽吹いていると認めるべきであろう。

さて、時代を降つての平安中期の山門派寺門派両派の対立抗争は、寺門派の行誉（八九三～九七〇）の資で、同じく寺門派の觀音院僧正餘慶（九一九～九九一）に纏わる朝廷の判断に始まる。

この十世紀から十一世紀に懸けての天台両派の抗争として著名な抗争は、武力行使にまで及んだ山門派と寺門派との対立である。この対立は、天元四年（九八一）十一月二十九日に、寺門派の餘慶が法性寺座主に補せられた

事に始まる。この山門派・寺門派の対立は、特に、時代を降つての寺門派には深刻で、その深刻さは以後鎌倉時代にまで継続された。その問題とは後に説くが、戒壇問題である（以下、一々の記事の典拠を掲げる煩を厭い、節末に一括して、参考文献を掲げる）。

餘慶は、諡智弁。筑前早良の人。慕う資は多かつた様で、元亨釈書卷第十一の餘慶の記事末には、

○正暦二年（九九一）閏二月十八日化。年七十三。諡智弁。慶有四神足。觀修。勝算。慶祚。穆算也。

とある。後にも記すが、餘慶の資の神足四人は、天台宗両派の抗争に關わり、時代の波に翻弄された寺門派の四人である。

餘慶は、今昔物語集にも、靈驗を現した有驗の僧として説話が掲げられ、朝家の帰依は殊に厚かつた様である。

折しも、時代的に重なっている山門派には、第十八代天台座主となつた慈慧大師良源があつて、良源は、天台宗比叡山中興の祖であると評される、政治的にも力を持った山門派僧の存在した時代であつた。

餘慶は、天元二年（九九九）に、園城寺長吏に補任されて、天元四年（三年説アリ）五月に寺門派僧である餘慶について、法性寺座主への補任が朝議にかかり、十一月二十九日には法性寺座主への補任発令の運びとなる。これに対して、山門派の衆徒は反対し、法性寺座主は、山門派弁日が最初で、以後九代山門派の僧が務めて居ることを楯にした。十二月七日には、山門派の衆徒が、関白藤原頼忠邸に乱入して濫行を働ぎ、これに対して頼忠は、同九日、朝廷に被害届を出している。後に、頼忠邸乱入の張本人である比叡山の僧綱・大法師一六〇人には、公請停止の処罰が課せられた。十二月十五日、時の天台座主良源は餘慶の法性寺座主を改めるよう訴状を進上している。それに先立ち十二月十三日に餘慶は、法性寺座主の辞表を進つて、餘慶自身法性寺拝堂が叶わぬまま法性寺座主の任を解かれている。

この寺門派餘慶の法性寺座主への補任問題にまつわり、山門派と寺門派

との対立が激化して、比叡山上にあった餘慶自身は門人数百人を連れ北岩倉の観音院に、四神足の内、勝算は数十の門人と白河の修学院に、観修は門人三十余人と共に岩藏解脱寺へ、穆算も門人と共に北白河一乗寺へと比叡山を逃れた。

餘慶四神足の内、慶祚は、寺門派百余人と共に比叡山上に残り、智証大師円珍関係の古蹟である円珍の住房であった山王院や千手院経蔵を護らんとした。朝廷も、円珍関係の将来品等の散佚焼亡を案じたらしく、比叡山上の住僧に対し、天元五年（九八二）正月九日勅使を延暦寺に遣わして、翌十日三綱に対して千手院経蔵守護の勅命を下している。背景には、この時の天台座主良源が、千手院経蔵、観音院、一乗寺を焼き払い、餘慶や穆算など五人の殺害を企てているとの風聞が有ったらしく、良源は、奏状を献じてこの噂を否定している。

こうした中、依然として、朝廷の餘慶に対する信認は厚く、小右記天元五年三月二十一日条などには、餘慶の仁寿殿における不動法勤修の記事などが認められる。

このような朝廷の帰依は、永祚元年（九八七）九月二十九日の餘慶の天台座主補任へと繋がって行く。朝廷の宣命使源能遠は、同日、宣命を携えて比叡山に登ろうとしたが、道半ばにして、法師数百人に遮られ延暦寺へ至ることができなかつた。十月一日に、能遠は再び坂本側から比叡山に登ろうとしたが、坂本にて山門派の衆徒に、携えた宣命を破り捨てられる事態が起こつた。

山門派の衆徒は、餘慶の天台座主補任に抗して、寺門派の天台座主補任であるならば講堂を開けぬとして、門戸を固く閉ざしてしまつた。

十月二日には、坂本にて宣命を破り捨てた山門派の僧数十人が罰せられる。同四日には、藤原時方が検非違使を伴い登山して宣命を読み上げた。

同月二十九日になって、かかる騒動に対する宣命が下され、右大弁藤原在国が宣命を帯して前唐院（慈覚大師の塔）にて山門派衆徒の暴虐を訴えた。

同年十二月二十七日（資料により日付の齟齬あり）に至り、餘慶は天台座主の辞表を上つて任を罷免された。餘慶の天台座主は、実に三ヶ月間の事であつた。餘慶は、正暦二年（九九一）閏二月十八日に七十三歳にて遷化する。

二、慶祚、比叡山から園城寺へ

餘慶下山の折、比叡山上より降らず、智証大師の古蹟を護持して比叡山に残っていたのは、餘慶の四神足の内、慶祚のみであつた。慶祚は、大外記中原師元の息で、園城寺に龍雲房を営み、龍雲房大阿闍梨と言われた。顕密を良くして、衆生の化度を自らの任としていたと言う。寛仁三年（一〇一九）十二月二十二日、寿六十五にて示寂した。

さて、慶祚がまだ比叡山上にあつた、正暦四年（九九三）七月より兩派の抗争に再び火が付く。

七月二十八日、慈覚大師円仁ゆかりの赤山禅院で事件が出来する。赤山禅院は、慈覚大師入唐求法の際、赤山法華院に拝登して、帰朝後に赤山明神を勧請して、鎮護国家興隆天台の祈りを込めて建立した比叡山の塔頭で、慈覚大師入唐求法の際の笠、杖や衣、笏を納めた山門派の靈跡であつた。その赤山禅院に、勝算の資であつた成算が、人を遣わして、乱行に及んだ。赤山禅院住の人々に狼籍を働き、慈覚大師の笠と杖の行方が分からなくなつた。八月になつても、寺門派の観音院、修学院の兵士が赤山禅院を中心に近くを荒らし、赤山禅院を囲んで、赤山禅院住の人々に濫妨を働いたが、これに対して山門派の衆は、当時、園城寺長吏であつた勝算の責任を問うた。この寺門派僧の濫行に対して、山門派の宗徒は、八月八日（資料によって月日が異なる）に、智証大師の旧跡千手院や寺門派僧の住房を焼き払つた。寺門派僧達は、深更に及んで一千余人が、比叡山を下り、岩藏大雲寺に逃れたと言う。この寺門派衆徒のなかには、餘慶の四神足で、比叡山上に智証大師の古蹟を守つていた慶祚が含まれ、他に山本房阿闍梨賀延、修習房阿闍

梨忠増供奉、西方院源珠大僧正の四人（源珠の無い資料あり）が、衆徒を率いて下山し、大雲寺に入った。

時を措かずして、慶祚は、同年九月十五日には、大雲寺より園城寺に転じている。説話性の強さを考えておかねばならないが、元亨釈書卷第四には、

○祚率徒移大雲寺。不幾又遷園城寺。園城寺雖智證興建徒衆尚寡。及

祚之來學者四方■至。三井之道此時爲熾徒屬益繁。

とあつて、慶祚の園城寺移住によつて、衰退気味であつた園城寺に人が溢れ、寺門派の学も盛んになつたように思われる。

さて、旧稿^②に「△」声点が、慶祚に始まり寺門派に受け継がれたものであろうとして、それは、慶祚の寺門派としてのアイデンティティの発露だつたのではないかと述べたが、顕密に通じた園城寺の中心的な学僧であつてみれば、右に述べたような山門派との抗争の中、寺門派学の象徴的存在の一つとして、濁音に山門派や、真言宗諸流とは異なつた「△」を使用して、自らの流派の学的な自立性を示そうとしたと見ても、強ち、当て外れでもあるまい。こうした言語変化の一因として、山門派との歴史的な抗争のみが心理的な産物と認めて良いと思われるが、ただアイデンティティの発露のみが言語変化の要因であるとするには、些かの躊躇を覚える。天台宗内の政治的動態のみではなく、種々の疑問は残るのであつて、変化の実証的な要因の検討は、まだ多くが今後に残された課題であらう。

天台宗寺門派は、さほどに大きな言語集団ではない。血脈集や、灌頂脈譜の類において、山門派と寺門派とを比較しても、真言宗両流と天台宗寺門派とを比較しても、同時代の規模は、寺門派において小さい。ならば、それぞれが多様な個性を持つてあろう人間の数が決して多くはなかつた寺門派であるから、人間の距離は他宗派に比べれば緊密なものであつたらうと考えられるし、山門派に対する心情も寺門派において共有される事態であつたらうから、慶祚以後、「△」声点が、寺門派を席卷しても良いように

思われる。しかし、実状は、十一世紀以後の西墓点資料において、濁声点が、「△」ではなく別の形の符号で示されている資料は、少なくともない。例えば、比叡山上に残つたと思しき西墓点資料を十二世紀の伝授のために書写加點されたと推定される資料は、慶祚を経ていないと認められるので、当然と言えば当然であるが、「△」声点が見えない。また、十一、十二世紀の三井寺、その他、寺門派関係の寺院の名が、奥書に見える資料であつても、「△」声点を使用していない西墓点資料は、少なくともないのである。この事実一点を採つても、単純に山門派や他宗派に対する寺門派のアイデンティティの誇示だけでは解釈はつかないのである。

旧稿^③に引いた西墓点資料の中に、「△」声点を使わない平安後半期の資料を掲げた。重複するが、以下の資料である。

資料12 高山寺藏大聖妙吉祥菩薩說除災教令法輪寛治六年（二〇九二）

点本（重文第二部第256号）

資料13 東寺觀智院藏吉祥天法保延三年（一一三七）点本（第一三一

函第25号）

資料14 高山寺藏蘇磨呼童子請問經保延三年（一一三七）点本（重文

第一部第3号）

資料15 大金剛焰口降伏一切魔怨品保元元年（一一五六）点（重文第

一部54号）

資料16 大毗盧遮那広大成就儀軌（玄法寺儀軌）二卷（校倉第九函第

6号）

などには、「△」声点が現れない。旧稿では、出現しない理由の一つに、比叡山上に残つていた西墓点資料の影響ではなからうかと推定したが、その他にも、例えば、旧稿^④に取り上げた、

○随心院藏胎藏儀軌卷下（玄法寺儀軌）承暦二年（一〇七八）点〔資料9〕には、「△」声点が現れないばかりか、他の西墓点資料と学問的な深さが異なつて、この資料では漢字音の有気無気の区別を行っている。慶祚の訓点

に連なる「△」声点の現れる資料には、有気無気の別を区別しないから、西墓点資料群の中にも、慶祚以降、慶祚系ではなく異なった学系の寺門派が存したと認めざるをえない。即ち、平安後期以降の天台宗寺門派の学系も、多様であったと認めるべきで、一宗派が単一の学系に収まったものではなく、学問的な展開が複数、多様に展開したと見るべきであると考えられる。

つまり、智証大師円珍の流を汲む寺門派も、学的な拠点は、三井寺以外にも点在したとみるのが、穏当であろう。慶祚直系の流にはある程度の影響力を持つて「△」声点が伝えられたのかも知れないが、餘慶の四神足の内、勝算、観修、穆算は、三井寺長吏なども務めるが、それぞれの拠点における訓読、加點行為あるいは伝授がどのようなものであったのかの解明は、今後の課題であろう。

慶祚の顕密の学的な影響力が、寺門派の中に大きかったであろう事は、否定できないが、寺門派全体を席卷したものではない。慶祚から下る時代にも、西墓点資料には、「△」声点が使われない資料も多いし、十三世紀以後の資料中の「△」声点の出現は、極めて稀になるようである。

この天台宗寺門派における学的背景を背負って実現される訓読語も、決して、固定したものではなくて、「△」声点の現れる資料であっても、旧稿⁵⁾に取り上げた、

資料5 東寺観智院藏聖闍曼德迦怒王立成大神驗念誦法永久二年
(一一一四)点(第三〇函第98号)

資料6 東寺観智院藏甘露軍荼利菩薩供養念誦成就儀軌永久二年
(一一一四)点(第一三二函第9号)

資料7 東寺観智院金剛藏金剛頂瑜伽降三世成就極深密門永久二年
(一一一四)点(第三〇函第12号)

には、三種三色の訓点が現れる。全巻に亘る朱点と墨点の他に、茶色の点⁶⁾が加點されている。この茶色の点に対応する奥書をたどれば、この茶色の点⁶⁾が、慶祚の訓点を引用したものであると知れる。その茶色の点には「△」

声点が出現するのであるが、茶色の点は、非常に断片的で、朱墨の訓点の訓読に対する慶祚の異説をまばらに書入れたのみである。この状況から考えるに、院政期も永久二年の加點資料の訓読語の本体は、慶祚の訓読そのものの伝承であるとは考えられない。永久二年に訓読された訓読語は、恐らく慶祚よりも降って成立した訓読に従った訓点で、慶祚の訓点は、その永久二年に普通に行われていた訓読語に対して、寺門派の先徳である龍雲房大阿闍梨慶祚の訓読に敬意を払って、本体の主たる十二世紀の訓読法と異なるものを茶色の点で加點して、その異動が明確に成るよう配慮されたものであると認められる。即ち、慶祚以降、天台宗寺門派の漢文訓読語は、歴史的变化を遂げたもので、大積徳であると言うような理由によつて、慶祚没後の平安時代後半期に慶祚の訓読をそのまま伝承したのではなくて、自由に改変されて、新たな訓読が生成され続けたと見るべきであろうと考えられる。

このような実態を、実は、漢文訓読語史解析において十分に重視する必要がある。俗家の博士家では、特に、経書において平安後半期から次第に訓読法の規範形式の固定が顕著で、旧稿⁶⁾にも説くように、規範とすべき訓読法の加點された経書は「正本」との価値評価で指し示され、これに外れる訓点資料は「狼藉本」との評価価値を与えられ軽んじられたと認められる。かかる事態は、博士家の権威を支えると共に、「訓読法の正誤」の二見の觀念をも生じさせたと考えられる。

かかる博士家の明経道の訓読語に対する規制の在り方が、時代的には遅れて紀伝道の博士家に及んだように認められるのである。紀伝道の漢文注釈法は、明経道に比べればまだ自由度が高かったように認められて、明経道の博士家に比べれば訓読法の正誤觀念に縛られて逼塞することがない自由で推移したとみるのが良からうと考えられる。

漢文訓読研究の過去において、こうした俗家博士家の訓読語の固定化に傾いて行く様態が、無批判に仏書の訓読語の実態にスライドされた学史が

あつて、僧侶の流派による言語集団の場合も、各流派毎に確固として動かしたい一種類の規範的訓読法が各宗派流派の訓読語を規制して、一つの漢文理解に基づいての一つの訓読法を形成し、伝播傳承されたと見る事で平安鎌倉時代の仏書訓点資料の訓読語を捉えようとした試みは、学史的には古くから行われて来た。がしかし、稿者は、そうした視点での仏書訓点資料の訓読語史は、十全の成果を上げてはいないと評価する。

大学寮を中心にした博士家、あるいは、典葉寮なども含めても良いと思うが、漢文訓読に携わり、教授を生業とした俗家の人々の学習研究の拠点は朝廷で、これに関する資料が遺存する。畿内以外の平安鎌倉時代の地方国衙に在った俗家の訓読語の様態は不明とせざるを得ない。仏書訓点資料の場合も、偶然性に左右された奈良、京都などの畿内中心の訓点資料が伝存のほとんどで、漢籍類と資料の伝存状況には質的差は無い。細かな質的差に拘れば、漢籍類の場合は、洛中に多くが存したであろうが、仏書の場合、洛中洛外に在ったろうと想像され、戦乱、大火などの被害は、洛中に多かつたろうから仏書の伝存が多いのは、かかる偶然性に左右されたと認められる。

現存資料の遺存には、かかる偶然性を考慮する必要があるとしても、平安鎌倉時代の実態として、漢籍類の訓読語の伝承に關わった博士家の人々の言語集団の規模に比べて、仏書類の訓読語の伝承に關わった言語集団の人々では、地理的な拡がりや人数において、博士家の規模を凌駕していたことを考えねばならない。つまり、仏書類の訓読語が実現され伝えられた拠点は、博士家に比べて多かつたと見るべきで、その多様性は、学的背景を背負つての訓読語の違いの多様性を想起させるものである。

かかる論の実証的な証拠は、旧稿に説いた如くで、諸宗派流派の中でも、言語集団の規模が小さくて緊密であつたと推定される天台宗寺門派の西墓点訓点資料に現れた声点の形式も、同時代において一様でもなく、相承關係にあると推測される系列においてさえ、声点の形式には、揺れが認め

られる。学的にも、随心院藏胎藏儀軌承暦二年点では、有氣無氣の區別に従つた異形式の声点を用いるが、他の西墓点資料には、この有氣無氣を區別できたのか否かを措いても、声点の形式上では有氣無氣を區別をしない。

即ち、平安鎌倉時代において、漢籍類の訓読を生業として携わった博士家においては、時代と共に保守的權威主義的に推移したとみられるが、一方、仏書類の研究訓読に關わった仏家においては、革新的批判的性格に傾いた宗派流派があつたと見なければなるまい。人間存在の基底として進取新進の氣風が存在したと見なければ、天台宗を基とした鎌倉新仏教生成、あるいは、平安時代末からの新義真言宗の機根を説明することは不可能であろう。

三、慶祚以後の天台宗寺門派と南都資料に見える「△」声点

餘慶の四神足の内、最後まで比叡山上に留まつた慶祚が比叡山を下り、岩藏大雲寺を経て園城寺に転じて、龍雲房に住して寺門派の教宣を張つて以降も、山門派と寺門派との争いは続く。

慶祚の資は多く、現存の慶祚以降の西墓点資料の奥書に確認される次世代を支えた寺門派僧の永円、心誉、行円、頼尊等は、いずれも慶祚と師弟關係を持つている。また、餘慶の入室弟子である明尊も、慶祚の弟子である。

明尊は、小野奉時の息、道風の孫で、授業師は餘慶、慶祚について顕密を良くした。藤原頼通の信を得ていた。長暦二年（一〇三八）九月、第二十七代天台座主慶命の遷化を受けて、朝議は、明尊の天台座主補任を決した。これに対して山門派の衆徒が騒ぎ、明尊の天台座主補任を阻んだ。長暦三年、山門の多くの衆徒が祇陀林寺集まつたのを聞き及んだ頼通は、使いを派遣して、天台座主の職は、慈覚大師系の山門派が占有してきた訳ではなくて、有能な人を選んで補任している。智証大師系の寺門派僧も多

く天台座主に就いている。明尊は優れた僧で、朝議を拒むな、と告げさせたが、山門派の衆徒は受け入れなかった。衆徒は、頼通の館に押しかけて騒ぎ仕切りに門を叩いた。この騒ぎに対して、頼通は怒り、平直方に命じて兵達に矢を射かけて追い散らさせた。これを発端として山門派と寺門派との確執が再燃する。

山門派の寺門派への措置としては、戒壇院を寺門派僧に開放する事を停止して、寺門派僧は、比叡山での受戒ができぬ事態となった。この事態を受けて、明尊は、園城寺に戒壇を設けることを上奏した。これに対し長久二年（一〇四一）五月、諸宗に対して、園城寺に戒壇を設けるべきか否かの宣問があつて、法相宗、律宗、華嚴宗、三論宗、真言宗は賛意を答えたが、天台宗の徒のみ応じなかった。この天台宗寺門派が、園城寺に戒壇を持てなかつた事態は、鎌倉時代にまで及び、寺門派の対山門派への怨讐として残ることとなる。

永承三年（一〇四八）八月十一日、朝廷は再び明尊に、天台座主の勅を下す。同十三日、明尊は天台座主の辞表を上奏する。在位三日であつた。その後、明尊は、康平六年（一〇六三）六月二十六日、九十三歳の長寿を全うして志賀寺に遷化した。

さて、右の明尊の天台座主補任を巡り、寺門派に対して山門派は、戒壇に登ることを許さず、寺門派は、比叡山での受戒得度が出来なくなつた訳で、いかほどの年分度者が許されようとも、比叡山上の戒壇を使つては僧に成れない事態となつた。また、寺門派独自の戒壇が許されず、寺門派僧達は、南都の戒壇を頼つて受戒得度する事となつた。

平安時代後半期の寺門派の人々の悲願は、寺門派独自の戒壇を持つこととなつた。逸話の一つを掲げれば、藤原有家の息、寺門派僧頼豪は、顕密に通じて、白河帝の寵を得、詔勅に従つて白河帝の跡継ぎ誕生を祈つた。承保元年（一〇七四）の冬に、白河帝の皇太子が生誕した。これに喜んだ白河帝は、頼豪祈禱の驗ありとして、その賞を頼豪の望み通りとする事とした。

頼豪は、園城寺独自の戒壇を所望したが、山門派に阻まれて、勅裁が下りることはなかつた。頼豪は、これを深く恨みつつ、応徳元年（一〇八四）五月四日、齢八十三にして示寂した。死後、頼豪の怨みの深さの噂話として世俗には、頼豪は死んで鼠となり、比叡山の聖教を食い破つているとの俗説が流れたと言ふ（本朝高僧伝巻第五十）。

源隆国の息、鳥羽僧正覚猷の場合も、顕密の奥底を極めて、天治二年（一一二五）園城寺長吏に補せられ、保延四年（一一三八）十月二十七日、天台座主に補任せられるも、山門派衆徒の怒りを憚り、三日で辞退した。

右は、平安時代後半期の山門派と寺門派との確執の歴史の一部であるが、この対立は、鎌倉時代にまで持ち越される。

さて、「△」声点の生成が、天台宗寺門派龍雲房慶祚と見て、慶祚以降の寺門派西墓点資料の中に認められると概括した場合、例外が存する。天台宗比叡山上に残つた西墓点資料で、天台宗山門派等が関係した十二世紀院政期の訓点資料には「△」声点が見れない。園城寺に緊密な平安後期、院政期資料にも、「△」声点が出現しない資料があることを指摘した。

一方で、寺門派の資料であるとは位置づけられない資料であるにも関わらず、「△」声点が出現する資料が指摘されている。「△」声点は、南都系の資料の中にも使用例があるのである。

南都系の資料に用いられた「△」声点は、右に説いた園城寺独自の戒壇が持てなかつたことで寺門派の僧徒はどのようにして受戒得度したのかという観点から、例外処理が可能である。即ち、寺門派の僧徒と、南都の僧との人的交流の密度と比例したものであると解釈することが出来よう。

天台宗寺門派に限らずであるが、南都系の仏教集団は、天台宗寺門派が比叡山上の戒壇院から閉め出される以前から、平安新仏教集団の人々との行き来が認められる。南都古宗は、本来顕教系の仏教であるが、平安新仏教の成立時期から、天台宗や真言宗との交流が指摘される。訓点資料としては極初期資料に属して、延暦年間の奥書が明確な資料として著名な大東

急記念文庫蔵統華嚴經略疏刊定記卷第五など華嚴經關係の資料に、訓点記入が始まったと想像されているが、華嚴經關係の平安初期の資料は、南都と比叡山に存して、この人的交流の存在が想像されている。また、平安初期の真言宗と南都古宗との人的交流は、例えば、空海は東大寺別当となっているし、以降、真言宗と南都系との交流は、色濃く存して真言宗醍醐寺の聖宝なども東大寺別当を務めている。

天台宗寺門派の僧についても、南都での仏事の導師を務めた記事は、多くて、寺門派の戒壇問題以前にもそうした南都との人的關係が指摘できる。天台宗寺門派にとっては、比叡山の寺門派に対する戒壇が閉ざされて以来、南都の戒壇は、自派の生存問題で、南都の戒壇で受戒得度すると言うことは、授業師と受戒を受けた資との關係で、単なる知己の僧の關係とは異なつて、師弟として密なるものであるのは想像に難くない。

さて、先学の論考の中に天台宗寺門派西墓点資料以外の資料において、「△」声点の出現する資料が指摘されている。例えば、築島裕博士の論文「濁点の起源」⁽¹⁰⁾には、西墓点以外の訓点資料で、喜多院点加點資料があることを指摘されている。喜多院点資料だけを掲げれば、

興福寺藏高僧傳康和二年(一一〇〇)点(喜多院點)

大東急記念文庫藏辨正論保安四年(一一二三)点(法隆寺僧靜因加點、喜多院點)

法隆寺及國會圖書館藏大慈恩寺三藏法師伝天治三年(一一二六)点(法隆寺僧覺因加點、喜多院點)

の三資料が、喜多院点加點資料で、後二点は、法隆寺僧とあつて、南都の僧侶の使用例である。博士は、この文献列挙の後に、

又、觀智院本類聚名義抄篇目には△(清音)△△(濁音)のように聲點を附してゐるが、これは他に例を見ない特異なものである。この本に附せられたヲコト點は喜多院點である。以上、△を用ゐた點のヲコト點は何れも西墓點又は喜多院點で、天台宗と法相宗とに互つ

ているが、眞言關係の資料が見えないのは偶然であろうか、尚考へたい。(二九六頁)

と述べられていて、天台宗寺門派と法相宗との「△」声点使用の前後關係には触れられていないが、この言語集団での使用濁声点に共に、「△」の広がり認められている。

稿者は、「△」声点の発祥が、寺門派園城寺で龍雲房慶祚を初発と想定してみたが、後、南都への広がりを得たと考えている。この南都への伝流の契機は、天台宗山門派と寺門派との抗争の中で、寺門派明尊の時代になって、明尊の天台座主補任(長曆二年(一〇三八))に山門派が反対して寺門派僧への戒壇院を閉ざし、寺門派僧が比叡山上の戒壇に登れなくなったことに端を発していると考えている。比叡山上で受戒得度できない寺門派は、南都を頼り受戒得度して僧となった。南都僧を授業師として師弟關係を結んだ。当然、南都の顕教の教学が寺門派に及んでも当然であるし、逆に天台宗寺門派には、より身近な存在となった南都僧に寺門派の顕密の学が及んでもなんの不思議もない。

管見に入った最も年代の古い南都の關係した喜多院点資料で「△」を使用しているのは、十二世紀になったばかりの興福寺藏高僧傳康和二年(一一〇〇)点である。天台宗山門派が寺門派に対して戒壇院を閉ざして約六十年後の加點資料である。現時点では寺門派明尊よりも下る資料しか知られていないので、右の推論の可能性は崩れはしないが、如何せん、喜多院点で「△」使用の実証的証拠が少くないと言わざるをえない。今後の課題としては、かかる「△」使用の、西墓点以外の喜多院点を含めた例外的資料と位置づけられるものの発掘に頼る必要がある。

おわりに

以上、旧稿に短く記した「△」声点を産んだ慶祚の内には、寺門派のア

イデンティティの確立が発祥―表記史上の言語変化―の理由の一つであろうと論じてみた。

日本語史の研究は、記述を持って研究の目的とし、記述が全てであるとの意見も実際耳にする。一つの研究の態度としてはあり得ることで否定はしない。理学基礎研究においても記述を持って研究の最終目標とする場合があるのも確かだ、それを否定する気持ちはない。自然科学においては、研究対象は無限に近い程あって、一つの記述が、それまでの理論を根底から覆す例はいくらでもある。量子力学の出現も二重スリット実験などの記述結果で、旧来の物理学を塗り替えてきた。

日本語史の場合の究極的な研究対象は、人間の内界の探求であると思っている。些か飛躍があるとお感じの諸賢もあろうが、語彙論や意味論の場合特に、人間の認識構造や、価値観、思想の構造や、その個体史の変化も視野に入れながら日本語研究、日本語史研究が、理論的には可能であろう。

日本語史の場合、自然科学の研究などと異なるのは、資料が有限であって、時代を遡れば遡るだけ絶対量が少なくなる。つまり、「記述」なるものをどう概念規定して実際の研究をどう目的化するかと言うことに恐らく研究者間の個人差があろうから、一口に記述研究に終止する日本語史の研究は、資料の絶対量とともに、伝存する資料には必ず偶然性がつきまとうて切り離せないのであるから、歴史的な日本語研究の解析方法を開拓していく方向、つまり漢文訓読語史研究も方法論の深化に向かうべき時期なのであろうと、稿者は判断している。

その解析方法として、平安時代中期から平安後期・院政期へと流れる時代の、天台教団の人々の生活の歴史を記述して、そうした人間の活動営為が、表記史における誠に断片的な例であるが、「△」声点の発祥と伝流・伝播に関わっていると言った解析を試みた。

大方の諸賢のご批判を頂きたい。

注

- 1、拙稿「院政期の天台宗寺門派西墓点資料における声点―「△」声点の発祥と伝流―」（『表現技術研究』第五号、平成二十一年三月）。
- 2、注1文献。
- 3、注1文献。
- 4、拙稿「天台宗寺門派西墓点資料における訓読語の活動―平安中期・平安後期資料の声点を中心に―」（『広島大学大学院文学研究科論集』第六十九号、平成二十一年十二月）。
- 5、注1文献。
- 6、拙稿「訓点資料の日本語史料としての評価について（下）」（『広島大学大学院文学研究科論集』第七十四号、平成二十六年十二月）。
- 7、注4文献。
- 8、月本雅之「大東急記念文庫蔵続華嚴經略疏刊定記卷第五の訓点について」（『鎌倉時代語研究』第二十三輯、平成十二年十月）。
- 9、平林盛得・小池一行編『鎌倉僧侶歴覧 推古廿二年―元暦二年』（昭和五十七年七月、笠間書院）等の僧暦資料による。
- 10、築島裕「濁点の起源」（東京大学教養学部『人文科学科紀要』第32輯、昭和三十一年四月）。

〈参考文献〉

○園城寺伝記、愚管抄、公卿補任、元亨釈書、古事談、今昔物語集、寺門高僧記、寺門伝記補録、真言伝、撰集抄、僧綱補任、大日本史料、天台座主記、伝法灌頂相承略記、二中歴、日本紀略、百鍊抄、扶桑略記、本朝高僧伝。

【付記】

本稿は、科学研究費補助金基盤研究（C）「訓点語彙の意味論的研究―文脈付き訓点語彙コーパスの作成―」（課題番号 26370539・研究代表者松本光隆）による研究成果の一部である。

源氏物語における複合動詞「思ひ知る」の意味用法

岡野幸夫

一、はじめに

本稿は、「源氏物語」における「思ひ知る」の意味用法を明らかにすることを目的とする。これにより、「源氏物語」の複合動詞語彙の構造および平安時代和文における複合動詞の意味構造を説明する一階梯としたい^(註1)。

『平安時代複合動詞索引』(文献⁽¹⁰⁾)によれば、「源氏物語」には異なり語数で総計三、七五三語の複合動詞がある^(註2)が、そのうち「思ふ」を前項にもつ複合動詞は一九五語あり、全体の約五・二%を占める。また、「思ふ」を構成要素にもつ複合動詞は四六一語あり、これは、構成する複合動詞の数としては第一位の「打つ」(六二二語)に次いで第二位である^(註3)。このように、数量的見地のみからでも、「思ふ」を前項にもつ複合動詞が、複合動詞語彙の研究上、無視できない存在であることが分かる。

本稿で考察の対象とする「思ひ知る」は、知覚作用という、一種の心理動作を表す「知る」に、代表的な心理動詞である「思ふ」が上接するという、一見冗長さを感じさせる語構成であるが、いかなる意味用法なのであろうか。

以下、右の問題意識をふまえて、「思ひ知る」の意味用法を検討する。その際、意味や前後の文脈、共起する語句といった観点から、「思ふ」が上接しない、単独の「知る」と比較する^(註4)。

二、先学の研究

稿末に、本稿での考察に関連する先学の研究を①～⑨として一覧した。これらから、「思ふ」を前項にもつ複合動詞や「思ひ知る」の意味用法、構成要素間の意味関係について述べられた部分を整理する。

佐久間博子氏は①で、「思ふ」を前項にもつ複合動詞について、「思ふ」がもとも持っている意味と、結合した動詞の意味の共通のものが、強調されるのである。^(註5)とあり、多義の「思ふ」が表しうる文脈の意味を分析的に複合動詞として表現することがある、と指摘する。また、「前述の「分類語彙表」で、「精神」の項に入る動詞と、「思ふ」が結合している場合は、「思ふ」単独の用法では表わせない意味を、これらの動詞と結合することにより「思ふ」に与えている。言いかえれば、「思ふ」を結合している動詞の意味の方に傾かせている場合があるといえないだろうか^(註6)と指摘する。いずれの場合も、結合する動詞に対して「思ふ」が意味の主要部分を担うような意味関係になる、という主張のようである。これは、前項の「思ふ」を中心に複合動詞が構成されている、という考えで、②以降とは異なりユニークな論である。

中村幸弘氏は②で、「万葉集」に見られる「思ふ」を前項にもつ複合動詞をいくつかの群に分類し、そのうちの「思ひ+心的動作動詞」型について、「思ひ」型複合動詞と、「思ひ」が付かない単独動詞との違いは、「意味上の異同ではなく、度合ひ、深さの面での差を見るべき問題かに思はれる」^(註7)と述べ、「思ひ」が付くことにより、心理的意味に心理的意味が加算され、後項たる心的動作動詞の意味が強調されると述べている。これは①の前半部分と同様の主張であるが、①では前項の「思ひ」に意味の重点があると考えるのに対し、②は後項動詞に意味の重点があると考えているようである。

竹村佳代子氏は③で、「おほしいそぐ」と「いそぐ」の違いについて、「おほしいそぐ」には、思い悩む心と強い意志がある^(註8)のに対し、「いそぐ」は早くしようと思ふ心の動きと共に、その後当然現われるところの行為をも含んで表わしている語である^(註9)と述べ、「おぼす」が付くことによって心理的意味を表すこと、そして「いそぐ」は心理だけでなく具体的な行為をも表すことを主張している。

関一雄氏は④で、中古から近世の複合動詞語彙を統計的に概観し、他動詞同士、自動詞同士の組合せが大半を占めることから、複合動詞の構成要素間の意味関係の基調は、時代を通じて一致関係（構成要素が対等に複合して、新たな意味を生じているもの）であったと述べる（二〇九頁）。その際、「思ふ」を含むものは「思ふ」の自他の判別が困難であるため、別扱いにしている（二〇六頁）。また⑧では、「平安仮名文学の中で、散文―物語・日記・随筆類に用いられている動詞語彙は、基本的に、動作主体、すなわち登場人物の動き（演技）を表す用語であった。つまり、目に映り、耳に聞こえるような動作を表す動詞（「具体動作語動詞」と仮称）が核となり、心の動きを表す動詞（「心理動作語動詞」と仮称）が補完的役割を果たした」（七二―七三頁）と述べ、「平安の仮名物語用語としての単独動詞は、基本的に具体動作語であり、心理動作は、それに「おもひ」を上接することによって造語されたと考える」（七五頁）とも述べる。この考えは⑨にも継承されている。

安光裕子氏は⑤で、「思ふ」を前項にもつ複合動詞の構成要素間の意味関係について分類整理し、「単独「思ふ」や単独「 思 」よりも、それらが結合してできた「思ひ 思 」の方が、意味は更に強調され、広がり、又更に詳しく限定され、複雑な観念を表わしている」（二四四頁）と述べる。また、「単独「思ふ」は十分独立しているとはいえ、他の多くの動詞と結合することによって、それだけでは十分表現し得なかつた部分を補っている」（二五頁）とも述べる。

竹内美智子氏は⑥で、「おぼし疑ふ」「おもひ疑ふ」が「源氏物語」においてきわめて重要な箇所でのみ用いられていることを指摘し、「前項の「思ひ」は「疑ふ」ことすなわち不信の念が、心の奥底に、じつと滲えられて、ぬぐい去り難いものであることを表わし、後項の「疑ふ」に深い陰影を添える役割を果たしている」（二七五頁）と述べる。さらに、「源氏物語の「思ひ」には、閉ざされた心の世界を描くためのものが極めて多いのである」（二七五頁）とも述べ、文学的考察にまで及ぶ。

山田みどり氏は⑦で、「思ふ」を前項にもつ複合動詞の構成要素間の意味関係を分類し、「思ひ知る」はその中の「2」、「思ひ」の主体が同時に下の動詞の主体でもあるもの（「思ひ」が下の動詞を連用修飾している）」の「A」、下の動詞の行為と「思ふ」行為とが同時に行われるもの」の「d」（しかと）認識してゝする」に分類されている（九頁）。

以上、先学の研究について概観した。まとめると、①を除けば、表現はさまざまであるが、「思ふ」が付くことによって、後項動詞の意味が心理的な動作になること、前項の「思ふ」は後項に対して連用修飾の関係になること、が明らかにされているといえよう。次節では、これらをふまえて、さらに詳細に検討する。

三、「思ひ知る」の意味用法

三・一 概観

「源氏物語」には、一三一例の「思ひ知る」が見られ、「思ふ」が付かない単独の「知る」は五二九例見られる（註五）。

「思ひ知る」の用例から顕著に見てとれる傾向として、自発の助動詞「る」が下接するものが非常に多いことがあげられる。全一三二例のうち四六例（三五・一％）が該当する。単独「知る」の場合は全五二九例のうち一〇例（一・九％）であり、明らかな傾向として認められる。

①院にも、かゝることなむときこしめして、「略」など御けしきあしければ、わが御こゝちにもげにとおもひしらるれば、かしこまりてさぶらひ給（葵 291）

用例①は、光源氏と六条御息所との関係を耳にした桐壺院が、光源氏を諫める場面である。諫められた光源氏は「おのずから反省する」のである。このことは、「思ひ知る」が「意図的でなく、自然にそうなる」こととして表現されることが多い、ということを表し、助動詞「る」と「思ひ知る」の意味との親和性がうか

がえる。この点については後述する。

「思ひ知る」の構成要素間に接続助詞「て」「つつ」が介在する用例は「源氏物語」には存在しない。謙譲語「給ふ下段」が介在する例は一六例見られ、係助詞「こそ」「も」が介在する例は一例ずつ見られる後述。

②「いのちながさいとつらう思ふたまへしらるゝに、まつと思はんことだに
はづかしうおもふたまへ侍れば、もゝしきに行かひ侍らんことはましていと
はづかりおほくなむ。(略)とのたまふ。(桐壺12⑫)

用例②は、桐壺帝からの手紙を読んだ桐壺女御の母が、使者である鞍負命婦に話す場面である。「莊子」を引き合いに出し、長生きのつらさが思い知られた、というのである。この例に限らず「思ひ給へ知る」の謙譲語「給ふ下段」は、構成要素の間に介在しているが、意味的には前項「思ふ」だけを謙譲語にしているとは考えられず、「思ひ知る」全体を謙譲語にするよう機能している。このように、謙譲語「給ふ下段」が介在する例が相当数用いられていることは、尊敬語の語形である「思し知る」「思ほし知る」に対応するもので、「思ひ知る」がさまざま人間関係において用いられたことが反映していると思われる。

③「山里の 秋の夜ふかき あはれをも もの思ふ人は 思こそ知れ
をのづから御心もかよひぬべきを」などあれば、「あま君おはせて、まぎら
しきこゆべき人も侍らず。いとよつかぬやうならむ」とせむれば、
憂物と 思もしらで すぐす身を 物おもふ人と ひとしりけり
わざといらへともなきを、きつてつたへきこゆれば、…(手習358⑩⑬)

用例③は、小野の山里で暮らす浮舟を訪問した中将が詠みかけた和歌を聞いた浮舟が、返事のつもりでもなく和歌を詠む場面である。介在する係助詞は、係り結びや否定表現と呼応しつつ、前項「思ふ」のみならず、「思ひ知る」全体を強調しているとの解釈ができる後述。なお、点線部に単独「知る」が見られるが、これは傍線部「思もしらで」と対応しており、「思ひ知る」の意味を考える上で重要である。

この点についても後述する。

また、文献⑩によると、構成要素の順序が入れ替わった「知り思ふ」「知り思す」「知り思ほす」は平安時代の仮名文献には用いられていない後述。

以上、構成要素間に謙譲語「給ふ下段」や係助詞「こそ」「も」が介在する事実、および構成要素の結合順が固定しているという事実から、「思ひ知る」が二語の連続ではなく、一語の複合動詞である、ということが分かる。

三・二 目的語

「思ひ知る」「知る」とともに、さまざまな目的語をとる。どのような目的語をとるか、便宜上、二例ないし三例以上見られるものを以下に一覧する。

| 思ひ知る(二例以上) | | 知る(三例以上) | |
|------------------|----|------------------------|----|
| もの | 18 | 「心」系 <small>後述</small> | 63 |
| 世・世の中 | 12 | あはれ・ものあはれ | 15 |
| 心の程・心ばへ・心ざし・ものの心 | 8 | 「世」系 <small>後述</small> | 13 |
| なにごと | 6 | 程・ものの程 | 8 |
| 身・身の程・身の有様 | 5 | ことわり | 5 |
| あはれ | 4 | 身・身の上・身の程 | 5 |
| ちぎり | 3 | 命・命の程 | 4 |
| よろづ | 2 | ちぎり | 3 |

右の表を見ると、両者に共通する目的語が多いが、「思ひ知る」に特徴的な語句として、「もの」「なにごと」「よろづ」といった、抽象的で漠然としたものが見られる。反対に、「知る」には「ことわり」といった、論理的な語句が見られる。

④あまぎみ、かみをかきなでつゝ、「略」。かばかりになれば、いとくゝらぬ人もあるものを。こ姫君は十ばかりにて殿にをくれ給ひしほど、いみじうもの

はおもひしり給へりしぞかし。(略)とていみじくなくをみ給も、すぐるにかなし。(若紫159①)

⑤「いますし物をも思ひしり給ほどまでみすぐさんとこそは、としごろねんじつるをふかきほいもとげずなりぬべき心ちのするに思もよをされてなん。

(略)「と、よろづにおほしわづらひたり。(若葉上219⑤)

これらは「もの」の例である。用例④は、尼君が亡くなった母親を引き合いに出して若紫を諫める場面、用例⑤は、朱雀院が女三宮のことを心配して婿の候補を批評する場面である。いずれも「もの」の道理が分かる、判断力を持つ」といった意味である。

⑥むかしはなに事もふかくもおもひしらで、なかく、さしあたりていとをしかりしこのさはぎにも、おもなくてみえたてまつりけるよ、といまぞ、おもひづるにむねふたがりて、いみじくはづかしき。(常夏17①)

⑦「いとたづきもしらぬ心しつるに、うれしき御けはひにこそ。なにことも、げにおもひしり給けるたのみ、こよなかりけり」とて、よりみ給へるを、(橋

姫318⑦)

これらは「なにごと」の例である。用例⑥は、父内大臣に諫められた雲居雁の心中、用例⑦は、宇治の姫君の冷たい応接に困っていた薫が、弁の対応に感謝する場面である。これらも「もの」の道理が分かる、判断力を持つ」といった意味である。

⑧あひなくもの給かな、とおぼせど、「としごろによろづおもふ給へしりにたるものを、むかしのすき心の名残ありがほにの給ひなすもほいなくなむ。よし、をのづから」とて、(濤標119⑩)

用例⑧は「よろづ」の例である。死に瀕した六条御息所から娘を託された光源氏が返答する場面である。今は万事心得ているのに、そうではないように言われて不本意だ、というのである。

⑨れいぜん院のきさいの宮よりも、あはれなる御せうそこたえず、つきせぬことらもきこえ給ひて、

かれはつるのべをうしとや、なき人の秋に心をとめざりけん
いまなんことほりしられ侍ぬる。

とありけるを、ものおぼえぬ御心にも、うちかへし、をきがたくみ給ふ。(御

法179⑥)

⑩やうくことほりしり給にたれど、人の御うへにても物をいみじく思しづみ給て、いとどかゝるかたをつきものに思はて、(総角430⑤)

これらは「ことわり」の例である。用例⑨は、紫上の死後、秋好中宮が光源氏に手紙を送る場面で、紫上が秋ではなく春を好きだとしたことの理路が今分かった、というのである。用例⑩は、匂宮と中君の結婚後、大君が薫と対面する場面で、大君が自分たち姉妹の収まるべき行く末は理解したものの…というのである。

以上、いくつかの用例を見たが、「知る」に論理的な目的語が見られる一方で、「思ひ知る」に抽象的な目的語が見られることは、両者の差異を考える上で注目すべきことである。すなわち、「知る」は直接的な知覚作用を表す動詞であるのに対し、「思ひ知る」は思考のプロセスを経たうえでの知覚作用を表す複合動詞である、といえるのではないか。このことを、共通する目的語のうち、両者に比較的用例の多い「世」系の目的語をとる用例で検討する。

⑪ねられたまはぬまゝには、「我はかく人にくまれてもならはぬを、こよひなむはじめてうしとよをおもひしりぬれば、はづかしくてながらふまじうこそおもひなりぬれ」などのたまへば、(空蟬84②)

⑫宮、「よのなかをかりそめのことゝおもひとり、いとほしき心のつきそむる事も、わが身にうれへあるとき、なべての世もうらめしう思ひしるはじめありてなん、道心もおこるわざなめるを、(略)」などのたまひて、(橋姫308⑬)

⑬もとよりづしやかなる所はおはせざりし人の、としごろは、さまざまに世中

を思しり、きしかたをくやしく、おほやけたくしの事にふれつゝ、かずも
なくおほしあつめて、いといたくすぐし給にたれど、(若菜上 253 ⑨)

(11) 人のけはひ、いとあさましくやはらかにおほほきて、ものふかくをもきかた
はをくれて、ひたふるにわかびたるものからよをまだしらぬにもあらず、い
とやむことなきにはあるまし、いづくにいとかうしもとまる心ぞ、とかへす
くおほす。(夕顔 113 ⑭)

(12) 「略」あやまちもおほせぬ身を、いとつゝましげにおもほしわびためるも、
いさゝかにても世をしり給へる人こそあれ、いかでかはと、ことはりにいと
おしくみたてまつる」として、ひきおこしてまいらせたてまつる。(東屋 162 ⑮)

(13) すこしよのながをもしり給へるけにや、さばかりあさましくわりなしとはお
もひ給へりつるものから、ひたふるにいぶせくなどはあらず、いとらうくじ
くはづかしげなるけしきもそひて、さすがになつかしくいひこしらへなどし
て、いだし給へる程の心ばへなどを思ひ出るも、(宿木 69 ⑯)

用例⑩は、空蟬に拒絶された光源氏が、小君を責める場面、用例⑪は、宇治の八
宮が阿闍梨に語る場面、用例⑫は、朱雀院の出家後、光源氏の訪問を受けた朧月
夜の様子である。用例⑬は、夕顔のことが気にかかる光源氏の心中、用例⑭は、
浮舟の乳母が、匂宮に言い寄られた浮舟を中君の御前に連れて行き陳情する場面、
用例⑮は、中君に迫った薫が、翌朝になって昨夜の様子を思い出す場面である。

用例⑩～⑮の波線部にあるように、「思ひ知る」の場合は思考の結果や内容が語
句として表現される例が多い。一方、単独「知る」の場合はそうした語句は現れ
ない。「思ひ知る」が「あれこれ考えたことをふまえ、これこれだと理解する」と
いう意味を表しているのに対し、単独「知る」は、端的に「理解する」という意
味を表しており、両者には「思ふ」の有無に対応した意味の相違が認められる。

前述の用例⑩で、「思ひ知る」は自発の助動詞が下接する用例が多く、「意図的
でなく、自然にそうなる」こととして表現されることが多いことを指摘したが、

これも思考のプロセスを経ることと関係があるろう。つまり、「あれこれ考えると、
自然とこれこれの結論に至る」というつながりなのである。

三・三 話し手と聞き手の人間関係

この項では、会話・手紙・和歌といった、話し手(送り手を含む)と聞き手(受
け手を含む)の人間関係について検討する。とくに、身分などの上下関係に注目
する。上位・下位の判断は、登場人物の身分差が明らかであればそれにしたがう
が、微差の場合は、前後の場面で用いられる作者による待遇表現によって判断す
る。それでも差がはっきりしない場合は上下関係の判断を保留する。

「思ひ知る」「思し知る」「思ほし知る」と単独「知る」の全例について、上下
関係について確認したところ、いずれにおいても、下位者から上位者に対して直
接用いる用例はほとんど見られなかった。(表 11)

また、目前の相手に直接用いる用例(手紙で語りかける場合も含む)の数を比
較すると、単独「知る」は全五二九例中三〇例(五・七%)であるのに対し、「思
ひ知る」は全一三二例中九例(六・九%)、「思し知る」は全八四例中二例(二
・二%)、「思ほし知る」は全五例中二例(四〇・〇%)である。「思ひ知る」「思
し知る」「思ほし知る」を総計すると全三二〇例中三三例(二五・〇%)となり、
単独「知る」よりかなり高い率で目前の相手に直接用いられている。

これらの、下位者から上位者へ直接用いることがほとんどないことや、「思ふ」
「思す」「思ほす」が付くと目前の相手に直接用いやすくなる、ということからは、
何を表すのであるうか。本稿の筆者は、「源氏物語」成立当時、単独「知る」は、
目前の相手に直接用いると、相手の知覚作用を直接述べることになり、いささか
ぶしつけな感じになっていたのではないかと考える。これに対して「思ひ知る」
は、思考のプロセスを経たうえで知覚作用という意味を表すがゆえに、直接性
が和らげられ、単独「知る」より婉曲でソフトな表現になったのだと考える。

⑭「なをかうおほししらぬ御ありさまこそかへりてはあさう御心のほどしらる

れ。(略)世中をむげにおぼししらぬにしもあらじを」と、よろづにきこえせめられ給て、いかゞいふべき、とわびしうおぼしめぐらす。世をしりたるかたの心やすきやうに、おりくほのめかすもめざましう、げにたぐひなきみのうさなりや、とおぼしつゞけ給に、しめべくおぼえ給うて、(夕霧98⑬)

この用例は、柏木の死後、言い寄ってくる夕霧のセリフに不快感を覚える落葉宮の心中を描いた場面である。夕霧が落葉宮に「世中を」思し知る」を使ったのを受けて、落葉宮は自分が「世を」知る」と言われた、というふうには、視点の違いに応じて使い分けられている。

前述の用例③においても、「思ひ知る」と単独「知る」が対比的に用いられているが、これも同様に、立場の違いに応じて使い分けであると考えられる。

三・四 構成要素間の意味関係

複合動詞の構成要素間の意味関係としては、文献④に「一、補助関係、二、修飾関係、三、一致関係」(八七頁)の三種類が考えられている。「補助関係」は後項が前項を意味的に補助する関係、「修飾関係」は前項が後項を意味的に補助する関係、「一致関係」は前項と後項が意味的には対等で、新たな意味を生じている関係を指す。本稿では、これに「並立関係」を加えて考えたい。これは、前項と後項が意味的に対等で、新たな意味を生じていない関係である。狭義の複合動詞とは呼べないが、本稿で「並立関係」までも広義の複合動詞に含めるのは、意味的に二語の連続であっても、文法的には一語として用いられたことや、それが一回的な臨時の語形であっても、そのような「動き」として表現されたことを重視したいからである。複合動詞語彙の実態や史の変遷を広くとらえて研究する立場からすれば、そのようなものも含めた方がより深く検討できると考える(註二二)。

さて、「思ひ知る」が一語の複合動詞であることは三・一で述べたが、構成要素間の意味関係は「補助・修飾・一致・並立」のいずれの関係にあてはまるであろうか。まず、辞書の記述を確認する。用例等は略し、語義のみ引用する。

○北山谿太著『源氏物語辞典』(平凡社・一九五七)

思ひ知る…「心にわかまへ知る。心にさとる。解す。」

思し知る・思ほし知る…「思ひ知るの敬語。」

知る…「①さとる。理解す。心得。わかまふ。見わく。みとむ。②考慮す。意

とす。③経験す。④交はり親しむ。男女の交りをなす。⑤かかはる。関係

す。かまふ。世話す。⑥治む。支配す。領す。つかさどる。」(註二二)

○中田祝夫編『古語大辞典』(小学館・一九八二)

思ひ知る…「物の道理や趣などをわかまへ知る。理解する。また、身にしみ

て感じる。」

思し知る・思ほし知る…項目なし。

※「思す」の「語誌」に、「連用形「おぼし」は、他の心的動作を表す動詞に上接

し尊敬の意を加える。これを接頭語とする説もある。」とあり、参考文献として文献⑬⑭を挙げる(森昇一氏執筆)。

知る…【自動詞】わかる。【他動詞】①わかる。理解する。②意識する。感じる。

③認める。見分ける。④経験する。見聞したことがある。⑤親しくつきあ

う。⑥男女の交際をする。⑦関係する。責任を持つ。

○『日本国語大辞典』第二版(小学館・二〇〇一)

思ひ知る…「物事の道理や趣などをわかまへ知る。なるほどと思ひ当てる。理解する。痛感する。悟る。」

思し知る…「(おもいしる(思知)の尊敬語)物事の道理や趣などを理解なさる。なるほどとお思いになる。」

思ほし知る…「(おもいしる(思知)の尊敬語)事の深いわけや趣をおわかまへになる。心におさとりになる。理解なさる。おぼししる。」

※「思す」の第四の意味として「多く、知覚的動作を表す動詞の上に付けて、その動作主への尊敬の意を加える。」おぼしあがむ」「おぼしいらる」「おぼしう

たがふ」「おぼしめる」「おぼしなげく」「おぼしみる」「おぼしよる」「おぼしわたる」「おぼしわざ」など。」とあり。

知る…【自動詞】物事の性質、なりゆき、対処すべき方法などがわかる。【他動詞】物事をすっかり自分のものにする意。日(知)①物事の発生、存在、状態、内容、働きなどをわかまえる。②物事の発生や存在を認める。意識する。認識する。感知する。③物事の状態、なりゆき、他との区別、対処すべき方法などをわかまえる。④物事の意味、内容、情趣、本質などを理解する。さぐる。⑤打消の語を伴って、「…することができない」の意に用いる。⑥考えに入れる。考慮する。⑦実際に行なってみたり、見聞したりする。経験する。↓男を知る・女を知る。⑧人と交わり親しむ。面識がある。⑨閑知する。かわりあう。下に打消の語を伴って、相手のことばに

対して「拒絶する、問題にしない」という気持ちを表わす場合が多い。いずれも、第二節で検討した先学の研究と軌を一にする説明であると考えてよさそうである。つまり、「思ひ知る」の前項「思ひ」は、後項「知る」が心理的に行われることを連用修飾的に表し、心理動作「知る」の意味が、同じく心理動作「思ひ」によって強調される、という説明である。それは、『古語大辞典』の「身にしてみ感じる」や『日本国語大辞典』の「痛感する」といった語釈に現れている。

また、「思す」に関して、点線部のような説明も見られる。しかし、この考え方は、「思ひ知る」「思し知る」「思ほし知る」の語釈と相容れないのではないか。しかも、例えば「思ひ知る」と「思し知る」とでは複合動詞としての意味構造がまったく異なることになるわけで、「思ふ」「思す」「思ほす」「思ひ給ふ」^{〔上巻〕}を含む複合動詞語彙の体系性に対し、整合を欠く説明に見える。

本稿の筆者は、三・一〜三・三の検討を総合すると、「思ひ知る」における構成要素間の意味関係は「一致関係」であると考ええる。「あれこれ考えて、これこれだと理解する」という意味で、一見「並立関係」にも見えるが、前述したように、

接続助詞「て」「つつ」を介在させた例や、構成要素の結合順が転倒した例が見られないこと、そして、思考のプロセスを経て、それを下敷きに判断する、ということであるので、単なる「並立関係」ではなく、構成要素の意味が融合した「一致関係」であると考ええる。辞書の記述や先学の研究とは異なる結論となったが、これはもちろん「思ひ知る」に関しての結論であって、ほかの「思ふ」を前項とする複合動詞については、個別の検討を要する。

四、まとめ

本稿では、「源氏物語」に用いられる「思ひ知る」について、その意味用法を検討し、それをふまえて構成要素間の意味関係を明らかにした。意味用法の検討では、自発の助動詞が下接する用例が多いこと、漠然とした抽象的な目的語をとること、下位者から上位者に対してはほとんど用いられないこと、単独「知る」と比較して目前の相手に直接用いやすいこと、といったことがらを明らかにし、「あれこれ考えたことをふまえ、これこれだと理解する」という意味であることを述べた。また、構成要素の意味関係は、「一致関係」であることを主張した。

今後の課題は多い。「知る」以外の心理動作を表す動詞に「思ふ」が付いた複合動詞について検討し、構成要素間の意味関係がどのようであるかを解明しなければならぬ。また、「心理」には「論理」的なものと「情緒」的なものがあると思われるが、「思ふ」を含む複合動詞にそのような区別が認められるか否か、興味深いところである(具体動作を表す動詞の場合は「情緒」的になるものが多いように感じられる)。少数ながら認められる「思ふ」を後項にもつ複合動詞についても検討の必要を感じている。

(注)

一、本稿でいう「複合動詞」とは、「動詞連用形に動詞が下接し、構文上一語をなすもの」を指

す。ここでいう「動詞」には、意味論および語彙史的立場から、接辞化したものや補助動詞化したものも含める。また、構成要素間に係助詞・副助詞・敬語の補助動詞等が介在したのも、複合動詞としてとらえる。

二、文献⑩所収の別表による。これには三語以上からなる複合動詞も含む。以下、本稿における複合動詞の数値は同書および筆者が所有する同書の基礎データによる。

三、ちなみに、「思す」「思ほす」を前項にもつ複合動詞はそれぞれ一六九語、四二語ある。また、これらを構成要素にもつ複合動詞はそれぞれ四二四語、七四語ある。

四、「思ふ」の敬語形である「思す」「思ほす」については、敬語の問題がからむため、本稿ではいったん切り離し、「思ひ知る」を中心に検討するが、おおまかな論旨は「思す」「思ほす」にも当てはまると考える。

五、使用テキストは岩波新日本古典文学大系。用例の引用も同書による。用例の検索には別巻の『源氏物語索引』を用いた。

六、このほか、副助詞「だに」が介在する例が「思し知る」に一例見られる。

七、係助詞の介在については文献⑩を参照。

八、文献④(八一人言)では、構成要素の結合順が転倒する例の有無が、複合動詞の認定に重要な根拠となることが検討されている。

九、心・こと・心・心ざしの程・心の程・心ばへ・ものの心・心ざま・心のうち・下の心・心の底。

一〇、世・世の中・世の有様・世の中の有様・憂き世。

一一、下位者から上位者への会話などで、話題に出てくる第三者に対して用いられる例はいくつか見られる。また、下位者の心中が述べられる場面で、上位者に対して用いている例も若干ある。

一二、このほか、文献⑫に、文献④とはことなる観点からの意味関係が考えられており興味深い。が、本稿ではとらえない。

一三、このうち⑥の意味は、ほかの辞書では「しる(領)」として項目が立てられているもので

ある。

(参考文献)

- ①佐久間博子(一九六五) 源氏物語の複合動詞―「思ふ」を含むものについて―『国文学攷』第二七号
- ②中村幸弘(一九六九) 万葉集の「思ひ」型複合動詞について(國學院大学国語研究会『国語研究』第二八号)
- ③竹村佳代子(一九七六) 源氏物語における「おほしいそぐ」・「いそぐ」について『高知女子大國文』第一〇号
- ④関一雄(一九七九) 中古中世の複合動詞、複合動詞の変遷(『国語複合動詞の研究』笠間書院・第一章第二節、第四節に所収) ※初出は『国語学』第三輯(一九五八)、『国語と国文学』第三七卷第二号(一九六〇)。
- ⑤安光裕子(一九七九) 複合動詞「思ひ₁」―人間思考の探究―『山口女子大國文』創刊号
- ⑥竹内美智子(一九八六) 源氏物語の複合動詞(『平安時代和文の研究』明治書院・第四章「語と表現形成」に所収) ※初出は『国文学』(学燈社)一九七二年二月、一九七七年一月。
- ⑦山田みどり(一九八六) 複合動詞の語釈決定に関する一方法―「思ひ定む」の場合―(山田忠雄編『国語史学の為』第三部)笠間書院に所収)
- ⑧関一雄(一九八七) 複合動詞―平安仮名文学用語として―(山口明德編『国文法講座 2 古典解釈と文法』明治書院に所収)
- ⑨関一雄(一九九三) 女流文学の言葉(『平安時代和文語の研究』笠間書院・序「物語の言葉」第二章に所収) ※初出は『日本語学』(明治書院 第四卷第二号(一九八五))
- ⑩東辻保和・岡野幸夫・土居裕美子・橋村勝明(二〇〇三)『平安時代複合動詞索引』(清文堂)
- ⑪岡野幸夫(一九九八) 複合動詞の構成要素間に介在する係助詞の意味機能―『源氏物語』を對象として―『山口国文』第二号
- ⑫秋本守英(一九九六) 仮名文章における語構成と文構成(『仮名文章表現史の研究』思文閣出版・第四章「仮名文章体の形成要素」の二に所収) ※初出は『王朝』第一冊。

⑬ 宮田和一郎（一九六〇）源氏物語における敬語『国文学』五卷二号・学燈社

⑭ 中村幸弘（一九六九）源氏物語中の「思ひ」― 刑複合動詞研究ノ一ト『國學院高等学校紀要』

第一一輯

六国史に於ける「請」の用法

李 玉婷

はじめに

六国史とは、古代日本の律令国家が編纂した六つ(『日本書紀』『続日本紀』『日本後紀』『続日本後紀』『日本文徳天皇実録』と『日本三代実録』)の一連の正史のことである。一部に紀伝体的要素をとりいれつつも、おおむね編年体で記されている。

古くから六国史に関して幅広く研究されて来ているが、本稿と重複する処が見つからなかった。論文『六国史に見える「請益」の用語について』(泉 敬史 札幌大学総合論叢 第23号 2007年3月)の題目は本稿と類似するが、内容は「請益」の意味と用法、「請益者」の身分についての検討であり、以下の内容と全く異なる。

一、『将門記』と六国史における「返請」と「請返」

『将門記』は、従来の日本語史研究において、変体漢文であると位置づけられてきた⁽¹⁾。日本の漢文であることは、記事内容

が当に日本を舞台にしたものであるので、その評価は確かなことである。しかし、稿者は、正格漢文(中国語文)とは異なって、変体漢文と言われ、日本語的言語事象が色濃く反映しているとする根拠が、実証的に整理されて論じられては来なかったように感じているが、この問題は別稿に譲ることとして、変体漢文の一つとして位置づけ、本稿に検討を加える。

本稿に論じようとする『将門記』の「返請」の例である。

1、所被虜掠之私物可返請之由 (251)

この例にある「返請」の語順は中国語の語順「請返」と相違することに注目したい。実際には、汎時代的な検索でしかないが、台湾中央研究院漢籍電子文献資料庫⁽²⁾に対して検索を掛けてみると、『北史』⁽³⁾には「請返」という表現が一例、『新唐書』⁽⁴⁾には一例、『徑山志』⁽⁵⁾には一例、全三例見られた。ともに、「返請」は確認されない。古漢語に於いても現代語に於いても、「請」は多く使われる。一般的に「請返」の場合に「請」は「返」を修飾し、「…を返して欲しいと請う」の意であり、請うのが下接の

内容である。一方、「返請」の場合に「返」は「請」を修飾し、「返して…を請う」の意で、「返」が「請」の下接の内容を請う時の様子或は状態である。『将門記』の用例では「虜掠された私物を返して欲しいと請う理由」の意であり、「請返」の用法に合致する。

正格漢文と称される歴史書の六国史に於ける「返請」と「請返」の使用について調査してみた。

「請返」に関する例を調べたところ、『続日本後紀』に「請返」は2例

- ①、左大臣正二位藤原朝臣緒嗣、請返上職田職分資人雑色考人衛士、以避尸素之譏、助國用之費、不許、
- ②、右大臣從二位橘朝臣氏公上表、請返食封一千戸、天皇賜勅書聽之、

『日本三代実録』に「請返」と続く例は4例

- ③、若不請返抄、責其解由、令填欠負、
- ④、望請返附本貫以継家業、昭許之
- ⑤、若不觸寺司、請返之類、勿齒僧中、
- ⑥、菅家文章第九、大納言源朝臣、多請返封二百戸表参照

「返請」は1例

- ⑦、雖捉其馬送於寮家、各有所託、隨即返請、
- ある。

例③を除き、例①、例②、例④、例⑤と例⑥にある「請返」は「(…を)返して欲しいと請う」の意で、請うのが下接の内容であり、用法も語順も中国語文と一致する。其の中に例④に於いては「請」の上に動詞「望」があり、下に動詞「返」がある。この例は「望むことは本籍に付き返して欲しいと請う」の意であり、請うのは「請」の下接の内容「本籍に付き返す」こと、上接の「望」は請求についての思いだと考えられる。

例③にある「請返」は「請」と「返抄」の二つの単語で、「返抄を請う」の意である。語順は中国語文と一致するが、「(…を)返して欲しいと請う」の意ではない。

例⑦にある「返請」は真福寺本『将門記』の例と同じ表記である上に、同じく「(…を)返して欲しいと請う」の意である。例①、例②、例④、例⑤、例⑥の「請返」と「返請」との語順は異なるが、意味は同じであって、語順の違いが意味の違いを表してはいない。

中国語文では「請返」と記れるが、和化漢文の真福寺本『将門記』では、語順は「返請」と表記され、また、正格漢文と称される『日本三代実録』では中国語文の語順と等しい「請返」と中国語文の語順と一致しない「返請」とが共存するが意味は同じである。正格漢文と位置づけされる正史の資料に於いて、一つの意味を表す場合に二種類の表記が共存しているのは何故であろうか。

この問題点について、六国史における「請」の用法を検討することによって、六国史の日本漢文としての位置を明らかにしたい。

二、六国史に於ける「請」の用法

前節に言及した「返請」と「請返」の語順の問題に関して、六国史に於いて「請」は名詞と動詞の用法しか存しない。その内、「請」の動詞用法の接続は名詞より複雑である。此処では文章の語順を基準にして更に分類した。つまり、「請」の前に「請」を修飾する副詞等がある場合は「修飾語＋請」に分類し、ない場合は下接の品詞の性質によって、動詞なら「請＋動詞」に分類して、名詞・短句と単独使用なら「請（＋ほか）」に分類した。例えば、「伏請救於日本府行軍元帥等」（日本書紀）の場合は、「請」の下に動詞「救」が下接するけれども、文章の語順を基準にして「伏」が「請」の上にあるため、「修飾語＋請」に分類した。但し、本稿は主に「請」の動詞用法の接続に関する研究である故に、前述の状況にも動詞を下接する用例を統計して括弧に記述した。

本稿では動詞用法の「請」の接続を巡って検討したため、名詞の用法と動詞の「請（＋ほか）」を別にして、動詞用法の「請＋動詞」と「修飾語＋請」を詳しく検討することとする。

| 総計 | 動詞 | | | 名詞 | |
|-----|-----------------|------|--------|-----|----------|
| | 修飾語＋請 (請＋動詞) | 請＋動詞 | 請（＋ほか） | | |
| 184 | 40 (17) | 56 | 73 | 15 | 日本書紀 |
| 233 | 85 (33) | 55 | 60 | 33 | 続日本紀 |
| 158 | 70 (28) | 22 | 34 | 32 | 日本後紀 |
| 178 | 61 (24) | 33 | 49 | 35 | 続日本後紀 |
| 78 | 26 (9) | 17 | 31 | 4 | 日本文徳天皇実録 |
| 630 | 278 (98) | 125 | 107 | 120 | 日本三代実録 |

○『日本書紀』

『日本書紀』は奈良時代養老四年（七二〇）に完成した。神代から持統天皇の時代までを扱う。漢文・編年体をとる史書である。

（以下単語の下に付いている数字は用例数）

①、「請」＋動詞の用例（56例）

請許 1 請移 2 請斬 1 請悛 1 請差 1 請付 2 請問 1
 請戒 1 請納 1 請決 1 請媚 1 請救 2 請奉 1 請儲 1
 請集 1 請剔 1 請垂 1 請上 1 請代 1 請願 1 請施 1
 請曰 3 請哀 1 請入 1 請饗 1 請服 3 請増 1 請謁 1
 請免 1 請赦 1 請討 1 請試 2 請立 4 請罷 5 請聞 1
 請還 1 請奏 1 請聽 1 請贖 1 請為 1 請就 1

右の56例を分析すると、全部の用例は動詞「請」＋具体的意味のある動詞の形である。解釈すると「…して欲しいと請う」つまり、「ある行為を請求する」として使われたことが判った。「請」に下接する動詞は全部具体的な意味があつて、ある行動に関して請うという意味で例外がない。

②、修飾語＋「請」の用例（40例）

多請 1 遙請 1 奏請 11 悉請 1 固請 3 伏請 3 祈請 3
 願請 1 頻請 1 欲請 2 謹請 1 求請 2 屈請 3 実請 1
 尊請 2 応請 1 始請 2 令請 1

右の40例を分析すると、各用例には動詞、副詞が「請」の前にあり、「請う」様子や状態を表して「請」を修飾する。例えば、「多請」・「奏請」を解釈すると「多くに…を請う」・「上奏して…を請う」の意として使用されている。請求の状況や天皇に対しての敬意を表現する意味で出現する。①の「…して欲しいと請う」の用法とは異なつて、「どの様な様子や状態でその行為を請求する」のかを表示する。

○『続日本紀』

『続日本紀』は、平安時代初期に編纂された勅撰史書。『日本書紀』に続く六国史の第二にあたる。菅野真道らによつて延暦十六年（797年）に完成した。奈良時代の史料で、編年体、漢文表記である。

③、「請」＋動詞の用例（55例）

請還 1 請改 2 請賜 2 請復 1 請託 3 請従 3 請置 2
 請代 1 請奉 2 請限 1 請停 1 請令 1 請就 1 請裁 2
 請仰 2 請授 1 請建 1 請取 2 請聞 1 請集 1 請欲 2
 請屈 1 請得 1 請求 1 請受 2 請修 3 請鎮 1 請進 1
 請編 1 請預 1 請入 1 請遷 1 請除 1 請行 1 請加 1
 請抛 1 請依 1 請遣 1 請征 1 請檢 1

右の55例を分析すると、『日本書紀』の①の用例と同じように、全ての用例は動詞「請」＋具体的意味のある動詞の形である。

日本語に訳すと、「…して欲しいと請う」、つまり、下接の動詞の表す行為を請求するという用法であると分析される。

④、修飾語＋「請」の用例（85例）

応請 1 嘱請 3 望請 49 屈請 5 奏請 6 来請 1 苦請 2
祈請 3 勸請 1 延請 1 固請 1 託請 1 諮請 1 訴請 1
禱請 1 奉請 1 伏請 2 蒙請 1 申請 1 更請 1 献請 1
私請 1

右の85例を分析してみると、各用例は動詞、副詞が「請」に前置される。動詞が上接する時、訳せば「…して…を（…して）請う」になる。原文に一番多く使われた「望請」を例にすると、「望むことは…を（「下接の動詞」して欲しいと）請う」と解釈すべきだと思われる。此処の「望」は後述した内容・行為を請求する時、請求者の懇切な気持ちと上位者に対しての敬意を表すことができる。副詞が上接する時、訳せば「…に請う」になる。例えば、「苦請」は「苦しくして…を（「下接の動詞」して欲しいと）請う」と解釈される。『日本書紀』の②と同じである。

○『日本後紀』

『日本後紀』は、平安時代初期に編纂された編年体の勅撰史書で、藤原緒嗣らの撰による。

⑤、「請」＋動詞の用例（22例）

請曰 1 請誅 1 請更 1 請裁 2 請許 1 請問 2 請入 1

請擇 1 請頌 1 請准 1 請減 2 請給 1 請停 1 請除 1
請遷 1 請令 1 請奉 1 請致 1 請發 1

右の22例を分析すると、①、③と同じく全ての用例は動詞「請」＋具体的動作などの意味のある動詞の形である。訳すと「…して欲しいと請う」、つまり、「ある行為を請求する」の意として使われていることが判った。

⑥、修飾語＋「請」の用例（70例）

奏請 6 申請 1 矜請 1 伏請 33 始請 1 上請 1 重請 1
覆請 1 宜請 2 望請 2 固請 2 表請 1 預請 1 停請 1
冒請 1 延請 1 起請 4 来請 1 議請 1 輒請 2 誠請 1
陳請 1 告請 1 苦請 1 屈請 1 賚請 1

右の70例を分析すると、各用例は動詞、副詞と名詞が「請」の前にあり、「…して…を（…して欲しいと）請う」・「…に…を（…して欲しいと）請う」の意である。請う時の様子・状態・気持ちを表し、また、上位者（天皇）に対しての敬意も含み、②、④と同様の「如何なる様子・状態でその行為を請求するのか」の用法だと判断される。

○『続日本後紀』

『続日本後紀』は、日本の平安時代に成立された編年体の歴史書で、摂関政治へ移行する時代の史書である。

⑦、「請」＋動詞の用例（33例）

請停 4 請易 1 請廻 1 請辭 4 請減 4 請為 1 請除 2
請令 2 請返 2 請垂 1 請解 3 請用 1 請替 2 請託 1
請奉 1 請補 1 請退 1 請准 1

右の33例は①、③、⑤と同じく全部の用例が動詞「請」＋具体的動作などの意味のある動詞の形である。訳すと「…して欲しいと請う」の意になる。つまり、「ある行為を請求する」意に使用されたことが判明した。その内、「請返」は二例あり、「…を返して欲しいと請う」の意である。

⑧、修飾語＋「請」の用例（61例）

陳請 3 開請 1 望請 39 起請 2 並請 1 伏請 2 未請 1
祈請 3 屈請 1 宜請 1 奉請 2 確請 1 奏請 1 上請 1
重請 1 固請 1

右の61例を分析して見ると、各用例は動詞、副詞と名詞が「請」の前にあって、「…して…を（…して欲しいと）請う」・「…に…を（…して欲しいと）請う」の意である。「請」の上接語は請求者が請う時の様子・状態或は心境を表示する。また、上位者（天皇）に対しての敬意も含んでいる。②、④、⑥と同じく「如何なる様子・状態でその行為を請求するのか」の用法として使われたことが判明した。

○『日本文徳天皇実録』

『日本文徳天皇実録』は、平安時代の編年体の史書である。

⑨、「請」＋動詞の用例（17例）
請稟 1 請擇 1 請准 2 請問 2 請加 4 請止 2 請除 1
請發 1 請為 1 請誅 1 請至 1

右の17例は、①、③、⑤、⑦と同様に全部の用例が動詞「請」＋具体的な意味のある動詞の形である。訳せば「…して欲しいと請う」の意味になる。つまり、「ある行為を請求する」の意として使われたことが判った。

⑩、修飾語＋「請」の用例（26例）

勸請 1 屈請 1 苦請 2 奏請 4 敦請 1 別請 1 上請 9
望請 2 伏請 2 豫請 1 陳請 1 自請 1

右の26例の全てに動詞、形容動詞と名詞が「請」の前にあり、「…して…を（…して欲しいと）請う」・「…に…を（…して欲しいと）請う」の意である。請う時の様子・状態或は気持ちを表して、同時に上位者（天皇）に対しての敬意も含まれる。②、④、⑥、⑧と同じ「如何なる様子・状態でその行為を請求するのか」の用法だと判断できた。

○『日本三代実録』

『日本三代実録』は、日本の平安時代に編纂された編年体の史書で、藤原時平、菅原道真、大蔵善行、三統理平による。

⑪、「請」＋動詞の用例（125例）

請解 10 請除 3 請賜 6 請為 3 請准 5 請罷 14 請従 2

請集2 請用4 請停7 請刊1 請捨2 請安置2 請復4
 請奉4 請預2 請留1 請依6 請仮1 請辞1 請省1
 請頼1 **請返1** 請減7 請改1 請欲2 請入1 請配置1
 請移1 請開1 請止1 請還2 請試2 請隨1 請致仕3
 請給2 請収1 請援1 請發4 請降1 請割1 請調1
 請損1 請支1 請換1 請令1 請授1 請来1 請立1
 請領1 請出家1

右の125例は**①、③、⑤、⑦、⑨**と同じ様に全部の用例が動詞「請」
 + 具体的な動作などの意味のある動詞の形であり、「…して欲しいと請う」、つまり、「ある行為を請求する」意として使われている。此の中に「…を返して請う」を表す「請返」一例と記述して掲げたが、部分一?の終わりに述べた三例と矛盾している。二例は「請」の前に「望」と「多」が上接するため、この分類ではなく「修飾語+「請」」に分類したが、「日本三代実録」には、「請返」が計三例あるということに注目しておきたい。

⑫、修飾語+「請」の用例(278例)

奏請20 伏請12 苦請3 申請39 屈請7 望請132 **返請1**
 陳請8 起請19 固請1 虚請1 懇請1 来請3 復請2
 確請1 延請1 祈請6 重請2 謹請3 自請1 必請1
 多請1 同請1 先請2 表請5 三請1 不請3 未請1
 各請1

右の278例に「返請」の一例外には動詞と副詞が「請」の前にあって、「…して…を(…して欲しいと)請う」・「…に…を(…して欲しいと)請う」の意である。請う時の様子・状態或は気持ちを表して、上位者(天皇)に対する敬意も込めている。**②、④、⑥、⑧、⑩**の用例と同じく「如何なる様子・状態でその行為を請求するのか」の用法である。そうであれば、「返請」は語順から「返して…を(…して欲しいと)請う」に訳すべき語順である。

しかし、原本を調べると、此処の「返請」は「捕まれた馬を返して欲しいと請う」の意である。つまり、**⑪**にある「請返」と先に注目させた二例の「請返」と同じように「…を返して欲しいと請う」の意である。同じ意味、同じ用法であるが、語順が異なる。すなわち、「日本三代実録」においては、「返請」も「請返」も同じ意味を表していることが問題となる。

以上六つの資料を検討した結果、「請」は動詞として連文を作る場合、下接の動詞に全て具体的な意味あり、其の行為に関する請願である。

「返請」の語順の「返」は、どのような様子・状態・思いを表現する位置にあって、下接の行為を請求したのかを表す語順のパターンである。「返請」は孤例であるが、「請返」と同じ意味を表すものとして使われている。『将門記』にある「返請」と共に語順の問題として、日本語的語順の用法であると考えられる余地が

あることが判明した。

三、まとめ

六国史における全て用例を検討したところ、『日本三代実録』に一例の「返請」の語順で、中国語文等には表れない用例が確認された。

稿者の拙稿では、中国語文に近いと確認した『日本三代実録』は、本稿で語順に問題があることが判明した。この例は真福寺本『将門記』にある「返請」の例と同じ意味、同じ語順であることより、『日本三代実録』他、六国史が正格漢文と称されて本当に良からうかと考える必要がある。また、楊伯峻著『古漢語虚詞』（中華書局1981年2月第1版 2000年8月北京第3次印刷）に記述される「請」には副詞の用法があると述べられている。しかし、六国史には、「請」は副詞の用例が見つからない。動詞と名詞の用法しか存しておらず、六国史は正格漢文と評価されるものの、中国の古漢文に現れる「請」の用法より狭く、中国古漢文と性格漢文といわれる日本漢文の六国史とは、漢字の用法に距離があるものと認めざるを得ない。

今後は「請返」と「返請」に関するこの論考の視点から、中国側の漢字の用例と日本漢文である六国史がどのような距離があ

るかの検討を重ねていきたい。

注

- 1、小林芳規「将門記承德点本の仮名遣をめぐって」（『国文学攷』第 四九号、一九六九年三月）
- 鈴木恵「真福寺本将門記に於ける助字の訓法と詆添の方法」（『鎌倉時代語研究』第二輯、一九八九年七月）
- 倉時代語研究』第二輯、一九八九年七月）
- 小林芳規「和化漢文における口頭語資料の認定」（『鎌倉時代語研究』第二輯、一九八九年七月）
- 2、資料庫の内容は經・史・子・集の四部を含めて、其の中に史部を以て主とし、經・子・集部を以て輔とする。若し類別を以て所属すると、又略して宗教文献・医薬文献・文学與文集・政書・類書與史料彙編等となる。二十餘年を以て歴代の典籍を収録し、九百三十四種、五億二千五百九十六萬字に達して、内容は主に全部の重要な典籍を包括している。
- 3、正史『北史』（唐）李延壽撰、楊家駱主編 底本…元大徳本
用例…雍表暴忠罪、陳己不能匡正、請返私門。（元雍は上表して于忠の罪を暴き出し、自分が匡正する事が出来ないのを陳述し、自分を家に返して欲しいと請う。）列傳第七／獻文六王／高陽王

雍 子泰 泰子斌による。

- 4、正史『新唐書』（宋）歐陽修・宋祁撰、楊家駱主編 底本…北宋嘉祐十四行本

用例…初東寇也，連歲不解，其大臣請返國，不聽，自殺者八人。

（初めて東に侵略して、連年にやめなかった。其の大臣が（松贊干布に）國に返して欲しいと請いたが、（松贊干布は）聴かなかつた。自殺した者は八人。）列傳第一百四十一上吐蕃上による。

- 5、地理『徑山志』（明）李燁然刪定、徐文龍・陳懋德訂、宋奎光輯 明天啓四年（1624）原刊本

用例…遵其師遺囑願盡散去立有議單不佞遂從衆權啓請返錫住持此山以保全名（…錫を返して欲しいと請う。…） 卷之八／書啓

／請慈門主化城による。

明の時代の資料であるため、時代が下り過ぎて参考にならないかもしれない。

（注の3、4、5の用例の日本語訳は稿者より）

引用依拠文献

- ・ 真福寺本『将門記』 古典保存会 一九二四年八月
- ・ 『北史』（唐）李延壽撰、楊家駱主編 底本…元大徳本
- ・ 『新唐書』（宋）歐陽修・宋祁撰、楊家駱主編 底本…北宋嘉祐十四行

本

- ・ 『徑山志』（明）李燁然刪定、徐文龍・陳懋德訂、宋奎光輯 明天啓四年（1624）原刊本

・ 漢典 (<http://www.zdic.net>)

- ・ 『漢語大詞典』十二卷本 羅竹風 主編 漢語大詞典編輯委員會／漢語大詞典編纂処編纂 上海辭書出版社一九八六年十一月第一版一九八六年十一月第一印刷

- ・ 『日本書紀』、『続日本紀』、『日本後紀』、『続日本後紀』、『日本徳天皇実録』、『日本三代実録』朝日新聞本データベース

- ・ 『古漢語虚詞』楊伯峻著（中華書局1982年2月第1版 2000年8月北京第3次印刷）

資 料 篇

東寺觀智院藏注好選漢字索引

磯貝 淳一

凡 例

一、本索引は東寺観智院蔵注好選に使用されるすべての漢字を、『古代説話集 注好選 原本影印并 积文』（東寺貴重資料刊行会編、東京美術、1983年）所収の影印に基づいて収めたものである。

一、漢字の排列は大漢和辞典（諸橋轍次、大修館書店、修訂第二版、1989年）に従った。まずは 部首別に分類・排列し、同一部首の中では、画数の順に少画から他画に及ぶ排列とした。

一、当該字が大漢和辞典に存しない場合、所定の部首において、その部首の画数を除いた画数により、同画数の中の最後に排列した。この場合、標出字に*****を付してその旨を示した。

例 【口+貫】***** 等

一、漢字字体は原則として旧活字正字体に従うこととした。但し、JIS第四水準漢字の範囲に含まれない漢字字体については、以下の処理を施した。

①当該漢字に新字体が存する場合には、これを採用した。

②当該漢字がJIS第四水準漢字内に存しない場合には、これを外字として取り扱い、各字の構成要素によってこれを示した上で、大漢和辞典漢字番号を付すこととした。

例 【人+面】00890 等

一、標出字には全使用数を示し、個々の漢字の所在を巻数・丁数・表裏・行数で示した。

例 【一】(354) … 標出字及び使用数

〔上〕01才5 … 巻数・丁数・表裏・行数

一、踊り字（と）は当該字が示す漢字を判定した上で、その字の箇所排列した。

[付記] 本研究は、JSPS科研費15K02560の助成を受けたものである。

部 首 目 次

| 部首画数 | 索引页数 | | () | | () |
|------|------|-----|------|-----|------|
| | | 久 | (33) | 月 | (58) |
| | | 夕 | (33) | 木 | (59) |
| 一 | (5) | 大 | (33) | 欠 | (62) |
| 丨 | (7) | 女 | (35) | 止 | (63) |
| 丶 | (8) | 子 | (36) | 歹 | (64) |
| 丿 | (8) | 宀 | (37) | 殳 | (64) |
| 乙 | (9) | 寸 | (39) | 毋 | (64) |
| 丿 | (10) | 小 | (40) | 比 | (65) |
| | | 尢 | (40) | 毛 | (65) |
| | | 尸 | (40) | 氏 | (65) |
| 二 | (10) | 山 | (41) | 气 | (65) |
| 十 | (12) | 凵 | (41) | 水 | (65) |
| 人 | (12) | 工 | (41) | 火 | (69) |
| 儿 | (18) | 己 | (42) | 爪 | (71) |
| 入 | (18) | 巾 | (42) | 父 | (71) |
| 八 | (18) | 干 | (43) | 爻 | (71) |
| 冂 | (19) | 彡 | (43) | 片 | (72) |
| 冂 | (20) | 广 | (43) | 牙 | (72) |
| 彳 | (20) | 廴 | (44) | 牛 | (72) |
| 几 | (20) | 井 | (44) | 犬 | (72) |
| 凵 | (20) | 弓 | (44) | | |
| 刀 | (20) | 彡 | (44) | | |
| 力 | (22) | 彳 | (45) | | |
| 勹 | (23) | | | | |
| 匕 | (23) | 4 画 | | | |
| 匚 | (23) | 心 | (46) | 5 画 | |
| 十 | (23) | 戈 | (50) | 玄 | (73) |
| 卜 | (24) | 户 | (50) | 玉 | (73) |
| 卩 | (24) | 手 | (51) | 瓜 | (74) |
| 厂 | (25) | 支 | (53) | 瓦 | (74) |
| 厶 | (25) | 支 | (53) | 甘 | (74) |
| 又 | (25) | 文 | (54) | 生 | (74) |
| | | 斗 | (54) | 用 | (75) |
| | | 斤 | (54) | 田 | (75) |
| | | 方 | (54) | 疋 | (76) |
| 口 | (26) | 无 | (55) | 疒 | (76) |
| 凵 | (30) | 日 | (55) | 彳 | (76) |
| 土 | (31) | 日 | (58) | 白 | (77) |
| 士 | (33) | | | 皮 | (77) |
| | | | | 皿 | (77) |
| | | | | 目 | (77) |
| | | | | 矢 | (78) |

| | | | | | |
|----|------|-----|-------|-----|-------|
| 石 | (79) | 豆 | (99) | 骨 | (114) |
| 示 | (79) | 豕 | (99) | 高 | (114) |
| 内 | (80) | 豸 | (99) | 髟 | (114) |
| 禾 | (80) | 貝 | (99) | 鬥 | (114) |
| 穴 | (81) | 赤 | (100) | 鬼 | (115) |
| 立 | (81) | 走 | (100) | | |
| | | 足 | (101) | 11画 | |
| 6画 | | 身 | (101) | 魚 | (115) |
| 竹 | (81) | 車 | (101) | 鳥 | (115) |
| 米 | (83) | 辛 | (102) | 鹿 | (116) |
| 糸 | (83) | 辰 | (102) | 麥 | (116) |
| 网 | (85) | 辵 | (102) | 麻 | (116) |
| 羊 | (85) | 邑 | (105) | | |
| 羽 | (86) | 酉 | (106) | 12画 | |
| 老 | (86) | 采 | (106) | 黃 | (116) |
| 而 | (86) | 里 | (106) | 黑 | (116) |
| 耒 | (87) | | | | |
| 耳 | (87) | 8画 | | 13画 | |
| 肉 | (88) | 金 | (106) | 黽 | (117) |
| 臣 | (89) | 長 | (108) | 鼓 | (117) |
| 自 | (89) | 門 | (108) | 鼠 | (117) |
| 至 | (89) | 阜 | (109) | | |
| 白 | (89) | 隹 | (110) | 14画 | |
| 舌 | (90) | 雨 | (110) | 鼻 | (117) |
| 舛 | (90) | 青 | (111) | 齊 | (117) |
| 舟 | (90) | 非 | (111) | | |
| 艮 | (90) | | | 15画 | |
| 色 | (90) | 9画 | | 齒 | (117) |
| 艸 | (90) | 面 | (111) | | |
| 虍 | (93) | 革 | (111) | 16画 | |
| 虫 | (93) | 韋 | (111) | 龍 | (117) |
| 血 | (94) | 音 | (111) | 龜 | (117) |
| 行 | (94) | 頁 | (111) | | |
| 衣 | (95) | 風 | (112) | | |
| 西 | (95) | 飛 | (112) | | |
| | | 食 | (112) | | |
| 7画 | | 首 | (113) | | |
| 見 | (95) | 香 | (113) | | |
| 角 | (96) | | | | |
| 言 | (96) | 10画 | | | |
| 谷 | (99) | 馬 | (114) | | |

— 部

【一】(364)

【上】01オ5 01オ6 01ウ1 01ウ2 01ウ3 01ウ4
02オ1 02ウ1 02ウ1 02ウ1 02ウ1 02ウ2 02ウ4
03オ4 03オ4 03ウ1 03ウ1 04オ6 04オ6 04ウ1
05ウ1 07ウ2 07ウ6 10オ1 12オ5 13オ5 13オ6
14ウ3 15オ1 15オ3 16オ3 16オ4 16ウ3 18ウ2
18ウ2 18ウ4 19オ5 19ウ1 20オ5 20オ6 20ウ6
21ウ6 22オ1 22ウ2 22ウ2 23オ1 23オ1 23オ6
23オ6 23ウ3 26ウ3 26ウ5 27オ2 27ウ6 29ウ4
29ウ4 29ウ5 29ウ6 30ウ1 31ウ6 32オ5 32ウ1
34ウ2 35オ2 35オ6 35ウ3 36オ3 36ウ6 37ウ2
37ウ3 37ウ3 37ウ3 39オ4 39オ5 39オ6 39ウ1
39ウ2 39ウ3 39ウ3 40オ3 40オ3 40ウ1 【中】
01オ2 01オ6 01オ6 01オ6 02オ5 02ウ1 02ウ1
02ウ1 02ウ1 02ウ2 02ウ2 02ウ2 02ウ3 02ウ3
03オ3 03オ3 03オ3 03オ5 03ウ4 05ウ5 05ウ5
06オ5 06オ6 06オ6 06オ6 07オ2 07オ4 08オ4
08ウ5 08ウ5 09オ1 09オ1 09オ1 09オ6 09ウ5
10オ1 10オ2 10オ3 10ウ1 11オ6 11ウ2 11ウ6
12オ5 12オ6 12オ6 12ウ2 12ウ4 12ウ4 12ウ4
13オ1 13オ5 13ウ4 14オ2 14オ4 14ウ2 14ウ2
14ウ3 14ウ3 14ウ4 14ウ4 14ウ5 14ウ5 14ウ6
15オ4 15オ5 15ウ3 15ウ3 15ウ4 15ウ5 15ウ5
16オ5 16オ6 16ウ5 17オ6 18オ1 18オ2 21ウ2
22オ2 22オ5 22ウ3 22ウ3 22ウ4 22ウ6 23オ4
23オ4 23ウ1 24オ2 24オ3 24オ4 24オ6 24ウ1
24ウ1 25ウ1 25ウ3 26ウ1 26ウ1 27オ5 27オ5
28オ5 28オ6 28ウ4 29オ3 29オ4 29オ5 30オ2
30オ2 30オ3 30オ4 30ウ2 30ウ4 30ウ5 31オ3
31オ5 31ウ3 32ウ4 32ウ5 33オ2 33オ4 33ウ6
34オ4 34ウ1 34ウ3 35ウ5 36オ5 36ウ3 37オ1
37オ4 37オ4 37オ6 37オ6 37ウ1 37ウ1 37ウ2
37ウ3 37ウ4 37ウ5 38オ1 38オ4 38オ4 38オ5
38オ5 38オ5 38ウ5 40オ6 40オ6 40オ6 40オ6
40ウ2 40ウ2 40ウ3 40ウ4 40ウ4 41オ2 41オ2
【下】01オ2 01オ5 01オ6 01ウ1 01ウ1 01ウ2
01ウ4 02ウ6 03オ3 03ウ1 04ウ1 05オ5 05ウ5
06オ3 06オ6 06ウ4 06ウ4 07オ2 07オ2 07オ3
07ウ1 07ウ1 07ウ2 07ウ4 08オ1 08オ4 08ウ1

08ウ1 08ウ1 08ウ2 08ウ6 09オ1 09オ3 09オ4
09オ4 09ウ3 10オ3 10ウ3 10ウ5 11オ5 11オ6
11ウ1 12ウ1 12ウ5 13オ1 13オ3 13ウ6 15オ2
15オ4 15オ6 15ウ5 16ウ1 16ウ4 16ウ4 16ウ4
16ウ4 16ウ4 17ウ3 17ウ4 18オ3 18ウ1 19オ3
19オ6 20オ6 20オ6 20ウ1 21ウ2 21ウ3 21ウ4
21ウ4 21ウ5 21ウ6 22オ1 22オ2 22オ2 22オ4
22オ6 22ウ2 22ウ2 22ウ3 22ウ3 22ウ3 23オ2
24ウ1 24ウ3 24ウ3 24ウ3 24ウ4 24ウ4 24ウ5
24ウ5 24ウ6 25オ1 25オ1 25オ5 25オ5 25オ6
25ウ2 25ウ6 25ウ6 26オ1 26オ2 26オ4 26オ4
26ウ2 26ウ3 26ウ5 26ウ6 28オ1 30オ3 30オ5
31オ1 31オ5 31オ5 31ウ5 32オ5 32オ6 33オ2
33オ3 33ウ1 33ウ2 33ウ6 34オ3 34ウ3 34ウ3
34ウ3 34ウ4 34ウ4

【丁】(4)

【上】17オ3 17オ6 17ウ1 40オ1

【七】(78)

【上】02オ3 04オ4 04ウ1 06ウ3 06ウ4 06ウ5
09オ3 11オ5 12オ4 12ウ6 13オ1 14オ6 16オ2
17ウ5 18オ1 21オ2 21オ3 21オ3 25ウ1 26ウ4
27オ2 27オ5 27ウ3 28オ3 28ウ2 29オ1 29オ2
29オ4 29オ4 29ウ3 30オ2 31ウ2 32ウ6 33オ1
33オ4 33ウ3 35ウ6 37ウ1 39オ6 【中】01オ6
01ウ1 01ウ2 01ウ2 03オ3 08ウ4 10ウ5 10ウ5
14オ4 14オ4 15オ6 15オ6 15ウ5 16ウ2 18ウ4
20ウ2 27オ2 27オ4 32ウ3 33ウ5 34オ6 35オ2
40ウ5 【下】01オ6 02オ6 02ウ3 03オ2 03オ5
03ウ5 06ウ2 07オ2 16オ5 18ウ3 22オ3 28オ1
29オ4 29オ5 32ウ3 33オ1

【丈】(9)

【上】19オ5 28オ2 【中】24オ2 29オ1 31オ4
33ウ6 【下】04ウ1 26ウ4 32オ6

【三】(165)

【上】01ウ6 02オ1 02オ2 02オ3 02オ6 02ウ2
02ウ2 03オ2 05ウ6 09ウ6 10オ1 10オ3 10オ6
10オ6 11オ5 11ウ3 11ウ6 12ウ5 14オ3 14ウ3

15オ1 16オ6 16ウ5 17オ6 18ウ1 18ウ2 18ウ4
18ウ4 19オ2 19ウ2 21ウ5 23オ6 23オ6 27ウ3
28オ2 28オ4 31オ3 31ウ2 32オ2 32オ2 32オ2
32オ2 32オ3 36オ2 36オ3 36オ4 37ウ2 37ウ3
37ウ5 37ウ5 37ウ6 37ウ6 38オ1 38オ2 38ウ2
38ウ4 38ウ5 38ウ5 38ウ6 39オ6 【中】 01ウ1
01ウ1 02オ5 02オ6 02オ6 02ウ1 02ウ1 02ウ2
02ウ2 03オ4 03オ4 03オ5 03ウ3 04ウ1 04ウ2
04ウ2 04ウ6 06オ1 06オ4 11オ6 11ウ2 11ウ4
12オ1 13ウ4 14オ6 15オ6 15ウ2 23オ1 23ウ4
24オ2 24ウ4 25オ2 26ウ1 26ウ2 26ウ5 28ウ6
29オ2 31オ3 32オ2 32ウ2 32ウ2 32ウ6 33ウ2
33ウ6 34オ4 34オ5 34ウ4 35オ2 35ウ1 36オ1
37オ1 38オ2 38ウ2 40オ5 40ウ2 40ウ3 40ウ3
41オ1 41オ2 【下】 01オ3 01オ5 01ウ2 01ウ2
01ウ3 02オ6 02ウ1 02ウ3 03オ1 03オ4 03ウ2
03ウ5 03ウ6 04オ6 04ウ1 06オ3 06オ5 08ウ1
10オ3 12ウ4 16オ1 17ウ4 18ウ5 19オ5 21オ3
22オ5 22ウ1 24オ1 24ウ2 24ウ5 24ウ6 24ウ6
25オ4 25オ5 25ウ1 25ウ4 28オ5 28オ5 28ウ2
28ウ5 30オ5 30オ5 30オ5 30ウ6 31オ4 32オ4

【上】 (116)

【上】 01ウ1 02オ1 02オ2 02オ3 02オ5 02オ5
03ウ2 04ウ6 07オ4 07ウ3 11オ3 16オ6 16ウ6
17ウ2 19オ4 24オ4 25オ2 25オ2 25ウ5 28オ2
28オ4 28オ6 28ウ1 33オ5 35オ2 35ウ5 36ウ5
38ウ4 39オ5 41オ5 【中】 01オ4 01ウ3 02ウ3
04オ2 04ウ3 10オ2 12オ3 15ウ4 16ウ3 16ウ4
17ウ2 18オ3 18ウ6 22ウ4 24オ5 24ウ1 24ウ3
24ウ4 24ウ6 24ウ6 25オ2 25オ3 25オ4 25ウ1
25ウ3 26オ2 26ウ6 27オ4 28オ4 29ウ2 30オ5
31オ6 31ウ2 31ウ5 32オ1 32オ3 32オ3 34オ2
34オ2 34オ3 34オ4 35ウ1 35ウ3 36ウ2 36ウ6
39オ3 39オ4 39オ4 【下】 01ウ3 01ウ4 03ウ2
04オ2 04ウ5 05オ3 05オ4 07オ1 07オ2 07オ2
08オ1 12ウ3 14オ3 14オ4 15ウ5 16オ3 17オ3
17ウ1 17ウ2 17ウ2 17ウ2 17ウ5 19オ1 20ウ6
23オ6 23ウ1 23ウ1 26オ6 26オ6 26ウ1 28ウ6
29オ5 29オ6 31オ1 31ウ1 31ウ1 31ウ1 33オ2

【下】 (87)

【上】 01ウ1 02オ1 02オ2 02オ2 02オ5 02オ5
03ウ1 09オ3 09オ4 17オ4 18ウ2 18ウ4 19ウ1
22オ5 24オ4 26ウ2 29ウ2 32オ1 32ウ1 33ウ2
34ウ3 34ウ3 40オ1 40ウ3 41オ3 【中】 02ウ3
02ウ3 02ウ4 03オ1 03オ2 03ウ1 03ウ2 04オ2
04オ5 04オ6 04ウ1 04ウ1 04ウ2 04ウ2 04ウ3
04ウ3 04ウ4 06ウ3 10ウ5 11オ6 13ウ4 13ウ5
16オ3 20ウ1 20ウ5 21ウ2 23ウ4 24ウ4 29オ6
29オ6 29ウ3 31ウ5 31ウ5 33オ2 34オ2 35ウ4
35ウ4 38オ3 40オ5 40ウ6 【下】 01オ1 01オ4
01ウ1 01ウ1 01ウ5 02オ6 07オ2 07オ6 11ウ3
12ウ1 13ウ4 14オ3 17オ3 18オ3 18オ4 22オ6
24ウ2 25オ3 29オ5 29オ6 31オ3 32オ6

【不】 (354)

【上】 01オ3 02オ4 02オ5 06ウ1 06ウ6 06ウ6
07オ2 07オ6 07オ6 07ウ1 07ウ3 09オ4 09オ5
09オ5 09ウ2 10オ1 10オ4 10オ5 10ウ4 10ウ5
10ウ6 11オ3 11オ4 12ウ3 13オ4 15オ4 15オ6
15オ6 15ウ1 15ウ4 15ウ5 15ウ6 15ウ6 15ウ6
16オ4 16ウ3 16ウ4 16ウ6 17オ2 17オ6 17ウ4
17ウ5 18オ2 18オ2 18オ5 18ウ6 19オ2 19オ3
19オ3 19ウ1 21オ3 21オ5 21ウ1 21ウ2 21ウ3
21ウ3 22オ3 22ウ3 22ウ4 22ウ4 22ウ5 22ウ5
23オ1 23オ2 23オ4 23オ5 23ウ5 23ウ6 24オ3
24オ5 24オ5 24オ6 24ウ3 24ウ3 25オ3 25オ3
25オ6 25ウ3 26オ5 26オ5 26オ6 27オ1 27オ6
27ウ1 28オ4 29オ3 29ウ1 30オ1 30オ4 30オ6
30ウ2 30ウ2 30ウ2 30ウ2 30ウ4 30ウ6 31オ2
31オ4 31オ6 31ウ4 32オ3 32オ5 32ウ1 32ウ5
33オ5 33オ6 33ウ2 34オ4 34ウ1 35オ4 35ウ6
36オ2 36ウ2 36ウ3 37オ3 37オ3 37オ5 38オ2
38オ6 38オ6 38ウ3 39オ2 39オ5 39オ5 39オ6
39オ6 39ウ4 39ウ4 40ウ2 40ウ5 41オ2 41オ2
【中】 01ウ3 02オ5 02オ6 03ウ1 04オ4 04ウ3
04ウ5 05オ5 05オ5 05ウ1 06ウ1 06ウ5 07ウ5
07ウ5 08ウ6 08ウ6 09オ2 09オ3 09ウ6 10オ2
11オ5 11ウ5 12オ1 13オ3 13ウ2 14オ6 14ウ3
15オ1 15ウ3 16オ1 16ウ3 16ウ3 17オ4 17オ6
18オ6 19オ3 19オ3 19オ5 19オ6 20オ4 20ウ2

20ウ2 20ウ3 20ウ4 20ウ6 21オ1 21ウ4 21ウ5
 21ウ5 22ウ4 22ウ5 22ウ5 22ウ5 22ウ6 23オ5
 23オ6 23ウ5 24オ3 24ウ2 24ウ3 24ウ5 24ウ5
 24ウ6 25オ3 25オ4 25ウ6 26オ6 26オ6 26ウ2
 26ウ3 26ウ4 27オ6 27ウ3 27ウ4 27ウ4 28オ4
 28オ5 28オ6 28ウ5 29オ5 29ウ4 29ウ5 29ウ6
 30ウ2 30ウ6 31オ1 31オ1 31ウ4 31ウ6 32オ1
 33オ4 34オ3 34オ3 34ウ5 35オ6 36ウ3 36ウ4
 36ウ5 36ウ6 37オ1 37オ1 37オ3 37ウ2 37ウ3
 38オ6 38ウ5 39オ1 39オ4 39オ6 39ウ1 39ウ1
 40オ2 40オ3 40ウ4 40ウ6 41オ1 【下】01ウ4
 01ウ4 03オ3 03オ3 04オ5 04オ6 04ウ3 04ウ6
 04ウ6 05オ6 05ウ1 05ウ1 05ウ2 05ウ6 07オ5
 07オ6 07ウ1 07ウ2 07ウ4 07ウ5 08オ5 08ウ3
 08ウ3 08ウ6 09オ2 09オ3 09オ4 09オ5 09オ6
 09ウ6 10オ2 10ウ3 10ウ3 10ウ4 10ウ4 10ウ6
 11ウ2 11ウ2 11ウ2 11ウ4 11ウ5 13オ3 13ウ1
 13ウ1 14ウ4 14ウ4 14ウ4 14ウ5 14ウ6 15オ2
 15オ5 15ウ6 16オ4 16オ4 16ウ4 17ウ2 18ウ5
 19オ1 19オ2 19オ3 19ウ4 19ウ6 20オ3 20オ3
 21ウ5 21ウ6 22ウ4 23オ2 23オ4 23ウ1 23ウ3
 23ウ4 23ウ4 24オ5 24オ6 25オ1 25オ3 25オ4
 25ウ1 26オ2 26オ2 26オ6 26ウ6 27オ3 27ウ5
 28オ5 28オ5 28オ5 29オ2 30ウ3 30ウ4 30ウ4
 30ウ4 31オ6 31ウ3 32ウ1 32ウ1 32ウ1 33オ3
 33ウ5 34オ2 34オ4 34オ5 34オ6 34オ6 34ウ6

【丑】(2)

【中】33ウ3 【下】31オ2

【且】(2)

【中】38ウ3 【下】22ウ6

【世】(62)

【上】01ウ2 01ウ2 03オ3 03ウ1 03ウ5 04オ1
 04オ5 06オ1 17オ5 18ウ4 19オ3 25オ5 25オ5
 30ウ2 40オ4 【中】05オ2 07ウ2 08オ5 11オ4
 11オ6 12ウ6 13ウ3 15オ5 15オ5 23ウ4 33ウ2
 35オ3 35オ6 36オ1 36ウ5 38オ1 38オ3 39オ1
 39オ1 【下】05ウ6 06ウ3 08ウ2 08ウ4 08ウ5
 09オ1 09ウ6 11ウ6 12オ1 12ウ3 14ウ2 16ウ2

16ウ2 18ウ5 18ウ5 18ウ5 21オ4 22オ4 22ウ1
 23オ4 26オ2 26ウ2 29ウ6 30オ1 30ウ3 31オ5
 33オ5

【丘】(39)

【中】06オ3 06ウ2 08ウ2 12オ5 12ウ1 12ウ2
 12ウ3 12ウ6 13オ1 13オ2 13オ6 13ウ1 13ウ5
 14オ2 14オ2 19ウ4 19ウ5 20オ6 20ウ1 20ウ5
 20ウ6 22ウ2 24ウ3 25オ5 27ウ6 28オ1 28オ1
 28ウ1 35ウ2 36ウ5 36ウ5 37ウ6 38オ1 38オ2
 【下】06ウ5 15オ6 22オ3 22オ4 22オ5

【丞】(1)

【上】23ウ2

丨 音

【中】(130)

【上】01オ6 01ウ4 01ウ4 01ウ5 01ウ6 01ウ6
 02オ1 02オ6 02ウ1 02ウ1 02ウ3 02ウ5 05オ4
 09ウ6 11オ6 11ウ1 13オ4 14オ1 16オ1 18オ3
 19オ1 19オ3 19オ5 19オ5 19オ5 19ウ1 19ウ6
 21オ2 21オ4 23ウ5 24オ2 24ウ2 24ウ4 25オ3
 25オ4 26ウ6 27オ1 27ウ4 29オ2 31オ4 34ウ4
 35オ5 35オ6 35ウ3 36オ1 36オ2 36オ2 36ウ6
 38オ5 38ウ5 【中】01オ1 02ウ3 05ウ4 09オ3
 10オ6 10ウ2 11ウ3 12ウ2 12ウ6 13ウ3 16オ2
 16オ5 17オ5 18ウ6 19オ2 19オ3 19ウ5 21ウ3
 22ウ4 23オ2 25ウ3 26ウ5 28オ4 29ウ2 30オ4
 32オ5 33オ1 33ウ3 34ウ1 35ウ2 35ウ5 36オ5
 36ウ3 37ウ4 38オ3 39オ3 【下】01オ3 01ウ4
 02オ2 02オ3 04オ3 05オ4 05オ5 07オ3 07オ6
 09ウ3 10ウ4 11オ1 11オ6 11オ6 11ウ2 12オ1
 13ウ1 13ウ4 14ウ6 15オ1 15オ3 16ウ2 18オ2
 19オ1 19オ6 19ウ1 20オ3 20オ5 20ウ3 21オ3
 21オ5 21ウ6 22オ6 23オ4 23オ6 27オ6 28ウ5
 32オ6 32オ6 32ウ5 33ウ3 33ウ3 34ウ1 34ウ1
 34ウ4

ゝ 音

【丸】(6)
〔上〕39オ6 〔中〕22ウ3 26ウ1 26ウ1 27オ5
27オ6

【丹】(6)
〔上〕19ウ3 27オ5 27ウ2 27ウ4 〔中〕40オ2
〔下〕24オ5

【主】(12)
〔上〕24オ5 28オ5 〔中〕07オ6 12ウ1 12ウ4
16ウ4 17ウ2 27オ3 27オ5 〔下〕07ウ3 09ウ4
10ウ1

ㇿ 部

【乃】(16)
〔上〕16ウ6 20オ1 24オ2 24ウ4 25オ4 26オ2
27ウ2 35ウ2 36ウ3 〔中〕11ウ4 12ウ2 20オ1
24ウ5 36オ2 〔下〕25ウ5 26オ4

【久】(11)
〔上〕01オ6 02ウ2 09オ5 33ウ2 36オ2 41オ1
〔中〕11オ1 20ウ2 38オ1 〔下〕08ウ3 22オ4

【之】(448)
〔上〕01オ4 01オ6 01ウ1 03オ3 03オ3 03ウ1
03ウ5 04オ5 04オ5 04ウ1 04ウ5 04ウ5 04ウ5
04ウ6 05オ1 05オ3 05オ6 05ウ2 05ウ3 05ウ3
05ウ5 06オ4 06ウ1 06ウ5 07ウ3 07ウ6 09オ1
09オ2 09ウ2 09ウ2 09ウ3 10オ4 10ウ3 11オ1
11オ3 11オ6 11オ6 11ウ1 12オ1 12オ4 13オ2
13オ5 14ウ2 14ウ3 14ウ4 14ウ5 15オ1 15オ2
15オ2 15ウ1 16オ2 16オ4 16オ6 16ウ4 17オ2
17オ4 17オ5 17オ6 17オ6 17オ6 17ウ1 17ウ1
17ウ2 17ウ2 18オ2 18オ5 18オ5 18オ6 18ウ2
18ウ4 18ウ4 18ウ5 18ウ5 18ウ6 19オ3 19オ4
19オ5 19オ6 19ウ1 19ウ3 20オ3 20オ4 20オ4
20ウ1 21オ3 21ウ1 21ウ1 21ウ2 21ウ4 22オ1
22オ2 22オ2 22ウ4 22ウ5 23オ3 23オ3 23オ4
23ウ2 23ウ4 23ウ4 23ウ6 24オ1 24オ3 24オ5
24ウ3 24ウ4 24ウ6 25オ1 25オ1 25オ3 25ウ3

26オ1 26オ4 26ウ2 26ウ3 26ウ3 27オ1 27オ1
28ウ5 29オ2 29オ5 29オ6 29オ6 29ウ1 29ウ1
29ウ1 29ウ4 29ウ5 30オ1 31ウ4 33オ5 33ウ2
33ウ3 33ウ6 33ウ6 34オ2 34オ6 34ウ3 34ウ3
35オ2 35オ4 35オ5 35ウ2 35ウ3 35ウ3 35ウ3
36オ1 36オ2 36ウ2 36ウ6 37オ4 37オ5 37オ6
37ウ6 37ウ6 37ウ6 38オ5 38ウ2 38ウ2 38ウ4
39オ2 39オ3 39オ5 39オ6 39ウ1 39ウ1 39ウ1
39ウ4 40オ6 40ウ1 41オ1 41オ2 〔中〕01オ3
01オ3 01オ4 01オ5 02オ1 02オ3 02オ5 02オ5
02ウ4 03オ1 03オ1 03オ4 03ウ3 04オ2 04ウ2
05ウ2 05ウ2 05ウ2 05ウ3 06オ3 06オ4 06オ5
06オ5 06オ6 06ウ1 06ウ2 06ウ3 07オ4 07ウ2
08オ5 08オ6 08オ6 08オ6 09オ3 09ウ1 09ウ1
09ウ5 09ウ6 10オ1 10オ1 10オ6 10ウ4 11ウ2
11ウ2 11ウ2 11ウ4 11ウ4 12ウ1 12ウ2 12ウ4
12ウ6 13オ1 13オ3 13オ6 13ウ2 13ウ3 14オ4
14オ5 14ウ1 14ウ2 14ウ3 14ウ4 14ウ5 14ウ6
15オ2 15オ4 15ウ3 15ウ5 15ウ6 15ウ6 16オ1
16オ2 16オ3 16オ5 16オ6 16ウ6 17オ3 17オ5
17オ5 17ウ1 17ウ6 18オ6 18ウ1 19オ1 19オ2
19オ4 19ウ2 20オ3 21オ6 21ウ1 21ウ3 22オ4
22ウ3 23オ5 23ウ6 24オ1 24ウ2 24ウ3 24ウ4
24ウ5 25オ1 25オ1 25オ2 25ウ4 25ウ4 26オ1
26オ4 26ウ1 26ウ1 26ウ4 26ウ6 27オ5 27ウ3
27ウ5 28オ2 28オ3 28オ6 29オ2 29ウ1 29ウ3
29ウ3 30オ2 30オ6 30ウ6 31オ2 31オ5 31オ5
31ウ1 32オ3 32ウ3 32ウ4 32ウ4 32ウ5 33オ3
33ウ5 35オ3 35オ5 35ウ4 36ウ3 36ウ3 37オ5
37ウ3 37ウ4 38オ3 38オ6 38オ6 38オ6 39オ5
39ウ1 40オ1 40オ5 40ウ3 40ウ4 41オ1 41オ2
〔下〕02ウ3 02ウ4 02ウ4 02ウ4 02ウ4 02ウ5
02ウ5 02ウ5 05オ1 05ウ1 06オ3 06オ4 07ウ1
07ウ1 07ウ1 07ウ2 07ウ3 08ウ3 08ウ3 08ウ3
09オ3 09ウ1 09ウ4 09ウ5 10オ1 10オ1 10オ3
10オ5 10ウ5 11オ3 11オ4 11オ4 11ウ4 11ウ5
12オ3 12オ4 12ウ2 12ウ2 12ウ3 13オ2 14オ4
14オ6 14ウ2 14ウ2 14ウ3 14ウ5 15オ3 15ウ5
16オ3 16ウ1 16ウ1 16ウ2 16ウ2 16ウ2 16ウ4
16ウ5 17ウ1 17ウ2 17ウ5 17ウ5 17ウ6 17ウ6
17ウ6 18オ2 18オ3 18オ4 19オ2 19オ3 19オ3

19オ3 20オ3 20ウ6 21ウ6 21ウ6 22ウ1
22ウ4 22ウ4 23ウ2 23ウ4 24オ1 24オ4 24ウ2
24ウ6 25オ1 25オ4 25オ5 25ウ2 26オ6 26ウ1
27オ2 27オ4 27ウ4 27ウ6 28ウ1 28ウ1 28ウ3
28ウ3 28ウ5 29オ1 29オ5 29オ6 29オ6 29ウ5
30オ1 30オ1 30オ1 30オ2 30オ4 31オ1 31オ3
31オ6 31ウ1 31ウ2 33オ3 33ウ2 33ウ2 34オ3
34ウ1 34ウ4 34ウ5

【乍】(9)

〔上〕 32ウ6 〔中〕 20ウ4 24ウ3 30オ 〔下〕
05ウ5 08ウ6 12オ6 26オ2 34ウ6

【乎】(21)

〔上〕 19ウ3 20オ2 20ウ1 21ウ3 23オ2 23ウ5
24オ4 25オ6 27オ4 35オ5 35オ5 〔中〕 22オ6
22ウ5 28オ4 31オ1 〔下〕 08オ2 13ウ2 15オ5
27オ4 29ウ1 30オ2

【乏】(2)

〔下〕 13オ3 20オ3

【乘】(14)

〔上〕 05オ4 12ウ4 21オ2 33ウ2 40ウ1 〔中〕
11ウ4 34オ2 36ウ2 〔下〕 05オ4 13オ4 13オ4
13ウ3 29ウ5 32ウ5

乙 部

【九】(69)

03ウ5 05オ2 06ウ1 07オ3 09ウ4 11ウ6 12ウ2
12ウ6 15オ5 19ウ4 26オ4 26ウ1 26ウ3 27オ4
30オ2 33ウ4 34オ4 34ウ2 34ウ5 36オ4 36ウ1
36ウ4 37オ2 37ウ1 38オ3 39オ1 39オ1 〔中〕
01オ5 01オ5 01オ6 02ウ1 03ウ2 03ウ3 03ウ4
03ウ4 03ウ4 04オ6 04ウ1 09オ6 10オ5 15ウ3
20オ6 22ウ4 28ウ2 32ウ4 33オ2 34オ6 36オ1
38ウ6 〔下〕 04オ4 08オ3 11オ6 11オ6 11ウ1
11ウ4 11ウ4 11ウ4 11ウ5 11ウ5 11ウ5 14ウ2
14ウ5 16ウ1 17オ6 23オ3 23オ5 26ウ4 29オ4
34ウ2

【乞】(13)

〔上〕 28オ5 〔中〕 12ウ1 12ウ3 14ウ3 14ウ4
14ウ6 15オ2 16ウ1 24ウ2 24ウ3 24ウ6 25オ3
27オ3

【也】(462)

〔上〕 01ウ1 01ウ3 02オ5 02オ5 02オ6 02ウ1
02ウ1 02ウ1 02ウ3 02ウ5 03オ1 03オ4 03オ5
03ウ3 03ウ5 04ウ2 04ウ3 05オ4 05オ6 06オ5
09オ5 09ウ1 10ウ6 11オ3 11ウ1 11ウ5 12オ6
12ウ2 12ウ6 13オ2 13オ4 13ウ2 13ウ4 14オ5
14ウ1 14ウ2 14ウ5 15オ1 15オ4 15オ6 15ウ2
16オ2 16オ5 16オ6 16ウ3 16ウ6 17ウ2 17ウ2
17ウ6 18オ2 18オ5 18オ6 18ウ2 19オ4 19ウ2
19ウ5 20ウ3 20ウ5 21オ1 21オ5 21ウ3 21ウ4
21ウ4 21ウ6 21ウ6 22オ2 22オ3 22オ5 22オ6
22ウ5 22ウ5 22ウ6 23オ2 23オ3 23オ3 23オ6
23ウ2 24オ4 24オ5 24ウ4 25オ1 25オ3 25オ4
25オ5 25オ5 25ウ2 25ウ3 25ウ5 26オ1 26オ2
26オ4 26オ4 26オ6 26ウ2 26ウ3 26ウ5 26ウ5
26ウ6 27オ1 27オ1 27オ3 27オ6 27ウ2 27ウ6
28オ4 28ウ1 29オ3 29オ5 29ウ2 29ウ4 29ウ5
29ウ5 29ウ6 29ウ6 30オ1 30オ4 30オ6 30ウ4
31オ1 31オ2 31オ2 31オ4 31オ6 31ウ4 32オ4
32オ5 32オ6 32ウ1 32ウ5 33オ6 33ウ3 34オ2
34ウ1 34ウ4 34ウ6 35オ3 35オ6 35オ6 35ウ4
35ウ5 35ウ5 36オ3 36オ5 36オ5 36オ6 36ウ2
36ウ5 37オ1 37オ6 37ウ2 37ウ6 38オ1 38オ2
38オ2 38オ4 38オ4 38ウ5 38ウ6 39オ3 39オ5
39ウ1 39ウ2 39ウ2 40オ3 40オ4 40オ6 40ウ3
40ウ4 40ウ6 41オ1 41オ3 〔中〕 01オ5 01オ6
01オ6 01ウ4 02ウ4 03オ2 03オ3 03オ3 03ウ2
04オ2 04ウ3 04ウ4 05オ1 05ウ6 06オ3 07オ6
07ウ1 07ウ1 08オ2 08ウ1 08ウ2 09オ1 09オ1
09オ4 09オ4 09オ5 09オ5 09ウ2 09ウ2 09ウ6
10オ3 10オ4 10オ4 11オ1 11オ1 11オ2 11ウ3
11ウ5 11ウ6 12オ1 12オ2 12オ3 12オ3 12オ4
12オ4 13オ1 13オ3 13オ6 13ウ2 13ウ3 13ウ4
13ウ4 13ウ4 13ウ5 13ウ6 14オ1 14オ2 14オ4
14ウ2 14ウ6 15オ5 15ウ1 15ウ6 16オ2 16オ2

16オ3 16ウ2 16ウ3 17オ1 17オ6 17ウ2 17ウ4
17ウ4 18オ2 18ウ1 19オ1 19オ1 19オ3 19オ3
19ウ2 19ウ3 19ウ5 20オ2 20オ3 20オ5 21オ3
21ウ4 21ウ4 21ウ6 22オ5 22ウ2 22ウ3 22ウ4
22ウ6 23オ4 23オ5 23ウ1 24オ1 24オ2 24オ3
24オ3 24オ4 25ウ1 25ウ3 25ウ5 26オ1 26オ2
26オ3 26オ3 26オ4 26オ5 26ウ1 26ウ5 27オ1
27ウ4 27ウ5 28オ1 28オ4 28オ4 28オ5 28ウ1
28ウ5 29ウ6 30オ1 30オ3 30ウ2 31オ1 31オ2
31オ4 31オ5 32オ3 33オ5 33ウ1 33ウ4 33ウ4
33ウ6 34オ3 34オ3 34オ4 35オ1 35オ3 35オ4
35ウ6 36オ3 36オ6 36ウ5 37オ4 37オ4 37ウ2
37ウ5 38オ6 39オ1 39ウ1 40オ1 40オ1 40オ2
40ウ2 40ウ2 【下】 01オ6 01ウ4 01ウ6 02オ6
02ウ2 03ウ1 03ウ3 04オ2 04オ3 04オ3 04オ3
04オ4 04ウ1 04ウ1 04ウ1 05オ1 05ウ2 05ウ5
05ウ5 06オ3 06オ6 07オ4 07ウ1 07ウ2 07ウ5
07ウ6 08オ6 08ウ4 08ウ4 08ウ5 08ウ5 08ウ6
09オ4 09オ6 09ウ6 09ウ6 10オ4 10オ5 11オ1
11オ1 11オ2 11オ2 11オ2 11オ3 11オ3 11オ3
11オ4 11オ4 11ウ2 12オ2 12ウ1 12ウ1 12ウ3
12ウ5 13オ1 13オ3 13オ5 13オ6 13ウ2 13ウ3
14オ1 14オ3 14オ4 14オ5 14オ6 14ウ3 14ウ6
15オ2 15オ4 15ウ1 16オ1 16オ2 16オ3 16オ4
16オ6 16ウ1 16ウ2 16ウ2 16ウ4 17オ5 17ウ4
17ウ4 17ウ4 17ウ5 17ウ6 18オ5 18ウ4 18ウ5
19オ4 19ウ3 19ウ4 20オ1 20オ4 21オ5 21ウ2
21ウ5 22オ2 22ウ1 22ウ4 23オ4 24オ4 24オ4
24オ6 24ウ5 24ウ5 25ウ3 26ウ4 26ウ4 26ウ6
26ウ6 27オ4 27ウ2 27ウ5 28ウ1 28ウ3 28ウ5
29オ6 29ウ2 30オ2 30オ6 30ウ4 30ウ4 30ウ6
31オ1 31オ3 31ウ6 32オ1 32ウ2 32ウ6 33オ3
33オ5 33ウ6 34ウ1

【乳】 (3)

【中】 28ウ5 29オ1 【下】 03オ4

【乾】 (1)

【下】 15ウ6

【亂】 (6)

【中】 05オ6 40ウ6 【下】 25オ3 29ウ6 30オ1
34オ4

J 音

【了】 (35)

【上】 29ウ1 32オ3 39オ5 39ウ1 40ウ5 【中】
11オ5 11ウ6 13オ3 13オ4 14ウ4 14ウ5 14ウ6
15オ3 16ウ4 16ウ4 17オ6 17ウ6 20オ4 21ウ3
25ウ5 26オ1 26オ2 26ウ1 27ウ1 30オ2 31ウ2
31ウ4 32オ4 【下】 07オ3 10ウ5 18オ4 18ウ3
21オ2 26ウ3 31ウ2

【事】 (32)

【上】 05ウ3 05ウ3 06ウ5 28オ6 38オ1 38オ5
38ウ1 【中】 06ウ4 13オ5 15オ5 16ウ3 17オ6
18オ1 19ウ1 25オ1 26オ2 26オ6 31オ6 32オ1
33オ3 34ウ4 34ウ5 【下】 06オ1 06オ4 09オ1
10ウ2 21オ2 26オ1 26オ5 26ウ1 29ウ1 33ウ6

二 音

【二】 (128)

【上】 01ウ3 02オ2 02オ2 03オ4 03オ4 03オ5
03オ5 03ウ1 04ウ1 05ウ4 07ウ2 07ウ4 07ウ4
09オ3 09オ6 09ウ4 10オ3 12ウ1 14ウ1 14ウ3
14ウ4 16ウ1 18ウ5 19オ1 19オ1 19オ3 19ウ2
20オ2 21オ1 21オ6 22ウ2 23オ1 27オ5 27ウ5
28オ4 28ウ3 30ウ5 31オ4 32ウ6 33オ1 33ウ6
34ウ5 36オ1 40ウ1 【中】 01オ3 01ウ1 02ウ1
02ウ3 02ウ5 03オ4 03オ5 03オ5 03オ6 04オ6
04ウ1 06オ1 08ウ5 10ウ1 10ウ4 10ウ5 10ウ5
11ウ6 14オ3 17ウ1 21オ4 22ウ1 22ウ1 23オ1
25オ1 29オ1 29オ2 31ウ2 32オ2 33オ4 33オ4
34オ4 34ウ1 35オ3 37ウ6 38オ1 38ウ6 39ウ1
40ウ3 【下】 02オ1 02ウ6 02ウ6 03オ4 03ウ3
03ウ6 04オ6 06ウ2 06ウ4 06ウ4 06ウ6 07オ3
09ウ3 11オ2 12オ5 12ウ5 14オ5 15ウ6 16ウ2
16ウ4 16ウ5 18オ1 18ウ1 18ウ6 19オ1 22オ4
22ウ1 23オ3 23ウ4 24ウ6 25オ2 26ウ2 26ウ2
26ウ5 30オ5 30ウ5 32オ1 32オ6 33ウ1 33ウ1

33ウ3 34オ3 34ウ1 34ウ3 34ウ6

【干】(13)

【上】10ウ6 12オ3 24オ4 24オ4 27オ6 【中】
17ウ6 22ウ5 24ウ2 30オ4 34ウ1 【下】04ウ3
10ウ3 29オ3

【云】(371)

【上】01ウ4 02オ4 02ウ4 12オ6 13オ5 13ウ6
15オ2 17ウ5 18オ4 18オ4 18ウ2 18ウ3 19オ1
19オ3 19オ6 20オ1 20オ2 20オ3 20ウ4 21ウ2
21ウ3 21ウ6 22オ1 22オ1 22ウ6 23オ2 23オ2
23オ3 23オ4 23ウ4 24オ2 24オ3 24オ4 24オ6
24ウ1 24ウ2 25ウ3 25ウ4 25ウ6 26オ5 26オ5
27ウ1 27ウ5 28ウ1 28ウ3 29ウ5 30オ3 30ウ3
31オ1 31オ1 31オ1 31ウ3 32オ4 32オ5 32オ5
32ウ2 32ウ3 33ウ5 34オ5 35オ2 35オ4 35ウ2
35ウ3 35ウ3 37ウ2 37ウ5 38オ5 38オ6 38ウ1
38ウ3 39オ6 39ウ6 40オ2 40オ3 40オ4 40オ4
40ウ2 40ウ3 40ウ6 40ウ6 【中】01オ4 01オ4
01オ5 01オ6 01オ6 01ウ1 01ウ1 01ウ3 01ウ4
01ウ5 01ウ5 01ウ5 01ウ6 02オ1 02オ1 02オ1
02オ2 02オ2 02オ2 02オ2 02オ3 02ウ3 02ウ6
02ウ6 02ウ6 03オ1 03オ2 03オ2 03オ3 03オ4
03オ6 03ウ1 03ウ1 04オ2 04オ4 04オ5 04オ6
04ウ5 04ウ5 05オ1 05オ1 05オ4 05オ6 06オ1
06オ1 06ウ2 07オ1 07オ3 07ウ5 08ウ6 09ウ4
09ウ5 09ウ6 11オ1 11オ4 11オ6 11ウ4 12ウ1
13オ2 13オ2 13オ4 13オ6 13ウ1 13ウ3 13ウ3
13ウ5 15オ3 15オ5 15ウ5 16オ1 16ウ2 17ウ1
17ウ1 18オ3 18ウ2 18ウ3 18ウ6 18ウ6 19オ1
19オ2 19オ3 21オ1 21ウ5 23オ3 23オ4 23オ6
24オ1 24オ2 25オ4 25オ5 25ウ3 25ウ5 25ウ5
25ウ5 25ウ6 26オ1 26オ2 26オ2 26オ2 26オ3
26オ6 26ウ1 26ウ3 27オ1 27オ1 27ウ3 28オ3
28オ4 28ウ6 29ウ1 29ウ4 29ウ5 29ウ6 29ウ6
29ウ6 30ウ4 30ウ6 31オ1 31オ4 31ウ1 31ウ1
31ウ4 31ウ4 31ウ6 32オ3 34オ1 34ウ1 34ウ3
34ウ4 35オ5 35ウ2 35ウ5 35ウ6 36オ3 36オ4
36ウ5 36ウ6 36ウ6 37オ2 37オ3 37ウ3 37ウ3
38オ3 38オ4 38オ4 38オ4 38オ5 38ウ1 38ウ1

38ウ3 39オ3 39ウ3 39ウ5 39ウ6 40オ1 40オ2
40オ6 40ウ6 41オ2 【下】01オ3 01オ3 01オ3
01オ4 01オ5 02オ2 02オ2 02オ2 02オ2 02オ3
02オ3 02オ3 02オ4 02オ5 03ウ2 03ウ4 03ウ5
04オ1 04オ3 04オ5 04ウ4 04ウ6 05オ4 06オ6
06ウ1 06ウ1 06ウ3 07ウ4 07ウ6 08オ4 08ウ1
08ウ2 09オ1 09オ2 09ウ3 09ウ6 10オ5 10ウ1
10ウ2 10ウ3 10ウ3 11ウ2 11ウ5 11ウ6 12オ4
12オ4 12ウ6 13オ1 13オ1 13オ2 13オ3 13オ3
13オ4 13オ5 13オ6 13ウ4 14オ1 14オ1 14オ1
14オ1 14オ5 14ウ6 15オ2 15オ5 15ウ5 16オ6
16オ6 16オ6 17オ2 18オ3 18オ3 21オ1 22ウ1
22ウ2 22ウ2 22ウ2 22ウ3 22ウ3 22ウ6 23オ6
23ウ6 24オ3 24オ3 24オ6 24オ6 24オ6 24ウ3
25オ3 25ウ5 26オ1 26オ1 26オ5 26オ5 26オ6
26ウ1 26ウ2 27オ2 27オ6 27ウ4 28オ2 28オ3
28オ3 28オ4 28ウ1 28ウ3 28ウ3 29オ1 29オ5
29ウ4 30オ4 30ウ6 31オ5 31ウ1 31ウ3 31ウ3
31ウ5 32オ2 32オ2 32オ4 32ウ4 33オ2 33オ4
33オ4 33ウ1 33ウ4 33ウ6 33ウ6 34オ2 34オ3
34オ4 34オ5 34ウ3

【互】(8)

【上】06オ5 18ウ3 22ウ5 28オ4 【中】25オ1
25オ2 26オ3 31ウ4

【五】(133)

【上】03ウ4 04オ6 04ウ2 04ウ2 04ウ5 05ウ2
06オ4 06オ6 10ウ5 12オ6 13ウ1 15ウ3 16オ3
16ウ1 16ウ5 17オ1 17オ3 17オ3 17ウ3 18オ1
18ウ1 19ウ2 19ウ4 22ウ1 24オ5 26オ4 28ウ2
31ウ1 32オ5 32オ6 32ウ2 32ウ3 32ウ6 33オ1
33オ2 35オ6 36ウ4 【中】01ウ1 01ウ1 01ウ2
03オ5 04オ4 04オ5 06オ6 07オ5 08オ6 08ウ1
08ウ1 09ウ3 09ウ6 10オ1 10オ3 10オ3 12オ6
12ウ3 12ウ5 13オ4 13ウ5 14オ2 14ウ1 16ウ5
16ウ6 17オ2 20ウ5 24オ5 25オ2 25オ5 32ウ3
33オ5 33オ5 33オ5 33ウ2 33ウ3 33ウ6 34オ6
34ウ1 34ウ5 36ウ4 36ウ6 37ウ6 38オ1 38オ1
38オ2 39ウ2 40オ4 40オ6 40ウ1 40ウ2 【下】
01オ5 01ウ2 01ウ2 02オ4 03オ2 03オ5 03ウ2

03ウ5 03ウ5 04オ2 04オ3 04ウ1 05オ3 05ウ3
05ウ4 05ウ5 09オ3 14オ1 15オ1 16オ6 16オ6
16ウ3 16ウ3 18オ2 18オ4 20オ5 20ウ3 22オ3
22オ4 22オ4 22オ5 24ウ1 24ウ3 24ウ4 24ウ6
26ウ6 27オ5 30オ4 30オ6 31ウ2 32オ3 32オ5
32ウ6 33オ3 33オ4

【井】(7)

〔上〕13ウ6 13ウ6 14オ1 14オ1 〔下〕05ウ4
26オ2 26オ5

【亘】(2)

〔上〕34オ4 34ウ1

一 部

【亡】(5)

〔上〕16ウ6 22オ5 22ウ2 25オ4 37ウ4

【交】(6)

〔上〕11オ4 〔中〕31ウ4 32オ1 〔下〕11ウ2
31ウ4 31ウ5

【亥】(1)

〔中〕03ウ3

【亦】(17)

〔上〕20ウ4 25オ1 28ウ5 〔中〕02オ6 13ウ5
22オ6 34ウ6 〔下〕01オ3 01オ4 02オ2 02オ3
02オ3 02オ3 02オ4 10オ4 16オ2 16オ6

【京】(1)

〔中〕04オ1

人 部

【人】(375)

〔上〕01ウ5 03オ1 03オ3 03オ3 03ウ1 03ウ4
03ウ5 03ウ5 03ウ5 04オ1 04オ2 04ウ5 05オ6
05ウ3 06オ2 06オ2 06オ5 06ウ1 07オ6 07ウ3
07ウ5 09オ4 09オ4 09ウ5 09ウ6 10オ1 10オ4

10ウ3 10ウ6 11オ3 11オ3 11ウ4 12オ6 12オ6
12ウ2 12ウ2 12ウ6 13オ1 13オ4 13オ4 13ウ2
14ウ1 14ウ3 15オ1 15オ6 15ウ4 15ウ5 16オ4
16ウ2 16ウ6 17オ2 17オ4 17オ4 17ウ2 17ウ4
18オ2 18オ4 18ウ2 18ウ2 18ウ3 18ウ4 19オ4
19オ5 19ウ5 19ウ5 20ウ1 20ウ3 20ウ3 21オ1
21オ1 21オ5 21ウ1 21ウ6 21ウ6 22オ1 22オ3
22オ5 22オ5 22ウ2 22ウ2 22ウ2 22ウ3 22ウ4
23オ1 23オ1 23オ1 23ウ2 23ウ2 23ウ5 24オ6
25ウ2 25ウ2 25ウ2 26オ4 26オ4 26オ5 26ウ5
27オ3 27オ6 28オ4 28ウ3 29オ2 29オ5 29ウ1
29ウ4 30オ3 30オ6 30オ6 30ウ2 30ウ6 31オ6
31ウ2 31ウ6 32オ1 32オ4 32ウ1 32ウ5 33オ2
33オ5 33ウ5 33ウ5 33ウ6 33ウ6 34オ2 34オ5
34ウ6 34ウ6 34ウ6 35ウ2 36オ5 36オ5 36ウ2
36ウ5 37オ3 37ウ2 37ウ4 37ウ4 37ウ5 37ウ5
37ウ6 38ウ2 39オ2 39オ2 39オ3 39オ3 39オ5
40ウ3 40ウ4 40ウ4 40ウ4 40ウ6 41オ2 〔中〕
02オ6 04ウ4 04ウ5 05オ1 05オ1 06オ3 06オ5
06オ5 06ウ3 06ウ5 07オ2 07オ6 07ウ2 07ウ3
07ウ4 07ウ4 07ウ4 07ウ5 07ウ5 07ウ6 08オ1
08オ1 08オ5 08オ6 08ウ1 08ウ1 08ウ5 08ウ5
08ウ5 09ウ3 09ウ4 09ウ5 09ウ6 10オ1 10オ2
10オ3 10オ3 10オ3 10オ4 11オ3 11オ4 11オ5
11オ6 11オ6 11ウ2 11ウ2 11ウ2 11ウ2 11ウ3
11ウ4 11ウ6 12オ1 12オ4 12オ4 12オ6 12ウ2
12ウ6 14オ5 15ウ3 16オ2 17オ5 17ウ1 18オ2
19オ3 19オ6 19ウ2 20オ2 20オ3 20ウ1 21ウ6
22オ2 22オ3 22ウ2 22ウ4 22ウ5 24オ6 24ウ4
24ウ4 24ウ5 24ウ6 25オ6 25ウ3 25ウ3 27ウ1
27ウ4 28オ4 28オ6 28ウ3 28ウ4 28ウ5 28ウ6
28ウ6 29オ1 29オ2 29ウ4 29ウ5 30オ3 30オ5
30ウ4 30ウ5 30ウ5 30ウ5 30ウ5 30ウ5 31オ2
31オ4 31ウ2 31ウ2 32オ4 32オ4 32ウ1 32ウ1
33オ3 33オ4 33オ4 34オ3 34オ3 34ウ2 34ウ3
34ウ4 34ウ5 35オ6 35ウ3 35ウ3 36ウ2 37オ2
37ウ1 37ウ2 38ウ2 38ウ3 38ウ6 38ウ6 39オ4
39ウ3 40オ1 40オ2 40オ5 〔下〕02ウ4 03ウ3
04オ3 04ウ1 05オ6 05ウ1 06オ1 06オ6 06ウ5
07オ3 07オ4 07オ6 07ウ1 07ウ1 07ウ3 07ウ4
07ウ4 07ウ5 08オ1 08オ2 08オ4 08オ5 08オ5

08才6 08才6 08ウ1 08ウ1 08ウ1 08ウ1 08ウ2
08ウ3 08ウ5 09才5 09才6 10ウ3 10ウ4 10ウ6
12才4 12才4 12ウ3 14才1 16ウ1 16ウ3 16ウ3
16ウ3 16ウ4 16ウ5 17才2 17ウ5 18ウ2 18ウ4
19才3 19才3 19才4 19ウ6 20才1 20ウ6 21ウ1
21ウ4 21ウ5 22ウ5 22ウ6 23才2 23才3 23ウ1
23ウ6 24才4 24才5 24ウ2 26才5 26ウ1 26ウ1
26ウ3 27才4 27ウ6 28ウ5 28ウ5 28ウ6 29才2
29ウ1 32ウ5 32ウ6 34ウ3 34ウ3 34ウ4 34ウ4

【仁】(5)

【中】40才5 【下】24ウ2 30才3 30才6 32才4

【仇】(6)

【上】25ウ3 25ウ4 25ウ6 26才1 26才1 26才2

【今】(36)

【上】05才1 15ウ5 15ウ6 25ウ6 35才4 36才3
38ウ2 40ウ2 【中】05ウ5 05ウ6 06ウ2 07才3
09才4 11ウ5 12才2 12才2 12才3 12才3 12ウ1
14ウ6 16才1 21才3 22ウ4 22ウ6 31ウ4 36才5
【下】04ウ3 04ウ6 07ウ6 08ウ2 11ウ1 15才3
17才4 21才5 21ウ2 26ウ1

【仍】(50)

【上】21ウ3 29ウ2 29ウ6 30才4 30才6 31才2
31ウ4 38ウ5 39ウ2 【中】06ウ1 12ウ4 13才3
13ウ2 15才6 17才6 17ウ5 19才3 19才3 20才2
21才1 22才1 24才3 25才5 27ウ4 28才5 29才1
29才5 31才1 34ウ3 36ウ3 37才4 【下】04ウ3
08ウ2 09才4 10ウ6 13才5 14才6 15才2 21ウ1
23才3 26才6 26ウ6 28才6 30才1 30ウ4 31ウ3
33才5 34才4 34ウ1 34ウ6

【仕】(2)

【中】05ウ2 05ウ4

【他】(28)

【上】17才6 24才6 26才5 28ウ4 28ウ5 30才3
37才3 37ウ4 37ウ5 38才5 【中】05才2 07ウ4
11才1 11才1 18才4 23ウ5 32才3 32才4 34ウ2

36才4 38才2 【下】05ウ1 07才2 13ウ2 15才2
16ウ5 20ウ2 22才5

【付】(6)

【上】01ウ1 02ウ2 26ウ6 37ウ4 【中】09ウ5
10ウ6

【仙】(39)

【上】12ウ3 39ウ6 40ウ1 40ウ2 40ウ3 40ウ4
41才1 41才2 【中】05才1 05才2 05才2 05才5
05才6 05才6 05ウ2 05ウ4 05ウ6 07ウ2 07ウ2
07ウ2 07ウ5 07ウ5 07ウ6 08才1 39才5 39才5
39才6 39ウ1 39ウ1 【下】23ウ2 23ウ2 23ウ3
23ウ4 23ウ4 26才5 26才6 26ウ1 26ウ3 34ウ6

【代】(15)

【上】01才2 06才6 18ウ5 23才1 25ウ1 26才1
26才1 30才1 37ウ3 【中】15ウ1 15ウ3 22才1
【下】19ウ3 25ウ1 30才1

【令】(59)

【上】03ウ2 07ウ6 09才4 10才4 14才3 17才4
22ウ6 23ウ3 23ウ6 25ウ5 26ウ3 28ウ3 30ウ6
32ウ4 34ウ1 35才1 35ウ6 36才5 39才2 39ウ5
【中】04才1 05ウ5 09才6 11才6 11ウ6 12才4
12ウ3 16才5 16ウ3 16ウ5 21才2 26才6 26ウ5
28ウ6 29才1 29才2 29才3 29才5 29才6 29ウ1
30才4 30才4 31ウ1 37才3 37才4 39ウ5 【下】
06ウ5 11ウ2 13才4 13ウ3 17ウ5 18ウ2 24才1
24才2 25ウ6 27才2 28才4 28ウ6 31ウ5

【以】(141)

【上】01才6 01ウ4 01ウ5 03才4 03才4 04才2
04才2 06才1 06ウ6 07才2 07ウ1 07ウ5 10才4
10ウ6 12才4 13ウ6 14才5 15才3 15才4 16才5
16才6 16ウ2 19才1 19ウ2 20才2 20ウ4 21才2
21ウ1 22才2 25才6 25ウ4 28才2 28ウ5 31才4
32ウ5 33才6 34才2 35ウ5 36才6 36ウ6 37才1
37才1 37才5 38才2 38ウ1 38ウ3 39才6 40才2
40才3 40ウ4 40ウ4 40ウ4 【中】01才3 05才3
05ウ3 05ウ3 07ウ6 08才1 08ウ1 09ウ2 10才2

10才2 10ウ1 10ウ3 10ウ3 12才4 16才1 17ウ5
18才4 19才6 20才1 20才3 20ウ4 20ウ6 22才5
23ウ3 24才3 25ウ1 25ウ3 29才5 30才6 31ウ1
32ウ3 32ウ3 36才3 36才3 36才4 37ウ3 37ウ4
38才5 40ウ3 40ウ4 41才2 【下】 01才6 01才6
02才6 05才1 05才5 05ウ1 06才6 07才4 08ウ4
08ウ4 10才1 11才1 12才3 12才6 12ウ2 14ウ5
15才3 15才5 15ウ6 17才2 17才3 17ウ3 17ウ4
18才2 18才5 19才3 21ウ6 22才1 22ウ3 24ウ6
25才1 25才5 26ウ1 26ウ1 26ウ2 26ウ5 27ウ2
27ウ2 28才5 28ウ1 28ウ6 32才1 32ウ4 33才3
33ウ2 33ウ3 33ウ6 34才2

【仰】(7)

【上】 04ウ6 15ウ1 16才1 20ウ5 24ウ2 27ウ2
33ウ2

【伸】(6)

【上】 12ウ1 36才4 【中】 02才3 03ウ1 04才4
【下】 30ウ6

【件】(9)

【上】 28才6 【中】 16ウ2 17才4 40ウ1 【下】
04ウ4 08才1 18ウ3 24ウ5 29ウ4

【任】(15)

【上】 30ウ3 31才1 31ウ6 32才1 32才3 32才4
34ウ6 35才4 【中】 06ウ5 25ウ4 【下】 07才6
07ウ4 13才5 19ウ3 28ウ1

【企】(1)

【中】 18才1

【伊】(1)

【上】 23ウ2

【伏】(12)

【上】 04才5 16ウ6 27ウ2 【中】 05ウ1 12才5
14才2 18才6 【下】 07ウ4 08才6 09才1 26才2
33才2

【休】(4)

【上】 09才1 09ウ2 09ウ5 10ウ1

【伯】(5)

【上】 12ウ5 12ウ6 17ウ3 17ウ4 17ウ5

【估】(1)

【上】 12ウ4

【伴】(5)

【上】 12才3 【中】 12ウ1 28才6 【下】 26ウ5
33ウ1

【伺】(1)

【下】 33ウ2

【似】(5)

【中】 24才1 25ウ6 40ウ6 【下】 25才3 27ウ1

【伽】(6)

【中】 16才5 17ウ1 33ウ3 【下】 04才2 20才6
21才5

【但】(11)

【中】 13才3 16ウ3 18才2 21ウ4 26ウ3 37ウ3
40才5 【下】 15才6 17才4 21ウ6 24ウ2

【位】(24)

【上】 03ウ1 03ウ5 04才1 04才5 04ウ5 05才3
05才6 05ウ2 05ウ5 06才1 06才4 09才2 12才4
12才6 13才1 13才2 19ウ2 29ウ2 38ウ6 【中】
05才3 06ウ1 06ウ3 07才2 29才3

【低】(3)

【上】 20ウ5 【中】 38ウ5 【下】 23才2

【住】(28)

【上】 01ウ3 24才6 37ウ5 【中】 05才2 07才3
07才3 08才5 09才2 12才6 16才6 16ウ5 20才4
28ウ1 35ウ3 37才1 37才1 【下】 04ウ3 09ウ4
10才4 11才6 13才2 13才3 14才5 16才2 18才2
19ウ6 25ウ6 31才1

【何】(73)

〔上〕 01オ3 15ウ5 17ウ5 18オ4 18ウ3 18ウ3
 18ウ3 20オ1 20オ3 21ウ2 21ウ3 23オ2 23オ2
 23オ2 24オ4 25オ3 26オ5 31オ1 32オ4 35ウ4
 40オ4 40ウ6 〔中〕 03ウ3 07オ2 09オ1 10ウ6
 13オ6 13ウ1 13ウ3 15オ1 17オ4 19オ1 19オ4
 19オ6 20オ2 20オ3 24オ1 25ウ5 25ウ6 26ウ3
 27ウ3 28オ4 29ウ5 31オ1 31ウ6 32ウ3 33オ2
 36ウ4 36ウ6 37オ1 37オ3 38オ3 38ウ6 39オ3
 39ウ6 〔下〕 04ウ6 05オ5 06オ1 07ウ5 11ウ5
 13オ1 14ウ2 15オ6 15ウ4 18オ3 22ウ1 23オ6
 24オ3 26オ5 28オ4 33ウ3 33ウ6 34オ2

【佛】(157)

〔中〕 05ウ5 06オ5 07ウ2 07ウ3 07ウ3 08オ2
 09オ6 09ウ5 10オ2 10オ3 10ウ2 10ウ3 10ウ4
 11ウ3 11ウ6 12オ2 12オ2 12オ4 13オ3 13オ4
 14ウ3 16ウ3 17オ4 18ウ2 18ウ5 18ウ5 18ウ6
 19オ1 19オ1 19オ3 19オ5 19オ5 19ウ1 19ウ2
 20オ1 20オ2 20オ2 20オ3 20オ5 21オ1 21オ1
 21ウ4 21ウ4 22オ3 22オ3 22オ4 22オ5 22オ5
 22ウ2 23オ1 23オ2 23オ3 23オ6 23ウ2 23ウ3
 23ウ5 24オ2 24オ3 24オ3 25オ6 26オ3 26オ3
 26オ4 26オ6 26ウ3 26ウ3 26ウ4 26ウ4 26ウ6
 27オ1 27オ1 28ウ1 28ウ1 29ウ2 29ウ3 30オ2
 30オ2 30ウ2 31ウ1 31ウ4 32オ1 32ウ3 32ウ3
 32ウ5 32ウ5 32ウ6 33オ5 33オ6 33オ6 33オ6
 33ウ1 33ウ5 34ウ2 35オ3 35オ3 35オ5 35ウ4
 35ウ4 35ウ5 36オ5 36ウ3 36ウ5 36ウ6 37オ2
 37オ2 37オ3 37ウ2 37ウ3 38オ3 40ウ3 〔下〕
 02ウ2 02ウ4 04オ6 05ウ6 06オ1 06ウ2 06ウ3
 06ウ3 07オ3 11オ2 12オ2 12オ3 13ウ6 13ウ6
 14ウ1 14ウ2 15オ4 15オ6 15ウ1 15ウ4 15ウ5
 16オ4 17オ1 17オ3 17オ3 17オ5 17オ6 17ウ3
 17ウ4 17ウ5 17ウ6 18ウ5 20オ1 20オ2 20オ4
 20オ4 20オ5 21オ3 21オ4 21オ6 21ウ1 21ウ5
 21ウ5 22オ2 24ウ6 25ウ5 34ウ6

【作】(58)

〔上〕 01オ3 01オ3 04オ6 06オ4 09オ1 11ウ4

18オ2 18オ5 19オ2 22オ5 26オ5 31ウ2 35オ1
 35オ1 36オ3 36ウ4 39オ2 40オ5 40ウ6 〔中〕
 06オ5 09オ6 13オ6 15ウ6 16オ1 20オ2 20オ4
 21オ3 22オ5 22ウ2 24オ6 26ウ1 27オ3 27オ4
 27ウ1 27ウ2 27ウ3 28ウ1 33オ4 33オ4 34ウ2
 34ウ5 35オ6 37オ2 38ウ4 〔下〕 04ウ6 06オ1
 11オ4 14ウ5 17オ2 21ウ1 23オ1 25オ6 26オ5
 26ウ6 28ウ6 33オ4 33ウ3 34オ4

【個】(1)

〔下〕 27ウ4

【佰】(13)

〔上〕 23ウ1 23ウ3 23ウ3 23ウ4 23ウ6 24オ1
 24オ2 24オ3 24オ4 24オ6 24ウ5 25オ1 〔下〕
 25ウ1

【使】(14)

〔上〕 10オ4 19ウ1 22ウ4 22ウ6 27オ3 27ウ4
 28ウ3 30ウ3 35オ3 40オ1 40オ4 40オ5 〔下〕
 28ウ5 31ウ4

【來】(149)

〔上〕 04ウ3 06オ2 11オ1 12ウ2 14オ2 15ウ6
 17ウ1 18オ4 18オ4 18ウ3 20オ1 20オ6 22ウ3
 22ウ4 24ウ5 25ウ2 25ウ4 25ウ5 26オ1 26ウ5
 27ウ2 27ウ2 28オ5 28オ6 28ウ4 28ウ6 28ウ6
 29オ3 30ウ3 30ウ6 31ウ3 32ウ2 33オ2 33オ5
 33ウ3 34ウ1 37オ3 37オ3 37オ4 37オ4 40ウ3
 〔中〕 05ウ6 06オ4 06ウ5 07ウ2 07ウ5 08オ4
 08オ6 09オ3 09オ4 09オ4 09オ5 09オ5 09ウ4
 10オ1 10オ2 10ウ1 12オ6 12ウ1 12ウ4 14ウ3
 14ウ4 14ウ6 15オ1 15オ2 15オ2 15オ4 15ウ5
 16オ2 18ウ6 20ウ3 20ウ4 21オ3 21オ6 23オ2
 23オ2 23オ3 24オ2 25ウ5 26オ2 26オ5 26ウ4
 26ウ6 27オ5 29オ5 29ウ3 29ウ5 29ウ6 30オ2
 30オ3 30オ5 32オ3 32オ4 32オ6 33オ1 33オ3
 33オ6 33ウ3 34オ6 34ウ5 35オ1 35オ4 35ウ2
 36オ2 36オ4 36オ6 36ウ2 36ウ4 37オ3 37オ4
 37ウ1 39ウ4 40オ6 〔下〕 04オ5 04オ5 04ウ3

06ウ5 07ウ2 07ウ4 07ウ5 08オ1 08オ5 09オ2
09オ4 09オ5 09ウ3 09ウ4 11ウ3 12オ6 13オ3
13ウ5 18ウ3 19オ1 19オ6 19ウ2 19ウ2 19ウ6
20オ1 21ウ4 24オ1 24ウ3 25オ6 27オ3 27オ4
29オ5 30ウ4 31オ2 32ウ6 34オ3

【例】 (1)

〔中〕 25ウ6

【侍】 (1)

〔中〕 37オ3

【供】 (40)

〔上〕 02オ4 15ウ1 15ウ6 16オ2 16オ4 16オ6
20オ2 〔中〕 05ウ4 09ウ3 10オ2 11ウ1 12ウ2
13オ1 13オ3 14ウ3 14ウ5 14ウ6 15オ1 15オ2
16オ6 16ウ6 23ウ1 24ウ3 27オ4 30オ4 30オ5
30オ6 31オ2 32ウ4 34ウ3 34ウ5 〔下〕 06ウ4
11オ5 11ウ3 11ウ4 11ウ6 12オ2 14ウ2 16ウ5
16ウ5

【依】 (35)

〔上〕 11ウ5 22ウ6 25ウ2 25ウ4 32オ5 40オ2
〔中〕 09ウ6 12ウ4 13オ4 13オ6 13ウ1 16ウ6
17ウ5 18オ6 21オ2 22ウ6 28オ3 29ウ2 32オ4
32オ4 39ウ4 〔下〕 07ウ5 11ウ3 11ウ6 12オ1
16ウ3 21オ6 21ウ1 21ウ1 22オ6 23オ3 24オ1
29ウ6 31ウ2 34ウ6

【侶】 (1)

〔上〕 12オ3

【便】 (11)

〔上〕 07オ4 09オ1 13オ1 18オ6 20オ4 〔中〕
12オ1 〔下〕 06オ6 06オ6 13ウ6 17ウ6 33ウ3

【係】 (2)

〔下〕 21ウ3 26オ1

【促】 (2)

〔中〕 36ウ4 〔下〕 29ウ2

【俄】 (2)

〔上〕 33オ6 〔中〕 20ウ4

【俗】 (2)

〔中〕 20ウ1 〔下〕 12オ4

【保】 (3)

〔上〕 33ウ5 34オ2 〔下〕 30ウ3

【信】 (28)

〔上〕 23ウ6 24オ3 24オ5 29オ6 40オ5 41オ2
〔中〕 06オ3 10ウ2 12オ1 13オ3 13ウ2 13ウ6
13ウ6 14オ2 15ウ5 16オ3 17オ1 18ウ2 24オ4
27オ1 33ウ1 34オ3 〔下〕 06オ2 06ウ3 11オ4
29ウ1 30オ6 33オ5

【修】 (14)

〔中〕 07ウ1 10オ4 29オ4 32ウ5 34オ3 37ウ2
〔下〕 07オ3 07オ3 07オ4 14オ5 14ウ1 14ウ2
14ウ4 21ウ5

【俱】 (10)

〔上〕 09ウ1 12ウ3 〔中〕 12ウ3 31ウ1 34ウ1
〔下〕 01オ5 02オ4 13ウ3 16オ6 32オ1

【儀】 (1)

〔中〕 30オ4

【併】 (2)

〔中〕 18オ6 28オ6

【倉】 (4)

〔上〕 05オ4 〔中〕 14ウ1 15オ6 21オ2

【倍】 (3)

〔上〕 17オ5 〔中〕 14オ5 15ウ1

【倒】 (2)

〔上〕 24オ2 〔下〕 21ウ1

【値】(1)
〔上〕21才3

【倫】(4)
〔上〕20ウ1 〔中〕35才6 40才1 〔下〕24才4

【假】(8)
〔中〕02才5 38ウ6 38ウ6 〔下〕17才4 23才3
23才3 25ウ4 25ウ6

【偈】(3)
〔中〕15才3 35才5 35ウ5

【偏】(6)
〔上〕15才2 〔中〕27ウ1 37ウ3 40才5 〔下〕
21ウ6 24ウ2

【停】(6)
〔上〕10ウ3 32ウ2 33才6 〔中〕37ウ4 〔下〕
08才6 22才1

【健】(1)
〔上〕32ウ1

【人+面】00890 (1)
〔中〕39才1

【側】(5)
〔中〕05ウ4 09才2 23ウ3 23ウ6 〔下〕04ウ5

【人+丨+肴】***** (3)
〔上〕13才3 13才5 13才6

【傍】(8)
〔上〕11ウ4 34才5 〔中〕27才3 31才4 38ウ4
〔下〕13ウ1 18ウ2 23才1

【備】(7)
〔上〕05ウ3 15ウ6 37才3 37才3 〔中〕06才1
16ウ6 〔下〕11ウ4

【催】(1)
〔中〕24ウ4

【傭】(1)
〔中〕22ウ2

【傳】(5)
〔上〕09ウ3 37ウ3 〔中〕09ウ4 27ウ6 37才4

【傷】(2)
〔上〕26才1 32ウ1

【僅】(3)
〔上〕34才6 〔中〕05才4 20ウ1

【像】(3)
〔中〕20才2 〔下〕20才1 21才3

【偽】(2)
〔中〕21才6 32才4

【僧】(23)
〔上〕06ウ5 〔中〕10才6 21才2 22才1 22ウ3
23ウ6 24才1 30才4 30才5 30才6 30ウ2 31才2
32ウ4 35ウ5 〔下〕04才6 05ウ4 06ウ3 07ウ2
07ウ6 14ウ2 16才3 16ウ5 31ウ5

【價】(7)
〔中〕14ウ2 17才4 30ウ5 30ウ5 30ウ6 31才6
34ウ4

【儀】(6)
〔上〕06ウ5 11才5 17才4 〔中〕23ウ1 26才6
26才6

【億】(13)
〔中〕01才6 01ウ1 01ウ2 03才3 03才4 03才5
04ウ1 04ウ2 04ウ2 04ウ3 〔下〕01ウ2 03ウ6
26ウ4

【優】(1)

〔中〕 32ウ6

儿 音

【元】 (5)

〔上〕 09ウ1 09ウ1 09ウ2 09ウ3 12オ2

【兄】 (10)

〔上〕 18ウ5 22ウ2 22ウ3 22ウ5 22ウ5 32オ4
32オ5 37ウ2 〔中〕 12オ1 12オ3

【充】 (1)

〔中〕 03ウ6

【先】 (18)

〔上〕 06ウ5 10ウ3 17オ5 34オ1 〔中〕 02ウ6
06ウ5 08オ5 08ウ1 15オ1 〔下〕 02ウ6 06ウ5
11ウ6 18オ3 19オ6 26オ6 31オ2 33ウ4 34オ4

【光】 (14)

〔上〕 07ウ1 〔中〕 10オ1 10オ6 12オ2 22オ3
22オ4 22オ5 〔下〕 01オ4 01ウ4 01ウ5 04ウ5
17オ2 21オ3 31オ2

【免】 (13)

〔上〕 23オ1 33オ3 38オ3 〔中〕 25オ4 25オ6
28オ3 〔下〕 08オ3 12ウ2 14ウ2 14ウ3 15ウ4
30オ2 31ウ3

【兔】 (6)

〔上〕 36ウ6 38ウ5 〔下〕 02オ1 02オ2 02オ2
02オ3

【兒】 (9)

〔上〕 14ウ6 15オ3 23ウ3 23ウ4 31ウ3 31ウ3
31ウ3 〔中〕 17ウ4 〔下〕 29オ2

入 音

【入】 (83)

〔上〕 07ウ1 12ウ2 13ウ6 18オ2 18オ5 19オ2

19ウ6 20ウ3 21オ4 23ウ3 24オ2 24ウ6 25オ1
27オ1 29ウ4 29ウ5 34ウ3 34ウ4 35オ5 35ウ3
36オ1 36オ1 36オ2 37オ3 39ウ6 〔中〕 04ウ1
05オ3 05オ4 05ウ5 06ウ2 07オ2 07オ4 11オ5
11オ5 11ウ1 11ウ6 12オ1 12オ4 12ウ5 13オ2
13オ3 13オ3 17オ5 19ウ5 20オ1 20ウ5 20ウ5
22オ3 22ウ6 25オ1 26オ4 27オ1 27オ4 28オ1
29オ2 30オ5 30ウ1 30ウ4 31ウ1 31ウ4 32オ1
32オ5 32ウ5 34ウ1 35オ4 35オ5 35ウ2 35ウ5
36オ4 36ウ2 36ウ5 37オ2 40オ6 〔下〕 06オ5
06ウ5 12オ2 13オ5 17ウ5 18オ3 23ウ6 24ウ4
26オ2 34ウ6

【内】 (33)

〔上〕 04ウ1 15オ1 17オ4 17ウ1 25ウ3 28ウ5
29ウ1 34オ1 34オ5 38ウ6 〔中〕 03オ5 05ウ4
13オ1 14オ4 14ウ1 20オ1 20オ2 22オ3 24オ6
24ウ4 27オ4 29オ2 29ウ1 31オ4 31ウ6 〔下〕
02ウ6 03オ1 06オ3 06オ4 06ウ4 06ウ5 07ウ5
31オ6

【全】 (4)

〔上〕 18ウ5 〔中〕 14オ6 20ウ2 〔下〕 05オ2

【兩】 (20)

〔上〕 14オ2 14オ5 22ウ3 35オ1 36オ2 38ウ6
〔中〕 03ウ4 12ウ3 13ウ5 14オ2 25オ5 34ウ4
40ウ4 40ウ6 41オ1 〔下〕 16オ1 25オ1 25オ3
25オ4 33オ6

八 音

【八】 (76)

〔上〕 01ウ3 01ウ3 01ウ6 02ウ1 02ウ3 02ウ4
03オ4 04ウ4 07オ1 09オ6 11ウ3 14ウ6 15オ6
18ウ1 22オ5 26オ3 29ウ3 30オ5 30ウ1 30ウ5
31オ3 31オ5 31ウ1 31ウ5 33オ1 33オ4 33ウ1
33ウ1 33ウ4 38オ3 〔中〕 01オ6 03オ3 03オ4
03オ6 04オ6 04ウ2 05オ6 06オ1 09ウ3 10ウ5
19ウ4 22ウ5 27ウ6 33ウ6 35オ3 35ウ1 38ウ6
39オ4 40ウ2 〔下〕 01ウ1 02ウ2 02ウ5 03オ3

03オ6 03ウ5 04ウ1 07オ5 14オ3 14オ3 16オ2
17オ1 22ウ5 23オ2 23ウ1 24ウ5 26ウ3 26ウ5
28ウ2 28ウ4 29ウ3 29ウ4 29ウ6 33オ1 33オ2
33オ5 33オ6

【公】(3)

〔上〕14ウ4 32ウ2 32ウ5

【六】(75)

〔上〕06ウ2 06ウ5 11オ2 13ウ5 17ウ3 20ウ2
20ウ6 21オ6 21ウ5 22オ4 22ウ1 23ウ1 23ウ1
25ウ1 26オ3 26ウ1 27オ3 29オ1 31ウ5 37オ2
38オ4 〔中〕01オ6 01ウ2 02ウ1 02ウ2 03オ3
03オ6 03ウ3 04ウ3 06オ4 08オ3 09ウ4 14オ5
15ウ1 16ウ3 16ウ4 17ウ3 18オ2 25ウ2 25ウ6
28ウ4 29オ3 31オ5 34オ5 40オ4 〔下〕01オ5
01ウ2 02ウ1 02ウ2 03オ2 03オ5 03ウ1 03ウ3
03ウ4 04オ5 05オ4 05ウ3 05ウ5 09オ3 11ウ6
12オ1 14オ3 15ウ2 16オ1 20ウ1 21オ2 21ウ3
26オ4 26オ4 26ウ5 27ウ3 30オ5 32オ4 32ウ3
33オ3

【共】(19)

〔上〕13オ1 18オ3 18ウ2 19オ6 27ウ5 29オ6
33オ5 33ウ5 36オ2 〔中〕21オ1 24オ2 25ウ3
26ウ2 31ウ2 39ウ5 〔下〕04オ5 24オ2 31オ3
33ウ6

【兵】(6)

〔上〕38ウ2 38ウ3 38ウ4 38ウ5 38ウ6 〔中〕
28オ2

【其】(207)

〔上〕02オ1 02オ5 02ウ2 03オ3 04ウ1 05ウ2
07オ2 07オ6 07ウ1 07ウ3 07ウ3 09オ1 09ウ2
10オ4 10ウ6 11ウ1 11ウ1 11ウ4 12ウ6 13オ1
13オ4 13ウ3 13ウ3 14オ1 14ウ1 15オ4 15オ6
15ウ1 16オ1 16オ2 16ウ2 16ウ6 17オ4 17ウ4
17ウ5 18オ2 18ウ5 19ウ1 20オ4 20ウ3 21オ1
21オ4 21オ4 22ウ3 22ウ6 23オ1 23オ3 23オ4
23オ5 23ウ6 25オ1 25オ4 25ウ2 25ウ3 28オ6

31ウ2 31ウ6 33オ3 33オ6 34オ1 34オ6 34オ6
34ウ4 35オ6 35ウ6 36ウ5 36ウ6 37オ5 37ウ2
37ウ6 38ウ6 39オ5 40ウ5 〔中〕02オ5 04ウ1
04ウ2 04ウ2 04ウ3 05オ2 05オ6 05ウ1 05ウ6
06ウ2 07ウ2 08オ1 09オ4 09ウ6 10ウ3 10ウ5
11オ2 11オ4 12オ2 12オ6 13ウ4 14オ4 15オ6
15オ6 15ウ4 16オ1 16オ1 16オ1 16ウ4 16ウ4
17ウ4 18オ3 19ウ6 20オ4 21ウ4 23オ2 24オ2
27オ4 27オ4 27オ6 28ウ3 28ウ4 28ウ6 28ウ6
30オ4 31オ2 32オ3 33ウ6 33ウ6 34オ2 34オ6
34ウ5 34ウ6 34ウ6 35オ4 35オ5 36オ5 36ウ3
36ウ4 36ウ6 37オ1 39オ3 39オ4 40オ5 40ウ1
40ウ3 40ウ6 41オ1 〔下〕01ウ3 01ウ4 02ウ2
02ウ5 03ウ6 04オ3 04オ3 05オ5 06オ5 06オ6
06ウ4 07ウ3 08オ1 09オ1 09ウ5 10オ2 10ウ6
11オ6 12ウ1 13ウ3 14オ4 14オ5 14ウ2 14ウ3
15オ3 15ウ4 17ウ1 19ウ2 20ウ1 20ウ2 20ウ3
20ウ4 20ウ4 20ウ5 23オ6 23ウ1 24ウ2 24ウ4
24ウ6 25オ3 25オ4 25ウ6 26オ6 27オ2 27ウ4
27ウ5 28オ6 29オ2 29オ2 29ウ6 30オ6 30ウ1
30ウ1 30ウ2 31オ1 31オ2 31オ2 31オ6 31ウ2
31ウ5 31ウ6 31ウ6 32オ2 32オ2 33ウ2 34ウ5

【具】(18)

〔上〕06オ1 06オ2 35ウ1 〔中〕11ウ4 14オ2
17オ6 25オ5 28オ1 28オ2 29オ1 29オ3 34オ3
34ウ6 36ウ3 〔下〕11ウ6 12オ1 30オ5 32オ4

【典】(8)

〔中〕38ウ3 39オ3 39ウ3 〔下〕06オ2 14オ1
22ウ6 23オ6 23ウ6

【兼】(3)

〔上〕14オ1 〔中〕05オ2 〔下〕32オ1

【冀】(2)

〔中〕03ウ2 03ウ5

冂 部

【再】(4)

〔上〕 32ウ2 37才6 40ウ5 〔下〕 29才1

一 音部

【冠】(6)

〔上〕 10才1 30才2 30才3 30才3 30才4 〔下〕
30ウ1

【冥】(2)

〔中〕 05才3 35才6

シ 音部

【冬】(13)

〔上〕 12才1 15ウ4 16才2 17才2 32才3 〔中〕
01ウ5 02才1 02才2 04才1 04才1 04才3 〔下〕
01ウ4 04ウ3

【冷】(4)

〔中〕 04ウ4 32才6 〔下〕 01ウ4 03才1

【准】(3)

〔上〕 01ウ6 〔下〕 12才3 17ウ3

【凌】(1)

〔下〕 16才4

【凍】(1)

〔中〕 04才4

【凝】(2)

〔中〕 04才4 04ウ1

几 音部

【凡】(7)

〔上〕 35才1 〔中〕 08才1 17才5 33才2 34才2
38才6 〔下〕 22ウ4

【凰】(2)

〔下〕 30才3 30才4

ㇿ 音部

【凶】(4)

〔上〕 05ウ3 〔下〕 06才4 33才3 33才4

【出】(56)

〔上〕 01ウ2 02才3 12ウ2 14才1 14才2 15ウ2
16才2 20才6 25才1 25才3 25ウ3 25ウ3 27ウ5
28才5 28ウ6 33ウ6 34才1 34才1 35才5 〔中〕
04才2 05才3 06ウ1 06ウ3 06ウ4 07才1 07ウ2
10ウ4 11ウ1 11ウ1 12ウ6 14才1 14才2 14ウ2
20ウ6 21ウ2 26ウ6 27才5 29才2 29ウ6 32才5
39ウ5 〔下〕 01才4 04ウ5 05ウ6 06才6 06ウ5
07才3 09ウ3 12才4 18才4 21才3 24才2 25ウ5
31才2 32才1 32才2

刀 音部

【刀】(1)

〔上〕 38ウ1

【分】(23)

〔上〕 12才4 20才3 32才6 32ウ5 32ウ6 34ウ5
36才3 〔中〕 02ウ6 09ウ6 13ウ4 31才6 31才6
40ウ2 40ウ3 40ウ3 〔下〕 06才1 24ウ5 24ウ6
24ウ6 27ウ4 30ウ6 31ウ3 33ウ1

【切】(40)

〔上〕 13ウ1 13ウ3 29才2 36ウ6 〔中〕 05ウ5
06才6 06ウ3 07才2 07才3 08才4 09才1 10ウ1
22才5 24ウ1 24ウ1 28才4 28才5 32ウ5 36才5
38才5 〔下〕 06ウ4 08ウ1 08ウ1 08ウ2 08ウ6
09才2 09才3 09才4 09才4 13ウ6 15才2 15才4
15才6 16ウ1 17ウ3 17ウ4 22ウ3 25ウ6 26ウ3
26ウ5

【刑】(2)

〔中〕 01才4 〔下〕 25ウ1

【列】(2)

〔下〕 11ウ2 18オ5

【初】 (17)

〔上〕 01ウ4 02オ2 03オ1 16ウ5 38ウ4 〔中〕
01オ3 01オ3 06ウ5 08オ6 08ウ1 10オ2 11オ1
20ウ1 27ウ4 〔下〕 06オ3 16ウ5 32ウ5

【判】 (1)

〔上〕 38ウ4

【別】 (17)

〔上〕 18ウ6 19ウ6 20オ1 29オ3 34ウ1 36オ3
38オ1 39ウ2 39ウ4 40ウ1 〔中〕 02オ6 22オ
6 29オ1 〔下〕 20ウ1 21オ5 27ウ3 27ウ6

【利】 (48)

〔上〕 28オ3 28オ4 28オ5 28オ6 31オ3 31オ4
35ウ5 〔中〕 05オ2 06ウ2 07オ2 07オ6 08ウ2
09オ5 10ウ5 11オ1 17ウ3 18オ1 18ウ2 18ウ5
19オ2 19オ6 19ウ1 20オ6 21オ5 21オ5 21オ6
21ウ2 23オ1 28ウ3 29オ2 33オ1 33オ1 33オ6
35ウ3 35ウ4 〔下〕 03ウ6 05ウ5 05ウ6 06オ1
12オ5 12ウ2 17オ1 17オ3 17オ6 17ウ3 18ウ6
19オ2 20オ6

【到】 (15)

〔上〕 15ウ6 25オ2 30ウ3 35オ4 37オ4 〔中〕
05オ6 23オ6 25オ3 27オ3 29ウ1 39オ6 〔下〕
06ウ6 23ウ3 26オ1 28ウ6

【制】 (4)

〔上〕 38ウ6 〔中〕 28オ5 37オ3 〔下〕 28ウ4

【刺】 (2)

〔上〕 06ウ4 06ウ6

【八十夫+刀】 ***** (2)

〔下〕 29ウ4 30オ1

【剃】 (1)

〔中〕 28オ6

【則】 (25)

〔上〕 13オ6 13ウ3 14オ1 25オ4 30オ3 33オ5
41オ1 〔中〕 04オ3 04オ3 04オ3 10オ4 30オ1
33オ4 34ウ6 〔下〕 09オ3 14オ5 14オ5 19オ1
25オ6 27オ2 29ウ6 32ウ2 32ウ2 32ウ5 32ウ6

【前】 (53)

〔上〕 04オ5 07オ6 09オ4 11オ3 13オ4 13ウ2
17オ5 20ウ4 23オ3 24ウ6 28ウ1 29オ6 32ウ2
35オ4 35オ5 36オ5 37ウ2 〔中〕 06ウ6 07ウ2
07ウ5 09ウ1 10ウ3 14オ5 14ウ5 14ウ6 15オ5
15ウ1 16ウ1 18ウ5 20オ1 20オ2 21オ1 21オ3
22オ4 22オ5 23オ6 23オ6 23ウ1 29ウ1 30オ5
31オ4 31オ5 33オ6 34ウ2 〔下〕 06ウ6 10オ6
12オ1 16ウ3 19ウ6 21オ4 25ウ2 28オ4 28ウ1

【剛】 (3)

〔中〕 04ウ1 28ウ2 28ウ6

【副】 (1)

〔上〕 38ウ2

【剩】 (2)

〔上〕 37ウ4 〔中〕 08オ4

【割】 (2)

〔上〕 07ウ2 07ウ3

【創】 (1)

〔中〕 34ウ6

【劇】 (1)

〔中〕 25ウ4

【劉】 (2)

〔上〕 17オ1 39オ4

【劔】 (18)

〔上〕 27ウ3 27ウ5 27ウ6 28オ2 34オ2 34ウ5
35オ1 35オ2 35オ2 35オ2 35オ2 35オ3 35ウ1

35ウ5 35ウ5 36オ1 【中】 06ウ4 【下】 26ウ1

力 部

【力】 (41)

【上】 01オ3 12オ4 32オ6 【中】 02オ4 02オ4
08オ1 08ウ2 10オ4 15ウ6 18オ4 18ウ2 20ウ4
20ウ6 22オ1 22オ1 23ウ4 24オ3 37ウ5 38オ2
【下】 03ウ5 09オ6 10ウ4 11オ4 14ウ4 14ウ5
16オ1 17ウ6 18オ6 19ウ3 21オ6 22オ2 22オ5
27オ3 27オ4 27オ4 27ウ6 27ウ6 31ウ3 33ウ5
34オ5 34オ6

【功】 (9)

【上】 12オ4 12ウ3 37オ4 【中】 10ウ1 13オ4
21オ3 【下】 02ウ2 02ウ5 12オ1

【加】 (5)

【上】 35ウ6 【中】 26オ4 26オ5 【下】 10オ3
20オ4

【劣】 (3)

【上】 30ウ6 【中】 09ウ6 【下】 05オ1

【助】 (6)

【上】 03オ3 03ウ1 03ウ5 36ウ3 【中】 37ウ4
【下】 22オ1

【努】 (14)

【中】 10オ4 22オ1 22オ1 【下】 09オ6 10ウ4
11オ4 14ウ5 18オ6 19ウ3 27オ4 27オ4 27ウ6
27ウ6 31ウ3

【劫】 (39)

【上】 01オ5 01オ6 01オ6 01ウ1 01ウ1 01ウ1
01ウ4 01ウ4 01ウ4 01ウ5 01ウ6 01ウ6 01ウ6
02オ4 02オ5 02オ6 02オ6 02オ6 02オ6 02オ6
02オ6 02オ6 02ウ1 02ウ1 02ウ1 02ウ1 02ウ3
02ウ3 02ウ3 02ウ4 02ウ5 02ウ5 39ウ4 【中】
06オ4 09オ6 13オ4 22ウ4 37オ1 37オ1

【効】 (1)

【上】 30オ5

【勅】 (7)

【上】 13ウ3 27オ3 28ウ3 30ウ3 【中】 19ウ3
27オ3 【下】 21オ1

【勇】 (2)

【上】 32ウ1 【中】 18ウ1

【勅】 (5)

【中】 09オ5 09ウ1 09ウ1 22ウ3 【下】 19ウ2

【動】 (16)

【中】 01ウ1 02オ3 03オ4 23オ5 23オ5 23オ5
23オ6 24ウ5 24ウ5 【下】 14オ6 14ウ4 14ウ4
14ウ6 26オ4 26オ4 32ウ2

【務】 (1)

【下】 25オ6

【勝】 (27)

【中】 08ウ2 11オ2 16ウ1 17オ6 17ウ3 18オ1
18オ6 19オ2 21オ5 22オ2 22オ5 22ウ4 【下】
03ウ1 04オ3 10オ6 13ウ6 13ウ6 15オ5 15オ6
16ウ1 16ウ2 17オ2 20オ4 33ウ5 34オ2 34オ5
34オ6

【勞】 (1)

【上】 20オ4

【募】 (1)

【上】 35ウ5

【勢】 (2)

【中】 05オ1 【下】 02オ5

【勤】 (9)

【上】 11オ2 11オ3 【中】 05ウ4 10ウ2 19ウ1
34ウ5 37ウ2 【下】 17オ5 21ウ5

【勵】(5)

〔上〕09才6 09ウ3 〔中〕23才5 〔下〕06才6
07才4

フ 部

【勿】(7)

〔下〕09才6 18才6 27ウ6 28ウ3 29才3 30才1
31ウ3

【匆】(1)

〔上〕40ウ5

七 部

【化】(24)

〔上〕03才3 03才4 24ウ6 25才2 〔中〕11才1
11才3 12才4 24才5 24ウ2 25ウ1 26才4 27才1
30ウ1 33才4 38ウ3 39才5 〔下〕07才2 14才1
16才1 16才1 22ウ6 23ウ2 26才4 30ウ4

【北】(23)

〔上〕29才5 32才3 35才5 〔中〕01ウ1 01ウ3
01ウ3 01ウ5 01ウ6 01ウ6 03才5 03才6 16ウ2
29才1 39ウ2 39ウ5 39ウ6 〔下〕10才1 10才2
10才3 23ウ5 24才2 24才3 31才2

【匙】(3)

〔中〕20ウ5 29才6 29ウ5

匚 部

【匡】(1)

〔上〕07才5

【医】(2)

〔上〕13才5 〔中〕34ウ4

【匿】(5)

〔中〕18ウ4 28ウ3 33才2 33才5 〔下〕20ウ5

十 部

【十】(233)

〔上〕01ウ3 01ウ3 01ウ5 01ウ6 02ウ1 02ウ2
02ウ3 02ウ4 03才4 03才4 03才4 03才5 03ウ1
04ウ1 05才5 05ウ1 05ウ4 05ウ6 06才3 06才6
06ウ2 06ウ4 07才1 07才3 07才4 07ウ2 07ウ4
09才3 09才6 09ウ4 09ウ6 10才1 10才3 10才6
11才5 11ウ3 11ウ6 12才2 12才5 12才6 12ウ1
12ウ2 12ウ5 13才1 13才3 13ウ1 13ウ5 14才2
14才6 14ウ6 15才5 15ウ3 16才1 16才3 16ウ1
16ウ5 17才1 17才3 17ウ3 17ウ5 18才1 18ウ1
19才6 19ウ4 20才4 20ウ2 20ウ6 21才2 21才6
21ウ5 21ウ6 22才4 22ウ1 23ウ1 25ウ1 26才3
26才4 26才4 26ウ1 26ウ2 26ウ4 27才2 27才3
27才4 27才5 27ウ3 28才3 28ウ2 28ウ6 29才1
29才4 29ウ3 29ウ5 29ウ5 29ウ6 30才2 30才5
30ウ1 30ウ5 31才3 31才5 31ウ1 31ウ5 32ウ6
32ウ6 33才1 33才4 33ウ1 33ウ4 34才4 34ウ2
34ウ5 35才6 36才4 36ウ1 36ウ4 37才2 37ウ1
38才3 38才4 39才1 〔中〕01才6 01ウ1 01ウ2
02ウ1 02ウ2 02ウ2 02ウ2 03才2 03才3 03才3
04ウ3 04ウ3 06才1 06才1 08ウ2 09才6 09ウ5
10才2 11才3 12才5 14才3 15才6 15ウ2 15ウ4
16才4 16ウ2 17才2 17ウ3 18才2 18ウ4 19ウ4
20才6 20ウ3 21才4 22ウ1 22ウ4 22ウ5 23才1
26ウ5 28ウ4 29才2 29才2 31才3 32才2 32ウ2
32ウ3 32ウ6 33ウ2 33ウ3 34才5 34才6 34才6
34ウ3 35才2 35ウ1 36才1 36ウ1 37才6 37ウ6
38ウ2 38ウ6 39才2 39ウ2 40才4 40ウ5 〔下〕
1才5 01才5 01ウ1 02才4 02ウ2 03ウ6 04才2
04才6 04ウ1 05ウ5 07ウ3 09才3 09ウ1 09ウ2
10ウ5 11才5 11才6 11ウ4 11ウ5 12才5 12ウ4
14才2 14才3 15才1 15ウ2 16才5 16才5 16ウ3
17才1 17才3 17才6 18才1 18ウ1 23才2 29ウ3
30才3 30才5 30ウ5 31才4 31ウ4 32才3 32才4
32ウ3 33才1 33才3 33才6 34ウ2

【千】(55)

〔上〕01ウ3 01ウ3 03才4 03ウ1 09ウ3 13才6
19ウ2 32ウ1 35ウ2 36ウ6 37ウ4 〔中〕01才6

01ウ1 02ウ1 03オ3 03オ4 03オ5 03オ6 03オ6
03ウ3 04オ6 05オ6 05ウ4 06ウ3 07オ2 10ウ3
10ウ5 10ウ5 17オ5 23ウ4 23ウ4 24ウ5 25オ6
28オ2 36ウ2 39ウ5 40ウ2 40ウ6 【下】 01オ5
01ウ2 02オ5 06オ4 11オ5 11オ6 11ウ3 16オ2
20ウ4 24オ2 24ウ5 25オ3 25ウ2 26ウ3 26ウ4
26ウ4 27ウ2

【卅】(19)

【上】 10ウ2 10ウ5 11オ2 19ウ2 【中】 02オ5
02ウ2 04オ6 30ウ3 【下】 16オ1 23ウ5 24ウ1
25オ2 25ウ4 27オ1 27オ5 27ウ3 28オ1 28ウ4
29オ4

【升】(8)

【中】 14オ3 14ウ1 14ウ2 14ウ2 14ウ2 14ウ4
14ウ5 14ウ6

【午】(1)

【下】 29オ1

【半】(12)

【上】 07ウ3 09ウ5 13オ1 27オ6 28ウ3 28ウ3
28ウ4 28ウ6 31オ6 【中】 01オ6 03オ3 【下】
01ウ3

【廿+廿】 02712 (3)

【上】 02ウ4 【下】 14ウ2 14ウ5

【卑】(2)

【上】 04オ1 05オ4

【卒】(4)

【中】 33ウ6 34オ2 34オ2 【下】 26ウ3

【南】(32)

【上】 11オ3 19ウ5 30オ5 32オ2 35オ5 35オ5
36オ3 36ウ5 【中】 01ウ1 01ウ5 01ウ6 01ウ6
03オ4 03オ5 03オ6 03ウ1 03ウ5 03ウ5 03ウ5
03ウ6 16ウ2 33ウ6 33ウ6 39オ3 41オ2 【下】
10オ1 10オ3 20オ6 23オ6 25オ4 30オ4 31オ3

【博】(12)

【上】 32ウ2 32ウ3 33オ1 33オ2 33オ2 【下】
33ウ1 33ウ4 33ウ5 34オ2 34オ2 34オ5 34オ6

ト 部

【ト】(6)

【上】 05ウ3 29ウ3 29ウ4 29ウ5 29ウ5 30オ1

【占】(1)

【中】 04オ1

【卦】(4)

【下】 33オ1 33オ3 33オ3 33オ5

口 部

【印】(1)

【下】 26ウ5

【危】(1)

【中】 15オ3

【却】(10)

【上】 02ウ2 13ウ4 15ウ1 21ウ2 31ウ1 31ウ4
【中】 18オ4 18オ5 34ウ2 【下】 19オ3

【卵】(1)

【下】 04オ3

【卽】(249)

【上】 03オ4 03ウ1 03ウ5 04オ1 04オ5 04オ6
04ウ1 04ウ3 04ウ5 04ウ5 05オ3 05オ6 05ウ2
05ウ5 06オ1 06オ4 06オ5 07オ4 07ウ5 09ウ1
09ウ6 10オ5 11オ6 11ウ4 11ウ5 12オ1 12ウ2
12ウ3 13オ5 13ウ2 14オ3 14オ5 14ウ2 15オ3
16オ1 16オ5 16ウ2 16ウ6 17オ6 17ウ5 20オ4
21ウ2 22ウ4 23オ6 24オ1 24ウ4 25オ1 25オ2
25ウ3 25ウ5 25ウ6 26ウ2 26ウ3 26ウ5 26ウ6
26ウ6 27オ3 27ウ4 28オ1 28オ5 28ウ3 28ウ5

29才2 29才6 29ウ4 29ウ5 30ウ3 30ウ6 31才6
 31ウ6 32才3 32才6 32ウ1 32ウ5 33ウ2 33ウ5
 34才1 34才5 34ウ1 34ウ1 35才3 35ウ3 35ウ5
 36才5 36ウ2 36ウ5 37才4 37ウ2 37ウ4 38才1
 38才5 38ウ6 39才2 39才5 39ウ1 40ウ1 40ウ1
 【中】 01才5 04才1 04才3 04才3 05才6 05ウ6
 06才3 06ウ4 06ウ5 07才1 07ウ1 07ウ1 07ウ4
 07ウ6 08ウ5 09才2 09才4 09ウ4 10才6 10ウ2
 10ウ3 10ウ5 11才6 11ウ1 12才1 12才6 12ウ3
 12ウ5 13ウ2 13ウ5 14才5 15才2 15ウ4 15ウ5
 16才1 16才6 18才2 18ウ6 19才1 19ウ1 19ウ2
 19ウ5 19ウ6 20才1 20ウ1 20ウ4 20ウ6 21才6
 22才3 22才3 22才4 22ウ2 23才3 24ウ3 25才1
 25才3 25ウ3 26ウ1 26ウ2 26ウ4 26ウ5 27才1
 27才4 27ウ3 28才1 28才2 29才3 29ウ6 30ウ6
 31才4 31才6 31才6 31ウ3 32才4 32ウ5 33才3
 33才6 33ウ4 34ウ1 35ウ3 37ウ1 37ウ1 39ウ3
 39ウ5 40ウ1 41才1 【下】 04ウ5 05才6 06才3
 06才5 06ウ5 07才6 07ウ2 07ウ3 07ウ6 08才4
 08ウ2 09才1 09才2 09才2 09才3 09才6 10ウ1
 10ウ3 10ウ5 11才1 11ウ3 11ウ6 12才3 12才6
 12ウ5 13才4 13才6 13ウ5 14ウ4 15才3 15ウ4
 15ウ6 17ウ2 17ウ3 17ウ5 18才2 18ウ2 18ウ4
 19才6 19ウ1 19ウ6 20才2 20才2 20ウ3 20ウ6
 21才3 21ウ4 21ウ4 23ウ6 24才2 24ウ5 25才4
 26才1 26才2 26才4 26ウ1 31才1 31才6 31ウ2
 31ウ5 32才1 33才2 33ウ4 34才1 34才3 34ウ4

【卿】 (10)

【上】 09ウ1 09ウ1 09ウ2 09ウ3 30ウ3 【下】
 09ウ4 09ウ6 10ウ3 33ウ4 34才1

厂 音部

【厚】 (9)

【中】 03才3 04ウ2 04ウ2 04ウ3 16ウ4 39才5
 40才5 【下】 23ウ2 24ウ2

【原】 (9)

【上】 16才4 18才1 18才2 18才3 18才3 18才4
 18才6 28才1 【下】 18ウ6

【厩】 (4)

【中】 39ウ5 【下】 07ウ2 07ウ2 24才2

【厭】 (3)

【上】 18才2 【中】 14才6 【下】 08ウ6

厶 音部

【去】 (44)

【上】 14才1 14才6 14ウ3 15才6 16ウ6 18才5
 18ウ3 20ウ5 23ウ2 24ウ1 27才6 28才2 29才2
 30才4 30才6 31才1 34才2 34ウ1 38才2 41才1
 【中】 01才6 09才2 09ウ4 22才4 23ウ4 29才1
 32才6 35才5 35ウ6 35ウ6 【下】 01才6 01才6
 01ウ5 02才5 02才5 09ウ2 10ウ5 13才3 25ウ5
 27ウ5 28才5 28才5 28才5 32ウ6

【參】 (7)

【上】 16ウ1 16ウ2 【中】 18ウ5 21ウ3 23才6
 25才5 25才6

又 音部

【又】 (64)

【上】 01ウ4 02才5 02才6 02才6 02ウ2 02ウ3
 04才6 14ウ3 25才1 28ウ1 31ウ6 36才2 38ウ3
 40ウ5 【中】 01才4 01才5 01才5 03才1 03才2
 04才6 09才4 10ウ4 10ウ4 14ウ4 14ウ4 14ウ5
 15ウ6 19才6 20才3 20才3 20ウ1 20ウ2 20ウ6
 22ウ5 25才1 26才3 27才5 29ウ6 29ウ6 31才4
 31ウ2 32才6 36ウ5 36ウ6 37才2 37ウ3 40才2
 【下】 05ウ1 06才2 12才4 14才1 15ウ3 15ウ6
 16ウ3 18ウ3 19ウ1 20ウ3 21ウ1 21ウ6 24才5
 26才3 27才6 33ウ6 34ウ4

【叉】 (2)

【中】 18才6 18ウ3

【及】 (12)

【上】 27才6 29ウ1 【中】 16ウ5 25才4 29ウ4

41才1 〔下〕 13ウ2 25才4 33ウ4 34才1 34才4
34才6

【友】(9)

〔上〕 11才4 21ウ1 21ウ1 21ウ1 21ウ2 21ウ4
〔下〕 14才5 27ウ4 29ウ1

【収】(2)

〔上〕 35才2 〔中〕 02才2

【取】(53)

〔上〕 02ウ4 02ウ4 04才6 04ウ2 07才4 15才3
20才6 23ウ3 24才2 26ウ6 29才2 29ウ2 29ウ4
30才3 30才3 30才6 30才6 30才6 38才5 〔中〕
09ウ4 10才1 10ウ5 14ウ2 14ウ3 17才4 20才4
20ウ5 20ウ6 20ウ6 21ウ2 21ウ3 23才5 25才1
25才2 27ウ1 29才6 30ウ6 31ウ6 〔下〕 06才5
08ウ3 09才1 13才6 13ウ2 14ウ2 14ウ3 15ウ5
16ウ5 17ウ1 17ウ3 18才1 18才4 21才1 27才3

【受】(22)

〔上〕 15ウ6 32ウ6 37才6 〔中〕 13才4 13才4
16ウ1 19才6 19ウ2 19ウ3 21ウ5 21ウ6 21ウ6
22才1 22ウ4 23ウ6 30才3 〔下〕 11ウ4 11ウ5
12才2 20才3 20ウ3 21才5

【叛】(2)

〔上〕 27ウ6 〔中〕 13ウ6

【叢】(1)

〔上〕 07ウ5

口 音

【口】(20)

〔上〕 19ウ2 20才5 26ウ6 〔中〕 20才6 20ウ6
32才5 32才6 40才6 40ウ5 〔下〕 05才5 07ウ1
08才1 10ウ4 10ウ4 11才3 13才6 24ウ3 28才3
32ウ6 34ウ1

【古】(11)

〔上〕 11才6 11ウ5 40ウ6 〔中〕 05才1 30ウ4
38ウ2 38ウ3 39ウ2 〔下〕 20才1 22ウ5 22ウ6

【句】(5)

〔中〕 01才4 02ウ6 22ウ6 〔下〕 01才3 02才2

【叩】(1)

〔中〕 05ウ3

【只】(12)

〔上〕 01才3 07ウ3 20ウ4 30才6 39才6 〔中〕
03ウ3 37ウ1 〔下〕 10ウ3 11ウ3 12才1 13ウ1
21ウ4

【叫】(4)

〔上〕 23ウ4 33ウ6 〔中〕 06ウ6 30ウ4

【召】(13)

〔上〕 14ウ2 22ウ6 24才3 29ウ4 35才1 〔中〕
16ウ3 19才6 19ウ2 26ウ6 29才3 33才3 35ウ2
〔下〕 20ウ6

【可】(116)

〔上〕 02才6 11ウ1 13才5 14才4 15才2 16ウ3
20才2 21才3 21才4 23才1 23才2 24才1 24ウ2
25ウ5 29ウ6 30才1 30才3 30才6 30ウ3 30ウ4
32才2 32才2 32才2 32才3 32ウ2 32ウ3 32ウ5
33才3 35ウ4 36ウ2 38才1 39ウ1 40才2 〔中〕
04才5 04ウ4 06才5 07ウ4 09ウ2 11才1 12ウ1
13才3 13才5 13ウ1 13ウ6 15ウ6 15ウ6 16才1
16才5 16ウ3 17ウ5 19才6 20才4 23才3 23才4
23ウ5 24才3 25才4 25才5 26才4 26ウ1 27ウ1
28ウ5 30ウ2 30ウ2 30ウ5 32ウ4 36才3 36ウ3
36ウ6 37才1 37才2 37ウ2 39才1 39ウ1 40才1
40才2 40才2 40才3 〔下〕 01才4 01ウ6 02才6
05ウ1 05ウ1 07才4 08才1 09才4 09才5 09才6
09ウ5 11ウ2 13才1 14ウ3 14ウ5 16才4 17才5
19才3 19才4 19ウ3 19ウ4 21ウ2 21ウ5 21ウ6
23才4 23ウ4 24才4 24才5 24才5 24才6 26才2
26才6 26ウ6 27才4 28才4 33才5 33ウ6 34才4

【叱】(2)

〔上〕17ウ4 〔中〕05ウ3

【史】(9)

〔上〕09オ2 09ウ6 11ウ4 12オ4 13オ1 13ウ6
24ウ1 24ウ2 〔中〕20オ6

【右】(10)

〔中〕03オ4 06ウ4 16ウ1 18オ3 18ウ6 28ウ5
〔下〕10オ6 10ウ5 22オ6 30ウ1

【叶】(4)

〔上〕19オ3 38オ6 〔中〕07オ1 34ウ4

【司】(2)

〔上〕36オ3 〔下〕28ウ6

【各】(26)

〔上〕05ウ3 05ウ5 05ウ5 18ウ2 18ウ4 19ウ6
20オ1 32ウ3 32ウ3 32ウ3 32ウ4 32ウ5 32ウ6
33ウ6 〔中〕03ウ4 14オ2 29オ3 29オ3 35オ3
38オ3 38オ4 〔下〕18オ2 22ウ1 22ウ2 27ウ4
27ウ5

【合】(14)

〔上〕02ウ1 28ウ4 28ウ6 40オ3 〔中〕18オ1
20オ2 33ウ1 〔下〕16ウ3 20オ2 21オ4 26ウ5
31ウ5 34オ3 34オ3

【吉】(11)

〔上〕05ウ3 24ウ5 24ウ6 25オ1 〔中〕28ウ4
〔下〕06オ3 10オ1 12ウ6 25オ6 33オ3 33オ4

【同】(12)

〔上〕16ウ2 18ウ2 32オ5 37ウ2 〔中〕09ウ4
09ウ5 11オ5 11ウ5 20オ3 32オ1 34オ3 〔下〕
02オ6

【名】(65)

〔上〕01オ6 03オ1 19ウ2 31ウ6 34オ3 35オ6
37オ1 〔中〕01オ2 01ウ4 01ウ6 01ウ6 01ウ6

01ウ6 05オ1 07ウ2 08ウ5 08ウ5 10オ6 10ウ2
15ウ1 15ウ5 16オ6 16ウ5 17オ3 17ウ1 17ウ1
24オ6 26ウ6 28ウ3 31ウ3 31ウ3 31ウ3 31ウ3

32オ3 33ウ4 34ウ2 35オ3 35オ4 38オ2 39オ3

〔下〕01オ2 06オ4 06ウ4 06ウ4 07オ3 07オ3
12ウ3 15ウ6 19ウ2 20オ6 20ウ5 22オ5 23オ6
25ウ5 25ウ5 25ウ6 26ウ2 26ウ2 27オ6 27オ6
30オ5 30オ5 30オ5 33ウ1 33ウ1

【后】(6)

〔上〕39オ1 〔中〕11ウ6 12オ2 28ウ3 30オ1
〔下〕21オ3

【吏】(3)

〔中〕41オ2 〔下〕25オ5 25オ6

【吐】(1)

〔上〕19ウ5

【向】(21)

〔上〕09オ5 14オ4 15ウ4 16オ5 20オ6 24ウ3
32オ4 〔中〕06ウ5 36オ2 36ウ6 39ウ5 39ウ6
〔下〕07オ2 08オ1 11ウ3 11ウ5 13ウ4 19ウ1
24オ2 24オ3 29オ1

【君】(29)

〔上〕07ウ4 23ウ5 23ウ6 24オ1 24オ3 25ウ4
27ウ5 27ウ5 28オ1 28オ1 28ウ3 28ウ4 28ウ4
32オ1 32オ5 32オ6 32ウ4 33オ1 35ウ4 35ウ4
40ウ4 〔中〕04ウ5 16ウ2 16ウ3 26オ2 28ウ6
〔下〕10ウ1 11ウ5 29ウ6

【吞】(2)

〔中〕27オ5 27ウ2

【吟】(13)

〔上〕16ウ3 16ウ3 19オ3 35オ3 〔中〕14オ6
26ウ2 26ウ3 29オ4 〔下〕08ウ6 09オ2 13オ4
15ウ2 27ウ6

【否】(7)

〔上〕 24才3 38才6 〔中〕 05ウ1 13ウ3 26才3
27ウ1 〔下〕 34才4

【含】 (1)

〔上〕 24ウ5

【呉】 (3)

〔上〕 10才1 13ウ6 22才5

【吸】 (1)

〔中〕 18才4

【吹】 (6)

〔上〕 38ウ5 〔中〕 05才3 18才4 18才4 39ウ6

〔下〕 24才4

【吼】 (1)

〔下〕 27ウ1

【吾】 (142)

〔上〕 03才4 14才4 14才4 15才2 15才2 15才6
15ウ5 15ウ6 18ウ4 22ウ5 22ウ5 23才5 23ウ4
24才2 24才4 24ウ5 24ウ6 25才1 25才2 25才2
25ウ4 25ウ4 25ウ6 27ウ5 28ウ3 28ウ3 28ウ4
30才3 31ウ3 32才1 32才4 32ウ5 33才2 35才4
35ウ4 37ウ5 38才1 38才1 38才5 38ウ1 40才1
40ウ2 40ウ4 〔中〕 07才1 07才2 08才6 08ウ3
09ウ4 10ウ1 11才4 11才5 11ウ1 11ウ4 12ウ1
12ウ2 12ウ6 13ウ1 13ウ2 13ウ2 13ウ3 13ウ5
13ウ6 15才1 17才4 18ウ6 19才2 19才3 19ウ2
21ウ4 21ウ6 22才5 23才6 23ウ3 23ウ3 24ウ3
24ウ6 25才4 25才4 25才4 26才1 26才5 27ウ1
27ウ4 28才4 29ウ1 29ウ3 29ウ5 29ウ6 29ウ6
30ウ1 30ウ5 34ウ1 34ウ3 34ウ4 34ウ6 35ウ2
38才4 38才4 38才5 38才5 40才1 〔下〕 05才1
07ウ4 08才5 08才5 08ウ1 08ウ3 09才4 09ウ4
09ウ5 09ウ5 10才1 10才5 10ウ1 10ウ2 10ウ2
10ウ3 10ウ4 11ウ2 11ウ5 12才2 12ウ6 12ウ6
13才1 13才2 13才3 13才4 13才5 13ウ1 13ウ2
13ウ3 13ウ4 14ウ1 16ウ5 17才4 21才4 21才6
22ウ2 22ウ2 22ウ3 22ウ3 24才4

【告】 (15)

〔上〕 31ウ3 〔中〕 12ウ1 19ウ1 21ウ5 26才4
26ウ1 29ウ4 30才1 35ウ4 36才3 〔下〕 06ウ5
15ウ5 30ウ5 33ウ4 34才1

【呂】 (2)

〔下〕 32才3 32才6

【周】 (5)

〔上〕 23ウ2 〔中〕 01ウ2 02ウ2 02ウ2 〔下〕
01ウ1

【呪】 (4)

〔上〕 21才3 〔中〕 21ウ5 24ウ6 〔下〕 29才1

【味】 (11)

〔上〕 04ウ1 15ウ6 20才2 〔中〕 05ウ3 14才5
15ウ3 16ウ6 19才2 〔下〕 02ウ6 16才2 16ウ5

【呵】 (5)

〔上〕 18才4 〔中〕 06ウ2 07ウ5 10才4 22ウ3

【呼】 (2)

〔中〕 14才1 28才3

【咋】 (9)

〔上〕 38ウ4 〔中〕 40才6 40才6 〔下〕 10ウ3
10ウ4 14才4 24ウ3 24ウ3 31ウ1

【和】 (16)

〔上〕 04才2 〔中〕 02才1 02才2 02才5 24才5
24ウ1 24ウ3 24ウ6 24ウ6 25才2 25才4 25ウ1
〔下〕 03才1 03才5 32才3 32ウ1

【咎】 (3)

〔中〕 36ウ4 36ウ6 37才1

【咤】 (1)

〔下〕 25ウ6

【咲】(2)
〔下〕10ウ6 11ウ1

【咸】(3)
〔上〕01ウ3 07才4 34ウ6

【哀】(5)
〔上〕14ウ4 〔中〕06ウ4 〔下〕16ウ1 16ウ1
27ウ5

【品】(2)
〔上〕29才6 〔下〕04才4

【哉】(37)
〔上〕06ウ1 14才4 23才6 23ウ6 24ウ5 32才6
38才6 40才2 40才3 40ウ4 〔中〕04ウ5 05ウ6
10才1 19才4 19ウ1 20才3 26才6 34ウ4 35才6
39才3 40才2 〔下〕05才6 07ウ6 08才5 10ウ2
11ウ6 12才2 13才3 13ウ1 13ウ5 14ウ2 16ウ1
23才6 24才5 30ウ2 33ウ6 34才3

【員】(2)
〔上〕29ウ5 〔下〕08才2

【哭】(2)
〔上〕16ウ6 17才2

【嘯】(1)
〔下〕27才1

【命】(35)
〔上〕04ウ2 04ウ3 17才4 19才3 21才5 22ウ5
23才3 23才5 26才2 27ウ5 32才4 33ウ3 35才1
35ウ2 39才2 〔中〕05才4 09ウ6 11才4 11ウ2
15才1 19才6 23才3 27ウ4 28才5 31ウ2 38才2
〔下〕04才5 08ウ2 09才6 19ウ2 22才5 26ウ2
28ウ6 29ウ2 33ウ2

【唯】(4)
〔上〕01ウ4 01ウ5 〔中〕19才6 〔下〕15才3

【唱】(1)
〔下〕29才2

【啄】(1)
〔上〕25才4

【問】(40)
〔上〕17ウ5 18ウ2 18ウ3 21ウ2 21ウ6 22ウ6
24ウ1 28才1 29ウ4 31才1 35才2 35ウ3 35ウ4
39ウ6 40ウ6 〔中〕02才3 03ウ1 04才4 07ウ3
13才5 13ウ3 18ウ6 21才1 21ウ5 25才4 25ウ5
25ウ6 26才3 28才3 30才2 30ウ6 36ウ3 37才1
〔下〕13才2 25ウ1 26才5 30ウ6 33ウ5 34才2
34才4

【啓】(1)
〔上〕32ウ3

【啼】(2)
〔中〕38ウ5 〔下〕23才2

【善】(38)
〔中〕05ウ6 05ウ6 09才1 10才4 11ウ4 12才4
13ウ1 13ウ6 15才5 22ウ6 29才6 30才2 31ウ1
36才6 〔下〕03ウ1 06才3 07才6 11才4 18ウ2
30ウ2 33ウ1 33ウ1 33ウ4 33ウ4 33ウ5 33ウ5
33ウ5 33ウ6 34才1 34才2 34才2 34才2 34才4
34才5 34才5 34才6 34才6 34才6

【喉】(3)
〔上〕20才6 〔中〕05ウ3 〔下〕03才3

【喙】(2)
〔下〕30ウ1 30ウ3

【喜】(18)
〔上〕23才5 34才2 37ウ4 〔中〕08才6 10才6
14才1 15才2 15才5 15ウ6 25ウ4 26才1 26才5
29ウ2 33才1 34ウ4 〔下〕03ウ4 07才1 13ウ2

【喧】(1)

〔下〕 10ウ6

【噏】 (6)

〔下〕 17ウ3 18オ5 28オ2 28ウ2 28ウ2 32オ1

【噏】 (1)

〔下〕 12ウ5

【噏】 (6)

〔上〕 16ウ2 〔中〕 33オ2 33オ5 38オ5 〔下〕
22ウ3 34オ3

【嗟】 (3)

〔上〕 24ウ5 24ウ5 26オ1

【嘆】 (3)

〔上〕 19ウ1 24ウ2 31ウ3

【嘗】 (4)

〔上〕 04オ6 13ウ2 23ウ2 〔下〕 03オ4

【嘲】 (2)

〔下〕 11ウ1 12ウ4

【嘶】 (8)

〔中〕 39ウ2 39ウ5 39ウ6 40オ1 〔下〕 23ウ5
24オ2 24オ3 24オ4

【器】 (2)

〔上〕 06オ2 〔中〕 12ウ5

【口+貫】 ***** (1)

〔上〕 26ウ4

【噫】 (1)

〔上〕 25オ3

【噓】 (3)

〔上〕 36オ1 36ウ6 〔下〕 08オ1

【噏】 (1)

〔上〕 29ウ2

【譽】 (3)

〔上〕 05ウ1 05ウ2 05ウ5

【巖】 (5)

〔上〕 15ウ4 36オ5 〔中〕 11ウ3 12オ2 〔下〕
20オ4

口 部

【四】 (118)

〔上〕 01ウ1 01ウ3 01ウ3 02オ5 02ウ2 03オ6
03ウ2 03ウ3 03ウ3 06オ3 10ウ2 12オ2 12オ5
12ウ1 12ウ5 13オ3 13オ3 13ウ1 13ウ5 14オ6
14ウ6 15オ5 17オ1 17オ5 21オ2 22オ4 27オ3
28オ3 31オ5 31ウ6 32オ2 32オ3 32オ4 32ウ4
32ウ6 35ウ2 36ウ1 37ウ3 〔中〕 01ウ2 02オ1
02オ2 02オ5 02ウ3 03オ5 06オ2 10ウ5 11オ4
11オ5 11ウ2 16オ4 23ウ2 32ウ6 34オ4 36ウ1
36ウ5 37オ6 37ウ6 38オ2 38オ3 38ウ2 39オ2
39オ2 39ウ2 40オ4 40ウ2 40ウ3 40ウ5 〔下〕
01ウ1 01ウ3 03オ1 03オ4 03オ6 03ウ4 03ウ6
04ウ2 06ウ6 07オ2 08オ4 08オ5 08オ6 08ウ3
08ウ5 09ウ1 10オ4 13オ3 14オ2 14オ4 18ウ4
19オ1 19ウ5 22オ5 22オ6 22ウ1 22ウ1 24ウ5
24ウ6 25オ1 26ウ3 26ウ4 27オ1 27オ2 27ウ3
27ウ4 27ウ4 29ウ3 29ウ6 30オ3 30ウ5 31オ4
31ウ4 31ウ4 32オ3 32ウ3 33オ1 33オ3 33オ6
33ウ1 34ウ2

【因】 (20)

〔上〕 01オ2 05オ1 11ウ4 13ウ6 15オ2 15オ5
15ウ1 18ウ4 〔中〕 06オ6 10オ1 11ウ4 17ウ6
22ウ4 25ウ4 〔下〕 07ウ1 12ウ2 20オ3 21オ4
25ウ2 28ウ3

【因】 (1)

〔中〕 13ウ4

32ウ4 32ウ5

【國】(40)

〔上〕01ウ1 05ウ5 18ウ3 24オ6 27ウ4 31ウ6
32ウ4 32ウ4 32ウ5 37ウ5 37ウ5 〔中〕02ウ4
16ウ2 18オ2 23ウ6 28ウ3 28ウ4 29オ3 33ウ3
33ウ4 34ウ1 39ウ3 39ウ6 〔下〕02ウ2 04ウ1
07オ6 07ウ1 07ウ1 07ウ5 11オ6 20オ6 20ウ2
20ウ3 20ウ4 23ウ6 24オ4 25ウ5 25ウ5 30ウ3
30ウ4

【園】(15)

〔上〕16オ1 16ウ2 19ウ6 24オ1 24オ2 26オ5
30オ6 34オ5 〔中〕17ウ1 17ウ2 17ウ2 23オ2
33オ1 33オ5 35ウ4

【圓】(5)

〔中〕01オ4 01オ4 〔下〕01オ6 04ウ1 11オ2

【圖】(5)

〔中〕01ウ2 03オ6 〔下〕29ウ4 30オ1 33オ1

土 部

【土】(25)

〔上〕06オ1 18ウ2 19オ2 19オ5 22オ4 22オ5
22オ6 31ウ2 32ウ4 32ウ4 〔中〕02ウ4 21オ2
23ウ6 24オ2 39ウ6 40オ1 40オ2 41オ1 〔下〕
11オ2 24オ3 24オ4 24オ6 25オ4 30ウ4 32オ6

【在】(76)

〔上〕03オ3 04オ2 04ウ1 05オ1 05オ4 05ウ5
09ウ1 09ウ2 09ウ6 13オ4 14ウ3 14ウ3 16オ1
19ウ3 22ウ6 32オ1 34オ1 35オ4 36オ3 36ウ2
37ウ3 40オ5 41オ1 〔中〕01ウ3 01ウ4 03オ2
04ウ2 18ウ6 20オ1 20ウ1 22オ4 22オ5 23オ2
23ウ6 25オ1 26ウ4 27ウ2 27ウ3 28オ4 33ウ4
35オ3 35ウ3 36ウ4 37ウ2 37ウ4 38オ2 40ウ3
〔下〕01オ4 01オ6 01ウ3 03ウ1 04オ3 05ウ4
06ウ3 07オ1 07オ2 07ウ6 15ウ3 17ウ1 20オ2
20ウ2 20ウ5 21オ6 21オ6 21ウ4 22オ1 22オ5
24ウ6 28オ4 31オ2 32オ1 32オ2 32オ2 32オ2

【地】(90)

〔上〕02オ1 02オ4 03オ1 03オ3 03オ6 03ウ1
03ウ2 03ウ5 06オ4 06オ5 13オ5 14ウ6 15オ3
16オ5 24オ2 24オ4 27ウ2 27ウ6 31オ4 38オ6
40オ5 〔中〕01オ6 01ウ3 01ウ4 02オ6 02ウ5
02ウ6 02ウ6 03オ1 03オ1 03オ1 03オ1 03オ1
03オ2 03オ2 03オ2 03オ3 03オ4 03オ4 03オ5
03ウ1 03ウ1 03ウ1 03ウ1 03ウ2 03ウ2 03ウ3
04オ1 04オ2 04オ4 04オ4 04オ5 04オ6 04オ6
04ウ1 04ウ4 06オ4 11ウ5 14オ1 16オ4 16ウ1
16ウ1 16ウ2 16ウ3 16ウ4 16ウ4 16ウ4 17オ3
17オ4 17オ4 17オ6 17オ6 17ウ2 20ウ5 22オ4
23オ4 〔下〕01オ6 02オ5 10オ4 10オ6 12ウ1
21ウ1 21ウ1 25ウ6 26オ1 26オ3 26ウ2 26ウ4
29ウ2 32ウ5

【均】(3)

〔上〕14ウ4 〔中〕13オ1 〔下〕29オ6

【坏】(1)

〔上〕28オ5

【坐】(3)

〔上〕32ウ3 〔中〕33オ2 33ウ3

【坑】(1)

〔下〕28ウ1

【垂】(5)

〔上〕06ウ6 〔中〕31ウ5 〔下〕28オ6 31オ4
31オ6

【垣】(5)

〔上〕30オ3 34オ1 34オ1 34オ1 〔中〕13オ5

【埋】(5)

〔上〕13ウ6 14オ1 14ウ6 15オ2 〔中〕03オ5

【城】(17)

〔上〕 02ウ4 05オ3 31ウ2 31ウ4 31ウ4 31ウ4
〔中〕 05オ3 12オ6 12オ6 12ウ2 12ウ2 12ウ4
14オ1 22オ3 22オ3 30ウ4 33ウ3

【埤】(1)
〔下〕 26オ3

【執】(4)
〔上〕 10オ5 〔中〕 37オ2 39ウ1 〔下〕 23ウ4

【基】(1)
〔上〕 09ウ2

【堂】(2)
〔中〕 20オ2 20オ3

【堅】(11)
〔上〕 03オ1 03オ3 〔中〕 14オ1 20ウ4 20ウ6
24オ5 24オ6 25オ6 〔下〕 26ウ2 26ウ4 31オ6

【堤】(1)
〔中〕 15ウ1

【堪】(4)
〔上〕 15ウ1 17ウ4 〔中〕 25オ3 32オ6

【堯】(3)
〔上〕 05ウ4 05ウ5 06オ6

【報】(31)
〔上〕 06オ5 14オ3 25オ5 28オ3 35ウ1 35ウ4
40オ5 〔中〕 13ウ2 13ウ6 16オ3 18オ1 20オ3
20オ4 21ウ6 21ウ6 22オ1 32オ5 33オ1 37オ4
〔下〕 12ウ3 15ウ4 16オ2 16ウ3 16ウ4 16ウ5
16ウ6 19オ3 20オ2 20オ4 31ウ2 31ウ3

【場】(4)
〔中〕 01オ3 02ウ6 〔下〕 01オ3 02オ2

【塊】(1)

〔下〕 08オ4

【塔】(9)
〔中〕 10ウ5 10ウ5 20ウ1 20ウ4 31オ2 31オ2
33ウ6 34オ2 34オ2

【塗】(1)
〔中〕 10ウ3

【塚】(4)
〔中〕 38ウ2 38ウ3 〔下〕 22ウ5 22ウ6

【塞】(2)
〔上〕 27オ3 〔中〕 20オ6

【填】(4)
〔上〕 19オ2 19オ2 19オ5 〔中〕 32ウ6

【塵】(3)
〔中〕 23オ5 39オ3 〔下〕 23オ6

【斬】(4)
〔上〕 34オ6 34ウ1 〔中〕 28オ1 28オ4

【境】(3)
〔中〕 14オ6 38オ1 〔下〕 22オ4

【墓】(8)
〔上〕 20オ5 26オ3 26オ4 28オ2 28オ2 36オ3
〔下〕 13ウ4 13ウ4

【増】(13)
〔上〕 01ウ2 01ウ2 01ウ4 01ウ4 01ウ5 01ウ6
02オ5 02ウ1 02ウ1 〔中〕 35オ6 〔下〕 03オ6
06オ4 25オ6

【墮】(12)
〔上〕 13ウ6 〔中〕 11ウ4 11ウ5 22ウ4 32オ2
32ウ4 〔下〕 05ウ6 11オ4 18オ6 19オ2 28ウ1
28ウ2

【墳】(3)
〔上〕 22オ5 22ウ5 22オ6

【壁】(2)
〔上〕 07オ5 07ウ1

【壊】(9)
〔上〕 01ウ6 02オ2 02オ3 02オ5 02オ5 〔中〕
20ウ3 25ウ4 〔下〕 15オ6 15ウ1

士 部

【士】(18)
〔上〕 01オ2 12ウ6 18ウ1 22ウ1 22ウ2 32ウ2
32ウ3 33オ1 33オ2 33オ2 39ウ5 39ウ5 40オ2
〔中〕 18オ4 18ウ2 39ウ1 〔下〕 23ウ4 26ウ3

【壻】(3)
〔中〕 29オ3 29オ5 29ウ4

【壽】(12)
〔上〕 01ウ5 〔中〕 13オ4 39オ5 〔下〕 05ウ6
06オ2 07オ2 07オ3 16オ2 18ウ4 19オ2 23ウ2
25ウ5

夕 部

【夏】(10)
〔上〕 32オ2 〔中〕 01ウ5 02オ1 02オ2 04オ3
31ウ4 32ウ4 33オ2 〔下〕 01ウ5 04ウ3

夕 部

【夕】(5)
〔上〕 10オ4 11オ6 17ウ1 28オ6 37オ3

【外】(49)
〔上〕 11オ4 24ウ3 27ウ4 28ウ3 31ウ4 34オ1
34ウ3 〔中〕 01ウ3 01ウ4 06オ3 12オ5 12オ6
12ウ1 12ウ4 12ウ5 13オ5 14オ1 17ウ3 17ウ4
17ウ4 17ウ6 17ウ6 17ウ6 17ウ6 18オ2 18オ3

18オ6 18ウ1 25ウ6 26オ1 26オ3 26オ5 26ウ4
27オ1 34ウ1 37オ2 38ウ3 39オ3 39ウ3 〔下〕
02ウ6 03オ1 06オ2 11オ3 14オ1 15オ4 15オ6
22ウ6 23オ6 23ウ6

【多】(32)
〔上〕 04ウ6 05オ4 09オ5 36ウ2 37オ4 〔中〕
05オ1 05ウ6 06オ5 07ウ1 07ウ1 14ウ5 17オ3
17オ3 18ウ1 23オ2 30ウ4 32オ1 33オ1 37オ1
37ウ2 37ウ4 37ウ5 39オ4 41オ1 〔下〕 13ウ5
13ウ6 21ウ5 22オ1 22オ2 23ウ1 29ウ6 29ウ6

【夜】(47)
〔上〕 07オ2 07オ6 07ウ1 09ウ5 09ウ5 11ウ4
12オ1 12オ4 19オ4 19ウ1 21オ3 25ウ6 35オ4
39ウ4 〔中〕 02ウ1 02ウ2 05オ5 05ウ2 14オ6
18オ6 18ウ3 19ウ5 19ウ6 29オ4 〔下〕 01ウ1
02オ4 04ウ4 04ウ4 04ウ4 04ウ4 04ウ5 04ウ5
05ウ5 07オ1 07ウ3 07ウ6 08オ1 16オ6 16ウ3
18オ2 28ウ4 29オ1 29オ2 30ウ2 33ウ2 34ウ6
34ウ6

【夢】(3)
〔上〕 19オ4 33オ4 35ウ1

大 部

【大】(152)
〔上〕 02オ6 02ウ1 02ウ1 02ウ3 02ウ5 09ウ3
10オ5 11オ6 13ウ6 14ウ3 15ウ1 17オ2 19オ6
26オ1 26ウ2 29ウ2 30ウ3 31オ1 32ウ2 33ウ2
35オ3 35オ6 36オ5 36ウ2 36ウ5 37オ1 38オ6
38ウ2 〔中〕 01オ2 01オ3 02オ4 04ウ6 05オ2
05オ3 05オ4 05ウ1 05ウ6 06オ6 07オ3 08オ2
08オ3 08オ5 08オ6 09オ3 10ウ6 11オ3 11ウ2
11ウ4 13オ5 13ウ1 13ウ4 13ウ6 14オ1 15オ2
15オ5 16オ6 16ウ1 16ウ1 17オ2 17オ3 17ウ6
18オ2 18オ3 18オ4 18オ4 18オ5 18ウ2 19オ4
19オ5 19オ6 21ウ2 23オ5 23ウ3 23ウ4 25オ4
26ウ1 28オ2 28オ3 28オ5 28ウ4 28ウ5 29オ3
29オ3 29オ3 29オ3 29オ4 29オ4 29オ5 29オ6

30才1 30才6 35ウ5 35ウ6 36ウ2 38ウ4 39才3
40ウ4 40ウ6 【下】 02才5 03才6 05才4 06才1
06才5 07才5 07才6 07才6 07ウ4 08ウ2 09ウ1
10才5 11才6 14才6 15才4 15ウ6 17才2 18才2
18ウ2 18ウ2 18ウ3 18ウ4 20ウ1 20ウ2 20ウ4
20ウ4 20ウ5 20ウ5 20ウ6 21才1 21才3 21才5
21才6 21ウ1 23才1 23才6 25才3 26才3 26ウ2
27才6 27ウ1 28才2 28才3 28才4 28才4 28才6
28ウ1 29才1 31才5 33才4 33ウ5 34才1 34才5
34才6

【天】 (158)

【上】 01ウ1 02ウ2 02ウ2 03才3 03ウ1 03ウ1
04ウ1 04ウ6 06才4 10才5 13才5 15ウ1 16才1
16才1 16才5 19才6 19ウ1 24才4 24ウ2 26ウ2
26ウ2 27ウ2 27ウ5 29ウ2 32才1 32ウ1 33才6
33ウ2 33ウ2 33ウ3 37才3 38才6 38ウ3 38ウ4
39ウ4 40才5 40ウ2 41才1 【中】 01才2 01才4
01才4 01才4 01才5 01才5 01才5 01才6 01才6
01ウ1 01ウ3 01ウ3 01ウ3 01ウ3 01ウ4 01ウ4
01ウ4 01ウ5 01ウ5 01ウ5 01ウ5 01ウ5 01ウ6
01ウ6 01ウ6 01ウ6 02才3 02才3 02才4 02才4
02才4 02才5 02才6 02ウ2 02ウ2 02ウ3 02ウ3
02ウ6 04才1 04才4 04ウ4 04ウ4 05才1 06ウ3
06ウ3 07才6 07才6 07ウ4 07ウ6 08才1 10ウ3
11ウ2 13才4 13才4 13才4 16才2 19ウ4 20才4
22ウ4 25ウ3 31才2 31ウ2 33才1 33才4 33才6
33ウ3 35ウ1 35ウ3 35ウ3 36才2 36才3 36才3
36才6 37才1 38才1 38才2 40才5 【下】 01才6
01ウ1 02才5 05ウ4 05ウ5 05ウ6 07才2 07才2
07才2 07才2 07才3 07才6 11才3 11才3 11才6
12才5 12ウ2 12ウ2 12ウ3 16才1 16才2 17才2
17才3 18才3 18ウ4 18ウ4 18ウ4 18ウ6 19才2
19才2 20才3 22才4 22才5 24ウ2 26才1 26才4
26ウ2 28ウ6 29ウ1 29ウ3 29ウ4 31才3 32ウ4

【太】 (14)

【上】 32才1 【中】 06才2 06ウ1 06ウ5 06ウ5
06ウ6 07才3 07才4 08ウ2 25ウ2 26ウ2 26ウ6
【下】 02ウ6 25才1

【夫】 (68)

【上】 01才3 04才2 19ウ2 25ウ2 25ウ2 25ウ3
25ウ3 25ウ4 25ウ5 25ウ5 25ウ6 26才1 26才1
26才3 26才4 29才2 29才5 29才6 31才4 31ウ6
31ウ6 34ウ6 37才3 37才4 37才4 37才4 39才2
39才2 39才3 40才1 【中】 07才6 07ウ3 07ウ4
07ウ4 07ウ5 07ウ5 08才1 08才3 08才5 08才6
11才3 11ウ6 14才6 14ウ4 14ウ5 14ウ6 15才5
17才5 22才2 22才3 25才5 25ウ3 28ウ3 28ウ4
28ウ5 29才2 29ウ3 31ウ3 33才2 37才2 38才6
【下】 01ウ6 05才5 12ウ5 13才1 13才2 22ウ4
22ウ6

【失】 (20)

【上】 26ウ5 38才6 38ウ3 39才6 41才2 【中】
02才5 08才1 11ウ3 18才4 22才2 26ウ4 27才5
31才5 36ウ4 37才1 【下】 03才3 13ウ6 29才3
32ウ5 33ウ3

【奇】 (26)

【上】 07ウ6 19才6 23ウ1 23ウ3 23ウ3 23ウ4
24才1 24才1 24才2 24才4 24才5 24才6 24ウ5
25才1 35才1 35ウ6 37才5 37才6 【中】 10ウ6
13ウ3 21ウ4 29才5 【下】 07ウ4 24才2 29ウ4
30才1

【奉】 (24)

【上】 13ウ3 19才1 27才3 32ウ6 33才1 【中】
05ウ5 09ウ5 09ウ5 13才1 13才3 16才5 16才6
16ウ5 16ウ6 17才4 21ウ1 33才3 33ウ1 36ウ6
【下】 11ウ4 13ウ6 20才1 20ウ5 21ウ2

【奏】 (7)

【上】 16ウ1 35才2 35ウ6 40才2 【中】 39ウ6
【下】 07ウ6 24才3

【契】 (9)

【上】 18ウ4 38才2 39ウ3 40才4 40ウ2 40ウ2
【中】 11才4 31ウ1 【下】 16ウ2

【奚】 (1)

〔上〕 36才4

【奢】 (2)

〔下〕 09才1 09才2

【奥】 (3)

〔中〕 05才1 〔下〕 08ウ2 32ウ6

【奪】 (5)

〔上〕 20才1 20才3 〔中〕 09才1 28才1 〔下〕
29ウ2

女 部

【女】 (81)

〔上〕 04才2 04才2 05ウ2 21才1 21才4 25才6
25ウ1 25ウ2 25ウ3 26才5 26才5 28ウ4 29才2
31才1 37才3 39ウ4 40ウ2 40ウ6 〔中〕 07ウ5
08才1 08才1 12才4 13才2 13才2 13才2 13才4
13ウ6 15才3 15才6 15ウ6 16才3 22ウ5 24才5
24才6 24才6 24ウ2 24ウ4 24ウ4 24ウ6 24ウ6
25才1 25才2 25才3 25才3 25才5 25ウ5 26才2
26才3 26才5 28ウ2 28ウ4 28ウ6 29才1 29才2
29才5 29才6 29ウ2 29ウ4 29ウ5 30才2 30才4
30才6 31才3 31才4 31才4 31ウ2 31ウ3 31ウ3
31ウ5 31ウ5 31ウ6 31ウ6 32才2 32才3 36ウ4
36ウ5 37才3 39才6 〔下〕 16才2 21才4 23ウ3

【奴】 (4)

〔中〕 05才4 05ウ1 〔下〕 12ウ3 16ウ5

【好】 (24)

〔上〕 06才2 07才2 07才6 07ウ3 09才4 10才1
10ウ1 12ウ6 15才6 21才1 30ウ2 40ウ1 41才5
〔中〕 01才1 02才6 06才1 08ウ6 32ウ6 33才3
38ウ3 〔下〕 01才1 04ウ1 10才4 22ウ6

【如】 (115)

〔上〕 01才3 02才5 02ウ3 13才1 13才2 15ウ6
21ウ4 24才5 24才6 27才4 28ウ1 28ウ5 28ウ6
32才3 33ウ6 35ウ5 36ウ5 37ウ6 38才2 38ウ2

39才3 〔中〕 01ウ5 02才6 04ウ3 04ウ5 05ウ6
06才4 06ウ4 08才4 09才4 09才5 09才5 10才2
11才5 11才5 12才6 13ウ6 14ウ5 14ウ6 16才2
22才6 23ウ3 23ウ6 24ウ1 24ウ1 25才3 26才6
26ウ2 28才6 28ウ4 31ウ3 31ウ3 32才1 33才1
33才3 33才3 33ウ3 34才6 34ウ6 35才4 35才4
35才6 35ウ2 35ウ6 36才2 36才4 36才5 36才5
36才6 36ウ2 36ウ4 37才3 37ウ2 37ウ3 37ウ4
39才3 〔下〕 02才5 03才4 04才5 04才5 07才2
07ウ5 08才1 08才1 08才5 09才1 09才2 09才3
09才5 12才4 13ウ3 13ウ5 14ウ2 15ウ5 16才3
16才3 18才3 19ウ2 21才1 21ウ1 21ウ5 21ウ6
22才1 23才6 27ウ1 29才2 29ウ4 29ウ5 29ウ5
30ウ1 30ウ2 31ウ5 33ウ5 34才2 34才5

【妃】 (6)

〔上〕 39ウ6 40才2 40才4 〔中〕 39ウ1 〔下〕
21才3 23ウ4

【妄】 (2)

〔中〕 13才6 13ウ2

【妒】 (1)

〔中〕 26才4

【妖】 (2)

〔中〕 38ウ3 〔下〕 22ウ6

【妙】 (6)

〔上〕 11ウ3 11ウ5 〔中〕 11ウ3 26ウ5 35ウ5
〔下〕 14ウ6

【妨】 (1)

〔中〕 29才3

【妬】 (1)

〔中〕 18才1

【妻】 (32)

〔上〕 04才2 10才4 10才5 13ウ6 14才4 14ウ1

14ウ2 15オ2 15オ3 15オ4 15ウ1 25ウ3 25ウ6
26オ1 26オ4 26オ4 28オ6 28ウ3 28ウ5 28ウ6
38ウ6 【中】 07ウ1 14オ6 14ウ2 14ウ3 14ウ6
15オ2 15オ4 15オ5 16ウ6 29ウ6 【下】 13オ5

【妾】 (6)

【上】 22ウ6 23オ3 23オ3 23オ4 23ウ6 25ウ5

【始】 (22)

【上】 01オ6 01オ6 03オ3 05オ4 05オ6 05ウ3
05ウ5 10オ5 23ウ3 36オ5 36ウ5 37オ6 40オ3
【中】 02ウ6 04ウ1 35オ4 40オ1 41オ1 【下】
09オ3 21オ2 24オ4 25オ4

【姓】 (2)

【下】 33オ3 33オ4

【委】 (1)

【中】 05オ3

【姜】 (1)

【上】 15オ5

【威】 (6)

【上】 20ウ2 20ウ4 【中】 16ウ5 23ウ1 【下】
25ウ4 25ウ6

【娃】 (1)

【上】 29オ1

【婆】 (8)

【中】 21ウ5 22オ1 34ウ2 【下】 08ウ4 09オ6
11オ3 15ウ5 16オ3

【娘】 (3)

【中】 07ウ1 15ウ5 30オ2

【娥】 (5)

【上】 20ウ6 21オ2 21オ4 【下】 02オ3 02オ3

【娶】 (4)

【上】 14ウ1 26オ5 28ウ4 【下】 23ウ3

【婆】 (20)

【上】 29オ4 【中】 05オ1 05ウ6 07ウ2 22ウ2
30ウ3 30ウ4 30ウ6 33オ1 33ウ4 33ウ6 34オ2
34オ2 34ウ2 【下】 08ウ4 09オ6 11オ3 13ウ5
13ウ5 25ウ5

【婢】 (4)

【中】 12ウ5 12ウ6 13ウ1 31オ4

【婦】 (14)

【上】 15オ5 15オ6 17オ6 35オ4 35オ6 40オ1
【中】 14ウ6 25ウ3 31ウ3 38ウ3 【下】 02オ6
12ウ5 12ウ6 32ウ1

【姪】 (2)

【中】 31オ3 【下】 22ウ2

【女+面】 06501 (1)

【下】 30オ1

【嫉】 (2)

【下】 15オ3 27ウ6

【嬾】 (1)

【下】 04ウ6

【孀】 (1)

【上】 34オ5

子 部

【子】 (255)

【上】 02オ3 02ウ4 04オ1 04オ5 09ウ1 09ウ3
14オ4 14オ5 14ウ1 14ウ3 14ウ3 14ウ3 14ウ4
15オ1 15オ2 15オ2 15オ4 15オ4 15オ6 15ウ5
15ウ6 16オ5 16ウ3 16ウ4 17ウ4 17ウ5 18オ4
19オ1 19オ1 19オ1 19オ3 19ウ1 20ウ4 22ウ2
22ウ2 22ウ6 23オ1 23オ2 23オ2 23オ3 23オ3
23オ3 23オ5 23オ5 23オ5 23ウ2 23ウ5 23ウ5

24才4 24ウ2 24ウ2 24ウ5 24ウ6 25才1 29才2
 29ウ6 30才1 31ウ1 31ウ2 31ウ3 31ウ4 31ウ6
 31ウ6 32才1 32才3 32才3 32才4 32才5 32才6
 32ウ2 32ウ3 32ウ6 32ウ6 33才1 33才2 33ウ4
 33ウ6 34才1 34才1 34才3 34ウ1 34ウ1 35才4
 35ウ1 38才4 38ウ5 38ウ6 40ウ1 40ウ2 40ウ4
 40ウ4 40ウ5 40ウ6 【中】 01才3 01才6 02ウ6
 03才3 03才4 03ウ4 06才2 06才3 06ウ1 06ウ5
 06ウ5 06ウ6 07才3 07才4 08ウ2 10ウ4 12才1
 12才3 12才3 13才6 13ウ4 14ウ3 14ウ4 14ウ5
 15才1 15ウ6 16才6 17ウ4 17ウ4 17ウ5 17ウ6
 18才2 18才3 18才5 18才6 18ウ3 18ウ4 18ウ5
 18ウ6 18ウ6 19才1 19才2 19才4 19才4 19才5
 19ウ2 20才5 21才3 21才4 21才5 21ウ3 22才1
 23才2 23才2 23才3 23才3 23才4 23才6 23ウ1
 23ウ1 24才3 25ウ2 25ウ3 25ウ4 25ウ5 25ウ5
 25ウ5 26才1 26才1 26才2 26才2 26才2 26才2
 26才4 26才5 26才6 26ウ2 26ウ3 26ウ3 26ウ4
 26ウ6 27才1 28ウ4 28ウ6 30才6 33才3 35ウ6
 37才4 39才6 40才1 【下】 01才5 02才5 03才4
 06才2 10ウ6 11才1 11才3 11才3 12ウ6 13才1
 14才1 14才2 14才4 14才6 14ウ1 14ウ4 15才1
 15才1 15才2 15才4 15ウ4 15ウ5 15ウ6 16才1
 16才5 16才6 16ウ1 16ウ2 16ウ3 16ウ4 16ウ5
 19才1 19才1 19才2 19才6 19ウ1 19ウ3 23ウ3
 23ウ6 24才5 26才3 27才2 27才3 27才4 27ウ4
 27ウ4 27ウ5 27ウ5 27ウ6 28ウ5 29才1 29才2
 29才4 29才5 29ウ1 29ウ1 31ウ4 31ウ5 31ウ5
 32才1 33才2 33ウ1 33ウ4 33ウ5 34才1 34才4
 34ウ2 34ウ3 34ウ3 34ウ4 34ウ5 34ウ5

【孔】(7)

〔上〕 31ウ1 31ウ2 31ウ2 31ウ4 〔下〕 01才5
 02才5 03ウ3

【字】(6)

〔上〕 07ウ5 13才6 15才1 15才6 19才6 21才1

【存】(7)

〔上〕 17才5 22才1 26才5 39才3 39ウ1 〔下〕
 12ウ6 29才6

【孝】(28)

〔上〕 06才5 09ウ4 13才3 13才5 13才6 15才1
 15才2 15才4 15ウ6 16ウ3 16ウ4 17ウ2 17ウ4
 18才2 18才6 18ウ6 19才3 19才6 22ウ3 23才2
 23ウ2 33才5 33ウ4 34才3 34才4 34ウ1 〔下〕
 04才4 27才4

【孟】(2)

〔上〕 15ウ3 15ウ6

【季】(4)

〔上〕 17才5 〔下〕 06才4 10才4 13才3

【孤】(2)

〔上〕 23才4 〔中〕 17ウ1

【孫】(3)

〔上〕 33才2 〔中〕 29才3 〔下〕 29ウ6

【學】(30)

〔上〕 01才2 01才2 06ウ5 07才2 07才2 07才4
 07才6 07才6 07ウ6 09才4 09才4 09ウ1 09ウ5
 09ウ5 10才1 10ウ1 10ウ6 11才3 11才6 12才1
 12才3 12才3 12才6 12ウ6 12ウ6 13才1 13才1
 13ウ2 〔中〕 05才2 06才3

一 部

【宅】(2)

〔中〕 24ウ2 24ウ4

【宇】(1)

〔上〕 40才2

【守】(12)

〔上〕 07ウ6 10才4 10ウ3 11才1 11才6 〔中〕
 09才3 24ウ1 36才5 36才5 36才5 40ウ1 〔下〕
 24ウ4

【安】(22)

〔上〕 06才5 07ウ2 10ウ5 10ウ6 19ウ1 23才4
25ウ2 30才2 32ウ4 34才6 39ウ4 39ウ5 〔中〕
02才2 03ウ2 18ウ5 32ウ4 33才2 33才6 〔下〕
03才5 04ウ6 05才6 22才6

【完】(1)
〔下〕 27ウ4

【宋】(2)
〔上〕 20才4 〔下〕 33ウ2

【宗】(4)
〔上〕 15ウ3 15ウ6 〔中〕 40ウ6 〔下〕 25才3

【官】(16)
〔上〕 05才4 09才2 10ウ1 12才4 13才2 13ウ2
17才5 22ウ4 〔中〕 19才5 29才1 29才6 29才6
29ウ3 39才6 〔下〕 25才6 25才6

【定】(14)
〔上〕 03才3 03才4 03ウ2 04才3 05ウ5 10ウ6
30ウ2 34ウ4 〔中〕 02ウ6 07ウ3 09ウ6 13ウ6
〔下〕 03才6 09才2

【宜】(1)
〔上〕 36才3

【客】(10)
〔上〕 35ウ3 35ウ4 35ウ4 35ウ4 35ウ5 35ウ6
35ウ6 36才1 36才2 〔中〕 32才5

【宣】(2)
〔上〕 30ウ4 〔下〕 25ウ2

【室】(10)
〔上〕 07ウ1 17才4 17ウ1 23才6 〔中〕 05才6
29才1 29才2 29ウ1 29ウ5 29ウ5

【宮】(15)
〔上〕 39ウ6 40ウ3 〔中〕 04才5 05才3 06ウ1
07才1 10ウ4 30才1 30才1 33才6 〔下〕 16才2

21才3 21才4 23ウ3 26才4

【宰】(1)
〔上〕 14ウ5

【害】(6)
〔上〕 24才6 26ウ5 〔下〕 07才5 07ウ4 19ウ4
34才3

【宴】(1)
〔中〕 25ウ6

【家】(66)
〔上〕 06ウ5 07才4 07才6 09ウ1 12才1 12才3
13才5 14才1 15才1 18才3 18ウ4 19ウ6 20才4
21ウ1 21ウ3 21ウ6 22才1 24才3 24ウ3 25才2
25才2 25ウ4 27才6 27ウ5 28才1 28ウ6 30才3
33才6 33ウ5 33ウ6 34才5 35才4 37ウ2 37ウ5
〔中〕 10ウ4 12ウ4 12ウ4 12ウ5 14才2 27才3
27才3 27才5 28ウ1 30才3 31才4 31才6 31ウ3
〔下〕 06ウ3 06ウ4 06ウ5 06ウ6 07才3 08才6
12才4 12才4 18ウ2 18ウ3 32才1 32才1 32才2
32才2 32才2 32才2 34ウ4 34ウ4 34ウ6

【宿】(14)
〔上〕 11才6 11ウ4 18ウ2 18ウ4 21ウ3 25ウ6
27ウ4 40才1 〔中〕 15ウ3 20ウ1 38才2 〔下〕
07才1 18才2 22才5

【寂】(4)
〔中〕 34才1 35才5 38才3 〔下〕 22才6

【寄】(3)
〔上〕 24才3 27才1 〔中〕 24ウ5

【寅】(2)
〔中〕 33ウ3 〔下〕 31才2

【密】(5)
〔上〕 34才5 39ウ3 40才4 〔中〕 07ウ4 〔下〕
04才2

【富】(7)
〔中〕06ウ3 14オ4 15オ3 15オ6 17オ1 〔下〕
12ウ2 18ウ5

【寒】(10)
〔上〕14ウ3 15ウ4 21ウ1 21ウ3 〔中〕04オ3
04ウ5 〔下〕01ウ4 04ウ2 04ウ4 04ウ4

【察】(1)
〔上〕40ウ3

【寢】(3)
〔上〕07オ6 19オ4 25ウ5

【實】(32)
〔上〕19ウ6 20オ1 20オ1 22ウ6 26ウ6 28ウ5
40オ2 〔中〕07ウ4 09ウ5 26オ3 27ウ1 27ウ3
32オ4 32オ5 33オ6 33ウ1 38ウ6 38ウ6 39オ5
39オ6 〔下〕10オ6 12ウ5 13ウ3 17オ4 23オ3
23オ3 23ウ2 23ウ3 31オ6 33ウ6 34オ2 34オ4

【寧】(6)
〔上〕06オ5 06ウ3 12オ6 22オ5 40オ1 〔中〕
02オ2

【寫】(3)
〔下〕20ウ1 20ウ5 30オ1

【寵】(1)
〔上〕10ウ2

【寶】(17)
〔上〕19オ4 〔中〕04ウ5 09オ1 10ウ5 15オ6
17オ6 19ウ5 19ウ6 20オ1 20オ3 33ウ5 〔下〕
01ウ1 02オ6 02ウ3 02ウ3 16オ2 25ウ5

寸 部

【寸】(13)
〔上〕39オ6 〔中〕15ウ5 16ウ3 16ウ4 40ウ2

40ウ2 40ウ3 40ウ3 〔下〕24ウ5 24ウ5 24ウ6
24ウ6 30ウ6

【寺】(12)
〔中〕16ウ5 16ウ5 16ウ5 19ウ5 19ウ6 22ウ6
31オ4 〔下〕12オ6 12オ6 19ウ6 19ウ6 20ウ1

【導】(1)
〔中〕37オ2

【封】(1)
〔中〕03ウ4

【射】(10)
〔上〕25オ3 25オ3 26ウ1 26ウ2 26ウ6 27オ1
34ウ3 34ウ3 38ウ2 38ウ4

【將】(31)
〔上〕07ウ6 14オ4 14オ4 18オ5 18オ6 25ウ4
31オ2 33オ2 40ウ3 〔中〕15ウ5 20ウ2 23オ3
25オ4 30オ2 30オ2 34ウ5 37オ3 39ウ4 〔下〕
07ウ4 09オ4 09ウ2 09ウ5 10オ6 10ウ1 10ウ5
10ウ5 13オ4 13オ4 23ウ6 27ウ4 29オ5

【專】(1)
〔中〕06ウ2

【尊】(9)
〔上〕04オ1 05オ4 〔中〕15オ2 15オ3 16オ6
18ウ1 36オ1 〔下〕05ウ6 07ウ5

【尋】(4)
〔中〕07ウ4 09ウ1 22ウ3 〔下〕33オ3

【對】(1)
〔中〕18オ2

【導】(2)
〔下〕17ウ6 34ウ2

小 部

【小】(25)

〔上〕01才4 02才6 02才6 02ウ3 02ウ4 18ウ5
19才4 23才3 23ウ3 23ウ4 31ウ3 31ウ3 31ウ3
34才5 〔中〕02才4 05才2 10ウ6 11才1 15才4
36ウ2 〔下〕06才6 06才6 24ウ6 30ウ4 34ウ3

【少】(19)

〔上〕04才1 04ウ6 07ウ5 13ウ2 20ウ3 23才2
27才6 30ウ2 38才4 40ウ1 40ウ4 〔中〕06才5
13才6 13ウ6 13ウ6 31才5 31才6 〔下〕07ウ5
29ウ5

【尚】(6)

〔上〕09ウ3 〔中〕40才2 〔下〕15才4 24才5
27ウ6 31ウ3

尤 部

【尤】(19)

〔上〕07ウ6 12才1 15才1 15ウ4 〔中〕09ウ2
18才6 20才4 27ウ4 40才1 40才2 〔下〕03才1
07才4 09才2 09ウ6 14ウ5 16ウ2 24才4 25ウ3
27ウ6

【就】(1)

〔中〕34ウ5

尸 部

【尸】(7)

〔中〕07才5 07才6 22ウ2 34ウ1 35ウ3 〔下〕
28ウ5 28ウ6

【尹】(1)

〔上〕23ウ2

【尺】(33)

〔上〕16才6 28才2 34ウ6 35才6 35才6 35ウ2
35ウ2 35ウ3 35ウ4 35ウ5 36才1 〔中〕11才1

15才2 15才3 16才2 16才6 16ウ5 17ウ5 18ウ1
24才2 33才5 33才5 33才5 33ウ6 〔下〕04才6
04ウ1 04ウ1 04ウ1 04ウ1 05才6 20ウ3 21才3
32才6

【尻】(2)

〔下〕06才6 06ウ1

【尼】(10)

〔上〕13才3 13才5 〔中〕02才3 03ウ1 04才4
13ウ4 22ウ6 36ウ5 〔下〕02ウ3 30ウ6

【尾】(19)

〔中〕38ウ4 〔下〕03ウ3 07ウ4 08ウ1 08ウ1
08ウ5 09才1 10才2 23才1 28才1 28才2 28才2
28才2 28才4 28才6 28才6 28ウ1 30ウ1 32才5

【居】(39)

〔上〕04才3 07ウ3 12才3 14才2 17才4 19才1
20才5 20ウ3 25才1 25才2 25才2 25才4 28才5
34才5 〔中〕05才1 05才5 07ウ5 11才5 18才3
18ウ5 19才4 23ウ6 24才1 24才6 25才3 26ウ6
29才1 29ウ1 29ウ3 32ウ4 33才2 33才6 33才6
〔下〕04ウ5 09ウ4 17ウ5 27才4 29才5 32ウ1

【屈】(2)

〔中〕33才6 〔下〕10ウ1

【屋】(1)

〔上〕19才6

【展】(1)

〔下〕18才4

【屏】(2)

〔上〕38才5 〔中〕24才6

【屠】(4)

〔中〕08才3 08才5 08ウ1 〔下〕07ウ6

【履】(1)

〔上〕 30才5

【屬】 (2)

〔下〕 28ウ5 32ウ4

山 部

【山】 (79)

〔上〕 03ウ2 04才6 13才6 14才1 14才2 15才3
 18才3 18才4 20ウ3 26ウ6 29才5 29才5 29才5
 29才6 31才4 35才5 35ウ3 35ウ3 40ウ6 〔中〕
 05才2 05才5 08才3 08才5 08才6 10才6 11才5
 11才5 15ウ3 18才4 18ウ2 29ウ1 33ウ2 33ウ3
 33ウ3 33ウ5 33ウ6 38才2 39才4 39才4 39才5
 39ウ1 〔下〕 01才4 01ウ3 01ウ5 04ウ3 04ウ3
 10才1 10才2 10才3 11才6 12ウ5 13ウ3 14才3
 14才6 14才6 14ウ3 14ウ3 14ウ4 14ウ4 19ウ6
 22才5 23ウ1 23ウ1 23ウ2 23ウ4 25ウ5 25ウ6
 25ウ6 25ウ6 27ウ3 27ウ4 27ウ5 30才4 30才4
 30ウ6 31才1 31才1 31才1 32ウ6

【岩】 (2)

〔上〕 26ウ6 27才1

【岫】 (1)

〔下〕 14才4

【岳】 (3)

〔上〕 19ウ1 〔中〕 04才5 05ウ3

【岸】 (6)

〔上〕 16才5 24ウ1 〔中〕 28才2 〔下〕 02ウ5
 13才2 17ウ6

【峙】 (1)

〔下〕 10才1

【峨】 (2)

〔下〕 10才1 10才1

【峯】 (4)

〔中〕 05才5 05ウ2 05ウ2 15ウ4

【峽】 (2)

〔下〕 10才3 14才6

【崇】 (1)

〔上〕 33才3

【崩】 (2)

〔上〕 32才1 32才3

【嵐】 (3)

〔上〕 38ウ5 〔中〕 18才3 18ウ2

【嶋】 (7)

〔上〕 40ウ1 40ウ2 41才1 〔中〕 39才6 40才1

〔下〕 23ウ3 24才5

【嶮】 (2)

〔中〕 15才4 〔下〕 10才1

【巖】 (2)

〔上〕 26ウ4 〔下〕 31ウ1

川 部

【川】 (4)

〔上〕 03ウ2 09才4 10ウ3 〔中〕 36ウ6

【州】 (8)

〔上〕 12ウ6 18ウ1 19ウ2 28ウ3 33ウ5 〔中〕
 03才2 03ウ2 〔下〕 06才5

【巡】 (3)

〔上〕 12ウ6 13才1 〔中〕 13才1

【巢】 (3)

〔上〕 30ウ5 31才1 〔下〕 14才4

工 部

【工】(2)
〔上〕17才4 39才2

【左】(10)
〔中〕01ウ1 06ウ4 16ウ1 18才3 18ウ6 28ウ5
〔下〕10才5 10ウ5 22才6 30ウ1

【巧】(1)
〔中〕33才3

【巨】(1)
〔上〕14ウ6

【差】(9)
〔上〕09才1 13才6 28才6 〔中〕09才3 09才3
22才6 29ウ5 34ウ6 〔下〕29ウ6

己 部

【己】(10)
〔上〕04ウ3 09才6 20才3 20才4 〔中〕31才6
39ウ6 〔下〕04ウ5 12才3 24才3 28ウ2

【巳】(36)
〔上〕15ウ5 22才2 24ウ4 27才1 27ウ6 28才6
32才4 32ウ3 35才5 37ウ5 〔中〕05ウ1 13才3
14ウ4 15才1 15才3 16ウ3 18才1 20ウ3 21ウ4
25ウ4 28才3 28ウ4 32才4 32才5 34才1 34才6
34ウ3 〔下〕03才3 03才6 04ウ3 08ウ3 18才5
18ウ3 27ウ4 28才5 31ウ2

【巷】(1)
〔下〕25ウ1

【卷】(5)
〔上〕01才1 36ウ5 〔中〕28ウ5 〔下〕20ウ1
21才2

巾 部

【巾】(1)
〔下〕28才5

【市】(9)
〔上〕06才1 14才2 14才4 〔中〕14才3 14ウ1
14ウ2 18才2 〔下〕10ウ5 11才3

【布】(3)
〔中〕15才3 16ウ4 17才4

【希】(3)
〔中〕13ウ5 17才5 33ウ4

【帝】(46)
〔上〕04才1 04才5 04ウ2 04ウ5 04ウ6 05才3
05才3 05才6 05才6 05ウ1 05ウ2 05ウ2 05ウ4
05ウ5 05ウ5 05ウ5 06才1 06才2 06才4 21才1
27才3 36才5 36才5 36ウ2 39才1 39才2 〔中〕
01ウ3 03ウ4 07才6 07才6 07ウ1 07ウ3 07ウ4
07ウ5 07ウ6 40才5 40才6 〔下〕11才5 11ウ3
11ウ4 11ウ4 11ウ5 24ウ2 24ウ3 26才4 26才4

【師】(59)
〔上〕09才4 12才6 12ウ2 12ウ2 12ウ3 12ウ6
12ウ6 13才4 13才4 13才5 13才6 13ウ2 13ウ3
〔中〕04ウ5 05ウ4 06才3 09才5 12才6 15才2
17ウ4 18才5 18ウ3 19才2 19才6 19ウ1 19ウ2
21ウ2 25才4 25ウ6 〔下〕04才4 05才6 12才1
15才1 15才1 15才2 15才3 15才4 15才4 15才6
15ウ1 18才6 18才6 19才6 19ウ1 20ウ1 20ウ3
20ウ3 21才6 32才1 32才2 33ウ1 33ウ4 33ウ5
34才1 34才4 34ウ2 34ウ3 34ウ5 34ウ5

【席】(2)
〔上〕07ウ2 07ウ3

【帳】(4)
〔上〕17才4 17才5 17ウ1 39才3

【帶】(9)

〔上〕 12才2 12才4 12才4 27ウ5 〔中〕 17ウ5
21ウ1 23才4 23才4 23才6

【帷】(2)

〔上〕 09才3 09才4

【常】(49)

〔上〕 07ウ5 10才6 13才4 13才5 17ウ4 18才2
20才5 20ウ1 23ウ4 25ウ6 29才5 30ウ2 30ウ6
34ウ6 36ウ6 〔中〕 07ウ2 08ウ6 11才4 16才5
21才5 23ウ3 24才6 32才5 34才1 35才1 35才5
39才3 39ウ6 40ウ1 〔下〕 01ウ2 02ウ4 04ウ2
04ウ4 04ウ6 05才1 05才5 05ウ4 06才6 09才4
09才6 09才6 11ウ2 12才2 14才6 22才6 23才6
24ウ4 29才1 30ウ3

干 部

【干】(12)

〔下〕 08才3 08才4 08才5 08ウ2 08ウ4 09才5
33才6 33ウ2 33ウ3 33ウ3 33ウ6 34ウ1

【平】(13)

〔上〕 12ウ2 32ウ5 32ウ6 33才1 〔中〕 02才6
34ウ6 〔下〕 10才1 10才2 12ウ6 14ウ5 21才1
26才2 29才6

【年】(51)

〔上〕 02ウ2 02ウ4 03才4 03才4 03ウ1 06ウ1
06ウ3 06ウ5 09才1 10ウ1 12才4 12ウ2 13ウ2
14才2 14才5 15ウ5 15ウ5 16才2 17才6 18ウ5
19才2 20ウ3 21才2 21才6 21ウ2 26才4 27才4
27ウ1 27ウ6 33ウ3 34才6 35才6 38才4 〔中〕
11才6 16ウ6 25ウ3 26才5 32才1 34才6 34才6
36ウ4 〔下〕 05ウ5 06才3 06才5 09ウ4 14才1
25ウ1 27才2 31才1 32ウ5 32ウ5

【幸】(4)

〔上〕 36才5 40才3 〔中〕 11ウ2 30才1

彡 部

【幼】(2)

〔上〕 07ウ2 〔下〕 34ウ4

【幽】(3)

〔中〕 01ウ6 03ウ6 05才2

【幾】(2)

〔上〕 15ウ5 〔下〕 28ウ1

广 部

【床】(3)

〔上〕 11才3 〔中〕 31ウ5 31ウ5

【序】(1)

〔上〕 34才6

【底】(17)

〔上〕 15才3 15ウ2 〔下〕 12ウ4 12ウ5 13才5
13才6 14才5 15ウ3 15ウ4 17ウ1 17ウ2 17ウ4
18才1 18才2 18才3 18才4 26才2

【庚】(3)

〔下〕 28ウ4 28ウ6 29才1

【府】(1)

〔下〕 29ウ4

【度】(29)

〔上〕 04ウ1 04ウ1 14才3 32才6 32才6 34ウ3
34ウ4 〔中〕 02ウ1 02ウ1 02ウ1 02ウ2 06才6
08才6 08ウ1 11ウ6 14才4 14才4 14才5 14才5
15才6 15ウ1 16ウ4 36ウ6 37才1 〔下〕 03ウ4
04才1 09才5 14才1 21ウ2

【座】(8)

〔上〕 32ウ3 〔中〕 04ウ1 18ウ6 23ウ6 31才4
36ウ2 〔下〕 11ウ2 17ウ5

【庭】(13)

〔上〕 06才2 〔中〕 29ウ2 30才2 31ウ5 36才6
39ウ5 40才6 〔下〕 02ウ4 11才4 12才6 12ウ1
24才2 24ウ3

【康】(2)

〔上〕 37才2 37才4

【广+帶】 09465 (1)

〔上〕 17ウ2

【廢】(1)

〔上〕 28才1

【廣】(20)

〔上〕 06才4 09才4 26ウ4 26ウ5 26ウ5 〔中〕
01才6 01ウ1 03才3 03才4 03ウ3 04ウ4 13ウ2
13ウ5 〔下〕 01才5 02才4 09ウ6 10才2 13才3
16才1 32才5

爻 部

【延】(3)

〔上〕 33ウ3 〔中〕 07ウ2 〔下〕 09才6

【建】(5)

〔上〕 19才1 19才5 19ウ1 〔中〕 16才5 〔下〕
21才4

【廻】(7)

〔中〕 12才1 20才2 39ウ5 〔下〕 17ウ1 20才1
24才2 31才2

卅 部

【廿】(27)

〔上〕 01ウ2 01ウ4 01ウ5 02才5 02ウ1 07才5
27才3 33ウ3 〔中〕 01ウ2 13才4 16ウ6 22才2
23ウ2 24才5 25ウ2 27才2 27ウ6 28ウ2 〔下〕
01ウ2 18ウ6 19才5 19ウ5 20才5 21ウ3 22才3
22ウ5 23才5

弓 部

【弓】(4)

〔上〕 25才3 26ウ6 〔中〕 19ウ6 28才6

【引】(17)

〔上〕 16ウ3 16ウ3 21才2 30ウ5 30ウ6 31才2
33才1 〔中〕 25才2 25才2 28才4 30才1 〔下〕
05才6 20ウ6 20ウ6 21才2 26才6 26才6

【弗】(11)

〔中〕 17ウ3 18才1 18ウ2 18ウ5 19才2 19才6
19ウ1 21才5 21才5 21才6 21ウ2

【弘】(1)

〔下〕 19才1

【弟】(23)

〔上〕 09ウ3 18ウ5 22ウ2 22ウ3 22ウ5 37ウ2
〔中〕 06才3 12才1 12才3 14ウ3 14ウ4 14ウ5
15才1 16才6 17ウ6 18ウ5 18ウ6 19才2 20才5
21才3 23才2 24才3 〔下r〕 下15才4

【弱】(2)

〔上〕 36才1 〔下〕 27才3

【張】(12)

〔上〕 06ウ5 11才5 12ウ1 12ウ3 12ウ4 20才5
21ウ5 21ウ6 22才2 25才3 〔中〕 37ウ1 〔下〕
21ウ4

【強】(1)

〔下〕 08ウ6

【彌】(20)

〔上〕 09ウ3 18ウ6 22才2 39ウ5 〔中〕 09才5
09ウ1 09ウ1 18ウ1 23才5 24才4 24ウ5 26才4
27才1 〔下〕 01ウ3 02ウ2 04才5 14才3 14才6
19ウ2 19ウ3

三 部

【形】(17)

〔上〕 17才4 38才4 39才3 〔中〕 28ウ3 29才5
29ウ1 30才5 30ウ1 35ウ2 〔下〕 01才5 01才6
02才5 26才5 33ウ4 34才1 34才4 34才6

【彫】(2)

〔上〕 36ウ1 36ウ3

【影】(4)

〔下〕 02才3 02才3 17ウ1 17ウ4

千 部

【役】(2)

〔中〕 05ウ1 〔下〕 12ウ3

【彼】(44)

〔上〕 11ウ1 13ウ3 18ウ6 21才4 22ウ5 24才1
28才2 34ウ1 〔中〕 10ウ3 10ウ4 11ウ4 12才1
12才2 12ウ2 13ウ4 17才3 17ウ1 18ウ1 19ウ6
20ウ2 29才6 30才6 31ウ2 34ウ5 37ウ3 39ウ3
〔下〕 04ウ1 04ウ1 04ウ3 07才2 09才3 09才5
10ウ1 10ウ4 11才2 13才2 13ウ2 20ウ6 21ウ6
23ウ6 25ウ6 26才5 31才3 33ウ3

【往】(27)

〔上〕 23ウ5 24才1 27ウ4 29才5 29才5 34才6
34ウ1 36ウ2 37ウ2 37ウ3 〔中〕 05才1 06才4
11ウ1 23才3 25才5 33ウ5 38才1 〔下〕 02ウ3
04才4 04才4 04才4 10才1 10才5 13才4 14ウ1
22才4 25ウ5

【征】(3)

〔上〕 27才3 38ウ2 38ウ4

【待】(9)

〔中〕 10才1 10才3 14ウ2 14ウ4 14ウ5 29才1
29ウ3 37ウ1 〔下〕 21ウ4

【徊】(1)

〔下〕 27ウ4

【律】(9)

〔上〕 05ウ5 〔中〕 19ウ4 〔下〕 06ウ4 06ウ4
31才5 31ウ5 32才3 32才6 33ウ1

【後】(110)

〔上〕 02才6 03才3 03ウ1 03ウ5 04才5 04ウ5
05才3 05才6 05ウ2 05ウ5 06才4 09ウ1 09ウ3
09ウ5 10才1 10ウ6 11ウ4 13ウ3 13ウ6 14才2
14才3 14才5 14ウ1 14ウ1 14ウ1 14ウ2 14ウ4
15才1 15才6 16才2 17才4 20才5 22ウ2 23才4
23ウ3 24才1 24才4 24才5 24ウ1 25才2 25ウ4
25ウ5 26才4 27才1 27ウ1 29才2 29ウ1 29ウ6
30才1 32才1 35才2 36ウ6 37ウ4 38才1 38才4
38才4 39才2 39ウ4 〔中〕 02ウ6 05ウ1 07ウ4
09ウ1 09ウ1 09ウ5 10才3 10ウ4 11才1 14才4
15才1 15才4 16ウ1 16ウ6 20才3 20才4 22才5
22才6 22ウ2 23才6 25ウ6 26才2 27ウ2 27ウ5
30才5 30才5 30ウ1 30ウ2 31ウ2 31ウ4 32才6
35ウ3 35ウ4 36才4 36ウ2 36ウ5 〔下〕 06才2
08才6 10才6 12ウ3 15ウ5 19才2 20才1 21才1
21才4 24才1 26才6 26ウ2 29ウ6 30才1 31才6
31ウ2

【徐】(4)

〔中〕 03ウ2 03ウ6 38ウ4 〔下〕 23才1

【徒】(5)

〔上〕 13才1 24才6 〔中〕 12才6 17ウ5 19才5

【得】(113)

〔上〕 12才3 14才1 14才3 15才3 15才6 15ウ4
18ウ6 19才2 20才4 21ウ3 22才2 22ウ5 23才1
26ウ5 28ウ3 28ウ5 33ウ1 33ウ3 35才2 35ウ1
35ウ5 37ウ6 40才1 40ウ1 40ウ5 〔中〕 05ウ5
06才1 06ウ3 06ウ4 07才2 08ウ5 08ウ5 08ウ6
09才2 09才3 09才5 09才6 09才6 10才3 10才6
11才6 13才6 13ウ1 14ウ1 14ウ2 15才1 16ウ4
17才1 19ウ4 20才4 20ウ1 20ウ1 20ウ1 20ウ2
20ウ3 21才2 22ウ3 25才6 26ウ3 26ウ3 28ウ1

29ウ3 30ウ1 31オ5 31オ6 31オ6 31ウ1 31ウ2
32オ4 34オ5 34ウ5 35オ1 37ウ2 37ウ3 37ウ4
38オ6 39ウ6 【下】 02オ5 03ウ2 03ウ2 03ウ4
03ウ4 05ウ3 06オ1 09オ6 12ウ3 12ウ3 13オ2
13ウ3 16オ3 16ウ4 16ウ5 16ウ6 17オ5 19オ2
20ウ4 21ウ5 21ウ6 22オ1 22オ6 22ウ4 24オ3
26ウ2 28オ5 28オ5 28ウ6 31オ4 31オ5 31オ6
31ウ2 33オ2 33ウ6 34オ2

【徒】 (1)

〔上〕 17オ2

【従】 (89)

〔上〕 01ウ1 01ウ2 01ウ3 01ウ5 01ウ5 02オ1
02オ2 02オ2 04オ5 04ウ3 10ウ6 12オ3 12ウ2
12ウ6 12ウ6 13オ4 14オ1 14オ2 15オ3 15ウ1
17オ5 18ウ3 18ウ3 23オ6 24ウ2 25オ1 25ウ6
27オ1 29オ2 30ウ2 31ウ4 33オ2 【中】 04オ2
04オ2 04オ4 05オ4 05オ4 05オ6 05ウ1 05ウ2
05ウ2 05ウ2 09オ3 10ウ1 15オ1 15ウ4 17オ6
18ウ1 18ウ2 20ウ4 20ウ5 21ウ2 22ウ2 23ウ4
24ウ2 28オ2 28オ2 28ウ1 29オ2 29ウ3 32オ5
33オ6 33ウ5 34オ1 34オ2 34ウ5 34ウ6 36オ2
36ウ6 37ウ5 【下】 01ウ3 04ウ3 06オ3 06オ6
09ウ3 10オ3 12オ2 13ウ1 14オ3 14オ3 14オ4
18ウ2 21オ3 22オ2 22オ2 29オ5 29オ6 31オ2
33ウ2

【御】 (27)

〔上〕 09オ2 12オ4 13オ1 14ウ2 28ウ1 32ウ5
40オ2 【中】 13オ3 14ウ3 14ウ4 14ウ5 15オ1
17ウ5 18ウ5 20オ1 21ウ2 23オ2 23ウ1 23ウ4
25オ4 26ウ6 30オ3 31オ5 33オ3 39ウ4 【下】
02オ3 24オ1

【復】 (9)

〔上〕 04オ2 19オ4 【中】 18ウ1 【下】 01ウ2
07ウ6 33ウ5 34オ2 34オ5 34オ6

【微】 (1)

〔中〕 04オ2

【徳】 (26)

〔上〕 06オ2 12ウ3 28オ3 28オ4 28オ4 28オ5
28オ5 28オ6 28ウ1 【中】 10ウ1 10ウ2 10ウ4
11オ3 11ウ6 13オ4 16ウ5 19オ1 21オ3 35ウ5
37オ4 【下】 02ウ2 02ウ5 04ウ1 11オ2 12オ1
25ウ6

心 部

【心】 (76)

〔上〕 09ウ2 18ウ5 19オ1 20オ3 20オ6 24ウ3
26オ2 32ウ5 33オ1 33オ5 37オ5 39ウ4 39ウ5
【中】 05オ5 07オ4 07ウ3 08ウ1 08ウ3 09ウ1
09ウ1 10ウ1 10ウ2 12ウ6 14オ2 16オ5 18オ1
19ウ5 20オ3 25ウ1 26オ4 29オ4 30ウ2 31ウ6
32オ4 32オ6 33オ4 33ウ1 34ウ5 35オ1 36オ5
37ウ4 38オ2 38ウ2 39ウ6 40オ1 40オ2 【下】
03オ2 03オ2 03オ3 03オ4 03オ5 04ウ5 05オ1
05オ1 07ウ6 08オ2 08ウ2 09オ1 09オ1 09ウ1
13ウ1 16ウ4 19ウ1 20オ2 22オ1 22オ5 22ウ5
24オ3 24オ5 24オ5 26オ3 26ウ6 29オ6 31ウ1
33ウ3 34ウ6

【必】 (27)

〔上〕 01オ2 01オ6 01オ6 20ウ5 27ウ6 34ウ3
35オ3 39ウ1 【中】 04オ1 07ウ4 10ウ1 13オ5
21ウ6 22オ1 26オ4 26ウ1 31ウ1 32オ4 36ウ5
37ウ3 39ウ6 【下】 15ウ3 19オ4 21ウ2 21ウ6
26オ3 31ウ6

【忉】 (9)

〔中〕 07オ6 33オ1 33オ6 35ウ3 【下】 05ウ5
12オ5 12ウ2 18ウ6 19オ2

【忌】 (3)

〔上〕 29オ2 【下】 04オ5 04オ6

【忍】 (6)

〔上〕 17ウ4 【中】 05ウ4 15オ3 【下】 06オ1

10ウ6 12オ2

【志】(1)
〔上〕31オ4

【忘】(4)
〔中〕11ウ3 26ウ4 40オ2 〔下〕24オ5

【快】(2)
〔上〕40オ4 〔下〕20オ3

【念】(19)
〔上〕23オ4 30オ6 30ウ4 38ウ2 38ウ4 〔中〕
05オ5 08ウ6 08ウ6 25オ1 〔下〕04オ5 04オ6
04オ6 04オ6 04オ6 04オ6 04オ6 04オ6 26ウ6
34オ4

【忽】(17)
〔上〕15ウ6 19ウ6 20ウ4 24ウ3 〔中〕07ウ5
08オ1 21ウ6 24ウ3 24ウ6 38ウ5 〔下〕08オ5
11ウ3 12ウ2 20ウ2 23オ2 26ウ3 29ウ1

【忿】(2)
〔上〕35オ3 38ウ2

【怒】(1)
〔下〕32ウ2

【怖】(9)
〔上〕23ウ4 〔中〕17オ6 29オ1 29オ4 30ウ2
38オ5 〔下〕20オ3 22ウ3 25ウ6

【怙】(2)
〔上〕20ウ5 〔下〕07ウ6

【思】(39)
〔上〕14ウ3 16ウ3 17オ2 17オ6 18オ5 19ウ1
23オ5 26オ6 28ウ5 30オ3 33オ6 35ウ1 35ウ5
38オ5 38ウ1 40ウ3 〔中〕05オ2 07ウ3 12ウ6
13オ2 14ウ6 15オ1 16オ5 17オ3 19ウ5 22ウ3
23ウ5 24オ3 27オ6 〔下〕05ウ1 05ウ2 08オ5

08オ6 08ウ1 08ウ3 10ウ3 26ウ6 29ウ1 33ウ3

【怠】(4)
〔上〕12ウ3 〔中〕08ウ6 34オ3 〔下〕12オ3

【急】(3)
〔中〕10オ4 25オ5 〔下〕10ウ5

【性】(2)
〔上〕19ウ2 〔下〕32ウ4

【怨】(5)
〔上〕24ウ5 25オ6 33オ1 〔中〕19ウ2 〔下〕
34ウ1

【怪】(3)
〔上〕14オ3 25オ3 35オ2

【恒】(6)
〔上〕18ウ5 〔中〕23ウ5 36オ2 〔下〕02オ3
10オ3 33オ5

【恐】(11)
〔上〕24オ4 36オ1 〔中〕13オ3 31ウ5 39ウ4
〔下〕08ウ6 09オ2 09オ2 09オ4 10オ5 24オ1

【恚】(2)
〔中〕38オ5 〔下〕22ウ3

【恥】(6)
〔上〕22ウ3 24オ4 34オ2 34ウ1 38オ6 〔下〕
12オ2

【恨】(1)
〔上〕16オ5

【恩】(12)
〔上〕06オ5 20ウ1 20ウ1 23オ6 28オ2 〔中〕
04ウ5 33オ1 〔下〕09ウ5 12ウ2 27オ1 27オ3
29ウ1

【恬】(1)
〔上〕36ウ4

【恭】(1)
〔上〕11才1

【息】(11)
〔上〕06才4 06ウ6 07才6 09才1 09ウ2 10ウ1
10ウ4 21才3 39ウ5 〔中〕05才5 24才1

【悦】(9)
〔上〕16才2 37才5 37才5 37才6 〔中〕15才6
26才5 39ウ5 〔下〕24才2 29才2

【悉】(2)
〔中〕06才1 〔下〕05ウ5

【悔】(10)
〔上〕14ウ4 24ウ5 24ウ5 29ウ3 30才1 〔中〕
30才6 30ウ1 30ウ2 30ウ2 34ウ5

【悟】(6)
〔上〕06才5 10才5 〔中〕38才6 38ウ1 〔下〕
22ウ4 22ウ4

【患】(2)
〔下〕03才2 03才6

【悲】(24)
〔上〕16才1 21才5 22才1 24ウ4 26才1 39ウ5
41才2 〔中〕02才6 13才1 26ウ2 29ウ1 30ウ5
37才4 38ウ5 〔下〕03ウ4 07ウ6 16ウ2 19才2
19才3 19ウ2 19ウ3 23才2 26ウ1 34ウ2

【悶】(1)
〔上〕24ウ4

【悽】(1)
〔下〕27ウ5

【情】(1)

〔下〕19才4

【惜】(20)
〔上〕21才5 27ウ5 29才3 32才6 34才2 38才1
〔中〕05ウ3 07才2 14ウ3 16ウ3 17才6 21才2
24ウ1 24ウ2 24ウ6 36才3 36才5 〔下〕13才6
19ウ1 27ウ6

【惟】(8)
〔上〕01才2 01才3 18才5 18才6 28ウ5 30才3
35ウ1 〔中〕22ウ3

【惠】(5)
〔上〕33ウ1 〔中〕19才2 23ウ1 37才4 〔下〕
06ウ5

【惡】(17)
〔上〕23ウ2 23ウ6 25才3 35才4 〔中〕06ウ5
11ウ4 13才5 14才6 22ウ4 29才6 34ウ4 〔下〕
05ウ6 11才4 18才6 19才2 30ウ4 33ウ1

【惣】(1)
〔中〕35才3

【惱】(2)
〔中〕09才1 〔下〕04才1

【愁】(7)
〔中〕29才4 〔下〕08ウ2 08ウ6 10才5 11ウ3
11ウ3 29ウ6

【愍】(1)
〔中〕01ウ6

【意】(8)
〔上〕14才1 〔中〕05才2 06才5 06ウ5 〔下〕
09才6 19ウ3 26才2 28ウ1

【愚】(7)
〔上〕41才1 〔下〕06ウ3 08ウ4 12才1 17才4
18才5 34才4

【愛】(10)
〔上〕 23才2 23才4 24ウ2 34ウ1 〔中〕 24才6
25ウ4 〔下〕 09ウ1 16ウ2 30才1 30才2

【感】(13)
〔上〕 16才1 16才5 17ウ2 18ウ4 19才6 19ウ3
〔中〕 13才5 13ウ6 20才3 21ウ6 33才4 〔下〕
12ウ2 20才2

【愧】(1)
〔上〕 14ウ4

【愴】(1)
〔下〕 27ウ5

【愼】(4)
〔上〕 29才1 29才2 〔中〕 09才2 〔下〕 29才3

【慈】(11)
〔上〕 23ウ2 〔中〕 02才6 〔下〕 03ウ4 05ウ6
07ウ6 19才3 19ウ2 19ウ2 19ウ3 26ウ1 31ウ1

【態】(3)
〔中〕 13才1 38ウ5 〔下〕 23才2

【慕】(5)
〔上〕 17才4 22才2 39才2 40才2 〔中〕 32ウ6

【慢】(5)
〔中〕 21才5 24才2 35ウ3 〔下〕 28ウ2 28ウ3

【慥】(1)
〔上〕 23ウ6

【慮】(1)
〔中〕 13才2

【憂】(4)
〔上〕 19才4 37才5 〔中〕 33才2 33才5

【憎】(1)
〔上〕 23ウ3

【憍】(2)
〔中〕 07才5 07才6

【憐】(1)
〔下〕 16ウ1

【憧】(1)
〔下〕 25ウ5

【憩】(1)
〔上〕 10ウ5

【憶】(2)
〔上〕 10才1 〔中〕 35才6

【歎】(2)
〔上〕 22ウ3 22ウ3

【懈】(3)
〔上〕 22ウ3 〔中〕 34才3 〔下〕 12才3

【應】(4)
〔上〕 19才6 〔中〕 38ウ6 〔下〕 23才3 27才5

【懲】(2)
〔上〕 14ウ2 〔下〕 29ウ4

【漸+心】***** (1)
〔中〕 21ウ6

【懷】(9)
〔上〕 24才2 24才3 24ウ6 25才1 40ウ3 〔中〕
31ウ6 40才1 〔下〕 12ウ6 24才4

【懸】(9)
〔上〕 07才2 27ウ3 34ウ2 34ウ3 36才3 39ウ1
〔下〕 13ウ1 20ウ6 21ウ4

【懺】(5)

〔中〕 22才1 30才6 30ウ1 30ウ2 30ウ2

【戀】(7)

〔上〕 22才2 39才2 40才2 41才2 〔中〕 33才3
39ウ6 〔下〕 24才3

戈 部

【戈】(1)

〔上〕 09ウ6

【成】(69)

〔上〕 01ウ1 01ウ2 01ウ6 02才6 05ウ2 12才4
12ウ3 16ウ4 17才5 19才3 22才6 28才1 29ウ2
31才2 32才4 35才5 40才5 40ウ5 〔中〕 02才2
02ウ6 05ウ5 08才5 08才6 08ウ1 09才6 09ウ1
09ウ4 10才2 10才3 11才5 14才4 17ウ5 19ウ2
20才4 20ウ1 21ウ3 22ウ6 27ウ4 29才2 29才3
29ウ1 32才6 33ウ5 35才2 39才5 40才5 〔下〕
02ウ3 02ウ4 03ウ5 06才2 06才3 06ウ2 07才3
13ウ6 15才3 16ウ5 19ウ5 20才2 21才6 22才2
23ウ2 24ウ2 25ウ2 26才3 26ウ1 26ウ2 27ウ4
33才3 34ウ6

【我】(56)

〔上〕 18才5 19才1 19才3 19才4 20才3 20ウ4
20ウ5 20ウ5 21才3 21ウ3 21ウ3 22才1 22才1
23才4 23才4 23才4 23ウ5 24ウ3 24ウ6 〔中〕
05才4 07才2 07才3 08才4 08才5 11才1 13才2
15才5 20才3 21才3 23才4 27ウ1 32才3 35ウ3
35ウ6 36才3 36才4 〔下〕 04ウ4 04ウ5 05ウ1
05ウ1 16才6 17才4 26才3 26才6 28才2 28才3
28才3 28才4 28才4 28才5 28才6 28ウ2 33才4
33ウ3 34才5 34ウ5

【戒】(17)

〔中〕 08ウ4 12ウ4 15才4 27才3 27才6 27ウ1
27ウ4 28才1 28才4 28才5 28才5 28ウ1 36ウ4
〔下〕 04才6 15才6 16才3 29ウ4

【或】(16)

〔上〕 02才3 23ウ3 40ウ6 〔中〕 02ウ3 04才5
38ウ5 38ウ5 40ウ3 〔下〕 02ウ3 02ウ4 05才6
13ウ2 15才5 23才1 25才1 33才4

【截】(2)

〔上〕 07ウ4 07ウ5

【戮】(1)

〔上〕 27ウ6

【戲】(1)

〔上〕 31ウ2

戸 部

【戸】(8)

〔上〕 28才4 35才5 39才5 〔中〕 03ウ1 03ウ1
12ウ4 12ウ4 20ウ4

【房】(9)

〔上〕 29才6 〔中〕 04才1 16ウ5 16ウ5 〔下〕
05ウ4 05ウ4 07ウ2 07ウ3 07ウ6

【所】(85)

〔上〕 01ウ4 01ウ5 14ウ2 21才1 21才4 23才5
23ウ4 23ウ6 24才1 24ウ3 24ウ3 25才5 25才5
25才6 27才3 27ウ5 28ウ6 31才1 32才3 32才5
32才6 32才6 34才2 35才4 37ウ4 38ウ2 40才3
40才4 〔中〕 03才5 07ウ3 10ウ6 11ウ1 17才1
17才3 17才5 19才3 19才5 23才3 23才3 25才6
26才3 26ウ3 30才2 33ウ1 34才2 34才3 36才3
37才4 37ウ2 〔下〕 04才1 05ウ2 05ウ5 06ウ3
07才1 07ウ2 07ウ5 08ウ4 08ウ4 09ウ4 09ウ6
10才1 11才1 11ウ5 13ウ1 14ウ1 14ウ1 14ウ5
15才5 15ウ4 16ウ3 17ウ3 18ウ4 19才1 20才1
20ウ6 21ウ5 26才1 26才1 29才6 33ウ4 33ウ4
34才1 34才1 34才5 34才6

【扇】(5)

〔上〕 21ウ5 22オ1 22オ2 40オ3 〔下〕 15ウ6

手 部

【手】 (21)

〔上〕 04ウ2 10オ4 14オ5 25オ1 29ウ2 38ウ1

〔中〕 06ウ4 20ウ5 21ウ3 22ウ3 25オ2 25オ3
31ウ5 31ウ6 36オ4 37オ2 37オ3 〔下〕 10ウ1
26ウ5 26ウ5 26ウ5

【打】 (16)

〔上〕 16ウ2 17ウ5 33オ3 33オ6 〔中〕 07ウ6
18オ3 18オ5 27ウ1 31オ6 31ウ1 〔下〕 10ウ4
11オ1 16オ4 21オ1 21オ2 21オ2

【才】 (25)

〔上〕 01ウ3 01ウ3 01ウ3 01ウ3 01ウ5 01ウ5
01ウ6 12ウ6 13オ6 15オ1 21ウ6 21ウ6 31ウ2
〔中〕 02ウ3 05オ6 05ウ4 10ウ4 10ウ6 26ウ5
〔下〕 06オ3 06オ3 09オ3 16オ2 24オ1 26ウ2

【扣】 (2)

〔上〕 16オ3 16オ5

【扶】 (2)

〔下〕 01オ4 01オ4

【承】 (2)

〔上〕 33オ1 38ウ6

【抄】 (1)

〔中〕 01オ1

【抑】 (3)

〔中〕 17オ4 36ウ3 〔下〕 21ウ1

【投】 (11)

〔上〕 19オ5 21オ4 24ウ4 24ウ5 36オ1 〔中〕
05オ4 15オ2 20オ3 28オ6 36オ1 36オ3

【折】 (3)

〔下〕 18オ5 30ウ4 32ウ1

【披】 (3)

〔上〕 09オ1 10ウ1 10ウ3

【抱】 (10)

〔上〕 34ウ6 39オ3 〔中〕 01オ3 01オ6 02ウ6
03オ3 20ウ4 〔下〕 06オ2 14オ1 28ウ5

【押】 (2)

〔中〕 31オ5 31ウ2

【拂】 (2)

〔上〕 23ウ1 〔下〕 29オ2

【拔】 (2)

〔中〕 06ウ1 32ウ3

【拘】 (5)

〔上〕 32オ6 〔中〕 08ウ2 08ウ2 13ウ4 22ウ1

【招】 (2)

〔上〕 07ウ1 38オ5

【拝】 (9)

〔上〕 32ウ2 37オ6 〔中〕 15オ2 15オ5 31オ2
〔下〕 02ウ3 20オ2 21オ4 29オ1

【拭】 (1)

〔上〕 14オ5

【拳】 (4)

〔中〕 05ウ3 06オ1 06ウ4 18オ4

【持】 (28)

〔上〕 02オ4 03オ3 04オ1 18オ4 19オ5 32ウ4
32ウ5 37オ3 〔中〕 06ウ4 12ウ6 13オ2 15オ4
18オ5 19ウ6 20ウ3 21ウ3 27オ3 27オ6 28オ1
28オ4 30ウ5 36オ5 〔下〕 03ウ6 07オ1 18ウ3
26ウ5 34ウ5 34ウ5

【指】(13)

〔上〕 28才2 〔中〕 06才3 06ウ2 06ウ3 07才2
07才2 07才4 07才4 07才5 07才6 07ウ3 29才6
29才6

【挑】(3)

〔中〕 20才1 20才4 26才3

【振】(6)

〔中〕 05才3 23才5 30才1 〔下〕 14才6 14ウ4
26才4

【捕】(9)

〔上〕 16才1 22ウ4 34才2 35ウ2 〔中〕 25才2
41才2 〔下〕 18才3 25才5 33ウ2

【捧】(1)

〔中〕 24ウ2

【捨】(9)

〔上〕 15才4 26才2 30才4 〔中〕 05才3 15才4
24ウ4 36才4 〔下〕 03ウ4 04才6

【掃】(2)

〔上〕 11才3 24才3

【授】(10)

〔上〕 10才4 33ウ3 35ウ5 35ウ6 40才2 〔中〕
05ウ1 21ウ2 〔下〕 19ウ2 26ウ1 26ウ3

【掌】(7)

〔中〕 06ウ4 20才2 33ウ1 〔下〕 20才2 21才1
21才4 26ウ5

【掘】(14)

〔上〕 14ウ6 15才2 15才3 〔中〕 06才2 06ウ2
06ウ4 06ウ6 06ウ6 07才1 07才3 07才4 17才4
〔下〕 04ウ3 08才4

【掛】(3)

〔上〕 28才2 30才2 30才3

【採】(8)

〔上〕 16才2 19ウ6 20ウ3 24才1 24才3 29才5
〔中〕 39才4 〔下〕 23ウ2

【探】(1)

〔上〕 20才6

【接】(2)

〔上〕 10才6 〔中〕 30才1

【推】(2)

〔上〕 35才1 〔中〕 29才2

【提】(28)

〔中〕 05才1 05ウ6 07ウ2 08ウ5 14ウ3 20ウ2
25ウ2 26才3 32才2 33ウ4 34ウ6 35ウ5 37ウ2
37ウ5 〔下〕 03ウ2 03ウ2 03ウ2 03ウ5 03ウ6
04才2 06ウ4 06ウ4 13ウ5 13ウ5 21ウ5 22才2
26才3 26ウ6

【揚】(2)

〔上〕 20ウ2 20ウ4

【揺】(1)

〔下〕 07ウ4

【損】(6)

〔上〕 29ウ6 32ウ1 32ウ4 38ウ1 〔下〕 03才3
34ウ1

【搏】(1)

〔中〕 30才4

【摧】(4)

〔上〕 38ウ5 41才2 〔中〕 18才3 18才5

【摩】(14)

〔中〕 06才2 06ウ2 06ウ4 06ウ6 07才3 07ウ1
08ウ2 33ウ3 36ウ1 37才2 37才2 〔下〕 02ウ3
07才3 07才4

【摺】(2)
〔中〕 25才3 〔下〕 10ウ1

【撓】(1)
〔中〕 04才1

【手+單】 12725 (1)
〔中〕 34才3

【撫】(2)
〔上〕 02ウ2 02ウ3

【播】(1)
〔上〕 04ウ3

【撰】(2)
〔上〕 36ウ6 〔下〕 01才1

【擇】(1)
〔下〕 32才6

【擔】(1)
〔上〕 18才3

【擧】(10)
〔上〕 15才1 〔中〕 14才1 15ウ1 17ウ1 23才5
38ウ5 〔下〕 17ウ2 23才2 25ウ2 34ウ4

【擬】(11)
〔上〕 22ウ4 23才4 30ウ6 33ウ2 〔中〕 11ウ4
12ウ3 12ウ6 20才1 25才2 34ウ1 〔下〕 08ウ3

【擊】(2)
〔下〕 27才5 27ウ1

【攀】(1)
〔中〕 19才4

【攘】(1)
〔上〕 19才5

【攝】(2)
〔下〕 05ウ2 25ウ5

支 部

【支】(3)
〔下〕 06ウ2 07才3 12ウ1

支 部

【改】(1)
〔上〕 09ウ2

【放】(13)
〔上〕 09ウ6 14ウ2 20才4 38ウ2 〔中〕 22才3
25才2 〔下〕 07才6 07ウ4 12才3 21才3 28才6
28才6 34才1

【政】(8)
〔上〕 05才4 05ウ5 36ウ2 〔中〕 40才5 40ウ6
〔下〕 24ウ2 25才3 29ウ6

【故】(122)
〔上〕 01才6 05才6 07ウ3 14才1 15ウ5 17ウ1
17ウ6 18才4 18ウ4 20才1 21ウ1 21ウ3 23才2
28才1 28才5 29才3 31才6 33ウ5 34才2 35才3
38才2 38才2 41才1 41才2 41才3 〔中〕 01才5
02才4 02才5 02ウ2 02ウ6 03才2 03ウ4 04才1
06ウ6 07才1 07才2 08才1 08才4 09才3 09才6
09才6 10ウ6 11才1 11ウ5 13ウ6 13ウ6 14才1
17ウ1 18才6 18ウ2 19ウ2 20才4 20才4 20才4
21才2 21ウ6 23ウ1 25ウ1 25ウ6 27才6 27ウ3
27ウ4 29才5 29ウ2 30才6 30ウ1 30ウ1 30ウ2
31才1 34ウ6 35才1 35才3 35才4 35ウ2 36才6
36ウ4 36ウ6 37才3 39ウ6 40才2 40才3 40才3
40才3 40ウ6 〔下〕 01才3 01才3 01ウ4 01ウ4
01ウ5 02才2 02才2 04ウ6 04ウ6 05才2 05ウ2
07ウ6 08才5 09ウ6 11ウ5 12才1 12ウ1 13ウ6
14ウ4 14ウ6 15才4 16ウ4 16ウ5 16ウ6 18才5
18才5 19才2 19ウ2 21才5 24才3 24才6 24才6

24才6 25才3 28才4 28才5 29才2 29才3

【教】(12)

〔上〕19才2 22ウ6 28才2 〔中〕05才2 19ウ3
25ウ1 30ウ1 32ウ5 34ウ4 35才1 〔下〕02ウ1
11才1

【救】(1)

〔上〕32才1

【敢】(14)

〔上〕11才3 12才3 12ウ3 31ウ4 32ウ1 33才3
33才6 〔中〕15才1 19才5 〔下〕13才6 14ウ4
15才2 16才4 19才3

【散】(3)

〔上〕09才4 16ウ3 〔中〕04才2

【敬】(2)

〔下〕06ウ3 16才3

【敵】(11)

〔上〕25才5 25才6 25ウ2 25ウ2 35ウ1 35ウ4
〔中〕17才5 17才5 〔下〕07ウ1 07ウ5 10才5

【敷】(8)

〔上〕07ウ3 21ウ5 22才1 22才2 〔中〕16才4
16ウ3 〔下〕05才4 05才6

【數】(12)

〔上〕03ウ2 19才5 19才6 〔中〕01才5 03才2
38才1 〔下〕02ウ2 05ウ5 07ウ3 10ウ5 21才1
22才4

文 部

【文】(54)

〔上〕01才2 01才2 07才4 07ウ1 10ウ6 11才5
11ウ1 12才1 15才1 31ウ5 32ウ2 32ウ3 〔中〕
01才3 02ウ6 07才3 07才4 09才5 10ウ6 15才4
15ウ5 16才1 18ウ2 34才1 34ウ5 35才6 38ウ6

39才5 〔下〕01才3 01才5 02才2 03ウ2 03ウ4
04ウ5 05才1 05才5 05才6 08ウ4 14ウ6 15才6
16才3 17才3 23才3 23ウ2 26才4 26ウ4 27才6
29才2 30才6 30才6 30才6 30才6 30才6 30ウ1
33才2

【斑】(2)

〔上〕26ウ6 〔下〕04才3

斗 部

【斗】(2)

〔中〕41才2 〔下〕25才5

【料】(3)

〔下〕21才1 21才2 21才2

【斛】(1)

〔上〕39ウ2

斤 部

【斤】(1)

〔上〕20才4

【斬】(3)

〔上〕25ウ5 35ウ5 36才2

【斯】(5)

〔中〕18ウ4 28ウ3 33才2 33才5 〔下〕20ウ5

【新】(2)

〔上〕11才6 〔中〕34ウ4

【斷】(4)

〔上〕18ウ4 〔中〕16才1 35才1 〔下〕09才5

方 部

【方】(50)

〔上〕03ウ3 18才6 25ウ6 32才4 32ウ4 32ウ6

32ウ6 35ウ2 39ウ5 39ウ5 40オ2 【中】 02オ3
03オ1 03オ1 03オ1 03オ1 03オ1 03ウ1 03ウ2
04オ4 04ウ3 09ウ5 10オ2 12オ1 18オ4 23ウ5
29オ1 34ウ3 36オ2 36オ3 36オ4 39ウ1 39ウ6
40オ1 【下】 01オ5 01オ6 02オ5 10オ3 13ウ6
14ウ2 17ウ6 20ウ3 23ウ4 24オ4 24オ4 26オ1
26オ2 27オ2 30オ4 33ウ3

【於】 (63)

【上】 03ウ2 05オ4 06オ2 07ウ5 07ウ5 13ウ2
14オ1 14オ3 14ウ1 14ウ2 17オ5 17オ5 18ウ2
18ウ6 19オ5 21オ1 25オ2 25ウ5 27ウ4 28ウ1
29ウ6 34ウ3 35ウ2 35ウ3 39ウ5 39ウ6 【中】
05ウ3 05ウ4 05ウ4 05ウ5 06オ4 10ウ2 10ウ3
10ウ6 11オ4 11ウ1 11ウ3 11ウ5 14オ6 16ウ3
21オ5 21ウ1 21ウ3 28オ3 35オ1 35オ3 35ウ3
37オ4 【下】 01オ4 06オ4 06オ4 09オ1 09ウ5
13ウ2 15オ5 17ウ2 19ウ3 23ウ2 26オ2 27オ4
29ウ1 31オ2 33オ5

【施】 (23)

【上】 25オ6 【中】 10オ6 15オ3 17オ2 17オ4
17オ6 21オ2 21ウ6 21ウ6 22オ1 22ウ3 23ウ6
24ウ2 26ウ5 30オ3 32ウ1 32ウ2 【下】 06オ1
14ウ3 14ウ5 14ウ6 14ウ6 26オ3

【旅】 (2)

【上】 31オ6 【下】 23ウ6

【族】 (3)

【上】 09ウ6 38ウ3 【下】 27ウ6

无 部

【无】 (149)

【上】 01ウ4 01ウ5 01ウ5 02オ1 02オ3 04オ3
04オ6 06ウ3 07オ4 07ウ1 09ウ5 10ウ2 11オ4
11ウ1 12オ1 12オ3 15ウ4 16オ4 16オ4 17オ2
20ウ4 20ウ5 21ウ6 22オ2 23オ4 23オ4 23ウ6
24オ5 24オ6 24ウ3 24ウ4 25ウ3 28オ5 28オ5
29ウ2 30ウ6 31オ6 32オ6 32ウ1 33オ3 37オ6

39オ3 39ウ2 41オ2 【中】 01ウ3 03オ6 03ウ1
04ウ3 05ウ3 06オ4 06オ5 11オ4 11オ4 12ウ4
13ウ2 14オ5 14オ5 15オ6 15ウ1 18オ2 21ウ6
22オ4 22オ6 22ウ1 23ウ1 23ウ5 23ウ5 23ウ6
25オ6 25ウ3 25ウ3 25ウ4 26ウ6 27オ4 27オ5
28ウ4 29オ4 30ウ5 32オ5 32オ6 34オ1 34ウ2
34ウ2 34ウ6 35オ1 35オ6 35オ6 36オ2 38オ1
38オ6 38ウ1 39オ1 39オ5 39オ6 39ウ1 40オ5
【下】 02ウ6 03オ2 03オ6 03ウ2 03ウ4 04オ1
04オ1 04オ1 04オ2 04ウ2 04ウ3 04ウ5 04ウ6
05オ2 05オ5 05オ6 06オ1 06オ2 08ウ1 09オ4
09オ6 09ウ4 10オ4 10ウ1 11ウ1 11ウ1 11ウ1
11ウ6 13オ6 13ウ1 13ウ4 13ウ4 14ウ1 14ウ5
15ウ3 16ウ1 17オ3 17オ3 20オ3 22オ4 22ウ4
22ウ4 23オ4 23ウ2 23ウ3 23ウ4 24ウ2 26オ2
27オ4 28オ4 28ウ2 29オ2 30ウ6

【既】 (2)

【上】 24オ5 【下】 28ウ1

日 部

【日】 (112)

【上】 02オ3 04ウ1 12ウ6 16オ4 21オ3 21オ3
22オ2 26ウ1 26ウ2 26ウ3 26ウ3 28オ4 28ウ6
30オ1 31オ6 32ウ6 33オ1 33オ1 35オ5 35ウ6
37オ3 37オ3 37オ4 37オ4 38オ2 38ウ2 39オ6
【中】 02オ3 02オ4 02オ4 02オ4 02ウ1 02ウ1
02ウ2 02ウ2 02ウ2 04オ6 04ウ4 05ウ1 06ウ2
06ウ2 09ウ6 10オ6 10ウ2 12ウ1 13オ1 14オ6
15オ6 16オ6 16オ6 18ウ1 20ウ2 20ウ2 20ウ3
22ウ6 26ウ1 26ウ2 26ウ4 28オ4 32ウ4 34オ4
34ウ1 34ウ4 34ウ4 36オ5 38オ6 38ウ4 【下】
01オ3 01オ3 01オ3 01オ4 01オ4 01オ4 01オ5
01オ5 01オ5 01オ5 01オ6 01オ6 01ウ1 01ウ1
01ウ1 01ウ1 01ウ4 01ウ5 01ウ6 02オ5 02オ6
04ウ5 04ウ6 04ウ6 05ウ4 05ウ4 07ウ3 08オ1
14ウ2 14ウ5 18ウ3 19ウ6 20ウ5 21オ1 21オ2
21オ2 21オ2 21オ6 22ウ4 23オ1 28オ5 28ウ6
29ウ5 32ウ2 32ウ3

【旦】(13)

〔上〕12オ3 19オ5 28ウ1 37オ3 37ウ6 〔中〕
17ウ1 24ウ2 26オ5 28オ2 〔下〕06ウ3 18ウ5
21ウ1 29オ5

【早】(14)

〔上〕20ウ3 21ウ6 29オ3 40オ1 40ウ3 〔中〕
06ウ3 07ウ6 19ウ2 29オ1 29ウ6 〔下〕10ウ1
26オ6 28ウ5 32ウ6

【旬】(15)

〔中〕04オ5 04オ6 04ウ2 04ウ2 04ウ3 20ウ5
32ウ4 33オ2 〔下〕01オ5 01ウ3 02オ4 14オ3
14オ3 14オ4 14オ4

【旱】(3)

〔上〕06ウ3 15ウ1 26ウ2

【昆】(2)

〔下〕07ウ4 10ウ2

【昇】(5)

〔上〕12ウ3 39ウ5 〔中〕33オ1 〔下〕07オ1
26オ2

【昊】(1)

〔中〕01ウ5

【昌】(1)

〔上〕13オ1

【明】(38)

〔上〕09ウ4 11ウ4 12ウ6 13オ1 13オ6 13ウ5
14オ5 19オ5 19ウ3 28オ4 28オ5 28ウ1 28ウ1
29ウ1 37ウ6 38オ1 39ウ4 〔中〕02オ1 10ウ2
12ウ1 20オ1 20オ1 22オ5 27ウ5 〔下〕03ウ2
03ウ4 03ウ6 04オ2 04オ4 04オ6 04ウ4 04ウ5
04ウ5 04ウ6 06ウ6 07ウ3 08オ1 17オ2

【昏】(1)

〔下〕30ウ3

【易】(10)

〔上〕14オ3 29オ5 〔中〕01オ5 03オ2 04オ1
06オ5 14ウ1 19ウ6 39ウ3 〔下〕23ウ6

【昔】(50)

〔上〕13ウ6 26ウ2 28オ4 31ウ2 31ウ6 40ウ2
40ウ2 40ウ6 〔中〕08オ4 08ウ5 09オ5 09ウ4
10オ3 10オ6 11オ4 11ウ3 11ウ5 14オ4 15ウ3
19ウ5 21オ1 22ウ2 30オ3 34ウ2 38オ1 40オ5
〔下〕01オ6 02オ5 04ウ3 06ウ3 07オ6 09ウ3
12オ6 12ウ5 13ウ5 14ウ1 16ウ4 18ウ2 19ウ6
20オ6 22オ4 24ウ2 26オ3 28オ2 31オ5 31ウ5
32ウ5 33オ2 33ウ1 34ウ3

【星】(2)

〔上〕04ウ6 〔中〕10オ6

【春】(10)

〔上〕32オ1 36オ3 〔中〕01ウ4 01ウ6 02オ2
40オ5 〔下〕01ウ3 04ウ3 06オ4 24ウ2

【是】(104)

〔上〕01オ3 01ウ4 02オ3 02ウ3 16ウ3 25オ5
25ウ6 34ウ1 35オ3 35ウ4 36オ5 37オ1 38オ2
40オ3 40オ4 〔中〕01オ3 04ウ3 07オ3 07ウ3
08オ1 08ウ1 08ウ1 08ウ2 09オ1 09オ1 09ウ2
10オ2 10オ3 11オ1 11オ5 11ウ3 11ウ6 12オ2
12オ3 12オ3 12オ4 12オ4 13ウ2 13ウ6 15ウ5
16オ3 16ウ6 17オ6 18ウ6 21ウ2 22オ5 22オ6
22ウ3 23ウ1 24オ3 28オ1 28オ4 28ウ5 28ウ6
29ウ4 30オ6 32オ1 33ウ1 34オ1 34ウ6 37ウ2
38オ5 39ウ1 40オ1 〔下〕03ウ2 03ウ4 03ウ6
04オ2 04オ4 04オ6 05ウ1 07オ2 07オ4 07ウ5
07ウ5 09オ2 11ウ2 12オ2 13オ1 13ウ3 14ウ5
15オ2 15オ4 15ウ1 17オ3 18ウ4 19ウ3 22ウ3
23ウ4 24オ4 26ウ4 26ウ4 27ウ2 28ウ5 28ウ6
29オ6 30オ2 30ウ4 33オ2 33ウ5 34オ2 34オ4
34オ5 34オ6

【昵】(1)

〔下〕 16ウ2

【時】 (277)

〔上〕 02オ4 02オ6 03オ1 03オ3 03オ4 03ウ2
03ウ5 04オ1 04オ2 04ウ5 05オ3 05オ6 05ウ2
05ウ5 06オ1 06オ4 06ウ1 06ウ3 07ウ5 07ウ6
09ウ3 10オ2 13オ5 13ウ2 13ウ3 14オ3 14ウ1
14ウ1 14ウ2 14ウ3 15オ2 15ウ4 15ウ6 16ウ3
17オ5 17ウ2 18オ2 18オ5 18ウ2 20オ3 20オ5
20ウ3 20ウ5 21オ1 21オ4 21ウ1 21ウ6 22オ1
22ウ2 22ウ3 23オ3 23オ4 23オ5 23ウ2 24オ3
24オ6 24ウ5 25ウ4 25ウ6 25ウ6 27オ6 27ウ1
27ウ5 27ウ6 28オ5 29ウ1 29ウ5 30オ1 30ウ2
30ウ3 30ウ3 30ウ6 30ウ6 31ウ2 32オ4 32ウ2
32ウ3 33オ1 33オ6 34オ1 34オ2 34オ2 35オ1
35オ3 35ウ1 36オ1 36オ3 36オ5 36ウ2 36ウ5
36ウ5 37ウ5 38ウ2 38ウ3 39オ3 39オ3 39オ6
39ウ1 40オ3 40オ5 40ウ5 41オ1 41オ2 〔中〕
02オ5 02オ5 06オ4 06ウ3 07オ4 07オ4 07ウ3
08オ6 09オ2 09オ3 09オ4 09ウ5 10オ1 10オ3
10ウ1 10ウ6 11オ6 11ウ2 12ウ1 12ウ3 12ウ4
12ウ6 13オ2 13オ5 14オ6 14ウ2 15オ3 15オ6
17オ3 17ウ5 18ウ5 19オ1 19オ1 19オ3 19オ5
19ウ5 20オ2 21ウ1 21ウ2 21ウ3 22オ1 22ウ3
23オ3 23オ6 23ウ6 24オ6 24ウ1 24ウ3 24ウ4
24ウ6 25オ2 25オ5 25ウ4 25ウ6 26オ1 26オ3
27オ3 27オ6 27ウ2 28オ3 28オ3 28ウ4 28ウ5
29オ2 29オ6 29ウ4 30ウ1 30ウ5 31オ2 31ウ2
31ウ4 31ウ5 32オ1 32オ3 33オ2 33オ3 34オ1
34オ3 34ウ2 35オ4 35ウ2 35ウ3 35ウ4 36オ3
36オ4 36ウ5 37オ2 38オ1 38オ3 38オ6 38ウ4
39ウ4 39ウ5 40オ5 40オ5 40ウ1 〔下〕 02ウ3
02ウ4 03オ3 03オ5 03ウ3 04ウ4 05ウ4 05ウ5
06オ1 06オ6 06ウ3 06ウ6 08オ1 08オ5 08ウ2
08ウ3 09ウ3 09ウ6 10ウ1 10ウ5 10ウ6 11ウ1
11ウ3 12オ6 13オ1 13オ2 13オ2 13オ4 13ウ2
13ウ3 14オ5 14オ6 14ウ3 15オ2 15ウ5 15ウ5
16ウ3 17オ3 17ウ1 17ウ2 17ウ6 20オ1 20ウ2
20ウ4 20ウ5 20ウ5 20ウ6 21オ4 22オ4 22オ6
22ウ4 23オ1 24オ1 24オ2 24ウ2 24ウ2 24ウ4
25ウ2 25ウ2 25ウ5 25ウ6 26オ3 26オ5 26オ6

26ウ3 27オ3 28オ4 28ウ1 29ウ6 31オ5 31オ6
31ウ1 33ウ2 33ウ3 34オ3 34オ5 34ウ3 34ウ5

【晉】 (1)

〔中〕 03ウ6

【晝】 (10)

〔上〕 39ウ4 〔中〕 05オ5 05ウ1 14オ6 29オ4

〔下〕 16オ6 16オ6 16ウ3 30ウ3 33ウ2

【晨】 (2)

〔上〕 10オ4 〔下〕 30ウ2

【普】 (6)

〔中〕 04ウ4 11ウ5 30オ3 〔下〕 05オ4 05オ4
33オ4

【景】 (3)

〔中〕 02オ3 32オ6 〔下〕 02オ4

【晴】 (1)

〔上〕 27ウ5

【智】 (14)

〔上〕 39オ6 〔中〕 17ウ5 17ウ6 19オ2 23ウ1
25オ4 35オ6 35オ6 〔下〕 07ウ6 15オ4 28ウ2
28ウ3 30オ3 30ウ1

【暇】 (3)

〔上〕 09ウ2 10オ6 11オ4

【暖】 (2)

〔上〕 21ウ3 〔下〕 05オ1

【暗】 (1)

〔中〕 13オ2

【暫】 (10)

〔上〕 09ウ1 10ウ3 10ウ6 13ウ2 29オ6 32ウ2
40オ1 〔中〕 15オ4 〔下〕 07ウ2 12オ1

【暮】(11)
〔上〕12才3 17才5 39ウ5 〔中〕05ウ2 05ウ3
28才2 33才3 〔下〕05才2 19ウ6 21才1 29才6

【曇】(7)
〔中〕12才5 12才6 12ウ1 12ウ3 36ウ4 〔下〕
07才3 07才4

【曉】(3)
〔中〕05ウ2 05ウ2 〔下〕30ウ5

【曜】(1)
〔中〕22才3

【曝】(2)
〔上〕10才4 〔中〕05才6

日 部

【日】(84)
〔上〕09ウ1 09ウ2 14才4 14ウ3 15ウ5 17ウ5
21才3 22ウ5 22ウ5 22ウ6 23才1 23才2 23才5
23ウ5 23ウ6 24ウ2 24ウ5 24ウ6 25才1 25才3
25ウ5 26才1 29ウ4 31ウ3 32ウ2 35才1 35才5
35ウ4 35ウ4 35ウ4 36才1 38才1 38才2 〔中〕
01才2 01才3 01ウ2 01ウ3 01ウ4 01ウ5 03才4
03才4 03才6 03ウ4 03ウ5 03ウ5 03ウ5 03ウ5
03ウ6 03ウ6 03ウ6 03ウ6 03ウ6 04才1 04才2
04才5 15ウ5 17才3 24ウ6 28ウ3 33ウ4 38才2
〔下〕01才2 01才5 01ウ2 02才4 06才2 06才4
20才6 22才5 27才6 28才4 28才6 28ウ5 29才1
30才4 30才4 30才6 30才6 30才6 30才6 30ウ1
30ウ6 32才4 32才4

【曳】(5)
〔中〕24ウ4 24ウ5 24ウ5 38ウ4 〔下〕23才1

【更】(29)
〔上〕02才3 11ウ5 15才6 17才6 17ウ4 18才5
18才5 25ウ6 27ウ1 29ウ1 32ウ1 39才3 39ウ4
39ウ6 〔中〕11才4 20ウ3 20ウ4 22才4 22才6

24ウ5 25才3 26才2 29才2 29ウ6 36才6 36ウ2
〔下〕06才2 09才2 14ウ1

【書】(40)
〔上〕01才2 06ウ6 07才2 07才4 07才6 07ウ5
07ウ6 09才4 09ウ2 09ウ3 09ウ5 09ウ5 09ウ6
10才1 10才4 10才5 10ウ1 10ウ1 10ウ3 11ウ4
12才1 12才3 12才4 12才4 12才6 12ウ2 13才4
13ウ2 〔中〕01ウ3 04才5 40才2 〔下〕20才6
20ウ5 24才6 27才2 27ウ4 30ウ6 32才4 32ウ4
33才2

【曹】(3)
〔上〕20ウ6 21才2 21才4

【曾】(6)
〔上〕14ウ1 16ウ1 16ウ2 〔中〕29ウ4 〔下〕
05才5 32才1

【最】(8)
〔上〕02才6 03才1 〔中〕06ウ5 08才6 14才4
16ウ6 〔下〕10才1 17才2

【會】(13)
〔上〕18ウ2 20ウ3 21才1 22ウ2 34ウ2 〔中〕
29才5 29ウ2 29ウ6 30才2 31ウ4 32才1 32ウ2
〔下〕33ウ6

月 部

【月】(45)
〔上〕03才4 03才5 07ウ1 09才1 17才2 27ウ5
31才4 32才2 32才2 32才2 32才3 〔中〕02才3
02才4 02才4 02才4 02ウ1 02ウ2 02ウ3 04ウ1
04ウ4 10ウ2 11才6 15ウ3 32ウ3 〔下〕02才1
02才2 02才2 02才2 02才3 02才3 02才3 02才3
02才4 02才4 02才5 02才6 02才6 02才6 18才1
18才2 18才3 18才4 21才2 32ウ2 32ウ3

【有】(280)
〔上〕01才3 01才6 01才6 01才6 01ウ1 01ウ2

01ウ4 01ウ6 02オ4 02オ6 02ウ2 03ウ2 04オ1
 04オ5 04ウ5 04ウ6 05オ4 06オ5 11ウ1 11ウ2
 11ウ5 13ウ3 15ウ5 16オ2 16オ5 17ウ1 18ウ4
 19オ5 19ウ2 20オ3 20オ3 20ウ4 21オ1 22オ1
 22オ1 22ウ2 23オ1 23オ6 23オ6 23ウ2 23ウ6
 24オ6 25ウ2 26オ5 26ウ2 26ウ2 26ウ3 26ウ5
 26ウ6 28オ4 28ウ4 28ウ6 28ウ6 29オ5 29ウ6
 30ウ6 31オ4 31ウ2 31ウ6 32オ4 32ウ2 33オ2
 34オ6 34ウ6 35オ3 35オ6 35ウ1 36オ3 36ウ5
 37ウ2 37ウ4 37ウ4 38オ5 38オ6 38ウ1 38ウ5
 39オ6 39オ6 40オ4 40オ4 40オ4 40ウ2 [中]
 01オ5 01オ5 02オ3 02オ5 02オ6 02オ6 02ウ3
 03オ2 03ウ2 03ウ4 03ウ4 03ウ4 04オ4 04オ5
 04オ6 04ウ1 04ウ1 04ウ2 05オ4 05ウ3 06オ5
 07ウ2 07ウ4 08ウ2 08ウ5 09ウ4 09ウ6 10オ3
 11オ4 11オ6 12オ6 12ウ2 12ウ2 12ウ5 12ウ6
 13オ5 13ウ5 14ウ1 15ウ3 15ウ5 15ウ6 16オ1
 16オ6 17オ5 17オ5 18オ4 18オ4 18オ5 18オ5
 18オ6 19ウ1 19ウ5 23ウ3 24オ6 26ウ5 28ウ3
 29ウ4 30オ3 30ウ4 30ウ4 31オ4 31ウ5 31ウ5
 31ウ6 32オ6 33ウ6 34オ2 34ウ3 34ウ3 35オ1
 35オ3 35オ5 36ウ5 37ウ1 37ウ3 38オ1 38オ3
 38ウ3 39オ3 39オ5 39オ5 39ウ1 39ウ1 39ウ4
 39ウ6 40オ1 40オ2 [下] 01オ3 01ウ3 02オ2
 02オ3 02ウ2 02ウ2 02ウ6 05オ4 05オ5 05オ6
 05ウ1 05ウ1 05ウ4 06オ1 06ウ4 06ウ6 07オ6
 07ウ5 08オ4 08オ4 08ウ2 08ウ2 09オ4 09ウ3
 09ウ5 10オ1 10オ3 10ウ3 10ウ4 10ウ5 11オ6
 11ウ1 11ウ1 11ウ4 12オ3 12オ6 12ウ1 12ウ5
 12ウ5 12ウ6 13オ3 13オ5 13ウ1 13ウ4 13ウ4
 14オ5 14ウ2 15オ3 15ウ3 15ウ3 16オ1 16オ2
 16オ2 16ウ1 16ウ4 18オ2 18ウ2 19オ1 19ウ6
 20オ6 20ウ2 21ウ4 21ウ6 22オ4 22オ6 22ウ6
 23オ6 23ウ2 23ウ2 23ウ4 23ウ4 24オ1 24オ3
 24オ5 24オ6 25オ6 25オ6 25ウ5 25ウ5 25ウ6
 26ウ5 27オ6 27オ6 28オ1 28オ2 28オ3 28オ3
 28オ3 28ウ5 30オ1 30オ3 30オ4 30オ6 30ウ3
 30ウ3 30ウ6 31オ5 31ウ5 32オ5 32オ5 32ウ2
 32ウ6 33オ2 33ウ1 33ウ4 34オ1 34ウ3 34ウ3
 34ウ3 34ウ4 34ウ4

【朋】 (1)
〔上〕 21ウ1

【服】 (12)
〔上〕 05オ3 05ウ2 12ウ4 13オ4 27オ6 **〔中〕**
 05オ6 14オ5 18ウ2 21ウ1 34ウ4 39オ5 **〔下〕**
 23ウ2

【朗】 (2)
〔上〕 11オ5 **〔中〕** 19オ2

【望】 (1)
〔下〕 02オ4

【朝】 (10)
〔上〕 07ウ1 15ウ6 17オ5 27オ3 38ウ5 38ウ6
〔中〕 33オ3 39ウ3 **〔下〕** 05オ2 23ウ6

【期】 (4)
〔上〕 18ウ5 **〔中〕** 10オ1 37ウ3 **〔下〕** 21ウ5

木 部

【木】 (31)
〔上〕 04オ6 06オ1 11オ6 11ウ1 11ウ1 17オ3
 17ウ1 26オ5 28オ2 29オ6 34ウ3 34ウ3 37オ3
 37オ6 37オ6 39オ1 39オ3 **〔中〕** 13ウ4 13ウ4
 13ウ5 17オ4 **〔下〕** 10ウ3 10ウ5 10ウ6 11オ1
 12ウ5 13ウ1 13ウ4 18オ4 28オ5 30ウ6

【未】 (44)
〔上〕 01オ2 03オ1 04オ5 04ウ5 12ウ2 19オ4
 20オ2 23ウ2 31ウ3 31ウ6 32オ3 32オ5 33オ6
 34オ2 35オ3 37ウ4 37ウ6 40オ4 **〔中〕** 07ウ2
 09ウ5 10ウ1 13ウ1 15オ2 20ウ3 21ウ1 23オ2
 24ウ3 26ウ4 29オ6 29ウ4 33オ2 **〔下〕** 05オ1
 05オ5 08ウ2 11ウ6 16ウ5 20ウ5 24オ1 25ウ2
 28ウ1 30オ2 32オ1 32オ4 34ウ3

【末】 (9)
〔上〕 01オ2 33オ2 34ウ3 **〔中〕** 15ウ3 22オ1

28ウ3 29オ2 【下】 19ウ3 32オ5

【本】 (46)

【上】 01オ2 01オ2 09ウ1 09ウ6 21オ1 26オ5
29オ5 40ウ3 40ウ4 40ウ5 41オ2 【中】 04オ5
07オ1 11ウ1 13ウ4 14ウ1 15オ6 15ウ4 15ウ5
16オ3 17オ3 17オ6 17ウ4 19ウ1 19ウ1 21ウ2
28オ5 34ウ1 35オ3 35オ3 40ウ2 【下】 01ウ2
08オ6 09オ5 13ウ1 13ウ3 17オ3 17ウ6 18ウ3
21オ4 24ウ5 25ウ2 25ウ2 26オ5 32オ5 32ウ4

【札】 (2)

【上】 27ウ3 28オ1

【朱】 (4)

【上】 10ウ2 【中】 01ウ6 02オ1 【下】 10オ6

【朴】 (7)

【中】 01オ3 01オ6 02ウ6 03オ3 【下】 06オ2
14オ1 28ウ5

【枋】 (1)

【上】 33オ6

【机】 (1)

【中】 27オ4

【朽】 (1)

【下】 06オ6

【季】 (6)

【上】 26ウ4 26ウ5 26ウ5 30オ3 30オ4 39オ2

【村】 (2)

【上】 05ウ5 28オ1

【杖】 (4)

【上】 17ウ3 17ウ5 【中】 27ウ1 27ウ2

【杜】 (2)

【上】 37オ2 37オ4

【東】 (27)

【上】 07オ6 07ウ1 14オ1 18ウ4 25ウ5 25ウ5
25ウ6 32オ2 【中】 01ウ1 01ウ5 01ウ5 01ウ6
02オ3 02ウ3 03オ4 03オ5 03ウ1 03ウ1 03ウ2
03ウ6 16ウ2 39オ3 【下】 10オ2 10オ3 23オ6
30ウ6 31オ2

【松】 (3)

【上】 22オ5 35オ5 41オ3

【枕】 (2)

【上】 25ウ1 【中】 21オ6

【林】 (23)

【上】 10オ6 11オ6 11ウ1 20ウ3 37オ3 【中】
05オ2 05オ4 05ウ3 09オ2 17オ3 17オ5 34ウ1
35オ2 35オ3 35オ4 35オ5 38ウ4 【下】 10オ4
13オ3 19オ5 19オ6 19ウ1 23オ1

【枚】 (7)

【上】 16オ2 20オ6 40オ3 【中】 25オ1 25オ2
25オ2 31オ5

【果】 (12)

【中】 13オ5 13ウ1 21オ3 32オ1 【下】 05ウ3
05ウ6 06オ1 06オ2 12ウ3 19オ2 19オ3 20オ4

【枝】 (13)

【上】 16オ1 30オ3 40オ5 【中】 10オ1 15ウ4
40ウ2 【下】 12ウ1 12ウ1 18オ4 18オ5 24ウ5
29オ5 30ウ4

【枯】 (6)

【上】 11オ6 11ウ1 37ウ6 38オ1 41オ4 【中】
35オ4

【柄】 (1)

【中】 16オ1

【柏】 (1)

〔上〕 22才5

【某】 (2)

〔下〕 32才4 32才4

【染】 (3)

〔上〕 05ウ2 18ウ6 〔下〕 04ウ5

【柔】 (1)

〔下〕 03才1

【柚】 (1)

〔中〕 26ウ2

【朕】 (1)

〔上〕 35ウ2

【栖】 (5)

〔中〕 16才1 〔下〕 04ウ4 04ウ5 04ウ6 05才1

【栗】 (3)

〔上〕 31才3 31才4 31才4

【梅】 (1)

〔中〕 14ウ1

【根】 (15)

〔中〕 09才1 10才4 28才3 28才5 〔下〕 03才6
03ウ1 03ウ5 08才4 09ウ3 11才4 11ウ6 11ウ6
12才1 12才3 18ウ2

【格】 (1)

〔中〕 01ウ3

【裁】 (1)

〔上〕 22才5

【桂】 (4)

〔上〕 18ウ5 〔下〕 02才3 02才3 30才4

【桑】 (6)

〔上〕 19ウ6 19ウ6 20才1 20才1 〔下〕 01才4
29才5

【桓】 (3)

〔上〕 09才6 09ウ2 09ウ5

【梁】 (2)

〔上〕 07才2 〔中〕 03ウ3

【梨】 (1)

〔中〕 22ウ3

【梵】 (6)

〔上〕 01ウ1 02ウ2 〔中〕 35ウ1 35ウ2 35ウ5
〔下〕 17才2

【棄】 (8)

〔上〕 18才3 18才4 18才5 18ウ2 20ウ5 30才5
30才6 〔中〕 12ウ6

【棘】 (1)

〔上〕 11才3

【棺】 (5)

〔上〕 16ウ5 16ウ6 16ウ6 〔中〕 35ウ4 36才2

【楛】 (5)

〔中〕 05ウ3 06才1 〔下〕 12才5 12才6 12ウ1

【楊】 (16)

〔上〕 26才4 29才1 31才3 31才4 38才3 38才4
38才4 38才6 38ウ1 38ウ2 38ウ3 38ウ4 39ウ4
40才4 〔中〕 03ウ3 03ウ6

【楚】 (6)

〔上〕 18才2 34才5 34才6 34ウ6 34ウ6 35ウ5

【榆】 (3)

〔上〕 17ウ3 17ウ4 17ウ5

【楫】(1)
〔上〕36ウ3

【業】(2)
〔中〕13ウ6 〔下〕09オ2

【極】(18)
〔上〕07オ4 37オ6 37ウ5 〔中〕01オ2 01オ3
03オ4 07オ1 16ウ1 18オ5 22ウ2 23ウ6 29オ4
32オ6 35ウ2 〔下〕02ウ2 02ウ6 10オ4 11ウ2

【榎】(1)
〔上〕28オ2

【榮】(6)
〔上〕09オ6 09ウ2 30ウ2 30ウ4 38オ1 〔下〕
20ウ2

【槃】(18)
〔中〕10ウ4 30オ6 34オ5 34ウ1 34ウ1 34ウ3
34ウ5 35オ3 35オ5 35オ6 35ウ2 35ウ4 35ウ4
36オ2 36ウ2 37オ2 〔下〕17ウ5 17ウ6

【構】(5)
〔中〕01オ3 19ウ6 20ウ3 〔下〕05オ1 10オ6

【樂】(39)
〔上〕06オ5 37オ5 41オ1 〔中〕06オ5 06ウ1
07オ1 08ウ5 08ウ5 08ウ6 09オ2 09オ3 09オ5
09オ6 09オ6 11オ4 11ウ2 11ウ3 13オ4 31ウ2
34オ1 34オ5 35オ1 39オ5 〔下〕02ウ2 02ウ5
09オ1 20オ3 23ウ2 29ウ4 33ウ1 33ウ4 33ウ5
33ウ5 34オ1 34オ2 34オ4 34オ5 34オ6 34ウ1

【樓】(3)
〔上〕12ウ3 〔下〕16オ1 25ウ1

【模】(1)
〔下〕33オ3

【様】(13)

〔上〕36ウ5 〔中〕07ウ3 12ウ6 14ウ6 16オ5
17オ3 19ウ5 27オ6 〔下〕08オ5 08ウ1 29オ6
29オ6 33ウ3

【樹】(27)
〔上〕18ウ2 18ウ4 〔中〕11オ6 12オ2 13ウ4
16ウ1 17オ2 17オ3 17オ4 17オ6 17ウ1 18オ3
18ウ2 25ウ4 33オ1 35オ2 35オ3 38オ3 〔下〕
06ウ6 07オ1 07オ1 11オ6 11オ6 11ウ3 17オ4
18オ2 22オ6

【橋】(9)
〔上〕28オ6 28ウ1 34オ4 34ウ1 〔中〕33ウ5
35ウ1 35ウ2 35ウ5 〔下〕17オ2

【機】(1)
〔上〕08オ4

【撞】(1)
〔下〕27ウ2

【横】(1)
〔上〕31ウ4

【檀】(1)
〔中〕14ウ1

【欝】(1)
〔上〕04ウ6

【欖】(1)
〔上〕14オ5

欠 部

【次】(18)
〔上〕32オ2 38ウ4 38ウ5 〔中〕01ウ5 04ウ3
10ウ4 16オ2 18オ4 18オ4 18オ5 18オ5 18オ6
〔下〕03オ3 08ウ6 10オ5 18オ4 29オ5 31オ2

【欣】 (4)

〔上〕 37ウ4 〔中〕 11ウ2 〔下〕 09オ1 12オ3

【欲】 (54)

〔上〕 06ウ6 07オ2 13ウ6 14ウ2 19オ1 20オ1
23ウ4 25ウ2 28ウ1 35オ3 35ウ1 35ウ2 38オ5
〔中〕 06ウ1 07オ2 07オ2 08オ4 09オ3 11オ4
15オ4 16オ6 18オ3 20ウ3 20ウ6 21オ5 24ウ2
24ウ4 25オ5 26オ1 26ウ3 27ウ4 31オ5 34ウ3
36ウ2 38オ4 38ウ4 〔下〕 08オ3 09オ1 13オ2
17ウ1 20ウ1 21オ5 22ウ2 23オ1 26オ4 26オ5
26オ6 31オ6 31ウ6 31ウ6 32オ1 32オ2 32オ2
34オ3

【歌】 (5)

〔上〕 21オ1 〔中〕 25ウ6 38ウ5 〔下〕 04オ5
23オ1

【歎】 (8)

〔上〕 19オ4 20オ3 24ウ4 37ウ6 〔中〕 38ウ5
〔下〕 02ウ4 11ウ3 23オ2

【歟】 (2)

〔中〕 07オ3 〔下〕 20ウ4

【歡】 (2)

〔中〕 33オ1 〔下〕 07オ1

止 部

【止】 (19)

〔上〕 04オ3 10オ4 10ウ3 14ウ4 27ウ5 33オ2
39オ2 〔中〕 08ウ5 08ウ5 08ウ6 09オ2 09オ3
09オ5 09オ6 09オ6 09ウ2 37オ5 〔下〕 08オ4
25ウ1

【正】 (14)

〔上〕 31ウ5 〔中〕 05ウ5 08オ6 17ウ4 22ウ6
36ウ4 37ウ4 〔下〕 05ウ4 13ウ6 15ウ1 22オ1
29オ1 31オ2 32ウ3

【此】 (268)

〔上〕 01ウ2 01ウ4 01ウ6 02オ4 02オ5 03オ4
03ウ1 03ウ2 03ウ5 04オ1 04オ2 04オ5 04ウ2
04ウ3 04ウ5 05オ3 05オ6 05ウ2 05ウ5 06オ1
06オ4 06ウ1 06ウ3 06ウ5 07オ4 07オ6 07ウ3
07ウ5 09オ4 09ウ1 09ウ5 09ウ6 10オ4 10ウ3
11オ3 11オ6 11ウ4 12オ1 12オ3 12オ6 12ウ2
12ウ6 13オ4 13ウ2 13ウ2 14オ3 15ウ4 16オ4
16ウ2 16ウ6 17オ2 17オ4 17ウ4 18ウ6 19ウ5
20オ2 20ウ3 21オ1 21ウ1 21ウ6 22オ5 22ウ5
23オ3 23オ5 23ウ2 24ウ2 25オ6 25オ6 25ウ2
26オ4 26ウ2 26ウ3 26ウ5 27オ3 27オ6 27ウ1
27ウ4 27ウ6 28オ2 28ウ3 28ウ4 28ウ5 29オ2
29オ5 29ウ4 29ウ4 29ウ6 30オ3 30オ6 30ウ2
30ウ6 31オ2 31オ6 33オ5 33ウ2 34ウ3 34ウ6
35オ2 36オ5 36ウ2 36ウ5 37オ3 37ウ4 37ウ6
38オ4 38ウ2 39オ2 39オ5 39ウ2 39ウ4 40オ3
40ウ5 40ウ6 〔中〕 04ウ1 04ウ5 05オ1 05オ6
05ウ4 06オ3 06オ6 07オ4 09ウ4 09ウ5 10オ6
10ウ1 10ウ1 10ウ6 11ウ3 11ウ5 11ウ5 12ウ3
13オ1 13オ2 13オ2 13オ4 13オ4 13オ5 13ウ5
14オ1 15オ1 15オ6 17オ4 17オ5 18オ1 18オ6
18ウ1 19オ3 19ウ5 19ウ5 20オ3 20ウ1 21オ1
21ウ1 21ウ1 21ウ6 22オ1 22オ6 22ウ2 22ウ6
23オ4 23ウ5 24オ1 25オ4 25ウ3 25ウ5 26オ6
27オ1 27ウ2 28オ3 28オ6 28ウ1 29ウ2 29ウ2
30オ2 30オ4 31オ4 31ウ2 31ウ5 32オ3 32オ5
33オ3 34オ1 34オ3 34ウ3 34ウ4 38オ2 39オ5
39ウ5 40オ2 40ウ1 40ウ1 40ウ6 40ウ6 41オ2
〔下〕 01ウ1 05オ1 05オ2 05オ6 05オ6 06オ2
07ウ5 08ウ2 08ウ4 09オ1 09オ5 09オ5 09オ6
09ウ4 10オ5 11オ1 11オ2 11ウ6 12オ2 12オ3
13オ2 13ウ5 14ウ3 14ウ6 15オ3 15ウ3 15ウ4
15ウ6 16オ1 16オ3 16ウ1 16ウ2 16ウ4 16ウ5
16ウ6 17オ3 17オ3 17オ4 17オ5 17ウ2 17ウ3
18オ4 18オ5 19ウ2 20オ2 20ウ4 21オ1 21オ2
22オ5 22ウ1 23オ3 23ウ2 23ウ2 24オ3 24オ5
24ウ4 24ウ4 25オ3 25オ3 25オ5 26オ1 26オ5
26ウ4 28オ4 28ウ2 28ウ6 29オ2 29オ5 29ウ1
29ウ1 29ウ6 30オ4 31ウ2 32オ1

【歩】(8)

〔上〕03ウ2 〔中〕01ウ1 01ウ2 01ウ2 13オ4
16ウ2 34オ2 〔下〕32オ6

【武】(11)

〔上〕26ウ2 26ウ5 27オ2 27オ3 27オ6 27ウ4
34ウ3 39オ1 39オ2 〔下〕10オ6 19ウ3

【歳】(1)

〔下〕20ウ4

【歴】(1)

〔上〕14オ1

【歸】(12)

〔上〕07ウ6 18オ6 19ウ6 23オ4 24ウ3 25ウ6
27オ3 27ウ1 40オ5 40ウ5 〔中〕18ウ2 〔下〕
09ウ4

歹 部

【死】(81)

〔上〕04ウ1 10ウ6 11ウ5 14ウ3 15ウ6 18オ2
20ウ1 20ウ5 21オ3 21ウ6 22ウ4 23オ4 23オ4
24オ6 24ウ4 25オ4 25オ4 26オ4 26オ4 28オ1
32オ1 33ウ2 34ウ1 35オ6 38オ4 38ウ5 39オ2
39オ5 41オ3 〔中〕06オ5 08オ6 10オ1 20ウ2
21オ2 24ウ3 24ウ3 25オ1 26ウ1 26ウ2 27ウ1
27ウ2 27ウ4 27ウ5 35オ1 39オ4 41オ3 〔下〕
04ウ6 04ウ6 06オ5 08オ3 08オ5 08ウ3 08ウ5
08ウ6 09オ1 09オ2 09オ3 09オ5 09オ5 09オ6
11オ4 12ウ1 12ウ1 15オ2 15オ3 17ウ5 18オ5
18ウ4 19オ2 19ウ2 20ウ2 20ウ3 23ウ1 25オ6
28オ6 28ウ1 28ウ5 30オ2 31オ5 33オ6 34ウ5

【殃】(1)

〔下〕34ウ1

【殆】(1)

〔中〕11ウ3

【殊】(8)

〔中〕09オ5 22オ5 22ウ4 〔下〕03ウ1 04オ3
20オ4 26オ4 26ウ4

【殖】(7)

〔上〕04ウ3 26オ5 31オ3 31オ4 〔中〕16オ1
40オ6 〔下〕24ウ3

【殘】(1)

〔下〕33ウ2

爻 部

【段】(4)

〔上〕03ウ2 〔中〕09ウ6 〔下〕25オ6 31ウ3

【殷】(3)

〔上〕17オ1 17オ2 〔下〕04ウ5

【殺】(41)

〔上〕13ウ6 20オ3 22ウ4 22ウ5 22ウ5 22ウ5
23オ1 23オ1 23オ2 23オ5 23ウ4 24オ6 25オ3
25ウ2 25ウ4 25ウ4 25ウ5 26オ1 27ウ6 30オ1
33ウ4 34オ2 35オ3 35ウ2 38ウ3 38ウ3 38ウ3
〔中〕02オ6 26オ6 27ウ4 〔下〕04ウ4 04ウ5
07ウ1 08オ2 08オ5 08ウ3 09オ3 11オ1 19ウ4
31ウ3 34ウ1

【殿】(1)

〔中〕30オ3

【毀】(1)

〔下〕05ウ1

母 部

【母】(117)

〔上〕14オ1 14オ2 14オ3 14オ3 14オ5 14オ6
14ウ1 14ウ1 14ウ2 14ウ3 14ウ3 14ウ4 15オ2
15オ3 15オ4 15オ6 15ウ1 15ウ4 15ウ4 16オ2
16オ2 16ウ6 17オ2 17オ3 17オ4 17オ4 17ウ1

17ウ4 17ウ4 17ウ4 17ウ5 19ウ5 20オ2 20オ3
20オ3 20オ4 20オ5 20オ5 20ウ3 20ウ4 21ウ3
21ウ6 21ウ6 22オ1 22オ5 22ウ2 22ウ2 22ウ2
22ウ3 22ウ6 22ウ6 23オ2 23オ3 23オ4 23ウ3
23ウ4 23ウ6 24オ1 24オ2 24オ3 24オ4 24オ5
24ウ1 25オ3 25オ4 25オ5 25オ5 26オ1 26ウ5
27オ6 29ウ6 33ウ2 33ウ3 34オ4 34オ5 34オ6
34オ6 34ウ1 35ウ1 37ウ4 38オ4 38オ4 38オ4
38オ6 【中】 04ウ5 17ウ4 17ウ4 17ウ5 21オ1
21オ2 21オ3 26オ6 26ウ2 26ウ3 26ウ6 28ウ5
29オ1 32オ3 32オ3 32オ4 32ウ3 32ウ4 32ウ5
33オ1 33オ3 33ウ4 【下】 03オ4 04オ4 16ウ2
27オ2 27オ2 27ウ5 27ウ5 31ウ6 31ウ6 34ウ4
34ウ5

【毎】(7)

【上】 13オ6 16オ2 22オ2 33オ5 【中】 14オ2
【下】 02ウ2 10ウ2

【毒】(9)

【上】 04ウ1 29ウ2 【中】 19ウ1 28ウ4 31ウ5
31ウ5 38オ5 【下】 22ウ1 22ウ2

比 部

【比】(45)

【上】 40オ5 【中】 06オ3 06ウ2 08ウ2 12オ5
12ウ1 12ウ2 12ウ3 12ウ6 13オ1 13オ2 13オ5
13ウ1 13ウ5 14オ2 14オ2 15ウ1 19ウ4 19ウ5
20オ6 20ウ1 20ウ5 20ウ6 22ウ2 24ウ3 25オ5
27ウ6 28オ1 28オ1 28ウ1 33ウ3 33ウ4 35ウ2
36ウ5 36ウ5 37ウ6 38オ1 38オ2 38ウ6 【下】
02ウ6 06ウ5 15オ6 22オ3 22オ4 22オ5

【毘】(11)

【上】 38ウ5 【中】 07ウ1 18オ3 18オ6 18ウ2
18ウ3 22ウ2 24オ5 24ウ1 26ウ5 33オ4

毛 部

【毛】(5)

【上】 04オ2 11ウ3 36ウ6 36ウ6 【中】 17オ4

【毫】(1)

【上】 37オ1

氏 部

【氏】(2)

【中】 41オ2 【下】 19ウ2

【民】(14)

【上】 04オ5 04ウ3 05オ1 05オ6 06ウ1 06ウ3
32オ1 32ウ4 32ウ5 32ウ5 36ウ2 【中】 02オ
6 04オ1 【下】 25オ5

气 部

【氣】(8)

【上】 34オ6 【中】 01オ4 02オ1 02オ2 02オ5
03オ1 【下】 06オ6 32ウ5

水 部

【水】(53)

【上】 02オ2 02オ2 06オ4 06ウ1 15オ6 15ウ1
15ウ2 17オ6 27ウ4 28オ6 28オ6 28ウ1 30ウ4
30ウ6 31オ5 31オ6 【中】 01ウ4 04ウ2 06ウ4
15ウ4 16ウ1 18オ4 36ウ5 40オ6 【下】 01ウ3
01ウ5 02オ6 02ウ2 02ウ5 02ウ5 02ウ6 02ウ6
03オ1 03オ1 03オ2 03オ2 05オ5 09ウ5 10オ3
13オ5 14オ3 14オ3 14オ4 17ウ1 17ウ1 17ウ2
17ウ4 17ウ5 18オ1 18オ2 18オ4 24ウ4 26オ2

【氷】(6)

【上】 16オ3 16オ4 16オ5 16オ6 【下】 01ウ5
04ウ4

【永】(22)

【上】 13ウ4 18ウ5 20ウ5 26オ2 38ウ6 40ウ6
【中】 06オ6 12オ1 15ウ1 17オ4 18ウ2 25オ6
30ウ1 31ウ4 35オ1 【下】 03オ5 03ウ2 09オ4

10才5 11才4 12ウ2 30才1

【求】(26)

〔上〕 17才2 18ウ6 21ウ6 30ウ2 40才1 〔中〕
05ウ4 08ウ3 08ウ5 10ウ4 11才5 11ウ1 11ウ5
15ウ3 22才4 22ウ3 27才4 31才5 33才3 38才3
〔下〕 15ウ6 17才1 17才3 22才6 26才1 27才2
28才5

【汗】(1)

〔上〕 11ウ5

【汝】(98)

〔上〕 14才4 15ウ6 18ウ3 19ウ5 20才1 20才3
20才3 23才2 23才5 24才4 24才4 25ウ3 25ウ4
31ウ3 35才4 36才3 38才5 40ウ2 40ウ3 40ウ3
40ウ5 〔中〕 06ウ2 07才1 07才2 08ウ6 09才1
13才2 13才3 13才6 13ウ1 13ウ2 13ウ3 13ウ5
15才5 21才1 21才2 21ウ4 21ウ4 21ウ6 23才3
23才4 23才6 26ウ3 26ウ3 26ウ6 27ウ2 28才3
29ウ6 30才3 30才3 30才3 31ウ1 31ウ1 31ウ6
32ウ3 32ウ4 34ウ4 35ウ2 35ウ3 35ウ3 36才3
36才4 36ウ3 36ウ6 37才3 〔下〕 07ウ5 07ウ5
09ウ6 10才6 10ウ2 10ウ3 10ウ4 11ウ2 11ウ6
12才2 12才2 12ウ6 12ウ6 13才1 13才2 13才4
13才5 13才6 13才6 13ウ3 14ウ2 15ウ5 18才3
21才4 21才6 26才5 26ウ1 28才4 28才4 28才6
28才6 28ウ1 31ウ1

【江】(14)

〔上〕 15才5 15才6 15才6 15ウ1 15ウ2 16才4
21才2 21才4 30ウ3 30ウ4 30ウ6 31才2 36ウ5
40ウ1

【池】(23)

〔上〕 28才5 〔中〕 09才2 09才3 18ウ2 〔下〕
02ウ2 02ウ2 02ウ2 02ウ5 05才4 05才4 05才6
05才6 09ウ3 09ウ3 09ウ4 10才3 10才3 10ウ1
10ウ4 11才2 11才2 15ウ3 15ウ3

【汲】(5)

〔上〕 28才6 28ウ1 37才5 〔中〕 36ウ5 36ウ6

【決】(2)

〔上〕 22ウ5 〔中〕 13ウ6

【沃】(1)

〔上〕 33才5

【沈】(4)

〔上〕 21才4 21才4 33ウ2 〔下〕 20ウ4

【沓】(3)

〔上〕 30才6 30才6 30才6

【沖】(1)

〔上〕 09才3

【沙】(18)

〔中〕 07才3 07才4 12才2 18才6 18ウ1 18ウ3
23ウ5 24才1 26ウ5 27才2 27才3 27才5 27才6
27才6 27ウ2 27ウ2 27ウ3 36才2

【没】(9)

〔上〕 20才5 20ウ3 21才2 21才4 21ウ6 32才1
〔中〕 02才4 38ウ4 〔下〕 23才1

【河】(27)

〔上〕 15才1 16才4 19才1 19才2 19才5 19才5
19才6 24ウ1 24ウ2 24ウ4 〔中〕 01ウ2 03才6
03ウ5 03ウ5 03ウ5 03ウ5 03ウ6 23ウ5 25ウ2
26才3 41才1 41才1 〔下〕 17ウ1 17ウ4 25才4
25才4 33才2

【油】(2)

〔中〕 10ウ3 19才4

【治】(10)

〔上〕 03才4 03ウ1 03ウ1 03ウ5 04才5 05ウ5
29才4 29ウ1 33ウ3 〔中〕 06ウ3

【況】(15)

〔上〕 19ウ3 20ウ1 〔中〕 08ウ2 22ウ5 35オ6
40オ1 〔下〕 06オ1 08オ2 15オ5 16オ4 24オ4
27オ4 27ウ6 29オ2 29ウ1

【泉】(3)

〔上〕 15ウ2 39ウ6 〔中〕 32オ6

【法】(71)

〔上〕 02オ4 02オ4 23オ1 〔中〕 05オ2 05オ4
05ウ1 05ウ5 06オ3 06オ4 07ウ3 07ウ3 07ウ5
08オ2 10ウ2 10ウ2 11オ5 11ウ1 11ウ3 11ウ5
16ウ3 18ウ1 19オ3 19ウ2 21ウ1 22ウ6 25オ6
28オ1 29オ5 29ウ1 29ウ6 31オ1 33オ2 33ウ5
34オ1 34オ6 34ウ3 36ウ4 37ウ2 〔下〕 02ウ1
03ウ5 04オ1 04オ6 05オ6 05ウ2 05ウ4 05ウ4
06ウ3 07オ1 07オ1 07ウ3 11オ2 11ウ6 12オ6
12オ6 12ウ1 14オ1 15オ3 15オ4 15オ4 15オ6
15オ6 15ウ1 15ウ1 18オ6 20オ5 20ウ1 20ウ3
20ウ3 21ウ5 32オ1 32オ2

【波】(13)

〔上〕 19オ2 21オ2 28ウ3 〔中〕 18ウ4 28ウ3
33オ2 33オ5 35ウ5 39オ3 〔下〕 02ウ5 04オ2
20ウ5 23オ6

【泣】(29)

〔上〕 12オ5 12オ6 14オ5 14オ5 14ウ3 15ウ1
15ウ3 16オ1 16オ5 17ウ3 17ウ4 17ウ5 17ウ5
17ウ6 20ウ4 21オ2 21ウ5 22オ2 22オ2 22オ2
23ウ4 33ウ2 40オ6 〔中〕 05ウ3 30オ6 30オ6
〔下〕 34ウ4 34ウ5 34ウ6

【泥】(8)

〔中〕 40オ6 40ウ1 40ウ1 40ウ1 〔下〕 20ウ1
24ウ3 24ウ4 24ウ4

【注】(5)

〔上〕 01オ3 41オ5 〔中〕 01オ1 〔下〕 01オ1
27オ6

【泰】(1)

〔下〕 11オ6

【洗】(6)

〔上〕 30ウ1 30ウ4 31オ1 31オ1 〔中〕 39オ3
〔下〕 23オ6

【洞】(2)

〔中〕 05オ3 〔下〕 34ウ6

【洪】(3)

〔上〕 06ウ1 27ウ4 〔中〕 18オ4

【洲】(21)

〔中〕 03ウ2 03ウ2 03ウ2 03ウ3 03ウ3 03ウ3
03ウ3 03ウ3 03ウ3 03ウ4 03ウ4 03ウ4 03ウ5
03ウ5 03ウ5 03ウ5 03ウ6 03ウ6 03ウ6 03ウ6
03ウ6

【活】(6)

〔上〕 18ウ3 29オ5 〔中〕 19ウ6 22ウ2 〔下〕
16ウ5 33ウ2

【洽】(3)

〔中〕 40ウ1 〔下〕 24ウ4 27ウ3

【流】(12)

〔上〕 03ウ2 10オ3 10オ5 11ウ5 16ウ2 17ウ2
19オ2 21ウ4 40オ6 〔中〕 07ウ1 16オ1 35ウ4

【浜】(1)

〔下〕 02ウ4

【浦】(4)

〔上〕 40ウ1 〔中〕 39オ6 〔下〕 23ウ3 31オ5

【浪】(3)

〔上〕 19オ2 21オ2 〔下〕 25ウ1

【浮】(6)

〔上〕 24ウ3 〔中〕 01ウ4 15ウ1 〔下〕 17ウ2
17ウ2 17ウ3

【海】(40)

〔上〕07才6 19才2 19才3 19ウ5 40ウ6 〔中〕
03才5 08才5 39才3 39ウ3 40ウ5 〔下〕10才2
10才3 12ウ4 12ウ5 12ウ5 13才2 13才5 13才6
13ウ4 14才5 14才5 14才5 14才6 14ウ1 15ウ3
15ウ4 15ウ6 20ウ4 20ウ6 23才6 23ウ6 25才2
25ウ2 27才6 27才6 27ウ3 27ウ4 27ウ5 30才4
31才5

【涅】(18)

〔中〕10ウ4 30才6 34才5 34ウ1 34ウ1 34ウ3
34ウ5 35才3 35才5 35才6 35ウ2 35ウ4 35ウ4
36才2 36ウ2 37才2 〔下〕17ウ5 17ウ6

【涕】(2)

〔上〕22才2 39ウ3

【涯】(3)

〔下〕14才6 30才2 30ウ6

【淑】(1)

〔上〕17才6

【涙】(15)

〔上〕14才5 16才5 21ウ4 24ウ2 39ウ5 〔中〕
05ウ4 15才2 35ウ4 35ウ4 35ウ5 37才3 〔下〕
27ウ3 27ウ5 31才4 31才6

【淡】(1)

〔下〕09ウ4

【淨】(14)

〔上〕31才2 〔下〕06ウ1 07才3 10ウ2 10ウ4
11才3 11ウ6 12才1 12才1 13才6 31ウ6 〔下〕
03才2 03才4 11才2

【淫】(1)

〔中〕38才4

【淮】(1)

〔中〕03才4

【深】(25)

〔上〕12ウ2 15才1 16才5 16ウ3 17ウ4 18ウ6
29才6 34才6 35ウ3 〔中〕05才5 09才1 11才5
15ウ4 19ウ2 24ウ2 26才1 37才4 〔下〕09ウ5
18才2 18才5 18才5 19ウ1 20ウ1 21才6 28ウ1

【淵】(3)

〔下〕18才2 18才3 18才5

【混】(5)

〔上〕20ウ6 36才2 〔中〕40ウ1 〔下〕19ウ6
24ウ4

【清】(10)

〔上〕06才4 14才2 〔中〕01才4 01才4 02ウ5
02ウ6 〔下〕03才2 03才4 03才4 29才1

【淺】(1)

〔下〕17ウ2

【添】(1)

〔下〕27ウ5

【減】(12)

〔上〕01ウ2 01ウ4 01ウ4 01ウ5 01ウ6 02才1
02才5 02才6 02ウ1 02ウ1 〔中〕01ウ2 〔下〕
08ウ6

【湊】(3)

〔下〕02ウ3 20ウ4 20ウ6

【湏】(1)

〔下〕23才4

【湛】(1)

〔下〕05才5

【湯】(1)

〔上〕06ウ2

【水+晉】 17922 (1)

〔中〕 03ウ6

【温】 (2)

〔中〕 04才3 04ウ4

【渴】 (11)

〔上〕 31才5 31才6 〔中〕 08才5 20ウ2 21才2
38才4 〔下〕 03才6 09ウ2 10才5 16ウ3 22ウ2

【溺】 (1)

〔上〕 19才2

【滄】 (1)

〔下〕 10才2

【滅】 (18)

〔上〕 22才5 22ウ2 〔中〕 20才1 22ウ2 34才1
34才1 34才1 34才1 35才4 35才5 35才5 35ウ2
35ウ6 36才4 36ウ5 36ウ5 〔下〕 17才4 17才4

【滋】 (2)

〔中〕 40ウ1 〔下〕 24ウ4

【滯】 (1)

〔下〕 05才5

【滿】 (17)

〔上〕 02ウ4 06才4 39才5 39ウ1 〔中〕 05才5
05ウ4 08ウ1 15才6 16ウ4 16ウ6 20才2 24ウ4
〔下〕 03才5 04ウ1 06才3 11才2 19ウ1

【漂】 (1)

〔上〕 19才2

【漢】 (28)

〔上〕 07才6 09才4 09ウ1 09ウ5 10才1 12才6
13才4 13ウ2 15才1 15才6 27才3 39才2 39ウ3
39ウ4 〔中〕 03ウ5 16ウ6 25才6 35ウ4 36ウ2
39才6 39ウ3 〔下〕 05ウ3 05ウ6 19才2 23ウ4

23ウ6 23ウ6 24才1

【漫】 (2)

〔下〕 10才2 10才2

【漲】 (1)

〔下〕 02ウ5

【漸】 (10)

〔上〕 01ウ2 01ウ2 〔中〕 13才4 〔下〕 04ウ5
09ウ4 17ウ5 20才1 20才1 26才1 27才2

【漿】 (2)

〔中〕 12ウ5 13才2

【潤】 (3)

〔上〕 39ウ5 〔中〕 04ウ4 〔下〕 03才5

【澄】 (1)

〔下〕 03才3

【澤】 (3)

〔上〕 07ウ5 〔下〕 03才5 10才3

【濁】 (5)

〔中〕 02ウ5 02ウ6 03才1 03才1 03才1

【濟】 (1)

〔中〕 03ウ6

【潛】 (2)

〔上〕 14才1 〔下〕 10才3

【灘】 (1)

〔中〕 03ウ5

火 部

【火】 (13)

〔上〕 02才1 02才4 04ウ6 09ウ4 09ウ5 16ウ6
〔中〕 32才6 〔下〕 01ウ1 06才4 06才5 07ウ2

19才1 19才1

【灸】(1)

〔中〕 25才3

【災】(5)

〔上〕 02才1 02才1 02才2 02才2 06才4

【炊】(5)

〔中〕 14ウ4 14ウ5 14ウ6 15才1 30才3

【炎】(6)

〔中〕 01ウ5 26ウ5 32才5 40才5 〔下〕 06才5
24ウ2

【火+友】18942 (1)

〔中〕 04才1

【烏】(14)

〔中〕 38才4 〔下〕 01才2 01才3 01才3 01才4
22ウ1 22ウ2 27才1 27才2 31ウ4 31ウ5 31ウ5
31ウ6 31ウ6

【火+臣】***** (1)

〔中〕 32才5

【焉】(3)

〔上〕 24ウ5 28ウ5 〔下〕 27ウ4

【焚】(1)

〔上〕 34ウ2

【焦】(1)

〔上〕 41才2

【然】(41)

〔上〕 06ウ1 06ウ3 17ウ4 23才1 23才2 23才3
24ウ6 26ウ6 28ウ5 32ウ4 〔中〕 09才2 10才2
10才4 13才6 13ウ3 13ウ4 16才5 17才6 25ウ2
26ウ3 26ウ6 29才4 30才3 31才5 38ウ5 〔下〕
01ウ4 05才1 08ウ6 09才3 09ウ6 10ウ2 12才1

13ウ2 13ウ6 14ウ3 15才6 16才2 16才6 20ウ5
23才2 31才6

【煎】(4)

〔中〕 24才6 24ウ2 25才1 25才1

【煮】(1)

〔上〕 35ウ6

【煙】(1)

〔中〕 05ウ3

【照】(9)

〔上〕 12才1 13才1 〔中〕 06才4 12才2 22才3
〔下〕 01ウ1 04ウ5 18才3 21才3

【煩】(5)

〔上〕 15ウ5 17才6 36ウ2 〔中〕 09才1 〔下〕
04才1

【熟】(4)

〔上〕 20才2 〔中〕 09ウ5 10才1 10才3

【熱】(3)

〔中〕 04ウ4 〔下〕 01ウ4 01ウ6

【熾】(1)

〔上〕 33才5

【燃】(2)

〔中〕 10ウ3 〔下〕 19才1

【燈】(4)

〔上〕 12才1 〔中〕 20才1 20才4 35才6

【燿】(1)

〔上〕 02才3

【燒】(16)

〔上〕 01才5 02才3 02才4 02才4 16ウ6 29才2

39オ5 39オ6 39ウ1 39ウ1 39ウ1 【中】
10オ5 10ウ5 【下】 07ウ2 19オ2

【燕】 (10)

【上】 27オ5 28オ6 39オ1 39オ3 39オ3 【中】
40オ1 【下】 24オ5 24ウ1 24ウ3 30ウ1

【營】 (3)

【上】 07オ3 【中】 03ウ6 32オ4

【燭】 (3)

【上】 07オ4 07ウ1 【中】 02オ1

【爛】 (3)

【上】 35ウ6 36オ2 【下】 15オ3

爪 部

【爪】 (1)

【中】 21ウ3

【爰】 (14)

【上】 18オ5 19オ1 19オ2 19ウ5 22ウ4 23ウ4
24オ2 【中】 07ウ5 16ウ1 19ウ2 39オ5 41オ2
【下】 08オ6 25オ5

【爲】 (204)

【上】 02ウ1 02ウ3 02ウ3 02ウ3 02ウ4 02ウ4
02ウ5 04オ2 04オ2 04ウ3 05オ1 09ウ3 10ウ3
11オ3 11オ6 12オ4 13オ5 13ウ2 14ウ2 14ウ5
15ウ5 18オ4 18ウ3 18ウ5 18ウ5 19オ1 19オ3
19オ4 19オ4 19ウ1 19ウ2 19ウ2 20オ2 20オ3
22オ1 23ウ2 23ウ5 23ウ6 24オ1 25ウ2 26オ2
26ウ2 27オ3 27ウ4 28オ5 28ウ3 32オ4 32ウ4
33ウ2 33ウ5 35ウ4 36オ5 37オ5 37ウ3 38オ1
38オ6 38ウ1 38ウ2 38ウ6 39ウ6 40オ1 40オ2
40オ3 40ウ2 40ウ2 【中】 01オ4 01ウ3 02ウ3
02ウ5 03オ1 03オ2 03ウ1 04オ3 04オ3 04オ3
04オ3 04オ5 04ウ5 04ウ5 05オ4 05オ4 05ウ1
06オ6 07オ1 08オ2 08オ4 11オ1 11オ1 11オ2
11ウ2 11ウ3 11ウ6 11ウ6 12オ4 12オ6 12ウ1

12ウ3 14ウ2 15オ3 15オ5 15ウ3 15ウ6 16ウ3
17オ4 17ウ1 17ウ5 17ウ6 18オ2 18ウ6 19オ2
19ウ1 19ウ2 20オ1 24オ6 25オ6 25ウ4 26オ5
27オ6 27ウ1 27ウ1 29オ4 31ウ3 32オ4 33オ1
33オ4 33ウ4 33ウ5 34オ1 34ウ2 35オ4 36ウ2
36ウ3 37オ3 37オ4 37ウ4 37ウ4 38オ4 38オ4
38オ5 38オ5 38ウ3 40オ2 40ウ3 【下】 01オ4
01オ6 01ウ5 01ウ6 02オ3 02オ6 05オ6 05ウ5
06オ5 06オ6 06ウ3 06ウ6 07オ1 07ウ1 07ウ2
13オ6 13ウ6 14オ1 14ウ1 14ウ1 15ウ4 16オ1
16オ1 16オ3 16ウ3 17オ2 17オ4 18オ3 18ウ2
18ウ5 19オ1 19オ3 19オ3 21オ4 21オ6 22オ1
22オ1 22ウ2 22ウ2 22ウ2 22ウ3 22ウ3 24オ5
24ウ6 26ウ3 26ウ5 27ウ2 27ウ2 28オ2 28オ3
28オ4 28オ4 28オ6 28ウ1 29ウ6 30オ1 32ウ4
33オ3 33オ5 33ウ1 34オ1

【爵】 (1)

【上】 30ウ2

父 部

【父】 (87)

【上】 13ウ5 13ウ6 14オ1 14オ4 14オ4 14オ5
14ウ1 14ウ2 14ウ4 15オ3 16オ4 16オ4 16ウ2
16ウ2 16ウ3 16ウ3 18オ2 18オ2 18オ2 18オ2
18オ3 18オ4 18オ4 18オ5 18オ5 18オ5 18ウ5
18ウ6 19オ1 19オ3 19ウ1 19ウ3 20オ3 20ウ3
21オ1 21オ3 21オ5 22オ5 22ウ2 22ウ2 23オ3
23オ4 23オ5 23オ5 23ウ4 23ウ5 24オ3 24ウ1
24ウ4 25オ1 25オ3 25ウ3 25ウ4 25ウ4 27オ6
30ウ5 31オ1 32オ3 32オ4 32オ5 33オ5 33オ6
33ウ4 33ウ5 33ウ5 34オ1 34オ1 34オ2 34オ2
34ウ6 35ウ1 35ウ1 37ウ2 37ウ4 38オ4 38オ5
38オ6 38ウ1 38ウ2 【中】 04ウ5 21オ2 29ウ1
33ウ4 【下】 04オ4 10オ5 31ウ6 31ウ6

夊 部

【爾】 (20)

【上】 15ウ5 20ウ4 27ウ2 30ウ6 38ウ3 38ウ3

40ウ4 【中】 05ウ1 19オ3 29ウ6 31オ1 31オ1
34ウ2 【下】 14オ6 15ウ5 26オ3 26オ3 26ウ3
31オ5 32オ1

片 部

【片】 (4)
【中】 14ウ1 【下】 11ウ2 12オ2 14オ4

牙 部

【牙】 (12)
【下】 05オ3 05オ4 05オ4 05オ5 05オ5 08オ1
08ウ1 08ウ2 08ウ5 09オ1 17オ1 17オ2

牛 部

【牛】 (18)
【上】 14ウ1 30ウ5 30ウ6 31オ2 36オ6 【中】
14オ5 18オ5 18ウ3 21ウ3 21ウ4 【下】 12オ5
12オ6 12ウ1 18ウ1 18ウ2 18ウ3 18ウ3 32オ5

【牝】 (2)
【下】 32オ4 32ウ1

【牡】 (2)
【下】 32オ4 32ウ1

【牢】 (10)
【下】 26ウ2 26ウ4 27オ5 27オ6 27ウ1 27ウ1
27ウ1 27ウ2 27ウ2 27ウ2

【牧】 (10)
【上】 07オ4 07ウ3 07ウ5 22オ4 22オ5 29ウ4
【中】 30オ4 【下】 12オ6 12ウ2 12ウ2

【物】 (36)
【上】 02オ3 02オ3 13オ2 14オ2 14オ3 23ウ5
29ウ5 31オ1 31オ4 35ウ4 40オ3 40オ4 【中】
01オ3 04ウ5 13オ2 13ウ3 18オ2 19オ3 24オ6
24ウ1 24ウ1 27オ4 27オ4 27オ5 29ウ3 【下】

10オ4 11ウ2 11ウ4 12オ2 13オ3 15オ4 20オ3
27オ3 29ウ4 30オ1 30オ2

犬 部

【犬】 (1)
【上】 35ウ6

【犯】 (13)
【上】 13ウ3 13ウ3 22ウ4 22ウ6 24オ4 28ウ6
【下】 07オ6 07ウ1 07ウ3 07ウ4 07ウ5 08オ1
25ウ2

【状】 (2)
【中】 15オ4 【下】 30ウ1

【狂】 (2)
【中】 39オ1 【下】 23オ4

【狄】 (1)
【上】 36ウ1

【狐】 (16)
【中】 38ウ2 38ウ3 【下】 08オ6 08ウ1 09オ1
09オ2 09オ3 22ウ5 22ウ6 25ウ4 25ウ6 26オ1
26オ1 26オ5 26オ6 26ウ4

【狹】 (1)
【下】 32オ5

【狼】 (1)
【下】 32オ5

【狸】 (2)
【下】 05ウ5 07オ1

【猛】 (2)
【上】 20ウ1 【中】 18ウ1

【猪】 (4)

〔上〕 27ウ4 27ウ5 28オ1 28オ1

【猫】 (1)

〔上〕 33ウ6

【猴】 (3)

〔下〕 12ウ5 18オ1 18オ2

【猶】 (10)

〔上〕 18ウ6 24ウ1 40オ4 〔中〕 09オ2 13ウ5

〔下〕 09オ1 15オ5 15オ6 16ウ4 19ウ1

【猿】 (20)

〔下〕 11オ5 11オ6 11ウ1 11ウ1 11ウ1 11ウ1
11ウ3 11ウ4 11ウ5 11ウ6 12ウ4 13オ1 13オ2
13オ3 13オ4 13オ4 13オ5 13オ6 13ウ5 14オ1

【獄】 (3)

〔上〕 02オ1 〔中〕 04ウ1 11ウ5

【獯】 (10)

〔上〕 13オ5 28オ2 28オ5 〔下〕 17オ6 19オ6
19ウ1 34ウ2 34ウ3 34ウ5 34ウ5

【獨】 (7)

〔上〕 20ウ5 21ウ3 〔中〕 14ウ6 17ウ1 29ウ1

〔下〕 11ウ3 29ウ5

【獲】 (2)

〔上〕 04ウ2 〔中〕 25ウ2

【獸】 (17)

〔上〕 04オ2 04ウ6 11オ1 〔中〕 37ウ6 38オ3
〔下〕 15オ2 15オ2 22オ3 22オ6 22ウ1 25ウ6
27オ6 32オ4 33ウ1 33ウ3 34オ3 34ウ1

【獻】 (2)

〔中〕 39ウ4 〔下〕 24オ1

【獮】 (3)

〔下〕 12ウ5 18オ1 18オ2

玄 部

【玄】 (8)

〔中〕 01オ4 01オ5 01ウ4 01ウ5 02オ1 03ウ4
05オ1 〔下〕 10オ6

玉 部

【玉】 (7)

〔上〕 19オ3 40ウ5 〔中〕 02オ1 30オ1 〔下〕
02オ1 02オ2 29オ5

【珏】 (139)

〔上〕 06オ2 06オ3 06オ4 06オ4 16オ3 16オ5
22ウ6 22ウ6 23オ1 23オ2 23オ5 29オ6 31ウ6
31ウ6 31ウ6 32オ1 32オ1 32オ3 32オ3 32オ5
32オ6 32ウ2 32ウ3 32ウ3 32ウ6 32ウ6 33オ1
33オ2 33ウ2 33ウ2 33ウ3 34ウ6 33ウ6 35オ1
35オ2 35オ2 35オ3 35ウ1 35ウ5 35ウ5 35ウ6
36オ1 38ウ6 〔中〕 03オ5 04オ5 04ウ6 05オ3
05ウ1 05ウ6 06ウ1 06ウ1 06ウ3 07オ1 07オ2
07オ3 07オ6 07ウ1 07ウ4 10オ5 10ウ2 10ウ4
10ウ4 11オ3 11ウ2 11ウ3 11ウ3 11ウ5 11ウ5
11ウ6 11ウ6 12オ1 12オ2 12オ2 12オ3 12オ3
12オ3 13オ6 18ウ4 19オ4 19オ5 22オ3 27オ3
28オ2 28オ3 28オ5 28ウ3 28ウ3 28ウ5 28ウ6
29オ3 29オ4 30オ1 30オ1 30オ5 30オ6 30ウ4
32ウ6 33オ2 33オ2 33オ4 33オ4 33オ5 33オ5
33オ6 33ウ2 33ウ3 33ウ4 33ウ4 33ウ4 34オ1
39ウ5 〔下〕 05オ4 07オ2 07オ5 07オ6 07ウ4
14オ5 14ウ1 15オ2 15オ4 15ウ2 15ウ3 15ウ3
15ウ4 16オ3 17オ2 18ウ4 20ウ3 20ウ5 20ウ5
20ウ6 21オ3 21オ3 24オ1 24オ2 26オ3 29ウ3
29ウ5 33オ2

【珍】 (1)

〔中〕 19オ2

【珞】 (1)

〔下〕 03ウ2

【珠】 (15)

〔上〕 02ウ2 〔中〕 27才2 27才3 27才3 27才4
27才4 27才5 27才5 27才6 27ウ1 27ウ2 27ウ3

〔下〕 01ウ1 02ウ4 03ウ3

【琉】 (1)

〔下〕 02ウ4

【現】 (23)

〔上〕 03ウ2 17ウ1 29ウ5 35才4 〔中〕 12才1
18才3 18才3 18才4 18才4 18才5 18才5 18才6
19才1 29ウ2 30才5 39才4 〔下〕 12ウ3 17才4
20才5 21才3 21ウ1 23ウ1 33才5

【理】 (4)

〔上〕 31ウ4 40才5 〔中〕 37才4 〔下〕 28ウ2

【琴】 (4)

〔上〕 16ウ1 16ウ3 16ウ3 21才2

【琵琶】 (1)

〔下〕 03ウ6

【琶】 (1)

〔下〕 03ウ6

【璫】 (1)

〔下〕 03ウ5

【瑞】 (1)

〔中〕 13ウ3

【璃】 (1)

〔下〕 02ウ4

【瓔】 (1)

〔下〕 03ウ1

瓜 部

【瓜】 (1)

〔上〕 30才6

瓦 部

【甃】 (1)

〔中〕 12ウ5

【瓶】 (2)

〔上〕 23ウ3 23ウ5

甘 部

【甘】 (3)

〔上〕 20才2 〔下〕 02ウ6 03才4

【甚】 (20)

〔上〕 07才6 16才5 32ウ5 36才6 36ウ6 40才2
〔中〕 08ウ6 13ウ5 19ウ5 25ウ1 25ウ6 26ウ5
28ウ6 31ウ1 〔下〕 01ウ6 10ウ6 13才6 17ウ2
18才5 27ウ5

生 部

【生】 (215)

〔上〕 01ウ2 01ウ2 03才1 04ウ1 06ウ5 06ウ5
07才2 07才4 07才6 09才4 09ウ1 09ウ5 11才6
12才1 12才3 13才5 14ウ1 15才1 16才2 17才2
17才5 18ウ3 19ウ2 21ウ6 22才1 23才5 23ウ3
27ウ1 27ウ2 28才2 29才2 29才5 31才4 31ウ6
31ウ6 32才3 32才4 32才5 34ウ6 35才6 39才3
39ウ1 40才1 〔中〕 02才2 02才6 05ウ5 06才5
06才5 06才6 06才6 06ウ1 06ウ2 07才1 07才2
08才4 08ウ3 09才1 10ウ1 10ウ1 11ウ3 13才3
13才4 13ウ1 13ウ1 14才1 14才4 15才5 15才5
15ウ3 15ウ4 16才6 19才4 19ウ2 19ウ6 20才4
20才4 21ウ6 22才5 22ウ2 22ウ4 24ウ6 24ウ6
26才4 26才6 27ウ4 28ウ4 29才4 29ウ2 30才6
30ウ1 30ウ2 31ウ1 31ウ1 31ウ2 31ウ3 31ウ4
32才5 34才1 34才1 34才6 34ウ3 35才1 36才5

36才5 38才5 38ウ6 38ウ6 39才4 39ウ6 39ウ6
40才2 40才2 40ウ2 【下】 02ウ3 04才1 04才4
04才4 04才4 05才1 05ウ5 06才1 06才1 06才2
06ウ5 07才1 07才2 07才2 07才2 07才3 07ウ1
08ウ4 08ウ4 08ウ5 08ウ5 08ウ6 08ウ6 09才1
09才2 09才3 09才3 09才4 09才4 09才6 11才1
11才1 12才1 12才1 12才3 12才5 12ウ2 12ウ3
13才1 13才3 13ウ6 14才1 14才4 16才6 16才6
16才6 16ウ2 16ウ2 16ウ3 16ウ4 16ウ5 17才3
17才4 17才6 17ウ3 17ウ4 17ウ5 17ウ5 18才5
18才6 18ウ1 18ウ4 18ウ4 18ウ6 19才1 19才2
19才6 19ウ3 20才3 20ウ2 20ウ3 20ウ3 21才6
21才6 21ウ2 22ウ3 23才3 23才4 24才3 24才4
24才5 24才5 24ウ5 26ウ3 26ウ5 27ウ4 28ウ2
29ウ1 29ウ1 30ウ4 30ウ4 31才5 31ウ2 31ウ3
31ウ4 31ウ5 32ウ1 32ウ1 33ウ5 34才1 34才5
34才6

【産】(3)

【中】 15ウ6 【下】 12ウ6 25ウ1

用 部

【用】(14)

【上】 28才2 32ウ1 35ウ4 35ウ4 36ウ6 【中】
14ウ6 17才5 21ウ1 【下】 08ウ4 13才1 14ウ5
16ウ6 20ウ2 21才5

田 部

【田】(12)

【上】 01才3 04才6 09ウ1 10ウ1 28才5 30ウ2
33才5 37ウ1 37ウ2 37ウ2 37ウ2 【下】 25才6

【由】(36)

【上】 12才5 26ウ1 26ウ2 28ウ4 30ウ1 30ウ3
30ウ6 31才1 32ウ2 35ウ6 41才2 【中】 03ウ3
04才4 04才5 04才6 04ウ2 04ウ2 04ウ3 11ウ5
12ウ2 19才6 20ウ5 21才1 21ウ4 23ウ5 32才5
34ウ2 【下】 01才5 01ウ3 02才4 07才1 09ウ5
14才3 14才3 14才3 14才4

【甲】(3)

【中】 21ウ3 34才6 【下】 15ウ5

【申】(12)

【上】 20才6 22ウ6 23才2 23才2 29ウ5 【中】
20ウ6 25才4 37才1 37才2 【下】 28ウ4 28ウ6
29才1

【男】(22)

【上】 04才2 04才2 05ウ2 22ウ3 23ウ3 28ウ5
32才4 34才5 35才5 35才6 【中】 08ウ2 25ウ5
25ウ5 26才1 26才2 26才3 26才5 26ウ3 31ウ3
36ウ5 39才6 【下】 23ウ3

【町】(3)

【上】 03ウ2 34ウ3 【下】 10才3

【界】(14)

【上】 15ウ5 40才1 40ウ3 【中】 04ウ3 06才4
14才6 23ウ4 35才6 【下】 08ウ4 09才6 09ウ6
11才3 17ウ4 20ウ2

【畏】(8)

【上】 23ウ4 23ウ5 【中】 17才6 29才4 【下】
09才5 15ウ3 25ウ6 27ウ1

【畔】(3)

【下】 14才5 14才5 14ウ1

【留】(10)

【上】 02才3 09才5 14才6 29才6 38才1 【中】
08才1 34才3 40才3 【下】 09ウ1 24才6

【畜】(6)

【中】 21ウ6 40才2 【下】 12才1 19ウ3 24才5
29ウ1

【敵】(1)

【上】 30才6

【畠】(2)

〔上〕04才6 30ウ2

【畢】(2)

〔上〕36ウ6 〔中〕33才6

【略】(1)

〔中〕04ウ4

【画】(1)

〔上〕22才1

【異】(7)

〔上〕05ウ3 21才1 39才3 〔中〕10ウ6 13ウ3
23ウ6 〔下〕04ウ4

【當】(17)

〔上〕24ウ6 25才4 32ウ1 35ウ2 〔中〕07才3
16ウ2 21才1 26ウ2 27ウ2 33ウ4 〔下〕06才5
12ウ1 19ウ2 20ウ1 21才5 28才2 28才3

【疇】(1)

〔上〕09才1

疋 部

【疑】(9)

〔中〕29才5 29ウ5 39ウ1 〔下〕05才6 05ウ1
06才2 12才1 18才5 23ウ4

疒 部

【疫】(1)

〔下〕32ウ5

【疲】(5)

〔上〕10ウ2 〔中〕06ウ6 19才1 19才3 23ウ6

【疵】(1)

〔中〕06才1

【疾】(11)

〔上〕34才1 〔中〕02才4 06ウ6 27ウ3 36才6

〔下〕02才4 08才1 09才5 17ウ3 30才2 32ウ5

【病】(22)

〔上〕13才4 13才6 14才2 29才4 29ウ1 33ウ2
33ウ3 〔中〕10ウ1 21才6 22ウ1 22ウ3 22ウ5
22ウ5 24ウ4 34ウ6 〔下〕08ウ5 08ウ6 08ウ6
09才5 12ウ6 13才1 13才5

【疒+曳】22150 (1)

〔中〕05才6

【痛】(11)

〔上〕17ウ1 17ウ5 22才1 22才3 24ウ4 34才2
39ウ5 〔中〕24ウ4 30ウ5 34ウ6 〔下〕03才3

【瘡】(1)

〔上〕14才2

【瘡】(1)

〔中〕34ウ4

【癢】(1)

〔上〕17才6

【癢】(3)

〔中〕35才6 〔下〕12才1 18才5

疒 部

【登】(5)

〔上〕04才6 12才6 〔中〕05才4 39才1 〔下〕
13ウ3

【發】(24)

〔上〕02才1 30ウ3 〔中〕02才2 04才4 05才3
06才6 07才4 08ウ3 09ウ1 09ウ1 10才6 10ウ1
35ウ3 〔下〕03才3 07ウ6 14ウ4 17ウ6 19才3

20才2 26才3 28ウ2 31ウ1 31ウ5 34ウ6

白 部

【白】(45)

〔上〕12才2 20才5 21才6 21ウ2 27才4 27ウ1
27ウ2 37ウ3 39ウ6 〔中〕01ウ2 02才1 03才6
04才2 14ウ6 19才1 19才5 21才6 21ウ4 30ウ5
32才5 32ウ3 〔下〕02才2 02才4 02ウ5 03ウ1
03ウ1 03ウ3 05才3 05才4 06才2 06才3 06才3
06才3 10才6 14ウ1 15ウ4 28ウ6 32才6 32ウ4
32ウ4 32ウ4 32ウ4 32ウ5 32ウ6 32ウ6

【百】(66)

〔上〕02ウ3 02ウ4 02ウ5 04ウ1 04ウ1 06ウ5
26才4 34ウ3 34ウ4 39才4 39ウ3 40ウ1 〔中〕
01才6 01ウ1 01ウ2 02ウ1 02ウ1 02ウ1 03才3
03才5 04才5 06才6 10ウ4 12才6 12ウ3 12ウ5
13ウ5 14才2 15才6 16ウ2 16ウ5 16ウ6 16ウ6
20ウ5 24ウ5 25才5 36ウ4 36ウ6 40ウ3 41才2
41才3 〔下〕01才5 01ウ2 01ウ2 05ウ3 05ウ4
05ウ5 06才3 06才3 11才6 11ウ4 11ウ5 14才1
16才1 16才2 18才2 18才4 20ウ1 21才2 25才1
25才5 25才6 30才5 31ウ2 32才4 32ウ6

【皆】(26)

〔上〕02才5 11ウ1 18ウ3 19才6 23才6 39才5
41才2 〔中〕04才4 06才1 06才6 14才1 14才2
19才5 28ウ1 32才1 32ウ5 33才5 35才4 35才5
38才6 38才6 〔下〕03才3 08才6 16才6 22ウ4
22ウ4

【皇】(45)

〔上〕03才2 03才3 03才3 03才4 03才6 03ウ1
03ウ1 03ウ1 03ウ2 03ウ4 03ウ5 03ウ5 03ウ5
03ウ5 05才3 05才6 06才2 12ウ4 13ウ2 13ウ3
27才3 27才6 27才6 27ウ1 27ウ1 29ウ4 29ウ6
29ウ6 29ウ6 36才5 36才5 36ウ5 39ウ3 39ウ4
40才3 40才5 40才5 〔中〕03ウ4 39ウ1 39ウ4
〔下〕23ウ4 24才1 30才5 30才5 30才6

皮 部

【皮】(5)

〔中〕40ウ2 40ウ3 〔下〕06才5 24ウ6 24ウ6

皿 部

22961盈(1)

〔下〕27ウ5

【益】(4)

〔上〕01才3 〔下〕03才6 06才1 17ウ3

【盗】(10)

〔上〕33ウ5 33ウ6 〔中〕09才1 19ウ6 20才3
27ウ1 27ウ4 〔下〕20ウ1 21才5 23ウ6

【盛】(6)

〔上〕32ウ1 33才5 38才2 〔中〕21才6 32才5
35才4

【盞】(2)

〔上〕28才3 28才6

【盞】(16)

〔上〕02ウ3 02ウ3 02ウ3 02ウ4 02ウ4 02ウ5
〔中〕02才6 13才5 〔下〕04才1 04才4 05ウ6
07才2 07才3 09ウ4 18ウ4 19才2

【盤】(2)

〔中〕39ウ5 〔下〕24才2

【盧】(3)

〔上〕13才4 〔中〕24才5 24ウ1

目 部

【目】(49)

〔上〕09才4 14才2 14才5 20ウ5 25才4 〔中〕
09才3 14ウ4 18ウ1 20ウ2 20ウ3 20ウ4 20ウ5
21才1 22ウ5 23才1 23才3 23才3 23才5 23才6

23ウ1 23ウ2 23ウ3 23ウ6 24オ2 24オ3 29ウ4
32オ3 32オ3 32ウ2 32ウ3 36オ5 37オ6 37ウ1
37ウ1 37ウ1 37ウ2 37ウ2 37ウ3 37ウ4 〔下〕
07オ6 21ウ3 21ウ4 21ウ4 21ウ4 21ウ5 21ウ5
21ウ6 22オ1 28オ3

【盲】(2)
〔上〕13ウ5 14オ2

【直】(13)
〔上〕14オ3 15ウ6 37ウ1 37ウ6 38オ1 〔中〕
27ウ2 30ウ6 31ウ4 40ウ6 〔下〕08ウ3 09オ6
20ウ2 25オ3

【相】(81)
〔上〕04オ2 05オ1 05ウ3 18ウ2 23ウ2 28オ4
29ウ1 32オ6 33オ5 35オ4 36オ1 36オ2 37オ4
37オ4 37ウ3 37ウ5 38オ5 38オ5 38オ6 38ウ2
38ウ6 39オ3 39ウ6 40オ1 40ウ5 〔中〕06オ1
06オ3 08ウ6 09ウ4 11ウ4 12オ2 13ウ2 13ウ3
14オ2 14オ2 14オ6 18オ1 18オ1 18オ2 19ウ6
20ウ3 20ウ3 21オ1 22オ6 25オ2 25オ5 25ウ3
25ウ5 26オ1 26オ2 26オ3 26オ6 29オ3 29オ3
29ウ2 29ウ3 29ウ4 29ウ4 31ウ4 31ウ4 32ウ6
33オ3 34オ3 34ウ5 38オ3 〔下〕01オ4 03ウ5
03ウ6 04オ6 04ウ1 08オ6 08ウ1 10オ6 10ウ3
17オ4 18オ3 18オ3 18オ4 22ウ1 26ウ1 34オ3

【眇】(2)
〔下〕10オ2 10オ2

【眉】(12)
〔上〕19ウ6 34ウ6 35オ6 35オ6 35ウ1 35ウ2
35ウ3 35ウ4 35ウ5 36オ1 〔中〕38ウ5 〔下〕
23オ2

【眞】(4)
〔中〕16ウ3 〔下〕02ウ4 03ウ3 17オ4

【眠】(10)
〔上〕06ウ6 〔中〕09オ2 09オ2 09オ4 09オ6

09オ6 09ウ2 〔下〕28ウ4 29オ2 29オ3

【昵】(1)
〔上〕18ウ5

【目+夷】23295 (2)
〔上〕38オ5 38オ6

【眼】(13)
〔上〕33オ3 〔中〕09オ3 12オ1 16オ2 19ウ4
20オ4 24ウ1 36オ4 36オ5 38オ2 〔下〕12ウ2
22オ4 34オ3

【着】(19)
〔上〕05オ3 07オ2 21ウ2 21ウ3 21ウ3 26オ5
〔中〕11ウ3 21ウ5 22オ1 24ウ1 25オ3 25オ3
34ウ1 40オ2 40オ3 〔下〕10ウ3 16オ3 24オ6
24オ6

【睡】(6)
〔上〕07オ2 〔中〕08ウ4 08ウ6 09オ1 09オ1
09オ4

【瞋】(1)
〔下〕32ウ6

【瞻】(1)
〔下〕15オ5

【瞼】(1)
〔中〕05ウ4

【瞿】(5)
〔中〕12オ5 12オ6 12ウ1 12ウ3 36ウ3

矢 部

【矢】(7)
〔上〕26ウ6 27オ1 27オ1 38ウ5 〔中〕20オ1
〔下〕19ウ1 34ウ4

【矣】(30)

〔上〕04才3 05ウ3 06才2 06ウ6 07才2 09才2
09ウ6 10才2 10才5 10ウ4 11才1 11才4 11ウ2
12ウ4 13才6 14ウ4 16ウ4 17才2 28才5 28ウ6
34才3 36ウ3 37才1 〔中〕12ウ4 15才4 40ウ4
〔下〕02ウ3 10才6 13才6 26才3

【知】(59)

〔上〕14ウ2 17ウ4 20才6 20ウ1 20ウ1 21ウ2
22ウ4 23ウ5 24才5 24ウ1 24ウ3 25ウ6 30ウ6
34才6 34ウ1 41才1 〔中〕01才3 04ウ4 05ウ6
08ウ6 09ウ2 12才4 12才4 13才2 15才5 21ウ4
22才5 23ウ1 24才3 25ウ1 28ウ6 28ウ6 31ウ1
31ウ4 33才2 37才4 38才5 39ウ1 〔下〕01ウ6
02才6 04才2 04ウ6 04ウ6 06才3 06ウ5 07才4
12ウ2 14ウ5 17才3 17ウ2 22ウ3 23ウ4 26才5
27才1 27才3 33ウ6 34才2 34ウ1 34ウ1

【矩】(1)

〔下〕32才6

【短】(1)

〔中〕01ウ2

石 部

【石】(30)

〔上〕02ウ2 02ウ2 11才2 13ウ6 19ウ2 35才6
36ウ5 39才4 39才5 39才6 39ウ1 39ウ1 39ウ1
39ウ2 39ウ2 39ウ2 〔中〕15ウ4 15ウ5 〔下〕
20才5 20ウ3 20ウ4 20ウ6 20ウ6 21才1 21才2
21才3 21才5 30ウ6 30ウ6 31才1

【砂】(1)

〔中〕31才6

【砌】(1)

〔下〕11才4

【破】(15)

〔上〕17才6 28ウ2 32ウ4 34才1 38ウ1 〔中〕

12ウ5 17ウ5 27ウ1 28才5 〔下〕06才6 08才4
15才6 16才3 21才3 31ウ2

【研】(2)

〔中〕33ウ5 〔下〕20才1

【碑】(2)

〔中〕15ウ5 16才1

【碧】(1)

〔上〕39ウ5

【磨】(1)

〔中〕33才4

示 部

【祀】(4)

〔上〕03ウ5 37才6 〔中〕06ウ3 35ウ5

【祇】(8)

〔中〕16才6 17才2 17ウ1 17ウ2 17ウ2 23才2
33才5 〔下〕31ウ5

【祈】(2)

〔上〕13才5 〔中〕25ウ4

【祐】(1)

〔下〕25ウ5

【祖】(15)

〔上〕18才3 18才5 37ウ1 37ウ2 37ウ2 〔中〕
15ウ6 26才4 27才1 37才4 〔下〕10才5 16ウ1
27才4 27才4 27才4 27ウ6

【示+末】24667 (1)

〔上〕01才6

【祝】(3)

〔上〕04ウ4 04ウ5 05才3

【神】(38)

〔上〕 03ウ5 04オ4 04オ5 04オ6 04ウ5 19オ6
19ウ3 37オ6 37オ6 〔中〕 06ウ3 12オ1 14ウ4
16オ2 17ウ6 20ウ4 20ウ6 23オ4 23オ5 23ウ1
23ウ3 24オ2 24オ3 25ウ4 30オ5 31ウ3 31ウ5
31ウ5 31ウ6 38オ1 〔下〕 06オ4 16オ1 22オ4
26オ1 26ウ2 26ウ3 26ウ4 26ウ4 28ウ5

【祥】(3)

〔上〕 16オ3 16オ5 〔下〕 10オ1

【祿】(1)

〔上〕 29ウ6

【禁】(4)

〔上〕 13ウ3 〔中〕 09ウ2 27ウ4 〔下〕 07ウ3

【福】(6)

〔中〕 22ウ4 〔下〕 20ウ2 25ウ3 26ウ3 29オ2
29ウ2

【禪】(3)

〔上〕 02オ2 02オ2 02オ3

【禮】(11)

〔上〕 05オ4 06オ5 〔中〕 15オ2 15オ5 22オ3
31オ2 33ウ1 〔下〕 02ウ3 20オ2 21オ4 30オ6

内 部

【禹】(5)

〔上〕 06オ3 06オ4 〔中〕 03オ5 39ウ4 〔下〕
24オ1

【禽】(10)

〔上〕 04オ2 04ウ6 11オ1 〔中〕 37ウ6 38オ3
〔下〕 15オ2 15オ2 22オ3 22オ6 25ウ6

禾 部

【秀】(6)

〔上〕 37ウ3 〔中〕 01オ4 02ウ6 14オ1 〔下〕
01オ3 02オ2

【私】(2)

〔中〕 05オ1 05ウ6

【秋】(9)

〔上〕 11ウ4 32オ2 〔中〕 01ウ5 02オ1 02オ2
40ウ1 〔下〕 01ウ4 04ウ3 24ウ4

【秘】(2)

〔中〕 18オ1 26オ5

【秦】(4)

〔上〕 06ウ4 27オ6 27ウ1 36ウ5

【移】(3)

〔上〕 37ウ5 〔中〕 29ウ2 〔下〕 25ウ2

【程】(5)

〔上〕 02ウ2 17オ6 〔中〕 25オ2 27オ5 〔下〕
07ウ2

【種】(25)

〔上〕 02オ1 02オ6 05ウ3 05ウ3 20オ2 〔中〕
05ウ5 06オ1 13オ6 13ウ4 13ウ6 15ウ2 17ウ5
25オ5 25オ5 36オ5 〔下〕 03ウ1 03ウ1 03ウ2
03ウ6 04ウ1 11ウ4 11ウ4 16ウ1 19オ5 26オ4

【稱】(7)

〔上〕 03オ3 34オ2 37オ6 〔中〕 02ウ5 29オ3
〔下〕 02オ1 02ウ5

【穀】(10)

〔上〕 04オ6 04ウ2 04ウ3 04ウ5 05オ1 06オ4
〔中〕 15ウ2 40オ4 〔下〕 24ウ1 26ウ6

【稻】(10)

〔上〕 04ウ2 〔中〕 09ウ3 09ウ4 10オ1 15ウ2
15ウ5 16オ1 16オ2 40ウ3 〔下〕 24ウ6

【稽】(2)
〔上〕20ウ3 21才1

25251 穆 (1)
〔下〕29ウ3

【積】(7)
〔上〕09才1 12才1 〔中〕25才6 39才3 40ウ4
〔下〕23才6 25才1

【穎】(1)
〔上〕10ウ3

【穗】(5)
〔上〕01才3 〔中〕40ウ3 40ウ4 〔下〕24ウ6
25才1

穴 部

【穴】(16)
〔上〕02才5 15才2 15才3 〔中〕20ウ5 30ウ6
30ウ6 31才1 39才1 〔下〕04ウ3 04ウ4 04ウ5
09ウ1 09ウ1 23才4 26才2 26才5

【究】(2)
〔中〕37ウ5 〔下〕22才2

【空】(13)
〔上〕02才5 02才5 38ウ4 〔中〕12ウ5 12ウ6
13才1 14ウ3 30才5 35才6 41才1 〔下〕02ウ5
15ウ6 25才4

【穿】(5)
〔上〕07才5 07ウ1 25才4 33才3 〔下〕06ウ1

【窪】(1)
〔下〕31才1

【窮】(3)
〔中〕01ウ4 15才3 23ウ2

【窺】(1)
〔上〕24才1

【穴+龍】25705 (1)
〔上〕10ウ2

【竊】(4)
〔上〕34ウ1 〔中〕06ウ1 19ウ5 29ウ3

立 部

【立】(20)
〔上〕01ウ2 05才4 06才1 〔中〕06ウ6 07才4
13ウ5 16才5 17才3 20才3 24ウ3 24ウ3 24ウ6
29ウ5 33才5 33才6 〔下〕08才6 12才6 12ウ1
19才1 21才4

【竝】(13)
〔上〕03ウ2 06才1 29ウ2 33ウ6 35ウ4 38ウ5
〔中〕16才6 22才3 24ウ4 28ウ4 32ウ5 〔下〕
06才4 26才4

【竟】(3)
〔中〕28才4 37ウ5 〔下〕22才2

【童】(17)
〔上〕01才4 24ウ2 24ウ2 31ウ2 38才4 38ウ5
38ウ6 〔中〕26ウ5 30才4 32才4 39才5 〔下〕
10ウ6 11才1 11才3 12才6 12ウ2 23ウ3

【竦】(1)
〔下〕29ウ5

【竭】(3)
〔上〕01才3 〔中〕33才4 〔下〕27才3

【端】(3)
〔中〕27ウ2 〔下〕10ウ5 12ウ1

竹 部

【竹】(4)

〔上〕 15ウ3 16オ1 〔中〕 09ウ6 16ウ1

【笙】(2)

〔中〕 33ウ3 〔下〕 11オ6

【竽】(2)

〔上〕 10オ4 10オ5

【篴】(2)

〔上〕 12ウ5 12ウ6

【笑】(2)

〔中〕 38ウ5 〔下〕 23オ2

【笛】(1)

〔上〕 21オ2

【符】(1)

〔中〕 04オ6

【第】(216)

〔上〕 01オ5 01ウ5 03オ2 03オ6 03ウ4 04オ4
 04ウ4 05オ2 05オ5 05ウ1 05ウ4 05ウ6 06オ3
 06オ6 06ウ2 06ウ4 07オ1 07オ3 07オ5 07ウ2
 07ウ4 09オ3 09オ6 09ウ4 09ウ6 10オ1 10オ3
 10オ6 10ウ5 11オ2 11オ5 11ウ3 11ウ6 12オ2
 12オ5 12ウ1 12ウ5 13オ3 13ウ1 13ウ5 14オ6
 14ウ6 15オ5 15ウ3 16オ3 16ウ1 16ウ3 16ウ5
 17オ1 17オ3 17ウ3 18オ1 18ウ1 19ウ4 20ウ2
 20ウ6 21オ3 21オ6 21ウ5 22オ4 22ウ1 23ウ1
 25ウ1 26オ3 26ウ1 26ウ4 27オ5 27ウ3 28オ3
 28ウ2 29オ1 29オ4 29ウ3 29ウ4 30オ2 30オ5
 30ウ1 30ウ5 31オ3 31オ5 31ウ1 31ウ5 33オ4
 33ウ1 34オ4 34ウ2 34ウ5 36オ4 36ウ1 36ウ4
 37オ2 37ウ1 38オ3 39オ1 39オ4 39ウ3 40ウ1
 〔中〕 01オ2 02ウ5 04ウ6 06オ2 07オ5 08オ3
 08ウ4 09オ1 09ウ3 10オ5 11オ3 12オ5 14オ3
 14ウ3 14ウ4 14ウ5 15ウ2 15ウ3 16オ4 17オ2
 17ウ3 18ウ4 19ウ4 20オ6 21オ4 22オ2 22ウ1

22ウ3 23オ1 23オ4 23ウ1 23ウ2 24オ3 24オ4
 24オ5 25ウ1 25ウ2 27オ2 27ウ6 28ウ2 29オ5
 30ウ2 30ウ3 31オ3 32オ2 32ウ2 32ウ6 33ウ2
 34オ5 35オ2 35ウ1 35ウ5 36オ1 36ウ1 37オ6
 37ウ6 38オ4 38オ4 38オ5 38オ5 38ウ2 39オ2
 39ウ2 40オ4 40ウ5 〔下〕 01オ2 02オ1 02ウ1
 04ウ2 05オ3 05ウ3 06ウ2 07オ5 08オ3 08ウ6
 09ウ2 11オ5 12オ5 12ウ4 13オ1 14オ2 15オ1
 15ウ2 16オ5 17オ1 17オ6 18オ1 18ウ1 18ウ6
 19オ5 19ウ5 20オ5 21ウ3 22オ3 22ウ2 22ウ2
 22ウ3 22ウ3 22ウ5 23オ5 23ウ5 24ウ1 25オ2
 25ウ4 27オ1 27ウ3 28オ1 28ウ4 29オ4 29オ5
 29ウ3 30オ3 30ウ5 31オ4 32オ3 32ウ3 33オ1
 33オ6 34ウ2

【筆】(3)

〔上〕 36ウ4 36ウ5 37オ1

【等】(58)

〔上〕 11ウ5 18ウ3 18ウ4 19オ1 19オ3 19オ4
 23ウ6 31ウ3 31ウ3 32オ1 32オ4 32オ5 32ウ4
 32ウ6 33オ1 33オ2 38オ1 38ウ3 38ウ3 〔中〕
 06オ6 09ウ4 11オ5 11ウ4 12ウ2 12ウ4 15オ1
 16オ6 16ウ6 18オ1 18ウ5 19ウ1 22オ5 22ウ6
 22ウ6 23オ2 23ウ3 24オ1 36オ3 36オ4 38オ6
 〔下〕 03オ6 05オ1 09ウ4 10ウ2 10ウ3 10ウ4
 11ウ2 11ウ5 11ウ6 12オ2 12オ2 13ウ1 14ウ2
 15オ5 17オ4 18オ3 22ウ4 26ウ5

【筋】(1)

〔下〕 29ウ5

【筍】(4)

〔上〕 15ウ4 15ウ4 16オ1 16オ2

【答】(39)

〔上〕 17ウ5 18オ4 18ウ3 20オ2 21ウ3 21ウ6
 24ウ2 26オ5 31オ1 32オ5 35ウ3 39ウ6 40ウ6
 〔中〕 13ウ3 16ウ2 18ウ6 19オ2 21オ1 25ウ5
 26オ1 26ウ3 27ウ3 28オ4 31オ1 36ウ6 37オ1
 37オ1 37オ3 37オ4 38オ4 〔下〕 09ウ6 10ウ4

11ウ6 13オ1 13オ6 22ウ2 33ウ6 34オ3 34オ5

【筥】(2)

〔上〕40ウ1 40ウ5

【筵】(2)

〔上〕05ウ3 29ウ4

【算】(3)

〔中〕04ウ4 27オ5 〔下〕30ウ2

【管】(2)

〔上〕36ウ2 36ウ2

【箭】(5)

〔上〕25オ3 38ウ4 38ウ4 〔中〕19ウ6 28オ6

【箱】(4)

〔上〕28ウ5 29ウ4 29ウ4 41オ1

【篇】(1)

〔下〕29オ5

【節】(13)

〔上〕05オ4 09オ1 09オ1 11ウ4 〔中〕02オ5
10ウ6 〔下〕01ウ4 20ウ4 30ウ2 30ウ2 30ウ3
31オ6 32ウ3

【箆】(1)

〔下〕23ウ6

【簫】(1)

〔下〕30ウ2

米 部

【米】(8)

〔中〕14ウ2 14ウ2 14ウ4 14ウ5 14ウ6 30オ4
40ウ2 〔下〕24ウ5

【粳】(4)

〔中〕40オ6 40ウ2 〔下〕24ウ3 24ウ5

【粒】(7)

〔上〕02ウ4 〔中〕14ウ3 15ウ5 40ウ2 40ウ3
〔下〕24ウ5 25オ1

【粗】(2)

〔上〕01オ3 04オ1

【粟】(3)

〔上〕04ウ2 〔中〕41オ2 〔下〕25オ5

【粥】(2)

〔中〕21オ6 21ウ1

【米+舛】26939 (2)

〔下〕32オ4 32オ4

【粧】(2)

〔中〕38ウ4 〔下〕23オ1

【精】(22)

〔上〕34ウ6 35オ1 〔中〕08ウ4 08ウ5 08ウ6
09オ4 10ウ3 14ウ6 15ウ4 16オ2 16ウ5 17ウ2
23オ2 24ウ1 32オ2 33オ5 34オ3 38オ2 〔下〕
01オ4 02オ6 12オ4 22オ5

【糞】(1)

〔上〕35ウ6

糸 部

【糾】(1)

〔中〕36ウ3

【紀】(2)

〔上〕27ウ3 28オ1

【約】(7)

〔上〕22ウ2 26オ6 28オ2 28ウ6 〔中〕16ウ4
31ウ6 〔下〕10ウ5

【紅】(2)
〔中〕 38ウ4 〔下〕 23オ1

【納】(3)
〔中〕 05ウ4 19ウ5 〔下〕 11ウ5

【純】(1)
〔下〕 30ウ6

【紙】(4)
〔上〕 07オ4 〔下〕 21オ1 21オ2 21オ2

【素】(5)
〔上〕 40ウ3 〔中〕 05オ5 39ウ1 〔下〕 23ウ4
27ウ1

【索】(2)
〔上〕 39ウ6 〔中〕 06ウ4

【紫】(8)
〔上〕 16オ1 36ウ5 37オ1 37オ5 37ウ3 〔中〕
40オ6 〔下〕 04オ5 24ウ3

【終】(18)
〔上〕 01オ6 01オ6 01ウ5 11オ4 19ウ2 23オ3
23オ5 〔中〕 11ウ2 18ウ5 22ウ1 28オ5 31ウ2
31ウ4 40オ5 41オ1 〔下〕 24ウ3 25オ4 26ウ2

【絃】(1)
〔上〕 21オ1

【結】(12)
〔上〕 11ウ2 12オ2 12オ4 18ウ4 〔中〕 04ウ2
11オ4 35オ5 36ウ2 〔下〕 01ウ5 10オ4 15オ2
25オ1

【絶】(6)
〔上〕 07ウ1 24ウ4 40ウ6 〔下〕 04ウ3 13オ3
18ウ5

【給】(34)
〔上〕 29ウ6 32オ5 32ウ3 32ウ6 〔中〕 05ウ4
05ウ5 06ウ5 06ウ6 07ウ6 08オ4 11ウ1 12ウ5
13オ1 13オ2 15オ4 17ウ1 18ウ5 21ウ3 22オ4
26オ1 26ウ4 26ウ6 28オ2 29ウ5 32オ4 33オ4
33オ6 36オ6 37オ1 37オ3 41オ2 〔下〕 06ウ4
25オ5 25ウ1

【絲】(1)
〔中〕 37オ6

【紡+刀】***** (1)
〔上〕 14ウ1

【絹】(1)
〔上〕 07オ4

【經】(49)
〔上〕 02オ4 02オ4 10ウ3 14オ2 19オ2 27ウ6
37オ4 41オ1 〔中〕 05ウ5 10ウ2 10ウ3 10ウ5
11オ5 20ウ3 31オ1 32オ4 34ウ1 36ウ3 〔下〕
05オ4 05ウ4 05ウ5 06オ2 06ウ3 07ウ2 07ウ3
08オ1 08ウ5 12オ6 15オ2 15オ5 17オ2 18ウ2
18ウ3 18ウ3 20ウ1 20ウ4 21オ1 21オ1 21オ2
21オ2 21ウ1 21ウ1 21ウ2 25ウ5 28オ2 29オ1
30オ4 31オ6 33オ4

【線】(1)
〔中〕 05オ6

【網】(14)
〔中〕 37ウ1 37ウ1 37ウ2 37ウ3 37ウ4 〔下〕
20ウ6 20ウ6 20ウ6 21ウ3 21ウ4 21ウ4 21ウ5
21ウ6 22オ1

【縁】(6)
〔中〕 08オ4 19オ4 24オ1 〔下〕 09ウ4 21オ4
21オ6

【緩】(1)
〔上〕 12オ6

【縛】(4)
〔上〕20才1 25ウ3 25ウ3 〔中〕28才1

【縞】(1)
〔中〕39才4

【縣】(4)
〔上〕12才6 36才3 36ウ2 36ウ2

【縮】(1)
〔中〕10才1

【縦】(1)
〔中〕03ウ3

【繞】(2)
〔中〕11才6 〔下〕28才5

【繩】(2)
〔上〕07才2 07才2

【繫】(4)
〔中〕28才2 28才3 37ウ1 〔下〕07ウ2

【繼】(3)
〔中〕11才6 15才1 〔下〕19才5

【續】(5)
〔上〕05才1 07ウ1 09ウ4 09ウ5 〔中〕04才5

【纏】(1)
〔中〕10ウ3

【纒】(1)
〔上〕01才2

罽 部

【罪】(8)
〔上〕22ウ4 22ウ6 23才1 23才1 24才6 〔中〕

30才6 30ウ2 〔下〕11ウ6

【置】(30)
〔上〕07才4 17ウ1 18才3 19ウ1 28ウ5 32才3
32才5 35才2 36ウ2 37才3 39才3 〔中〕10才2
16ウ1 16ウ6 21才6 23才4 27才4 30才4 31才2
33才5 33才6 〔下〕13ウ2 14才4 14ウ3 14ウ3
15ウ5 15ウ5 17ウ6 20才6 25ウ1

【罵】(8)
〔上〕10才5 22ウ3 22ウ4 〔中〕30ウ5 〔下〕
10ウ4 10ウ6 10ウ6 16才4

【羅】(31)
〔上〕12才5 〔中〕06才2 06ウ2 06ウ4 07ウ1
07ウ1 07ウ2 12才2 16ウ6 18ウ5 18ウ6 19才1
19才3 22ウ1 25才6 30ウ3 30ウ4 30ウ6 32才3
32才3 33ウ4 35ウ4 36ウ2 〔下〕04才2 05ウ3
05ウ6 14才5 14ウ1 14ウ4 16才1 19才2

羊 部

【羊】(1)
〔上〕07ウ5

【美】(7)
〔上〕07ウ3 36才6 38才4 40ウ2 〔中〕28ウ2
29才2 29ウ1

【群】(5)
〔上〕07ウ6 35才2 35才2 〔中〕20才6 〔下〕
02ウ3

【義】(14)
〔上〕01才3 10ウ3 18ウ1 20ウ1 22ウ1 22ウ2
23才6 26才3 26才4 〔下〕03ウ4 30才6 30ウ3
32才2 32ウ2

【羲】(3)
〔上〕04才1 04才5 〔下〕33才2

【羸】(1)
〔中〕02才2

羽 部

【羽】(17)
〔中〕39才5 40才6 40ウ1 40ウ1 〔下〕03ウ6
06ウ2 15ウ6 16才1 19才1 19ウ6 23ウ2 24ウ3
24ウ4 24ウ4 27才3 27ウ4 31才1

【翁】(1)
〔上〕39ウ4

【翹】(8)
〔上〕38ウ4 〔中〕18才5 〔下〕14才2 14才4
14才6 15ウ3 15ウ4 15ウ6

【習】(10)
〔上〕01才2 30ウ4 40才1 〔中〕07ウ3 07ウ3
19ウ1 37ウ3 〔下〕09ウ1 21ウ6 28ウ2

【翔】(1)
〔下〕27ウ5

【翠】(2)
〔中〕38ウ5 〔下〕23才2

【翥】(1)
〔下〕17ウ1

【翦】(1)
〔上〕38ウ1

【翼】(4)
〔上〕40才5 〔下〕04ウ5 30才6 30ウ2

老 部

【老】(34)
〔上〕10ウ6 13ウ2 14才5 15才2 15才3 15ウ5

18才4 18才5 20ウ4 27ウ1 28才1 37才5 40ウ6
〔中〕12ウ5 12ウ6 13ウ1 25ウ3 31才4 38ウ3
〔下〕05ウ3 05ウ4 08ウ5 08ウ6 08ウ6 09才4
14才1 19ウ6 22ウ6 25ウ1 27才2 27才4 30ウ5
31才1 34ウ4

【耆】(1)
〔上〕29才4

【者】(195)
〔上〕01才3 01才6 01ウ2 01ウ3 02才4 02ウ2
05才6 06才5 09才5 15才4 18才2 18才4 18才5
19才6 20ウ5 21才3 23才2 23才3 23才5 23ウ6
24ウ6 26ウ2 26ウ5 27才3 27才6 27ウ4 28ウ4
30才3 30才6 32ウ5 33才2 33才3 34ウ3 35才3
35才5 35ウ2 36才5 39才3 40才1 40才4 40才5
〔中〕01才3 01才4 01ウ4 03才1 04ウ4 05才4
05ウ6 07才6 07才6 08才5 08ウ1 09才4 09才5
09才5 09ウ2 09ウ2 09ウ5 09ウ6 10才3 10才3
10才6 10ウ6 11ウ1 12才2 12才2 12才3 12才3
12才6 12ウ2 12ウ3 13才1 14才2 14才4 15ウ1
15ウ2 16才2 16才2 16才5 17ウ2 17ウ2 19才4
19才5 19才6 21才5 21ウ6 25ウ2 25ウ3 25ウ4
25ウ5 25ウ6 26才4 26才5 26才5 26才6 26ウ2
26ウ6 28ウ1 31才2 32才6 34才3 35才5 37才3
38才1 38才3 38ウ5 38ウ6 39才5 39才6 40才2
〔下〕01ウ3 02ウ6 02ウ6 02ウ6 03才1 03才1
03才2 03才2 03才2 03才3 03才4 03才4 03才4
03才5 03才5 03才5 03ウ1 03ウ1 06ウ6 07才4
07ウ3 08ウ4 08ウ4 08ウ5 08ウ5 08ウ5 09ウ5
09ウ5 10才6 10才6 11才1 11才1 11才2 11才2
11才2 11才3 11才3 11才4 12才4 12ウ3 13才5
13ウ3 13ウ5 13ウ5 14才1 14才5 14才5 14ウ3
15才6 17才5 17ウ4 17ウ4 17ウ4 17ウ4 17ウ6
18ウ1 18ウ4 18ウ5 19才4 19ウ3 19ウ3 19ウ4
20才6 20ウ2 20ウ3 21ウ2 22才4 22才6 22ウ1
22ウ1 23才2 23才3 23才4 23ウ2 23ウ3 24才6
25ウ3 26ウ4 26ウ6 28ウ3 30才5 30才5 30才5
31ウ2 33才5

而 部

【而】(85)

〔上〕06ウ1 06ウ3 07オ6 07ウ6 09ウ2 10オ5
14オ3 14ウ4 17ウ4 19ウ5 20ウ5 21ウ2 21ウ6
23オ1 25オ2 25オ5 25オ5 25オ5 26オ1 28ウ6
31オ6 33ウ5 34オ2 35オ6 38ウ1 40ウ2 〔中〕
01ウ4 02ウ6 05オ3 05オ5 06オ5 06ウ5 07ウ4
09オ2 09ウ4 11ウ5 14ウ2 14ウ6 23オ4 23ウ1
23ウ3 24オ1 24ウ6 27オ1 28オ6 30ウ6 31オ5
36オ4 37ウ1 39オ3 39ウ5 39ウ5 40オ5 40ウ4
〔下〕04ウ1 06オ1 10ウ1 12オ1 12ウ6 13オ5
13ウ2 13ウ6 15ウ4 16オ2 16オ6 16ウ2 16ウ5
18オ5 20ウ4 20ウ5 21ウ4 23ウ1 24オ2 24オ3
24ウ2 25オ1 27オ2 28ウ2 32オ1 32オ6 33ウ5
34オ2 34オ5 34オ6 34ウ4

耂 部

【耕】(6)

〔上〕04オ6 10ウ1 14オ1 30ウ2 〔中〕16オ1
16オ3

【耂+耂】**** (1)

〔上〕11オ2

【耨】(1)

〔中〕07ウ1 34ウ6

耳 部

【耳】(17)

〔上〕18ウ4 30ウ1 30ウ4 31オ1 〔中〕30ウ6
31オ1 38オ2 〔下〕06オ4 08ウ1 08ウ1 08ウ5
09オ1 21ウ2 22オ5 28オ3 34ウ5 34ウ5

【耶】(43)

〔上〕17ウ5 18オ4 18ウ3 19オ3 19オ4 22オ1
24ウ2 24ウ6 33オ3 34ウ5 35オ1 35オ1 35オ
3 35オ3 35オ4 35ウ3 38オ1 〔中〕08ウ3 09オ
2 10ウ6 13オ6 13ウ1 13ウ3 19オ2 24オ2 24オ
4 26オ1 27ウ2 27ウ3 31ウ6 36ウ4 37オ2 39ウ

6 〔下〕03ウ2 03ウ4 03ウ4 03ウ4 04オ4 04オ
4 04オ6 04オ6 24オ3 34オ5

【耽】(4)

〔中〕08オ1 38ウ6 〔下〕23オ3 30オ1

【聆】(1)

〔上〕31ウ4

【聖】(4)

〔中〕05オ2 30オ3 30オ5 〔下〕32ウ1

【聚】(3)

〔上〕07オ3 〔中〕26ウ4 39オ6

【聞】(70)

〔上〕13ウ3 14ウ4 17ウ2 19オ6 19ウ1 21ウ4
22オ2 22ウ3 24オ5 24ウ4 25ウ3 29オ6 30ウ4
31オ1 31ウ3 35ウ3 〔中〕07オ1 07オ4 07ウ5
10ウ2 12ウ2 13オ5 13ウ1 14オ1 17ウ4 18オ2
18ウ1 19オ4 19ウ2 23ウ3 23ウ3 23ウ4 23ウ6
23ウ6 26オ1 26オ4 27ウ2 28オ6 31オ1 31オ1
32オ6 33ウ5 34ウ3 34ウ5 34ウ6 35ウ5 37ウ6
〔下〕05ウ5 06オ2 07オ1 07オ1 07ウ1 07ウ3
08ウ1 09オ1 09オ2 11オ3 12オ6 13オ1 13オ5
13ウ1 19オ3 21ウ2 22オ3 25ウ2 26オ1 28オ6
31オ3 34ウ5 34ウ5

【聰】(1)

〔下〕06ウ6

【聲】(24)

〔上〕07ウ6 10ウ6 11ウ1 16オ1 〔中〕05オ5
07オ1 08オ1 17ウ4 23ウ2 23ウ3 23ウ4 24オ3
24オ4 28オ3 30ウ4 38オ6 〔下〕02ウ3 04オ3
10ウ6 22ウ4 30ウ2 31オ3 31ウ5 32オ3

【聳】(1)

〔下〕10オ4

【聽】(5)

〔上〕 38才6 〔中〕 35才1 〔下〕 11才3 28才3
28才6

肉 部

【肉】 (11)

〔上〕 18ウ6 19ウ3 24才5 26才2 〔中〕 08才5
08ウ1 16才2 34ウ4 〔下〕 15才3 29ウ5 31才6

【肘】 (1)

〔中〕 11才1

【肝】 (9)

〔上〕 39ウ4 41才2 〔下〕 13才1 13才6 13ウ1
13ウ2 13ウ2 13ウ3 13ウ4

【股】 (2)

〔上〕 06ウ4 06ウ6

【肥】 (5)

〔中〕 19才1 19才2 19才3 19才4 〔下〕 08才6

【肩】 (1)

〔中〕 05ウ1

【肯】 (1)

〔中〕 05ウ1

【育】 (2)

〔上〕 34才5 〔下〕 06才4

【背】 (21)

〔上〕 38ウ5 39才5 〔中〕 05ウ2 07才2 17ウ5
39才3 39才4 〔下〕 03ウ1 03ウ3 03ウ5 04才5
13才4 13才4 13ウ3 23才6 23ウ1 29ウ4 30才6
30ウ1 33才2 33才4

【胎】 (1)

〔中〕 17ウ4

【胡】 (13)

〔上〕 27才3 38才3 38才4 38才4 38才6 38ウ1
38ウ2 38ウ3 38ウ4 〔中〕 39ウ3 〔下〕 23ウ5
23ウ6 23ウ6

【胤】 (1)

〔上〕 07才3

【胸】 (3)

〔上〕 25才4 〔中〕 31才5 〔下〕 19ウ1

【能】 (26)

〔上〕 14才5 18才5 35ウ2 36才2 37才5 〔中〕
09才2 12才4 22才1 24ウ2 30ウ2 30ウ2 32ウ1
32ウ1 33才4 〔下〕 03才6 06ウ5 09ウ6 10ウ2
27才3 27ウ5 28才3 28才3 28才3 33ウ5 34才2
34才6

【脂】 (3)

〔上〕 11ウ5 〔中〕 07ウ6 07ウ6

【脛】 (2)

〔中〕 05才6 05ウ3

【脱】 (7)

〔上〕 19ウ4 20ウ2 21才3 21ウ2 30才6 〔中〕
27ウ6 32ウ4

【月+音】 29677 (1)

〔下〕 29ウ5

【腰】 (3)

〔中〕 29才6 29ウ4 33才6

【脚】 (1)

〔中〕 33ウ5

【腹】 (18)

〔上〕 13才4 32才5 37ウ2 〔中〕 17ウ4 17ウ5
27ウ3 34ウ6 〔下〕 01ウ3 03才3 03ウ1 03ウ3
03ウ5 04才5 12ウ6 13才1 13才5 30才6 32才5

【膚】(3)
〔中〕28ウ4 31ウ2 31ウ3

【膝】(2)
〔中〕26ウ6 〔下〕10ウ1

【膠】(2)
〔上〕18ウ6 〔中〕24ウ1

【臂】(5)
〔中〕10オ5 10ウ5 10ウ6 11オ1 20ウ6

臣 部

【臣】(38)
〔上〕13ウ2 13ウ3 13ウ3 13ウ4 29ウ2 30ウ3
31オ1 32ウ2 35オ2 35オ2 36オ5 36ウ2 36ウ5
39オ6 〔中〕16オ6 16ウ1 16ウ2 17オ2 17オ3
19オ5 29オ3 29オ4 29オ5 29オ6 29ウ4 29ウ4
29ウ5 30オ1 39オ2 39ウ4 39ウ5 39ウ6 〔下〕
07ウ6 20ウ2 23オ5 24オ1 24オ2 24オ3

【臥】(10)
〔上〕06ウ6 07オ2 〔中〕05オ5 05ウ2 08オ5
21オ6 31ウ5 39オ6 〔下〕04ウ4 23ウ3

【臨】(10)
〔上〕10ウ6 11オ6 15ウ4 35ウ6 36オ2 〔中〕
19ウ5 35ウ2 36オ2 〔下〕02ウ5 33オ2

自 部

【自】(37)
〔上〕04ウ2 14ウ4 15ウ1 15ウ2 22オ5 24オ6
34オ5 36オ2 37ウ3 38ウ1 40ウ1 〔中〕05オ2
05ウ5 10オ1 11オ1 14オ1 14ウ1 15オ2 18ウ5
25ウ2 26ウ6 41オ1 〔下〕01オ6 07オ2 08ウ2
08ウ6 09オ3 09オ4 09オ5 15オ1 16オ6 17オ3
20オ2 25オ4 28オ2 33オ4 33オ6

【臭】(6)

〔中〕12ウ5 13オ2 24ウ4 24ウ5 28ウ5 〔下〕
15オ3

至 部

【至】(79)
〔上〕01ウ1 01ウ3 01ウ3 01ウ5 03ウ2 09オ2
10ウ1 10ウ6 12オ3 12オ4 13オ1 15オ1 17ウ2
18ウ2 19ウ3 21オ3 21ウ1 21ウ6 24オ2 24ウ1
24ウ2 24ウ5 25ウ2 25ウ4 27オ6 29ウ2 40ウ3
〔中〕04オ6 04ウ1 05ウ2 12ウ2 15ウ4 19ウ6
21オ1 22ウ5 23オ3 23オ6 24オ4 24ウ2 24ウ5
28オ2 29ウ5 30オ4 30ウ1 31オ6 33ウ5 34オ2
34オ2 34オ4 34オ6 35オ1 35ウ3 35ウ4 35ウ4
40ウ1 〔下〕02オ5 04ウ3 10ウ3 13オ2 13オ5
17オ2 17ウ1 17ウ3 17ウ5 18オ4 19ウ1 19ウ6
19ウ6 20ウ5 20ウ6 24オ1 24ウ4 26オ5 29オ3
31オ5 33ウ4 33ウ6 34オ3 34オ3

【致】(7)
〔上〕18オ6 20ウ5 32オ6 32ウ1 〔中〕05オ6
33ウ1 〔下〕19オ4

【臺】(2)
〔上〕12ウ6 15ウ5

臼 部

【與】(1)
〔下〕19オ3

【與】(49)
〔上〕04オ2 06ウ5 09ウ1 12ウ3 14ウ4 16ウ2
18オ3 20オ4 20オ6 20ウ3 22ウ3 23ウ6 27ウ5
29ウ5 29ウ6 31オ4 33オ5 33ウ5 33ウ6 36ウ3
38オ4 38オ5 39ウ2 40ウ2 〔中〕06ウ1 07オ4
17オ3 20ウ3 20ウ5 20ウ6 24ウ6 25オ1 26ウ3
28ウ5 30ウ6 39ウ1 〔下〕03ウ3 11オ2 13ウ2
19ウ2 21オ6 23ウ4 26オ4 26ウ3 26ウ6 28オ1
29オ2 29オ6 29オ6

【興】(1)
〔下〕 25ウ3

【舊】(1)
〔下〕 09ウ3

舌 部

【舌】(5)
〔上〕 13ウ1 13ウ4 〔中〕 13ウ2 〔下〕 05オ5
33オ6

【舍】(39)
〔上〕 19オ1 19オ4 19ウ1 31ウ6 34オ5 〔中〕
07オ5 07オ6 07ウ3 07ウ6 07ウ6 10ウ5 16ウ5
17ウ2 17ウ3 18オ1 18ウ2 18ウ5 19オ2 19オ6
19ウ1 21オ5 21オ5 21オ6 21ウ2 23オ1 23オ2
28ウ3 30ウ4 33オ5 35ウ4 〔下〕 01オ5 02オ4
03ウ6 05ウ6 11オ6 16オ6 17オ1 17オ3 20オ6

【舐】(4)
〔中〕 13ウ2 〔下〕 05オ5 07オ5 07ウ4

舛 部

【舜】(12)
〔上〕 06オ1 06オ4 13ウ5 13ウ6 13ウ6 13ウ6
14オ2 14オ3 14オ3 14オ4 14オ4 14オ5

【舞】(2)
〔中〕 25ウ6 〔下〕 02ウ2

舟 部

【般】(9)
〔下〕 18ウ2 18ウ3 20ウ1 20ウ2 20ウ5 21オ1
21オ5 21オ6 21ウ1

【船】(4)
〔上〕 36ウ1 36ウ3 40ウ1 40ウ3

【艇】(2)
〔上〕 21オ2 21オ2

良 部

【良】(3)
〔上〕 29ウ2 〔下〕 25オ6 34ウ5

色 部

【色】(44)
〔上〕 05ウ2 05ウ2 06ウ3 16オ5 20オ2 20オ2
34オ6 37オ4 37ウ4 〔中〕 01オ5 03オ2 04ウ3
20オ2 26ウ2 31オ3 31オ4 31ウ3 35オ4 38ウ3
38ウ6 38ウ6 38ウ6 38ウ6 〔下〕 01オ3 02オ2
02ウ3 03ウ6 04オ3 06オ3 10オ4 20オ1 20オ1
20オ2 20オ4 21オ3 22ウ6 23オ3 23オ3 23オ3
23オ3 33ウ4 34オ1 34オ4 34オ6

【艶】(4)
〔上〕 07ウ3 30ウ2 38オ4 〔中〕 28ウ2

艸 部

【芥】(3)
〔上〕 02オ3 02ウ4 〔中〕 13ウ4

【花】(35)
〔上〕 02オ4 02オ4 11ウ1 11ウ2 26オ5 37ウ3
37ウ3 37ウ3 37ウ3 37ウ6 〔中〕 05ウ5 09オ2
09ウ3 09ウ4 09ウ5 09ウ5 10オ2 10ウ2 11オ5
11ウ1 26ウ5 31オ1 35オ4 38ウ5 〔下〕 05オ3
05オ5 05ウ4 07ウ3 10オ4 12オ6 15オ2 15オ5
15オ5 23オ2 27オ6

【芳】(5)
〔上〕 17オ4 18ウ5 28ウ1 〔中〕 40オ1 〔下〕
24オ4

【芹】(4)

〔上〕 17才1 17才2 17才2 〔下〕 09ウ3

【苗】 (6)

〔上〕 01才3 〔中〕 41才1 41才1 〔下〕 25才4
25才4 25ウ2

【若】 (51)

〔上〕 02才4 12才6 14才4 14ウ3 16ウ3 20ウ5
21才3 23才2 23ウ5 23ウ6 24ウ6 24ウ6 28ウ4
28ウ4 29ウ6 30才3 30才6 35才4 37才6 38ウ3
〔中〕 12ウ2 17ウ6 24ウ6 26才6 39才4 39才6
〔下〕 05才5 07ウ5 08才5 09ウ4 13ウ2 17才4
18ウ2 18ウ3 20ウ1 20ウ2 20ウ5 21才1 21才5
21才6 21ウ1 23ウ1 23ウ3 26才5 27才3 28才5
29ウ1 30ウ2 31ウ6 31ウ6 32ウ5

【苦】 (40)

〔中〕 04ウ5 04ウ6 06才5 06ウ1 10ウ2 13ウ6
14才5 25才4 25才6 32才6 32ウ3 32ウ4 32ウ5
35才1 37ウ6 38才3 38才4 38才4 38才5 38才5
38才6 〔下〕 02ウ5 03才2 04ウ2 04ウ4 05ウ6
08ウ5 08ウ5 08ウ5 08ウ5 08ウ6 08ウ6 22才3
22ウ1 22ウ2 22ウ2 22ウ3 22ウ3 22ウ4 28ウ3

【英】 (4)

〔上〕 12ウ5 39ウ4 〔中〕 02才1 20才2

【茂】 (1)

〔中〕 35才4

【茲】 (2)

〔上〕 01才2 〔中〕 22ウ4

【茹】 (2)

〔上〕 04才2 〔下〕 02ウ4

【荆】 (10)

〔上〕 11才3 33ウ5 34才2 37ウ3 37ウ5 37ウ6
38才1 38才2 〔中〕 03ウ2 03ウ5

【草】 (12)

〔上〕 04才6 04ウ1 29ウ2 〔中〕 15ウ5 21ウ2
21ウ4 28才2 28才3 28才5 〔下〕 08才4 30ウ6
32ウ1

【荒】 (5)

〔上〕 20ウ1 28才1 〔中〕 38ウ4 〔下〕 23才1
29ウ6

【荷】 (8)

〔上〕 10ウ3 12ウ2 12ウ5 12ウ6 29才6 31才4
〔中〕 05ウ1 25才6

【莊】 (3)

〔中〕 11ウ3 12才2 〔下〕 20才4

【莖】 (7)

〔上〕 37ウ3 〔中〕 07ウ6 15ウ4 40ウ2 40ウ4
〔下〕 24ウ5 25才1

【蕙】 (1)

〔中〕 21ウ2

【莫】 (9)

〔上〕 10才1 19ウ1 22才3 23才5 34ウ5 35才1
35才1 35才3 35才4

【菓】 (9)

〔上〕 11ウ2 〔中〕 16ウ1 35才4 〔下〕 10才4
11ウ4 12ウ4 13才3 13才6 13ウ4

【菓】 (5)

〔上〕 06ウ1 24才1 39ウ6 〔中〕 14才5 14ウ2

【菩】 (38)

〔中〕 08ウ5 09才5 10才6 11ウ2 11ウ4 11ウ6
11ウ6 12才3 12才3 12才3 14ウ3 16ウ5 20ウ2
34ウ6 37ウ2 37ウ5 〔下〕 01才6 02才5 03ウ2
03ウ2 03ウ2 03ウ5 03ウ6 04才2 11才2 17才6
17ウ3 17ウ4 17ウ5 21ウ5 22才2 26才3 26ウ2
26ウ4 26ウ6 30ウ4 31ウ2 33才4

【菱】(3)

〔中〕 36才1 36才3 36才4

【莱】(7)

〔上〕 41才1 〔中〕 39才2 39才4 39才6 〔下〕
23才5 23ウ1 23ウ3

【菱】(1)

〔下〕 15才5

【萬】(52)

〔上〕 01ウ3 01ウ3 02才3 03才4 03ウ1 09ウ3
29ウ1 32ウ4 36ウ6 37ウ4 〔中〕 01才3 01才6
01ウ1 01ウ2 03才3 03才4 03才5 03才6 03才6
03ウ3 04才6 04ウ1 04ウ2 07ウ6 10ウ5 10ウ5
17才5 38ウ5 39才4 41才2 〔下〕 01ウ1 01ウ2
01ウ3 03ウ4 03ウ6 04ウ1 05ウ1 11才2 13才2
14才3 14才3 14才3 14才4 16才1 23才2 23ウ1
25才5 26ウ3 27ウ2 29ウ5 31才1 31才5

【落】(21)

〔上〕 26ウ2 30才6 36才1 37ウ6 39ウ5 〔中〕
04ウ1 20ウ5 22才4 24才1 25才3 28才1 31才5
37才3 〔下〕 11才1 14才6 14ウ4 17ウ3 18才3
26才2 31ウ1 31ウ1

【艸+卜+冊+又】 31372 (1)

〔下〕 15才5

【葉】(10)

〔上〕 04才6 07ウ5 37ウ6 〔中〕 08ウ2 09ウ6
35才4 36ウ1 36ウ2 36ウ3 37才5

【著】(1)

〔中〕 04才6

【葩】(2)

〔中〕 40ウ3 〔下〕 24ウ6

【葬】(5)

〔上〕 03ウ5 17才4 36才3 39才5 〔中〕 26ウ4

【蒔】(6)

〔上〕 02ウ4 04ウ2 〔中〕 40才4 40才6 〔下〕
24ウ1 24ウ3

【蒙】(5)

〔上〕 35才1 36ウ4 〔中〕 27才3 29ウ6 30ウ1

【蒲】(3)

〔上〕 07ウ4 07ウ5 07ウ5

【蒸】(2)

〔上〕 04ウ5 05才1

【蒼】(2)

〔中〕 01ウ4 01ウ4

【蓋】(1)

〔中〕 01才4

【蓬】(9)

〔上〕 27才4 39ウ6 41才1 〔中〕 39才2 39才4
39才6 〔下〕 23才5 23ウ1 23ウ3

【蓮】(7)

〔中〕 07ウ6 09才2 09才3 〔下〕 05才3 05才5
05才6 15才2

【蔡】(6)

〔上〕 19ウ4 19ウ5 20才1 20才2 20才4 20才5

【艸+補】 **** (8)

〔下〕 27才5 27才6 27ウ1 27ウ1 27ウ1 27ウ2
27ウ2 27ウ2

【蔀】(2)

〔上〕 12ウ1 12ウ3

【蕨】(1)

〔中〕 05ウ3

【蕩】(1)
〔上〕24ウ3

【薄】(3)
〔中〕22ウ1 31オ5 31オ6

【薪】(6)
〔上〕20ウ3 29オ1 29オ2 29オ5 〔中〕05ウ2
05ウ3

【薩】(24)
〔上〕31オ5 〔中〕09オ5 10オ6 11ウ2 11ウ4
11ウ6 11ウ6 12オ3 12オ3 12オ3 16ウ5 〔下〕
01オ6 02オ5 11オ2 17オ6 17ウ3 17ウ4 17ウ5
26オ3 26ウ2 26ウ4 30ウ4 31ウ2 33オ4

【薰】(2)
〔上〕09オ3 37オ4

【稟】(2)
〔下〕06ウ4 11ウ5

【藍】(4)
〔中〕16オ5 17ウ1 〔下〕20オ6 21オ5

【藏】(6)
〔上〕14ウ1 〔中〕02オ1 12オ1 〔下〕18ウ2
18ウ3 21オ5

【藝】(1)
〔上〕06ウ5

【藤】(1)
〔上〕36ウ6

【藥】(19)
〔上〕29オ6 29ウ2 33ウ1 33ウ3 〔中〕10オ5
10オ6 10ウ2 12オ3 12オ3 22ウ3 26ウ1 26ウ1
39オ4 〔下〕12ウ6 13オ1 13オ1 13オ6 14ウ6
23ウ1

【藪】(2)
〔上〕11オ3 〔中〕10オ2

【蘇】(6)
〔上〕06ウ4 27オ2 28ウ2 28ウ5 28ウ6 〔中〕
19オ3

【蘭】(4)
〔上〕17オ3 18ウ5 〔中〕39オ6 〔下〕23ウ3

虎 部

【虎】(27)
〔上〕20オ5 20オ6 20オ6 20ウ1 20ウ1 20ウ2
20ウ4 20ウ4 20ウ5 26ウ5 26ウ6 〔中〕01ウ2
03オ6 04オ2 〔下〕02オ4 02ウ5 03ウ3 10オ6
25ウ4 25ウ6 26オ1 26オ3 32ウ6 33ウ1 33ウ4
34オ1 34オ5

【處】(37)
〔上〕10ウ3 18ウ3 19オ1 40ウ6 40ウ6 〔中〕
15ウ4 16オ5 17ウ1 17ウ1 18ウ5 18ウ5 23ウ3
23ウ3 25オ3 33オ2 34オ6 34オ6 35オ3 38ウ4
39オ1 40ウ1 〔下〕01ウ2 05オ4 06オ6 09ウ4
09ウ5 10オ1 10オ4 10オ5 14オ5 14ウ2 16オ2
23オ1 23オ4 24ウ4 33ウ6 34オ3

【虛】(6)
〔中〕13オ6 13ウ1 13ウ2 26ウ4 30オ5 〔下〕
27オ3

【號】(2)
〔上〕16ウ6 〔下〕32ウ4

虫 部

【虫】(20)
〔中〕24オ1 24オ1 40ウ6 40ウ6 41オ2 41オ2
〔下〕08オ4 08オ6 08ウ5 15オ1 15オ3 25オ2
25オ3 25オ3 25オ5 25オ5 25オ6 25ウ2 30ウ4
32ウ1

【蚌】(4)

〔下〕 31才4 31才5 31ウ1 31ウ2

【蛇】(18)

〔上〕 23ウ3 23ウ5 〔中〕 19ウ1 28ウ4 31ウ5
31ウ6 33ウ3 38才5 〔下〕 20才5 20才6 20ウ3
21才5 21ウ1 22ウ1 22ウ3 28才1 28才2 30ウ1

【蛤】(1)

〔下〕 31才6

【蛭】(2)

〔下〕 17才1 17才2

【蜂】(9)

〔上〕 23ウ1 24才2 24才2 24才3 24ウ3 〔中〕
09才3 09才4 09才4 09才6

【蜜】(1)

〔上〕 24才1

【蝕】(1)

〔下〕 32ウ2

【蝗】(3)

〔中〕 40ウ5 〔下〕 25才2 25ウ2

【蝙】(1)

〔下〕 19ウ5

【蝠】(1)

〔下〕 19ウ5

【蝸】(2)

〔下〕 12才5 12ウ1

【融】(5)

〔上〕 04ウ4 04ウ5 05才3 27才1 〔下〕 10才3

【螢】(1)

〔上〕 07才4

【螺】(2)

〔上〕 37才5 〔中〕 05才3

【蠶】(4)

〔中〕 40ウ6 〔下〕 25才3 25才6 25才6

血 部

【血】(6)

〔上〕 04才3 16才5 16ウ2 17ウ2 22才2 40才6

【衆】(48)

〔上〕 01ウ2 〔中〕 05ウ5 06才5 06才6 06才6
07才1 08才4 08ウ2 09才1 10才6 10ウ1 15ウ3
19ウ1 22才5 23ウ3 34ウ3 35ウ2 35ウ5 36才2
36才5 36才5 36才6 36ウ5 〔下〕 04才3 05才1
05才1 06才1 08ウ4 08ウ4 08ウ6 09才1 09才2
09才3 09才4 11才1 11才1 12才3 13ウ6 14才1
17才4 17ウ3 17ウ4 18才5 20才1 26ウ3 26ウ5
28ウ2 33ウ2

行 部

【行】(112)

〔上〕 10ウ3 11才6 14才4 15才3 16ウ2 17才6
19ウ5 19ウ5 22才6 24ウ1 26ウ6 27ウ5 28才4
28ウ3 31才6 31才6 31ウ2 33ウ5 37才3 37才3
37才4 38才5 40ウ1 41才2 〔中〕 02才3 02才3
02才4 02才4 02才5 02ウ1 02ウ2 02ウ2 05才5
05ウ4 06ウ6 07ウ4 08ウ6 09才4 09ウ4 10ウ2
11才1 11才5 11ウ1 12ウ5 13才1 14才6 14ウ1
21ウ3 23ウ4 23ウ5 24ウ2 25才4 28ウ1 30才1
30才2 31才3 31ウ6 32才3 32才4 32才6 32ウ3
33ウ3 34才1 34才2 34才2 34才3 34ウ3 37ウ2
37ウ3 37ウ4 37ウ4 37ウ5 37ウ5 38ウ4 〔下〕
01ウ2 01ウ4 01ウ5 02才4 02才6 03才1 03ウ4
05ウ1 05ウ1 08才4 08才6 09ウ5 09ウ6 10才6
10ウ1 10ウ2 10ウ2 10ウ5 12才4 13才4 13才4
17才5 20才3 21ウ5 21ウ6 22才1 22才1 22才2

22才2 23才1 26才5 27才2 28才4 28ウ1 28ウ1
29ウ5 32才2 32ウ6

【術】(4)

〔中〕18才1 18才3 26才5 〔下〕28才4

【衝】(2)

〔上〕07才5 〔中〕04才2

【衛】(4)

〔上〕31ウ6 〔中〕28ウ3 〔下〕11才6 20才6

衣 部

【衣】(20)

〔上〕02ウ2 05才3 05ウ2 12ウ4 20ウ5 20ウ6
21才3 21才4 21才4 21才4 38ウ1 〔中〕07ウ6
10ウ3 11才6 14才5 20ウ1 21ウ1 23才4 24才1
36才3

【表】(2)

〔上〕03才5 06才2

【衰】(1)

〔下〕08ウ6

【衾】(7)

〔上〕21才6 21ウ1 21ウ2 21ウ3 〔中〕40才3
〔下〕06才5 24才6

【袈】(4)

〔中〕21ウ5 22才1 〔下〕15ウ5 16才3

【袖】(3)

〔上〕19ウ6 24才2 25才1

【被】(4)

〔上〕23才2 25ウ3 〔中〕19才6 〔下〕09才3

【袴】(2)

〔中〕40才3 〔下〕24才6

【裁】(1)

〔上〕37ウ3

【裂】(3)

〔上〕33才4 33才6 〔中〕27ウ3

【裏】(1)

〔上〕39才3

【補】(5)

〔上〕23ウ2 24ウ6 24ウ6 25才1 〔中〕23才4

【裳】(4)

〔上〕05才3 38ウ1 〔中〕38ウ4 〔下〕23才1

【褰】(2)

〔上〕24才2 〔中〕36才4

【裾】(1)

〔中〕33ウ6

【褥】(1)

〔下〕15ウ3

冫 部

【西】(24)

〔上〕07ウ1 18ウ4 25ウ5 29才5 32才2 〔中〕
01ウ2 01ウ3 01ウ3 01ウ5 01ウ6 01ウ6 02才3
02才4 02才5 02ウ3 03才4 03才5 03ウ1 03ウ2
03ウ5 16ウ2 23ウ5 〔下〕10才2 31才2

【覆】(5)

〔上〕21ウ2 21ウ2 〔中〕36才4 〔下〕01ウ5
19才1

見 部

【見】(99)

〔上〕04ウ6 04ウ6 07ウ6 14才4 17ウ1 19才5

19才5 19才6 22才2 22才2 23ウ4 23ウ5 23ウ5
23ウ5 23ウ6 24才1 24才3 25才3 26才1 26ウ5
26ウ6 27才1 29才2 29才6 29ウ1 29ウ5 35才5
35ウ1 35ウ6 36才2 37才4 37才5 37ウ6 37ウ6
39ウ6 40才1 【中】 04才5 06才4 07ウ5 08才6
09ウ4 10才6 11ウ2 12才2 12ウ6 13ウ3 13ウ3
14ウ1 14ウ1 18才2 19才1 20才1 20才1 21才2
22才4 24才1 27才5 27ウ1 27ウ3 28才3 29才6
29ウ2 29ウ3 30才6 31才5 31ウ4 32ウ3 33ウ4
38ウ5 39才6 39ウ1 41才1 【下】 06ウ5 06ウ6
08ウ3 09才5 09ウ6 10才5 10ウ6 13ウ1 13ウ4
15ウ6 16才3 18才2 20才1 20ウ6 23才2 23ウ3
23ウ4 25才4 28才3 31才3 32ウ5 32ウ6 33ウ6
34才3 34才3 34ウ3 34ウ3

【規】(5)

〔上〕 28ウ2 28ウ6 28ウ6 【下】 32才6 33才5

【視】(4)

〔上〕 27才6 30ウ2 【中】 22ウ5 【下】 17ウ2

【親】(6)

〔上〕 19ウ3 27才6 38ウ3 【下】 15才4 16ウ2
27ウ6

【覺】(10)

〔上〕 10才1 10才5 21ウ2 38才1 【中】 05ウ5
08才6 08ウ6 22ウ6 31ウ6 【下】 13ウ6

【觀】(22)

〔上〕 30ウ3 【中】 11才4 16才2 20才2 20才4
35才6 40ウ6 【下】 01才6 04ウ2 05才2 05才4
08才4 09才4 09才6 12才3 12才4 17ウ5 25才3
26才2 26才5 31ウ1 34ウ6

角 部

【角】(11)

〔上〕 03ウ3 27才5 27ウ1 27ウ2 【中】 14ウ1
33ウ6 【下】 14ウ3 14ウ3 15ウ5 31才2 32才5

【觜】(1)

〔下〕 27才3

【解】(5)

〔下〕 26才2 28才2 【中】 14ウ3 23才4 【下】
06ウ5

【觸】(1)

〔中〕 37才3

言 部

【言】(67)

〔上〕 02ウ2 06ウ5 13ウ6 14才5 17才6 23才5
25ウ4 26ウ5 32才1 32ウ4 33才1 33才2 35ウ1
40才2 40ウ4 40ウ4 41才3 【中】 07才4 07ウ6
13才3 13才6 13ウ2 13ウ3 13ウ5 14才1 19才1
19才3 19才5 19ウ1 19ウ2 21ウ2 21ウ4 21ウ4
23ウ3 24才2 26才3 26ウ2 26ウ3 27才6 27ウ3
27ウ3 27ウ5 30才2 32ウ3 32ウ3 38才6 【下】
06ウ5 08ウ1 09ウ6 10ウ2 10ウ3 11才4 13ウ2
13ウ2 14ウ1 14ウ2 15ウ4 22ウ4 25才5 28才2
28才6 33ウ3 33ウ4 34才1 34才1 34ウ1 34ウ1

【計】(3)

〔上〕 24ウ3 【中】 18才1 18才1

【討】(1)

〔中〕 10ウ6

【訓】(1)

〔下〕 31ウ1

【記】(6)

〔上〕 13ウ6 【下】 19ウ2 26ウ1 26ウ3 28ウ6
29才3

【訪】(2)

〔中〕 21才6 【下】 25ウ1

【設】(8)

〔上〕 06オ2 24ウ4 〔中〕 24ウ3 28オ5 32ウ2
32ウ4 〔下〕 10ウ4 16オ3

【許】 (23)

〔上〕 02オ3 22オ4 22オ5 27ウ1 27ウ2 28ウ5
30ウ1 30ウ3 30ウ6 31オ1 32ウ3 〔中〕 13ウ1
13ウ4 14オ5 14オ5 19オ3 23オ5 25オ4 26ウ5
36ウ4 〔下〕 09オ3 10オ3 20ウ4

【訴】 (1)

〔下〕 14オ2

【訶】 (2)

〔中〕 08ウ2 36ウ1

【詐】 (3)

〔下〕 08オ3 08オ5 09オ5

【詠】 (5)

〔中〕 25ウ6 〔下〕 02ウ1 02ウ3 04オ1 04オ3

【詣】 (9)

〔中〕 14オ3 19オ5 25オ4 25オ6 26オ3 26ウ2
33ウ2 33ウ5 〔下〕 14ウ1

【試】 (3)

〔上〕 19オ1 〔中〕 23オ1 〔下〕 08オ1

【詩】 (2)

〔上〕 15オ5 〔中〕 25ウ6

【詰】 (3)

〔中〕 06オ2 36ウ1 〔下〕 11ウ2

【誇】 (2)

〔上〕 06ウ1 〔下〕 08オ6

【誠】 (1)

〔上〕 19ウ3

【誓】 (7)

〔中〕 08オ4 10オ6 〔下〕 04オ1 04オ1 04オ1
04オ2 33オ4

【語】 (49)

〔上〕 14オ5 15オ2 17オ6 18ウ6 19オ1 23オ3
23オ4 23ウ4 25ウ6 27ウ5 28ウ4 33オ2 35オ4
35オ5 35オ5 35ウ1 37オ4 37ウ5 38オ5 38ウ1
38ウ3 40ウ2 40ウ3 40ウ4 〔中〕 07ウ6 08ウ6
11ウ4 13オ2 23ウ3 25ウ3 27オ1 31ウ4 32オ3
33オ3 38オ3 38オ6 〔下〕 06ウ5 08ウ1 09ウ3
10ウ1 11オ4 13オ5 14ウ4 18オ3 22ウ1 22ウ4
28オ2 28オ3 28オ6

【誠】 (3)

〔上〕 14ウ2 〔下〕 08ウ4 11オ1

【誦】 (12)

〔上〕 02オ4 07ウ1 09ウ5 11オ6 11ウ1 11ウ1
29オ6 〔中〕 11オ6 〔下〕 02ウ3 05ウ4 07オ1
07ウ3

【誨】 (2)

〔上〕 24オ6 〔中〕 21オ4

【説】 (26)

〔中〕 04オ5 05オ4 15オ3 22ウ5 25オ6 33オ2
34オ6 34ウ1 34ウ3 35オ5 35ウ5 〔下〕 02ウ6
06ウ6 14オ1 15ウ5 18オ6 20オ5 21オ4 26オ6
26オ6 26ウ1 33ウ5 34オ2 34オ4 34オ5 34オ6

【誰】 (7)

〔上〕 19オ3 19オ4 〔中〕 04ウ4 18ウ6 19ウ1
40オ1 〔下〕 24オ5

【調】 (1)

〔中〕 04ウ6

【談】 (4)

〔上〕 09オ5 28ウ3 〔中〕 40オ2 〔下〕 24オ5

【請】 (15)

〔上〕 13オ5 27ウ1 27ウ1 〔中〕 05ウ1 18ウ4
19オ5 19オ5 19オ6 19オ6 19オ6 19ウ2 19ウ3
32ウ4 36オ6 36ウ3

【諍】(5)

〔上〕 24オ5 31ウ5 32ウ1 〔中〕 25オ2 〔下〕
28オ2

【論】(13)

〔上〕 32オ6 33オ5 〔中〕 02ウ3 04オ2 09ウ6
39オ5 〔下〕 03ウ6 05オ6 09ウ1 16オ6 23ウ2
28オ1 34ウ3

【諾】(2)

〔上〕 28ウ5 32ウ3

【諸】(21)

〔中〕 09ウ5 29オ5 29ウ4 34オ1 35オ5 36オ3
37ウ3 37ウ4 37ウ5 〔下〕 03オ6 08オ4 11ウ1
14ウ6 15オ6 15オ6 20オ3 21ウ6 22オ1 22オ2
29ウ1 31オ3

【諦】(1)

〔下〕 06ウ6

【諫】(1)

〔中〕 07オ5

【謀】(3)

〔上〕 24オ5 24ウ1 27ウ6

【謂】(15)

〔上〕 01ウ1 02オ6 04ウ2 13オ4 15ウ1 25オ5
25ウ3 25ウ4 28オ4 〔中〕 02オ1 02オ2 11ウ3
36ウ5 〔下〕 01ウ3 18ウ4

【謗】(11)

〔中〕 30オ5 30オ6 30ウ1 30ウ2 30ウ5 〔下〕
11ウ6 12オ4 15オ4 15ウ1 18オ6 18オ6

【謙】(1)

〔中〕 26オ1

【講】(1)

〔上〕 10ウ3

【謝】(1)

〔上〕 28オ2

【謹】(3)

〔上〕 32ウ3 〔中〕 05ウ1 39ウ4

【謫】(1)

〔上〕 13ウ3

【謬】(4)

〔上〕 23オ5 26オ6 29ウ1 〔下〕 33オ4

【證】(14)

〔上〕 40オ2 40オ3 〔中〕 21オ3 27オ6 32オ1
35オ1 〔下〕 03ウ2 03ウ4 03ウ4 04オ2 05ウ1
05ウ6 06オ1 23オ4

【識】(5)

〔上〕 01オ2 〔中〕 05ウ6 12オ4 15オ5 31ウ1

【譬】(14)

〔上〕 01オ3 〔中〕 04ウ5 37ウ4 〔下〕 08ウ4
09オ5 11オ1 12オ3 13ウ5 15オ3 17オ6 21ウ1
22オ1 26オ1 28オ2

【議】(11)

〔中〕 01オ3 11オ5 11ウ6 22ウ5 23ウ5 24オ3
〔下〕 05ウ1 05ウ2 18オ3 18オ4 26ウ6

【護】(2)

〔上〕 20オ5 26オ3

【譴】(1)

〔上〕 13ウ3

【讀】(20)

〔上〕 02才4 06ウ6 07才4 07才6 09才1 09才4
09ウ2 09ウ6 10才1 10才4 10才5 10ウ1 10ウ1
10ウ3 12才1 12才4 13才4 〔下〕 12才6 18ウ2
18ウ3

【變】(14)

〔上〕 03才3 09ウ2 29ウ2 37才5 40ウ1 〔中〕
26才5 28ウ2 30才5 35才2 38ウ3 38ウ4 〔下〕
22ウ6 22ウ6 33才3

【讒】(2)

〔上〕 24才5 24ウ1

【讓】(3)

〔上〕 01才4 22ウ5 27ウ6

【讚】(2)

〔下〕 02ウ4 10才5

谷 部

【谷】(15)

〔上〕 06ウ5 12ウ2 12ウ3 18才1 18才2 18才3
18才3 18才4 18才6 〔中〕 05才4 05ウ2 05ウ2
15ウ4 15ウ4 〔下〕 19ウ6

豆 部

【豆】(3)

〔上〕 04ウ2 〔中〕 24才5 24ウ1

【豈】(11)

〔上〕 19才3 23ウ6 25ウ4 32才6 38才6 40ウ3
〔中〕 10才1 27才6 〔下〕 08才5 12才2 30才2

【豐】(1)

〔上〕 06才4

豕 部

【象】(16)

〔中〕 18才4 18ウ2 35ウ6 35ウ6 〔下〕 05才3
05才4 05才4 05才5 07才5 07才6 07才6 07ウ2
07ウ3 07ウ3 07ウ4 07ウ5

【豪】(1)

〔下〕 33才3

豸 部

【貌】(5)

〔中〕 28ウ3 39ウ1 〔下〕 01才4 03ウ6 23ウ4

貝 部

【貞】(3)

〔上〕 26才1 〔中〕 40ウ6 〔下〕 25才3

【負】(16)

〔上〕 10ウ3 15才3 15ウ1 22才4 22才5 〔中〕
18才1 18才6 27才1 39才2 39才4 〔下〕 18ウ2
18ウ3 23才5 23ウ1 33才1 33才4

【財】(12)

〔上〕 13才2 15才4 18ウ6 22才1 33ウ5 33ウ6
37ウ4 40ウ4 〔中〕 21才2 25才5 25才6 〔下〕
07ウ1

【貢】(2)

〔上〕 13才3 13才6

【貧】(28)

〔上〕 07才4 07才6 07ウ3 09ウ2 12才1 15才1
30ウ3 33才5 33ウ5 37ウ5 〔中〕 14才4 14才4
14才5 15才3 19ウ5 20才4 22ウ2 24才5 24才6
24ウ1 25才6 32才4 32才6 34才5 34ウ2 〔下〕
16ウ4 20ウ1 21才5

【貨】(7)

〔上〕 05才6 14才2 29才5 〔中〕 14ウ1 19ウ6
39ウ3 〔下〕 23ウ6

【貫】(1)
〔中〕30ウ4

【責】(8)
〔上〕14ウ2 18才4 〔中〕06ウ2 07ウ5 27才6
〔下〕26才1 26才6 26ウ1

【貴】(21)
〔上〕09ウ3 17ウ2 17ウ2 39ウ6 40才2 40才4
〔中〕06ウ3 15才3 15ウ1 16ウ2 17才1 19才1
19才2 27才1 31才4 31ウ1 39ウ1 〔下〕12ウ2
14ウ6 18ウ5 23ウ4

【買】(1)
〔上〕37ウ5

【費】(1)
〔上〕14ウ5

【賀】(1)
〔下〕30ウ3

【賂】(1)
〔上〕17才5

【資】(3)
〔上〕06才1 06才2 〔中〕06才3

【賊】(8)
〔上〕19ウ4 19ウ6 20才3 20才3 20ウ1 27ウ6
〔中〕27ウ6 28才1

【賒】(1)
〔下〕06ウ4

【賜】(1)
〔上〕40才3

【賞】(3)
〔上〕35ウ2 〔中〕41才2 〔下〕25才5

【賢】(14)
〔上〕23才6 〔中〕11ウ5 15ウ2 15ウ3 16才2
30ウ5 39才1 〔下〕05才4 05才4 06ウ3 09ウ1
09ウ1 23才4 33才4

【賣】(11)
〔上〕37ウ5 37ウ6 〔中〕14才3 14ウ1 17才3
30ウ3 34才5 34ウ3 〔下〕16ウ5 20ウ2 21才5

【賤】(5)
〔上〕09ウ2 17ウ2 〔中〕19才2 27才1 〔下〕
33ウ4

【質】(6)
〔上〕36ウ6 〔中〕07ウ1 33才1 40才5 〔下〕
24ウ2 32才6

【贈】(1)
〔上〕40ウ4

【贊】(2)
〔中〕05才1 10ウ4

赤 部

【赤】(12)
〔上〕17ウ1 19ウ6 19ウ6 20才2 37ウ3 〔中〕
26ウ2 40ウ6 41才1 〔下〕01才3 07才6 25才3
25才4

【赦】(3)
〔上〕22ウ1 23才6 〔下〕25ウ1

走 部

【走】(11)
〔上〕18才3 24才2 24才3 33ウ6 34才1 〔中〕
21ウ5 26才4 〔下〕08ウ3 09才5 19才6 26才1

【起】(10)

〔上〕 24才3 〔中〕 10ウ5 15才5 29ウ5 30才1
31才2 36才2 〔下〕 08ウ3 19才6 21ウ1

【超】 (1)
〔中〕 05ウ2

【越】 (6)
〔上〕 38ウ5 〔中〕 09才6 17ウ1 26才5 〔下〕
06ウ3 18ウ5

【趣】 (3)
〔上〕 11ウ4 〔中〕 06ウ5 22ウ4

足 部

【足】 (16)
〔上〕 34才1 38ウ1 〔中〕 01ウ3 03ウ1 21ウ3
37才2 40ウ4 〔下〕 01才3 03ウ3 04才3 13才2
16ウ4 25才1 30ウ2 30ウ2 33ウ3

【跋】 (1)
〔中〕 10才3

【跡】 (3)
〔上〕 26ウ6 40ウ6 〔中〕 06才1

【跨】 (1)
〔中〕 06ウ3

【跪】 (1)
〔上〕 20ウ4

【路】 (6)
〔上〕 06才1 〔中〕 38ウ4 〔下〕 08才4 10才2
17才2 23才1

【跳】 (2)
〔中〕 39ウ5 〔下〕 24才2

【踊】 (2)
〔上〕 13才2 16才6

【踏】 (4)
〔中〕 40ウ1 〔下〕 07ウ1 08才2 24ウ4

【踐】 (2)
〔下〕 32ウ1 32ウ1

【踰】 (1)
〔上〕 18ウ6

【踵】 (2)
〔下〕 07才5 07ウ4

【蹄】 (1)
〔下〕 32才5

身 部

【身】 (115)
〔上〕 07ウ3 20才4 21才4 21才5 22ウ6 24ウ4
24ウ5 29ウ1 33才4 33才6 37才5 37ウ5 39才5
41才2 〔中〕 05才4 06才4 09ウ6 10才5 10ウ1
10ウ3 10ウ3 10ウ4 10ウ6 10ウ6 11才4 17ウ4
17ウ4 17ウ5 18才2 18才3 18才6 18ウ1 18ウ4
18ウ6 19才1 19才4 19才4 19ウ2 21ウ1 21ウ3
21ウ4 22才1 23才2 23才3 23才3 23才4 23才6
23ウ1 23ウ1 25ウ4 25ウ5 26才1 26才2 26才2
26才2 26ウ2 28ウ4 29ウ2 29ウ2 30ウ1 31才4
31ウ3 34才5 34ウ2 34ウ3 34ウ6 34ウ6 36才3
37才3 〔下〕 02ウ3 02ウ6 03才1 03才1 03才2
03才2 03才3 03才4 03才5 04才3 05才1 06才1
07才4 09才4 09才4 10ウ3 12才3 12ウ2 12ウ6
13ウ1 13ウ4 15才1 15才3 15才3 17才3 17才5
19才6 20才1 20才2 20才5 20ウ3 21才5 21才6
21ウ1 26才3 28才5 28ウ5 30才6 30ウ4 31才1
31才6 31ウ2 31ウ2 32才4 32才5 34ウ1

車 部

【車】 (19)
〔上〕 07才3 12ウ4 14ウ2 24ウ1 25才2 25才2

31ウ1 31ウ2 31ウ3 31ウ4 31ウ4 31ウ4 36才4
36才6 【中】 13ウ5 25才5 36ウ6 40ウ4 【下】
25才1

【軍】 (1)
〔上〕 09ウ6

【軒】 (3)
〔上〕 05才2 05才3 【中】 03ウ4

【軟】 (1)
〔上〕 05ウ4

【載】 (2)
〔上〕 18才3 【中】 01ウ4

【戴】 (1)
〔中〕 04ウ4

【輒】 (4)
〔上〕 13ウ3 【下】 07ウ1 09ウ5 28ウ6

【輔】 (2)
〔中〕 41才1 【下】 25才4

【輕】 (6)
〔中〕 01才4 35ウ3 【下】 03才1 03才5 12才4
16才4

【輦】 (4)
〔上〕 18才1 18才2 18才3 【中】 34才2

【輩】 (1)
〔下〕 02ウ4

【輪】 (15)
〔上〕 01ウ1 02才2 02才2 【中】 02ウ3 04ウ2
04ウ2 04ウ3 40ウ2 40ウ3 【下】 11ウ2 12才2
24ウ5 24ウ6 31才2 31才2

【輿】 (5)

〔上〕 12ウ3 【中】 03才1 03才2 03才2 30才1

【轅】 (3)
〔上〕 05才2 05才3 【中】 03ウ4

【轉】 (8)
〔上〕 04ウ6 27才4 【中】 22才1 【下】 03ウ5
18才4 18ウ2 18ウ3 21才6

辛 部

【辛】 (2)
〔中〕 37ウ6 【下】 22才3

【辟】 (3)
〔上〕 20才6 【下】 06ウ2 07才3

【辨】 (5)
〔中〕 08ウ4 08ウ5 09才5 12ウ3 【下】 26ウ2

【辯】 (4)
〔上〕 11ウ3 11ウ4 11ウ4 11ウ5

辰 部

【辰】 (1)
〔上〕 06ウ2

【辱】 (1)
〔中〕 15才3

【農】 (7)
〔上〕 04才4 04才5 04才6 04ウ5 11ウ1 33才5
〔中〕 16才2

辵 部

【辵】 (2)
〔上〕 16才5 16ウ5

【込】 (2)

〔中〕 21才2 29才2

【通】 (2)

〔下〕 01才6 01ウ1

【迎】 (3)

〔上〕 29才3 〔中〕 30才2 〔下〕 06ウ5

【近】 (12)

〔上〕 19ウ3 33ウ6 〔中〕 14才6 28ウ5 29ウ5

〔下〕 01才6 01ウ5 02才5 08才5 10才4 13才2
13才3

【返】 (52)

〔上〕 02才6 14才3 15才4 18才3 20才5 21才6
27才1 37才5 37才5 37ウ1 38才1 38才1 〔中〕
06ウ6 07才4 07ウ6 08才1 15才4 15ウ4 15ウ6
17才5 20才2 20才4 21ウ5 21ウ5 24ウ6 24ウ6
25ウ5 26才2 26才5 27才1 28才2 29ウ3 30才1
30ウ6 31才1 32才5 40才3 〔下〕 07才2 10ウ6
13ウ3 13ウ3 14ウ3 15ウ6 16ウ4 18ウ3 19ウ1
21才1 24才6 25ウ2 27才1 31才2 34ウ6

【迦】 (37)

〔中〕 05ウ6 06才3 07才5 07才6 08才4 08ウ1
08ウ2 09才4 09才5 09才6 09ウ1 09ウ1 10才2
12才6 16才2 16ウ5 24才2 29ウ1 30才1 33才1
33ウ3 34才6 34ウ2 35ウ2 36ウ1 36ウ2 36ウ2
36ウ3 37才5 〔下〕 04才2 04才5 13ウ5 15ウ6
19ウ2 26ウ2 31ウ1 31ウ2

【述】 (5)

〔上〕 28才6 〔中〕 15才5 26才2 31才6 32才1

【迷】 (9)

〔中〕 38ウ1 38ウ2 38ウ6 38ウ6 〔下〕 18才5
22ウ4 22ウ5 23才3 23才3

【迺】 (1)

〔中〕 33ウ1

【追】 (8)

〔上〕 10才4 26ウ6 33ウ6 〔中〕 06ウ6 06ウ6
17才5 18才5 〔下〕 34ウ3

【退】 (11)

〔上〕 27ウ4 27ウ6 35才1 40才1 〔中〕 06ウ5
17才5 29ウ5 34才2 〔下〕 10ウ2 12ウ4 20ウ4

【送】 (10)

〔上〕 20ウ1 34才6 40ウ4 〔中〕 11才6 14才6
19才5 26ウ4 〔下〕 06ウ5 18ウ3 27ウ5

【逃】 (19)

〔上〕 24才6 24ウ1 31ウ3 31ウ3 31ウ4 33ウ6
34才1 35ウ3 〔中〕 06ウ6 〔下〕 08才5 08ウ3
08ウ3 08ウ3 09才2 09才3 09才5 19才6 26才1
26才6

【逆】 (1)

〔中〕 02才4

【逐】 (1)

〔上〕 09才1

【途】 (6)

〔上〕 19ウ6 27ウ4 〔中〕 21ウ3 〔下〕 03ウ2
10ウ4 28ウ2

【逗】 (1)

〔上〕 09才5

【通】 (46)

〔上〕 06ウ5 07才2 〔中〕 01ウ2 02才2 03才6
04才2 05才2 08才1 12才1 14ウ4 17ウ6 20ウ4
20ウ6 23才4 23才5 23ウ1 23ウ4 24才3 24才3
30ウ6 30ウ6 31才1 37ウ6 38才1 38才1 38才1
38才2 38才2 38才2 38才2 39ウ3 〔下〕 02才4
04ウ4 10才2 17才2 22才3 22才4 22才4 22才4
22才5 22才5 22才5 22才5 23ウ6 31ウ4 31ウ5

【速】(3)
〔下〕10ウ5 12オ1 29ウ5

【造】(24)
〔上〕05オ3 05オ6 05ウ5 17オ4 19オ4 34オ5
36オ4 36オ6 36ウ3 37オ2 〔中〕16ウ4 20オ3
27オ3 29オ1 30ウ2 〔下〕01ウ1 02オ6 04ウ4
04ウ5 04ウ6 07ウ2 20オ3 20オ6 25ウ1

【逢】(13)
〔上〕04ウ1 20ウ4 24ウ1 28オ1 33ウ6 35ウ3
40ウ5 40ウ6 41オ2 〔中〕16ウ1 28オ1 29オ4
29ウ1

【連】(26)
〔上〕40オ5 〔中〕14ウ4 20ウ2 20ウ3 20ウ4
20ウ5 21オ1 23オ1 23オ3 23オ3 23オ5 23オ6
23ウ1 23ウ2 23ウ3 23ウ6 24オ2 24オ4 32オ3
32オ3 32ウ2 32ウ3 〔下〕10オ2 18オ4 18オ4
18オ4

【進】(15)
〔上〕27ウ4 〔中〕06ウ5 08ウ3 08ウ4 08ウ5
08ウ6 09オ4 10ウ3 16ウ3 34オ3 38オ2 〔下〕
10ウ2 12オ4 20ウ4 22オ5

【逸】(3)
〔下〕12オ3 29ウ3 29ウ4

【逼】(1)
〔下〕16ウ3

【遂】(38)
〔上〕04ウ2 04ウ6 07ウ6 10ウ1 12オ4 13オ1
14オ4 14ウ4 14ウ4 15オ5 15ウ1 16ウ6 22オ6
22ウ4 24オ6 24ウ1 27ウ6 29ウ4 34ウ6 39ウ6
40ウ2 40ウ2 〔中〕10オ4 11ウ1 13オ1 21オ1
22ウ6 23オ6 24ウ3 32オ1 32オ5 39オ6 〔下〕
05ウ6 09オ3 13ウ6 19ウ1 20オ3 23ウ3

【遇】(3)

〔上〕09オ4 22ウ1 〔中〕11ウ2

【遊】(20)
〔上〕04オ6 06オ2 12オ6 15オ6 21オ2 31ウ2
〔中〕02オ3 03ウ1 04オ4 17オ3 〔下〕02ウ2
02ウ4 10オ4 17ウ1 29オ1 29ウ4 29ウ6 29ウ6
30ウ4 32ウ1

【運】(6)
〔上〕19オ2 〔中〕02オ3 16ウ4 16ウ6 19オ3
〔下〕18ウ2

【過】(32)
〔上〕02オ5 09ウ5 14ウ4 22ウ6 24ウ2 27オ6
27ウ6 28オ4 30オ3 30オ6 31ウ3 31ウ4 33オ3
39ウ6 41オ1 〔中〕06オ4 10オ1 22オ4 23ウ4
23ウ5 34オ1 37ウ3 38ウ6 〔下〕03オ6 08オ6
10ウ5 21ウ6 23オ3 25ウ1 25ウ5 28ウ6 29オ3

【違】(1)
〔上〕11オ3

【道】(112)
〔上〕05ウ3 29オ5 31オ6 31ウ2 31ウ3 34ウ1
〔中〕05ウ5 05ウ5 06オ3 06オ4 06ウ2 06ウ5
07オ2 07オ4 08オ5 08ウ1 08ウ3 08ウ6 09オ4
09ウ1 09ウ4 10オ2 10オ3 10ウ4 11ウ4 11ウ5
11ウ6 12オ4 12オ5 12オ6 12ウ1 12ウ4 13オ5
13オ5 14オ1 14オ2 17ウ3 17ウ4 17ウ4 17ウ5
17ウ6 17ウ6 17ウ6 18オ1 18オ2 18オ3 18オ6
18ウ1 18ウ2 22ウ4 25ウ6 26オ1 26オ3 26オ4
26オ6 26ウ4 27オ1 27オ1 28オ1 28ウ1 30ウ2
30ウ2 31ウ2 32オ1 32オ2 32ウ5 33ウ5 35オ6
37オ2 37オ4 37ウ3 37ウ4 37ウ4 37ウ5 38オ3
38オ6 〔下〕01ウ2 01ウ3 01ウ4 01ウ4 01ウ5
02オ6 03ウ5 05ウ6 06オ2 07オ3 08オ4 08ウ4
10オ1 10ウ2 10ウ2 11オ3 11オ4 12オ2 12オ3
15オ4 15オ6 17ウ5 18オ6 19オ2 20オ2 21ウ5
22オ1 22オ1 22オ2 22オ2 22オ6 22ウ4 26オ3
28ウ2 34ウ6 34ウ6

【達】(33)

〔上〕13才1 32才6 32ウ3 32ウ5 37ウ2 〔中〕
04ウ6 05才1 05ウ6 07ウ1 14才3 14才4 14ウ1
14ウ2 15才2 15才4 16才4 16才5 16ウ1 16ウ2
16ウ4 17才3 17才4 17ウ2 37ウ2 〔下〕06ウ3
09ウ6 10ウ1 13ウ5 13ウ5 15ウ3 18ウ4 21ウ5
28ウ2

【遙】(6)

〔中〕06才4 06ウ1 09ウ1 18才5 23ウ4 〔下〕
05才1

【遠】(8)

〔中〕23ウ4 38才1 〔下〕01才6 01ウ5 02才5
10才2 22才4 27才4

【遣】(6)

〔上〕23ウ3 〔中〕26ウ1 29才6 35ウ1 35ウ3
〔下〕07ウ6

【違】(6)

〔上〕29ウ6 32ウ4 〔中〕20ウ3 31ウ6 〔下〕
08才6 10ウ3

【適】(2)

〔上〕27ウ6 〔中〕06才5

【遭】(7)

〔上〕06ウ1 06ウ3 16ウ6 19ウ5 24ウ3 27ウ4
34才5

【遲】(7)

〔上〕34才1 〔中〕02才4 06ウ6 40才6 40才6
〔下〕24ウ3 24ウ3

【遷】(4)

〔上〕12ウ3 13ウ2 〔中〕40ウ5 〔下〕25才2

【選】(6)

〔上〕31ウ5 32ウ2 32ウ3 41才5 〔中〕01才1
〔下〕27才6

【遺】(6)

〔上〕02才3 10才1 22才1 32才1 32ウ4 35ウ1

【避】(1)

〔上〕22ウ4

【還】(29)

〔上〕10才5 14才6 17才5 17ウ1 18才3 20才4
21ウ1 22ウ6 24才3 25才2 25才2 25才5 27ウ6
27ウ6 28才6 29才6 31才2 33才6 34才6 36ウ2
〔中〕08才5 11ウ1 12ウ5 13才1 24才4 28才6
〔下〕01ウ2 10才1 10才5

【邊】(26)

〔上〕07ウ5 12才1 33ウ6 〔中〕08才5 13才5
21才6 23ウ5 27才4 34ウ2 〔下〕03才6 04才1
04才1 07ウ2 07ウ6 08才1 08才4 09ウ3 10才4
12ウ5 13才2 13才3 18才2 19ウ2 20ウ6 27才6
31才1

邑 部

【邑】(2)

〔上〕14ウ5 28才1

【那】(9)

〔上〕13ウ1 34才5 34才6 〔中〕07ウ2 08才1
19ウ4 23ウ5 34ウ1 34ウ2

【邪】(2)

〔中〕17ウ5 〔下〕32ウ5

【郎】(9)

〔上〕25ウ1 32才1 32才2 32才2 32才2 32才5
32才6 33才1 33才2

【郡】(2)

〔上〕05ウ5 〔下〕32ウ1

【部】(1)

〔下〕 20ウ1

【郭】 (2)

〔上〕 05才3 14ウ6

【都】 (2)

〔上〕 31ウ6 〔下〕 10才4

【郷】 (15)

〔上〕 05ウ5 18ウ2 31才3 40ウ4 40ウ5 40ウ5
41才2 〔中〕 01才5 05才4 11ウ1 21ウ1 40才3
40才3 〔下〕 24才6 24才6

【燕十邑】 (1)

〔中〕 03ウ6

酉 部

【酉】 (2)

〔上〕 33才4 〔下〕 25ウ2

【配】 (1)

〔上〕 32ウ6

【酒】 (12)

〔上〕 06才1 19ウ5 21ウ1 28才4 28ウ1 37才2
37才6 39才4 39才5 39才6 39ウ1 〔中〕 29才5

【酬】 (1)

〔上〕 28才2

【醉】 (8)

〔上〕 19ウ5 21ウ1 22ウ3 39才5 〔中〕 29才5
〔下〕 07才5 07才6 07ウ3

【醜】 (5)

〔中〕 28ウ2 28ウ6 28ウ6 30才5 35ウ2

采 部

【采】 (3)

〔下〕 21才4 30才4 32才5

【釋】 (43)

〔中〕 05ウ6 06才3 07才6 07才6 07ウ2 07ウ3
07ウ4 07ウ5 07ウ6 08才4 08ウ1 09才4 09才5
09才6 09ウ1 09ウ1 10才2 12才6 13才6 24才2
29ウ1 29ウ6 33才1 33ウ3 34才6 34ウ2 35ウ2
36才2 36ウ2 〔下〕 04才5 11才5 11ウ3 11ウ4
11ウ4 11ウ5 13ウ5 19才5 19ウ2 26才4 26才4
26ウ2 31ウ1 31ウ2

里 部

【里】 (37)

〔上〕 02ウ2 02ウ3 02ウ3 02ウ4 02ウ4 02ウ5
15才6 25ウ2 26才4 〔中〕 01才6 01ウ1 01ウ2
02ウ1 03才3 03才4 03才5 03才6 03才6 03ウ3
04才6 04ウ1 16ウ2 29才1 33ウ3 33ウ6 39才4
40ウ6 〔下〕 01才5 01ウ2 02才5 06才4 10才3
16才1 23ウ1 25才3 29ウ5 31才5

【重】 (20)

〔上〕 12ウ3 22ウ4 40才2 〔中〕 01才5 02才6
02才6 03才1 04ウ3 04ウ3 04ウ5 09才1 24ウ5
28才5 38才4 40ウ4 〔下〕 04才4 14ウ5 18才5
22ウ2 25才1

【野】 (24)

〔上〕 04才6 11ウ4 13才6 26ウ6 28才1 38ウ2
38ウ4 〔中〕 15ウ3 〔下〕 07才1 08才3 08才4
08才5 08ウ2 08ウ4 09才5 18ウ6 19才1 19才1
33才6 33ウ2 33ウ3 33ウ3 33ウ5 34ウ1

【量】 (10)

〔上〕 01ウ5 01ウ6 〔中〕 06才4 18才2 23ウ5
34ウ2 35才1 36才2 〔下〕 03ウ4 19才3

金 部

【金】 (55)

〔上〕 04ウ2 15才3 18ウ4 35ウ2 38ウ4 40才2

〔中〕 04ウ1 04ウ2 12ウ3 14才2 15ウ6 16才4
16ウ3 16ウ4 17才4 18才5 20才2 22才2 22才4
22才4 28ウ2 28ウ6 31才3 31才4 31才4 31才5
31才5 31才6 31ウ2 31ウ3 31ウ3 31ウ5 31ウ5
31ウ6 33ウ5 34ウ5 36才2 〔下〕 01才2 01才3
03ウ1 03ウ5 04才1 06才5 14才2 14才4 14才6
15ウ3 15ウ4 15ウ6 17才2 20才1 20才1 20才3
20ウ1 21才3

【釜】(2)

〔上〕 05才1 15才3

【針】(2)

〔上〕 34ウ2 34ウ3

【釣】(3)

〔上〕 30ウ3 40ウ1 〔下〕 33才2

【釵】(5)

〔上〕 40才3 〔中〕 22才2 22才4 22才4 22才5

【鈿】(1)

〔上〕 40才3

【鉏】(1)

〔下〕 26ウ5

【鉢】(16)

〔中〕 12ウ5 12ウ6 13才1 13才2 13才3 14ウ3
20ウ3 20ウ4 20ウ5 24才1 24ウ2 25才1 25才1
25才2 25才2 25才3

【鉢】(1)

〔下〕 26ウ1

【鏡】(2)

〔上〕 34ウ3 34ウ4

【鋤】(6)

〔上〕 04ウ2 10ウ1 15才3 16ウ2 16ウ2 〔中〕

16才1

【録】(6)

〔中〕 02才3 03ウ1 04才4 40ウ6 〔下〕 25才3
30ウ6

【錐】(2)

〔上〕 06ウ6 36ウ5

【錢】(7)

〔上〕 05才6 14才3 14才3 31才6 〔中〕 34ウ5
41才2 〔下〕 25才5

【錦】(4)

〔中〕 40才3 40才3 〔下〕 24才6 24才6

【錫】(1)

〔中〕 05才3

【鍋】(1)

〔上〕 05才1

【鍬】(1)

〔下〕 26ウ5

【鎌】(1)

〔下〕 26ウ5

【鎮】(1)

〔上〕 13ウ1

【鎰】(1)

〔下〕 26ウ5

【鏡】(2)

〔上〕 38才3 〔下〕 19ウ1

【鏡】(8)

〔上〕 13才1 13才6 28ウ2 28ウ3 28ウ4 28ウ4
28ウ6 〔中〕 05才2

【鏤】(1)
〔中〕 33ウ5

【鐘】(6)
〔下〕 27オ5 27オ6 27ウ1 27ウ1 27ウ2 27ウ2

【鐵】(9)
〔上〕 05オ1 34ウ6 34ウ6 34ウ6 35オ1 〔中〕
17ウ4 17ウ5 36オ1 36オ3

【鑄】(1)
〔上〕 05オ1

【鑊】(4)
〔上〕 35ウ6 36オ1 36オ1 36オ2

【鑊】(3)
〔下〕 06オ5 06オ6 06ウ1

長 部

【長】(48)
〔上〕 07ウ4 12オ4 18ウ5 19ウ2 23オ3 25オ5
25ウ2 35オ5 〔中〕 02オ2 13ウ2 14オ4 16オ5
19オ4 19オ5 24オ2 25ウ2 25ウ3 25ウ4 25ウ5
25ウ6 26オ4 26オ5 26ウ2 26ウ6 38ウ4 39オ5
40ウ2 40ウ2 40ウ2 41オ2 〔下〕 03オ6 04オ4
06ウ6 10オ2 12ウ3 14ウ5 18ウ1 18ウ4 20オ6
20ウ2 20ウ3 23オ1 23ウ2 24ウ5 24ウ5 24ウ6
25オ5 30ウ3

門 部

【門】(29)
〔上〕 11オ3 22ウ4 23オ6 28オ1 〔中〕 01ウ3
01ウ3 07オ3 07オ4 14ウ5 17ウ5 18オ6 18ウ1
18ウ3 22オ3 24オ1 26ウ5 27オ2 27オ3 27オ5
27オ6 27オ6 27ウ2 27ウ2 27ウ3 30ウ3 30ウ4
30ウ6 〔下〕 04オ1 06ウ6

【閉】(6)
〔上〕 20ウ5 〔中〕 12ウ4 20オ6 20ウ4 20ウ6
〔下〕 32ウ6

【開】(24)
〔上〕 03オ1 03オ3 11ウ1 22ウ4 29ウ5 37ウ3
40ウ5 40ウ5 41オ1 〔中〕 12ウ4 19ウ6 20ウ4
20ウ6 38オ6 38ウ1 〔下〕 05オ3 07オ6 08オ1
10オ4 10ウ4 10ウ4 11オ3 22ウ4 22ウ4

【間】(75)
〔上〕 01オ6 01ウ2 01ウ2 01ウ2 01ウ4 01ウ6
02オ1 02オ5 13オ5 15オ2 17オ5 22ウ5 30ウ2
33ウ6 34オ6 34ウ6 35オ6 35オ6 35ウ1 35ウ2
35ウ3 35ウ4 35ウ5 36オ1 38オ5 40ウ1 41オ1
〔中〕 02ウ3 03ウ5 04ウ5 10オ1 11オ4 11ウ2
12ウ1 14ウ2 14ウ4 14ウ5 15ウ3 15ウ6 16オ6
16ウ6 25オ1 25ウ4 29オ2 29オ4 29ウ3 31ウ2
32オ3 33ウ6 35オ3 38オ3 39ウ1 41オ1 〔下〕
04ウ1 08ウ3 08ウ5 09オ1 09オ3 09ウ4 10ウ5
14オ4 14ウ2 18オ2 18オ4 18ウ4 19オ3 19オ5
19オ6 22ウ1 23ウ4 25オ4 26オ2 27オ4 28ウ1
28ウ6

【閔】(3)
〔上〕 14オ6 14ウ2 14ウ3

【閏】(2)
〔中〕 39オ6 〔下〕 23ウ4

【閻】(1)
〔中〕 06オ1

【閻】(2)
〔中〕 04オ5 15ウ1

【閻】(2)
〔下〕 01ウ5 17オ4

【閻】(1)

〔中〕 33ウ2

【闕】 (6)

〔上〕 15オ2 16オ4 〔中〕 23ウ1 31オ6 〔下〕
08ウ1 12オ3

【關】 (2)

〔上〕 03オ1 03オ3

阜 部

【阡】 (1)

〔上〕 03ウ2

【阿】 (34)

〔上〕 37オ4 〔中〕 04オ6 05オ1 05ウ6 07ウ1
07ウ1 07ウ6 08オ1 12ウ3 14ウ5 19ウ4 20ウ2
21オ4 21オ5 21オ5 21ウ1 21ウ2 21ウ5 21ウ5
21ウ5 33ウ2 34ウ6 36ウ1 36ウ3 36ウ4 37オ4
〔下〕 02ウ2 05ウ6 06ウ6 14オ5 14ウ1 14ウ4
15ウ3 34ウ5

【陀】 (7)

〔上〕 11ウ4 〔中〕 13ウ4 16ウ1 17オ2 17ウ6
〔下〕 02ウ2 04オ5

【附】 (1)

〔下〕 22オ6

【陌】 (1)

〔上〕 03ウ2

【限】 (8)

〔上〕 03ウ2 23オ1 24ウ4 〔中〕 05オ6 15オ6
25ウ4 36オ3 〔下〕 20ウ2

【院】 (3)

〔上〕 11オ2 〔中〕 16オ5 〔下〕 20オ6

【除】 (6)

〔中〕 09オ6 10ウ1 28オ6 〔下〕 03オ5 05オ6

32ウ5

【陰】 (5)

〔中〕 02オ5 03オ2 29オ3 〔下〕 01ウ5 02オ2

【陳】 (2)

〔上〕 30オ2 31オ5

【陵】 (2)

〔上〕 12ウ2 〔下〕 04オ2

【陸】 (3)

〔下〕 17ウ3 17ウ5 17ウ6

【隆】 (5)

〔中〕 04オ4 31オ2 33オ4 33オ6 〔下〕 26ウ1

【陽】 (8)

〔上〕 11オ3 〔中〕 01オ5 01ウ6 02オ1 02オ5
〔下〕 01オ4 01オ4 32ウ4

【階】 (1)

〔上〕 36オ2

【隔】 (1)

〔下〕 13ウ1

【隙】 (1)

〔中〕 29ウ3

【際】 (9)

〔上〕 01ウ1 09オ1 〔中〕 13ウ2 〔下〕 01ウ3
14オ3 14オ3 14オ4 17ウ2 30ウ6

【障】 (2)

〔中〕 08オ2 37オ2

【隣】 (7)

〔上〕 19ウ5 22ウ3 33ウ5 37ウ5 〔中〕 08ウ2
〔下〕 07ウ1 07ウ5

【隨】(30)

〔上〕06才2 12ウ2 21才4 25ウ4 29ウ1 33才1
37ウ4 38才1 39ウ1 〔中〕05ウ4 06ウ1 14才1
14才6 15才2 16才1 18ウ6 19ウ3 27才4 29ウ2
32ウ4 34才3 35才5 35ウ6 35ウ6 〔下〕08才6
08ウ3 10ウ2 16才6 28ウ3 33ウ2

【隱】(7)

〔上〕35才6 〔中〕07ウ4 19才4 36才3 〔下〕
04ウ6 22才6 26ウ3

隹 部

【隻】(1)

〔下〕29才1

【雀】(3)

〔上〕10才5 〔下〕03ウ3 10才6

【雄】(5)

〔上〕35才3 〔中〕26才6 〔下〕16才1 30才4
30ウ2

【雅】(3)

〔中〕01才6 01ウ1 03才3

【集】(6)

〔中〕18ウ5 23才2 33才3 36才2 36ウ2 〔下〕
02ウ4

【雉】(3)

〔下〕31ウ4 31ウ5 31ウ6

【雌】(4)

〔下〕16才1 29才4 30才4 30ウ2

【雍】(1)

〔中〕03ウ3

【雖】(31)

〔上〕01才2 04ウ5 19才2 19ウ3 20才3 24才5

37ウ4 〔中〕12才4 13ウ6 15才1 16ウ2 19才4

24ウ3 24ウ5 27ウ4 28才5 37ウ5 40才3 41才3

〔下〕09才2 10ウ4 14ウ4 15才5 16才3 16才6

19ウ3 22才1 24才6 25才6 29才6 30才2

【雙】(4)

〔中〕35才2 35才3 〔下〕09ウ2 17才4

【雛】(1)

〔上〕25才5

【雜】(1)

〔下〕28才2

【難】(43)

〔上〕01才2 12才3 15ウ4 24ウ3 27ウ4 28ウ5

39ウ4 〔中〕11才6 12ウ3 14ウ5 15才3 15才3

15才4 15才4 20ウ1 20ウ1 20ウ2 21才2 21才4

21才5 21才5 21ウ1 21ウ2 21ウ5 21ウ5 21ウ5

23ウ2 25才3 31才6 36ウ1 36ウ3 36ウ4 37才4

〔下〕06ウ6 12ウ6 14才2 14ウ3 15ウ2 15ウ4

15ウ5 20ウ4 28ウ2 29才2

【離】(11)

〔上〕18ウ3 24ウ3 〔中〕13才5 17才5 31才3

32ウ5 〔下〕03ウ2 10才5 10ウ6 11才4 13ウ4

雨 部

【雨】(5)

〔上〕10才5 21ウ4 27ウ5 〔中〕04才2 04才3

【雪】(14)

〔上〕12才1 15ウ4 16才1 16才4 17才1 17才2

〔中〕04才3 04才4 10才6 〔下〕01ウ5 04ウ3

04ウ3 04ウ3 04ウ5

【雲】(10)

〔上〕26才5 33才6 33ウ2 40ウ1 41才1 〔中〕

04才2 04才2 36才2 38ウ3 〔下〕22ウ6

【雷】(4)
〔上〕33才6 33才6 〔中〕04才1 04才1

【霄】(1)
〔中〕01才5

【震】(2)
〔上〕21才2 〔中〕04才1

【霜】(3)
〔中〕04才2 04才3 04才3

【露】(7)
〔上〕23才4 〔中〕04才3 04才3 04ウ4 09ウ6
〔下〕01ウ5 03才4

【靈】(5)
〔中〕29ウ1 33ウ2 33ウ3 〔下〕19ウ5 28ウ5

青 部

【青】(11)
〔上〕17才2 17才2 〔中〕02才1 03ウ2 18才5
41才1 〔下〕03ウ3 10才6 25才4 32ウ3 32ウ4

【靜】(5)
〔上〕32ウ1 〔中〕03ウ2 38ウ4 〔下〕23才1
32ウ2

非 部

【非】(13)
〔上〕19ウ3 28ウ1 35才1 〔中〕07ウ3 29才4
37ウ1 〔下〕17才4 21ウ4 28ウ2 31ウ6 31ウ6
32才1 32才2

面 部

【面】(20)
〔上〕25才4 35ウ6 〔中〕15ウ5 18ウ1 22ウ5
33ウ6 34才1 35才3 35ウ5 38ウ3 〔下〕01ウ1

02才6 03ウ3 04才3 19才1 20才1 20才2 20ウ3
21才1 22ウ6

革 部

【鞭】(1)
〔中〕26才4

韋 部

【韋】(2)
〔中〕17ウ6 33ウ4

音 部

【音】(12)
〔上〕07ウ1 17ウ1 37ウ2 〔中〕16才2 38才6
〔下〕22ウ4 27ウ1 31ウ6 31ウ6 32才6 34ウ4
34ウ6

【響】(2)
〔下〕27才5 27ウ2

頁 部

【頂】(2)
〔中〕22才3 33ウ5

【順】(11)
〔上〕19ウ4 19ウ5 20才1 20才2 20才4 20才5
20才6 20才6 22ウ3 25才2 〔中〕06才3

【須】(27)
〔中〕10才3 11ウ1 14才3 14才4 14ウ1 14ウ2
14ウ3 15才2 15才4 16才4 16才5 16ウ1 16ウ4
17才3 17才4 17ウ2 20ウ2 23才5 〔下〕01ウ3
06ウ3 06ウ3 11ウ5 14才3 14才6 16才2 18ウ4
19才3

【頊】(3)

〔上〕 05才5 05才6 05ウ2

【頌】 (4)

〔上〕 28ウ1 〔下〕 03ウ2 03ウ3 03ウ5

【預】 (4)

〔中〕 03ウ2 03ウ5 39ウ4 〔下〕 24才1

【頗】 (2)

〔中〕 40才5 〔下〕 24ウ2

【頷】 (11)

〔上〕 32才1 32才2 32才2 32才2 32才3 32才3
32才4 32才4 32才5 32ウ4 32ウ6

【頭】 (47)

〔上〕 03才4 03才5 03ウ1 03ウ5 16ウ2 20ウ5
25才4 27才4 27ウ1 33才3 34才1 35ウ4 35ウ5
35ウ5 35ウ6 36才1 36才1 36才1 36才2 36才2
36才2 36才3 〔中〕 05ウ3 18才3 18才3 20才1
22才3 22ウ5 30ウ4 30ウ5 31才1 35ウ5 36才5
38ウ3 〔下〕 04才5 22ウ6 28才1 28才2 28才2
28才3 28才3 28才6 28ウ1 29ウ4 30ウ1 32才5
32才5

【頸】 (9)

〔上〕 07才2 33ウ4 34才2 38ウ3 〔下〕 03ウ1
03ウ3 08ウ2 08ウ5 09才2

【頻】 (2)

〔中〕 33ウ4 〔下〕 04才2

【顛】 (2)

〔中〕 19才5 19才5

【顔】 (5)

〔中〕 26ウ5 38ウ3 38ウ5 〔下〕 22ウ6 23才2

【顛】 (3)

〔上〕 05才5 05才6 05ウ2

【類】 (10)

〔上〕 03才1 12ウ1 〔中〕 28才6 38才6 〔下〕
08才5 08ウ5 15才5 19ウ3 22ウ3 27ウ6

【願】 (21)

〔上〕 16ウ5 40才5 40才5 〔中〕 05才3 06才6
06才6 07才1 08才4 10ウ1 10ウ1 11ウ1 19才6
21ウ5 29才4 29ウ2 30才3 〔下〕 04才1 04才1
04才2 04才2 20ウ5

【願】 (1)

〔上〕 04才5

【顯】 (2)

〔中〕 05才3 27才2

風 部

【風】 (24)

〔上〕 01ウ1 02才2 02才2 38ウ5 〔中〕 02才3
02ウ3 04ウ3 12ウ2 18才2 18才3 18ウ1 18ウ2
21才6 24才6 39ウ2 39ウ5 39ウ6 40才1 〔下〕
02ウ5 06才5 23ウ5 24才2 24才3 24才4

【颯】 (1)

〔上〕 06ウ3

飛 部

【飛】 (21)

〔上〕 16ウ6 24ウ5 25才4 28ウ4 28ウ6 41才1
〔中〕 09才3 23ウ4 37才6 〔下〕 03才1 07才1
10ウ2 19ウ6 20才2 21ウ3 27才2 27才3 27才3
27ウ4 29ウ5 31ウ1

食 部

【食】 (85)

〔上〕 05才3 06ウ1 09才5 10才2 12才3 12ウ1

12ウ3 13才4 13才5 15才6 15ウ4 16才2 16才4
17才2 19ウ2 20才1 20ウ5 25才5 31才4 〔中〕
08才5 11才6 12ウ1 12ウ3 13才6 14才5 14才6
14ウ3 14ウ5 14ウ6 15才2 15ウ3 15ウ6 16才3
19才4 20ウ1 20ウ1 20ウ2 20ウ3 20ウ3 20ウ6
21才1 21才2 21ウ4 26ウ1 27才3 27才4 31才6
34ウ4 39ウ5 41才1 〔下〕 05ウ5 07才1 08才6
09ウ5 12ウ6 14才6 14ウ1 14ウ3 14ウ5 15才1
15才2 15才3 15ウ4 16才2 16才5 16才6 16ウ1
16ウ3 16ウ4 20才3 24才2 25才4 25ウ1 25ウ1
27才2 27才3 27才3 28才3 28才6 30ウ3 31才6
31ウ2 33ウ2 33ウ2 33ウ3

【飡】(4)

〔下〕 06才5 08才4 08ウ4 09ウ3

【飢】(15)

〔上〕 06ウ3 19ウ5 33ウ5 〔中〕 04才1 08才4
08ウ1 20ウ2 21才2 38才4 〔下〕 03才6 10才5
16ウ3 22ウ2 28才6 31才5

【飲】(25)

〔上〕 04才3 06才1 12才3 28才4 28才6 30ウ6
31才6 37才5 39才4 39才5 39ウ2 〔下〕 02ウ5
02ウ6 03才1 03才1 03才2 03才2 03才2 03才3
03才3 03才4 03才4 03才5 03才6 30ウ3

【飯】(7)

〔上〕 37才3 〔中〕 06ウ1 07才3 13才6 20ウ5
〔下〕 14ウ3 14ウ3

【食+且】44093 (1)

〔中〕 14ウ2

【飼】(1)

〔下〕 24才1

【飽】(5)

〔中〕 08ウ1 〔下〕 03才5 08才6 09ウ5 13才4

【餅】(3)

〔中〕 24才6 24ウ2 25才1

【養】(38)

〔上〕 02才4 04才1 04ウ3 15才2 15才4 18ウ6
19才6 20才4 20ウ4 25才5 26ウ1 26ウ2 34才5
〔中〕 09ウ3 11ウ5 12ウ2 13才1 13才3 15才1
15才3 15ウ6 15ウ6 16才6 16ウ6 24ウ3 30才4
31才2 32ウ4 34ウ3 34ウ5 〔下〕 03才6 04才4
11ウ3 27才2 27才4 29才4 29才5 29才6

【餌】(2)

〔下〕 27才2 29才6

【餓】(8)

〔上〕 20ウ5 〔中〕 32才2 32ウ3 32ウ5 〔下〕
16才5 16ウ1 16ウ3 31才5

【餘】(15)

〔上〕 19才5 19ウ2 〔中〕 12ウ5 16ウ2 16ウ5
22ウ5 24ウ5 28才2 28才6 28ウ6 33ウ6 34才6
40ウ3 〔下〕 15才5 15才5

【饑】(2)

〔上〕 19ウ5 33ウ5

【饗】(3)

〔上〕 21ウ1 〔中〕 32才4 32ウ4

首 部

【首】(15)

〔上〕 25ウ5 25ウ5 25ウ5 25ウ6 27ウ2 27ウ6
〔中〕 01才3 17ウ6 33才4 36才4 36才6 40ウ6
〔下〕 25才3 30才6 32才5

香 部

【香】(9)

〔上〕 37才4 37ウ4 〔中〕 10ウ3 24ウ4 24ウ5
28ウ5 32才6 〔下〕 03才1 09ウ5

馬 部

【馬】(23)

〔上〕 05才4 27才5 27ウ1 27ウ2 〔中〕 08ウ2
26才4 39ウ2 39ウ3 39ウ5 〔下〕 03ウ5 23ウ5
23ウ6 24才3 29ウ4 32才5 32ウ3 32ウ4 32ウ4
32ウ4 32ウ4 32ウ5 32ウ6 32ウ6

【馳】(1)

〔上〕 24ウ1

【駟】(1)

〔下〕 19才6

【駒】(1)

〔下〕 29ウ3

【駕】(3)

〔上〕 12ウ3 31ウ2 36才6

【駭】(1)

〔中〕 05才5

【駿】(2)

〔下〕 29ウ3 29ウ4

【騫】(3)

〔上〕 14才6 14ウ2 14ウ3

【驚】(11)

〔上〕 17ウ1 21ウ2 37才6 〔中〕 05才3 21ウ3
31ウ6 38才5 〔下〕 07ウ4 08ウ2 19才6 22ウ3

骨 部

【骨】(10)

〔上〕 11ウ5 11ウ5 18ウ6 19ウ3 20才5 20才6
26才2 〔中〕 19才1 〔下〕 16才3 29ウ5

【骸】(3)

〔上〕 11ウ5 20才5 21才3

【體】(1)

〔中〕 30ウ3

【髑】(1)

〔中〕 30ウ3

【髓】(1)

〔中〕 32才5

【體】(7)

〔上〕 29ウ1 29ウ5 〔中〕 10ウ3 33才4 〔下〕
32才2 32ウ4 33才3

高 部

【高】(32)

〔上〕 07ウ6 10才3 15ウ4 16才1 16才4 17ウ4
17ウ5 17ウ5 25才4 33ウ2 34ウ3 〔中〕 02ウ3
03ウ2 05才5 07才1 14才1 15ウ4 16ウ5 23ウ4
28才3 30ウ4 33ウ6 39才4 〔下〕 13ウ4 14才3
23ウ1 26ウ4 29ウ5 31才1 31才1 31ウ1 32才6

長 部

【髡】(1)

〔下〕 22ウ6

【髮】(7)

〔上〕 27才2 27才4 38ウ1 〔中〕 05才6 13ウ2
28才6 28ウ5

【鬢】(4)

〔中〕 06才3 06ウ2 22才2 38ウ3

【鬢】(1)

〔中〕 28才6

𠂔 部

【鬪】(2)
〔上〕32ウ1 〔下〕32ウ2

【鯨】(5)
〔下〕27才5 27才6 27ウ1 27ウ1 27ウ2

鬼 部

【鬼】(17)
〔上〕06ウ5 11才1 〔中〕28ウ5 29才5 30ウ1
32才2 32才5 32ウ3 32ウ5 〔下〕16才5 16ウ1
16ウ1 16ウ3 26ウ3 26ウ4 28ウ5 28ウ6

【魂】(2)
〔上〕39ウ5 〔下〕28ウ5

【魃】(1)
〔上〕06ウ3

【魄】(1)
〔上〕39ウ5

【魔】(2)
〔中〕04才5 〔下〕26ウ1

魚 部

【魚】(13)
〔上〕16才4 16才4 30ウ3 40ウ1 〔中〕08才3
08才5 08才6 〔下〕17ウ1 17ウ3 17ウ4 27才6
30ウ1 33才2

【魯】(1)
〔上〕14ウ4

【鮮】(1)
〔上〕16才4

【鯉】(1)
〔上〕16才6

【鯢】(2)
〔下〕27ウ1 27ウ1

鳥 部

【鳥】(80)
〔上〕24ウ5 24ウ6 24ウ6 25才2 25才3 25才4
25才4 25才5 27ウ1 27ウ2 38ウ4 40才5 〔中〕
18才5 18ウ3 27才5 27才6 27ウ1 27ウ2 27ウ2
27ウ4 37才6 37ウ1 37ウ1 37ウ1 37ウ2 37ウ3
37ウ5 40ウ1 〔下〕02ウ1 02ウ2 03ウ1 03ウ3
03ウ6 04才2 04才3 04才3 04才5 04ウ1 04ウ2
04ウ3 04ウ4 05才1 05才1 06ウ4 06ウ6 06ウ6
14才2 14才4 14才6 14ウ1 14ウ4 15ウ2 15ウ3
15ウ4 15ウ4 15ウ6 15ウ6 16才1 17ウ2 19ウ5
20才3 21ウ3 21ウ4 21ウ4 21ウ4 21ウ5 21ウ6
22才1 24ウ4 27ウ3 27ウ4 27ウ6 29才5 29ウ5
30才4 30才4 30才5 31才2 31才4 31才5

【鳳】(9)
〔上〕06才2 10才3 10才4 10才5 〔中〕35才5
〔下〕30才3 30才4 30才5 30才5

【鳴】(26)
〔上〕35才2 35才5 〔中〕40才6 〔下〕04ウ4
04ウ6 05才1 24才1 24ウ3 27ウ1 27ウ1 27ウ5
27ウ5 29才3 30ウ2 30ウ2 30ウ2 30ウ3 30ウ3
30ウ3 31才3 31才3 31ウ6 31ウ6 32才1 32ウ1
32ウ1

【鴈】(7)
〔下〕09ウ2 09ウ3 09ウ3 09ウ6 10ウ1 10ウ3
11才2

【鴛】(8)
〔中〕06才2 06ウ2 06ウ3 06ウ6 06ウ6 07才1
07才3 07才4

【鴿】(3)
〔中〕38才4 〔下〕22ウ1 22ウ2

【般一爻+鳥】***** (1)

〔上〕 25才5

【鵝】 (2)

〔中〕 27才2 27才4

【鵠】 (2)

〔下〕 03ウ1 29才4

【鷓】 (3)

〔下〕 03ウ5 06ウ2 06ウ4

【鵲】 (3)

〔上〕 29ウ3 29ウ4 29ウ5

【鷺】 (1)

〔中〕 21才5

【扁+鳥】 47127 (3)

〔上〕 29ウ3 29ウ4 29ウ5

【鶴】 (7)

〔上〕 27才2 27才4 〔中〕 35才2 35才4 〔下〕
18ウ6 19才1 30ウ1

【鷄】 (6)

〔上〕 10才4 〔下〕 29才3 30ウ1 30ウ5 31才1
31才3

【鷓】 (3)

〔下〕 17才6 17ウ1 17ウ4

【廿+口+北+鳥】 47343 (2)

〔中〕 40才4 40才6

【鷺】 (1)

〔下〕 20才2

【鸚】 (3)

〔下〕 03ウ5 06ウ2 06ウ4

【鸞】 (1)

〔下〕 30才5

鹿 部

【鹿】 (13)

〔上〕 20ウ1 〔中〕 38才5 〔下〕 19才5 19才6
19才6 22ウ1 22ウ3 32才4 33ウ2 34ウ2 34ウ3
34ウ3 34ウ4

【麒】 (1)

〔下〕 32才3

【麟】 (1)

〔下〕 32才3

麥 部

【麥】 (4)

〔上〕 04ウ2 10才3 10才4 10才5

麻 部

【麻】 (1)

〔上〕 04ウ2

黃 部

【黃】 (13)

〔上〕 15才3 20才6 36才5 36才5 36ウ2 39ウ6
〔中〕 01ウ3 03才2 03才2 33ウ5 〔下〕 18ウ1
18ウ2 32才6

黑 部

【黑】 (6)

〔上〕 02才5 19ウ6 20才2 〔中〕 05才6 19才1
〔下〕 32才6

【黠】 (1)

〔下〕 06ウ5

【黨】 (1)

〔下〕 13ウ1

龍 部

【龍】 (1)

〔中〕 39オ2

鼉 部

【鼉】 (1)

〔下〕 29オ1

鼠 部

【鼠】 (14)

〔上〕 29ウ4 29ウ5 34オ1 〔下〕 05ウ3 05ウ4
06オ2 06オ3 06オ4 06オ4 06オ5 06オ5 06オ6
06ウ1 19ウ6

鼻 部

【鼻】 (8)

〔中〕 04オ6 25オ3 〔下〕 11ウ1 11ウ1 11ウ1
11ウ1 11ウ4 11ウ6

齋 部

【齋】 (8)

〔上〕 18オ1 18オ3 23ウ3 28ウ4 30オ4 36ウ6
39ウ5 〔下〕 27オ3

齒 部

【齒】 (2)

〔下〕 17オ1 17オ2

龍 部

【龍】 (14)

〔上〕 33ウ1 〔中〕 06ウ4 18オ5 18ウ3 〔下〕
10オ6 15ウ2 15ウ3 15ウ3 15ウ4 15ウ6 16オ2
16オ3 29ウ4 32ウ4

龜 部

【龜】 (28)

〔上〕 11ウ3 40ウ2 40ウ2 〔中〕 39オ3 〔下〕
09ウ2 09ウ3 10ウ1 10ウ2 10ウ2 10ウ6 10ウ6
11オ1 12ウ5 13オ2 13オ3 13オ4 13オ4 13オ5
13ウ2 13ウ3 13ウ4 13ウ5 23オ5 23オ6 30ウ1
33オ1 33オ2 33オ4

金澤文庫本群書治要訓点用語集稿（二）

李玉婷・王暄・孫瑾

金澤文庫本群書治要卷訓点用例集稿 (二) 卷一 12

李 玉婷

卷一 周易

○君子・終ヒネモ | 日ス・乾一々（乾）ナリ・夕ヘマテニに惕フツル、こと・厲アヤフ

○ム（返）ム（返）カ若シ・咎（返）无（返）（トイハ・何ナシト | 謂イフコトソ「也」。（群書治要卷第一「周易」128）（・ひねもす・なり・ゆうべ・まで・を
そる・あやふむ・ごとし・といは・なん・いふ・こと・ぞ・）

○子ノ曰（く）・君子は徳（返）を（返）進ス、メテ業を忠一信（二）に脩フサム（二）。（群書治要卷第一「周易」129）（・の・すすむ・をさむ・）

○徳（返）を（返）進ス、ムル所（三） | 以ナリ「也」。（群書治要卷第一「周易」130）（・すすむ・なり・）

○辭コトハを脩フサメテ其ノ誠（二）を立（三）ツ・業（返）に居（二）ル所（三） | 以ナリ「也」。（群書治要卷第一「周易」130）（・ことば・をさむ・その・たつ・をり・なり・）

○是ノ故（返）に・上一位（二）に居（三）而驕（返）ラ不（下）位（二）に在（三）（り）而憂（返）ヘ不（群書治要卷第一「周易」131）（・この・ゐる・をこる・うれふ・）

○下一體ノ「之」上（二）に居（三）・上一體ノ「之」下（二）に在（三）リ。（群書治要卷第一「周易」132・注）（・の・ゐる・の・しも・あり・）

○夫ノ終リノ蔽ツキエを明（三）ン（二）ス。（群書治要卷第一「周易」132・注）（・かの・おわる・の・つゐえ・あきらかんす・）

○故（返）に驕（返）ラ不（返）「也」。（群書治要卷第一「周易」132・注）（・おこる・）

○夫（至）の至（二）リ（三）の々（三）ヲ知（三）ル。（群書治要卷第一「周易」132・

注）（・いたる・いたる・しる・）

○故（返）に乾一々（乾）シテ其ノ時（二）に因（三）（り）而惕（返）ル。（群書治要卷第一「周易」132）（・す・その・よる・をそる・）

○危（返）シ（返）と雖（返）も・咎（返）无（返）シ「矣」。（群書治要卷第一「周易」133）（・あやふし・なし・）

○惕（返）（る）とは・怵（返）惕（返）を「之」謂（返）フナリ「也」。（群書治要卷第一「周易」133・注）（・ツキツテキ・いふ・なり・）

○飛一龍（返）・天（返）に在（返）（り）・大一人（二）を見（三）ル（返）に利（返）アリとは・何（返）ト謂（返）フコトソ「也」。（群書治要卷第一「周易」133）（・みる・あり・なん・いふ・こと・ぞ・）

○子ノ曰（く）・同一聲（相）（ひ） | 應（返）シ・同一氣（相）（ひ） | 求（返）（む）。（群書治要卷第一「周易」134）（・の・す・）

○水は濕（返）ヘル（返）に流（返）レ・火は燥（返）ケル（返）に就（返）ク。（群書治要卷第一「周易」135）（・うるふ・り・ながる・かわく・り・つく・）

○雲は龍（返）に從（返）フ・風は虎（返）に從（返）フ。（群書治要卷第一「周易」135）（・したがふ・したがふ・）

○聖一人（二）作（返）シ（返）而萬一物（二）・暗（返）ル。（群書治要卷第一「周易」136）（・す・みる・）

○亢（返）龍（返）・悔（返）有（返）（り）とは・何（返）ト謂（返）（ふ）ことソ「也」。（群書治要卷第一「周易」136）（・カウロウ・ぞ・）

○子（の）曰（く）・貴（返）シ（返）而位（返）无（返）シ。（群書治要卷第一「周易」137）（・たふとうす・なし・）

○下（返）に陰（返）无（返）ケレハナリ「也」。（群書治要卷第一「周易」137・

注) (・しも・なし・ば・なり・)

○賢一人・下位(二)に在(三)り而輔(返)クルこと無し。(群書治要卷第一「周易」137) (・たすく・なし・)

○賢人・下(返)に在(り)而位(返)に當(二)る(三)と雖(三)も・之か助(二)ケ爲(三)ラ不(返)ルソ(群書治要卷第一「周易」138・注) (・これ・たすく・たる・ず・ぞ・)

○是(れ) | 以て動イ而悔(返)有(り)「也」。(群書治要卷第一「周易」138) (・う・く・く・あり・)

○君一子は學(音)以て聚ム「之」。(群書治要卷第一「周易」139) (・これをもて・あつむ・)

○問(音)以て辯フ「之」。(群書治要卷第一「周易」139) (・これをもて・わきまふ・)

○君の徳(二)を以(三)て而下(一)體(二)に處(三)リ「於」物(二)を資(三)リ | 納ムル者ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」139・注) (・をり・とる・をさむ・なり・)

○寛(音)以て居リ「之」。(群書治要卷第一「周易」140) (・これをもて・をり・)

○仁・以て行フ「之」。(群書治要卷第一「周易」140) (・これをもて・おこなふ・)

○夫レ大一人は「者」・天一地(二)與(三)其ノ徳(二)を合(三)へ。(群書治要卷第一「周易」141) (・それ・その・かなふ・)

○日一月(二)與(三)其(の)明(二)を合(三)へ。(群書治要卷第一「周易」141) (・かなふ・)

○四時(二)與(三)其(の)序(二)を合(三)へ。(群書治要卷第一「周易」141) (・かなふ・)

易」141) (・かなふ・)

○鬼一神(二)與(三)其(の)吉一凶(二)を合(三)フ。(群書治要卷第一「周易」142) (・かなふ・)

○天(返)に先テトモ・而モ・天違(返)ハ弗。(群書治要卷第一「周易」142) (・さいだつ・ども・しかも・たがふ・)

○天(返)に後ルレトモ・而モ・天の時(二)に奉(三)ク。(群書治要卷第一「周易」143) (・をくる・ども・しかも・うく・)

○天モ・且タ・違(返)ハ弗。(群書治要卷第一「周易」143) (・も・また・ず・)

○而を況ヤ・人(返)に於イテヲ乎。(群書治要卷第一「周易」143) (・いわんや・をく・て・を・や・)

○亢ノ「之」言(返)爲ルこと「也」・進(返)ムを知(り)而退(返)クことを知(返)ラ不。(群書治要卷第一「周易」144) (・カウ・のこと・たる・すすむ・)

○存(返)スルことを知(り)而亡(返)スルことを知(返)ラ不。(群書治要卷第一「周易」145) (・すすす・)

○得(返)ルことを知(り)而喪(返)フことを知(返)ラ不。(群書治要卷第一「周易」145) (・う・うしなふ・)

○其レ・唯(た)・聖一人乎。(群書治要卷第一「周易」145) (・それ・)

○進一退存一亡(二)を知(三)り而其(の)正(音)を失(三)ハ不(返)ルは「者」・其(れ)唯(た)聖一人乎(群書治要卷第一「周易」146) (・うしなふ・ず・)

「失」の中央にある点はヲコト点の「の」点か汚れか。

○●坤・象に曰(く)・地の勢イキラヒは坤ヒナリ。(群書治要卷第一「周易」一147)(・いきをひ・なり・)「坤」の左傍に「日本反順也」あり。

○君子コレヲモ・以て厚コト―徳ア(り)て物返を載ス。(群書治要卷第一「周易」一147)(・これをもち・あり・のす・)

○象タンに曰ク・至カチレル哉坤―元。(群書治要卷第一「周易」一147)(・タン・いわく・いたる・かな・)

○萬―物・資トりて生音す。(群書治要卷第一「周易」一148)(・とる・)
○乃(ち)順音ニシテ天返に承ク。(群書治要卷第一「周易」一148)(・なり・す・うく・)

○坤は厚アツウシテ物返を載ス。(群書治要卷第一「周易」一148)(・あつし・す・のす・)

○徳・無―疆ニに合カナヘリ。(群書治要卷第一「周易」一149)(・かなふ・り・)

○含―弘・光―大にシテ品―物・咸コトクク・亨トホル。(群書治要卷第一「周易」一149)(・す・ことごとく・とほる・)

○文―言に曰(く)・坤は至(り)て柔音ナリ。(群書治要卷第一「周易」一149)(・なり・)

○而シカウシて動ク「也」は・剛ナリ(群書治要卷第一「周易」一150)(・しかうして・うごく・なり・)「也」の右下の句点を乎古止点の「は」として処理した。

○至(り)て静音ナリ。(群書治要卷第一「周易」一150)(・なり・)
○而セカて徳・方ムナリ。(群書治要卷第一「周易」一150)(・せかむ・なり・)

○萬―物フク(二)をフク含フク(三)ム(群書治要卷第一「周易」一150)(・ふくむ・)

○而音て化オホ・光イナリ。(群書治要卷第一「周易」一150)(・おほいなり・)

○天返に承ケウ而オヒナ時に行フ。(群書治要卷第一「周易」一151)(・うく・おこなふ・)

○積―善ノ「之」家には必(す)・餘―慶ニ有ニ(り)。(群書治要卷第一「周易」一151)(・の・)

○君―子は・敬音・以コレヲモて内返を直シナホウ・義コレヲモ・以コレヲモて外返を方ス。(群書治要卷第一「周易」一152)(・これをもち・なほうす・)

○敬―義・立(て)而徳ヒトリ・孤返アラ不返(群書治要卷第一「周易」一153)(・ひとり・あり・)

○●屯チキン・象に曰(く)・雲―雷アルは屯ナリ。(群書治要卷第一「周易」一154)(・チキン・あり・なり・)「屯」の左傍に「張倫反」あり。

○君―子コレヲモ・以て經―綸す。(群書治要卷第一「周易」一154)(・これをもて・)

○君―子・經―綸(の)「之」時ナリ(群書治要卷第一「周易」一154)(・注)(・なり・)

○象に曰(く)・天ノ造音スルは味マイに草ムハシ。(群書治要卷第一「周易」一154)(・の・す・マイ・はじむ・)

○侯返を建返ツルに宜シ。(群書治要卷第一「周易」一155)(・たつ・よろし・)

○而ヤスて寧返カラ不返。(群書治要卷第一「周易」一155)(・やすし・)
○屯ノ體・寧返カラ不返。(群書治要卷第一「周易」一155)(・注)(・の・やすし・)

○故に諸一侯(二)を建(三)ツルに利アリ「也」。(群書治要卷第一「周易」一155・注)(・たつ・あり・)

○屯は「者」・天一地一造一始の「之」時ナリ「也」。(群書治要卷第一「周易」一155・注)(・なり・)

○物(返)を造ス「之」・始「於」冥一昧(二)に始(三)ル。(群書治要卷第一「周易」一156・注)(・なす・はじまる・)

○造一始ノ「之」時(二)に處(三)て宜(返)シキ所の「之」善(音)・

「於」侯(返)を建(二)ツルヨリ善(三)キハ莫シ「也」(群書治要卷第一「周易」一156・注)(・の・ある・よろし・たつ・より・よし・は・なし・)

○●蒙・象に曰(く)・山の下(二)に出(つ)ル・泉(訓)は蒙(音)ナリ。(群書治要卷第一「周易」一157)(・ボウ・した・いづ・なり・)「蒙」の左傍に「莫公反」あり。

○君一子(返)以て行(返)を果シ・徳(返)を育フ。(群書治要卷第一「周易」一157)(・これをもち・はたす・やしなふ・)

○彖に曰(く)・我か童一蒙(二)に求(三)ルに匪(三)す。(群書治要卷第一「周易」一158)(・もとむ・あらず・)

○童一蒙・我(返)に求(む)とは・志の應(音)セレハソ「也」。(群書治要卷第一「周易」一158)(・す・り・ば・ぞ・)

○闇(返)キ者は明(訓)ナル者(訓)に求(三)む。(群書治要卷第一「周易」一159・注)(・くらし・あきらかなり・)

○明ナル者は闇(返)キに謔(返)ハ不。(群書治要卷第一「周易」一159・注)(・あきらかなり・くらし・とふ・)

○故に・蒙ノ「之」義(返)の爲ルこと・我か童一蒙(二)に求(三)む(返)に匪(三)す。(群書治要卷第一「周易」一159・注)(・の・た

り・あらず・)

○童一蒙ノ「之」來(り)て我(返)に求ムルは・志の應(音)スル故ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一159・注)(・の・もとむ・す・なり・)

○蒙・以て正(音)を養フ。(群書治要卷第一「周易」一159)(・これをもて・やしなふ・)

○●聖(音)功(音)ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一160)(・なり・)

○●師・象に曰(く)・地一中に水(返)有(る)は・師ナリ。(群書治要卷第一「周易」一161)(・なり・)

○君一子(返)以て民(返)を容レ・衆(音)を畜フ。(群書治要卷第一「周易」一161)(・これをもち・いる・やしなふ・)

○初一六は師・出(つ)ルに・律(返)を以(す)。(群書治要卷第一「周易」一162)(・いくさ・いつ・)

○否シクシテモ「イ、否ニシテモ」・臧クシテモ「イ、臧ニシテモ」・凶(返)シ。(群書治要卷第一「周易」一162)(・あし・す・て・も・ひなり・す・て・も・よし・す・て・も・さうなり・す・て・も・あし・)

○師(音)ノ「之」始(二)メ爲(三)リ・師(返)を齊フル者ナリ「也」。(群書治要卷第一「周易」一162・注)(・の・はじめ・たり・いくさ・とどのふ・なり・)

○令(返)を失(ひ)て功(返)有ルは・法の赦(返)サ不(返)所ナリ。(群書治要卷第一「周易」一162・注)(・あり・ゆるす・なり・)

○故に師・出(つる)に・律(返)を以(返)セ不ルトキは・否シクシテモ・臧クシテモ・皆(な)凶(返)シ「也」(群書治要卷第一「周易」一162・注)(・もてす・ず・とき・あし・す・て・も・よし・す・て・も・あし・)

○故に師・出(つる)に・律(返)を以(返)セ不ルトキは・否シクシテモ・臧クシテモ・皆(な)凶(返)シ「也」(群書治要卷第一「周易」一162・注)(・もてす・ず・とき・あし・す・て・も・よし・す・て・も・あし・)

○上―六は大―君・命(返)を有(ち)て國(返)を開キ・家(返)に承カシム。(群書治要卷第一「周易」―163)(・たもつ・ひらく・つぐ・しむ・)

○小―人をは用(返)(ある)こと勿(か)レ。(群書治要卷第一「周易」―163)(・なし・)

○師(音)ノ「之」極(音)ニ處(ニ)リ。(群書治要卷第一「周易」―164)注(音)(・の・をり・)

○師ノ「之」終(訓)ナリ「也」。(群書治要卷第一「周易」―164)注(音)(・いくさ・の・なり・)

○大―君ノ「之」命(音)アリて功(返)を失(返)(は)不「也」。(群書治要卷第一「周易」―164)注(音)(・の・あり・)

○國(返)を開キ・家(返)を承(く)とは・邦(返)を寧(返)スルを以(も)テナリ「也」。(群書治要卷第一「周易」―164)注(音)(・ひらく・やすんず・もてす・なり・)

○小―人をは用(返)(ある)こと勿(か)レとは・其ノ道(ニ)に非(ニ)(さ)レハソ「也」。(群書治要卷第一「周易」―164)注(音)(・なし・その・あらず・ば・ぞ・)

○象に曰(く)・大―君(の)「之」命(返)を有(ツ)ことは・功(返)を正(タ)スルを以(も)テナリ「也」。(群書治要卷第一「周易」―165)(・たもつ・ただしうす・なり・)

○小―人をは用(返)(ある)こと勿(か)レとは・必(す)・邦(返)を亂レハナリ「也」。(群書治要卷第一「周易」―165)(・なし・みだる・ば・なり・)

○●比・象に曰(く)・地―上に・水(返)有(る)は・比ナリ。(群書治要卷第一「周易」―167)(・なり・)

○先―王・以(コ)テ萬―國(ニ)を建(テ)テ・諸―侯(ニ)を親(音)ス。

(群書治要卷第一「周易」―167)(・これをもて・たつ・)

○萬―國は比(返)を以(テ)建(ツ)。(群書治要卷第一「周易」―168)(・たつ・)

○●履・象に曰(く)・上(カ)に天アリ・下(シ)に澤(訓)アルは履ナリ。(群書治要卷第一「周易」―168)(・かみ・あり・しも・あり・なり・)

○君―子・以(コ)テ上―下(ニ)を辯(音)ヘ・民(ニ)の志(ニ)を定(ニ)ム(群書治要卷第一「周易」―169)(・これをもて・わかまふ・さだむ・)

○●泰・象に曰(く)・天―地・交(マ)レルは泰(音)ナリ。(群書治要卷第一「周易」―170)(・まじはる・なり・)

○后(キ)・以(コ)テ天―地ノ「之」道(ニ)を財(ニ)キ成(シ)・天―地ノ「之」宜(ニ)を輔(ニ)ケ相(ケ)テ以(テ)民(ニ)を左(ニ)右(ク)。(群書治要卷第一「周易」―170)(・きみ・これをもて・の・はぶく・なす・)

○上―下・大―通シヌルトキンハ・則(ち)・其ノ節(ニ)を失(ニ)フ。(群書治要卷第一「周易」―171)注(音)(・す・ぬ・ときんば・その・うしなふ・)

○故(ニ)財(ハ)成(シ)而輔(ケ)相(ケ)テ以(テ)民(ニ)を左(ニ)右(ク)「也」。(群書治要卷第一「周易」―171)注(音)(・はぶく・なす・たすく・たすく・たすく・)

○象に曰(く)・天―地・交(マ)レ而萬―物・通(音)ス「也」。(群書治要卷第一「周易」―172)(・まじはる・)

○上―下・交(レ)而(レ)其ノ志(訓)同(音)ス「也」。(群書治要卷第一「周易」―172)(・その・)

○内・君―子にシ而外・小―人ナリ。(群書治要卷第一「周易」―173)

(・うち・す・なり・)

○君一子・道(訓)・長シテ小一人・道・消(音)す「也」(群書治要卷第一「周易」一173)(・す・)

○●否・象に曰(く)・天地・交(まじ)ハラ不ルは・否ナリ。(群書治要卷第一「周易」一174)(・まじはる・す・なり・)「否」の左下に「備鄙反」あり。

○君一子(コレラモ)・以テ儉一徳をモテ難(返)ニ避(く)ル。(群書治要卷第一「周易」一174)(・これをモテ・もて・さく・)

○榮トスルに・禄(返)を以(二)す可(三)不。(群書治要卷第一「周易」一175)(・さかえ・と・す・)

○彖に曰(く)・天一地・交(まじ)ハラ不シ而萬一物・通(返)セ不ルソ。(群書治要卷第一「周易」一175)(・まじわる・す・す・す・す・ぞ・)

○上一下・交(返)ラ不シ而天一下・邦(訓)无(し)「也」。(群書治要卷第一「周易」一176)(・まじはる・す・す・)

○内(訓)・陰ニシ而外(訓)・陽ナリ。(群書治要卷第一「周易」一176)(・なり・す・なり・)

○内・柔ニシ而外(返)・剛ナリ。(群書治要卷第一「周易」一177)(・なり・す・なり・)

○内・小一人ニシ而外・君一子ナリ。(群書治要卷第一「周易」一177)(・なり・す・なり・)

○小一人・道(訓)・長(上)シテ君一子・道・消(音)す「也」。(群書治要卷第一「周易」一120)(・す・)

○九一五は・否(返)ニ休(音)す・大一人・吉ナリ。(群書治要卷第一「周易」一178)(・なり・)

○其ノ亡(ホロ)ヒナム・其ノ亡(ひ)ナムトシテ「于」苞一桑(二)に繫(カ)(二)

ル。(群書治要卷第一「周易」一178)(・その・ほろび・なむ・その・なむ・と・す・かかる・)

○否ノ「之」世(返)ニ居(上)テ能ク・其ノ身(二)を全(三)スルは・「者」唯(た)・大一人ナラクノミ「耳」。(群書治要卷第一「周易」一179・注)(・その・よ・ある・よく・その・つす・ならく・のみ・)

○々(木)は「於」桑(二)ヨリ善(三)ヨリは莫シ。(群書治要卷第一「周易」一179・注)(・より・より・なし・)

○人・亡(ホロ)ス「之」者(二)有(三)欲(返)と雖(も)・衆一根・堅ク一固クシテ拔(返)ク能(返)ハ弗「之」也」(群書治要卷第一「周易」一179・注)(・ほろぼす・かたし・かたし・す・ぬく・あたふ・す・)

○●同一人・象に曰(く)・天與火「與」(再讀)ハ・同一人ナリ。(群書治要卷第一「周易」一181)(・と・は・なり・)

○天・「於」上(二)に體(音)シ而火・炎一上す。(群書治要卷第一「周易」一181・注)(・かみ・す・)

○同一人ノ「之」義ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一181・注)(・の・なり・)

○君一子(コレラモ)・以テ類(ルイ)ヲシテ族(アツ)メテ物(返)を辯(ワキマ)フ。(群書治要卷第一「周易」一181)(・これをモテ・ルイ・を・す・あつむ・わかまふ・)

○君一子・小一人・各(の)・同(返)シキ所(返)を得(ウ)。(群書治要卷第一「周易」一182・注)(・おなじ・う・)

○象に曰(く)・文一明ニシテ以テ健ナリ。(群書治要卷第一「周易」一182)(・なり・す・なり・)

○中一正ニシ而應(音)スルは君一子の正(志)ナリ「也」。(群書治要卷第一「周易」一182)(・なり・す・す・なり・)

○健(返)を行フに・武(返)を以(返)セ不シ而文(返)明(返)を以(返)て用(返)ル「之」。(群書治要卷第一「周易」183・注)(・をこなふ・もてす・す・す・もちゐる・)

○相(ひ)―應(去)スルに・邪(返)を以(返)セ不シ而中―正(返)を以(返)て應(音)スルは「之」・君―子の正(去)ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」183・注)(・す・もてす・す・す・なり・)

○唯(た)・君―子・能ク天―下ノ「之」志(返)を通(音)スルことを爲(三)。(群書治要卷第一「周易」183)(・よく・の・す・)

○君―子は文―明(返)を以(返)て德(返)と爲ル・者(返)ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」184・注)(・す・なり・)

○大―有・象に曰(く)・火(訓)・天―上(返)に在(返)るは・大―有ナリ。(群書治要卷第一「周易」185)(・なり・)

○君―子・以て惡(入)を遏(ヤ)メ・善(返)を揚(ア)げて天(返)に順(し)て命(返)を休(音)す。(群書治要卷第一「周易」185)(・これをもて・やむ・あぐ・よくす・)

○故に惡(返)を遏(ヤ)メ・善(返)を揚(ア)げて物ノ「之」美(返)を成(返)す。(群書治要卷第一「周易」186・注)(・やむ・あぐ・の・)

○天の德(返)に順(返)ヒ―奉(ウ)げて物ノ「之」命(返)を休(音)す「也」(群書治要卷第一「周易」186・注)(・したがふ・うく・の・よくす・)

○象に曰(く)・柔(音)尊―位(返)を得(返)て大―中にシ而上―下・應(音)スルを「之」・大―有(返)と曰(返)フ。(群書治要卷第一「周易」187)(・す・す・いふ・)

○尊(音)に處(チ)ルに・柔(音)を以(返)シ・中(返)に居(チ)ルに・大(返)を以(返)す。(群書治要卷第一「周易」188・注)(・をり・もてす・をり・)

○上―下・應(音)シ之納(返)レ不(返)トイフ所(返)靡(チ)シ。(群書治要卷第一「周易」120・注)(・す・いる・す・と・いふ・なし・)

○大―有ノ「之」義ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」188・注)(・の・なり・)

○其ノ德・剛―健ニシ而文―明ナリ。(群書治要卷第一「周易」188)(・その・なり・す・なり・)

○「乎」天(返)に應(去)シ而時(返)に行(フ)。(群書治要卷第一「周易」189)(・す・をこなふ・)

○是(れ)―以て元(オホ)キに亨(トホ)ル。(群書治要卷第一「周易」189)(・おほし・とほる・)

○德・「于」天(返)に應(音)スルトキンは・則(ち)・行(ひ)・時(返)を失(返)不「矣」。(群書治要卷第一「周易」190・注)(・す・ときんば・)

○剛―健ナレは滯(ト、コホ)ラ不。(群書治要卷第一「周易」190・注)(・なり・とどこほる・)

○文―明ナレは犯(返)セ不。(群書治要卷第一「周易」190・注)(・なり・をかす・)

○天(返)に應(音)セレは・則(ち)・大ナリ。(群書治要卷第一「周易」190・注)(・す・り・おほいなり・)

○時に行へは違(返)ふこと无シ。(群書治要卷第一「周易」190・注)(・おこなふ・なし・)

○是(れ)―以て元(オホ)キに亨(トホ)ル「也」(群書治要卷第一「周易」190・注)(・おほし・とほる・)

○上―九は天(返)ヨリ・佑(タス)ク「之」。(群書治要卷第一「周易」190)(・より・たすく・)

○吉(音)にシテ利(返)セ不(返)トイフこと无(し)。(群書治要卷第一

〔周易〕一191) (・す・す・ず・と・いふ・)

○大―有ノ「之」上(訓)に居(二)而「于」位(二)に累(二)返ハ不。(群書治要卷第一「周易」一191・注) (の・ある・わづらふ・)

○志(訓)・「於」賢(二)を尚(二)ル・者ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一191・注) (・たとふる・なり・)

○謙・象に曰(く)・地―中に山(返)有(る)は・謙ナリ。(群書治要卷第一「周易」一192) (・なり・)

○君―子・以て多(音)返を哀メ・寡(返)に益シて物(返)に稱(ひ)て平シク施す。(群書治要卷第一「周易」一192) (・これをもて・あつむ・ます・かなふ・ひとし・ほどこす・)

○多キ―者は謙(返)を用(ゐ)て以て衰(返)ムルことを爲(す)。(群書治要卷第一「周易」一193・注) (・おほし・あつむ・)

○少(き)―者は謙(返)を用(ゐ)て以て益(返)スことを爲(す)。(群書治要卷第一「周易」一193・注) (・ます・)

○物(返)に隨(ひ)而與フ。(群書治要卷第一「周易」一193・注) (・あたふ・)

○施ス・平(音)返を失(返)ハ不「也」(群書治要卷第一「周易」一193・注) (・ほどこす・うしなふ・)

○象に曰(く)・謙は亨ルとは天―道・下―濟シ而光―明ナリ。(群書治要卷第一「周易」一194) (・とほる・カサイ・す・なり・)

○地―道・卑シ而上―行(平)す。(群書治要卷第一「周易」一194) (・いやうす・)

○天―道は盈(返)チルを虧イ而謙(返)に益ス。(群書治要卷第一「周易」一195) (・みつ・かく・ます・)

○地―道は盈(返) (ちる) を變(音)シ而謙(返)に流ク。(群書治要卷第一「周易」一195) (・す・しく・)

○鬼―神は盈(返) (ちる) を害(音)シ而謙(返)に福す。(群書治要卷第一「周易」一196) (・す・さいわひす・)

○人―道は盈(返) (ちる) を惡ム而謙(返)を好ス。(群書治要卷第一「周易」一196) (・にくむ・よみす・)

○々(謙)は尊シ而光チル・卑シ而踰(返)ユ可(返) (から) 不。(群書治要卷第一「周易」一197) (・たふとくす・みつ・いやしうす・こゆ・)

○君―子ノ「之」終リナリ「也」。(群書治要卷第一「周易」一197) (・をばる・なり・)

○初―六は謙―々(謙)・君―子ナリ。(群書治要卷第一「周易」一198) (・なり・)

○大―川(二)を涉(二)ルに用キルに・吉ナリ。(群書治要卷第一「周易」一198) (・わたる・もちある・なり・)

○能ク・謙―々(謙) (二)に體(二)スルは・其レ・唯(た)・君―子ナリ。(群書治要卷第一「周易」一198・注) (・よく・す・それ・なり・)

○大―難(二)を涉(二)ルに用(ある)に・物・害スルこと无(し)「也」(群書治要卷第一「周易」一198・注) (・わたる・す・)

○象に曰(く)・謙―々(謙)・君―子ナリとは卑シて以て自(ら)・牧フソ「也」。(群書治要卷第一「周易」一199) (・なり・いやしうす・やしなふ・ぞ・)

○九―三は勞―謙・君―子・終(返)フルこと有リ・吉ナリ。(群書治要卷第一「周易」一200) (・をふ・あり・なり・)

○勞―謙シて懈(返)レルに匪(さり)是(れ)―以て吉ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一200・注) (・す・おこたる・なり・)

○象に曰(く)・勞謙・君一子とは萬一民・服(音)スルソ「也」(群書治要卷第一「周易」一201)(・す・ぞ・)

○●豫・象に曰(く)・雷(音)平(音)地(返)ヨリ出(て)て奮(音)フは豫ナリ。(群書治要卷第一「周易」一202)(・より・ふるふ・ヨ・なり・)「豫」の左下に「餘慮反」あり。

○象に曰(く)・豫は順(音)ニシテ以て動ク。(群書治要卷第一「周易」一202)(・なり・す・うごく・)

○故に・天―地・如(音)ス「之」。(群書治要卷第一「周易」一202)(・しかす・)

○天―地・順(返)を以て動ク。(群書治要卷第一「周易」一203)(・うごく・)

○故に・日―月・過(返)ラ不。(群書治要卷第一「周易」一203)(・あやまる・)

○而て四―時・忒(音)ハ不。(群書治要卷第一「周易」一203)(・たがふ・)

○聖―人・順(返)を以て動クトキンは則(ち)・刑―罰(入聲)・清(音)ム而民・服(音)す。(群書治要卷第一「周易」一204)(・うごく・とさんば・すむ・)

○豫ノ「之」時・義大ナル「矣」哉(音)。(群書治要卷第一「周易」一205)(・の・おほいなり・かな・)

○●隨・象に曰(く)・澤―中に雷(返)有ルは・隨ナリ。(群書治要卷第一「周易」一206)(・あり・なり・)

○君―子・以て晦(音)ニ向(ひ)て冥―息(二)に入(二)ル。(群書治要卷第一「周易」一206)(・これをもち・はいる・)

○澤―中に雷(返)有(る)は・動―悦の「之」象ナリ「也」。(群書治要卷第一「周易」一207・注)(・なり・)

○物・皆(な)・悦(音)ヒ―隨(フ)。(群書治要卷第一「周易」一207・注)

(・よろこぶ・したがふ・)

○以て爲(返)ルこと无(ナク)シテ明―鑒(二)を勞(返)セ不(二)ル可(三)(し)。(群書治要卷第一「周易」一207・注)(・す・なくす・す・ず・)

○象に曰(く)・時(返)に隨フ「之」・義・大ナル「矣」哉(音)。(群書治要卷第一「周易」一120)(・したがふ・おほいなり・かな・)

○時(返)を得ルトキンは・則(ち)・天―下・隨フ「之」「矣」。(群書治要卷第一「周易」一208・注)(・う・とさんば・したがふ・)

○隨(音)ノ「之」施(返)す所・唯(た)・「於」時(二)に在(二)り。(群書治要卷第一「周易」一208・注)(・の・)

○々(時)・異ニシ而隨(返)ハ不(音)ルは・否(音)ノ「之」道(訓)ナリ「也」。(群書治要卷第一「周易」一208・注)(・なり・す・したがふ・ず・の・なり・)

○故に時(返)に隨フ「之」・義・大ナル「矣」哉(音)。(群書治要卷第一「周易」一209・注)(・したがふ・おほいなり・かな・)

○●觀(音)・象に曰(く)・風(訓)・地―上(二)に行(二)クは・觀(音)ナリ。(群書治要卷第一「周易」一209)(・ゆく・なり・)「觀」の左下に「官喚反示也」あり。

○先―王・以て方(音)を省(音)・民(返)を觀(返)て教(返)を設ク。(群書治要卷第一「周易」一209)(・これをもち・かへりみる・まうく・)

○象に曰(く)・順(音)ニシ而巽(返)ナリ。(群書治要卷第一「周易」一210)(・なり・す・なり・)

○中―正ニシテ以て天―下(二)に觀(三)ラルは・觀(音)ナリ。(群書治要卷第一「周易」一210)(・なり・す・みる・らる・なり・)

○天ノ「之」神―道(二)を觀(三)ルに・而モ・四―時・忒(返)ハ不。

（群書治要卷第一「周易」一211）（の・みる・しかも・たがふ・）
○聖一人・神一道（返）を以（返）て教（返）を設（マウ）ケ而（マウ）て天（マウ）下（マウ）服（音）す。（群書治要卷第一「周易」一211）（まうく・）

○六一四は國ノ「之」光（ヒカリ）を觀（ミ）ニル・「于」王（ニ）に賓（ニ）（返）タルに用（返）（ゐ）ルに利アリ。（群書治要卷第一「周易」一212）（の・ひかり・みる・たり・もちゐる・あり・）

○觀（音）ノ「之」時（ニ）（返）に居（キ）ニて最（モ）至（ニ）尊（ニ）に近（ニ）ク。（群書治要卷第一「周易」一213・注）（の・ゐる・もとも・ちかづく・）

○國ノ「之」光（ニ）を觀（ニ）ル・者（モノ）ナリ「也」。（群書治要卷第一「周易」一213・注）（の・みる・なり・）

○近（返）（返）キに居（キ）て位（返）を得（タ）リ。（群書治要卷第一「周易」一213・注）（ちかし・ゐる・たり・）

○明（ア）に・國の儀（ニ）に習（ニ）ヘル・者ナリ「也」。（群書治要卷第一「周易」一213・注）（あきららかに・ならふ・り・なり・）

○故に曰（ク）・「于」王（ニ）に賓（ニ）タルに用（返）（ゐ）ルに利とアリ「也」。（群書治要卷第一「周易」一213・注）（たり・もちゐる・あり・）

○九一五は我か生（音）（ニ）を觀（ニ）ル。（群書治要卷第一「周易」一213）（みる・）

○君一子・咎（返）无シ。（群書治要卷第一「周易」一214）（なし・）

○上ノ「之」下（返）を化スルこと・猶（ほ）風の草（返）を靡（ニ）ス（カ）「猶」（再讀）（シ）。（群書治要卷第一「周易」一214・注）（の・す・なびかす・）

○故に民ノ「之」俗（ニ）を觀（ニ）て以（返）て己（カ）道（ニ）を察（ニ）ス。（群書治要卷第一「周易」一214・注）（の・みる・をのれ・あき

らんす・）

○百一姓の罪（返）有（る）は・餘（音）一一人（ニ）に在（ニ）リ（群書治要卷第一「周易」一214・注）（あり・）

○君一子風（音）・著（ア）ラハレテ己（カ）乃（チ）咎（返）无シ。（群書治要卷第一「周易」一214・注）（あらはる・をのれ・なし・）

○將（ニ）自（ラ）・觀（ニ）ムと欲（ニ）シテ乃（チ）民（返）を觀（ル）「也」。（群書治要卷第一「周易」一215・注）（みむ・ほす・みる・）

○噬（去濁）一嗑（カ）フ象に曰（ク）・雷（イ）ナリ・電（イ）ナヒカスルは噬一嗑ナリ。（群書治要卷第一「周易」一216）（ゼイカフ・いかづちなり・いなひかす・なり・）

○胡臘反（あり）。

○先一王（ニ）以（テ）罰（返）を明（シ）法（返）を整（ト）フ。（群書治要卷第一「周易」一216）（これをもち・あきらかにす・ととのふ・）

○象に曰（ク）・剛一柔・分（レ）動（キ）而明（訓）ナリ。（群書治要卷第一「周易」一217）（わかる・あきらかなり・）

○雷一電・合（テ）フ而彰（ア）ル。（群書治要卷第一「周易」一217）（あふ・あらはる・）

○剛一柔分（れ）一動（き）て溷（返）ラ不（サ）ルトキン（は）乃（ち）明（ナ）リ。（群書治要卷第一「周易」一217・注）（こごる・ず・ときんば・なり・）

○雷一電・並（ニ）合（テ）フて亂（返）レ不（サ）ルトキン（は）乃（ち）章（ナ）リ。（群書治要卷第一「周易」一218・注）（あふ・みだる・ず・ときんば・あきらかなり・）

○皆（な）獄（返）に用（返）（ゐ）ルに利アルは「之」・義ナリ「也」。（群書治要卷第一「周易」一218・注）（もちゐる・あり・なり・）

○●賁（ヒ）象に曰（ク）・山（の）下（ニ）に火（返）有（ル）は・賁（ナ）リ。（群

書治要卷第一〔周易〕一218) (・ヒ・した・あり・なり・) (「賁」の左傍に「彼爲反備甫寄反木子軌府盆反傅氏云賁古班字文章貌鄭云變也文飾貌王肅符文反云有文飾黃白色」あり。)

○君一子・以て庶一政(返)を明(返)シて敢て獄(返)を折(返)ムルこと无(返)シ。(群書治要卷第一〔周易〕一219) (・これをもちて・あきらかにす・うたへ・さだむ・なし・)

○賁ノ「之」時(返)に處(返)て物(返)を止(む)に・文一明(返)を以(返)す。(群書治要卷第一〔周易〕一219・注) (・の・ある・)

○故に君一子・以て庶一政(返)を明(返)シ而敢て獄(返)を折(返)ムルこと无(返)シ)「也」(群書治要卷第一〔周易〕一219・注) (・あきらかにす・あへて・うたへ・さだむ・)

○象に曰(く)・「乎」天一文(返)を觀(返)て以て時一變(返)を察(返)シ・「乎」人一文(返)を觀(返)て以て天一下(返)を化(返)す。(群書治要卷第一〔周易〕一220) (・みる・あきらかにす・みる・)

○六一五は「于」丘一園(返)を賁(返)ル。(群書治要卷第一〔周易〕一221) (・かざる・)

○束一帛・弔(平)一々(弔)タリ。(群書治要卷第一〔周易〕一221) (・サンサン・たり・) (上部に「弔々在干反馬云季積貌薩虞曰禮之多也又音賤黄云猥積貌一云顯見貌子復傳乍殘々」あり。)

○吝(返)・終(返)に吉ナリ。(群書治要卷第一〔周易〕一222) (・やさし・つひに・なり・)

○飾(音)ノ「之」主(返)と爲(返)て飾(音)ノ「之」盛(サカム)ナル者ナリ「也」。(群書治要卷第一〔周易〕一222・注) (・の・す・の・さかむ・なり・なり・)

○飾を「於」物(返)に施(返)す)トキンは・其ノ道・害アリ「矣」。

(群書治要卷第一〔周易〕一222・注) (・かざり・ときんば・その・あり・)

○飾を丘一園(返)に施(返)すは・盛(サカム)ナルこと・焉(返)ヨリ大(返)ナルは莫シ。(群書治要卷第一〔周易〕一222・注) (・かざり・ほどこす・さかんなり・これ・より・おほきなり・なし・)

○束一帛・乃(ち)・弔一々(弔)タリ。(群書治要卷第一〔周易〕一223・注) (・たり・)

○用(音)・儉一泰(返)に過(返)クルこと莫シ。(群書治要卷第一〔周易〕一223・注) (・すく・なし・)

○而(返)て能(返)く・約(返)シ。(群書治要卷第一〔周易〕一223・注) (・しかうして・せはせはし・)

○故に必(す)・吝(返)シ焉(返)乃(ち)・終(返)に吉(返)ナルこと得(返)「也」「之」(群書治要卷第一〔周易〕一223・注) (・やさしうす・つひに・なり・う・)

○大(返)一蓄・象に曰(く)・天・山(返)の中(返)に在(返)ルは大(返)一蓄ナリ。(群書治要卷第一〔周易〕一223) (・うち・あり・なり・) (「蓄」の左下に「勅六反」)

○君一子・以て多ク・前(返)一言・往(返)一行(返)を識(返)ル。(群書治要卷第一〔周易〕一224) (・これをもち・おほし・しる・)

○以て其ノ德(返)を蓄(返)フ。(群書治要卷第一〔周易〕一225) (・その・たくはふ・)

○物ノ「之」「於」懷(返)に蓄(返)フ可キは・令(返)一德・「於」此(返)に散(返)一盡(返)セ不(返)「也」(群書治要卷第一〔周易〕一225・注) (・の・おもひ・たくはふ・べし・ここ・す・)

○象に曰(く)・大(返)一蓄は剛一健ナリ。(群書治要卷第一〔周易〕一225) (・なり・)

○篤—實・輝—光ア(り)て日に其ノ徳(二)を新(三)す。(群書治要卷第一「周易」—226)(・クキクワウ・あり・ひび・その・あらたにす・)

○凡ソ・物能ク・暉—光ア(り)て日に其ノ徳(二)を新(三)スルは「者」・唯(た)・剛—健・篤—實ナル者ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」—226・注)(・およそ・よく・あり・ひび・その・あらたにす・なり・なり・)

○●頤・象に曰(く)・山の下に雷(意返)有(る)は・頤ナリ。(群書治要卷第一「周易」—227)(・イ・した・イ・なり・)

○君—子以て言—語(二)を慎(三)ミ・飲—食(二)を節(三)す(群書治要卷第一「周易」—227)(・これをもて・つつしむ・)

○言—語飲—食・猶(ほ)・慎—節(三)す「之」。(群書治要卷第一「周易」—228・注)(・つつしむ・)

○而を況ヤ・其(の)餘(音)を乎(群書治要卷第一「周易」—228・注)(・いはむや・や・)

○象に曰(く)・頤は貞・吉ナリ。(群書治要卷第一「周易」—228)(・なり・)

○正(音返)を養フトキンハ・則(ち)吉ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」—228)(・やしなふ・ときんば・なり・)

○天地は萬—物を養フ。(群書治要卷第一「周易」—229)(・やしなふ・)

○聖人は賢(返)を養フ。(群書治要卷第一「周易」—229)(・やしなふ・)

○以て萬民に及(おと)ス。(群書治要卷第一「周易」—229)(・およぼす・)

○頤(の)「之」時・大ナル「矣」哉(群書治要卷第一「周易」—230)(・おほきなり・かな・)

○●習(入輕)坎(上)象に曰(く)・水(訓)洊ニ「洊」洊(に)「

至ルは習—坎ナリ。(群書治要卷第一「周易」—231)(・シフカン・しきりに・あつまりに・いたる・なり・)(上部に「習便習也重也劉云水流行不休故曰習坎徐古感反本又乍陷亡音劉乍欲儉也陷也八純卦象水陷—没し—」(洊)に「在薦反徐在同反薦又才本反爾雅云再也劉云仍也京乍臻于乍荐」)

○君子以て德—行(二)を常(三)シ・教—事(二)を習(三)フ(群書治要卷第一「周易」—231)(・これをもて・つねにす・ならふ・)

○至—險未(た)夷(返)ナラ「未」(再讀)ルトキンハ・教(する)こと癘(ス)ル可(から)不。(群書治要卷第一「周易」—232・注)(・たひらかなり・ず・ときんば・すたる・)(「夷」の振り仮名は「タヒラカナル」であつて、接続するには矛盾あり。)

○故に以て德—行(二)を常(三)シ而教—事(二)を習(三)フ「也」(群書治要卷第一「周易」—232・注)(・つねにす・ならふ・)

○「于」坎(返)に習(ひ)て然(に)後に・能ク險—難(返)を以て困(クルシヒ)と爲(セ)不(二)。(群書治要卷第一「周易」—232・注)(・よく・くるしひ・す・)

○而て德—行常(返)を失(返)ハ不(群書治要卷第一「周易」—232・注)(・うしなふ・)

○象に曰(く)・習—坎は重—險ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」—233)(・なり・)

○天(サカシウ)險(シテ)升(ル)可(から)不「也」(群書治要卷第一「周易」—233)(・さかしうす・のぼる・)

○故に其(の)威—尊(二)を保(三)ツこと得「也」(群書治要卷第一「周易」—233・注)(・たもつ・う・)

○故に其(の)威—尊(二)を保(三)ツこと得「也」(群書治要卷第一「周易」—233・注)(・たもつ・う・)

○地の險サカシキは山―川丘―陵ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」―234)
 (・さかし・なり・)

○山川丘陵(二)有(三)リ・故に・物(訓)・保(音)シて以て全(マタ)クと得(三)「也」(群書治要卷第一「周易」―234・注)(・あり・す・またし・)

○王公・險(返)を設けて以て其(の)國を守ル(群書治要卷第一「周易」―234)(・まうく・まもる・)

○々(國)(の)「之」衛(返)爲ルこと・「於」險を待ム「也」(群書治要卷第一「周易」―235・注)(・まぼる・たり・たのむ・)

○言は天―地(二)自(三)リ・以―下・險(返)を須(返)申不(返)トイフこと莫(し)「也」(群書治要卷第一「周易」―235・注)(・より・もちゐる・ず・と・いふ・)

○險(の)「之」時・用(音)大ナル「矣」哉(群書治要卷第一「周易」―235)(・おほきなり・かな・)

○「之」常(二)に用(三)返(あ)ルに非(す)。(群書治要卷第一「周易」―236・注)(・もちゐる・)

○用(ある)こと時(返)有リ「也」(群書治要卷第一「周易」―236・注)(・あり・)

○●離・象に曰(く)・明(音)兩ツを離(返)と作す。(群書治要卷第一「周易」―237)(・ふたつ・)「離」の左下に「列池反麗也麗著也八純卦象曰象火」

○大一人以(て)明―昭を「于」四方(二)に繼(三)ク(群書治要卷第一「周易」―237)(・これをもち・つぐ・)

○繼クとは絶(返)エ不(返)を謂(ふ)(群書治要卷第一「周易」―238・注)(・つぐ・たゆ・)

○象に曰(く)・離は麗(平)なり「也」(群書治要卷第一「周易」

―238)(・リ・)

○麗は著(入)返の猶(し)「也」(群書治要卷第一「周易」―238・注)(・チャク・)

○各(の)著(返)ク所の「之」宜(二)を得(三)ル者ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」―238・注)(・つぐ・う・なり・)

○日月・「平」天(二)に麗(三)キ・百穀草木・「乎」土(二)に麗(三)ク。(群書治要卷第一「周易」―238)(・つぐ・つぐ・)

○重―明以て「乎」正(去)に麗(三)イテ乃(ち)天下を化―成す(群書治要卷第一「周易」―239)(・つぐ・)

○●咸・象に曰(く)・山の上に澤(返)有ルは・咸(平)ナリ。(群書治要卷第一「周易」―240)(・カン・うへ・あり・なり・)「咸」の左下に「必字感也」

○君子以(て)虚(し)ク人(返)を受ク(群書治要卷第一「周易」―240)(・これをもて・むなし・うく・)

○虚(返)を以て人(返)に受(く)ルトキンハ・物乃(ち)感―應す「也」(群書治要卷第一「周易」―241・注)(・うく・ときんば・)

○柔(平濁)上(二)ニシ而剛(平輕)下ナリ。(群書治要卷第一「周易」―241)(・かみ・なり・す・しも・なり・)

○二氣感―應(去)シて以て相(ひ)―與(トモ)ナリ。(群書治要卷第一「周易」―242)(・す・とも・なり・)

○天地感(音)シ而萬物化―生す(群書治要卷第一「周易」―242)(・す・)

○聖人人の心を感(たの)シて而天下和―平ナリ。(群書治要卷第一「周易」―243)(・たのしむ・なり・)

○其(の)感スル所を觀(ミ)て而天地萬物(の)「之」情・見(返)ツ可シ「矣」

○群書治要卷第一「周易」一243（・す・みる・つ・べし・）

○天地萬物（の）「之」情・「於」感スル所に見ユ「也」（群書治要卷第一「周易」一244・注）（・す・みゆ・）

○●恒・象に曰（く）・雷（イカツチ）テ風（カゼ）クは恒（平穩）ナリ（群書治要卷第一「周易」一246）（・コウ・いかづち・なり・て・かぜ・ふく・なり・）
○「恒」左下に「必字久也」

○長（訓）陽・長―陰・合（ア）フ而相（ヒ）―與に久（返）（し）カル可キ「之」道（訓）ナリ「也」（群書治要卷第一「周易」一246・注）（・あふ・ひさし・べし・なり・）

○君子（モレラ）以（モ）て不―易（の）方（ノリ）を立ツ（群書治要卷第一「周易」一246）（・これをもち・のり・たつ・）

○其（の）久（返）シキ所（ニ）を得（ウ）（群書治要卷第一「周易」一247・注）（・ひさし・う・）

○故に易（返）ラ不「也」（群書治要卷第一「周易」一247・注）（・かはる・）

○象に曰（く）・天地（の）「之」道・恒に（返）シ而已（返）マ不「也」（群書治要卷第一「周易」一247）（・ひさしうす・やむ・）

○其（の）久（返）シキ所（ニ）を得（ウ）（群書治要卷第一「周易」一248・注）（・ひさし・う・）

○故に已（返）マ不「也」（群書治要卷第一「周易」一248・注）（・やむ・）

○日月天（返）を得而能ク久シク―照（テラ）ス。（群書治要卷第一「周易」一248）（・う・よく・ひさし・てらす・）

○四時變―化シ而能（く）久（し）ク―成（ル）。（群書治要卷第一「周易」一248）（・す・ひさし・なる・）
○聖人「於」其（の）道（ニ）に久（返）シ而天下化成す（群書治要

卷第一「周易」一249）（・ひさしうす・）

○言は各（の）恒（返）トスル所（返）を得（ウ）（群書治要卷第一「周易」一250・注）（・つね・と・す・う・）

○故に皆（な）能ク久（し）ク―長シ「也」（群書治要卷第一「周易」一250・注）（・よく・ひさし・ながし・）

○其（の）恒（返）トスル所（ニ）を觀（ミ）而天―地萬―物（の）「之」情・見（返）ツ可（し）「矣」（群書治要卷第一「周易」一250）（・と・す・みる・つ・）

○天地萬物（の）「之」情・「於」恒（返）トスル所（ニ）に見（ニ）ユ「也」（群書治要卷第一「周易」一251・注）（・と・す・みゆ・）

○九―三は其（の）德（ニ）を恒（返）セ不・「之」羞（ハチ）を承（ウ）（返）クルこと或（ア）リ「イ、或ニ「之」羞（を）承ク」（群書治要卷第一「周易」一251）（・つねにす・はぢ・うく・あり・つねに・うく・）

（上部に「釋文曰或有也一云常也鄭本作承」）

○自（ら）相（ヒ）違（ヒ）―錯（ミカ）ル、トキンハ・詰（カク）を致（返）す可（返）（から）不。（群書治要卷第一「周易」一252・注）（・たがふ・みだる・ときんば・カウ・）

○故に「之」羞（ハチ）を承（ウ）クルこと或（ア）リ「イ、或（に）「之」羞（を）承ク」

「也」（群書治要卷第一「周易」一252・注）（・はぢ・うく・あり・つねに・うく・）

○其（の）德（を）恒（返）セ不ルトキンハ・容（イ）ル、所（返）无（し）「也」（群書治要卷第一「周易」一252・注）（・つねにす・ず・ときんば・いる・）

○●遯（ト）・象に曰（く）・天（の）下（に）山（返）有（ル）は・遯（ト）ナリ（群書治要卷第一「周易」一253）（・トン・した・あり・トン・なり・）「遯」

の左下に「徒巽反」・上部に「遯字又遁同隱退也」

○天の下に山有ルは・陰―長(の)「之」象ナリ「也」(群書治要巻第一「周易」―253・注)(・あり・かたち・なり・)

○君子 以て小人を遠ク。(群書治要巻第一「周易」―253・注)(・これをもて・とほざく・)

○惡(返)シカラ不シ而嚴シ。(群書治要巻第一「周易」―254)(・あし・ず・す・いづくし・)

○九―五は嘉ク遯す。(群書治要巻第一「周易」―254)(・よく・トシ・)

○貞吉ナリ(群書治要巻第一「周易」―254)(・なり・)

○遯シ而正(返)を得。(群書治要巻第一「周易」―254・注)(・す・う・)

○反(り)て「於」内を制す。(群書治要巻第一「周易」―254・注)(・かへる・)

○小―人命(返)に應(音)シて其(の)志(二)を率(二)正スルトキンハ・惡(返)しから不(し)而嚴シ。(群書治要巻第一「周易」―254・注)(・す・ひきあふる・ただしうす・ときんば・いづくし・)

○正(返)を得之吉キは遯(の)「之」嘉キ者ナリ「也」(群書治要巻第一「周易」―254・注)(・う・よし・よし・なり・)

○象に曰(く)・嘉クか遯す(群書治要巻第一「周易」―255)(・よし・)

○貞吉ナリトイハ・以て志を正スル(なり)「也」(群書治要巻第一「周易」―255)(・なり・といは・ただしうす・)

○上九は肥―遯ナリ。(群書治要巻第一「周易」―256)(・なり・)

○利(返)アラ不(返)トイフこと无(し)(群書治要巻第一「周易」―256)(・あり・ず・と・いふ・)

○最モ外―極(返)に處て「於」内(二)に應(返)すること无シ。(群書治要巻第一「周易」―256・注)(・もとも・ある・なし・)

○超―然トシて志―心(返)を絶て疑ヒ―顧ルこと无シ。(群書治要巻第一「周易」―256・注)(・たり・す・たつ・うたがふ・かへりみる・なし・)

○憂―患(返)累(返)スこと能(返)は不・増(返)及フこと能(返)は不。(群書治要巻第一「周易」―256・注)(・わづらはす・ソウシヤク・およぶ・)

○是(れ)以て肥―遯ナリ・利(返)アラ不(返)トイフこと无(し)「也」(群書治要巻第一「周易」―257・注)(・なり・あり・ず・と・いふ・)

○象に曰(く)・肥―遯ナリ・利(返)あら不(返)ること无(く)トイハ・疑(返)フ所(返)无(けれ)ソ「也」(群書治要巻第一「周易」―257)(・なり・といは・うたがふ・ぞ・)

○大―壯・象に曰(く)・雷(音)天―上に在ルは大―壯ナリ。(群書治要巻第一「周易」―257)(・タイシヤウ・あり・なり・)

○君子 以て禮(返)に非サレは・履(返)マ弗(群書治要巻第一「周易」―258)(・これをもて・あらず・る・ふむ・ず・)

○壯ニシ而禮に違フトキンハ則(ち)凶シ。(群書治要巻第一「周易」―258・注)(・なり・す・たがふ・ときんば・あし・)

○凶シケレハ則(ち)壯(返)を失フ「矣」。(群書治要巻第一「周易」―258・注)(・あし・ば・うしなふ・)

○故に君子・大―壯を以て禮(返)に順フ「也」(群書治要巻第一「周易」―259・注)(・したがつ・)

○象に曰(く)・大―壯は貞(返)に利アリ。(群書治要巻第一「周易」

1259・注) (・あり・)

○大ナル者正(志)ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一259) (・おほきなり・なり・)

○正・大ニシテ而天地(の)「之」情・見ツ可シ「矣」(群書治要卷第一「周易」一259) (・なり・す・つ・べし・)

○天地(の)「之」情・正・大キナラク而「已」。(群書治要卷第一「周易」一260・注) (・おほし・ならく・)

○正(返)を弘ヒシテ極ヘ大ナレは則(ち)天地(の)「之」情・見(返)ツ可シ「矣」(群書治要卷第一「周易」一260・注) (・ひろうす・なり・つ・べし・)

○●晉・象に曰(く)・明(音)地上に出(つ)ルは晉ナリ。(群書治要卷第一「周易」一261) (・いづ・なり・) (「晉」左下に「進也」)

○君子以て自(ら)明徳を照ス(群書治要卷第一「周易」一261) (・これをもて・てらす・)

○順(返)を以テ著明ナルは自(ら)顯ル、「之」道ナリ(群書治要卷第一「周易」一261・注) (・チヨメイ・なり・みづなら・あらはる・なり・)

○●明夷・象に曰(く)・明(音)地中に入ルは明夷ナリ。(群書治要卷第一「周易」一262) (・はいる・なり・)

○君子以て衆に莅ム(群書治要卷第一「周易」一262) (・これをもて・のぞむ・)

○衆に莅(む)に・顯明ナルトキンハ・偽を百姓(二)に蔽(二)フ者ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一262・注) (・なり・ときんば・いつはり・をほふ・なり・)

○故に・蒙(返)を以テ正(返)を養ヒ・明夷を以テ衆(返)に

莅ム「也」「矣」(群書治要卷第一「周易」一263・注) (・やしなふ・のぞむ・)

○晦キを用キ而明ナリ(群書治要卷第一「周易」一263) (・くらし・もちある・なり・)

○明(音)を「於」内(二)に蔽(二)シテ乃(ち)明(音)を得ル「也」(群書治要卷第一「周易」一263・注) (・かくす・う・)

○明を「於」外(二)に顯(二)シテ乃(ち)避(返)ル所ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一263・注) (・あらはす・さく・なり・)

○象に曰(く)・内文明ニシ而外柔順ナリ。(群書治要卷第一「周易」一264) (・うち・なり・す・ほか・なり・)

○以テ大難を蒙(二)ル。(群書治要卷第一「周易」一264) (・かうふる・)

○難貞を利シテ其(の)明(音)を晦ス「也」(群書治要卷第一「周易」一265) (・り・す・くらうす・)

○内難シ而能ク其(の)志を正ス。(群書治要卷第一「周易」一265) (・かたうす・よく・ただしうす・)

○●家一人・象に曰(く)・風火(返)自リ出(つ)ルは家人ナリ(群書治要卷第一「周易」一267) (・より・いづ・なり・)

○内(返)に由(り)て相(ひ)成リて熾ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一267・注) (・よる・なる・さかんなり・)

○君子以て言フコト・物有(り)。(群書治要卷第一「周易」一267) (・これをもて・いふ・こと・つね・)

○而テ行フこと・恒有リ(群書治要卷第一「周易」一268) (・をこなふ・あり・)

○家人(の)「之」道・「於」近(一)小(二)を脩(三)メ而ミ妄(返)ナラ不レル者ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一268・注)(・をさむ・みだり・なり・ず・なり・)

○故に君子は言フコト必(す)物(返)有リ。(群書治要卷第一「周易」一268・注)(・いふ・こと・つね・あり・)

○而て口に擇エラハン言无(し)。(群書治要卷第一「周易」一268・注)(・えらぶ・む・)

○行フこと必(す)恒(返)有リ。(群書治要卷第一「周易」一269・注)(・をこなふ・あり・)

○而て身に擇エラハン行(去)无シ「也」(群書治要卷第一「周易」一269・注)(・えらぶ・む・なし・)

○象に曰(く)・家人は女(音)・位を「乎」内(二)返(三)に正(二)シ(三)て男(音)位を「乎」外(二)に正(返)す。(群書治要卷第一「周易」一269)(・ただしうす・たさしうす・)

○家人・嚴一君有リ焉。(群書治要卷第一「周易」一269)(・あり・)

○父一母を「之」謂フナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一270)(・いふ・なり・)

○父一々(父)タリ・子一々(子)タリ・兄一々(兄)タリ・弟一々(弟)タリ・夫一々(夫)タリ・婦一々(婦)タリ。(群書治要卷第一「周易」一271)(・たり・たり・たり・たり・よめ・たり・)

○而て家一道正シ。(群書治要卷第一「周易」一272)(・ただし・)

○家(返)を々(た)々(シ)(正)シ而ミ天下定マル「矣」(群書治要卷第一「周易」一272)(・ただしうす・さだむ・)

○睽(平)・象に曰(く)・上カミに火アリ・下シモに澤(音)アルは睽ナリ。(群

書治要卷第一「周易」一273)(・ケイ・かみ・あり・しも・あり・なり・)「睽」の左下「苦圭反」

○君子以テ同(音)シ而ミ異(音)す(群書治要卷第一「周易」一273)(・これをもて・す・)

○「於」通一理(二)に同(音)シ(三)て「於」職一事に異ナリ(群書治要卷第一「周易」一273・注)(・おなじうす・ことなり・)

○象に曰(く)・睽は火動(き)而上ホル。(群書治要卷第一「周易」一274)(・のぼる・)

○澤動(き)而下クル。(群書治要卷第一「周易」一274)(・くだる・)

○天地睽イ而其(の)事同シ「也」(群書治要卷第一「周易」一274)(・そむく・おなじ・)

○睽(の)「之」時・用(音)大ナル「矣」哉(音)(群書治要卷第一「周易」一276)(・おほきなり・かな・)

○睽一離(の)「之」時は小人(の)能ク用(二)ル所(三)に非(三)す「也」(群書治要卷第一「周易」一276)(・よく・もちゐる・)

○蹇(上)・象に曰(く)・山の上に水有ルは・蹇ナリ。(群書治要卷第一「周易」一278)(・ケン・うへ・あり・なり・)「蹇」の左下に「紀免反難也」

○君子以テ身(返)を反(返)シ・德(返)を脩ム(群書治要卷第一「周易」一278)(・これをもて・ハン・す・をさむ・)「反」本行は「及」

○難(去)を除クこと・身(返)を反(返)シ(三)德(返)を脩ム(群書治要卷第一「周易」一279・注)(・のぞく・ハン・す・をさむ・しく・は・なし・)

○險(上)を見而能ク止ルは智ナル「矣」哉(音)。(群書治要卷第一「周易」一279)(・よく・とまる・なり・かな・)

○六二は王―臣蹇―々(蹇)・匪―躬(の)「之」故ナリ(群書治要卷第一「周易」―280)(・なり・)

○難(志)(の)「之」時(返)に處て履ムこと其(の)位(二)に當(三)レリ。(群書治要卷第一「周易」―281・注)(・ある・ふむ・あたる・り・)

○心(返)を執ルこと回(返)ナラ不・志(訓)王―室を匡クル者ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」―281・注)(・とる・よこしまなり・たすく・なり・)

○故に曰ク・王―臣蹇―々(蹇)・匪―躬(の)「之」故とナリ「也」(群書治要卷第一「周易」―281・注)(・いわく・なり・)

○中(返)を履ンて義(返)を行フ。(群書治要卷第一「周易」―281・注)(・ふむ・おこなふ・)

○以て其(の)上(返)に在(り)て蹇(返)に處リ・此(返)を以て未(た)其(の)尤(二)を見(三)「未」(再讀)「也」(群書治要卷第一「周易」―281・注)(・をり・とが・)

○象に曰(く)・王臣蹇―々(蹇)・終(返)に尤(返)无(し)「也」(群書治要卷第一「周易」―282)(・つひに・とが・)

○●解(上)・象に曰(く)・雷(返)テ雨ルを解(返)と作す。(群書治要卷第一「周易」―283)(・いかづちなる・て・あめふる・)「解」左下に「音蟹緩也」

○君子(返)以て過(返)ルを赦シ・罪アルを宥ム。(群書治要卷第一「周易」―283)(・これをもて・あやまちる・ゆるす・つみ・ある・などむ・)

○彖に曰く・天―地解ケ而雷―雨作ル。(群書治要卷第一「周易」―283)(・とく・をこる・)

○雷―雨作(り)而百―菓草―木・皆(な)甲(入輕)坼ク(群書治要卷第一「周易」―284)(・カフ・さく・)

○天地否―結ナルトキンハ・則(ち)雷―雨作(返)ラ不。(群書治要卷第一「周易」―285・注)(・なり・ときんば・おこる・)

○文―通感―散スルトキンハ・雷雨乃(ち)作ル「也」(群書治要卷第一「周易」―285・注)(・す・ときんば・おこる・)

○雷―雨「之」作ルトキンハ・則(ち)儉―厄(ものトホ)の者亨ル。(群書治要卷第一「周易」―285・注)(・をこる・ときんば・とほる・)

○否―結の者散ス。(群書治要卷第一「周易」―285・注)(・ちらす・)

○故に百―菓草―木・皆(な)甲坼ク「也」(群書治要卷第一「周易」―285・注)(・さく・)

○解(上)「之」時・大ナル「矣」哉(群書治要卷第一「周易」―286)(・おほきなり・かな・)

○所トシテ「而」釋(返)ケ不(二)トイフこと无(三)シ「也」(群書治要卷第一「周易」―286・注)(・と・す・て・とく・ず・と・いふ・なし・)

○六三は負フて且タ乗ル。(群書治要卷第一「周易」―286)(・をふ・また・のる・)

○寇(返)の至(二)ルことを致(三)す。(群書治要卷第一「周易」―287)(・あだ・いたる・)

○貞ナリ 吝シ(群書治要卷第一「周易」―287)(・なり・やさし・)

○處ルこと・其(の)位に非(す)。(群書治要卷第一「周易」―287・注)(・をり・)

○履ムこと・其(の)正(意)に非(す)。(群書治要卷第一「周易」―287・注)(・ふむ・)

○以て「於」四用(音)に附(ニ)ケリ。(群書治要卷第一「周易」一287・注)(・つく・り・)

○夫(れ)柔一邪ニシテ以て自(ら)媚タル者ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一287・注)(・なり・す・こび・たり・なり・)

○二(返)に乘(り)て四(返)を負フ。(群書治要卷第一「周易」一287・注)(・をふ・)

○以て其(の)寇(の)「之」來ルを容ル「也」(群書治要卷第一「周易」一287・注)(・あだ・くる・いる・)

○己(返)自(り)て致(返)ス所ナリ「矣」(群書治要卷第一「周易」一288・注)(・をのれ・より・いたす・なり・)

○幸(シ)而免(ニ)ルと雖(ニ)正(音)「之」賤(返)スル所ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一288・注)(・さいわひにす・まぬかる・いやしむす・なり・)

○●損・象に曰(く)・山の下に澤(返)有ルは・損ナリ。(群書治要卷第一「周易」一289)(・した・あり・なり・)「損」左下に「孫本反虧減之義也」

○君子以て忿(音)を懲メ「イ、懲シ」・欲(音)を窒ク(群書治要卷第一「周易」一287)(・これをもち・やむ・ころす・ふさぐ・)

○損シ之善(ニ)カル可(ニ)キは忿(ニ)欲(ニ)ヨリ善(ニ)キハ莫シ(群書治要卷第一「周易」一290・注)(・す・よし・べし・より・よし・は・なし・)

○象に曰(く)・損一益盈一虚・時(返)與偕(に)行ル(群書治要卷第一「周易」一290)(・ともに・をこなはる・)

○損一益將に何かを加(ク)ヘン「焉」。(群書治要卷第一「周易」一291・注)

(・くはふ・む・)

○故に必(す)時(返)與偕(に)行ル「也」(群書治要卷第一「周易」一291・注)(・ともに・をこなはる・)

○●益・象に曰(く)・風イテ雷ルは益ナリ。(群書治要卷第一「周易」一291)(・かぜふく・いかづちなる・なり・)「益」の左下「増長之名又以弘裕爲義」

○君子以て善(返)を見て則(ち)遷ル。(群書治要卷第一「周易」一292)(・これをもち・うつる・)

○過(有)レは則(ち)改(む)「矣」(群書治要卷第一「周易」一292)(・あやまち・あり・)

○善(返)に従(ひ)て過(返)を改(め)は・益・焉(返)リ大(返)ナル莫シ(群書治要卷第一「周易」一292・注)(・これより・おほい・なり・なし・)

○象に曰(く)・益(音)は上(返)を損シて下(返)に益(返)ス。(群書治要卷第一「周易」一292)(・す・ます・)

○民の悦(音)疆(返)无シ。(群書治要卷第一「周易」一293)(・よろこび・きはまり・なし・)

○上(返)自(り)々(下)に下(返)ストキンハ・其(の)道(大)に光(ル)。(群書治要卷第一「周易」一293)(・かみ・より・しも・くだす・と・きんば・おほきなり・みつ・る・)

○利(往)ク攸(返)有(り)・中(正)ニシ慶(音)有(り)・(群書治要卷第一「周易」一293)(・ゆく・ところ・あり・なり・す・あり・)

○五(上)・中(正)に處(リ)。(群書治要卷第一「周易」一294・注)(・を

り・)

○上(返)自(り)々(下)に下(返)ス「イ、下(し)・」(群書治要卷第

一「周易」一294・注（・しも・くだす・）
 ○故に慶（音）返有り「也」（群書治要卷第一「周易」一294・注）（・あり・）
 ○中一正有慶（の）「之」徳（二）返を以（三）て往（返）ク攸（返）有リ「也」（群書治要卷第一「周易」一294・注）（・ゆく・あり・）
 ○何に適クトシテカ「而」利（返）アララン哉「也」（群書治要卷第一「周易」一294・注）（・いづくに・ゆく・と・す・て・か・あり・ず・む・や・）
 ○●升・象に曰（く）・地一中に木（返）生ヒタルは・升ナリ。（群書治要卷第一「周易」一295）（・をふ・たり・なり・）（「上」の左下「式陵反上也」）
 ○君子（コレヲモ）以て徳（返）を慎（返）ミ・小（返）を積（返）んで以て高一大を成す（群書治要卷第一「周易」一295）（・これをもて・つつしむ・つむ・なす・）
 ○●革・象に曰（く）・澤中に火（返）有ルは・革ナリ。（群書治要卷第一「周易」一296）（・あり・なり・）（「革」の左下「改也」）
 ○象に曰（く）・革は水―火相（ひ）―息ム（群書治要卷第一「周易」一297）（・やむ・）
 ○凡（そ）合（音）返セ不シ而後に變生ナル。（群書治要卷第一「周易」一297・注）（・あはず・ず・す・なり・）
 ○火は上（返）ランことを欲（し）・澤は下ランことを欲す。（群書治要卷第一「周易」一297・注）（・のぼる・む・くだる・む・）
 ○水火相（ひ）―戰（ひ）て而て後に・變生ナル者ナリ「也」（群書治要卷第一「周易」一298・注）（・なり・なり・）
 ○天地革マ（り）而四時成ル。（群書治要卷第一「周易」一298）（・

あらたまる・なる・）
 ○湯・武命を革メ・「乎」天に順（ひ）而「乎」人に應（音）す。（群書治要卷第一「周易」一298）（・あらたむ・したがふ・）
 ○革（音）（の）「之」時・大ナル「矣」哉。（群書治要卷第一「周易」一299）（・おほいなり・かな・）
 ○上―六は君子豹のコトクに變シて小人面（返）を革ム（群書治要卷第一「周易」一299）（・ごとし・す・あらたむ・）
 ○變（の）「之」終（を）に居リ。（群書治要卷第一「周易」一300・注）（・をはり・をり・）
 ○變―道已に成レヌ。（群書治要卷第一「周易」一300・注）（・なる・ぬ・）
 ○君子處ルトキンハ「之」・能ク其（の）文を成す。（群書治要卷第一「周易」一300・注）（・をり・ときんば・よく・）
 ○小人成（平）返を樂フトキンハ・則（ち）面（返）を變（し）て以て上（返）に順フ「也」（群書治要卷第一「周易」一301・注）（・たのしふ・ときんば・したがふ・）
 ○●鼎（上）・象に曰（く）・木の上に火（返）有（る）は・鼎ナリ。（群書治要卷第一「周易」一302）（・なり・）（「鼎」の左下に「丁冷反法象也」）
 ○象に曰（く）・鼎は象（上）ナリ「也」（群書治要卷第一「周易」一302）（・なり・）
 ○木（返）を以て火（返）に異レテ亨（平）―飪（去濁）す「也」（群書治要卷第一「周易」一302）（・いる・ハウジン・）（「亨」の左下に「普庚反」・「飪」の左下に「入甚反」）
 ○聖人・亨（平）以て上―帝を享（上）す。（群書治要卷第一「周易」一303）（・ハウ・これをもて・キヤウ・）

○而て大―亨^{コレヲモ}・以て聖―賢を養フ(群書治要卷第一「周易」―303)
(・これをもて・やしなふ・)

○亨は「者」・鼎(の)「之」爲^返ル「イ、爲ス」所ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」―304・注)(・す・なす・なり・)

○革^音は故キを去テ而鼎^音は新^返シキを成ス。(群書治要卷第一「周易」―304・注)(・ふるし・すつ・あたらし・なす・)

○故に亨―飪調―和(の)「之」器(二)と爲^二「也」(群書治要卷第一「周易」―304・注)(・ハウジン・)

○故^返キを去テて新^返(しき)を取(る)トイハ・聖―賢失フ可(から)不(る)ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」―304・注)(・ふるし・すつ・といは・うしなふ・なり・)

○天下用^返牛不^返トイフこと莫シ「之」。(群書治要卷第一「周易」―305・注)(・もちある・ず・と・いふ・なし・)

○而て聖人之^返を用(ぬ)て乃^イ(し)上^{カミ}以て上帝を享シ^{キヤウ}・下以て大―亨^{ハウ}して聖―賢を養フ「焉」(群書治要卷第一「周易」―305・注)(・いまし・かみ・キヤウ・す・タイハウ・す・やしなふ・)

○ヒ^上―鬯^{チヤウ}(上)を喪ハ不(群書治要卷第一「周易」―306)(・ヒチヤウ・うしなふ・)「ヒ」の左下に「必以反」・鬯^{ウシナ}の左下に「勅亮反香酒」

○則(ち)以てヒ―鬯(二)を喪^{ウシナ}ハ不(二)ル可(三)キに足レヌ「矣」(群書治要卷第一「周易」―306・注)(・うしなふ・ず・べし・たる・ぬ・)

○ヒは鼎―實を載スル所―以ナリ。(群書治要卷第一「周易」―307・注)(・のす・なり・)

○鬯は香―酒・宗廟(二)に奉(三)スル「之」盛ナル者ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」―307・注)(・す・さかんなり・なり・)

○象に曰(く)・洊^{シキリ}に雷^{イカツチナ}ルは震ナリ。(群書治要卷第一「周易」―307)(・しきりに・いかづちなる・なり・)

○君子^{コレヲモ}以て恐^{フソ}レ懼^ヲチテ脩^{ヲサ}メ^{カヘリミ}省^{カヘリミ}ル。(群書治要卷第一「周易」―307)(・これをもて・をそる・ををつ・をさむ・かへりみる・)

○象に曰(く)・震は亨^{トホ}ル。(群書治要卷第一「周易」―307)(・とほる・)

○震の來ルときに號^{ケキク}々(號)タリトイハ・恐(れ)て福を致スソ「也」(群書治要卷第一「周易」―308)(・きたる・げきげきたり・といは・いたす・ぞ・)「號」の左下に「許逆反馬云恐懼貌」

○百里を震―驚ストイハ・遠^返キを驚^{おとし}シ而邇^カキを懼^ヲスナリ「也」(群書治要卷第一「周易」―308)(・す・といは・とほし・おどろかす・ちかし・をどす・なり・)

○威・「乎」百里(二)を震(三)―驚スルトキンハ・則(ち)惰^{ヲコタ}レル者^{もの}「於」近(二)キに懼^ヲル「矣」(群書治要卷第一「周易」―309・注)(・す・とくんば・をこたる・り・ちかし・をそる・)

○出テハ以て宗―廟社―稷(二)を^{マホ}守(三)テ以て祭ノ主「イ、祭―主」(上)爲^タル可^下(し)「也」(群書治要卷第一「周易」―310)(・いづ・ば・まぼる・の・たり・)

○長―子(二)に堪^タタル所^タ以の「之」義(上)を明^下す「也」(群書治要卷第一「周易」―311・注)(・たり・)

○ヒ―鬯(二)を喪^{ウシナ}ハ不トイハ・則(ち)己^ヲ出^レルトキニ以て宗廟(二)を^ニ守^ル可^キキソ「也」(群書治要卷第一「周易」―311・注)(・うしなふ・ず・といは・をのれ・いづ・とき・に・ま

ぼる・べし・ぞ・)

○●良・象に曰(く)・兼タル―山アルは良ナリ。(群書治要卷第一「周易」―312) (・かね・たり・あり・なり) (「良」の左下に「根恨反止也鄭云良々言狠也」)

○君子 以て思フこと・其(の)位(二)ヨリ出(三)返サ不(群書治要卷第一「周易」―312) (・これをもて・おもふ・より・だす) (レラモ)

○各(の)其の所(二)返に止(三)りて官(返)を侵(返)サ不(也) (群書治要卷第一「周易」―313) (・とどまる・をかず) (ヲカ)

○象に曰(く)・良は止(音)ナリ(也) (群書治要卷第一「周易」―313) (・なり) (音)

○時ニ「イ、時」止ルトキンハ則(ち) 止ル。(群書治要卷第一「周易」―313) (・とき・に・とき・とどまる・ときんば・とどまる) (トキ)

○時ニ「イ、時」行クトキンハ則(ち) 行ク。(群書治要卷第一「周易」―313) (・とき・に・とき・ゆく・ときんば・ゆく) (トキ)

○動―靜其(の) 時を失(は) 不トキンハ其(の) 道光―明ナリ (群書治要卷第一「周易」―314) (・ときんば・なり) (トキ)

○止(音)の道・常に用ウ可(から) 不。(群書治要卷第一「周易」―314) (・もちう) (音)

○必(す)「於」以て行(二)ク可(返)から 不(三)ルに施(三)す。(群書治要卷第一「周易」―314) (・ゆく・ず) (サ)

○「于」其(の) 道(二)に適(三)クトキンハ乃(ち) 光―明ナリ(也) (群書治要卷第一「周易」―315) (・ゆく・ときんば・なり) (ユ)

○●豊は亨ル・王假ル「之」(群書治要卷第一「周易」―315) (・とほる・いたる) (トホ) 左下に「芳忠反□滿意也」

○大シテ「而」亨ルは「者」・王(の)「之」至ル所ナル(也) (群

書治要卷第一「周易」―315) (・をほきにす・て・とほる・いたる) (・なり) (音)

○憂フルこと勿レ・日―中は宜(し) (群書治要卷第一「周易」―316) (・うれふ・なかれ) (音)

○豊(の)「之」義(返)爲ルこと・微―細(返)を聞キ―弘シテ夫の隱―滞に通(音)スル者ナリ(也) (群書治要卷第一「周易」―316) (・たり・ひらく・ひろうす・す) (ヒラ)

○天下(の)「之」主と爲而微―隱の者(返)を令シテ亨(返)ラ不(二)ラ(令) (再讀) (三)ムルトキンハ「イ、亨(ら) 不。」憂未(た) 已(返) (再讀) (三)マ「未」(再讀)「也」(群書治要卷第一「周易」―316) (・す・す) (トホ)

○故に豊―享(返)に至(り)て乃(ち) 憂フルこと勿(し) ことを得(也) (群書治要卷第一「周易」―317) (・ホウキヤウ・うれふ) (キヤウ)

○夫の豊―享不―憂(の)「之」徳(二)を用(三) (ゐ)ルトキンハ・宜(く) 天―中(返)に處て以て遍ク―照(二)す「宜」(再讀) (三) (し) (者)ナリ(也) (群書治要卷第一「周易」―317) (・もちある) (モノ)

○象に曰(く)・雷―電皆(な) 主ルは豊ナリ。(群書治要卷第一「周易」―317) (・つかさどる) (ナ)

○君子 以て獄(返)を折メ刑(返)を致す (群書治要卷第一「周易」―318) (・これをもて) (コレラモ)

○文―明ニシテ以て動クトキンハ情―理を 失(ハ) 不(群書治要卷第一「周易」―318) (・なり) (ウ)

○象に曰(く)・日・中(音)シテハ則(ち) 昃ク。(群書治要卷第一

〔周易〕一319) (・す・て・は・かたふく・)

○月・盈チテハ則(ち)食ク。(群書治要卷第一〔周易〕一319) (・みつ・て・は・かく・) (〔食〕左に「蝕本」)

○而を況ヤ・人(返)に於テヲ乎。(群書治要卷第一〔周易〕一320) (・いわんや・おいて・を・や・)

○況(や)・鬼―神に於テヲ乎(群書治要卷第一〔周易〕一320) (・おいて・を・や・)

○豊(の)〔之〕用(ゐ)爲ルこと・〔於〕戻(入)―食(二)に困(二)フ者ナリ〔也〕(群書治要卷第一〔周易〕一320・注) (・たり・ソクシヨク・くるしふ・なり・)

○〔於〕足(返) (ら)未(二)に施(二)ストキンハ・則(ち)豊(返)を尚フ。(群書治要卷第一〔周易〕一321・注) (・ほどこす・ときんば・たとふ・)

○〔於〕巳に盈(二)チヌルに施(二)ストキンハ・則(ち)方に溢(ミサカリ)ル。(群書治要卷第一〔周易〕一321・注) (・みつ・ぬ・ほどこす・ときんば・みさかり・あふる・)

○以て常と爲可(から)不。(群書治要卷第一〔周易〕一321・注) (・す・)

○故に具に消―息(の)〔之〕道(二)を陳(二)フ〔也〕(群書治要卷第一〔周易〕一321・注) (・つぶさに・のぶ・)

○兌(去)・象に曰(く)・麗レル澤アルは兌ナリ。(群書治要卷第一〔周易〕一322) (・タイ・つらなる・あり・なり・) (〔兌〕の左下に「徒外反」)

○君子以て朋―友アリて講―習す。(群書治要卷第一〔周易〕一322) (・これをもち・あり・)

○象に曰(く)・兌は悦(入)麗ナリ〔也〕(群書治要卷第一〔周易〕一322) (・タイ・なり・)

○剛・中シ而柔・外ナリ。(群書治要卷第一〔周易〕一323) (・うち・す・ほか・なり・)

○悦(去)以て貞(返)に利アリ〔イ、利貞アリ〕(群書治要卷第一〔周易〕一323) (・よるこび・これをもて・あり・リ・テイ・あり・)

○悦(ひ)而剛(返)に違フトキンハ・則(ち)諂ヘルナリ。(群書治要卷第一〔周易〕一323・注) (・たがふ・ときんば・へつらふ・なり・)

○剛シ而悦(返)に違(ふ)トキンハ則(ち)暴ナリ。(群書治要卷第一〔周易〕一324・注) (・つよくにす・よるこび・ときんば・なり・)

○剛中シ而柔外ナリ。(群書治要卷第一〔周易〕一324・注) (・うち・す・なり・)

○悦(去)以て貞(返)に利(二)アル所(二)以ナリ〔也〕(群書治要卷第一〔周易〕一324・注) (・よるこび・もれをもて・あり・なり・)

○是(れ)以て〔乎〕天に順(ひ)而〔乎〕人に應(音)す(群書治要卷第一〔周易〕一324) (・したがつ・)

○天は剛シ而悦(去)を失(は)不(者)者ナリ〔也〕(群書治要卷第一〔周易〕一325・注) (・つよくにす・よるこび・ず・なり・)

○悦(去)以て民(返)に先ツルトキンハ・々(民)其(の)勞(音)を忘ル。(群書治要卷第一〔周易〕一325) (・よるこび・これをもて・さいだつ・ときんば・わする・)

○悦(去)以て難(去)を犯ストキンハ・民其(の)死を忘ル。(群書治要卷第一〔周易〕一325) (・よるこび・これをもち・あり・)

○群書治要卷第一「周易」一325（・よろこび・これをもて・おかす・ときんば・わする・）

○悦「之」大ナル・民勸ル「矣」哉（群書治要卷第一「周易」一326）（・よろこび・おほきなり・すすめる・かな・）

○●渙・象に曰（く）・風（訓）水（の）上に行クは・渙ナリ。（群書治要卷第一「周易」一327）（・ゆく・なり・）（「渙」左下に「呼亂反散也」）

○九五は汗（返）を渙す。（群書治要卷第一「周易」一327）（・あせ・クワン・）

○其（れ）大に號フ。（群書治要卷第一「周易」一327）（・さげぶ・）
○渙にヲイテ王居テ咎无（し）（群書治要卷第一「周易」一328）（・をいて・ある・）

○尊（音）返に處・正（音）返を履ンテ巽（の）「之」中（音）に居リ。（群書治要卷第一「周易」一328）（・ある・ふむ・をり・）

○汗（返）を散（音）シテ大に號フ。（群書治要卷第一「周易」一328）（・す・さげぶ・）

○以テ險一阨を湯スル者ナリ「也」（群書治要卷第一「周易」一328）注（・ケンヤク・タウ・す・なり・）（「阨」の左下に「於草反」）

○渙（の）「之」主と爲ルこと・唯（た）・王之（返）に居テ乃（し）咎无（き）ことを得「也」（群書治要卷第一「周易」一328）注（・た・り・ある・いまし・う・）

○●節・象に曰（く）・澤の上に水（返）有ルは・節ナリ。（群書治要卷第一「周易」一330）（・うへ・あり・なり・）（「節」の左下に「薦結反止也」）

○君子以て數一度を「イ、度数」を制（音）シ・徳一行を議ル。（群

書治要卷第一「周易」一330）（・これをもて・す・はかる・）

○其（の）道窮ル（群書治要卷第一「周易」一331）（・きはまる・）
○節（返）を爲ルこと過キ（て）苦（返）フトキンハ「イ、苦（返）（ひ）過（くときんは）」即（ち）・物堪フルこと能（は）不「也」（群書治要卷第一「周易」一332）注（・す・すぐ・くるしふ・ときんば・たふ・）

○物堪（ふる）こと能は不ルトキンハ・則（ち）正（返）に復ル可（から）不「也」「矣」（群書治要卷第一「周易」一332）注（・ず・ときんば・かへる・）

○悦以て險に行ク・位（返）に當（り）て節（返）を以て中一正ニシテ以て通（音）す（群書治要卷第一「周易」一332）（・よろこび・これをもて・ゆく・あたる・なり・す・）

○悦（返）无シ而險（返）に行キ・中（返）を過キ而節（返）を爲ルトキンハ・則（ち）道窮ル「也」（群書治要卷第一「周易」一333）注（・よろこび・なくす・ゆく・すぎる・す・ときんば・きはまる・）

○天一地節シ而四時成ル。（群書治要卷第一「周易」一333）（・す・なる・）

○節スルに・制一度（返）を以シテ財（返）を傷（返）ラ不・民（返）を害（返）セ不（群書治要卷第一「周易」一334）（・す・もてす・やぶる・す・）

○●中一孚（平）・象に曰（く）・澤の上に風（返）有（る）は・中一孚ナリ。（群書治要卷第一「周易」一335）（・チュウフ・なり・）（「孚」の左下に「芳夫反信也」）

○君子以て獄（返）を議リ・死（返）を緩す（群書治要卷第一「周易」一335）（・これをもて・はかる・ゆるす・）

○信・「於」中(二)ヨリ發(音)スルトキンハ・過(返)テリと雖(も)・亮(返)ナル可シ(群書治要卷第一「周易」一336・注)(・より・す・ときんば・あやまつ・り・まことなり・べし・)

○象に曰(く)・中一孚は柔(平)内に在(り)而剛中を得タリ。(群書治要卷第一「周易」一336)(・たり・)

○悦(音)而異(音)テ「イ、異(音)にす」孚アリ(群書治要卷第一「周易」一337)(・よるこぶ・したがて・まこと・あり・)

○上の四德(返)有(り)て然て後に乃(ち)孚アリ(群書治要卷第一「周易」一337・注)(・くに・)

○柔内に在(り)而剛中(返)を得タリ。(群書治要卷第一「周易」一338・注)(・たり・)

○各(の)其(の)所に當ル「也」(群書治要卷第一「周易」一338・注)(・あたる・)

○剛中(返)を得レハ・則(ち)直ニシテ「而」正(音)ナリ。(群書治要卷第一「周易」一338・注)(・える・ば・なり・す・て・なり・)

○柔内に在レハ・則(ち)靜(音)ニシ而順(音)ナリ。(群書治要卷第一「周易」一338・注)(・あり・ば・なり・す・なり・)

○悦(ひ)而(て)以て巽(音)フトキンハ則(ち)乖(音)争作(音)ラ不。(群書治要卷第一「周易」一338・注)(・したがふ・ときんば・クワイソウ・をこる・)

○此(返)の如キは則(ち)物巧(音)ミ競(音)フこと无シ。(群書治要卷第一「周易」一338・注)(・ごとし・たくむ・きそふ・なし・)

○敦(音)一實(の)行(去)著(音)レ而篤(音)一信(乎)其(の)中に發(音)す

「矣」(群書治要卷第一「周易」一339・注)(・トンジツ・あらはる・) ○豚(音)一魚マテに吉ナリ。(群書治要卷第一「周易」一339)(・トンギヨ・まで・なり・)

○信・豚一魚に及フ(群書治要卷第一「周易」一339)(・およぶ・)

○魚は「者」虫(の)「之」隠(音)レタル者「也」(群書治要卷第一「周易」一339・注)(・かくる・たり・)

○豚は「者」獸(の)「之」微(音)一賤ナル者ナリ。(群書治要卷第一「周易」一339・注)(・なり・なり・)

○争一競(の)「之」道興(返)ラ不・忠一信(の)「之」德淳(音)ク一著(音)ル、トキンハ・則(ち)微(音)一隱(の)「之」物(二)と雖(三)(も)・信皆(な)及フ「之」「也」(群書治要卷第一「周易」一340・注)(・をこる・ず・あつし・あらはる・ときんば・およぶ・)

○中一孚アテ以て貞(返)に利アリ「イ、利貞ナリ」。(群書治要卷第一「周易」一340)(・あり・て・あり・リテイ・なり・)

○乃(ち)天(返)に應(去)スレハナリ(群書治要卷第一「周易」一341)(・す・ば・なり・)

○盛ナルコトノ「之」至レルソ「也」(群書治要卷第一「周易」一341・注)(・さかんなり・こと・の・いたる・ぞ・)

○●小過・象に曰(く)・山(の)上に雷(音)有(る)は・小一過ナリ。(群書治要卷第一「周易」一342)(・なり・)(「過」の左下に「古臥反王音戈」)

○君子以(て)行(去)「乎」恭(音)に過(音)キ・喪(音)「乎」哀(音)に過(音)キ「イ、過(く)」。用(音)「乎」儉(音)に過(音)ク。(群書治要卷第一「周易」一342)(・これをもて・すぐ・も・すぐ・すぐ・)

○象に曰(く)・小過は小シキナル者(音)過(音)キ而亨(音)ル「也」(群書治要卷第一「周易」一343)(・ちいさし・なり・もの・すぐ・とほる・)

○小(しき)ナル者とは凡一諸小事を謂(ふ)「也」(群書治要卷第一「周易」一344・注)(・なり・)

○「於」小事(二)に過(三)キ而通(音)スル者ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一344・注)(・すぐ・す・なり・)

○過(き)て以て貞(返)に利アリ「イ、利貞ナリ」。(群書治要卷第一「周易」一344)(・あり・リテイ・なり・)

○與に行へハナリ「イ、行クソ」「也」(群書治要卷第一「周易」一344)(・をこなふ・ば・なり・ゆく・ぞ・)

○過キ而得ルコトハ・貞(返)に利(返)アルを以て「イ、以(て)利貞ソ」時一宜(平濁)に應(去)スレハナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一345・注)(・すぐ・う・こと・は・あり・リテイ・ぞ・す・ば・なり・)

○過キタルことを「於」恭一儉(二)に施(三)セハ貞(返)に利アル「イ、利貞ナル」者ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一345・注)(・すぐ・リテイ・ほど・こす・ば・あり・リテイ・なり・なり・)

○柔(平濁)中(平輕)返(返)を得タリ。(群書治要卷第一「周易」一345)(・たり・)

○是(れ)以て小事吉ナリ。(群書治要卷第一「周易」一345)(・なり・)

○剛位(返)を失(ひ)而(不)中ナリ。(群書治要卷第一「周易」一346)(・なり・)

○是(れ)以て大事(二)に不(三)可ナリ(群書治要卷第一「周易」一346)(・なり・)

○大事(二)を成(三)スことは「者」・必(す)剛(返)に在(り)「也」(群書治要卷第一「周易」一346・注)(・なす・)

○柔ニシ而大(返)を侵ス・剥(入)の「之」道(訓)ナリ「也」(群書

治要卷第一「周易」一347・注)(・なり・す・をかす・ハク・なり・)

○既(上)一濟(去)・象に曰(く)・水火の上に在(る)は・既一濟ナリ。(群書治要卷第一「周易」一348)(・キセイ・なり・)

○君子(コレヲモ)以て患(うむ)を思(ひ)而豫(アラカシ)メ防(フセ)ク「之」(群書治要卷第一「周易」一348)(・これをもち・うれへ・あらかじめ・ふせぐ・)

○存(平)スレトモ亡(平濁)返(返)センことを忘(返)レ不(群書治要卷第一「周易」一349・注)(・す・ども・す・む・わする・)

○既(キ)一濟(セイ)未(セイ)一濟(セイ)を忘(返)レ不「也」(群書治要卷第一「周易」一349・注)(・キセイ・ミセイ・わする・)

○象に曰(く)・既一濟(トホ)亨(トホ)ルトイハ貞(返)に利アリ「イ、利貞ナリ」。(群書治要卷第一「周易」一349)(・とほる・といは・あり・リ・なり・)

○剛一柔正(音)ニシ而位當(レ)ルナリ(群書治要卷第一「周易」一350)(・なり・す・あたる・なり・)

○剛一柔正(音)ニシ而位當(レ)ル。(群書治要卷第一「周易」一350・注)(・なり・す・あたる・)

○則(ち)邪(音)・以て行(フコ)可(返)不「矣」。(群書治要卷第一「周易」一350・注)(・をこなふ・)

○故に唯(た)正(音)乃(ち)貞(返)に利アリ「イ、利貞ナリ」「也」(群書治要卷第一「周易」一350・注)(・あり・リ・なり・)

○九一五は東一隣「之」牛(返)を殺(コロ)スは・西一隣「之」禴(祭)祭(シテ)實(イロコト)に其(の)福(二)を受(ク)クルに如(シ)カ不(群書治要卷第一「周易」一351)(・ころす・ヤクサイ・す・まことに・うく・しく・ず・)

○「禴」も左下に「羊略反」

○牛は祭マツリ（の）「之」盛サカシナル者「也」（群書治要卷第一「周易」352・注）（・まつり・さかんなり・）

○禴は祭マツリ（の）「之」薄ウスキ者「也」（群書治要卷第一「周易」352・注）（・まつり・うすし・）

○既キ濟セ（の）「之」時キ（に）居キ（に）而テ尊ツ位イに處ユリ。（群書治要卷第一「周易」352・注）（・ある・をり・）

○將マサに何ナニか爲セン「焉」。（群書治要卷第一「周易」352・注）（・まさ・なに・す・む・）

○其ツト（の）務ツト（返）ムル所は「者」祭マツリナラク而レ已ミ。（群書治要卷第一「周易」353・注）（・つとむ・ならく・のみ・）

○祭マツリ祀ヒ（の）「之」盛サカシナル・德ツク（返）を脩ツク（返）ムルヨリ盛サカシナルは莫ナシシ。（群書治要卷第一「周易」353・注）（・さかんなり・をさむ・より・さかんなり・なし・）

○故コトに沼セウ（平）一ニ沚シ（上）（の）「之」毛モウ・蘋ピン（平）一ニ蘩ハン（平）（の）「之」榮エイ・

「之」於コト鬼クワイ神シ（に）羞ス（返）メツ可カ（し）。（群書治要卷第一「周易」353・注）（・セウシ・ヒンハン・すすむ・つ・）

○黍カウハ稷カウハ馨カウハ（返）シキに非ヒ（さり）明メイ徳トク惟カウハ（れ）馨カウハシ。（群書治要卷第一「周易」353・注）（・かうばし・かうばし・）

○是コト（れ）以テ東トウ隣リンの牛ウシ（返）を殺コロス（す）は西セイ隣リン「之」禴マツリ祭マツリシテ實マコト（に）其コト（の）福フク（に）を受ウケ（ニ）クルに如ニ（返）（か）不フ「也」

（群書治要卷第一「周易」354・注）（・す・まことに・うく・）

○天タは尊タク・地チは卑ヒシ・乾ケン坤コン定テイル「矣」。（群書治要卷第一「周易」355）（・たとし・いやし・さだまる・）

○卑ヒ高コウ以テ陳チネて貴キ賤ケン位イアリ「矣」。（群書治要卷第一「周易」355）（・いふ・）

易イ（355）（・これをもて・つらぬ・あり・）

○動ドウ靜セイ常ジョウ（返）有ユ（り）て剛コウ柔ジュ斷タンル「矣」。（群書治要卷第一「周易」356）（・さだまる・）

○剛コウ（平）は動ドウイ而テ柔ジュは止トル「也」。（群書治要卷第一「周易」356・注）（・うごく・とどまる・）

○動ドウ止ト其コト（の）常ジョウの體テイを得エツルトキンハ則スレバ（ち）剛コウ柔ジュ（の）「之」分ブン（去濁）著アツル「之」（群書治要卷第一「周易」356・注）（・つ・と

きんば・あらはる・）

○方ホウ（音）は類ルイ（返）を以テ聚アツリ・物モノは群クン（平）輕ケイ（返）を以テ分ブンル。（群書治要卷第一「周易」357）（・あつまる・クン・わかる・）

○吉キチ凶クワン生ナル「矣」。（群書治要卷第一「周易」357）（・なる・）

○其コト（の）同ドウ（音）（返）スル所トコロ（に）順ジュン（に）フフトキンハ則スレバ（ち）吉キチナリ。（群書治要卷第一「周易」358・注）（・す・したがふ・ときんば・なり・）

○其コト（の）趣ソウ（返）ク所トコロ（に）乘ノゾム（ニ）ククトキンハ則スレバ（ち）凶クワンナリ。（群書治要卷第一「周易」358・注）（・をもふく・そむく・ときんば・なり・）

○故コトに吉凶キチクワン生ナル「矣」。（群書治要卷第一「周易」358・注）（・なる・）

○地チに在ア（り）ては形カガヒを成ナす。（群書治要卷第一「周易」359）（・かたち・）

○變ヘン化カ見ミユ「矣」。（群書治要卷第一「周易」359）（・みゆ・）

○象シヤウとは日月星辰ニを況イ（ニ）フ。（群書治要卷第一「周易」359・注）（・いふ・）

○形カガヒとは山川草木ニを況イ（ニ）フ「也」。（群書治要卷第一「周易」359・注）（・いふ・）

○懸(平)―象運―轉シて以て昏―明を成す。(群書治要卷第一「周易」
360・注)(・す・)

○山澤氣(返)を通(音)シ而雲―行キ雨―施ル。(群書治要卷第一「周
易」360・注)(・す・ゆく・ほどこる・)

○故に變―化見ユ「也」(群書治要卷第一「周易」360・注)(・みゆ・)

○是(の)故に・鼓スルに「之」・雷(平)輕―霆(平)を以シ・潤ホ
に「之」・風―雨を以す。(群書治要卷第一「周易」361)(・こす・
ライテイ・もてす・うるをふ・)

○日月運―行シて―ヒは寒ク・―ヒは暑シ。(群書治要卷第一
「周易」361)(・す・ひとたび・さむし・ひとたび・あつし・)

○乾は大―始を知リ「イ、知(る)」坤は成―物を作ス。(群書治要卷
第一「周易」362)(・しる・なす・)

○乾は易(志)を以て知ル。(群書治要卷第一「周易」362)(・イ・
しる・)

○坤は簡(志)を以て能す(群書治要卷第一「周易」362)(・よく
す・)

○天地(の)「之」道・爲(返)不シ而始を善す。(群書治要卷第一「周
易」363・注)(・す・ず・す・よくす・)

○勞(志)セ不シ而善ク成ス。(群書治要卷第一「周易」363・注)
(・す・ず・す・よく・なす・)

○易(志)ナルトキンハ則(ち)知(返)リ易シ「イ、易(く)」簡ナル
トキンハ則(ち)從(返)ヒ易シ。(群書治要卷第一「周易」363)(・
イ・なり・ときんば・しる・やすし・なり・ときんば・したがふ・
やすし・)

○知(返)易(志)キトキンハ・則(ち)親(返)有リ。(群書治要卷第

一「周易」364)(・やすし・ときんば・あり・)

○從(返)ヒ易キトキンハ・則(ち)功(返)有リ。(群書治要卷第一
「周易」364)(・したがふ・やすし・ときんば・あり・)

○親(返)有ルトキンハ・則(ち)久(し)カル可(し)。(群書治要
卷第一「周易」364)(・あり・ときんば・ひさし・)

○功有ルトキンハ・則(ち)大(返)ナル可シ(群書治要卷第一「周
易」365)(・あり・ときんば・をほいなり・べし・)

○易(志)―簡(の)「之」徳有(る)トキンハ・則(ち)能(く)久
(返)カル可ク大ナル可キ「之」功(二)を成(三)す「也」(群書治
要卷第一「周易」365・注)(・ときんば・ひさし・べし・をほい
り・べし・)

○久(し)カル可キは・則(ち)賢人か「之」徳ナリ。(群書治要
卷第一「周易」365)(・ひさし・べし・なり・)

○大ナル可キは・則(ち)賢人(か)「之」業ナリ(群書治要卷第一
「周易」366)(・をほいなり・べし・なり・)

○天地易(志)―簡ニシテ萬物久(し)ク其(の)形を載ス。(群書治
要卷第一「周易」366・注)(・なり・す・ひさし・のす・)

○聖人爲(返)不シテ群方各(の)其(の)業を遂ク。(群書治要
卷第一「周易」367・注)(・す・ず・す・とぐ・)

○徳―業既に成ルトキンハ・則(ち)「於」形―器に入ル。(群書治
要卷第一「周易」367・注)(・なる・ときんば・はいる・)

○故に賢―人(返)を以て其(の)徳―業(二)に目(三)ク「也」(群書
治要卷第一「周易」367・注)(・なつく・)

○易(志)―簡(志)ニシテ天下(の)「之」理・得ツ「矣」(群書治要卷
第一「周易」367)(・なり・す・つ・)

○●易(入聲)は天―地與・准フ(群書治要卷第一「周易」―369)。(・なすらふ・)
 ○易(返)を作(し)て以て天地に准フ「也」(群書治要卷第一「周易」―369・注)。(・なすらふ・)
 ○仰(ア)て以て「於」天―文を觀・俯シて以て「於」地―理(返)を察て幽―明(の)「之」故(音)を知(ニ)リ・死―生(の)「之」説(ニ)を知(ニ)ル「也」(群書治要卷第一「周易」―370)。(・あおぐ・みる・フ・す・みる・しる・しる・)
 ○死―生は「者」始―終(の)「之」數ナリ「イ、數」「也」(群書治要卷第一「周易」―371・注)。(・ことわり・なり・かず・)
 ○天―地與・相(ひ)―似タリ(群書治要卷第一「周易」―372)。(・たり・)
 ○徳を天地(ニ)に合(ニ)ヘタリ。(群書治要卷第一「周易」―372・注)。(・かなふ・たり・)
 ○故に相(ひ)―似タリと曰(ふ)「也」(群書治要卷第一「周易」―372・注)。(・たり・)
 ○智・「平」萬―物に周シ而道(訓)・天下を濟(去)す(群書治要卷第一「周易」―372)。(・あまねうす・セイ・)
 ○智・萬物に周キトキンハ則(ち)能ク・道(返)を以て天下を濟す「也」(群書治要卷第一「周易」―373・注)。(・あまねし・ときんば・よく・セイ・)
 ○天(返)を樂ヒ・命(返)を知ル。(群書治要卷第一「周易」―373)。(・たのしむ・しる・)
 ○故に憂ヘ不(群書治要卷第一「周易」―374)。(・うれふ・)
 ○天(の)「之」化に順フ。(群書治要卷第一「周易」―374・注)。(・

したがふ・)
 ○故に樂フと曰(ふ)「也」(群書治要卷第一「周易」―374・注)。(・たのしむ・)
 ○天地(の)「之」化(ニ)に範(ニ)―困(平)シ而過(返)ラ不(群書治要卷第一「周易」―375)。(・す・あやまる・)
 ○範―困とは「者」天地に擬―範シ而周ク・其(の)理を備フルソ「也」(群書治要卷第一「周易」―375・注)。(・す・あまねし・そなふ・ぞ・)
 ○萬―物を曲―成シ而遺(返)サ不(群書治要卷第一「周易」―375)。(・す・のこす・)
 ○曲成トイハ「者」變(返)に乘リ・物(返)に應(去)シて一方に係ラ不(る)者ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」―376・注)。(・といは・のる・す・かかるとなり・)
 ○則(ち)物宜(平濁)を得タリ「矣」(群書治要卷第一「周易」―376・注)。(・たり・)
 ○故に神は方(返)无シ而易は體(音)无シ(群書治要卷第一「周易」―376)。(・つね・なくす・なし・)
 ○神は「則」陰―陽測(返)リエ不。(群書治要卷第一「周易」―377・注)。(・はかる・う・)
 ○易は「則」唯(た)變(して)適(返)ク所ナリ。(群書治要卷第一「周易」―377・注)。(・ゆく・まま・なり・)
 ○一―方―體(返)を以て明(去)す可(去)不「也」(群書治要卷第一「周易」―377・注)。(・あかす・)
 ○仁―者は之(返)を見て之を仁と謂フ。(群書治要卷第一「周易」―377)。(・みる・いふ・)

○智―者は之^(返)を見て之^(返)を智と謂^(ふ)。(群書治要卷第一「周易」
378)(・みる・)

○百姓^{ヒト}日に用^レキレトモ「而」・故^(音)を知^(返)ラ不^(ふ)。(群書治要卷第一
「周易」³⁷⁷・注)(・ひび・もちある・ども・しる・)

○君子^(の)「之」道^(訓)鮮^{スクナ}シ「矣」(群書治要卷第一「周易」³⁷⁸)
(・すくなし・)

○君子は道^(返)に體^(音)シて以て用^{キル}ことを爲^ル者^(もの)ナリ「也」
(群書治要卷第一「周易」³⁷⁹・注)(・す・もちある・す・なり・)

○斯の道に體セル者亦^(た)鮮カラ不^ヤ乎(群書治要卷第一「周易」
³⁷⁹・注)(・す・り・すくなし・や・)

○●諸仁^{アラハ}に顯^レ・諸用^(音)に蔵^ス「イ・蔵ム」(群書治要卷第一「周
易」³⁷⁹)(・あらはる・かくす・をさむ・)

○故に曰ク・諸仁^(二)に顯^(一)ルと。(群書治要卷第一「周易」³⁸⁰・
注)(・いわく・あらはる・)

○日に用^(み)レトモ「而」・知^(返)不^(ら)。(群書治要卷第一「周
易」³⁸⁰・注)(・ひび・もちある・ども・)

○故に曰ク・諸用^(二)に蔵^(一)スと「也」(群書治要卷第一「周易」
³⁸⁰・注)(・いわく・かくす・)

○盛―徳・大―業・至^ル「矣」哉。(群書治要卷第一「周易」³⁸⁰)
(・いたる・かな・)

○富―有^{スル}・之を大業と謂フ(群書治要卷第一「周易」³⁸¹・注)
(・す・いふ・)

○廣―大・悉^ク備^{レリ}。(群書治要卷第一「周易」³⁸¹・注)(・こ
とごとく・そなはる・り・)

○故に富―有と曰フ(群書治要卷第一「周易」³⁸¹・注)(・いふ・)
日に新^{アラタニ}スル・之を盛―徳と謂^(ふ)。(群書治要卷第一「周易」
³⁸¹)(・ひび・あらたにす・)

○化^(返)に體シ・變^(返)に合フ・故に曰ク・日に新^{ヒト}ナリと(群書治要
卷第一「周易」³⁸²・注)(・す・あふ・いわく・ひび・あらたなり・)

○々^(生)を^(音)生^(音)スル・之を易^(入)と謂^(ふ)。(群書治要
卷第一「周易」³⁸²)(・す・)

○陰―陽轉―易^(入)シて以て化―生^(入)を成^ナス「也」(群書治要卷第一「周
易」³⁸²・注)(・す・なす・)

○陰―陽測^(返)リエ不^ル・之を神と謂^(ふ)。(群書治要卷第一「周
易」³⁸²)(・はかる・う・ず・)

○々^(神)は「也」「者」・變―化^(の)「之」極^(音)ナリ「也」
(群書治要卷第一「周易」³⁸³・注)(・なり・)

○萬―物^(二)に妙^(一)シ而言^(返)フことを爲^ス。「イ・爲・」(群書治
要卷第一「周易」³⁸³・注)(・たへにす・いふ・す・)

○形^(返)を以て詰^{ナシ}ル可^(から)不^(る)者^(もの)ナリ「也」(群書治
要卷第一「周易」³⁸³・注)(・なじる・なり・)

○故に曰ク・陰陽測^(ハカ)リエ不^ト「也」(群書治要卷第一「周易」³⁸³・
注)(・いわく・はかる・う・ず・)

○●夫^ツレ易は廣^{ヒロ}シ「矣」・大^ヲナリ「矣」。(群書治要卷第一「周易」
³⁸⁴)(・それ・ひろし・をいなり・)

○以て「平」天地^(の)「之」間^(二)を言^(フ)フトキンハ・則^(ち)備^{ソナハ}
レリ「矣」。(群書治要卷第一「周易」³⁸⁴)(・いふ・ときんば・そ
なはる・り・)

○易「之」載^(返)スル所・此^(の)四^(つ)の義に配^ス「也」(群書

治要卷第一「周易」一386・注（・のす・）
 ○子（に）曰（く）易は其レ至レルカナ「矣」「乎」。（群書治要卷第一「周易」一387）（・それ・いたる・り・かな・）
 ○理（返）を窮めて神（返）に入ル。（群書治要卷第一「周易」一388・注）（・きわむ・はいる・）
 ○其（の）徳崇シ「也」。（群書治要卷第一「周易」一388・注）（・たかし・）
 ○萬一物を兼一濟す。（群書治要卷第一「周易」一388・注）（・ケンセイ・）
 ○其（の）業廣シ「也」。（群書治要卷第一「周易」一388・注）（・ひろし・）
 ○天地・位（返）を設ケ而易（入）「乎」其（の）中（ウチ）に行ク「イ、行ハル」「矣」。（群書治要卷第一「周易」一388）（・もうく・うち・ゆく・をこなふ・る・）
 ○●聖人・以て天下（の）「之」蹟（二）を見（三）ルこと有（三）（り）。（群書治要卷第一「周易」一389）（・をきろ・みる・あり・）
 ○而て諸（の）其（の）形一容（二）に擬（三）へて其（の）物一宜（二）に象（三）ル（群書治要卷第一「周易」一390）（・なすらふ・かたとる・）
 ○乾は剛ナリ・坤は柔ナリ・各（の）其（の）體有リ。（群書治要卷第一「周易」一390・注）（・なり・なり・あり・）
 ○故に曰ク・諸（の）其（の）形一容（二）に擬（三）フと「也」。（群書治要卷第一「周易」一391・注）（・いわく・なすらふ・）
 ○擬（ナスラ）へ「之」而後に言フ。（群書治要卷第一「周易」一391）（・なすらふ・いふ・）

○議（ハカ）（り）「之」而後に動ク。（群書治要卷第一「周易」一391）（・はかる・うごく・）
 ○擬（ナスラ）へ「議（ハカ）（り）て以て其（の）變一化を成す（群書治要卷第一「周易」一391）（・なすらふ・はかる・）
 ○擬（ハカ）へ「議（り）て以て動クトキンハ・則（ち）變一化（の）」「之」道（二）を盡（三）す「也」（群書治要卷第一「周易」一392・注）（・うごく・ときんば・）
 ○我好一爵有リ「イ、有ラハ」・吾爾（返）與（ト）糜（ト）タン「之」（群書治要卷第一「周易」一393）（・あり・あり・ば・あかつ・む・）
 ○鶴鳴クトキンハ則（ち）子（訓）和す。（群書治要卷第一「周易」一394・注）（・なく・ときんば・）
 ○誠（返）を脩（ワサ）ムルトキンハ則（ち）物（訓）應（去）す。（群書治要卷第一「周易」一394・注）（・をさむ・ときんば・）
 ○我好一爵有（り）・物（返）與（ト）散（ト）ツ「之」。（群書治要卷第一「周易」一394・注）（・あかつ・）
 ○鶴「乎」陰（二）に鳴（三）ク・氣同シキトキンハ則（ち）和す。（群書治要卷第一「周易」一394・注）（・なく・おなじ・ときんば・）
 ○言（ト）ヲ戸一庭（二）に出（三）すに・千里應（去）す「之」。（群書治要卷第一「周易」一394・注）（・こと・を・）
 ○言（返）を出（イ）スモ・猶（ほ）然（り）。（群書治要卷第一「周易」一395・注）（・いだす・も・しかり・）
 ○況ヤ・其（れ）大ナル者ヲ乎。（群書治要卷第一「周易」一395・注）（・いわんや・おおいなり・もの・を・や・）（「者」原本には「ヲ」であるが、後部に参照して誤写か）
 ○千里應（去）スルこと或（ア）リ。（群書治要卷第一「周易」一395・注）（・す・あり・）

○況(や)其(れ) 邇(チカ)キ者(モノ)ヲ平(ヤ) (群書治要卷第一「周易」一395・注)
(・ちかし・もの・を・や・)

○子(に) 曰(く) 君子其(の) 室(返) に居(キ)テ其(の) 言(コト)を出(イダ)スコトアリ。(群書治要卷第一「周易」一395)
(・ある・こと・いだし・こと・あり・)

○善(ヨ)キトキンハ則(チ) 千里(の) 「之」 外(返) 應(去) ス「之」。(群書治要卷第一「周易」一396)
(・よし・ときんば・)

○況(や)・其(れ) 邇(チ)キ者(を) 平(ヤ)。(群書治要卷第一「周易」一396)
(・ちかし・や・)

○其(の) 室(返) に居(キ)テ其(の) 言(コト)を出(イダ)スコトアリ。(群書治要卷第一「周易」一397)
(・こと・いだし・こと・あり・)

○善(返) カラ不(チ)ルトキンハ則(チ) 千里(の) 「之」 外(違)フ「之」。(群書治要卷第一「周易」一397)
(・よし・ず・ときんば・たがふ・)

○況(や)・其(れ) 邇(チ)キ者(を) 平(ヤ)。(群書治要卷第一「周易」一397)
(・ちかし・や・)

○言(コト)・「乎」 身(返) に出(イ)テ「乎」 民(に)加(ク)フ。(群書治要卷第一「周易」一398)
(・こと・いつ・くわふ・)

○行(キ)・「乎」 邇(返) キに發(アラ)フ「乎」 遠(チ)キに見(ミ)ユ。(群書治要卷第一「周易」一398)
(・ちかし・あらはる・とほし・みゆ・)

○言(去) 一行(去) は君子(の) 「之」 樞(ス) 機(キ) ナリ(群書治要卷第一「周易」一399)
(・スウキ・なり・)

○樞(ス) 機(キ) は動(去) を制(音) スル「之」 主(ナ)リ(群書治要卷第一「周易」一399・注)
(・す・なり・)

○樞(ス) 機(キ) (の) 「之」 發(イ)リ・榮(イ)辱(イ) (の) 「之」 主(ナ)リ「也」(群書治要卷第一「周易」一399)
(・をこる・なり・)

○言(去) 一行(去) は君子「之」 天(カ) 地(チ) を 動(去) ス所(所) 以(以) ナリ。(群書治要卷第一「周易」一400)
(・うごかす・ゆへ・なり・)

○慎(ツ) マ不(チ)ル可(ケ)レ「乎」。(群書治要卷第一「周易」一401)
(・つゝしむ・ず・べし・)

○同(ト) 一人(ヒト) 先(マ) ツ號(カウ) 一(ヒト) 咷(タウ) シ而(シテ) 後(ノチ) に笑(ワ)フ。(群書治要卷第一「周易」一401)
(・まづ・カウ・タウ・す・わらふ・) 「號」の左下に「戸美反」「咷」の左下に「道美反」

○子(に) 曰(く) 君子(の) 「之」 道(チ) 或(モ) は出(イ)テ・或(モ) は處(ワ)リ・或(モ) 默(モク) シ・或(モ) は語(コト) ル。(群書治要卷第一「周易」一401)
(・いづ・をり・もだす・かたる・)

○二人(ニ) 心(ココロ) を同(ト) スルトキンハ・其(の) 利(ト) イこと金(カネ) を斷(タ) ツ(群書治要卷第一「周易」一402)
(・す・ときんば・とし・たつ・)

○同(ト) 一人(ヒト) 終(ツ) に後(ノチ) に笑(ワ) フこと獲(ウ) ムルは「者(モノ) 同(ト) 心(ココロ) (の) 「之」 應(オウ) 有(アル) (る) を以(モト) ナリ「也」。(群書治要卷第一「周易」一403・注)
(・つひに・わらふ・う・なり・)

○夫(ソノ) レ・所(ナ) 況(キ) へ同(ト) シキ者(モノ) 豈(ナラ) 一(ヒト) 方(カ) に係(カ) レラン哉(ヤ)。(群書治要卷第一「周易」一403・注)
(・それ・なぞらふ・をなじ・かか

る・り・む・) 「況」は本行に「謂」。「謂」と「同」との間に左傍線があつて、位置の間違いか。

○則(チ) 其(の) 迹(ス) 道(チ) 異(ヒ) 一(ヒト) 雖(モ) 同(ト) シキトキンハ則(チ) 應(オウ) ス「也」(群書治要卷第一「周易」一404・注)
(・おなじ・ときんば・)

○同(ト) 一(ヒト) 心(ココロ) (の) 「之」 言(コト) 其(の) 臭(ク) 蘭(ラン) (返) の如(ニ) シ。(群書治要卷第一「周易」一404)
(・ク・ゴとし・)

○藉(シ) クに白(ハク) 茅(マウ) を用(ヨウ) (ル) 咎(ト) 无(ナ) シ。(群書治要卷第一「周易」一404)

(・平濁) を用(ル) (る) 咎(返) 无(し)。(群書治要卷第一「周易」一404)

一「周易」一405) (・しく・ハクバウ・もちゐる・)

○子(に)曰(く) 苟(イヤシク)モ諸(シヨク)地に錯(ヲ)イ而可(音)ナリ「矣」。(群書治要卷第一「周易」一405) (・いやしくも・をく・なり・) (「諸」の左下に「辭字也」)

○藉(シ)クに「之」白(ハク)茅(ハウ)を用(用)ル。(群書治要卷第一「周易」一406) (・しく・バウ・もちゐる・) (「白」の左に「本无」)

○何(ト)の咎(トガ)トイフコトか「之」有(有)ラン。(群書治要卷第一「周易」一406) (・とが・と・いふ・こと・あり・む・)

○慎(ツシ)ミ(の)「之」至(至)レルナリ「也」。(群書治要卷第一「周易」一406) (・つつしむ・いたる・り・なり・)

○君(君)一子(子)終(マ)フルこと有(有)りて吉(吉)ナリ。(群書治要卷第一「周易」一407) (・をふ・なり・)

○子(子)に曰(く) 勞(ラウ)シ而伐(テ)ラ不(不)功(功)返(返)有(有)り而德(徳)返(返)トセ不(不)。(群書治要卷第一「周易」一407) (・す・ほこる・と・す・)

○厚(アツ)イこと(の)「之」至(至)レルナリ「也」。(群書治要卷第一「周易」一408) (・あつし・いたる・り・なり・)

○以(以)て其(其)の功(功)の人(人)返(返)に下(下)ニルことを語(イ)フ者(者)ナリ「也」。(群書治要卷第一「周易」一408) (・くだる・いふ・なり・)

○德(トク)は盛(サカシ)ナルこと(の)を言(イ)フ・禮(レイ)は恭(クワン)ナルこと(の)を言(イ)フは・謙(ケン)ナリ「也」。「者」。(群書治要卷第一「周易」一408) (・さかんなり・いふ・なり・いふ・なり・)

○恭(クワン)返(返)を致(イ)テ以(以)て其(其)の位(イ)を存(ソン)スル者(者)ナリ「也」。(群書治要卷第一「周易」一409) (・いたす・す・なり・)

○戸(コ)一庭(テイ)を出(デ)テ不(不)シテ咎(トガ)无(ム)シ。(群書治要卷第一「周易」一410) (・す・す・とが・なし・)

○子(子)に曰(く) 亂(ラン)の「之」生(シ)ナル所(所)は「也」・則(チ)言(コト)一語(ゴ)之(ノ)階(ケイ)ニ(と)爲(タ)リ。「以(イ)テ階(ケイ)ト爲(リ)」(群書治要卷第一「周易」一410) (・なり・これ・はし・たり・これをもて・はし・と・) (「爲」の左に「本作」)

○君(キミ)密(シカ)ラ不(サ)ルトキンハ・則(チ)臣(チ)を失(シ)フ。(群書治要卷第一「周易」一411) (・きびし・ず・ときんば・うしなふ・)

○々(ツツ)々(ツツ)密(シカ)ラ不(サ)ルトキンハ・則(チ)身(ミ)を失(シ)フ。(群書治要卷第一「周易」一411) (・ときんば・うしなふ・)

○機(キ)一密(シカ)ラ不(サ)ルトキンハ・則(チ)害(ガイ)成(ナ)ル。(群書治要卷第一「周易」一412) (・ときんば・なる・)

○是(シ)レ以(以)て君子(クニシ)は慎(ツシ)密(シカ)ニシ而出(デ)セ不(不)「也」。(群書治要卷第一「周易」一412) (・なり・す・いたす・)

○子(子)に曰(く) 易(イ)を爲(ツク)ル「者」は其(キ)の盜(ヌスビト)を知(チ)乎(カ)。(群書治要卷第一「周易」一413) (・つくる・ぬすびと・)

○言(コト)は盜(ヌスビト)は亦(モトモト)乗(ノ)リ而(デ)至(シ)ル「也」。(群書治要卷第一「周易」一414) (・ひま・のる・いたる・)

○易(イ)に曰(く) 負(ヲ)フて且(マ)タ乗(マ)ル。(群書治要卷第一「周易」一414) (・をふ・また・のる・)

○寇(ク)一至(シ)ルことを致(イ)ス。(群書治要卷第一「周易」一414) (・あだ・いたる・いたす・)

○負(ヲ)フは「也」。「者」・小(コ)一入(ニ)ル「之」事(コト)ナリ「也」。(群書治要卷第一「周易」一414) (・をふ・なり・)

○乗(ノ)ルは「也」。「者」・君子(クニシ)の「之」器(ウツハモノ)ナリ「也」。(群書治要卷第一「周易」一415) (・のる・うつはもの・なり・)

○小(コ)人(ニ)シテ而(デ)君子(クニシ)の「之」器(ウツハモノ)に乘(ノ)ルトキンハ・盜(ヌスビト)奪(ハ)フ。(群書治要卷第一「周易」一415) (・のる・うつはもの・なり・)

ンことを思フ「之」「矣」。(群書治要卷第一「周易」一415) (・なり・す・のる・ときんば・ぬすびと・むばふ・む・おもふ・)

○上「慢り下」暴フルトキンハ「盜伐」タシタシことを思フ「之」「矣」。(群書治要卷第一「周易」一416) (・あなどる・しふ・ときんば・うつ・む・おもふ・)

○蔵(志)を慢ルは盜(返)を誨フルナリ。(群書治要卷第一「周易」一417) (・あなどる・をしふ・なり・)

○容(返)を治ムルは淫(返)を誨フルナリ。(群書治要卷第一「周易」一417) (・かたち・をさむ・をしふ・なり・)

○易に曰(く)・負(マ)フて且(マ)タ乗(マ)ル・寇(マ)至(マ)ルことを致ストイハ・盗(ヒト)を「之」・招(マ)クナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一417) (・をふ・また・のる・いたす・といは・ぬすびと・まねく・なり・)

○●子(ニ)曰(く)易(入)に聖人(の)道(ニ)有(ニ)リ・四ツ「焉」。(群書治要卷第一「周易」一418) (・よつ・)

○以て言(イ)フトキハ「者」・其(の)辭(訓)を尚(タ)フ。(群書治要卷第一「周易」一419) (・いふ・とき・は・たとぶ・)

○以て動(ク)トキンハ「者」・其(の)變(レ)を尚(フ)。(群書治要卷第一「周易」一419) (・うごく・ときんば・たとぶ・)

○以て器(返)を制(ス)ルトキンハ「者」・其(の)象(ヲ)を尚(フ)。(群書治要卷第一「周易」一420) (・す・ときんば・たとぶ・)

○以て卜(筮)ストキンハ「者」・其(の)占(ウ)を尚(フ)。(群書治要卷第一「周易」一420) (・す・ときんば・うらない・たとぶ・)

○此(の)四(つ)は「乎」器(象)に存(セ)リ。(群書治要卷第一「周易」一420) (・す・り・)

○得(テ)而(レ)用(ニ)ル可(ニ)キ者(ナ)リ「也」(群書治要卷第一「周易」一420) (・もちある・べし・なり・)

○是(レ)以て君子(は)將(マ)に爲(ス)ルこと有(返)る(返)と「將」(再讀)

「也」・將(マ)に行(返)フこと有(返)る(返)「將」(再讀)ルトキンハ

「也」・問(ト)フ「焉」。(群書治要卷第一「周易」一421) (・まさに・す・す・まさに・をこなふ・す・ときんば・とふ・)

○而(モ)言(返)を以て其(レ)命(返)を受(ク)ルトキンハ「也」・響(返)の如(シ)。(群書治要卷第一「周易」一422) (・しかれども・こと・うく・ときんば・ひびき・ごとし・)

○遠(近)幽(深)ニ有(ニ)ルこと有(返)る(返)こと无(ク)・遂(ツ)に來(レ)物(ヲ)を知(ル)。(群書治要卷第一「周易」一422) (・なし・つひに・しる・)

○天下(の)「之」至(精)ニ非(ニ)ス(る)は・其(レ)執(力)能(ク)「於」此(に)與(ラ)ン。(群書治要卷第一「周易」一423) (・それ・だれ・か・よく・これ・あづかる・む・)

○參(伍)ニシテ以て變(音)す。(群書治要卷第一「周易」一424) (・なり・す・)

○其(の)數(訓)を錯(入)ニ綜(志)す。(群書治要卷第一「周易」一424) (・サクソウ・)

○其(の)變(返)に通(音)シテ遂(ニ)天下(の)「之」文(ヲ)を成(ス)。(群書治要卷第一「周易」一424) (・す・つひに・)

○其(の)數(返)を極(メ)テ遂(ニ)天下(の)「之」象(ヲ)を定(ス)。(群書治要卷第一「周易」一425) (・きわむ・つひに・)

○天下(の)「之」至(變)ニ非(さる)は・其(レ)執(力)能(ク)「於」此(に)與(ラ)ン。(群書治要卷第一「周易」一425) (・だれ・か・あづかる・む・)

○易(は)思(返)フこと无(ク)「也」・爲(ス)ルこと无(シ)「也」(群書治要卷第一

一「周易」一426) (・おもふ・なし・す・なし・))
 ○寂―然して動(返) (か) 不。(群書治要卷第一「周易」一427) (・す・)
 ○感シ而遂(返) に天下(の)「之」故(音) (二) に通(音) (三) す。(群書治要卷第一「周易」一427) (・す・つひに・)
 ○天下(の)「之」至―神(二) に非(三) (さるは) ・其(れ) 孰(ケ) 力能ク
 「於」此に與ラン。(群書治要卷第一「周易」一427) (・だれ・か・よく・あづかる・む・)
 ○夫(れ) 易は聖人(の)「之」深(返) キを極(め) 而幾(返) を研(アキラカ) スル所(二) 以ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一428) (・ふかし・あきらかんす・なり・) (「幾」の左下に「機本」)
 ○唯(た) 深シ「也」・故に能ク天下(の)「之」志(訓) (二) に通(音) (三) す。(群書治要卷第一「周易」一429) (・ふかし・よく・)
 ○唯(た) 幾ナリ「也」・致(す) に能ク天下(の)「之」務(二) を成(三) す(群書治要卷第一「周易」一430) (・なり・よく・つとめ・) (「幾」の左下に「機本」)
 ○未―形(の)「之」理(二) を極(三) ムルを・則(ち) 深(返) (く) と日(ふ)。(群書治要卷第一「周易」一430・注) (・きわむ・)
 ○動―微(の)「之」會(二) に適(三) クを・則(ち) 幾(返) と日フ「也」(群書治要卷第一「周易」一431・注) (・ゆく・いふ・)
 ○唯(た) 神ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一431) (・なり・) (疾(返) セ不シ而速(返) ナリ。(群書治要卷第一「周易」一431) (・とくす・す・す・すみやかに・)
 ○行(返) カ不シ而至(返) ル。(群書治要卷第一「周易」一431) (・ゆく・す・す・いたる・)
 ○子(に) 日(く) 易に聖―人(の)「之」道四(二) ツ有(三) リトイ

ハ「焉」「者」・此(二) 「之」謂(イ) フナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一432) (・よつ・あり・といは・これ・に・いふ・なり・)
 ○四(つ) の者は聖―道(返) に由(リ) て以て成(ナ) ル。(群書治要卷第一「周易」一433・注) (・よる・なる・)
 ○故に聖人(の)「之」道(二) と日(三) フ「也」(群書治要卷第一「周易」一433・注) (・いふ・)
 ○●夫(れ) 易(入) は物(返) を開(ヒラ) キ・務(返) を成(ナ) シて天下(の)「之」道(二) を冒(三) ハシム。(群書治要卷第一「周易」一433) (・ひらく・つとめ・なす・をほふ・しむ・) (「之」に語順の調整符号あり)
 ○斯(返) (の) 如(キ) 而(レ) 已(ミ) ナリ「者」「也」(群書治要卷第一「周易」一434) (・ごとし・のみ・なり・)
 ○言は易・萬物(の)「之」志(返) に通(音) シて天下(の)「之」務(二) を成(三) す。(群書治要卷第一「周易」一434・注) (・す・つとめ・)
 ○其(の) 道以て天下(二) を覆(フホ) フ可(シ) 「也」(群書治要卷第一「周易」一434・注) (・をほふ・をほふ・) (「也」の左に「爾」)
 ○是(の) 故に・聖人(二) 以(テ) 天下(の)「之」志を通(音) シ・以(テ) 天下(の)「之」業(二) を定(三) メ・以て天下(の)「之」疑(二) を斷(サタ) ム。(群書治要卷第一「周易」一435) (・これをもて・す・これをもて・さだむ・さだむ・)
 ○其(れ) 孰(ケ) 力能ク此(返) に與(ア) ラン哉。(群書治要卷第一「周易」一436) (・だれ・か・よく・あづかる・む・や・)
 ○古(の)「之」聰―明は叡―知神―武ニシ而殺(入) セ不(ル) 者(夫) (群書治要卷第一「周易」一437) (・なり・す・サツ・す・す・か・)

〔「知」の右に「智」〕

○萬一物を服セシムルに・而モ威一刑(二)を以(三)返セ不^サル者ナリ
〔也〕(群書治要卷第一「周易」一438・注)(・す・しむ・しかも・も
てす・ず・なり・)

○是(れ)以て〔於〕天(の)〔之〕道^{アキラカニ}を明^{アキラカニ}シ而〔於〕民(の)〔之〕
故(音)を察^{アキラカニ}す。(群書治要卷第一「周易」一438)(・あきらかにす・
あきらかにす・)

○以て神・其(の)徳(二)を明(三)す。(群書治要卷第一
「周易」一439)(・これをもて・)

○一ヒは闔^{ヒヒタ}キ・一ヒは闕^{ヒヒタ}ク。(群書治要卷第一「周易」一439)
(・ひとたび・ひらく・ひとたび・ひらく・)

○之を變(二)と謂(三)フ。(群書治要卷第一「周易」一439)(・いふ・)
○往一來^{キハマ}シテ窮^{キハマ}ラ不^サル・之を通(音)と謂(三)ふ。(群書治
要卷第一「周易」一440)(・す・きはまる・ず・)

○見^{アラハ}ル、乃(イ)之を象(二)と謂(三)フ(群書治要卷第一「周易」
一440)(・あらはる・いまし・いふ・)

○兆^{チウミ}見ナルを象と曰フ(群書治要卷第一「周易」一440・注)(・チウ・
み・なり・いふ・)

○形^{カタチ}アル乃(し)之を器(訓)と謂(ふ)(群書治要卷第一「周易」一440)
(・かたち・あり・)

○形(返)を成^ナスを器と曰(ふ)(群書治要卷第一「周易」一441・注)
(・なす・)

○制(音)シ而用(ゐ)ル〔之〕・之を法(二)と謂(三)フ。(群書治要卷
第一「周易」一441)(・す・もちゐる・いふ・)

○利一用・出―入シテ民^{コトク}咸^{コトク}に用(ゐ)ル〔之〕。(群書治要卷第一

「周易」一441)(・す・ことごとくに・もちゐる・)

○●法―象は「乎」天地(二)ヨリ大(三)返ナルは莫^シシ。(群書治要卷
第一「周易」一442)(・より・おほいなり・なし・)

○變―通は「乎」四―時(二)ヨリ大(三)返ナルは莫^シシ。(群書治要卷
第一「周易」一443)(・より・おほいなり・なし・)

○懸―象の著―明は「乎」日月(二)ヨリ大(三)返ナルは莫^シシ。(群書
治要卷第一「周易」一443)(・より・おほいなり・なし・)

○崇―高は「乎」富―貴(二)ヨリ大(三)返ナルは莫^シシ(群書治要卷
第一「周易」一444)(・より・おほいなり・なし・)

○位は天下(の)〔之〕動(上)を一シ而萬物(二)を濟(三)スル所(三)
―以ナリ〔也〕(群書治要卷第一「周易」一444・注)(・ひとつにす・
セイ・す・なり・)

○物(返)を備^{ソナ}へ用(返)を致^{ソナ}シテ成―器を立ツ。(群書治要卷第一
「周易」一445)(・そなふ・いたす・たつ・)

○以て天下の利(二)ヲ爲(三)スハ「イ利の爲スルハ」〔乎〕聖人(二)
ヨリ大(三)返ナルは莫^シシ。(群書治要卷第一「周易」一445)(・を・
なす・は・ためにす・は・より・おほいなり・なし・)

○蹟(返)を探^{サク}リ・隱(返)タルを索^{モト}メ・深(返)キを釣^ツリ・遠(返)キ
を致^{サク}シテ以て天下(の)〔之〕吉―凶(二)を定(三)メ・天―下(の)
〔之〕臺(上)々(臺)(二)を成(三)スハ「乎」著―龜(二)ヨリ善(三)
(返)キは莫(し)(群書治要卷第一「周易」一446)(・をきろ・さぐる・
たり・もとむ・ふかし・つる・とほし・いたす・さだむ・ビビ・な
す・より・よし・)〔臺〕の左に「亡偉反」

○子(に)曰(く)天〔之〕助(返)クル所は「者」・順(去)ナリ〔也〕
(群書治要卷第一「周易」一448)(・たすく・なり・)

○人〔之〕助(返)クル所は「者」・信(去)ナリ〔也〕(群書治要卷
第一「周易」一448)(・たすく・なり・)

○利―用・出―入シテ民^{コトク}咸^{コトク}に用(ゐ)ル〔之〕。(群書治要卷第一

○信(返)を履(み)て「乎」順(二)を思(三)フ。(群書治要卷第一「周易」一449)(・おもふ・)

○是(れ)以て天(返)自(り)佑(ク)「之」。(群書治要卷第一「周易」一449)(・たすく・)

○吉(音)ニシテ利アラ不トイフこと无シ(群書治要卷第一「周易」一449)(・なり・す・あり・ず・と・いふ・なし・)

○●天地(の)「之」道は貞(平)ニシテ觀(ル)者ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一450)(・なり・す・て・み・らる・なり・)

○夫の天地萬物(二)を明(三)スルトキンハ其(の)貞(返)を保(ち)て以て其(の)用(二)を全(三)セ不(三)トイフこと莫シ「也」(群書治要卷第一「周易」一450・注)(・あきらかにす・ときんば・たもつ・またうす・ず・と・いふ・なし・)

○日月(の)「之」道は貞ニシテ明ナル者ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一451)(・なり・す・て・あきらかなり・なり・)

○天下(の)「之」動は夫(の)一(二)に貞(音)ナル者ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一451)(・なり・なり・)

○何を以て位(返)を守ル。(群書治要卷第一「周易」一453)(・まぼる・)

○日(く)・仁。(群書治要卷第一「周易」一453)(・いわく・)

○何を以て人(返)を聚(ム)ル。(群書治要卷第一「周易」一453)(・あつむ・)

○々(財)は物の生(平)を資(ク)ル所(一)以ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一453・注)(・たすく・なり・)

○財(返)を理(メ)・辭(返)を正(シ)て民(の)非(音)を爲(ス)ルを禁(ム)ルを・義(返)と曰(ふ)(群書治要卷第一「周易」一454)(・

をさむ・ただしうす・す・いさむ・)

○●易に曰(く)「于」石(二)に困(三)ヒ「于」蒺(一)藜(二)に據(二)ル。(群書治要卷第一「周易」一454)(・くるしぶ・シツレイ・よる・)

○子(に)曰(く)困(返)フヘキ所(返)に非(り)而困フトキンハ「焉」・名必(す)辱(メ)ラル。(群書治要卷第一「周易」一455)(・くるしぶ・べし・くるしぶ・ときんば・はづかしむ・らる・)

○據(返)ルヘキ所(返)に非(り)而據ルトキンハ「焉」・身必(す)危(返)シ。(群書治要卷第一「周易」一456)(・よる・べし・よる・ときんば・あやふし・)

○不(義)に畏(三)リ不。(群書治要卷第一「周易」一456)(・おそる・)

○利(返)を見(返)不ルトキンハ・勸(返)マ不。(群書治要卷第一「周易」一457)(・ず・ときんば・すすむ・)

○威(返)セ「イ、威アラ」不ルトキンハ・懲(返)リ不。(群書治要卷第一「周易」一458)(・す・あり・ず・ときんば・こる・)

○小(シ)キに懲(シ)而大に誠(ム)。(群書治要卷第一「周易」一458)(・すこし・こるす・いましむ・)

○此(れ)小人(の)「之」福(ナ)リ「也」(群書治要卷第一「周易」一458)(・さいはひ・なり・)

○易(に)曰(く)校(返)を履(テ)趾(返)を滅(ル)。(群書治要卷第一「周易」一459)(・かし・ふむ・あし・いる・)

○谷(返)无(シ)トイハ・此を「之」謂(フ)ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一459)(・とが・なし・といは・これ・いふ・なり・)

○善(音)積(返)ラ不ルトキンハ・以て名(返)を成(二)に足(三)に足(三)返

(ら)不。(群書治要卷第一「周易」一459)(・つもる・ず・ときんば・)
○惡積(返)ラ不ルトキンハ・以て身(返)を滅(二)スに足(三)返ラ
不。(群書治要卷第一「周易」一460)(・つもる・ず・ときんば・ほ
ぼす・たる・)

○小人は小一善(返)を以て益(返)无(返)(く)と爲而爲(返)弗「也」
(群書治要卷第一「周易」一461)(・す・す・ず・)

○小一惡(返)を以て傷(返)レ无(返)(く)と爲而去(返)ラ弗「也」(群
書治要卷第一「周易」一461)(・やぶる・す・さる・)

○故に惡積(返)而掩(返)フ可(から)不。(群書治要卷第一「周易」一462
(・つもる・をほふ・)

○罪大キニシ而解(返)ク可(から)不「也」(群書治要卷第一「周易」一462
(・おほし・なり・す・とく・)

○易に曰(く)・校(返)を荷(返)て耳(返)を滅(返)ル・凶(返)シ。(群書
治要卷第一「周易」一463)(・かし・になふ・いる・あし・)

○子(に)曰(く)危(返)キ者(返)は其(返)の位(返)に安(返)キ者(返)ナリ「也」(群
書治要卷第一「周易」一463)(・あやふし・やすし・なり・)

○亡(返)スル者(返)は其(返)の存(返)を保(返)ツ者(返)ナリ「也」(群書治要卷第一
「周易」一464)(・す・たもつ・なり・)

○亂(返)ル者(返)は其(返)の治(返)有(返)ツ者(返)ナリ「也」(群書治要卷第一「周
易」一465)(・みだる・たもつ・なり・)

○是(返)の故(返)に・君子(返)は安(返)ケレトモ危(返)カラン(返)ことを忘(返)レ不。
(群書治要卷第一「周易」一465)(・やすし・ども・あやうし・む・
わする・)

○存(返)スレトモ亡(返)セン(返)ことを忘(返)レ不。(群書治要卷第一「周易」
一465)(・ソソ・す・ども・す・む・わする・)

○治(返)レ、トモ亂(返)レン(返)ことを忘(返)レ不。(群書治要卷第一「周
易」一466)(・おさまる・り・ども・みだる・む・)

○是(返)れ)以て身(返)安(返)シ而(返)家(返)保(返)ツ可(返)し「也」(群書治要卷
第一「周易」一466)(・やすうす・たもつ・)

○易に曰(く)・其(返)レ亡(返)ヒナン・其(返)れ)亡(返)レ(返)ナントシテ「イ
亡(返)レ(返)ナントイテ」[于]苞(返)桑(返)に繫(返)レリ「繫(返)ク」。(群書治要卷第
一「周易」一467)(・それ・ほろぶ・ぬ・む・ぬ・む・と・して・ぬ・
む・と・いふ・かかる・り・かく・)

○子(に)曰(く)德(返)薄(返)シ而(返)位(返)尊(返)ク・智(返)小(返)シ而(返)謀(返)大(返)ニ・力(返)小
シ而(返)任(返)重(返)キは及(返)不(返)トイフ(返)こと鮮(返)シ「矣」。(群書治
要卷第一「周易」一468)(・うすうす・たとし・すこしきにす・をほ
きなり・すこしきにす・をもし・ほろびる・ず・と・いふ・すくな
し・)

○易(に)曰(く)鼎(返)足(返)を折(返)りて公(返)の餽(返)を覆(返)ス。(群書治
要卷第一「周易」一469)(・かなえ・をる・こなかき・こぼす・)

○其(返)の形(返)渥(返)タリ・凶(返)シとは其(返)の任(返)に勝(返)エ不(返)レ(返)
ことを言(返)フナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一470)(・かたち・ア
ク・たり・あし・たえる・いふ・なり・)

○子(に)曰(く)幾(返)を知(返)レルは其(返)れ)神(返)乎。(群書治要卷
第一「周易」一470)(・しる・り・)

○君子(返)は上(返)に交(返)レトモ諂(返)ハ不。(群書治要卷第一「周易」一471
(・かみ・まじはる・ども・へつらふ・)

○下(返)に交(返)レトモ瀆(返)レ不。(群書治要卷第一「周易」一471)(・
しも・まじはる・ども・けがる・)

○其(れ)幾(返)を知レル乎。(群書治要卷第一「周易」一471)(・しる・り・)

○幾は「者」動(音)(の)「之」微(平輕)ナリ。(群書治要卷第一「周易」一472)(・なり・)

○君子は幾(返)を見而作ス。(群書治要卷第一「周易」一472)(・なす・)

○日(返)を終(返)フルを俟(返)タ不。(群書治要卷第一「周易」一473)(・ひ・をふ・まつ・)

○易に曰(く)「于」石(二)返に介(三)シて日(返)を終(返)エ不・貞ニシテ吉ナリ(群書治要卷第一「周易」一473)(・もはらす・をえる・なり・す・て・なり・)

○「之」「於」始(二)メに定(三)メツ・故に日(返)を終(返)フルを待(返)つ・をふ・)

○君子は微(平濁)を知リ・彰(平輕)を知リ・柔(平濁)を知リ・剛(平)を知ル。(群書治要卷第一「周易」一474)(・しる・しる・しる・しる・)

○萬一夫(の)「之」望(去濁)ナリ(群書治要卷第一「周易」一474)(・なり・)

○此レ幾(返)を知レルは・其(れ)神ナル者ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一475・注)(・これ・しる・り・なり・なり・)

○子(に)曰(く)顔一氏(の)「之」子・其(れ)幾(返)を庶(返)フに殆キ「イ、殆ニ幾(を)庶ヘル」乎。(群書治要卷第一「周易」一475)(・こひねがふ・ちかし・ほとをとに・こひねがふ・り・かな・)

○不―善有ルトキンハ・未(た)嘗ヨリ知(返)「ら」不(二)スレハアラ「未」(再讀)(二)。(群書治要卷第一「周易」一476)(・あり・ときんば・むかし・より・す・ば・あり・)

○々(知)(り)ヌルトキンハ「之」未(た)嘗ヨリ復(た)行(二)ハ「未」(再讀)(三)「也」(群書治要卷第一「周易」一476)(・ぬ・ときんば・より・をこなふ・)

○易(に)曰(く)遠(返)カラ不シテ復(音)祇(二)悔(三)ナル无(三)シ・元―吉ナリ。(群書治要卷第一「周易」一477)(・とほし・ず・す・をほいなり・なし・なり・)

○子(に)曰(く)君子は其(の)身を安シ而後に動ク。(群書治要卷第一「周易」一477)(・やすくす・うごく・)

○其(の)心を易シ而後に語ル。(群書治要卷第一「周易」一478)(・やすくす・かたる・)

○其(の)交(マシハリ)を定メ而後に求(む)。(群書治要卷第一「周易」一478)(・まじはり・さだむ・)

○君子は此の三(つ)の者を脩ム。(群書治要卷第一「周易」一479)(・をさむ・)

○故に全シ「也」(群書治要卷第一「周易」一479)(・またし・)

○危シテ以て動クトキンハ・則(ち)民興(返)セ不「也」(群書治要卷第一「周易」一479)(・あやうくす・うごく・ときんば・くみす・)

○懼リて以て語ルトキンハ・則(ち)民應(去)返セ不「也」(群書治要卷第一「周易」一480)(・をそる・かたる・ときんば・す・)

○交(返)无シ而求ムルトキンハ則(ち)民興(返)セ不。(群書治要卷第一「周易」一481)(・まじはる・なくす・もとむ・ときんば・くみす・)

○莫キトキンハ「之」與スルコト・則(ち)傷ル、「之」者至ル「矣」(群書治要卷第一「周易」一481)(・なし・ときんば・くみす・こと・やぶる・いたる・)

○●子(に)曰(く)履(上)は徳(の)「之」基ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一482)(・もとゐ・なり・)

○基は蹈(返)ム所ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一482・注)(・ふむ・なり・)

○謙(平輕)は徳(の)「之」柄ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一482)(・かひ・なり・)

○復(入)は徳(の)「之」本ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一483)(・もと・なり・)

○恒(平)は徳(の)「之」固ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一483)(・かため・なり・)

○固とは傾(かた)キ移(サ)ラ不(サ)ルソ「也」(群書治要卷第一「周易」一483・注)(・かたふく・うつる・ず・ぞ・)

○損(去)は徳(の)「之」脩(フサメ)ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一483)(・をさめ・なり・)

○益(入)は徳(の)「之」裕(イウ)ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一484)(・イウ・なり・)

○能ク物(返)を益スル者は其(の)徳・寛一大ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一484・注)(・よく・す・なり・)

○困(去)は徳(の)「之」辯(去)ナリ「也」(群書治要卷第一「周易」一484)(・なり・)

○困(去)而益(テ)明(訓)ナリ(群書治要卷第一「周易」一485・注)(・く
るしむ・ますます・あきらかなり・)

○●夫(レ)乾(ハ)天下(の)「之」至(一)健(ナリ)「也」(群書治要卷第一「周易」一485)(・それ・なり・)

○徳一行(去)・恒(イ)に易(去)ニシテ以テ險(返)を知ル。(群書治要卷第一

「周易」一485)(・イ・なり・す・しる・)

○夫(レ)坤(ハ)天下(の)「之」至(一)順(ナリ)「也」(群書治要卷第一「周易」一486)(・それ・なり・)

○徳一行(去)・恒(イ)に簡(上)ニシテ以テ阻(上)を知ル。(群書治要卷第一「周易」一486)(・カン・なり・す・シヨ・しる・)

○能ク諸(二)の心(二)悦(ヨロコ)ハシメテ能ク諸(一)侯(の)「之」慮(ワモンハカリ)ヲ研(アキラカシ)ス(群書治要卷第一「周易」一487)(・よく・よろこぶ・しむ・よく・をもんばかる・あきらかんす・)

○諸侯(ハ)物一主(ナリ)。(群書治要卷第一「周易」一487・注)(・なり・)

○爲(返)ル(コト)有(ル)者(ナリ)「也」(群書治要卷第一「周易」一487・注)(・す・あり・なり・)

○能ク萬物(の)「之」心(返)を悦(ハシ)メテ能ク精(クハ)シ。(群書治要卷第一「周易」一488・注)(・よく・よろこぶ・しむ・よく・くはし・)

○者(の)務(二)を爲(ス)ル(ナリ)「也」(群書治要卷第一「周易」一488・注)(・もの・つとむ・す・なり・)

○天下(の)「之」吉一凶(二)を定(ニ)メ・天下(の)「之」亶(ヒ)々(亶)ヲ成(ナ)ス者(ナリ)。(群書治要卷第一「周易」一488)(・さだむ・

ビビ・なす・もの・なり・)

○凡(そ)・易(入)の(の)「之」情(訓)は近(チカ)ク而相(ヒ)得(二)不(三)ル(ト)キンハ・則(チ)凶(シ)シ(群書治要卷第一「周易」一489)(・ちか
うす・ず・ときんば・あし・)

○近(ト)は比(一)文(二)に況(三)フル(ソ)「也」(群書治要卷第一「周易」一490・注)(・ならぶ・ぞ・)

- 將マに叛ソムカンこと「將」(再讀)ル者は其モノ(の)辭コトハチ慙モタリ。(群書治要卷第一「周易」一490)(・まさに・そむく・む・す・もの・ことば・はぢ・たり・)
- 中―心に疑モノヘル者は其モノ(の)辭ワカ枝カル。(群書治要卷第一「周易」一490)(・うたがふ・り・もの・わかる・)
- 吉―人は辭スケナ寡シシ。(群書治要卷第一「周易」一491)(・すくなし・)
- 躁―人ノ「之」辭は多シシ。(群書治要卷第一「周易」一491)(・おほし・)
- 善(返)を誣シフル「之」人は其モノ(の)辭オコ游ケリケリ。(群書治要卷第一「周易」一491)(・しふ・および・り・)
- 其(の)守(まほ)りリを失スフ者は其モノ(の)辭イ屈スす(群書治要卷第一「周易」一492)(・まぼり・うしなふ・)
- 昔者・聖人の易(入返)を作ツクルこと「也」・將ヲに以テて性―命(の)「之」理(二)に順シタカハんと「將」(再讀)「也」(群書治要卷第一「周易」一492)(・つくる・したがふ・む・)(上欄に「昔者聖人已下四十一字説卦文也非繫辭文」)
- 是(れ)以テて天(の)「之」道ヲを立タテは・陰ト與ト陽ト「與」(再讀)曰フ。(群書治要卷第一「周易」一493)(・たつ・いふ・)
- 地(の)「之」道ヲを立タテは・柔ト與ト剛ト「與」(再讀)曰フ。(群書治要卷第一「周易」一494)(・いふ・)
- 人(の)「之」道ヲを立タテは・仁ト與ト義ト「與」(再讀)曰フ(群書治要卷第一「周易」一494)(・いふ・)

金澤文庫本『群書治要』卷第五春秋左氏傳中 王暄

宣公

○々(宋)の華―元・之(を)禦ク。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」)

・4) (・ふせく・)

○將に戰ハんと「將」(再讀)ルトキニ・華―元羊(訓)(返)を殺シテ士(返)に食ハシム。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・4) (・まさ

に・たたかふ・む・す・とき・に・ころす・くらふ・しむ・)

○其(の)御(音)・羊―斟(平)・與(返)ラ不。(群書治要卷五「春秋

左氏傳中」・5) (・ヤウシン・あづかる・) (「斟」、左傍に「之金反」。

○戰(返)に及(ひ)て曰(く)・疇昔ノ「之」羊(訓)には子・

政(返)を爲キ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・5) (・たたかひ・さ

きのひの・す・き・)

○今―日(の)「之」事には我政(返)を爲ントイテ與に鄭の師に

入ル。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・6) (・けふ・す・む・と・

いふ・いくさ・いる・)

○故に敗レタリ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・7) (・やぶる・

たり・)

○●晋(の)靈公不―君ナリ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・7) (・

○君の道を失へリ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・7・注) (・うし

なふ・り・)

○厚ク斂(音)シテ以て牆(返)に彫ク(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・

7) (・あつく・レン・す・て・かき・ゑがく・)

○臺―上從リ人(返)を彈(音)シテ其の丸(音)シテ避(二)

(くる)を觀(二) (る)「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・7)

(・より・す・)

○宰―夫・熊の蹯(音)を躡ク・熟(音)セ不「イ、熟(左、ナラ)不」。

(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・8) (・くま・たなごころ・ゆびく・

す・なり・)

○之(返)を殺(し)て諸(を)奮(上)に眞イテ婦―人(返)を使得

載(せ)て以て朝(音)を過(二)キ「使」(再讀) (む) (群書治要

卷五「春秋左氏傳中」・9) (・ホン・をく・すぐ・)

○畚は筐(上)の屬(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・9・注) (・キ

ヨ・たぐひ・)

○趙―盾・士―季・之(を)患フ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・9)

(・うれふ・)

○士季曰(く)・諫(め)而入(返)レラレ不(は)則(ち)之(を)繼(二)

クこと莫(二) (か)ランヤ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・10)

(・いる・らる・ずんば・つぐ・なし・む・や・)

○會(音) 請(音)フ先(音) セン。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・10) (こふ・す・む・む)

○入(返) (れ) ラレ不(は) 則(ち) 子(を) 之(を) 繼(ツ)ケ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・11) (・らる・つぐ・)

○三(ミ)ヒ進(ス)ム。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・11) (・みたび・すすむ・)

○溜(去) (返) に及(ヒ) 而(テ)後(テ)に之(を) 視(ル) (群書治要卷五「春秋左氏傳中」・11) (・みる・)

○三(ミ)ヒ進(ス)ム三(ミ)ヒ伏(フ)ス。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・12) (注) (・みたび・すすむ・みたび・ふす・)

○公省(返) ミ不(フ)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・12) (・かへりみる・)

○而(テ)又(タ) 前(ス)ム「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・12) (注) (・すすむ・)

○公諫(メン) (と) 欲(ス)ルことを知(レ)リ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・12) (注) (・いさむ・む・ほす・しる・り・)

○故(ニ)に伴(イッ) (り) て視(返) 不(フ) (群書治要卷五「春秋左氏傳中」・12) (注) (・いつはる・)

○曰(イハ) (く) 吾過(ツ)所(ヲ)を知(レ)リ「矣」。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・12) (・いはく・あやまつ・しる・り・)

○將(ニ)に之(を) 改(メ)ン。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・12) (・あらたむ・む・)

○稽(シ)首(ヲ)而對(ヘ) (て) 曰(ク) 人誰(ア)か 過(ヤ) 無(カ) ラン。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・12) (・す・あやまち・なし・む・)

○々(ツ)過(チ) 而能(ク) 改(ム)ルは善(音) 焉(返) ヨリ大(返) ナルは莫(シ)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・13) (・あらたむ・これより・おほきなり・)

○詩(ニ) 曰(ク) 初(ハ) 有(返) (ら) 不(返) トイフこと靡(ナ)シ・克(キ)ク終(ハ) 有(二) (る) こと鮮(ス)シ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・13) (・はじめ・ず・と・いふ・なし・よく・をはり・すくなし・)

○夫(フ)レ是(返) (くの) 如(キ)は則(チ) 能(ク) 過(返) を補(フ)者(者) 鮮(シ)「矣」。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・14) (・それ・ごとし・をきぬふ・すくなし・)

○君能(ク) 終(返) (る) こと有(ラ)は 則(チ) 社(ノ)稷(ノ)「之」固(カ)ナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・15) (・あり・かため・なり・)

○豈(ニ) 唯(タ) 群(ノ)臣(ノ)之(を) 頼(ル)ノミナランヤトイフ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・15) (・かうぶる・のみ・なり・む・や・と・いふ・)

○猶(ホ) 改(返) メ不(フ)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・15) (・あらたむ・)

○宣子驟諫(む)。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・16〕(・しばしば・)

○公之(を)患フ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・16)(・うれふ・)

○鉏(平)―魔(平濁)(返)を使之(を)賊(音)セ「使」(再讀)(む)(群

書治要卷五・16)(・シヨベイ・す)(「鉏」、左傍に「仕俱反」。「魔」、左傍に「音迷一五兮反」。

○晨(アした)に往(き)・寝―門闢ケリ「矣」。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・16)(・あした・ひらく・り・)

○盛―服シテ將に朝(返)センと「將」(再讀)。(群書治要卷五「春秋左

氏傳中」・17)(・す・て・す・む・)

○尚(ほ)早(し)坐(キま)〔し〕而假に寐ネタリ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・17)(・ゐます・かりに・いぬ・たり・)

○衣―冠を解カ不(し)而睡ル(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・17・

注)(・ぬぐ・ねぶる・)

○魔退(きて)歎(ナげ)而言(ヒ)て曰(ク)・恭―敬を忘レ不ルは・

民(の)「之」主(音)ナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・18)

(・なげく・いふ・わする・ず・なり・)

○民(の)「之」主を賊セは・不―忠ナリ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・18)(・す・なり・)

○君(の)「之」命を棄テ(る)は・不―信ナリ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・19)(・すつ・なり・)

○「於」此(二)に一ツモ有(ニ)ルは死(返)〔返)す〕ルに如(返)カ不ト

イテ槐(音)〔返)に觸レ而死ヌ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・19)(・これ・いつ・も・あり・す・しく・じ・と・いふ・ふる・しぬ・)

○晉侯趙―盾に酒(二)を飲(ニ)マシム。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・20)(・のむ・しむ・)

○甲(返)〔返)を伏せて將に之(を)攻メンと「將」(再讀)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・20)(・かぶと・ふす・せむ・む・)

○其(の)右(音)提(平)―彌(平濁)―明之(を)知レリ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・21)(・シビメイ・しる・り・)〔提〕、左傍に「上支反」。

○趨リ―登ンテ曰(ク)・臣宴(返)に侍ルトキニ・三爵に過(ク)ルは

禮(返)〔返)に非(す)トイテ遂に跌ニシテ以テ下ル。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・21)(・わしる・すすむ・はべり・とき・に・すぐ・と・いふ・つひに・すあし・に・す・をる・)

○公・夫ノ癸(平濁)に嗾ハシム「焉」。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・22)(・かの・ガウ・くらふ・しむ・)〔癸〕、左傍に「五羔反」。

○明(音)・搏(ち)而之(を)殺シツ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・22)(・うつ・ころす・つ・)

○盾か曰(く)・人(返)を棄(去)テて犬(訓)を用ウ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・23)(・すつ・もちう・)

○猛(返)シと雖(も)何(ナニ)ヲカ(爲)ントイテ鬪(ヒ)て且(マ)夕出(つ)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・23)(・たけし・なに・を・か・す・む・と・いふ・たたかふ・また・)

○公の士を養(は)不(シ)而更(て)に犬(返)を以(て)己(己)か用(去)。(一)と爲(二)ルことを責(セ)ム(三)「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・23・注)(・す・す・せむ・)

○趙―穿―桃―園に於(ひて)靈公を攻(ム)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・24)(・せむ・)

○宣子未(た)山(返)を出(返)「未」(再讀)而復(ル)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・24)(・かへる・)

○晉(の)境の「之」山ソ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・25・注)(・ぞ・)

○盾出―奔スルに「イ、出―奔スルときに」イ、公(を)弑(去)セラレヌと聞(き)而還(ル)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・25・注)(・す・シ・す・らる・ぬ・かへる・)

○大史書(シ)テ曰(く)・趙―盾其(の)君を殺(去)セリと。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・25)(・しるす・す・り・)

○宣子曰(く)然(返)レハアラ不。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・26)(・しかり・ば・あり・)

○對(へて)曰(く)子正―卿(返)爲(シ)て亡(音)スルこと境を越(え)不。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・26)(・す・す・)

○反(り)て賊を討(セ)不。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・27)(・す・)

○子(返)に非(ス)シ而誰(テ)ソ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・27)(・あらず・す・ぞ・)

○孔子曰(く)董(上)―狐(平)は古(の)「之」良―史ナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・27)(・いにしへ・なり・)

○法(返)を書(シ)テ隱(サ)不(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・28)(・しるす・かくす・)

○盾か「之」罪(二)を隱(三)サ不(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・28・注)(・かくす・)

○趙宣子は古(の)「之」良―夫ナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・28)(・なり・)

○法(返)の爲(去)に惡(入)を受(ク)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・29)(・うく・)

○其(の)法(返)の爲に屈(入)スルことを善(三)ム「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・29・注)(・す・ほむ・)

○●三年楚子陸渾(平輕) (の) 「之」戎を伐ツ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・29) (・リクコン・うつ・)

○遂に「于」雒(二)に至(二)ル。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・30) (・つひに・ラク・いたる・)

○兵を「于」周の疆(サカヒ)に觀(シメ)す。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・30) (・さかひ・しめす・)

○定一王・王―孫―滿(返)を楚子を勞(音)セ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・30) (・す・)

○楚子鼎(カネ) (の) 「之」大―小輕―重(二)を問(二)フ「焉」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・31) (・かなへ・とふ・)

○周(返)を逼(り)て天下(二)を取(二)らん(返)と欲(三)スル(返)ことを示す「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・31・注) (・ほす・)

○昔・夏(上) 「之」方に德(返)有ルトキニ「也」遠―方物(返)を圖(音)す(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・32) (・あり・とき・に・)

○禹(の) 「之」世ソ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・32・注) (・ぞ・)

○山―川奇―異の「之」物を圖―畫(クワ)シ而獻(テ)す(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・33・注) (・トクワ・す・)

○金を九―牧(二)に貢(音)セシム(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・33) (・す・しむ・)

○九州(の) 「之」牧(返)を楚子(返)を金(返)を貢(二)セ「使」(再讀) (二) (む) (群書治要卷五「春秋左氏傳中」・33・注) (・す・)

○鼎(返)を鑄(イ)て物に象(カト)ル(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・33) (・かたどる・)

○圖(返) (する) 所の物(二)に象(二)ル(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・34・注) (・かたどる・)

○鬼神百物の「之」形(二) (返)を圖(音)シテ民(返)を楚子(返)を逆(アラカシ)メ之(二)に備(二)ヘ「使」(再讀) (二) (む) (群書治要卷五「春秋左氏傳中」・34・注) (・す・あらかじめ・そなふ・)

○故に民・川―澤山―林―入ルトキニ螭(チ) (平)―魅(ヒ) (去濁)―罔(ハク) (去濁)―兩能ク之(二)に逢(ア)フこと莫(二)シ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・34) (・いる・とき・に・チビ・パウリヤウ・よく・あふ・なし・)

○用(テ)能(ク) 「于」上下(返)に協(カ)テ以て天の休(平)を承(ウ)ク(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・35) (・もて・かなふ・うく・)

○民・災―害(返)無(ク)シテ則(チ)上下和(音)シ而天の祐(カスケ)を受ク(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・36・注) (・なくす・す・たすけ・うく・)

○桀・昏(平輕)―德(二) (返)有(二) (り)テ鼎・「于」商に遷(ル)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・36) (・うつる・)

○々(商)―紂暴―虐ニシテ鼎「于」周に遷(ル)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・37) (・なり・す・て・)

○德「之」・休―明ナルトキンハ・小スコンキ（返）ナリと雖（も）重シ（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・37）（・トク・なり・ときんば・すこしきなり・おもし・）

○遷ス可（から）不（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・38・注）（・うつす・）

○其（の）姦（平）―回（平）昏―亂ナルトキンハ・大（返）ナリと雖（も）

輕シ「也」（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・38）（・なり・ときんば・

おほきなり・かろし・）

○天―祚・明―德・底（イダ）シ―止マル所有（り）（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・38）（・いたし・とまる・）

○底（イダ）「イ、底（平）」は致（去）（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・39・

注）（・いたし・）

○周の德衰（返）（へ）タリと雖（も）天命未（た）改（返）（まら）「未（再讀）」。
（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・39）（・たり・）

○鼎（の）「之」輕―重をは未（た）問フ可（から）「未（再讀）」「也」（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・39）（・とふ・）

○●四年楚子・若―敖―氏を滅（ホル）す。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・41）（・ほろぼす・）

○其（の）孫（訓）箴（平）―尹克―黄は「于」齊（ツカ）に使ヒタリ。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・41）（・シンキン・つかふ・たり・）「箴」、左傍に「之金返」。

○還（り）て宋（返）に及フトキニ・亂を聞（く）。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・42）（・およぶ・とき・に・）

○其（の）人の曰（く）・以て入ル可（から）不「矣」。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・42）（・いる・）

○天をは逃（カ）ル可ケン乎トイテ遂に歸（り）て復―命す。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・43）（・のがる・べし・む・や・と・いふ・て・）

○自（ミツカ）（ら）「於」司―敗（二）に拘（三）ハル。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・44）（・みづから・とらふ・る・）

○王・子―文（の）「之」楚國（二）（返）（を）治（二）メシことを思（三）（ひ）て「也」曰（く）・子―文後（返）無クは・何を以て善（返）（返）を

勸メントイテ其（の）所に復（音）セ使む（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・44）（・おさむ・き・なし・すすむ・む・と・いふ・す・）

○十年に夏―徵―舒―君を弑（去）セリ「也」（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・46・注）（・シ・す・り・）

○陳（の）―人に謂ク・動（返）クこと無（か）レ。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・46）（・かたらく・うごく・なし・）

○將に「於」少—西—氏（二）を討（音）（二）セン「矣」（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・46）（・す・む・）

○遂に陳（返）（返）に入（り）て夏—徵—舒を殺す（音）（二）（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・47）（・ころす・）

○陳（返）（返）を滅（ほろ）（返）して以て楚（の）縣と爲（す）（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・48・注）（・ほろぼす・）

○申—叔—時・「於」齊に使（ひ）タリ。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・48）（・たり・）

○反（り）て復—命シテ「而」退ク。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・48）（・す・て・しりぞく・）

○王—之（返）（を）讓（返）メ使（め）て曰（く）・夏—徵—舒・不道（返）を爲（す）て其（の）君を弑（去）す。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・49）（・せむ・す・）

○寡—人・諸侯（返）を以て討（音）シ而之（を）戮す。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・49）（・ひきあむ・す・）

○諸—侯縣—公・皆（な）寡人を慶（よ）（返）フ（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・50）（・よろこぶ・）

○楚（の）縣大夫・皆（な）僭（去）シて公と稱す（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・50・注）（・す・）

○汝獨（り）寡人（二）を慶（よ）（返）ハ不。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・51）（・よろこぶ・）

○何の故ゾ。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・51）（・ぞ・）

○其（の）罪大ナリ「矣」。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・51）（・おほきなり・）

○之（を）討—戮スルは・君（の）「之」義ナリ「也」（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・52）（・す・なり・）

○抑人（訓）亦（た）言（返）ヘルこと有（り）。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・52）（・そもそも・いふ・り・）

○曰（く）牛（返）（返）を牽（ヒ）て以て人（の）「之」田を蹊（フタ）ル（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・52）（・ひく・わたる・）

○抑は辭（コト）「也」（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・53・注）（・ヨク・ことば・）

○而（る）を・之（か）牛（二）を奪（二）フ。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・53）（・うばふ・）

○牛（返）（返）を牽（き）て以て蹊（ル）は「者」信に罪（返）有リ「矣」。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・53）（・わたる・あり・）

○而（る）を之（か）牛（二）を奪（二）フは罰（入）已に重シ「矣」。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・54）（・うばふ・をもし・）

○諸侯(の)「之」從フ(や)「也」曰ク罪(返)有(返)を討スルナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・54)(・したがふ・いへらく・す・なり・)

○其(の)富を(貪ル)ナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・55)(・とみ・むさぼる・なり・)

○討(返)を以て諸侯を召フ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・55)(・よぶ・)

○而て貪(返)を以て歸ル「之」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・56)(・かへる・)

○無乃口・不可ナラン乎。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・56)(・むしろ・なり・む・か・)

○之(を)反サンこと可ナリ「乎」。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・57)(・かへす・む・なり・)

○對(へて)曰(く)可ナリ「哉」。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・57)(・なり・)

○吾か儕ノ小一人の所謂ル諸(を)其(の)懷(二)に取(三)り而之(を)與フトイフナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・57)

(・ほなみ・の・いはゆる・ふところ・とる・あたふ・と・いふ・なり・)

○叔時・謙シテ小人に(シ)て意淺(二)シと言(三)フ。(群書治

要卷五「春秋左氏傳中」・58・注)(・す・あさし・いふ・)

○譬如(は)人の物を「於」其(の)懷(二)に取(三)り而之(を)還(上)す(す)を謂(下)フ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・58・注)(・たとへば・いふ・)

○「於」還(返)不(二)に愈(三)レリと爲「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・58・注)(・まさる・り・)

○乃(ち)復(復)夕陳(返)を封す(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・58)(・また・)

○十二年晉(の)師鄭を救フ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・59)(・いくさ・すくふ・)

○河(返)に及(ひ)て「イ、及フ」鄭既に楚(返)及平(二)キヌと聞(二)て桓子還(らん)と欲す(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・59)(・およぶ・と・たいらぐ・ぬ・)

○會(音)聞ク・師(返)を用(ある)をは・觀(觀)而動ク(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・60)(・きく・いくさ・きず・みる・うごく・)

○德(上)は罪「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・61・注)(・キン・)

○德刑・政事・典禮・易(返)不(サ)ルをは敵ト(す)可(から)不「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・61)(・かへる・ず・あた・と・)

○楚の君の鄭(返)を討スルは・其(の)貳(貳)アルに怒(り)而(其(の)卑シキを哀フ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・62)(・す・ふたごこ

ろ・あり・いやし・かなしぶ・)

○叛^{ソム}クトキニシ而^テ之^{（を）}伐^ツ。（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・62）

（・そむく・とき・に・す・うつ・）

○服スルトキニシ而^テ之^{（を）}舍^{ユル}ス。（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・62）

（・す・とき・に・す・ゆるす・）

○德^ナ刑成^{レリ}「矣」。（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・63）（・なる・

り・）

○服^返スルを柔^{ヤハラ}クルは德^也「也」。（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・63）

（・す・やはらぐ・）

○二^モの者^{（も）}立^{テリ}「矣」。（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・63）（・た

つ・り・）

○昔^コ歳^ツ陳^返に入り（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・63）（・こそ・

いる・）

○今^{コト}茲^ン鄭^{（も）}に入^ル。（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・64）（・ことし・

いる・）

○民^{（も）}疲^{（も）}勞^{（も）}セ不^{（も）}。（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・64）（・す・）

○君^{（も）}怨^{（も）}讒^{（も）}入^{（も）}無^{（も）}（し）。（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・64）（・エ

ントク・）

○政^{ツネ}經^返有^{（も）}（り）「矣」。（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・65）（・つ

ね・）

○步^{カチ}ヨリスルを卒^返と曰^フ。（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・66・

注）（・かち・より・す・いふ・）

○車^{（も）}ヨリスルを乗^返と曰^{（ふ）}。（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・66・

注）（・より・す・）

○事^{フカ}奸^サ不^{（も）}「矣」。（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・66）（・をかす・）

○薦^キ去^{（も）}一^{（も）}赦^{（も）}宰^返爲^タリ。（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・66）（・

キガウ・たり・）

○楚^{（も）}國^{（も）}の「之」令^典（一）を擇^{（二）}フ（群書治要卷五〔春秋左氏

傳中〕・66）（・えらぶ・）

○百^{タケヒ}官^物返^{（も）}に象^{カク}（り）而^動ク。（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・67）

（・たぐひ・かたどる・うごく・）

○軍^{イケン}政^戒返^{（も）}メ不^シ而^備ル（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・67）

（・いましむ・ず・す・そなはる・）

○能^ク典^返を^用（る）ル「矣」。（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・68）

（・よく・のり・もちゐる・）

○其^{（も）}の君^{（の）}「之」舉^音「也」・内^{（も）}姓^{（を）}は「於」親^音を^選ヒ・外

姓^{（を）}は「於」舊^音を^選フ（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・68）（・

えらぶ・えらぶ・）

○言^{（も）}は親^{（も）}疎^{（も）}竝^{（も）}に^用（る）ル「也」。（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・69・

注）（・もちゐる・）

○舉(音)スルを徳(返)を失(返)。(は)不。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・69) (・す・)

○賞スルを勞(返)を失(返)。(は)不。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・69) (・す・)

○君子・小人・物モノニ服コト章有(り)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・70) (・ものごと・に・)

○尊一卑別ナリ「也」。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・70・注) (・なり・)

○々(威)儀等一差有(る)ソ「也」。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・71・注) (・ぞ・)

○禮逆へ不「矣」。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・71) (・さかふ・)

○徳立チ刑行ハレ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・71) (・たつ・おこなふ・る・)

○政成リ・事時アリ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・71) (・なる・あり・)

○典從ヒ・禮順フ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・72) (・したがふ・した

○若一何ソ之(を)敵トセン。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・72) (・いかにぞ・あた・と・す・む・)

○可(音)を見而進ミ難(返)を知(り)而退ク。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・72) (・すすむ・しりぞく・)

○軍(の)「之」善一政「也」。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・72) (・いくさ・)

○弱(返)キを兼ネ・昧(返)キを攻ムルは・武(の)「之」善キ一經ナリ「也」。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・73) (・よはし・かぬ・くら

○子姑ク軍を整へ而武(返)を經メヨ「乎」。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・73) (・しばらく・いくさ・とどのふ・をさむ・)

○姑(平)は且(平)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・74・注) (・コシヤ・)

○猶(ほ)弱シ而昧(一)キ者有(二)ラ(ん)・何(そ)必(かならず)モ楚ノ

ミナラン。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・74) (・よはうす・くらし・あり・かならずしも・のみ・なり・む・)

○彘(上)子曰(く)不一可ナリ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・74) (・テイシ・なり・)

○彘子は先一穀(去)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・75・注) (・セ

○師(返)を成シて以て出(つ)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・75) (・いくさ・なす・)

○敵強(返)キと聞(き)而退(て)力は夫(音)返(返)に非(す)「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・75) (・こはし・しりぞく・)

○師(返)遂に濟ル。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・75) (・いくさ・つひに・わたる・)

○楚子師(返)を北ニシテ「於」管(音)に次(音)す(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・76) (・いくさ・きた・に・す・)

○鄭(の)皇(戌)・晋の師(返)に如(返)カ使て曰(く)・楚の師驟(勝)而驕レリ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・76) (・クワウシユツ・ユク・しばしば・おごる・り・) (「戌」、左傍に「雖律反」)

○其(の)師老レタリ「矣」。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・77) (・つかる・たり・)

○子之(を)撃テ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・77) (・うつ・)

○楚(の)師必(す)敗レナン。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・77) (・やぶる・なむ・)

○欒(武)子曰(く)楚庸(平)返(返)に克(返)チシ自(り)・以(來)其(の)君日トシテ討メ而之(を)訓(二)へ不(三)トイフこと無(三)シ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・78) (・ランブシ・かつ・き・この

かた・ひ・と・す・をさむ・をしふ・ず・と・いふ・)

○民の生(音)「之」易(二)返(返)カラ不(禍)音(の)至ランコト「之」日無シ・戒(懼)シ之(返)可(返)不(上)ルことを于(二)フ(群

書治要卷五「春秋左氏傳中」・79) (・さすし・いたる・む・こと・ひ・なし・カイク・す・ず・いふ・)

○于(平)は日「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・80・注) (・ウ・エツ・)

○軍(返)に在(り)て日トシテ軍(實)を討メ而(由)て之(に)傲(二)メ不(三)イフこと無(三)シ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・80) (・ひ・と・す・をさむ・よて・いましむ・いふ・なし・)

○勝(ち)之保(返)可(返)不(紂)か「之」百ヒ克チ而卒(後)無(二)イことを于(二)フ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・81) (・ももたび・かつ・つゐに・なし・いふ・)

○箴(メ)之曰ク・民の生(音)スルことは勤(ムル)に在(り)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・81) (・いましむ・いはく・す・つとむ・)

○々(勤)ムルトキンハ則(ち)匱(返)シカラ不トイヘリ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・82) (・つとむ・ときんば・ともし・と・いふ・り・)

○驕(レリ)と謂(ふ)可(から)不(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・82) (・をぐる・り・)

○箴(平)は誠(去)「也」。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・82・注) (・シン・)

○先—大—夫子—犯言(返)へルこと有(りて)曰ク・師(イグミ)は直キ(ナホ)を壯(サカシ)ナリと爲(ス)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・82) (・いふ・り・

いはく・いくさ・なほし・さかんなり・)

○曲(マカ)レルを老(ツカ)レタリと爲(ス)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・83) (・まがる・り・つかる・たり・)

○我—不—德ニシ而(テ)怨(ウツミ)を「于」楚(ニ)に徼(モト)ム。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・83) (・なり・す・うらみ・もとむ・)

○我は曲(マカ)りて楚(ナホ)は直(チホ)シ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・84) (・まがる・なほし・)

○老(ツカ)レタリと謂(フ)可(カ)から不(フ)群書治要卷五「春秋左氏傳中」・84) (・つかる・たり・)

○不—徳とは力(返)を以て諸侯(ニ)を争(あ)フを謂(フ)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・84) (・不—徳とは力(返)を以て諸侯(ニ)を争(あ)フを謂(フ) (ふ)

○徼(マカ)は要(カ)「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・84) (・あらそふ・)

○鄭には從(フ)可(カ)から不(フ)トイフ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・84) (・したがふ・と・いふ・)

○楚人(ツ)遂(ト)に疾(ト)ク師(返)を進(ス)ム。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・85) (・つひに・とく・すすむ・)

○桓子(セ)爲(返)ン所(返)を知(返) (ら)不(フ)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・85) (・す・む・)

○「於」軍—中(返)に鼓(ツ)チて曰(ク)・先(ツ)濟(ラ)ン者(返)は賞(返)有(ラ)む。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・85) (・つづみうつ・まづ・わたる・む・)

○中—軍—下—軍—舟(返)を争(あ)フ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・86) (・あらそふ・)

○々々(舟)の中(の)「之」指(チ)掬(入)シツ可(シ)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・86) (・ゆび・キク・す・つ・)

○潘(平) — 黨(ク)曰(ク)・君(ナシ)盍(ソ)武—軍(ニ)を築(ツ)イ而(テ)晉(ノ)尸(訓) (返)を收(め)て以(テ)京—觀(上)と爲(中)「盍」(再讀) (下)ル(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・87) (・なにぞ・つく・をさむ・す・ず・)

○軍—營(返)を築(ツ)イて以(テ)武—功(返)を彰(ア)スソ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・87) (・つく・あらはす・ぞ・)

○尸(返)を積(み)て土(を)其(の)上(ニ)に封(ニ)スル・之(を)京—觀(と)謂(ふ)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・88) (・す・)

○臣(聞)ク・敵(返)に克(カ)テハ・必(ス)子孫(に)示(ス)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・88) (・きく・かつ・ば・)

○以(テ)武—功(を)忘(ル)ノ事(無)カシム。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・89) (・わする・なし・しむ・)

○楚子曰（く）爾の知（る）所に非（さ）ラン「也」。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・89）（・なむち・らむ・）

○夫レ文（音）に・戈（返）を止ムルこと武と爲（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・89）（・それ・ほこ・やむ・）

○文―字ソ「也」（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・89・注）（・ぞ・）

○武王商（返）に克（ち）て頌（返）を作（り）て曰（く）載千干（平）

―戈（平）を載メ・載千弓―矢を纍ムトイヘリ（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・90）（・のたまはく・すなはち・をさむ・すなはち・つつむ・と・いふ・り・）

○戦は藏「也」（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・90・注）（・シフ・）

○纍（入輕）は韜（平）「也」（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・91・注）

（・タウ・タウ・）

○詩・武王能（く）暴―亂を滅シ而兵（返）（を）息（二）メタルことを美

（二）メタリ「也」（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・91・注）（・ほろ

ぼす・やむ・たり・ほむ・たり・）

○夫（れ）・武は暴（返）を禁（音）シ・兵（返）を載メ・大（返）を保（ち）・

功（返）を定メ・民を安シ・衆（返）を和ケ・財（返）を豊スル者ナリ

「也」（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・91）（・す・をさむ・さだむ・

やすむず・やはらぐ・ゆたかんす・なり・）

○故に子孫を使（て）其（の）章（二）を忘（返）ル、こと無（二）（から）
「使」（再讀）（三）（む）（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・92）（・わす
る・）

○之を篇―章（返）に著シて子孫（返）を使て忘（返）レ不（二）（ら）「使」

（再讀）（二）（む）「也」（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・93・注）（・

あらはす・わする・）

○今我二國（返）を使て骨（返）を曝（二）サ「使」（再讀）（二）（むるは）・暴

（去）ナリ「矣」（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・93）（・さらす・な
り・）

○兵（返）を觀シて以（て）諸侯（二）を威（二）す・兵戰（返）ラ不ルナリ

「矣」。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・93）（・しめす・をさまる・

ず・なり・）

○暴（音）ニシ而戰（返）メ不（二）は・安ソ能ク大（音）（返）を保む。（群書

治要卷五「春秋左氏傳中」・94）（・なり・す・をさむ・ずんば・いづ

くにぞ・よく・）

○猶（ほ）晋（の）在（二）ルこと有（二）リ・焉ソ・功（返）を定（返）ム

ルことを得（二）。（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・94）（・あり・あり・

いづくにぞ・さだむ・う・む・）

○民の欲(音)に違(二)返(二)フ所・猶(ほ)多シ・民何(そ)安(さ)ラン。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・95) (・たがふ・おほし・なにぞ・らむ・)

○德(返)無(く)し而強(シ)て諸侯(二)を争(二)フ・何を以て衆(返)を和(ら)ケン。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・95) (・しひて・きそふ・やはらぐ・む・)

○人(の)「之」幾(アヤ)キ(返)を利シ而人(の)「之」亂(二)を安(二)ス。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・96) (・あやふし・リ・す・やすんず・)

○以て己(フ)か榮(音)と爲(ナ)ス。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・97) (・をの・)

○何を以て財(返)を豊(ト)セン。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・97) (・す・む・)

○兵動クトキンハ則(ち)年(訓)荒(ア)ル(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・97・注) (・うごく・ときんば・ある・)

○我一(返)ツモ無シ「焉」。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・97) (・いつ・も・なし・)

○何を以て子孫に示(シ)サン。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・98) (・しめす・む・)

○其(れ)先(一)君の宮(音)を爲(リ)て以て事(返)成(返)スことを告(マ)ス而(一)已(み)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・98) (・つくる・なす・まうす・)

○先(一)君(返)を祀(マ)りて戰(一)勝(する)ことを告(マ)す(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・99・注) (・まつる・まうす・)

○古(一)者に・明王不(一)敬を伐(つ)・其(の)鯨(平)鯢(平)を取(り)而封(シ)之(一)以て大に戮(リ)スルことを爲(ナ)ス。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・99) (・す・リク・す・)

○是に於(ひて)「乎」・京(一)觀(返)有(り)て以て淫(ト)慝(入)を懲(コ)ス(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・100) (・イントク・ころす・)

○以て不(一)義(の)「之」人の小國を吞(み)食(フ)に喩(フ)「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・101・注) (・くらふ・たとふ・)

○而て民皆(な)忠(返)を盡(し)て以て君(一)命に死(に)タリ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・102) (・たり・)

○又(た)以て京(一)觀(二)と爲(二)可(三)ケン「乎」。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・102) (・べし・む・)

○晉の師(一)歸(ル)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・102) (・いくさ・かへる・)

○桓(一)子死(返)ナンと請(フ)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・103) (・しぬ・む・こふ・)

○晉侯之(を)許^(返)サンと欲す。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・103)
(・ゆるす・む・)

○士―貞―子諫(め)て曰(く)・不―可ナリ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・103) (・なり・)

○貞―子は士―渥^{アク}―濁「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・104・注)
(・シアクタク・) (「渥」、左傍に「於角反」)

○城―濮(の)「之」役に・師^{イグキ}三日穀^音す(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・104) (・いくさ・)

○文公猶(ほ)憂タル―色有(り)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・104)
(・うれひたり・)

○左―右の曰(く)・喜^{ホロヒ}有(り)而憂へは・如シ憂^ホ有(り)而喜ハン乎(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・105) (・よろこび・うれふ・もし・よろこぶ・む・)

○言は憂―喜時^(返)を失へリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・105・注) (・うしなふ・り・)

○公曰(く)得―臣猶(ほ)在リ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・106)
(・あり・)

○憂^{うれ}未^へ(た)歇^ツ(返)キ「未」^(再讀)「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・106) (・うれへ・つく・)

○歇^{ケツ}(入)は盡「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・106・注) (・ケツ・)

○困^{タシナ}ヘル―獸モ猶(ほ)鬪フ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・106)
(・たしなふ・る・も・たたかふ・)

○楚の子―玉(二)返^{コロ}を殺(二)スに及(三)て公の喜^{よろこ}・而―後知^(返)(ら)又可(し)「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・107) (・ころす・よろこび・これよりしてのち・ぬ・)

○喜^{よろこ}「於」顔―色に見(る)「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・108・注) (・よろこび・)

○曰^{イハ}(く)是レ晉再^{フタ}ヒ克^カ(ち)而楚^て再^{ふた}ヒ敗^タレタリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・108) (・いはく・これ・ふたたび・かつ・ふたたび・やぶる・たり・)

○楚是(を)―以て再―世競^キ(返)ハ不(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・108) (・きをふ・)

○成―王ヨリ穆―王に至ル「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・109・注) (・より・いたる・)

○今天或は「者」大に晉を警^{イマシ}ムルナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・109) (・あるいは・いましむ・なり・)

○而て又(た)林―父(返)を殺(し)て以て楚の勝(つ)ことを重(カサ)ネハ。其(れ)無(ム)―乃(シ)口久(し)ク競(キヤ)ハ不(サ)ラン乎(ヤ)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・109) (・かさぬ・むしろ・ひさし・きをふ・ず・む・や・)

○林―父か「之」君に事(タテマツ)ルを「也」進(ミ)テハ忠(返)を盡(返)サンことを思フ・退(き)テハ過(返)を補(返)ハンことを思フ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・110) (・たてまつる・て・は・つくす・む・おもふ・て・は・あやまち・をきぬふ・む・おもふ・)

○社―稷(の)「之」衛(マホリ)ナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・111) (・まぼり・なり・)

○若―之―何(ソ)之(を)殺(サン)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・111) (・いかにぞ・ころす・む・)

○夫(ツ)レ其(ノ)敗(ハ)「也」日月(の)「之」食(二)の如(三)シ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・111) (・それ・その・やぶれ・は・ごとし・)

○何(ソ)「於」明(音)「(二)返」を損(二)セントイテ晉―侯其(の)位に復セ使(む)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・112) (・なにぞ・す・む・と・いふ・す・)

○晉―景か霸(返)を失(返)ハ不(返)ル所―以(二)を言(三)フ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・112・注) (・うしなふ・ず・いふ・)

○●楚子蕭(平輕)返を伐(ツ)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・113) (・うつ・)

○申―公巫臣か曰(く)・師―人多ク寒(コ)イタリ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・113) (・おほく・こゆ・たり・)

○王・三軍(返)を巡(リ)テ拊(ナ)テ而(テ)之(を)勉(ツト)メシム(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・113) (・なづ・つとむ・しむ・)

○之を慰―勉(ツ)スルソ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・114・注) (・イベン・す・ぞ・)

○三軍(の)「之」士・皆(ワタ)續(ハサ)を挾(ハサ)メルか如シ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・114) (・わた・はさむ・り・ごとし・)

○言は悦(喜)ヒ(テ)以(テ)寒(音)を忘(ル)「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・115・注) (・よろこぶ・これをもて・わする・)

○々(宋)人急を「于」晉(二)に告(三)ク。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・116) (・つぐ・)

○伯宗曰(く)不―可ナリ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・117) (・なり・)

○古人言(返)ヘルこと有(リ)テ曰(く)・鞭(の)「之」長(二)きと雖(二)馬(の)腹(二)に及(二)返(二)サ不(返)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・117) (・いふ・り・あり・およぼす・)

○天方に楚(返)に授(ケ)ントス。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・118) (・さずく・む・と・す・)

○未(た) 與(トモ)に争(トモ)フ可(ニ)返(カ)ら「未」(再讀)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・118) (・ともに・あらそふ・)

○晉(の)「之」強(コハ)キと雖(ニ)も・能(ク)天に違(ハ)ン「乎」。

(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・118) (・こはし・たがふ・む・)

○諺(トワサ) (に) 曰(ク)・高(下)心に在(リ) (群書治要卷五「春秋左氏傳中」・119) (・ことわざ・)

○時(返) 返(返)を度(ハカ)りて宜(音)を制(サ)す「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・119・注) (・はかる・)

○川(澤)汗(返)を納(ル) (群書治要卷五「春秋左氏傳中」・119) (・ウ・をさまる・) (「汗」、左傍に「音烏」)。

○汗(濁) (ニ)を受(ニ)ク「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・119・注) (・うく・)

○山(藪)疾(返)を藏(カク)ス (群書治要卷五「春秋左氏傳中」・119) (・かくす・)

○山(の)「之」林(藪)有(ル)は・毒(毒)害(害)者(者)居(居)ル所(所)ナリ (群書治要卷五「春秋左氏傳中」・120・注) (・をり・なり・)

○瑾(平) | 瑜(平) 瑕(瑕)を匿(キス)す (群書治要卷五「春秋左氏傳中」・120) (・きず・)

○天(の)「之」道(道)ナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・121) (・なり・)

○晉侯・宋(返) (を) 救(は) 不(不)ルことを恥(す)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・121・注) (・ず・)

○故に伯宗爲に小(小)悪の大(大)德(を) 損(損)セ不(不)ル「之」諭(上)を説(下)ク

「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・121・注) (・す・ず・とく・)

○君其(レ)之(を) 待(待)テ (群書治要卷五「春秋左氏傳中」・121) (・それ・まつ・)

○楚(楚)の衰(衰)ヘンを待(待)テ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・122・注) (・おとろふ・む・まつ・)

○乃(乃)止(止)ヌ (群書治要卷五「春秋左氏傳中」・122) (・やむ・ぬ・)

○解(解)場(返)を使(使)テ宋(返)に如(如) (ニ)カ「使」(再讀) (ニ)ム。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・122) (・す・ゆく・しむ・)

○楚(返) (返)に降(返) (ル) こと無(無) (返)カラ使(使)メテ曰(ク)・晉(の) 師(師)悉(悉) (ク) 起(起) (リ)テ 將(將)に 至(至) (返) (らん) と「將」(再讀) ト。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・122) (・なし・しむ・をこる・まさに・すと・)

○鄭(鄭)人(人)囚(囚)ヘ 而(而) 楚(返) に 獻(獻)ス。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・123) (・とらふ・)

○楚(楚)子(子)厚(厚)ク 賂(賂) (ヒ) 之(之) 其(其) (の) 言(言)を 反(反)サ 使(使) (む)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・123) (・あつく・まひなふ・かへす・)

○楚(楚)子(子)厚(厚)ク 賂(賂) (ヒ) 之(之) 其(其) (の) 言(言)を 反(反)サ 使(使) (む)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・123) (・あつく・まひなふ・かへす・)

○三^{ミタ}ヒシて乃^チ之^ヲ許^{ユル}シツ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」
・124) (・みたび・す・ゆるす・つ・)

○諸^ヲ樓車^ヲに登^セて宋人を呼^ヨハ、使^テ而^テ之^ヲ告^ツク(群書
治要卷五「春秋左氏傳中」・124) (・よばふ・つぐ・)

○遂^ニに其^ノ君の命を致^スず。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・125)
(・つひに・)

○之^レ與^ヒ言^ヒ返^シハ使^メて曰^ク・爾既に不^レ穀に許^{ユル}セリ。(群書
治要卷五「春秋左氏傳中」・125) (・これ・いふ・ゆるす・り・)

○而^テ之^ヲ反^シす何の故^ノ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・126・)
(・ぞ・)

○我^カ信^ム無^クキに非^ズ・汝則^チ之^ヲ棄^スツ。
(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・126) (・なし・すつ・)

○速^ニに爾^ノ刑^ニに即^ツケ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・127・)
(・なむぢ・つく・)

○對^シて曰^ク臣^ノ之^ヲ聞^ク・君は能^ク命^ヲを制^ス
ルを義^トと爲^ス。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・127) (・す・)

○臣は能^ク命^ヲを承^ルを信^ムと爲^ス。(群書治要卷五「春秋
左氏傳中」・127) (・うけたまはる・)

○義^ニ信無^シ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・128) (・なし・)

○義^ヲを爲^ル者は兩^ニ信^ニを行^ハ不^レ二^ニる^ルことを欲^ス
す(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・128・注) (・す・おこなふ・)

○信^ニ命無^シ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・128) (・なし・)
○信^ヲを行^フ者は二^ニ命^ニを受^ケ不^レ二^ニラン^ルことを欲^ス
(三)す(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・128・注) (・おこなふ・ず・
む・)

○君^ノ「之」臣^ニに略^フは命^ヲを知^ル不^レ也^{ナリ}
(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・129) (・まひなふ・)

○死^ニを(する)こと有^リて實^スこと無^シ(群書治要卷五
「春秋左氏傳中」・129) (・をとす・) (「實」、左傍に「于敏反」。
○實^上は廢^去隊^ヲ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・129・注) (・
キン・ハイツイ・) (「隊」、左傍に「直類反」。
○又^タ略^フ可^クケン「乎」。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」
・130) (・まひなふ・べし・む・)

○臣^カ「之」君^ニに許^スは命^ヲを成^スナリ「也」(群書治要
卷五「春秋左氏傳中」・130) (・ゆるす・なす・なり・)

○君^ノ命を成^スソ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・130・注) (・
なす・ぞ・)

○死^シ之^レ命^ヲを成^サは臣^カ「之」祿^也。(群書治要卷五「春
秋左氏傳中」・130) (・なす・)

○死^シ之^レ命^ヲを成^サは臣^カ「之」祿^也。(群書治要卷五「春
秋左氏傳中」・130) (・なす・)

○己命^{ヲレ}を廢^返不^レ也^レ〔群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・131・
注〕（・をのれ・）

○下^ナ臣考^スこと獲^ウ〔群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・131〕（・なす・
う・）

○死^シヌトモ又^レた何かを求メントイフ。（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕
・131）（・しぬ・とも・もとむ・む・と・いふ・）

○楚子舍^{ユル}シ之^テ以て歸^{カヘ}す〔群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・132〕（・ゆる
す・かへす・）

○●^ル路^子嬰^兒の^の之^之夫人は晉^のの^の景公^のの^の之^之姉^{ナリ}也^也。
〔群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・132〕（・あね・なり・）

○鄂^平舒^政を爲^レ而^レ之^を殺^{セリ}。（群書治要卷五〔春秋左氏
傳中〕・133）（・ころす・り・）

○又^レた^レ路^子の^の之^之目を傷^{レリ}〔群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕
・133〕（・やぶる・り・）

○晉侯將^に之^を伐^ツ〔再讀〕〔將^{ナリ}〕〔群書治要卷五〔春秋左氏
傳中〕・134〕（・うつ・む・）

○諸^大夫皆^な曰^く不^レ可^{ナリ}。（群書治要卷五〔春秋左氏傳
中〕・134）（・なり・）

○鄂舒^に三^ツの雋^毛有^リ〔群書治要卷五〔春秋左氏
傳中〕・134〕（・みつ・シユンサイ・）〔雋、左下に「音俊」。

○如^返不^レ後^の之^之人を待^タンに「イ待^ツは」。（群
書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・135）（・じ・まつ・む・）

○伯宗曰^く必^す之^を代^テ。（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕
・135）（・うつ・）

○狄^音五^ツの罪有^リ。（群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・135）
（・いつつ・）

○雋^才多^返と雖^も何^の補^カアラン^焉。（群書治要
卷五〔春秋左氏傳中〕・135）（・なに・しるし・が・あり・む・）

○祀^返ラ不^レ一^ツ也^也〔群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・136〕
（・まつる・いつ・）

○酒^者フニ^つ也^也〔群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・136〕（・た
しぶ・）

○仲^章を棄^テ而^黎氏^の之^之地を奪^フ三^つ也^也〔群書
治要卷五〔春秋左氏傳中〕・136〕（・うばふ・）

○其^の君の目を傷^ル五^つ也^也〔群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕
・138〕（・やぶる・）

○其^の雋^才を怙^レ而^茂德^をを以^セ不^レ。（群書治要卷五〔春秋左氏傳
中〕・138）（・たのむ・もてす・）

○茲^罪を益^ス也^也〔群書治要卷五〔春秋左氏傳中〕・138〕（・ますま
す・ます・）

- 後(の)「之」人・或は「者」將に敬(み)て德一義(返)を奉(し)て以て神一人に事(ツカ)へ而其(の)命を申(ノ)へ固(カタ)センと「將」(再讀) (群書治要卷五「春秋左氏傳中」・139) (・つかふ・のぶ・かたうす・む・)
- 政一令を 審(ツヒラカニ)スルソ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・140・注) (・つばひらかにす・ぞ・)
- 若(イ)之(カン)何(ソ)之(を)待(マ)タン。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・140) (・いかにぞ・まつ・む・)
- 罪(返)有(返)有(返)る)を討(返)セ不(ス)シテ曰(ク)・將に後(返)を待(た)ん」と「將」(再讀)ト。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・140) (・す・ず・す・す・と・)
- 々(後)に辭有(り)而討(テ)セハ「焉」・無(ム)乃(シ)口不(可)ナラン乎(カ)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・140) (・す・ば・むしろ・なり・む・)
- 夫(レ)才與衆(返)「與」(再讀) (二)を恃(ツク)ム・亡(ホロ)フル「之」道(訓)ナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・141) (・それ・と・たのむ・ほるぶ・なり・)
- 商紂之(返)に由(ヨ)ル・故に滅セタリ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・141) (・よる・す・たり・)
- 天の時(返)に反(音)スルを災と爲(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・142) (・す・)
- 寒一暑節を易(カ)フルソ (群書治要卷五「春秋左氏傳中」・142・注) (・かふ・り・ぞ・)
- 地(返)の物(返)に反スルを妖(音) (返)と爲(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・142) (・す・)
- 羣一物性(返)を失フソ (群書治要卷五「春秋左氏傳中」・142・注) (・うしなふ・ぞ・)
- 民德(返)に反スルを亂(音) (返)と爲(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・143) (・す・)
- 々(亂)ル、トキンハ則(ち)妖一災生(ナ)ル。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・143) (・みだる・ときんば・なる・)
- 盡(コトク)ク狄(狄)に在(り)「矣」。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・143) (・ことごとく・)
- 晉侯之(に)從フ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・143) (・した)がふ・)
- 夏(訓)晉の荀一林一父・赤一狄を「于」曲一梁(返)に敗(り)テ潞(返)を滅(ホ)ス。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・144) (・やぶる・ほるぼす・)
- 千一家ソ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・145・注) (・ぞ・)
- 亦(た)士一伯に賞スルに・瓜(平)一衍(音) (去)「之」縣を以(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・145) (・す・クワエン・)

○曰(く) 吾か狄の土を獲タルは・子か「之」功ナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・146) (・う・たり・なり・)

○子(返) 微セハ・吾伯一氏を喪ハマシ「矣」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・146) (・なかつ・うしなふ・まし・)

○伯一桓一子ソ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・146・注) (・ぞ・)

○羊一舌一職是の賞を悦フ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・146) (・よろこぶ・)

○曰(く) 周一書に所謂ル・々(庸) (返) キルヘキを庸キ々(祗) (返) ムヘキを祗ムと「者」・此の物を謂フ「也」夫(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・147) (・いはく・いはゆる・もちゐる・べき・もちゐる・つ

つしむ・べき・つしむ・こと・いふ・か・)

○祗(音平) は敬「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・148・注) (・シ・)

○言は文王能(く)用(返) (ゐる)可(返) (き)を用キ・敬(返) (む)可(返) (き)を敬(む)「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・148・注) (・もちゐる・つしむ・つしむ・)

○文王の周(返)を造(返)セル所(返)以(返)是(返)に過ギ不「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・149) (・なす・り・これ・すぐ・)

○是の道に率(シタカ)ヘリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・150) (・したがふ・り・)

○其(れ)何(か)濟(返)ラ不ラン(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・150) (・なる・ず・む・)

○●十六年晉侯士一會(返)に命(音)シテ中軍に將(去)タラシメ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・151) (・す・たり・しむ・)

○且(つ)大(フ)傳と爲(サ)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・151) (・タ イフ・)

○羊一舌一職曰(く)・吾之(を)聞ク・禹善人(返)を稱ケテ不(善)人は遠ルトイハ・此を「之」謂フ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・152) (・われ・きく・あぐ・さかる・といは・いふ・)

○善人上(返)に在(る)トキンハ・則(ち)國に幸(民無シ)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・153) (・ときんば・なし・)

○諺(コトワサ)に曰(く)・民の幸セラルハ國(の)「之」不(幸ナリトイハ)是(れ)善(人無キを)「之」謂フナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・154) (・ことわざ・す・らる・なり・といは・なし・いふ・な

り・)

成公

○●二年衛侯孫一良一夫(返)を使テ齊(返)を侵サ「使」(再讀) (む)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・156) (・をかす・)

○齊(の)師(一)與(二)遇フ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・156)
(・あふ・)

○師敗ヌ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・156)(・やぶる・ぬ・)

○仲―叔于(平)―奚(平)・孫桓子(二)を救(三)フ。(群書治要卷五「春

秋左氏傳中」・156)(・ウケイ・すくふ・)

○々(桓)々(子)是(を)以て免レタリ。(群書治要卷五「春秋左氏傳
中」・157)(・まぬかる・たり・)

○既ニシテ衛人之(を)賞スルに・邑を以す(群書治要卷五「春秋左氏
傳中」・157)(・に・す・て・す・)

○于―奚を賞スルソ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・157・注)
(・す・ぞ・)

○曲―縣繁―纓シテ以て朝(音)センと請(二)フ。(群書治要卷五「春
秋左氏傳中」・158)(・す・す・む・こふ・)

○軒―縣ソ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・158・注)(・ぞ・)

○之(を)許ス(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・158)(・ゆるす・)

○繁―纓は馬の飾。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・158・注)(・か
ざり・)

○皆諸―侯(の)「之」服ナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・158・
注)(・なり・)

○仲尼聞(き)之(く)・惜シイカナ「也」・如(か)不(シ)多ク之(に)
邑(二)を與(三)ヘンニハ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・159)(・

をし・かな・じ・おほく・あたふ・む・に・は・)

○唯(た)器ト名(返)與(を)は以て人に假ス可(から)不(群書治要卷五

「春秋左氏傳中」・159)(・と・かす・)

○君(の)「之」司(返)ル所ナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏
傳中」・160)(・つかさどる・なり・)

○若(し)以て人(返)に假サは・人に政を與フルナリ「也」(群書治要
卷五「春秋左氏傳中」・160)(・かす・あたふ・なり・)

○政亡フルトキンハ則(ち)國家之(に)從フ。(群書治要卷五「春秋
左氏傳中」・161)(・ほろぶ・ときんば・したがふ・)

○止(返)ム可(返)「から」不ラク已「也」(群書治要卷五「春秋左氏
傳中」・161)(・やむ・ず・らく・のみ・)

○●宋(の)文公卒(音)シヌ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・161)
(・す・ぬ・)

○始て厚ク葬ル。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・161)(・あつし・
はぶる・)

○蜃(平)―炭を用キ・車―馬を益シ・始て殉(志)を用(ある)(群
書治要卷五「春秋左氏傳中」・162)(・シンタン・もちある・ます・は
じめて・)

(「蜃」、左下に「市忍反」。「殉」、左傍に「似倭反」。)

○蛤(入)返(返)を焼(ヤ)いて灰(ハヒ)返(返)に爲(シ)て以て壙(上)返(返)を瘞(ウツ)ム。(群

書治要卷五「春秋左氏傳中」・162・注) (・やく・はひ・す・うづむ・)

○多ク車―馬を埋(ウツ)ミ・人(返)返(返)を用(用)て葬(ハム)リ返(返)に従(フ)「也」

(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・162・注) (・おほく・うづむ・はぶ
り・したがふ・)

○重―器備(ハル)群書治要卷五「春秋左氏傳中」・163) (・そなふる・)

○君子華―元樂―舉(一)を謂(イハ)ク(二)ク。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」

・163) (・いはく・)

○是(に)於て「乎」・不―臣ナリ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・163)

(・なり・)

○々(臣)は煩(イタツカハ)返(返)シキを治(メ)惑(マドヒ)を去(サ)ル者「也」(群書治要

卷五「春秋左氏傳中」・163) (・いたつかはし・をさむ・まどひ・さる・)

○是(を)以て死(返)に伏(フ)シ而(て)争(ア)フ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」

・164) (・ふす・あらそふ・)

○今二―子の者(もの)君(イ)生(イ)ケルトキンハ則(ち)其(の)惑(マドヒ)を縦(ホシマ)シ

(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・164) (・いく・り・ときんば・まど

ひ・ほしいままにす・)

○文(十八)年に母―弟須(二)を殺(ス)謂(フ)群書治要卷五

「春秋左氏傳中」・165・注) (・いふ・)

○死(す)ルトキンハ則(ち)其(の)侈(フコリ)を益(マ)ス。(群書治要卷五「春
秋左氏傳中」・165) (・す・ときんば・おごり・ます・)

○是(れ)君を「於」惡(ニ)棄(ス)ツルナリ「也」(群書治要卷五「春秋

左氏傳中」・165) (・すつ・なり・)

○何(ナニ)ヲカ臣と「之」爲(セ)ン(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・166) (・な

に・を・か・す・む・)

○何(ナニ)を―用(モチ)て臣と爲(セ)ンと言(イ)フ返(返)ハン(コト)カ若(シ)シ(群書治要卷

五「春秋左氏傳中」・166・注) (・なに・もちある・す・む・いふ・む・

ごとし・)

○楚(の)「之」陳(の)夏―氏を討(ス)ルトキンニ「也」莊(王)夏―姫を納(イ)ランと

欲(ス)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・166) (・す・とき・に・

いる・む・)

○申―公(巫)―臣(諫)め曰(ク)不―可(ナ)リ。(群書治要卷五「春秋

左氏傳中」・167) (・なり・)

○君(諸)―侯(返)を召(ヨ)ン以て罪(ツミ)返(返)アルを討(ス)「也」(群書治要卷五「春

秋左氏傳中」・167) (・よぶ・つみ・あり・)

○今(夏)―姫を納(イ)レハ其(の)色(を)食(ホ)ルナリ「也」(群書治要卷五「春

秋左氏傳中」・167) (・いる・むさぼる・なり・)

○色(訓)返(返)を食(ホ)ルを淫(音)返(返)と爲(ス)。(群書治要卷五「春秋左氏傳

中」・168) (・むさぼる・)

○々(淫) 大―罰を爲ス。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・168) (・
なす・)

○若(し) 諸侯(返)を興シテ以テ大―罰を取ラハ之(を) 慎メルに非
(す)「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・168) (・をこす・とる・
つつしむ・り・)

○君其(れ)之(を)圖レトイフ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・169)

(・はかる・と・いふ・)

○王乃(ち)止ンヌ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・169) (・やむ・
ぬ・)

○●六年晉(の)欒(平)―書・鄭(返)を救(ふ)。(群書治要卷五「春秋
左氏傳中」・170) (・ランシヨ・)

○楚の師與・「於」繞(去濁)―角に遇(ひ)ヌ(群書治要卷五「春秋左
氏傳中」・170) (・ゼウカク・ぬ・)

○楚(の)師還ル。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・170) (・かへる・)

○晉(の)師遂に蔡(返)を侵す。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・
171) (・つひに・)

○楚(の)公―子―申―公―子―成―申―息(の)「之」師(返)を以
テ蔡(返)を救フ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・171) (・いくさ・
もちゐる・すくふ・)

○々(武)々(子)將に之(を)許(返)サンと「將」(再讀)。(群書治
要卷五「春秋左氏傳中」・172) (・ゆるす・む・)

○知―莊―子―范―文―子―韓―獻―子―諫(め)テ曰(く)不―可ナリ。(群
書治要卷五「春秋左氏傳中」・172) (・なり・)

○荀―首(シユン)ソ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・172・注) (・シユンシ
ウ・ぞ・)

○士―變(セツ)ソ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・173・注) (・シセフ・
ぞ・)

○韓―厥(クワン)ソ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・173・注) (・ぞ・)

○吾來テ鄭(返)を救フ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・173) (・す
くふ・)

○楚(の)師我(返)を去ル。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・173) (・
さる・)

○吾遂に「於」此に至ル(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・173) (・
つひに・ここ・いたる・)

○々(此)トイハ蔡の地ソ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・174・注)
(・といは・ぞ・)

○是(れ)戮(返)を遷スナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・
174) (・リク・うつす・なり・)

○戮シテ「而」已^ヤ「返」マ不「也」。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・174〕
（・す・て・やむ・）

○又（た）楚の師を怒ス。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・174〕（・
いからす・）

○戦フトモ必（す）克^カ「返」タ不（群書治要卷五「春秋左氏傳中」・174）
（・たたかふ・とも・かつ・じ・）

○戮（返）を遷（さ）は不義ナリ。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・
175・注〕（・なり・）

○敵（返）を怒（す）トキンハ當^{アタ}「返」リ難（し）。〔群書治要卷五「春秋
左氏傳中」・175・注〕（・ときんば・あたる・）

○故に克（返）（た）不トイフ「也」。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・
175・注〕（・じ・と・いふ・）

○克（返）（つ）と雖（も）令^ヨ「返」カラ不（群書治要卷五「春秋左氏傳中」
・175）（・よし・じ・）

○師（返）を成シテ以て出（て）而楚の二一縣を敗^ヤラは・何^{ナニ}の榮^{サカ}トイフ
コトカ之有（ら）む「焉」。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・175〕（・
なす・やぶる・なに・さかへ・と・いふ・こと・が・）

○故に師（返）を成（返）（す）と曰フ。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」
・176・注〕（・いふ・）

○大（返）を以て小（返）に勝（た）は・榮（返）と爲（返）ルに足（返）
（ら）不「也」。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・176・注〕（・す・）

○若（し）敗（返）ルこと能（返）（は）不^スンハ辱（返）爲^タルこと已に甚シ
カラ（む）。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・176〕（・やぶる・ずん
ば・たり・いたし・）

○還ランニハ如（返）（か）不「也」。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」
・177〕（・かへる・む・に・は・じ・）

○乃（ち）遂^ツに還ル。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・177〕（・つ
ひに・かへる・）

○是に於（ひて）・軍一師（の）「之」戰（返）（ふ）と欲スル者衆^ホシ。
〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・177〕（・ほす・をほし・）

○或^{アル}變一武一子（返）に謂（ひ）て曰（く）・聖人は衆（返）與^ト欲（入^入輕）
（返）を同す。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・178〕（・あるひと・い
ふ・）

○是（を）以て事を濟^サス。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・178〕（・
なす・）

○子盍^{ナシ}ソ衆（音）（返）に従（返）（は）盍^サ（再讀）ル。〔群書治要卷五「春秋
左氏傳中」・178〕（・なにぞ・ず・）

○故に師（返）を成（返）（す）と曰フ。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」
・176・注〕（・いふ・）

○子(音)の「之」佐(音)・十一人其(の)戰(返)を欲(返) (せ)不(ル)者三人ナラク而「己ミ」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・179) (・ず・ならし・のみ・)

○六軍(の)「之」卿―佐ソ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・179・注) (・ぞ・)

○知(チ)范(フ)韓(カン)ナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・180・注) (・チハン・カン・なり・)

○戰(返)を欲スル者衆(返)シト謂(返) (ふ)可シ「矣」。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・180) (・ほす・をほし・と・べし・)

○商書(に)曰(く)三人占(ウ)フトキンハ二人に從フトイヘリ・衆(フ)キ故(コ)ナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・180) (・うらなふ・ときんば・したがふ・と・いふ・り・をほし・ゆへ・なり・)

○武子曰(く)善(音) 鈞(ヒト)シキトキンハ衆(返)に從フ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・181) (・ひとし・ときんば・したがふ・)

○鈞(音)は等(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・181・注) (・クキン・)

○夫(れ)善は衆(音) (の)「之」主ナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・181) (・なり・)

○之(に)從(フ)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・182) (・したがふ・)

○亦(た)可(音)ナラ不(ス)乎(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・182) (・なり・ず・や・)

○傳・欒―書か衆に從フ「之」義(一) (を)得(二)タルことを善(三)ム「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・182・注) (・したがふ・たり・ほむ・)

○●八年晉侯韓―穿(返)を(使)て來(り)て言(ク)・汶―陽(の)「之」田・之(を)齊に歸(カ)ヘセ「使」(再讀)ムラク。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・184) (・す・いはく・かへす・しむ・らく・)

○季文子之(を)餞(音) (上)す(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・184) (・セン・)

○餞(返)は行(返) (返)を(送)りて酒(返)を飲(ム)シムルソ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・185・注) (・のむ・しむ・ぞ・)

○私(ワ)ク、焉(ト)曰(ク)・大國・義(返) (返)を(制)シて以て盟―主(カ)爲(ル)リ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・185) (・わたくしす・いはく・す・たり・)

○私(に)之(返) 與(ふ)と言(フ)ソ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・185・注) (・いふ・ぞ・)

○是(を)以て諸侯德(返)を懷(ヒ)・討(返) (返)を畏(ル)りて貳(二)心有(ル)こと無(シ)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・186) (・をもふ・おそる・ふたごころ・なし・)

○汶—陽(の)「之」田を弊—邑(の)舊(去) (二)ナリと謂(二) (ふ)

「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・186) (・なり・いふ・)

○而(シカウシ) 師(イキキ)を齊(二) (返)に用(二)キテ諸(を)弊—邑に歸サ使(む)

(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・187) (・しかうして・いくさ・もち
ある・かへす・)

○師—鞍(平) (の)「之」戰(二)を用(二)ウ「也」(群書治要卷五「春

秋左氏傳中」・187・注) (・シアン・もちう・)

○今・二命(返)有(り)て諸(を)齊に歸セと曰フ。(群書治要卷五「春

秋左氏傳中」・187) (・かへす・いふ・)

○信は以て義(返)を行フ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・188)

(・おこなふ・)

○小國の望(み)而懷(二)フ所(三)ナリ「也」。(群書治要卷五「春秋

左氏傳中」・188) (・をもふ・)

○信知(返)ル可(返) (から)不。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・189)

(・しる・)

○義立(返)ツル所(返)無シ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・189)

(・たつ・なし・)

○四方の諸侯・其(れ)誰か解(上)—體セ不ラン「也」(群書治要卷五

「春秋左氏傳中」・189) (・す・ず・む・)

○言は復(た)「於」晉(二)を肅(入)—敬セ不(二)「也」(群書治要

卷五「春秋左氏傳中」・190・注) (・シクケイ・す・じ・)

○詩(に)曰(く)女ニハ「也」爽(返)ハ不・士其(の)行(二)を貳(二)

ツにす(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・190) (・なむぢ・に・は・た
がふ・ふたつにす・)

○士「也」・極(返)罔キ・其(の)德を二—三にす(群書治要卷五「春

秋左氏傳中」・190) (・きまり・なし・)

○爽は差(去)「イ、差(平)」「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・191・

注) (・サウ・サイ・サ・) (「差」、上欄「差(初買反名)」。)

○婦人・丈—夫其(の)行(二)を一(返)ツにセ不(二) (る)ことを怨(三)

む「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・191・注) (・いつ・す・)

○喻フ・魯(の)晉に事フルを・猶(ほ)女(の)「之」夫(返)に事(二)

フルか敢て過—差(二)セ不(二) (さるか)猶(再讀) (三) (し)。(群

書治要卷五「春秋左氏傳中」・191・注) (・たとふ・つかふ・をふと・

つかふ・す・)

○而るを晉(に)罔—極(の)「之」心(二) (返)有(二)リて反て其(の)

德(二) (を)二—三にす「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・191・

注) (・あり・かへて・)

○七年(の)「之」中(に)・一ヒ與(上)—ヒ奪(上)フ。(群書治要卷五「春

秋左氏傳中」・193) (・うち・ひとたび・あたふ・ひとたび・うばふ・)

○二―三孰か焉イッレ（返）ヨリ甚シカラシ。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・193〕（・いづれか・これ・より・いたし・む・）

○士の二三モ・猶ハ（ほ）配ハ（去）―耦コウ（去濁）（二）を喪ウシナ（二）フ。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・193〕（・も・ハイゴウ・うしなふ・）〔「配」、左下に「妃本存又配」〕。

○而を況ヤ（や）・霸―主ヲヤ「乎」。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・194〕（・をや・）

○霸主は將に德是を以モテ（二）キんと「將」〔再讀〕（二）〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・194〕（・もちゐる・む・）（「霸主」、左上に「本无」。）

○其レ（れ）何を―以て長ク諸侯を有タモタン乎。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・194〕（・ながし・たもつ・む・や・）

○武人名（人名）・姫―氏返（に）從ヒ（ひ）て「于」公宮ヤサナに畜ハレタリ。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・195〕（・やしなふ・る・たり・）

○趙―武は莊サカ―姫カ（の）「之」子。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・196・注〕（・サウキ・）

○莊―姫は晉ムスメ（の）成公ムスメ（の）女ムスメ「也」〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・196・注〕（・むすめ・）

○其レ（の）田返を以て祁キ―奚ヒ（平）韓―厥返に與フ。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・196〕（・キケイ・）

○而モ後返無クは・善返を爲スル者其レ懼フレン「矣」〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・197〕（・しかも・なし・す・をそる・む・）

○夫レ（れ）豈ハ（に）辟ヘキ―王返無カ（か）ランヤ。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・198〕（・ヘキオウ・なし・む・や・）

○前―哲返に賴ヨ（り）て以て免マユレタリ「也」〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・199〕（・よる・まぬかる・たり・）

○但レ（た）其レ（の）先―人返に賴ヨ（り）て以て禍返を免マユルラク耳ノミ〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・199・注〕（・よる・まぬかる・らく・のみ・）

○周書に曰ク敢て鰥―寡返ヲモ侮アヤト（二）ラ不ス（三）トイヘリ。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・199〕（・をも・あなどる・ず・と・いふ・り・）

○德返を明アキラカ（返）スル所―以ナリ「也」〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・200〕（・あきらかにす・なり・）

○言は文王・鰥―寡返ヲモ侮アヤト（二）ラ不ス（三）トイヘリ。〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・200・注〕（・をも・ますます・あきらかなり・）

○晉侯を使テ文王に「之」法イフ（二）ラレ「使」〔再讀〕（三）〔返〕メンコトヲ欲す〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・200・注〕（・の・とる・る・しむ・む・こと・を・）

○晉侯を使テ文王に「之」法イフ（二）ラレ「使」〔再讀〕（三）〔返〕メンコトヲ欲す〔群書治要卷五「春秋左氏傳中」・200・注〕（・の・とる・る・しむ・む・こと・を・）

○乃^{ス(なは)}(ち)武(人名)を立(て)て而其(の)田^音を反ス^{カヘ}「焉」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・200)(・すなはち・かへす・)

○●十六年楚—子鄭^返を救フ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・202)(・すくふ・)

○司—馬中—軍に將タリ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・202)(・たり・)

○子反ソ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・202・注)(・ぞ・)

○申^{平輕}(返)に過^{ヨキ}ルトキニ・子反入(り)て申—叔—時^返に見エテ

曰(く)・師^{イ(くま)}其(れ)何—如。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・202)

(・よぎる・とき・に・まみゆ・いくさ・)

○對(へ)て曰(く)・德・刑・詳・義・禮・信は戰^{カヒ}(の)「之」

器ナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・203)(・たたかひ・な

り・)(上欄、「正云詳則祥也古字同年」。

○詳は以て神^返に事^{ツカ}フ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・204)(・

つかふ・)

○義は以て利^返を建^ツツ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・205)(・

たつ・)

○禮は以て時^返に順フ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・205)(・

したがふ・)

○信は以て物^返を守ル。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・205)(・まぼる・)

○上—下和—睦して周—旋^{サカヒ}逆^返エ不(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・205)(・さからう・)

○動(く)と理^返に順フ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・206・注)(・したがふ・)

○是(を)以(て)神か之(に)福^{サイヘヒ}(返)を降^{ツク}して時に災—害無シ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・206)(・さいはひ・くだす・なし・)

○民敦—扈^{ホウ}を生^ナシ和—同して以て聽ク(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・206)(・タイボウ・なす・す・きく・)

○力(返)を盡^返(し)て以て上命(二)に從^{ヒトヒカ}(二)ハ不^ス(三)(返)トイフこと莫シ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・207)(・したがふ・

ず・と・いふ・なし・)

○此(れ)戰(の)「之」由^ヨ(り)て克^カツ所ナリ「也」(群書治要卷五

「春秋左氏傳中」・207)(・よる・かつ・なり・)

○今楚内其(の)民を棄^テて而外其(の)好^{ヨシヒ}を絶^ツツ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・208)(・うち・よしび・たつ・)

○惠^返を施^返サ不「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・208・注)(・ほどこす・)

○齊(平)―盟(平)を瀆ス(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・208) (・けがす・)

○神(返)に事(二)(ること)詳(二)(せ)不(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・209・注) (・シヤウ・)

○而て話(去)―言を食ハム(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・209) (・クワイゲン・くらふ・む・)

○信物(返)を守(返)ラ不(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・209・注) (・まぼる・)

○時(返)を干シて以て動ク(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・209) (・をかす・うごく・)

○時(返)に順(返)(は)不・農―業を妨ク(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・209・注) (・さまたぐ・)

○而て疲―民(し)以逞ス(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・209) (・たくましようす・)

○刑耶(返)を正(返)サ不シ而苟(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・210・注) (・ただす・ず・す・いやしくも・たくましようす・)

○民信(返)を知(返)(ら)不・進―退罪アリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・210) (・あり・)

○子(音)其(れ)之(を)勉メヨ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・210) (・つとむ・)

○吾復(た)子を見不「矣」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・210) (・われ・みる・じ・)

○言は其(れ)必(す)敗れて反(返)ラ不「也」。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・211・注) (・やぶる・かへる・じ・)

○晉の楚・「於」鄆(平輕)(二)に遇(二)ヒヌ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・211) (・あふ・ぬ・)

○范―文―子戰(返)ハンと欲(返)セ不。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・211) (・たたかふ・む・ほす・)

○郤―至日(く)韓(の)「之」戰に・惠公振―旅セ不(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・212) (・す・)

○衆(音)散ケ―敗レタレハナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・212・注) (・あらく・やぶる・たり・ば・なり・)

○邲(の)「之」師に・荀―伯復―從セ不(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・212) (・ヒツ・す・)

○荀―林―父・奔リ―走(り)て故―道(二)を復(二)(返)ラ不「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・213・注) (・はしる・かへる・)

○皆晉(の)「之」訓ナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・213) (・なり・)

○子亦(た)先―君(の)「之」事を見タリ「矣」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・214)(・たり・)

○先―君成―敗(の)「之」事(一)を見(二)タリ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・214・注)(・たり・)

○今我楚に避ラは・又(た)恥(返)を益スナリ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・214)(・われ・さる・ます・なり・)

○文子曰(く)吾か先君(の)「之」亟戦フを「也」故(返)有リ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・215)(・しばしば・たたかふ・ゆへ・あり・)

○亟(去)は數(入)「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・215・注)(・キ・サク・)

○秦狄齊楚皆(な)疆(ナ)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・215)(こはし・)

○力(返)を盡(返)(さ)不(れ)は・子孫將に弱(返)カラんと「將」(再讀)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・215)(・よはし・む・)

○今三―疆服(音)シヌ「矣」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・216)(す・ぬ・)

○齊秦狄ソ「也」(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・216・注)(・ぞ・)

○敵・楚ナラク而―已(ミ)。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・216)(・あた・ならし・のみ・)

○唯(た)聖人能(く)・外―内患無シ。(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・217)(・うれへ・なし・)

○聖人(二)に非(三)返ス自リハ・外寧キトキンハ必(す)内の憂有リ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・217)(・あらず・より・は・やすし・ときんば・うれへ・あり・)

○驕―亢ナルトキンハ則(ち)憂―患生レ(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・218・注)(・なり・ときんば・なる・)

○盍ソ楚(返)を釋シて以て外懼(二)を爲(三)サ「盍」(再讀)(三)らん乎(群書治要卷五「春秋左氏傳中」・218)(・なにぞ・ゆるす・をそれ・なす・や・)

(以下、続く)

周禮

○●天官

○●惟レ王國（返）を建チ・方（返）を辯（一）位を正ス（群書治要卷八「周禮」・5）（・これ・たつ・わきまふ・ただしうす・）

○四方（二）を別（二）（一）君—臣（の）「之」位を正ス（群書治要卷八「周禮」・5・注）（・わきまふ・ゐ・ただしうす・）

○君は南—面シ臣は北—面スル屬（群書治要卷八「周禮」・5・注）（・す・す・たぐひ・ぞ・）

○國（返）を體チ・野（音）に經（音）す（群書治要卷八「周禮」・5）（・わかつ・）

○邦—畿（平）（の）「之」度（音）ソ（去）。（群書治要卷八「周禮」・6・注）（・ホウキ・ぞ・）

○野（返）に經スとは・其（の）井（上）—廬（平）（二）を疆（二）ヒ—理（オサ）ムルソ「也」（群書治要卷八「周禮」・6・注）（・ケイ・す・さかふ・おさむ・ぞ・）

○官（返）を設ケ・職（返）を分ツ（群書治要卷八「周禮」・6）（・まうく・わかつ・）

○冢（去）—宰（上）司—徒宗—伯司—馬司—寇（去）司—空（平輕）（返）

を置（二）（き）て各（の）職（返）ル所（返）有（り）。（群書治要卷八「周禮」・6・注）（・チウサイ・シト・シコウ・つかさどる・）

○而（二）百—官の事舉（音）ス（群書治要卷八「周禮」・7・注）（・す・）

○以（二）て民の極（音）（二）を爲（群書治要卷八「周禮」・7）（・す・）

○天下（の）「之」人（二）（返）を合（二）せて各（の）其（の）中（音）

（二）を得（二）。（群書治要卷八「周禮」・7・注）（・あはす・う・）

○其（の）所（二）を失（二）（返）ハ不「也」（群書治要卷八「周禮」・8・注）（・うしなふ・）

○乃（ち）天—官冢（去）—宰を立ツ（群書治要卷八「周禮」・8）（・すなわち・たつ・）

○其（の）屬を帥（ヒキ）而（テ）其（の）邦—治（二）を掌（二）ラ使（三）（む）。

○其（の）屬を帥（ヒキ）而（テ）其（の）邦—治（二）を掌（二）ラ使（三）（む）。

〔群書治要卷八「周禮」・8〕（・ひきあふる・つかさどる・）

○以て王（返）を佐けて邦（返）國を均す（群書治要卷八「周禮」・9）（・たすく・ひとしうす・）

○邦（返）治は王邦（返）國（返）を治（返）ムル所（返）以の者ナリ。（群書治要卷八「周禮」・9・注）（おさむ・もの・なり・）

○邦（の）「之」六（返）典（上）（返）を建（返）テて以て王（返）を佐けて邦（返）國を治ム。（群書治要卷八「周禮」・10）（・たつ・たすく・おさむ・）

○一に曰（く）治（返）典（返）以て邦（返）國を經（返）メ・以て官（返）府を治メ・以て萬（返）民を紀（返）す。（群書治要卷八「周禮」・11）（・をさむ・おさむ・）

○二曰（く）教（返）典（返）以て邦（返）國を安（返）シ・以て官（返）府を教（返）し・以て萬（返）民（返）を擾（返）ク。（群書治要卷八「周禮」・12）（やすむず・なつく・）（擾字下欄に「擾而小反又而昭反」有り）

○三曰（く）禮（返）典（返）以て邦（返）國を和（返）ケ・以て百官（返）を統（返）セ・以て萬（返）民（返）を諧（返）フ。（群書治要卷八「周禮」・13）（・やはらぐ・あはす・）

ととのふ・）（「諧」左「戸皆反」有り）

○四曰（く）政（返）典（返）以て邦（返）國を平（返）ケ・以て百官（返）を正（返）シ・以て萬（返）民（返）を均（返）ス。（群書治要卷八「周禮」・14）（・たひらぐ・ただす・ひとしうす・）

○五曰（く）刑（返）典（返）邦（返）國を詰（返）メ「イ、詰（返）シ」・以て百官（返）を刑（返）シ・以て萬（返）民（返）を糺（返）す。（群書治要卷八「周禮」・15）（・いましむ・ただす・す・ただす・）

○六曰（く）事（返）典（返）以て邦（返）國を富（返）シ・以て百官（返）を任（返）チ・以て萬（返）民（返）を生（返）ふ（群書治要卷八「周禮」・16）（・とます・たつ・やしなふ・）

○典は常（返）也法（返）也（群書治要卷八「周禮」・17・注）（・ヤ・ヤ・）

○王は之（返）を禮（返）經（返）と謂（返）フ。（群書治要卷八「周禮」・17・注）（・いふ・）（この文は上欄より行う）

○常に乗りて以て天下（返）を理（返）ムル所（返）者（返）ナリ「也」（群書治要卷八「周禮」・17・注）（・とる・おさむ・なり・）

○常に守（返）りて以て法（返）式（返）と爲（返）ル所（返）ナリ「也」（群

書治要卷八〔周禮〕・18・注（・まもる・す・なり・）

○擾セウ（去濁）は猶（ほ）馴平の「猶」〔再讀〕（し）「也」〔群書治要卷八〔周禮〕・18・注（・ゼウ・）

○詰キツ（入）は猶（ほ）禁の「猶」〔再讀〕（し）「也」〔群書治要卷八〔周禮〕・18・注（・キツ・）

○任任（去濁）は猶（ほ）傳シ（去）の「猶」〔再讀〕（し）「也」〔群書治要卷八〔周禮〕・18・注（・シ・）（「傳」左「側吏反」有り）

○●八―柄去（返）を以て王に詔マウシ「イ、王返ヲ詔ケテ」群臣を馭キヨ（去濁）す。（群書治要卷八〔周禮〕・18）（・もうす・を・たすく・ギヨ・）

○二曰（く）祿・以て其（の）富フ（去）を馭す。（群書治要卷八〔周禮〕・19）（・フ・）

○三曰（く）予ヨ（上）・以て其（の）幸音を馭す。（群書治要卷八〔周禮〕・20）（・ヨ・）

○四曰（く）置チ（去）・以て其（の）行去を馭す。（群書治要卷八〔周

禮〕・21）（・チ・）

○六曰（く）奪タツ（入）・以て其（の）貧音を馭（す）。（群書治要卷八〔周禮〕・22）（・タツ・）

○七曰（く）廢ハイ（去）・以て其（の）罪を馭（す）。（群書治要卷八〔周禮〕・22）（・ハイ・）

○八曰（く）誅チウ（平輕）・以て其（の）過ア（やまり）を馭す（群書治要卷八〔周禮〕・22）（・チウ・あやまり・）

○柄は秉トリ―執ト（り）て以て事返を起オコ（二）ス所（二）者（三）「也」〔群書治要卷八〔周禮〕・23・注（・とる・とる・おこす・）

○爵とは公・侯・伯・子・男・卿・大―夫・士（二）を謂（二）ふ「也」〔群書治要卷八〔周禮〕・23・注（・いふ・）

○祿は臣―下（二）を富（二）返（二）ス所―以ナリ「也」〔群書治要卷八〔周禮〕・24・注（・とます・なり・）

○幸音とは言―行（去）「於」善（二）に偶（二）ヒ―合（三）フトキンハ・

則（ち）以て之（返）に賜（返）ヒ―與（返）へて後（返）を勸（上）ムルこと有（中）（る）を謂（下）フ「也」〔群書治要卷八〔周禮〕・24・注（・

かなふ・かなふ・ときんば・たまふ・あたふ・のち・すすむ・いふ・)

○賢―臣(の)「之」老タル―者をは王・以て養ヤシナ(二)フこと有(二)リ「之」[也] (群書治要卷八「周禮」・24・注) (・たり・やしなふ・あり・)

○奪タク(入輕)とは臣大―罪(返)有(り)て家―財(二)を没(二)―入スル者(上)を謂(下)フ「也」 (群書治要卷八「周ス禮」・24・注) (・タツ・す・いふ・)

○誅チウは責サク(入輕)―讓シヤウ(上濁)「也」 (群書治要卷八「周禮」・25・注) (・チウ・サクジヤウ・)

○●八―統(返)を以て王に詔シ「イ、王(返)ヲ詔ケテ」萬民を馭す。 (群書治要卷八「周禮」・25) (・まうす・を・たすく・)

○三曰(く)・賢(返)を進ム。 (群書治要卷八「周禮」・26) (・すすむ・)

○四曰(く)・能(音)使ツカフ。 (群書治要卷八「周禮」・26) (・つかふ・)

○五曰(く)・庸ヨウ(平)返を保ヤスン。 (群書治要卷八「周禮」・26) (・

ヨウ・やすん・)

○六曰(く)・貴(音)返を尊ツカフ。 (群書治要卷八「周禮」・27) (・たふとぶ・)

○統(去)は物(返)を總ス(返)クル所―以ヘの者ナリ「也」 (群書治要卷八「周禮」・27・注) (・すぶ・ゆへ・なり・)

○々(親)返を親(する)とは・堯九―族(二)を親(音)スルスルか若コト(三)キノ「也」 (群書治要卷八「周禮」・27・注) (・す・ぞ・とし・ぞ・)

○故(音)返を敬(音)するとは・舊キウ(返)を慢アナト(返)ラ不サルソ「也」 (群書治要卷八「周禮」・28・注) (・キウ・あなどる・ず・ぞ・)

○賢は善―行有ルソ「也」 (群書治要卷八「周禮」・28・注) (・あり・ぞ・)

○能(音)は才―藝(去濁)多(二)キノ「也」 (群書治要卷八「周禮」・28・注) (・おほし・ぞ・)

○庸(平)返を保ヤスス(る)とは功(返)有(返)を安ヤススルソ「也」 (群書治要卷八「周禮」・28・注) (・やすんず・やすんず・ぞ・)

○貴(音)を尊ツカフ(る)とは天下(の)「之」貴(音)返を尊(二)フフルソ「也」 (群書治要卷八「周禮」・28・注) (・たふとぶ・たふとぶ・ぞ・)

○吏(返)を達ス(る)とは・察(音)シテ勤(勞)の(の)「之」小吏(二)を舉(ニ)クルソ「也」(群書治要卷八「周禮」・28・注)(・タツ・す・す・あぐ・ぞ・)

○賓(返)を禮(する)とは・諸侯(二)を(賓)ニ客ニスルソ。(群書治要卷八「周禮」・29・注)(・に・す・ぞ・す・)

○民に仁(返)を親(音)シ隣(返)に善(二)イことを示(ニ)返(ス)所「以ナリ」也」(群書治要卷八「周禮」・29・注)(・す・となり・よし・しめす・なり・)

○●歳の終(フハリ)には則(ち)・百(一)官(一)府(返)に令(レ)シテ各(の)・其(の)治(音)を正(タ)シ・其(の)會(音)を受(ク)ク(群書治要卷八「周禮」・29)(・おほり・レイ・す・ただす・うく・)

○三歳には則(ち)・大に郡(一)吏(の)「之」治(去)を計(カ)テ而(テ)誅(賞)入(ス)す(群書治要卷八「周禮」・30)(・かぞふ・)

○三(一)載(去)に績(入)輕(去)を考(カ)フルソ(群書治要卷八「周禮」・31)(・サンサイ・セキ・かむがふ・ぞ・)

○●膳(去)―夫(一)王(の)「之」食(去)―飲(上)膳(去)―羞(平)ニ

を掌(ツカサト)ニル。(群書治要卷八「周禮」・31)(・シイン・センシウ・つかさどる・)(食字左に「音嗣」あり)

○大(一)喪(には)則(ち)舉(音)返(セ)不。(群書治要卷八「周禮」・32)(・す・)

○大(一)荒(には)則(ち)舉(返)セ不。(群書治要卷八「周禮」・32)(・す・)

○大(一)札(には)則(ち)舉(返)セ不。(群書治要卷八「周禮」・32)(・ダイサツ・す・)

○天地・災有ルトキンハ・則(ち)舉(返)セ不。(群書治要卷八「周禮」・33)(・あり・ときんば・す・)

○邦大(一)故有ルトキンハ・則(ち)舉(返)セ不。(群書治要卷八「周禮」・33)(・あり・ときんば・す・)

○大(一)札(は)疫(入)―癘(去)「也」(群書治要卷八「周禮」・34・注)(・エキレイ・)

○春秋傳に曰(ク)・司(一)寇(一)戮(返)行(おこな)フトキニは・君(コレ)之(カ)爲(ニ)舉

(返)セ不トイヘリ(群書治要卷八「周禮」・34・注)(・おこなふ・とき・に・これ・す・ず・と・いふ・り・)

○●地官

○●大司徒(平) (の)「之」職・邦(訓) (返)を建ツル「之」土
地(の)「之」圖(平) 與其(の)人人民(の)「之」數(二) (返)「與」

(再讀) (二)を掌(三) (り)て以て王(返) (返)を佐けて邦國を安

擾(去濁)す「安シ擾ク」(群書治要卷八「周禮」・36) (・たつ

ト・と・と・つかさどる・たすく・アンゼウ・やすんず・なつく・)

○百姓(二) (返)を親(音) (返)スル所「以(二)を教(三)へて五品を

訓フ「也」(群書治要卷八「周禮」・37・注) (・をしふ・おしふ・)

○言は饒(去濁)一衍(去)ナリ「也」(群書治要卷八「周禮」・37・

注) (・ゼウエン・なり・)

○而て十一有(二)教(二)を施(二)す「焉」。(群書治要卷八「周

禮」・37) (・ほどこす・)

○一に曰(く)・祀禮(返)を以て敬(音) (返)を教フルトキンハ・則

(ち)民苟(返)セ「イ、苟セ」不。(群書治要卷八「周禮」

・38) (・おしふ・ときんば・しばらくとす・いやしくもす・)

○二曰(く)・陽禮(返)を以て讓(音) (返)を教フルトキンハ・則(ち)

民争(返)ハ不。(群書治要卷八「周禮」・39) (・おしふ・とき
んば・あらそふ・)

○三曰(く)・陰禮(返)を以て親(音) (返)を教フルトキンハ・則(ち)
民怨(返)ミ不。(群書治要卷八「周禮」・39) (・おしふ・ときん
ば・うらむ・)

○四曰(く)・樂(入濁) (返)を以て和(返) (去)を教フルトキンハ・

則(ち)民乖(返)カ不。(群書治要卷八「周禮」・40) (・おしふ・

ときんば・そむく・)

○五曰(く)・儀(返) (返)を以て等(返) ヲ「イ、等を」辯フルトキ

ンハ・則(ち)民越(返)エ不。(群書治要卷八「周禮」・41) (・

トウ・ヲ・しな・わきまふ・ときんば・こゆ・)

○六曰(く)・俗(返) (返)を以て安(返)カランことを教フルトキンハ・

則(ち)民愉(返)セ不。(群書治要卷八「周禮」・42) (・やす

し・む・おしふ・ときんば・しばらくとす・)

○七曰(く)・刑(返) (返)を以て中(音) (返)を教フルトキンハ則(ち)

民黷(去)ナラ不。(群書治要卷八「周禮」・42) (・おしふ・

ときんば・ホウ・なり・)「黷」左「薄報及」有り

○八日(く)・誓(返)を以て恤(返)を教フルトキンハ・則(ち)

民怠(返)ヲ不。(群書治要卷八「周禮」・43) (・ちかひ・する

つ・おしふ・ときんば・おこたる・)

○九日(く)・度(返)を以て節(返)を教フルトキンハ・則(ち)

民足(返)レルことを知ル。(群書治要卷八「周禮」・43) (・おし

ふ・ときんば・たる・り・しる・)

○十日(く)・世(返)事(返)ヲ「イ、世―事を」以て能(音)を教

フルトキンハ「イ、教(ふる)とは」・則(ち)民職(返)を失(返)は

不。(群書治要卷八「周禮」・44) (・おしふ・ときんば・)

○十一有―一に日(く)・賢(返)を以て爵(返)を制フルトキンハ・則

(ち)民徳(返)を慎ム。(群書治要卷八「周禮」・45) (す・とき

んば・つつしむ・)

○十有―二に日(く)・庸(返)を以て祿(返)を制(音)フルト

キハ・則(ち)民功(返)を興ス(群書治要卷八「周禮」・46) (・

す・ときんば・おこす・)

○陽―禮とは郷―射(上)飲―酒を謂フ「也」(群書治要卷八「周禮」

○陰―禮とは男女(の)「之」禮(二)を謂(二)フ「也」(群書治要

卷八「周禮」・47・注) (・いふ・)

○昏(平)―姻(平)時(返)を以テスレは則(ち)・男曠(去)セ

不女怨(上)返)セ不「也」(群書治要卷八「周禮」・47・注) (・

コンイン・もてす・クワウ・エン・)

○儀とは君は南―面シ・臣は北―面シ・父は坐「イ、坐キツ」子は伏

ス(の)「之」属(二)を謂(二)「也」(群書治要卷八「周禮」

・47・注) (・す・す・ある・すう・つ・ふす・たぐひ・)

○俗とは土―地の生―習(二)スル所(二)を謂(三)フ「也」(群書治

要卷八「周禮」・47・注) (・す・いふ・)

○儉(平)とは朝にシテ夕(返)を謀(返)ラ不(二)る(二)ことを謂(二)

フ「也」(群書治要卷八「周禮」・48・注) (・す・はかる・いふ・)

○恤とは災―厄相(ひ)「憂(二)フルを謂(二)フ「也」(群書治要

卷八「周禮」・48・注) (・うれふ・いふ・)

○民凶(返)有ルトキンハ・之を患(レ)「憂」フ「イ、患憂ス」。(群

書治要卷八「周禮」・48・注) (・あり・ときんば・うれふ・うれ

ふ・す・)

○則(ち)民懈(音)―怠(セ)不〔也〕(群書治要卷八〔周禮〕・48・注)(・カイトイ・す・)

○度々(ト)ハ宮―室車(平輕)―服(の)〔之〕制(二)を謂(二)フ〔也〕(群書治要卷八〔周禮〕・48・注)(・ト・とは・いふ・)

○世―事とは士―農工(平)―商(平)(の)〔之〕事・少(シヤウ)ヨリシ(テ)而習(テ)ナラ

(ひ)焉(テ)其(の)心安(ヤスシ)スルを謂(二)フ〔焉〕。(群書治要卷八

〔周禮〕・48・注)(・シヤウ・より・す・ならふ・やすんず・)

○教(返)に因(ヨ)りて以て能(ヨク)す其(の)業(二)を易(二)くす・かふ・)

○德(返)を慎(ツシ)ムとは其(の)善―德(返)を矜(メク)ンテ善(返)を爲(返)

ルに勸(ニ)メルを謂(二)フ〔也〕(群書治要卷八〔周禮〕・49・注)

(・つつしむ・めぐむ・す・すすむ・る・いふ・)

○以(返)を爵(シ)て賢(カ)を顯(ハ)シ・以(返)を祿(シ)て功(コウ)を賞(シ)ス〔也〕

(群書治要卷八〔周禮〕・49・注)(・これ・あらはす・これ・)

○●以(テ)六(返)を保―息(シ)て萬―民(ヤシ)ナを畜(フ)。(群書治要

卷八〔周禮〕・50)(・むつ・やしなふ・)

○一に曰(ク)幼(返)を慈(イツク)ス。(群書治要卷八〔周禮〕・50)(・

いつくしんす・)

○二曰(ク)老(音)を養(フ)。(群書治要卷八〔周禮〕・50)(・

やしなふ・)

○三曰(ク)窮(返)レルことを振(ス)ク。(群書治要卷八〔周禮〕・51)(・

きまはまる・すくふ・)

○四曰(ク)貧(返)シキを恤(メク)ム。(群書治要卷八〔周禮〕・51)(・

まどし・めぐむ・)

○五曰(ク)疾(返)アルを寛(音)す。(群書治要卷八〔周禮〕・51)(・

やまひ・あり・)

○六曰(ク)富(返)メルを安(ヤス)ス。(群書治要卷八〔周禮〕・52)(・

とむ・る・やすんず・)

○保―息とは之(返)を安(ヤス)シテ蕃(平)―息(二)セ使(二)フ〔也〕。(群書治要卷八〔周禮〕・52・注)(・やすん

ず・ハンシヨク・す・いふ・)

○幼(返)を慈(いづく)フとは・少(返)を愛スルソ「也」(群書治要卷八)

(周禮)・52・注) (・いづくしふ・す・)

○老を養フとは・七十をは「於」學に養フ。(群書治要卷八「周禮」
・52・注) (・やしなふ・やしなふ・)

○五十をは糧(返)を異スル「之」屬ソ「也」(群書治要卷八「周禮」
・52・注) (・かた・けにす・たぐひ・ぞ・)

○窮(返)レルを振フとは・天―民(の)「之」窮(さ)レル―者(を)救フ

「也」(群書治要卷八「周禮」・53・注) (・きはまる・すくふ・
きはまる・すくふ・)

○貧(返)シキを恤ムとは・々(貧)シ(く)て財―業食(返)を稟ケ

之(返)を貸(二)ルこと無(二)き(き)ソ「也」(群書治要卷八「周禮」

・53・注) (・まどし・めぐむ・まどし・うく・かる・ぞ・)

○疾(返)アルを寛(音)ストは・今(の)癘(ヤ)ア(り)て事(返)フ可(返)

(から)不(返)筭(返)へ不(二)る(二)か若(二)キノ「也」(群書治要

卷八「周禮」・53・注) (・やまひ・あり・す・やまひ・あり・つ

かふ・かぞふ・ごとし・ぞ・)

○富(返)メルを安(ヤ)スこととは・徭(平)―役(返)を平(ヒト)シて專(ヒト)に取

ラ不(サ)ルソ「之也」(群書治要卷八「周禮」・53・注) (・とむ・る・

やすんず・エウエキ・ひとしようす・とる・ず・ぞ・)

○郷(キヤウ)の三―物(返)を以て萬民を教(テ)へ而(テ)賓(ヒト)―興(ヒト)す「之」。(群書治要

卷八「周禮」・54) (・キヤウ・おしふ・)

○二日(く)六行・孝・友・睦(入)濁)・姻(平)・任(去)濁)・恤(群

書治要卷八「周禮」・55) (・スキツ) (「姻」左、「音因」あ
り)

○三日(く)・六藝・禮・樂・射(上)・馭(去)濁)・書・數(群書治

要卷八「周禮」・56) (・シヤ・キヨ) (

○民の三事(の)「之」教(去)・卿(返)に成(ナ)ンヌルトキニ・

大夫・其(の)賢―者能―者(二)返)を擧(ア)ゲて飲―酒(の)「之」

禮(二)返)を以(二)て之(二)を賓(二)客(ニ)にす。(群書治要卷八「周禮」
・56・注) (・なる・む・ぬ・ときに・あぐ・)

○既にシて則(ち)其(の)書を「於」王(二)に獻(二)リ「矣」。

〔群書治要卷八〔周禮〕・57・注〕（・す・たてまつる・）

○智は「於」事（二）に明（三）ナリ「也」〔群書治要卷八〔周禮〕・57・注〕（・あきらかなり・）

○仁は人（返）（返）を愛して以て物（返）に及す「也」〔群書治要卷八〔周禮〕・57・注〕（・す・およぼす・）

○聖は通シ（て）「而」先ツ―識ル「也」〔群書治要卷八〔周禮〕・57・注〕（・トフ・まづ・しる・）（「識」本行見せ消ちあり）

○義は能ク時―宜を斷ス「也」〔群書治要卷八〔周禮〕・58・注〕（・タム・す・）

○忠は以て心（返）に中ル言「也」〔群書治要卷八〔周禮〕・58・注〕（・あたる・こと・）

○和は剛（音）（平）ナラ不柔（音）（平濁）ナラ不「也」。〔群書治要卷八〔周禮〕・58・注〕（・なり・なり・）

○「於」父母（二）に善（三）キを孝（返）と爲。〔群書治要卷八〔周禮〕・58・注〕（・よし・）

○「於」兄―弟に善キを友（上）（返）と爲。〔群書治要卷八〔周禮〕・

58・注〕（・よし・）

○睦（音）（入濁）は「於」九―族（二）を親（三）スルソ「也」〔群書治要卷八〔周禮〕・58・注〕（・ボク・す・ぞ・）

○姻（平）は「於」外―親（二）を親（三）スルソ「也」〔群書治要卷八〔周禮〕・58・注〕（・す・そ・）

○任は「於」友―道に信アルソ「也」〔群書治要卷八〔周禮〕・58・注〕（・あり・ぞ・）

○恤は貧シキ―者を振ヒ―憂フルソ。〔群書治要卷八〔周禮〕・59・注〕（・スキツ・まどし・すくふ・うれふ・ぞ・）

○射（上）は五―射（の）「之」法「也」〔群書治要卷八〔周禮〕・

59・注〕（・シヤ・）

○書は六書（の）「之」品（上）「也」〔群書治要卷八〔周禮〕・59・注〕（・ヒン・）

○數は九―數（の）「之」計（去）「也」〔群書治要卷八〔周禮〕・

59・注〕（・ケイ・）

○五禮（返）を以て萬民（の）「之」偽（二）を防（平輕）（三）シ而「之」中（音）（二）を教（三）フ〔群書治要卷八〔周禮〕・60〕（・いつはり・

ハウ・す・おしふ・)

○禮は民の「之」^シ侈^上—僞^{クキ}返^返を節—止^上シて其^の行^返

を使用中^返を得^エ「使」^シ再^再禮^二ムル所以^三ナリ「也」

(群書治要卷八「周禮」・60・注) (・シクキ・す・す・う・しむ・
なり・)

○五禮とは吉・凶・賓・軍・嘉^二を謂^二フ(群書治要卷八「周
禮」・61・注) (・いふ・)

○六樂^返を以て萬民^の「之」情^二を防^{ハク}平^平輕^二シ而^テ「之」

和^去「二」を教^二フ(群書治要卷八「周禮」・61) (ハウ・す・
おしふ・)

○樂は民^の「之」情—思^二返^返を蕩^二—正^去シて其^の

心^返を使得^去應^去—和^上セ「使」^再禮^中所^下—以ナ

リ「也」(群書治要卷八「周禮」・62・注) (・す・す・なり・)

(「應」本行見せ消ちあり)

○六樂とは雲—門・咸—池・大—詔^{ゼウ}平^平・大—夏・大—濩^コ去^去・大—

武^二を謂^二フ「也」(群書治要卷八「周禮」・62・注) (・タ
イセウ・タイコ・いふ・)

○●歳—時^返を以て國及^ひ野^二を巡^{メク}二^二而^テ萬民^の

艱^{カン}去^去平^平輕^輕—阨^{アイ}二^二を賙^{アマネ}二^二クす。(群書治要卷八「周禮」・63)

(・めぐる・カンアイ・あまねし・)

○王命^返を以て施—惠ス(群書治要卷八「周禮」・64) (・す・)

○歳—時は「者」・其^の事^の「之」時^二に随^二フ。(・し
たがふ・)

○必^不シモ四時^二ナラ不^二「也」(群書治要卷八「周禮」・
64・注) (・しも・なり・)

○艱—阨^{アイ}は飢—乏^{ハク}入^入濁^濁「也」(群書治要卷八「周禮」・64・注) (・

カンアイ・キバウ・)

○●師—氏・美^音返^返を以て王^返に詔^{マウ}二^二スことを掌^{ツカサト}二^二

ル(群書治要卷八「周禮」・64) (・まうす・つかさどる・)

○王^返に告^{マウ}スに・善—道を以す「也」(群書治要卷八「周禮」・

65・注) (・まうす・)

○文—王—世子に曰^ク・師は「者」・教フルに「之」・事を以^{モテ}

シ而^テ「諸」徳^二を論^{サト}二^二ス者ナリ「也」(群書治要卷八「周禮」

・65・注) (・おしふ・もてす・さとす・もの・なり・) (「徳」本

行見消の「息」あり)

○三徳（返）を以て國子に教フ。（群書治要卷八〔周禮〕・65）（おしふ・）

○以て逆―悪（入輕）を知ル〔也〕（群書治要卷八〔周禮〕・67）（しる・）（「知」本行見消の「智」、左「音智」あり）

○三行（を）教フ。（群書治要卷八〔周禮〕・67）（おしふ・）

○以て賢―良を尊フ。（群書治要卷八〔周禮〕・68）（たとぶ・）

○以て師―長に事ル（群書治要卷八〔周禮〕・69）（つかうまつる・）

○施スを〔之〕行と爲〔也〕（群書治要卷八〔周禮〕・69・注）（ほどこす・）

○覆ヒ―壽ヒ持チ―載せて含ミ―容ル、者ナリ〔也〕（群書治要卷八〔周禮〕・70・注）（おほふ・おほふ・たもつ・のす・ふくむ・いる・なり・）

○敏―徳は仁―義時（返）に順フ者ナリ〔也〕（群書治要卷八〔周禮〕・70・注）（したがふ・もの・なり・）（見消「息」あり）

○孝―徳は祖（返）を尊ヒ親（返）を愛す。（群書治要卷八〔周禮〕

・70・注）（たとぶ・）

○其（の）者の生（音）スル所（二）―以を守（三）ル〔也〕（群書治要卷八〔周禮〕・70・注）（す・まもる・）

○孔子曰（く）武王（人名）周公（人名）其レ孝（返）に達セルカナトイヘリ〔矣乎〕（群書治要卷八〔周禮〕・70・注）（それ・する・かな・と・いふ・り・）

○夫（れ）・孝は〔者〕・善ク人（の）〔之〕志（二）を繼（二）キ人（の）

〔之〕事（二）を述（二）フ〔也〕（群書治要卷八〔周禮〕・71・注）（それ・よく・つぐ・のぶ・）

○而て國―子を養フに・道（訓）を以シて乃（ち）〔之〕六藝（二）を教（二）フ。（群書治要卷八〔周禮〕・71）（やしなふ・もてす・すなわち・おしふ・）

○三曰（く）五射（上）。（群書治要卷八〔周禮〕・72）（シヤ・）

○乃（ち）〔之〕六儀（二）を教（二）フ。（群書治要卷八〔周禮〕・73）（おしふ・）

○國子を養フに・道（返）を以スレハ〔者〕・師―氏（の）〔之〕徳―行（二）（返）を以て審（上）―論（去）す〔之〕。（群書治要卷八〔周禮〕

・76・注) (・やしなふ・もてす・ば・シンユ・)

○而て後に教フルに「之」藝儀(二)を以(ニ)す「也」(群書治要卷八「周禮」・76・注) (・おしふ・)

○五射は白一矢・參(平)一連・刻(上)一注(去)・襄(去濁)一尺・井

(上)一儀(平)ナリ「也」(群書治要卷八「周禮」・76・注) (・シ

ヤ・サムレム・エンシウ・ジャウセキ・セイキ・) (上欄「刻羊再反注之樹反」あり、下欄「襄音讓本又作讓音非」あり)

○五馭は鳴一和一鸞(平)・逐一水一曲・過一君一表・舞一交一衢(平)・

逐(入輕)一禽一左「也」(群書治要卷八「周禮」・77・注) (・メ

イクワラン・チクスイキヨク・ブコウク・チクキンサ・) (馭、鸞、逐は注より行った)

○六書は象(上)一形(平)・會(去)一意轉(去)一注(去)・指一事・假

借・諧(平)一「也」(群書治要卷八「周禮」・77・注) (・テ

ンシウ・カセキ・)

○九數は方一田・粟(入輕)一米(上)・差(平)一分(去濁)・贏(平輕)

一不一足・旁一要(平)方(平)一程(平輕)・今・重(平)一差(平)・句

(平)一股(上)「也」(群書治要卷八「周禮」・77・注) (・シヨク

ベイ・サブ・エイフソク・ホウエウ・チヨウサ・コウコ・) (上欄「差

初佳反又初互反」あり、本行「方一程」あり) 二字本无

○祭祀(の)「之」容(平)は穆一々(穆)・皇一々(皇)タリ。(群

書治要卷八「周禮」・78・注) (・ヨウ・たり・)

○賓一客(の)「之」容は嚴(平濁)一恪(入)・矜(平)一莊(平輕)ナ

リ。(群書治要卷八「周禮」・78・注) (・ゲンカク・キヨウサウ・

なり・) ○朝一廷(去) (の)「之」容は躋(上)一々(躋) 躋(平)一々(躋)

タリ。(群書治要卷八「周禮」・78・注) (・セイセイ・シヤウシ

ヤウ・たり・) (躋)左「子禮反」、(躋)左「七良反」あり)

○喪紀(の)「之」容は纍(平)一々(纍)・顛一々(顛)タリ。(群

書治要卷八「周禮」・78・注) (・ルイルイ・タリ・) (纍)本行

見消あり、左「律悲反」、(顛)左「音田」あり)

○軍一旅(の)「之」容は暨(去)一々(暨)・詔(入濁)一々(詔) (た

り)。(群書治要卷八「周禮」・79・注) (・キキ・ガクガク・) (上

欄「暨其器反」「詬五格反」あり

○車―馬(の)「之」容は匪(平)―々(匪)翼―々(翼)タリ(群書治要卷八「周禮」・79・注) (・ヒヒ・ヨクヨク・たり・)「匪」左「方匪反」あり

○●司―救・凡ソ歳―時に天の患民の病(二)有(二) (ル)トキンハ

「則」節(返)を以て國―中及(ひ)郊―野(二)を巡(二) (り)而王

命(返)を以て惠(返)を施(上)すことを 掌(下)ル(群書治要卷八

「周禮」・80) (・およそ・ときんば・めぐる・つかさどる・)

○節は旌(平)―節「也」(群書治要卷八「周禮」・81・注) (・セ
イセツ・)

○惠(去) (返)を施(上)スとは 賙(二)へ―恤(二)ムソ(群書治要卷八「周禮」・

82・注) (・ほどこす・にぎはふ・めぐむ・)

○●春官

○●大―司―樂は樂―德(返)を以て國―子に・中和・祗(平)―庸(平)
輕・孝―友(二)を教(二)フ(・シヨウ・おしふ・) (群書治要卷八
「周禮」・84) (「以樂德」は補入符号より、本行見消あり)

○和は剛(平)―柔(平)濁・適(平)スルソ「也」。(群書治要卷八「周禮」

・85・注) (・テキ・す・ぞ・)

○庸(平)は常(返)有ルソ「也」(群書治要卷八「周禮」・85・注
(・あり・ぞ・)

○凡(そ)・日月の食・四―鎮・五―嶽・崩(クツ)シ・大―傀(上)・異―災・

諸侯の薨(レ)には令(去)シて樂(返)を去(去)ツ(群書治要卷八「周禮」・85)

(くづす・ダイキ・レイ・す・すつ・)

○四―鎮は山(の)「之」重(平)―大ナル者「也」(群書治要卷八「周
禮」・86・注) (・なり・)

○會(去)―稽・沂(平)―山・醫―無―閭(入)霍(入)輕―山(二)を謂

(二)フ「也」(群書治要卷八「周禮」・86・注) (・キサン・イム
リヨ・クワクサン・いふ・)

○五―嶽は岱(去)・衡(平)・華(去)・嵩(平)・恒(平)「也」(群書
治要卷八「周禮」・87・注) (・タイ・カウ・スウ・コウ・)

○傀(上)は猶(ほ)怪の「猶」(再讀)「也」(群書治要卷八「周

禮」・87・注) (群書治要卷八「周禮」・87・注) (・キ・)

○大―怪異―災とは天地の奇(平)―變を謂フ(群書治要卷八「周禮」

・87・注) (・キヘン・いふ・)

○星―辰奔リ―貫チ・及(ひ)・震(去)―裂害(返)を爲(二)スか若

(二)キ者ナリ「也」(群書治要卷八「周禮」・87・注) (・はし

る・おつ・シンレツ・なす・ごとし・もの・なり・)「貫」左「于欲反」あり)

○樂(返)を去テテ藏ム「之也」(群書治要卷八「周禮」・87・注)

(・すつ・おさむ・)

○大―札「イ、大―札」・大―凶・大―災・大―荒(平)・大臣の死・

凡ソ國(の)「之」大―憂(平)には令(去)シテ縣(返)を弛ク「イ、

弛ス」(群書治要卷八「周禮」・88)・ダイサツ・ダイセツ・およ

そ・す・とく・はづす・)

○札は疫―癘。(群書治要卷八「周禮」・89・注) (・サツ・)

○弛ク「イ、弛ス」とは釋キ―下スソ「之也」(群書治要卷八「周禮」

・89・注) (・とく・はづす・とく・くだす・ぞ・)

○凡(そ)・國(返)を建テ、ハ・其の淫(平輕)―聲・過(去)―聲・凶

(平輕)―聲・慢(去)―聲(二)を禁(二)す(群書治要卷八「周禮」・

89) (たつ・て・は・キム・)

○淫聲は今の鄭衛(二)の若(二)シ「也」(群書治要卷八「周禮」・

90・注) (・ごとし・)

○過―聲は哀―樂の節(二)を失(二)ヘルソ「也」(群書治要卷八「周禮」・90・注) (・うしなふ・り・ぞ・)

○凶―聲は亡國(の)「之」聲(訓)・桑(平輕)―間(平輕)濮(入濁)―

上(二)の若(二)キソ(群書治要卷八「周禮」・91・注) (・ボクジ

ヨウ・ごとし・ぞ・)

○慢―聲は惰(上)―慢(去)不―恭(の)「之」聲(群書治要卷八「周

禮」・91・注) (・タマン・)

○●夏官

○●大―司―馬(の)「之」職・邦―國(二)を建(二)ル「之」

九法(上)を掌(返)て以て王(返)を佐ケテ邦―國を平ク

(群書治要卷八「周禮」・92) (・たつ・つかさどる・たすく・た

ひらぐ・)

○畿(平)を制(音)シ・國(返)を封(去)シて以て邦―國を正す(群

書治要卷八「周禮」・93) (・す・す・ただす・)

○封スとは封を「於」疆（二）返に立（二）テて界（返）と爲（上）ルを謂（下）フ（群書治要卷八「周禮」・94・注）（・ホウ・す・さかひ・たつ・かぎり・す・いふ・）

○儀（返）を設ケ・位（返）を辯（返）へて以て邦―國を等（下）ス（群書治要卷八「周禮」・94）（・まうく・わかまふ・ひとしうす・）

○儀とは諸―侯諸―臣（の）「之」儀（二）を謂（二）フ（群書治要卷八「周禮」・94・注）（・いふ・）

○賢（返）を進メ・功を興ケ「イ、興シ」て以（て）邦―國を作（下）ス（群書治要卷八「周禮」・95）（・すすむ・あく・おこす・おこす・）

○其（の）善（音）（返）を進ミ業（返）を樂（返）フ「之」心（二）を起（二）ス（群書治要卷八「周禮」・95・注）（・すすむ・たのしむ・おこす・ぞ・）

○牧（入濁）（返）を建（下）テ・監（去）（返）を立（て）て以て邦―國を維（平）ス（群書治要卷八「周禮」・96）（・ボク・たつ・カム・ホ・）

○軍（音）（返）を制（音）シ・禁（平）（返）（返）を詰（下）メて以（て）邦―國を糺（下）ス（群書治要卷八「周禮」・96）（・す・きはむ・ただす・）

○詰（入）は窮（平）「也」（群書治要卷八「周禮」・97・注）（・キツ・）

○貢（音）（返）を施（返）シ・職（返）（返）を分（下）て以て邦―國に任（去濁）ス「イ、邦國ヲ任フ」（群書治要卷八「周禮」・97）（・ほどこす・）

○職とは賦―税を謂フ「也」（群書治要卷八「周禮」・98・注）（・わかつ・を・まかふ・）

○郷（去）―民（返）を簡（上）―稽（下）シて以て邦―國を用ウ（群書治要卷八「周禮」・98）（・カンケイ・す・もちう・）（「郷」左「計亮反」あり）

○守（返）を均（返）シ・則（返）（返）を平（下）シて以て邦―國を安（下）ス（群書治要卷八「周禮」・99）（・まほり・ひとしうす・のり・ひとしうす・）

○均（返）スとは尊（上）キ―者（下）は大（返）（返）を守（下）リ卑（下）シキ―者（下）は小（返）（返）を守（下）ルを謂フ「也」（群書治要卷八「周禮」・99・注）（・ひとしうす・たとし・もの・まぼる・いやし・まぼる・いふ・）

○小（返）を比（下）シ・大（返）（返）に事（下）へて以て邦―國を和（去）ス（群

書治要卷八〔周禮〕・99) (・したしうす・つかふ・)

○大一國(返)を使て小國を親(音) (し)・々々(小國)を(し)て大

國(二)に事(二)へ〔使〕(再讀) (三) (む) (群書治要卷八〔周禮〕・100・注) (・す・つかふ・)

○九一伐(の)〔之〕法(二)返)を以(二)シて邦一國を正す(群書治要卷八〔周禮〕・100) (・もてす・ただす・)

○諸侯・主一命に違フこと有ルトキンハ則(ち)・兵(返)返)を出(し)

て征一伐シ而正ス〔也〕 (群書治要卷八〔周禮〕・101・注) (・たがふ・ある・ときんば・す・ただす・)

○弱キを馮キ・寡(返)キを犯(す)をは・則(ち)青セス〔之〕 (群

書治要卷八〔周禮〕・101) (・よはし・しのぐ・すくなし・やす・す・)

○青(上)は猶(ほ)人青セ一瘦スルか〔猶〕(再讀) (し)〔也〕 (群書治要卷八〔周禮〕・102・注) (・セイ・やす・やす・)

○四面に其(の)地(二)を削(二)ル(群書治要卷八〔周禮〕・102・注) (・けづる・)

○賢(返)を賊(去)シ・民(返)を害スルをは・則(ち)伐(音)す〔之〕

(群書治要卷八〔周禮〕・102) (・ソク・す・す・)

○鐘一鼓(二)有(二)る)に伐(返)音)曰フ。(群書治要卷八〔周禮〕・103・注) (・いふ・)

○以て其(の)罪を聲カシメントナリ(群書治要卷八〔周禮〕・103・注) (・きく・しむ・む・と・なり・)

○内(返)を暴シレ外を陵クをは・則(ち)壇(去)にす〔之〕 (群書治要卷八〔周禮〕・103) (・しれ・しのぐ・)〔暴シレ〕本文のま

ま) ○空一壇(去)の)〔之〕地(二)返)に置イテ別に君(返)を立ツ〔也〕 (群書治要卷八〔周禮〕・104・注) (・をく・たつ・)

○野(音)荒レ・民(訓)散(音)スルをは則(ち)削ル〔之〕 (群書治要卷八〔周禮〕・104) (・ある・す・けづる・)

○田(音)治メ不・民附(返)カ不(る)ヲハ・則(ち)其(の)地を削ル(群書治要卷八〔周禮〕・104・注) (・をさむ・つく・をば・けづる・)

○固(返)返)を負ムて服(音)セ不(る)をは・則(ち)侵す〔之〕

〔群書治要卷八〔周禮〕・105〕（・かため・たのむ・す・おかす・）

○侵スとは兵〔返〕を用〔ふ〕と・之を淺シて侵スナラク而〔已〕〔群書治要卷八〔周禮〕・105・注〕（・おかす・あさうす・おかす・ならく・のみ・）

○其〔の〕親〔音〕〔二〕を賊〔入輕〕〔二〕殺〔入輕〕スルをは・則〔ち〕正す〔之〕〔群書治要卷八〔周禮〕・105〕（・す・ただす・）

○正して殺スソ〔也〕〔群書治要卷八〔周禮〕・106・注〕（・ただす・ころす・ぞ・）

○其〔の〕君を放―弑スルとは・則〔ち〕殘〔去〕す〔之〕〔群書治要卷八〔周禮〕・106〕（・ハウシ・サン・）

○其〔の〕惡〔入〕〔返〕を爲スル者〔二〕を殘〔去〕―滅〔二〕ス〔群書治要卷八〔周禮〕・107・注〕（・す・サンベツ・す・）

○令〔去〕を犯シ・政〔返〕を陵クをは・則〔ち〕杜ク〔之〕〔群書治要卷八〔周禮〕・107〕（・おかす・しのぐ・ふさく・）

○令〔去〕を犯〔す〕とは・命〔返〕を逆フルソ〔也〕〔群書治要卷八〔周禮〕・107・注〕（・さかふ・ぞ・）

○政〔返〕を陵クとは・法を輕スルソ〔也〕〔群書治要卷八〔周禮〕・107・注〕（・しのぐ・かろうす・ぞ・）

○杜〔上〕は塞〔入〕。〔群書治要卷八〔周禮〕・107・注〕（・ト・ソク・）

○諸―侯與通〔二〕スルこと得〔二〕返不〔返〕ラ使〔む〕〔群書治要卷八〔周禮〕・108・注〕（・と・す・ず・）

○外―内を亂れて鳥―獸〔去〕の行ル〔イ、行〕〔去〕をは・則〔ち〕減す〔之〕。〔群書治要卷八〔周禮〕・108〕（・みだる・ある・ほろぼす・）

○仲―春に・振〔去〕―旅〔去〕〔二〕を教〔二〕フ〔群書治要卷八〔周禮〕・108〕（・シンリヨ・をしふ・）

○師イクセ出ルに治―兵〔二〕曰〔二〕フ〔群書治要卷八〔周禮〕・109・注〕（・いくせ・づる・いふ・）

○入ルに振―旅〔二〕曰〔二〕フ。〔群書治要卷八〔周禮〕・109・注〕（・いる・いふ・）

○皆〔な〕戰を習ス〔也〕〔群書治要卷八〔周禮〕・109・注〕（・

たたかふ・ならはす・)

○四時の獵は各(の)民を教フルに其の一(二)を以(三)〔焉〕

(群書治要卷八「周禮」・109・注) (・かり・をしふ・)

○遂に以て蒐(平)―田す(群書治要卷八「周禮」・109) (・つひ

に・シウテン・)

○禽―獸の孕(返)マ不ル者(二)を擇(三)ヒ―取ル(群書治要卷八「周

禮」・110・注) (・はらむ・ず・えらぶ・とる・)

○仲―夏に拔(入輕)―舎を教フ(群書治要卷八「周禮」・110) (・

ハツセキ・をしふ・)

○草―止(の)「之」法(二)を謂(三)フ(群書治要卷八「周禮」・110・

注) (・いふ・)

○遂に以て苗(平濁)―田す(群書治要卷八「周禮」・110) (・つ

ひに・ベウテン・)

○夏の田を苗(返)と爲(群書治要卷八「周禮」・111・注) (・か

り・)

○禽―獸の孕―任(二)セ(三)不ルを簡(三)ヒ―取ル。(群書治要卷

八「周禮」・111・注) (・す・ず・えらぶ・とる・)

○猶(ほ)苗秀テ―實(二)ラ不(三)ル者(上)去(中)ツルか「猶」(再

讀(下)〔し〕(群書治要卷八「周禮」・111・注) (・なへ・ひづ・

みぬる・ず・もの・すつ・)

○仲―秋に治―兵を教フ。(群書治要卷八「周禮」・111) (・をし

ふ・)

○遂に以(て)獮―田す(群書治要卷八「周禮」・112) (・センテ

ン・)

○獮(上)は猶(ほ)殺〔也〕(群書治要卷八「周禮」・112・注) (・

セン・サツ・)

○殺(返)に中ル者多シ(群書治要卷八「周禮」・112・注) (・あた

る・おほし・)

○仲―冬に大―閱(入輕)を教フ(群書治要卷八「周禮」・112) (・

ダイエツ・をしふ・)〔閱〕左「音悦」あり)

○大―閱とは軍―實(二)を簡(三)フ。(群書治要卷八「周禮」・

112・注) (・えらぶ・ぞ・)

○禮(返)を備フルこと軍(返)を出ス時(二)の如(三)シ(群書

治要卷八〔周禮〕・113・注（・そなふ・いくさ・いだす・ごとし・）
 ○遂^{ツヒ}に以て狩―田す（群書治要卷八〔周禮〕・113）（・つひに・）
 ○冬の田^{カリ}を狩と爲^ス。（群書治要卷八〔周禮〕・113・注）（・かり・）
 ○言は守^{マホ}（り）て之（返）を取ル。（群書治要卷八〔周禮〕・113・注）
 （・まぼる・とる・）
 ○擇^{ツク}（返）フ所（返）無^シ〔也〕（群書治要卷八〔周禮〕・113・注）
 （・えらぶ・なし・）
 ○司^{クシ}―勳^{シナ}（平）・其（の）功（二）を等（二）（返）ノキスルことを掌ル（群書治要卷八〔周禮〕・114）（・シクン・しな・の・く・つかさどる・）
 ○功の大小（二）（返）を以（二）て差^サ（平）―等（二）と爲^ス（二）（群書治要卷八〔周禮〕・114・注）（・サトウ・）
 ○凡ソ・功（返）有ル者^{モノ}・銘をは〔於〕王（の）〔之〕大―常（二）に書^{シル}（二）す。（群書治要卷八〔周禮〕・114）（・およそ・ある・もの・しるす・）
 ○〔於〕大^{シヨウ}烝（平）（二）に祭（二）ル（群書治要卷八〔周禮〕・115）
 （・ダイシヨウ・まつる・）

○生^イケルトキンハ則（ち）〔於〕王―旌^{セイ}（平）（二）に書（二）ス。（群書治要卷八〔周禮〕・115・注）（・いく・ときんば・オウセイ・しるす・）
 ○以て其（の）人^ト與其（の）功（二）〔與〕（再讀）（二）ヲ識^シ（三）ル〔也〕（群書治要卷八〔周禮〕・116・注）（・と・と・を・しる・）
 ○死^シヌルトキンハ則（ち）〔於〕先王（二）（返）を烝^{シヨウ}（二）スルトキニシて之（返）を祭ル。（群書治要卷八〔周禮〕・116・注）（・しぬ・ときんば・シヨウ・す・とき・に・す・まつる・）
 ○冬の祭^{マツリ}を烝（返）と曰フ。（群書治要卷八〔周禮〕・116・注）（・まつり・いふ・）
 ○王―旌^{セイ}（平）に日月（二）書（二）ケルを・大―常と爲^ス〔也〕（群書治要卷八〔周禮〕・116・注）（・オウセイ・かく・）
 ○凡ソ賞は常（返）無シ。（群書治要卷八〔周禮〕・116）（・およそ・なし・）
 ○輕―重・功に視^ミフ（群書治要卷八〔周禮〕・117）（・なぞらふ・）
 （〔視〕右〔眩折本〕あり）
 ○常（返）無（し）とは〔者〕・功（の）〔之〕大小^{アラカシメ}・豫（返）ス可（返）

(から) 不ルソ (群書治要卷八「周禮」・117・注) (・あらかじめす・ず・ぞ・)

○●秋官

○大司寇^{ゴウ} (上) (の)「之」職・邦(の)「之」三典 (二) (返) を建^タテて以て王 (返) を佐けて邦一國 (返) を刑 (音) シて四方 (上) に詰^ツ (中) クルことを掌^{ツカセト} (下) ル。(群書治要卷八「周禮」・119) (・ダイシコウ・たつ・たすく・す・つぐ・つかさどる・)

○一に曰 (く) ・新國を刑スルには・輕典を用ウ (群書治要卷八「周禮」・120) (・す・もちう・)

○新國とは地 (返) を關^{ヒラ}イテ君 (返) を立 (つ) ル「之」國 (二) を謂 (二) フ「也」 (群書治要卷八「周禮」・120・注) (・ひらく・たつ・いふ・)

○二曰 (く) 平國を刑スルには・中典を用ウ。(群書治要卷八「周禮」・121) (・す・もちう・)

○三曰 (く) 亂國を刑スルには・重^上典を用ウ (群書治要卷八「周禮」・121) (・す・もちう・)

○亂國とは篡^{サン} (去) 殺叛一逆 (の)「之」國 (二) を謂 (二) フ「也」 (群書治要卷八「周禮」・122・注) (・サンサツ・いふ・)

○圓 (平) 一土 (返) を以て聚^{アツ}メて疲 (平) 一民を教フ (群書治要卷八「周

禮」・122) (・あつむ・をしふ・)

○疲一民を其(の)中 (二) (返) に聚 (二) メて困一苦セシメて以て「之」

善 (返) を爲^ス (二) ルことを教 (二) フ「也」 (群書治要卷八「周禮」・

123・注) (・あつむ・す・す・をしふ・)

○民勞 (返) を作^ナ (返) スを愍^{アハレ}ハ不。(群書治要卷八「周禮」・123・注) (・なす・あはれぶ・)

○「於」疲 (二) レタルに似 (二) レルこと有リ「也」 (群書治要卷八「周禮」・123・注) (・つかる・たり・のり・あり・)

○凡ソ・人 (返) を害スル者^{モノ}をは「之」圓一土 (に) 眞^{マコト}イ而職一^テ事 (二)

を施^{ホトク} (二) ス「焉」。(群書治要卷八「周禮」・123) (・およそ・す・もの・おく・ほどこす・)

○明一刑 (返) を以て恥チシム「之」 (群書治要卷八「周禮」・124) (・はづ・しむ・)

○明一刑とは 明^{アキラカ} に其(の)罪を「於」大一方一板 (二) (返) に書 (二) イて以て背 (返) に著^{ツク} (上) ルを謂 (下) フ「也」 (群書治要卷八「周禮」・124・注) (・あきらかなり・かく・つくる・いふ・)

○職一事とは之^(返)を役使^(二)スルを謂^(ふ)「也」(群書治要卷八「周禮」・125・注) (・す・)

○其ノ能ク改ムル者をは「于」中一國に反^(む)ス。(群書治要卷八「周禮」・125) (・の・よく・あらたむ・かへす・)

○齒^{コハヒ}セ不^(る)と・三季。(群書治要卷八「周禮」・126) (・よはひ・す・)

○其^(れ)・改^(む)ルこと能^(は)不^(に)し^(し)而圓^(て)土を出^(イ)テタル者をは殺^(コロ)ス。(群書治要卷八「周禮」・126) (・あらたむ・いづたり・ころす・)

○疲^(民)とは邪^(一)悪を爲^(ス)ル者^(二)を謂^(二)フ「也」(群書治要卷八「周禮」・127・注) (・す・いふ・)

○凡ソ萬^(一)民^(の)「之」罪^(一)過^(二)有^(二)り^(り)而未^(た)「於」法^(二)に麗^(ツ)カ^(返)「未」^(再讀)シ而州^(一)里に害^(音)スル者をは極^(シツ)

(入^(入)輕^(入)楛^(入)シ而「諸」嘉^(一)石^(返)に坐^(ヘ)「イ、坐^(去)シ」て

「諸」司^(一)空^(二)に役^(二)す。(群書治要卷八「周禮」・127) (・

およそ・つく・ず・す・す・シツコク・す・すう・す・エキ・)「楛」左「音質」、^(楛)左「古毒反」、^(諸)左「辞字也」あり

○州^(一)里に之^(返)を任^(去)シテ則^(ち)宥^(ナク)而舍^(テ)「之」(群書治要卷八「周禮」・129) (・す・なだむ・ゆるす・)

○罪^(一)過有^(る)とは・邪^(平)悪^(入)「之」人罪^(一)過^(二)アル所^(二)の者^(上)を謂^(下)フ「也」(群書治要卷八「周禮」・130・注) (・あり・いふ・)

○麗^(平)は附^(去)「也」(群書治要卷八「周禮」・130・注) (・リ・フ・)

○未^(た)「於」法^(二)に附^(二)カ^(未)「未」^(再讀)「る」とは・未^(た)

「於」法^(二)に著^(ツ)カ^(未)「未」^(再讀)ルソ「也」(群書治要卷八「周禮」・130・注) (・つく・つく・ず・ぞ・)

○「諸」司^(一)空^(二)に役^(二)スとは・坐^(一)日訖^(オハ)「り」て百工^(の)「之」役^(二)を給^(タマ)「返」ハ使^(シ)ムルソ。(群書治要卷八「周禮」・130・注) (・エキ・す・おはる・たまふ・しむ・ぞ・)

○「役」^(一)日訖^(オハ)「り」て其^(の)州^(一)里^(の)「之」人^(返)を使^(テ)

之(返)を任(二)セ「使」(再讀(二)む)「也」(群書治要卷八「周禮」
・131・注) (・をはる・まかす・)

○肺(去)―石(返)を以て窮―民を達(音)す(群書治要卷八「周禮」
・131) (・ハイセキ・す・)

○窮―民は天―民(の)「之」窮(音)シ而告(返)クルこと無キ者(群
書治要卷八「周禮」・131・注) (・す・つぐ・なし・)

○凡ソ・遠―近・悞(平)―獨・老―幼(の)「之」・「於」上(二)に復
(二)返)スこと有(返)

ランと欲セン・而(其(の)長(上)達(音)返)セ弗ンは「者」・

「於」肺―石に立(つ)と・三日に・士・其(の)辭(返)を聽(キ)イテ

以て「於」上に告シ而其(の)長(上)を罪ス(群書治要卷八「周禮」

・132) (・およそ・ケイドク・まうす・あり・む・ほす・む・しか
るを・す・ず・きく・まうす・つみす・)

○長とは諸―侯及ヒ吏(二)を属(返)スル所の謂(二)フ(群書治要卷
八「周禮」・134・注) (・および・す・いふ・)

○凡ソ・命―夫命―婦は躬獄―訟(二)に坐(二)不(三) (群書治要卷

八「周禮」・135) (・およそ・みづから・ある・)

○若(し)罪(返)有ルトキンハ・自ラ身坐(二)セ不(二) (群書治
要卷八「周禮」・136・注) (・あり・ときんば・みづから・み・サ
す・)

○其(の)屬(音)及ヒ子―弟(二)を使(二)シム「也」(群書治要卷
八「周禮」・136・注) (・す・しむ・)

○凡ソ・王(の)「之」同―族・罪(返)有ルトキンハ・市(返)に即(返)
カ不(群書治要卷八「周禮」・136) (・およそ・あり・ときんば・
いち・つく・)

○五聲(返)を以て獄―訟(返)を聽(キ)イテ民の情を求ム。(群書治要卷
八「周禮」・137・注) (・きく・もとむ・)

○辭・直(返)カラ不ルと則(ち)煩フ「也」(群書治要卷八「周
禮」・138・注) (・ことば・なほし・ず・わづらふ・)

○色・直(返)カラ不ルと則(ち)赧ム「也」(群書治要卷八「周禮」
・138・注) (・なほし・ず・あかむ・) (「赧」左「女板反」あり)

○氣・直(から)不(る)と則(ち)喘ク「也」(群書治要卷八「周

禮」・139・注）（・あへぐ・）

○耳・直（から）不（る）と則（ち）惑フ「也」（群書治要卷八「周禮」・139・注）（・まじふ・）

○目・直（から）不（る）と則（ち）眊（上濁）——然タリ（群書治要卷八「周禮」・139・注）（・ホウゼン・たり・）（「眊」左「莫報及本又作旄」あり）

○八―辟（返）を以て邦―法（返）に麗ケテ「于」刑―罰に附ク（群書治要卷八「周禮」・140）（・つく・つく・）

○麗（平）は附（去）「也」（群書治要卷八「周禮」・140・注）（・リ・フ・）

○一曰（く）親（平輕）（の）「之」辟（二）を議（二）ル（群書治要卷八「周禮」・140）（・つみ・はかる・）

○今の時の宗―室罪（返）有ルトキンハ先ツ請（二）フか若（二）キ是ナリ「也」（群書治要卷八「周禮」・141・注）（・あり・ときんば・まじふ・ごふ・ごくし・シ・なり・）

○二曰（く）故（音）（の）「之」辟（二）を議（二）ル（群書治要卷八「周

禮」・141）（・つみ・はかる・）

○今の時の廉―吏罪（返）有ルトキンハ先ツ請（二）（ふ）か若（二）キ是ナリ「也」（群書治要卷八「周禮」・142・注）（・あり・ときんば・まじふ・ごとし・シ・なり・）

○四曰（く）能（音）（の）「之」辟（二）を議（二）ル（群書治要卷八「周禮」・142）（・はかる・）

○能とは道―藝有ル者（二）を謂（二）フ（群書治要卷八「周禮」・143・注）（・あり・いふ・）

○大―勳―力（返）有（り）て功（返）立ツル者（二）を謂（二）（ふ）（群書治要卷八「周禮」・143・注）（・たつ・）

○今の時の吏・墨（入濁）・綬（去）・罪（返）有ルトキンハ先ツ請（二）フか

若（二）キ・是ナリ「也」（群書治要卷八「周禮」・144・注）（・シウ・あり・トキニ・まじふ・ごふ・ごとし・シ・なり・）

○七曰（く）勤（平）（の）「之」辟（二）を議（二）（る）（群書治要卷八「周禮」・144）（・キン・）

○懃（平）―悴（去）シて國に事ヘタル者（二）を謂（二）（ふ）（群書治要卷八「周禮」・144・注）（・セウスイ・す・つかふ・たり・）

○臣(返)トセ不(返)所(る)の者(二)を謂(二)。(群書治要卷八〔周禮〕・145・注) (・と・す・)

○三カク格(入輕)二代の(の)「之」後ソ「之」(群書治要卷八〔周禮〕・145・注) (・サンカク・ぞ・)

○司一刺(去)三刺三宥三宥三赦三赦の(の)「之」法(二)返(返)を掌ツカサトニ(二)りて以て司一寇(上)返(返)を贊タスニ(二)ケテ獄一訟(二)を聽(二)ク(群書治要卷八〔周禮〕・145) (・サンシ・サンイウ・サンシヤ・つかさどる・シコウ・たすく・きく・)

○三問を之(返)致イタシテ然て後に殺(音)ス(群書治要卷八〔周禮〕・147・注) (・いたす・す・)

○一刺シには曰ク群一臣トに訊トへ。(群書治要卷八〔周禮〕・147) (・シ・いはく・とふ・)

○再一刺には曰ク群一吏トに訊トへ。(群書治要卷八〔周禮〕・147) (・いはく・とふ・)

○三一刺には曰ク萬一民トに訊トへ(群書治要卷八〔周禮〕・148) (・いはく・とふ・)

○壹一宥(上)には曰ク識シ返(返)ラ不ルナラン。(群書治要卷八〔周禮〕・148) (・イチイウ・いはく・ず・なり・む・)

○再一宥には曰ク過一失ナラン。(群書治要卷八〔周禮〕・148) (・いはく・なり・む・)
○三一宥には曰ク遺一忘ナラン(群書治要卷八〔周禮〕・149) (・いはく・なり・む・)

○識(返)返(ら)不(る)とは愚一民トの識シ返(返)ル所(返)無(二)キ(キ)を謂(二)フ「也」(群書治要卷八〔周禮〕・149・注) (・しる・いふ・)

○壹一赦シヤには曰ク幼一弱。(群書治要卷八〔周禮〕・150) (・シヤ・いはく・)

○再一赦には曰ク老一耄。(群書治要卷八〔周禮〕・150) (・いはく・)

○三一赦には曰ク蠢シヨウ愚(平)愚(平濁)(群書治要卷八〔周禮〕・150) (・いはく・シヨウグ・)

○蠢(平)愚(平濁)は生レ而チ癡(入)駭カイナルソ「也」(群書治要卷八〔周禮〕・151・注) (・うまる・チガイ・なり・ぞ・)

○赦とは其(の)罪(二)免ニルスを謂フ「也」(群書治要卷八)

〔周禮〕・151・注) (・ゆるす・いふ・)

○此ノ三ノ法の者(二)返を以(二)て民の情を求め。(群書治要卷八〔周禮〕・151) (・の・もとむ・)

○●小一行一人・若シ國札(入輕)―喪アルトキンハ則(ち)・賻(去)

―補(上)セ令ム〔之〕(群書治要卷八〔周禮〕・153) (・もし・サ

ツソウ・あい・ときんば・ふほ・す・しむ・)

○喪―家(返)に賻(り)て其の足(ら)不(る)を補フソ(群書治

要卷八〔周禮〕・153・注) (・おくる・おきぬふ・ぞ・) (〔補〕

○若シ・國凶―荒には則(ち)賻(平輕)―委(上)セ「イ、賻ヒ―委

サ」令(む)〔之〕(群書治要卷八〔周禮〕・154) (・もし・シウキ・

す・すくふ・いたす・)

○若(し)・國師―役アルトキンハ・則(ち)槁(去)―會(去)(二)セ

令(二)ム〔之〕(群書治要卷八〔周禮〕・154) (・あり・ときんば・

カウカイ・しむ・) (〔會〕本行「ネ十會」であり)

○合セ―助ケ相(ひ)―振フルを會と爲(群書治要卷八〔周禮〕・

155・注) (・あはす・たすく・ととのふ・)

○若(し)國福―事有ルトキンハ・則(ち)慶―賀(二)セ令(二)む

〔之〕。(群書治要卷八〔周禮〕・155) (・あり・ときんば・す・)

○若(し)・國禍―災有ルトキンハ・則(ち)哀―弔(二)セ令(二)む

〔之〕(群書治要卷八〔周禮〕・156) (・あり・ときんば・アイチ

ウ・)

○●掌―客・凡ソ賓―客を禮スルこと・國新ナルトキンハ禮(返)を

殺「イ、殺ク」ス。(群書治要卷八〔周禮〕・157) (・およそ・す・

あらたなり・ときんば・おとす・そぐ・)

○凶―荒ナルトキンハ禮を殺「イ、殺ク」ス。(群書治要卷八〔周禮〕

・158) (・なり・ときんば・おとす・そぐ・)

○札―喪アルトキンハ禮を殺「イ、殺ク」ス。(群書治要卷八〔周禮〕

・158) (・サツソウ・あり・ときんば・おとす・そぐ・)

○禍―災アルトキンハ禮を殺「イ、殺ク」ス。(群書治要卷八〔周禮〕

・158) (・あり・ときんば・おとす・そぐ・)

○野―外に在ルトキンハ「イ、野に在リ・外に在ルトキンハ」・禮を

殺「イ、殺ク」ス(群書治要卷八〔周禮〕・159) (・あり・ときん

ば・あり・あり・ときんば・おとす・そぐ・)

○殺は滅^{カム}〔上〕〔也〕（群書治要卷八〔周禮〕・159・注）（・カム・）

○國新ナルトイハ々（新）に國（返）を建（つ）ルソ〔也〕（群書治要卷八〔周禮〕・159・注）（・あらたなり・といは・たつ・ぞ・）

○凶―荒は年（訓）（返）無^ナキソ〔也〕（群書治要卷八〔周禮〕・159・注）（・なし・ぞ・）

○札^{サツ}―喪は疫―癘〔也〕（群書治要卷八〔周禮〕・159・注）（・サツソウ・）

○禍―災は新に兵―寇^{コウ}（去）及（ひ）水―火（二）有（三）ルソ〔也〕（群書治要卷八〔周禮〕・159・注）（・ヘイコウ・あり・ぞ・）

○野―外に在りとは・軍―行ソ〔也〕（群書治要卷八〔周禮〕・160・注）（・あり・ぞ・）

〇〇〇

〇〇 集

〇〇

〇〇 点語彙の意味論的研究―文脈付き訓点語彙コーパスの作

成―（課題番号26370539・研究代表者松本光隆）による研究成果の一部である。&

身延山久遠寺藏本朝文粹訓点データ集稿 (二)

王暄 高田哲治 陳翰柯 戴玉潔 孫瑾 陳博林 孟津卉 張璐 王帥予

卷第二

○上は先―帝臂(返)を把ル「之」託(二)を思(二)ヒ・下―少―子頸(返)を抱ク「之」情(二)を知(二)レ。(身延文粹・上二一・5)

(・かみ・とる・タク・おもふ・しも・くび・いだく・しる・)

○凡ソ―厥ノ攝―行・一に前の詔(二)(の) 如(二)セヨ。(身延文粹・上二一・6)

(・おほよそ・その・いつに・ごとくにす・)

○縦(ひ)方―赤を「於」公か口(二)に瀝ツトモ・何ソ雌―黄を「於」

朕か脣(二)に下(二)サン。(身延文粹・上二一・7) (・したつ・

とも・なにぞ・シワウ・くちびる・くだす・む・)

○之を 悉(二)スラク「イ、悉ス」耳ミ(身延文粹・上二一・8) (・

ことごとくんす・らく・シツ・す・のみ・)

○同公關白(を) 辭スル表(二)(に) 答(二)スル勅―答(身延文粹・

上二一・10) (・す・す・)

○勅す 表(返)を得て 忽(二)に遜(去)―讓(上濁)(の)「之」懷(二)

を見(二)ツ。(身延文粹・上二一・11) (・たちまちに・ソンジヤウ・をもひ・みる・つ・)

○公・臣(平)―弼(入)(の) 功積リ・化―導(の) 慮(二)―高シ。

(身延文粹・上二一・11) (・つもる・おもんばかり・たかし・)

○前―朝(の)「之」聖―明ナル・公(返)を待(ち)て耀(返)

を増ス(身延文粹・上二一・12) (・なり・ひかり・ます・)

○今朕か「之」愚―昧ナル・誰を頼ンテカ矐(返)を披カシ。(身延

文粹・上二一・12) (・グマイ・なり・たのむ・て・か・モウ・ひ

らく・む・)

○而を期(返)に先(ち)而老(訓)(返)を告ケ・病(返)に託ケ以情

(返)を陳フ。(身延文粹・上二一・13) (・ゴ・さいだつ・つぐ・

つく・のぶ・)

○藥―石(の)「之」至―言(二)を憶(二)フ每(三)に・唯(た)霧

(去濁) 露(の)「之」永ク散(二)センコトヲ望(二)む。(身延文粹・上二一―13) (・をもふ・ながし・す・む・こと・を・)

○何ソ謙を「於」四海(の)「之」朝―務(二)返(二)に流(二)シテ跡ヲ「於」五―湖(の)「之」春の―煙(二)に浪(二)センと欲(三)ル「乎」。(身延文粹・上二一―14) (・なにぞ・ケン・テウム・ながす・あと・を・ゴゴ・みだりがはしくす・む・す・)

○彼の賢―息(入)數(上)―人共に將(去)―相(去)爲(二)ルに至(二)テ・或は徳(返)に因(り)て進(二)ミ・或は功(返)を以て登(二)ラ不(二)トイフコト靡(三)シ。(身延文粹・上二一―1) (・ケンソク・たり・て・すすむ・のぼる・ず・と・いふ・こと・なし・) (「至」、二二点は「三」点の誤写か。)

○公か三―四(の)「之」子(訓)と謂(二)ふこと勿(三)かレ・斯(れ)乃(ち)朕か「之」二―八(の)「之」臣「也」(身延文粹・上二二―3) (・なし・すなはち・)

○天既に其(の)爵(二)を與(三)フ・世皆(な)其(の)賢(二)を欽(二)ム。(身延文粹・上二二―3) (・あたふ・つつしむ・) ○亦(た)何ヲカ―言フ「哉」・何(をか)言(ふ)「哉」(身延文

粹・上二二―4) (・なに・を・か・いふ・)

○詞―藻(上)を飭ルと雖(も)・豈(に)心―根を動(二)サンヤ。(身延文粹・上二二―4) (・かざる・うごかす・む・や・)

○縦ヒ性を花―月(二)返(二)に養(二)テ且(マ)に林―菌(の)「之」間(二)に遊(二)フトモ・猶(ほ)契(二)を風―雲(二)返(二)に思(二) (二)て槐(平)―棘(入) (の)「之」上(二)を離(二)レ不(三)。(身延文粹・上二二―5) (・たとひ・やしなふ・まさに・あそぶ・とも・ちぎり・ほとり・はなる・)

○能ク此の意に體(音)シ(て)後章を煩(二)スルこと莫(か)レ(身延文粹・上二二―6) (・よく・す・いたつかはしくす・なし・)

○同公の致―仕(平濁)の表(二)に答(二)スル勅(身延文粹・二二―9) (・チジ・す・)

○勅す表(返)を省(二)ミテ高―旨を具(二)シツ。(身延文粹・二二―10) (・かへりみる・つぶさにす・つ・)

○朕前(サ)に・公―且(ク)を指(し)而(去)類(去)暮(去濁)を懷(二)ヒ司―馬(ヒ)を引(ヒ)而懸(二)車(ヲ)抑(フ)。(身延文粹・二二―10) (・さき・コウタン・タイ

ボ・をもふ・ひく・をさふ・(「暮」、下に「一本」)。

○公今・還て謝―徳(の)「之」色(一)返(返)を凝(コラ)シテ彌(よ)

執―謙(の)「之」光(ひかり)を照(テラ)ス。(身延文粹・一二・11)

(・こらす・ひかり・てらす)

○又(た)猶(ほ)彼(返)を以て希(平)―有(上)の「之」

睽(アト)爲(ス)ル歟。(身延文粹・一二・12) (・あと・と・す)

○昔・呂―望(人名)か鬢の邊(の)「之」雪・世未(た)其(の)

煙―溪(平)に歸(ニ)ルコトヲ傳(三)返(返)へ「未」(再讀)。(身延

文粹・一二・13) (・かへる・こと・を・つたふ)

○姫(平)―爽(セキ)か面の―上(の)「之」波・人豈(に)「之」粉

―澤(二)に踰(コ)エタリと謂(イ)ハンヤ。(身延文粹・一二・13)

(・キセキ・こゆ・たり・いふ・む・や)

○況(や)・待(返)所は「者」臥―治・誰か夜―行を責(セ)メン。

(身延文粹・一二・14) (・せむ・む)

○將(イ)に「於」居―閑(二)に任(ニ)返(返)センと「將」(再讀)レハ・

恐(おそ)は「於」朝―務に迷ハンコトヲ。(身延文粹・一三・1) (・ま

さに・まかす・む・す・ば・おそらくは・まよふ・む・こと・を)

○縦(ひ)枯(返)レタルを燔(タ)イ「イ、燔イ」以生(音)を養(二)

フこと有(三)リトモ・榮(平)を逃(ノカ)レ以老(返)を終(一)ヘンコ

トヲ許(ユル)サ不(シ)。(身延文粹・上二三・2) (・かる・たり・た

く・やく・やしなふ・あり・とも・のがる・をふ・む・こと・を

ゆるす・じ)

○宜(く)國(返)を憂(ふ)ル「之」常(の)―情(二)返(返)を思

(二)て永ク家(返)を傳(ふ)ル「之」苦(上)―請(平)上

を停(ヤ)ム「宜」(再讀)下(下)。(身延文粹・上二三・3) (・う

れふ・ながく・つたふ・やむ)

○勉(ツト)メテ醫―藥(返)を加へて重(ね)て陳スルこと莫(か)レ「焉」

(身延文粹・上二三・4) (・つとむ・くはふ・す・なし)

○枇―杷の左大臣の職(返)を辭スル表(二)に答(二)スル勅(身延

文粹・上二三・6) (・す・す)

○勅(重)重(て)表(返)を得て之(返)を具(ツツ)シツ。(身延文粹・

上二三・7) (・つぶさにす・つ)

○夫(れ)・事(返)を立テ官(返)を立(つ)ル卿家(の)「之」

舊―語ナリ。(身延文粹・上二三・7) (・たつ・たつ・ケイカ・な

り・)

○功(返)を世(返)シ德(返)を世(返)にスル・何(返)の一人(返)の「之」
遺(返)蹤(返)ソ。(身延文粹・上一三・七) (・よ・に・す・す・いづれ・
ぞ・)

○去(返)病(返) (人名) は則(返) (ち) 是(返) (れ) 霍(返) (入) 將軍博(返) 陸(返) か「之」兄(返) (訓)
ナリ・玄(返) 成(返) (人名) は寧(返) (ろ) 韋(返) 丞(返) 相(返) (人名) 第二(返) (の) 「之」子
(二) に非(返) (三) スヤ。(身延文粹・上一三・八) (・なり・あらず・
や・)

○縦(返) (ひ) 侯王種(返) (二) 無(返) (二) (し) と云(返) フトモ・巳(返) に公(返) 卿門(返) (平)
(二) 有(返) (二) ルコトヲ知(返) (三) (り) ヌ。(身延文粹・上一三・九) (・
シユ・いふ・とも・あり・こと・を・ぬ・)

○況(返) ヤ公(返) ・芝(返) (平) 一 扇(返) (平) に寵(返) (返) を席(返) ク・曉(返) (の) 一 星(返) を載(返) イ
而(返) 年(返) (返) を積(返) ミ・椒(返) (平) 一 室(返) に花(返) (返) を縮(返) フ・春(返) の 露(返) に霑(返) (ひ)
而(返) 月(返) (返) に映(返) す。(身延文粹・上一三・10) (・いはむや・シケ
イ・しく・いたたく・つむ・セウシツ・むすぶ・うるふ・エイ・)

○朕(返) か「之」加(返) (返) (ふ) ル所(返) ・自(返) (ら) 僉(返) 一 屬(返) に副(返) へり。(身
延文粹・上一三・11) (・くはふ・センシヨク・かなふ・り・)

○方に今(返) ・一片風(返) 一 清(返) シ・奔(返) 一 競(返) (の) 「之」跡(返) (二) を拂(返) (二) フ
と雖(返) (三) (も) ・萬(返) 一 機塵(返) 一 鬧(返) シ・恐(返) は謙(返) 一 讓(返) (の) 「之」
懷(返) (二) に擁(返) (二) センコトヲ。(身延文粹・上一三・12) (・き
よし・ホンケイ・はらふ・いそがはし・おそらくは・をもひ・キヨ
ウ・す・む・こと・を・)

○朕(返) か心石(返) (訓) (返) に匪(返) ス・公何(返) ソ轉(返) (返) ス可(返) ケンヤ。(身延文
粹・上一三・13) (・あらず・なにぞ・まるばす・べし・む・や・)

○地(返) 一 中(返) 「イ、地の中」(の) 「之」山(返) (二) (返) を重(返) (二) ネて以(返) て天
下(返) (の) 「之」望(返) (の) 望(返) (上) を塞(返) (中) クこと莫(返) (下) カラマク耳(返) ミ(身
延文粹・上一三・14) (・かさぬ・のぞみ・ふさぐ・なし・まく・
のみ・)

○六條右大臣の職(返) (返) を辭(返) スル表(返) (二) に答(返) (二) スル勅(返) (身延文粹・
上一四・2) (・す・す・)

○勅(返) す 右大臣重ネタル表(返) (返) を省(返) (返) て懷(返) (返) フ所(返) (返) を具(返) (返)
シツ。(身延文粹・上一四・3) (・かさぬ・たり・かへりみる・
おもふ・つぶさにす・つ・)

○於^ア「戯・止―足」の「之」慮^{おもんはむリ}・勵^{ライ}（去）―卿^{キヤウ}（の）「之」

風^訓高^返（し）と雖^も・謙―退^の「之」詞・鬱―邑

（の）「之」煙^訓散^返シ難シ。（身延文粹・上一四・3）（

あ・おもんばかり・ライキヤウ・す・かたし・）

○惟^コレ公ハ・朝^平の「之」宿^入―齒^シナリ・肝^{カン}（平）―膽^{ダン}を瀝^{シタ}テ

而^テ年深シ。（身延文粹・一四・4）（これ・は・シユクシ・なり・

カンタン・したつ・ふかし・）

○國^の「之」英^平―髦^{ホウ}（平濁）ナリ・喉^{コウ}―舌^{シツ}を經^ヘテ「而」「イ

經^テ而」日久シ。（身延文粹・一四・5）（エイボウ・なり・コウ

ゼツ・ふ・て・ひさし・）

○夫^ツレ・勞^{ラウ}（去）返^返を惠^{メツ}ンテ必^ス酬^{ムツ}ユルは「者」聖―哲^の

「之」彝^イ―範^{ハン}（なり）（身延文粹・一四・6）（それ・めぐむ・

むくゆ・イハン・）

○仁^返（返）に當^ア（り）て讓^返ラ不^ル（る）は「者」・人臣^の

「之」表―儀ナリ。（身延文粹・一四・6）（あたる・ゆづる・

なり・）

○朕^か「之」此^の舉^音・公何ソ辭^返スルコトヲ得^エン。

（身延文粹・一四・7）（なにぞ・ジ・す・こと・を・う・む・）

○縦^ヒ其^の事^二を高^二―尚^{シヤ}ストモ・誰^か其^の情^二

を允^上（二）容^平セン哉^ヤ。（身延文粹・一四・7）（たとひ・

コウシヤ・す・とも・インヨウ・す・む・や・）

○彼^の言^を暮^年（二）に寄^二セ・勤^{ツトメ}を朝―霧^上に謝^中

スルに至^下（り）テハ・昔・呂―尚^去―父^{人名}か「之」面^{ヲモテ}

ノ―波^ハ・涓^キ―水^を別^ち（ち）而猶^ほ（ほ）疊^{タガ}ミ・園^平―司^徒（人名

か「之」鬢^の雪・商―山^を出^て（て）而既に寒^{サム}シ。（身延文粹・一四

・8）（こと・よす・つとめ・す・て・は・をもて・の・キスイ・

たたむ・さむし・）（原本「寄」、破損。）

○然^モ周―文漢―惠^{人名}・皆^な嘉^ホ―謨^{平濁}（二）に資^ヨ

ル者^{もの}ナリ「也」（身延文粹・上一四・10）（しかも・カボ・よる・

なり・）

○公逾^{イヨク}者―成^の「之」誠^二（返）を扶^二ケテ少^{シハラク}モ休^{キウ}スル

「之」思^二有^二（三）こと莫^三（か）レ（身延文粹・上一四

・11）（いよいよ・たすく・しばらくも・キウ・す・なし・）

○入道前太政大臣并て章奏等(二)を辭(ニ)スル表(上)に答(下)スル勅(身延文粹・上一四・14)(・ジ・す・す・)

○勅す 表―翰(去) 稠(平)―豊シテ雅―言(二)を合(平)(二)―咀(上)す。(身延文粹・上一五・2)(・へウカン・チウテフ・す・カンシヨ・)

○惟(平)レ公(音)・蘅(平)―蓀(平)芳(音)(平)を蓄(去)へ・瑤(平)鋭(上)美(音)(返)を擅(ホシイマ、ニ)ス。(身延文粹・上一五・2)(・これ・カウソ・ン・たくはふ・エウセン・ほしいままにす・)〔鋭〕、〔銑〕の誤写か。

○寄(ヨ)セ象―岳(二)ヨリモ高(二)シ・既に杞(上)―梓(上)(の)〔之〕材(二)を養(二)フ。(身延文粹・上一五・2)(・よす・より・も・たかし・キシ・やしなふ・)

○地渭―陽(二)ヨリモ貴(二)シ・能(く)江―湖(の)〔之〕量(平)(二)を韜(ツ)メリ。(身延文粹・上一五・3)(・より・も・たとし・つつむ・り・)

○爰に・素―性(イサキヨウ)潔(シ)而清―謙(二)を執(ト)リ痾(平)―恙(ヤウ)侵(シ)而重―秩(二)を辭(二)す。(身延文粹・上一五・4)(・いさぎよ

うす・とる・アヤウ・をかす・)

○昔・漢の邳(上)―丞―相(人名)病(返)有リ・夏―侯―勝(平)(人名)帝(返)(返)に言シテ曰(く)・吉陰―徳有リ・疾以テ瘞(イ)可(シ)。

(身延文粹・上一五・5)(・あり・まうす・あり・いゆ・)○厥の後何(返)(返)ト無シテ果(ハ)テ其(の)言(コト)の如シ。(身延文粹・上一五・6)(・なにと・なくす・はたす・こと・ごとし・)

○猗(ヨイ)乎(平)・公か〔之〕徳―行(去)・古―賢(ハ)に慙(ハ)ツルこと無シ。(身延文粹・上一五・7)(・よいかな・はづ・なし・)

○漢―家(の)〔之〕舊―風相(ひ)―傳(ツ)〔之〕漳(平)―濱(平)(の)〔之〕宿―霧(上濁)〔イ〕宿―霧(上濁)將に散(音)シケン(と)〔將(再讀)。(身延文粹・上一五・7)(・つたふ・す・けむ・)

○彼(の)應(平)―曜(去)(人名)獨リ〔於〕淮―陽(二)に臥(二)シ・許―由(人名)長ク穎―水(上)に遊(中)(ひ)シに至(下)(り)テハ・親(音)巳に戚(セキ)里に非(す)・心何ソ濟(去)―川に在(らむ)。

(身延文粹・上一五・8)(・ひとり・ふす・ながし・エイスイ・き・て・は・セキリ・なにぞ・)

○公其(の)社―稷(タメ)の爲(タメ)・國―家(の)爲(タメ)・猶(ほ)星―階(返)を履(フ

ンて彌(よ)風―化を施セ。(身延文粹・上一五・10) (・た
め・ふむ・ほどこす・)

○然モ・章―奏の公(返)を令て宣行(二)セ「令」(再讀)ムル禁
―兵の公翼―衛(二)爲(二)ル・悉に以て停メ罷メて乃か―心を奪、
不(身延文粹・上一五・11) (・しかれども・す・しむ・たり・
とどむ・やむ・なんぢ・むばふ・じ・)

○諸―公―卿の封―祿(二)減(二)セント「イ、減サント」請(三)フ
表(上)に答(下)スル勅(身延文粹・上一五・14) (・す・む・と・
をとす・む・と・こふ・す・)

○勅す 朕眇―身を以(て) 謬(り)て元―首爲り。(身延文粹・
上一六・1) (・ベウシン・あやまる・グワンシユ・たり・)

○運澆(平濁)―世に属(音)シ・道(訓)淳―源を離レタリ(身延文
粹・上一六・1) (・す・シユンゲン・はなる・たり・)

○近―曾炎―早シテ「イ、炎早(し)・」人―庶憂―勞(去)す。(身
延文粹・上一六・2) (・このごろ・す・て・)

○神―靈を崇ヒ而功(返)無(く)・經―王「イ、經―王」を轉(音)
シ而驗(返)アラ不。(身延文粹・上一六・2) (・たとふ・す・し

るし・あり・)

○是(を)―用て躬節―儉(二)を親(二)シ心感―通(二)を期(二)
す。(身延文粹・上一六・3) (・み・みづからんす・)

○乃(ち) 舊―章(返)に稽へて重―て新―詔を施す(身延文
粹・上一六・3) (・すなはち・かんがふ・かさねて・)

○衣は彌(よ) 異―綵(二)無(二) (か)ランコトヲ 慮(三)リ・
食は亦(た) 兼―珍有ルコトヲ 嫌フ。(身延文粹・上一六・4)

(・なし・む・こと・を・おもんばかる・あり・こと・を・きらふ・)
○民の爲(ため)スル所―以ナリ「也」(身延文粹・上一六・5) (・た
めにす・なり・)

○而(を) 卿等・蒼―天(の)「之」德(返)に厭(二)クコトヲ稱(二)
(返)セ不・還て紫―泥を「於」流―謙(二)に美(二)ス。(身延文粹・
上一六・5) (・しかるを・ケイ・ら・あく・こと・を・す・よみ
す・)

○内は議を「於」股―肱(平)に合(二)セ・外は彙を「於」
朱―紫(二)に引(三)ク。(身延文粹・上一六・6) (・ココウ・あ
はす・たぐひ・ひく・)

○至―情に任セ而封(を) (返)折(返)ガンコトヲ求メ・往―跡に違

(ひ)而祿(を) (返)減(返)センコトヲ陳す。(身延文粹・上一六

・7) (・まかす・へぐ・む・こと・を・もとむ・す・む・こと・を・)

○朕猶(ほ)怪フ「焉」。(身延文粹・上一六・7) (・あやしぶ・)

○夫レ・災(平)―害(去) (の)「之」興・必(す)應(去) (返)スル

所(返)有(り)。(身延文粹・上一六・8) (・それ・サイガイ・す・)

(「災」、上欄。)

○朕か「之」逮(返) (は)不(る)「イ、不逮ナル」・蓋(し) 自(フのつか)

(ら)之を招ケリ。(身延文粹・上一六・8) (・フタイ・なり・を

のづから・まねく・り・)

○朕獨(り)民(返)に對(ひ)而謝(二)す可(三)シ「矣」。(身延

文粹・上一六・9) (・むかふ・べし・)

○卿等何ソ己(返)を剋メ而同センヤ「乎」。(身延文粹・上一六

・9) (・なむぞ・をのれ・せむ・をなじうす・む・や・)

○況(ヤ)・大夫等・國―恩是ヲ―憑メリ・私(平)―儲(平)或は乏(トホ)

シ。(身延文粹・上一六・9) (・これ・を・たのむ・り・シチヨ・

とほし・)

○學―館(二)於(三)リ出(三) (て)タル者は風―月唯(た)家―資

爲リ。(身延文粹・上一六・10) (・より・たり・もの・たり・)

○孝―門(二)自(三) (り)移(三)ル者は水―菽(入)祿―養に非ス

トイフこと莫シ。(身延文粹・上一六・11) (・うつる・あらず・と・

いふ・なし・)

○來リ―請フ「之」旨・曾テ容(返)レ不(返)ル所ナリ。(身延文粹・

上一六・12) (・きたる・こふ・かつて・いる・ず・なり・)

○猗―歎(平)・公(返)を助クル「之」誠(二)を悅(三) (返)ハ不(返)

ルニハ非(す)・俗(返)を敦スル「之」志(二)を高(三) (返)セ不

ルニハ非(す)。(身延文粹・上一六・12) (・よし・かな・たすく・

よろこぶ・ず・に・は・あつうす・たかうす・ず・に・は・)

○然モ此の省(上)―撤(上)將(上)に「於」予―一人か「之」身(二)に

止(二)メンと「將」(再讀) (三)フ「也」(身延文粹・上一六・13)

(・しかれども・セイテツ・まさに・とどむ・む・をもふ・) (「撤、

左傍に「檄」)。

○中(去)務(平)の・伯―禽(平) (人名)魯(返)に封セラレ辟(入)―

疆キヤウ（平）（人名）侍―中タリ。（身延文粹・上一七・5）（・チウム・ホウ・す・らる・ヘキヤウ・たり・）

○咨爾アナンチ時平・名―父（の）「之」子訓・功―臣（の）「之」嫡チヤクナリ。（身延文粹・上一七・5）（・あ・なむぢ・チャク・なり・）

○此の良―辰返に及（ひ）て汝か元―服（二）を加（三）フ。（身延文粹・上一七・6）（・くはふ・）

○鳳去―毛平濁酷ハナタ似ニタリ・爵入―命去宜（去）ク殊（返）ス「宜」（再讀）（し）。（身延文粹・上一七・6）（・はなはだ・にる・たり・よろしく・ことにす・）

○前サキ（の）件ケンに依返ル可シ・主―者施―行（身延文粹・上一七・7）（・さき・くだん・よる・べし・）

○中―務ムの先―功コフ父臣の後―胤遺―種ナリ。（身延文粹・上一七・11）（・チウム・センコフ・なり・）（上欄、「父久臣イ本」）

○唯た當―時（の）「之」器―量（二）を悦（二）フノミに非（三）（す）・亦た曩―日（の）「之」附―託（二）に感す。（身延文粹・上一七・11）（・よるこぶのみ・ナウジツ・）

○宜く爵―命返を授ケテ用テ寵―榮（二）を異（二）ス「宜」

（再讀）（し）。（身延文粹・上一七・12）（・さづく・もて・ことにす・）

○前（の）―件に依ル可シ・主―者施―行（身延文粹・上一七・12）（・よる・べし・）

○重（かさ）テ奏―狀返を得テ具（ツ）に其（の）凶―類（シ）滋（ヘ）ク蔓（リ）て良―民（二）を殺（二）―略スルコトヲ知（三）（らし）メ（よ）。（身延文粹・上一八・3）（・かさねて・つぶさに・しげし・はびこる・す・こと・を・しむ・）

○兵返を發（ツ）シテヨリ以―來（た）・成―效（去）有（二）ランコトヲ望（三）（む）。（身延文粹・上一八・3）（・をこす・て・より・セイカウ・あり・む・こと・を・）

○而を―今・官―軍敗（返）を致シテ賊（音）―徒氣（返）を作（ナ）ス。（身延文粹・上一八・4）（・やぶれ・いたす・なす・）

○兵返を用（ぬ）ル「之」道・豈（に）此（返）（の）如クナラン乎（身延文粹・上一八・5）（・もちある・ことし・なり・む・や・）

○今・上野下野等の國（二）返（二）に勅（二）シテ各（の）兵（訓）一千（二）を發（二）シ・亦た重（かさ）テ陸奥（二）返（二）に勅（二）シテ責（セ）ム

（二）を發（二）シ・亦た重（かさ）テ陸奥（二）返（二）に勅（二）シテ責（セ）ム

ルに緩ク救フコトヲ以^モテス。(身延文粹・上一八・5) (・す・をこす・かさねて・す・せむ・ゆるし・すくふ・こと・を・もてす・)

○宜ク三國の兵^返を合^アセて一時に禽滅^二す「宜」(再讀^二シ。(身延文粹・上一八・6) (・よろしく・あはす・べし・)

○凡^二そ^一・軍陣^の「之」法・必^二す^一注記有り。(身延文粹・上一八・7) (・あり・)

○其^の録^二ス所^三返^察て爲^ニ成敗^一を圖^二ル。(身延文粹・上一八・8) (・しるす・みる・ため・はかる・)

○今・上^一奏^二所^三の状^極省^略ナリ。(身延文粹・上一八・8) (・かたち・きはめて・なり・)

○胡^一城雲^隔リ魏^一闕天遥ナリ。(身延文粹・上一八・9) (・へだたる・はるかなり・)

○路^遠ク事^疑シ^指シ^指問^フ可^きに非^二す^一。(身延文粹・上一八・9) (・とほし・うたがはし・とふ・)

○必^二す^一須^二事^巨細^と無^ク委^曲に記^録シテ知^リ見^ル可^{カラ}令^ム「須」(再讀^四シ)。(身延文粹・上一八

・10) (・なし・す・しる・みる・べし・しむ・)

○老^弱行^去返^返に在^二り^一て耕^種務^返を廢^ム。(身延文粹・上一八・11) (・つとめ・やむ・)

○早^二く^一鏑^返を染^ムル「之」勞^二返^を休^メて當^ニ弓^返を囊^スル「之」化^二返^を崇^ニフ「當」(再讀^三シ)。(身

延文粹・上一八・11) (・やいば・そむ・やむ・ふくろにす・たとぶ・)

○勅^到ハ奉^行「イ奉^リ行^ヘ」(身延文粹・上一八・12) (・チヨク^{タウ}・は・うけたまはる・をこなふ・) (行末、「宮式令

説」) (・安^ケレトモ危^返 (か)ランことを忘^返レ不^況ヤ處^視方^ナに久^シ。(身延文粹・上一九・1) (・やすし・ども・あやうし・む

わする・いはむや・シヨシ・まさに・ひさし・)

○治^レトモ亂^返レンことを忘^返レ不^況ヤ風^聞已^ニ成^レリ。(身延文粹・上一九・1) (・をさまる・り・ども・みだる

む・わする・なる・り・)

○者ハ・昔・李―將―軍カ「之」邊（音返）を守ル・胡人敢て南
に―下（二）ラ不（二）。（身延文粹・上一九・2）（・ていれば・ま
もる・コひと・くだる・）

○楊―大―尉カ「之」鎮（去返）に在ル・敵―國亦（た）以て子
來す「イ、子ノコトクニ來ル」。（身延文粹・上一九・2）（・ヤウタ
イキ・あり・こ・の・ごとし・に・きたる・）

○且ハ兵―機（二）を警（二）メ・且（は）耕―織（二）を勤（二）
メて生―民（返）を令て業（返）を樂ヒ・死―生戰（二）を駐（二）メ
「令」（再讀）（三）メヨ（身延文粹・上一九・3）（・かつは・いまし
む・つとむ・たのしむ・たたかひ・とどむ・しむ・）

○陸（去）奥「イ、陸奥」勅符（身延文粹・上一九・6）（・リクア
ウ・みちをく・）（右傍に「世間流布本無此符」）

○蝦（平）―夷（の）「之」起レルこと表（返）を見て之（返）を具シ
ツ（身延文粹・上一九・7）（・カイ・をこる・り・つぶさにす・
つ・）

○須（平）ク大に諸―國（の）「之」兵（返）を興シて早（に）以て討
―滅（二）す「須」（再讀）（二）（し）（身延文粹・上一九・7）（・す
べからく・をこす・）

○然―而（も）中―國を費シ而夷―狄に資（音）スル・代已（以て）
之（返）を刺ル（身延文粹・上一九・8）（・つゐやす・シ・す・よ・
そしる・）

○倉―廩（二）を耗（二）シテ「而」「イ、耗（し）而」遐（平）―荒（二）
を批（二）ツ「イ、批ツ」後（の）者亦（た）未（た）可（返）と爲（返）
「未」（再讀）。（身延文粹・上一九・8）（・ソウリン・つゐやす・
て・うつ・うつ・ひと・す・じ・）（「耗」、右傍に「へイシテ」）

○加（平）之ス・蠻（平濁）―貂（入）（の）「之」情・法―禁（の）「之」
用（二）（ある）所（二）に非（す）。（身延文粹・上一九・9）（・し
かのみならず・バンハク・）

○狼―戾（平）「之」瞻（平）・宣（平）―彝（平）―綸（平）「之」施（返）
す所ナランヤ（身延文粹・上一九・10）（・ロウレイ・の・にぎは
ひ・イリン・なり・む・や・）

○宜(く)威(返)を以て其(の)外(二)を嚴(三)制シ仁(義(返)を以て其(の)内(上)を懷(中)ク「宜」(再讀)下(し)(身

延文粹・上二九・11)。(・す・なつく・)

○應(に)停(止)す「應」(再讀)勅(旨開)田并て

諸(院諸)宮及(ひ)五位以上百姓の田地舍(宅)を買(二)

イ(取り)閑(地荒)田(二)を占(二)メ(請(ふ)事(身延文粹・

上二十・2)。(・カイデン・あはせて・シヨクウ・かふ・とる・カ

ンチ・しむ・)

○格(入) (身延文粹・上二十・3)。(・キヤク・)

○右案(内(二)を)檢(二)フルに(項の)年(勅)旨開(田・

遍ク諸國に在(り)。(身延文粹・上二十・4)。(・かんがふ・しき

り・あまねく・)

○空(閑)荒(廢)の(「之」)地(二)を占(三)ムと雖(三)も(・

是(れ)黎(元産)業(の)「之」便(二)を奪(三)へリ「也」(身

延文粹・上二十・5)。(・クウゲン・しむ・レイゲン・たより・む

ばふ・り・) (「黎」、左傍に「民也」)。

○加(之)新(立)の庄(家)多(苛)法(二)を施(三)す。(身

延文粹・上二十・5)。(・しかのみならず・シヤウケ・おほく・カ

ホフ・)

○課(責)尤(繁)ク(威)脅(入)輕(耐)エ難シ。(身延文粹・上二

十・6)。(・クワセキ・もとも・しげし・イケフ・たふ・かたし・)

○且(諸)國(奸)濫(の)百姓(の)課(役)を遁(二)レン(か爲(三)

に(動)は京(師)に赴(て)好(豪)家に「イ、豪(家ノ)

屬(す)。(身延文粹・上二十・7)。(・かつかつ・カンラン・カヤ

ク・のがる・む・ややもすれば・をもぶく・このむ・ガウケ・カウ

カ・の・) (「濫」、左傍に「監敷」)。

○或(は)田(地)を以(て)詐(寄)進(二)と稱(三)シ(或(は)舍(

宅(返)を以て巧(ミ)に賣(リ)與(二)と號(三)す)。(身延文粹・

上二十・8)。(・いつはりす・す・たくみに・うる・あたふ・)

○遂(に使)を請(牒)取(封)を加(勝)

を立ツ。(身延文粹・上二十・9)。(・こふ・フ・くわふ・パウ・た

つ・)

○國(吏)矯(饒)の(「之」)計(二)を知(三)と雖(三)も(而も

權(貴)の(「之」)勢(二)に憚(三)て口(返)を鉗(舌)返

○返を巻マいて敢て禁シ制シ（二）セ不シ（三）。（身延文粹・上二十一・9）（ケウシヨク・ケクキ・いきをひ・はばかり・つぐむ・まく・す・）

○茲（返）に因（返）（り）て出（返）舉（返）（の）「之」日・事（訓）を權（ケ）門（二）
○返（返）に託（託）ケて正（平）税（二）を請（二）ケ不（三）。（身延文粹・上二十・10）（・ケンモン・つく・シヤウザイ・うく・）

○收（返）納（返）（の）「之」時（コ）穀（私）を私（二）宅（返）に蓄（二）へて官（倉）に運（三）ハ不（三）（身延文粹・上二十一・11）（・コク・たくはふ・はこぶ・）

○賦（返）税（難）濟（ス）・斯（返）に由（返）ラ不（返）トイフこと莫シ。（身延文粹・上二十一・12）（・フゼイ・これ・よる・ず・と・いふ・なし・）

○加（返）之（返）（す）・賂（遺）費（返）ス所（田）地（遂）に豪（家）（の）「之」庄（二）と爲（三）レ（身延文粹・上二十一・12）（・ワイ中・つゐやす・つひに・なる・）

○奸（搆）損（返）スル所（民）煙（長）農（桑）（の）「之」地（二）を失（三）フ。（身延文粹・上二十一・13）（・カンコウ・す・ビエン・ながし・うしなふ・）

○終（ツ）に「於」身（返）を容（二）ル、に處（返）無シ・還（て）「於」他（境）に流（三）一（元）穴（上）す。（身延文粹・上二十一・14）（・つゐに・いる・なし・リウジヨウ・）

○去（イ）ンシ天（平）神（護）「イ、神」護（元）年（格）（の）格（二）を案（三）スルに云ク天下の諸（人）競（ひ）（ひて）墾（平）田（イ、墾）田（イ、墾）を爲（身）。（身延文粹・上二十一・1）（・いんじ・テンビヤウ・キヤク・す・いはく・きそふ・メウテン・はるた・す・）（「墾」、右傍は「メイ」の仮名か。）

○勢（力）（の）「之」家は百姓を驅（カ）リ使（ヒ）貧（窮）（の）「之」民は自（ら）存（する）に暇無シ。（身延文粹・上二十一・2）（・かる・つかふ・なし・）（原本「暇」、「自」、「存」、破損。）

○今（返）自（り）て以（後）一切に禁（断）。（身延文粹・上二十一・3）（・す・）（原本「自」、破損。）

○寶龜三年の格に云（く）・諸（人）の墾（田）は任（二）開（墾）セ令（三）メモヨ。（身延文粹・上二十一・3）（・ままに・す・しむ・）

○但（し）・勢（返）を假（り）て百姓を苦（ハ）シメは「者」・宜（厳）ク禁（制）す「宜」。（身延文粹・上二十一・）

・4) (・いきをひ・かる・くるしぶ・しむ・いつくしく・)

○弘仁三年の格に云(く)・諸(國)司・朝(憲)に(率)ハ不(身延文粹・上二一・4) (・したがふ・)

○専(私)利(私)ノ利(私)「私(利)」を求(メ)百端(奸)欺(して)一(も)徴(し)革(ル)こと無(し)。(身延文粹・上二一・5) (・もはら・の・リ・もとむ・あらたまる・) (原本「百端(奸)欺」、「一」、破損。)

○或(は)他(名) | 人(ノ)名(ニ) (返)を假(カ) (リ)て多(ク)墾(田) (ニ)を買(ヒ)受(ク) (返) (或)は言(王)臣(上) (返)に託(下) (ケ)て競(ヒ) (平) | 地(ニ)を占(シ)ム。(身延文粹・上二一・7) (・かる・おほく・メウデン・かふ・こと・つく・きそふ・ユチ・しむ・)

○民(の)「之」業(返)を失(フ)コト・此(返)に由(返)ラ不(返)トイフこと莫(シ)。(身延文粹・上二一・8) (・うしなふ・こと・よる・ず・と・いふ・なし・)

○宜(ク)重(下)知(シ)テ 嚴(ク)禁(制) (ニ)を加(フ)「宜」(再)讀(三) (し)。(身延文粹・上二一・8) (・よろしく・かさねて・す・いつくしく・くはふ・)

○天(長)元(年)の格(に)云(ふ)・常(の)荒(田) (ニ)有(ニ)ラハ・百

姓(耕)作(シ)テ一(年) (の)「イ、身(ノ)」「之」間(は)其(の)耕(食) (ニ)を聽(ス)。(身延文粹・上二一・9) (・クワウデン・あり・す・て・シン・ゆるす・) (「年」、左傍に「身(シ)ン イ本」あり。)

○此(返) (返)に因(リ)て勢(家)耕(作) (ニ)スルコトヲ得(不) (三)。(身延文粹・上二一・10) (・す・こと・を・じ・)

○者(ハ)件(等)の格(ニ)を案(ス)ルニ閑(地) (ニ)を請(ケ)開(キ)荒(田) (ニ)を耕(ニ) | 食(ス)ルコト・只(た) 百(姓) (ニ)の爲(に)・獨(リ)其(の)文(を)立(テ)タリ。(身延文粹・上二一・10) (・ていれば・す・に・うく・ひらく・す・こと・ひとり・たつ・たり・)

○「于」高(貴) (ニ)至(ニ) (リ)テハ・嚴(制)重(疊)セリ。(身延文粹・上二一・12) (・て・は・ば・す・り・)

○而(を)諸(院)諸(宮)朱(紫) (の)「之」家(憲) | 法(返)に憚(ラ)不(し) (返) (ヒ) (返)て占(メ)請(ク)ルコトヲ爲(ス)。(身延文粹・上二一・12) (・はばかる・きそふ・しむ・うく・こと・を・) (原本「朱紫之家不」、破損。)

○國―郡の官―司判許(の)「之」日專(ら)墾(ら)リ―發(ら)クコトヲ催(二) (す)に似(三) (返)タリト雖(も)・其(の)輪―租(を)勞(音) (二) シ而猶(ほ)土民(の)「之」力―役(二) を盡(し)・國―内「イ、國―内」(の)「之」農―業(二) を妨(三) (二)ク。(身延文粹・上二二・13) (・はる・ひらく・こと・を・たり・と・ユソ・す・さまざま) (原本「司判許之日」「租而猶盡土民」、破損。)

○左大臣宣(して)勅(を)奉(す)・正(去)―朔(カセ)遞(カセ)に―變(カセ)シテ驪―輸(カセ)推(カセ)シ―遷(カセ)ル。(身延文粹・上二二・1) (・セン・たがひに・す・リカン・をす・うつる) (原本「宣奉」、破損。)

○八―埴(上) (の)「之」地限(返)有(り)・百王(の)「之」運(音)窮(返)無(シ)。(身延文粹・上二二・2) (・ハチエン・あり・なし) (・)

○若(し)限(返)有(ル)「之」壤(上濁) (二) (返)を削(三) (二) (り)て常に窮(返)無(キ)「之」運(音)に奉(三) (二) セは・則(ち)後―代(の)百姓・得(エ)而(タカ)ヘ耕(タカ)ス可(ヘ) (二) ケン(ヤ)乎。(身延文粹・上二二・3) (・あり・ジヤウ・けづる・きはまり・なし・ホウ・す・う・た

がへす・べし・む・や) (・)

○宜(ク)當(一)代(以)―後(の)勅(旨)開(田)・皆(悉)に停(止)シテ民(返) (返)を令(て)貞(作) (二) セ「令」(再讀) (二) メヨ。(身延文粹・上二二・5) (・よろしく・す・す・しむ) (・)

○其(ノ)寺(社)の百姓(の)田(地)は各(の)公(驗) (返)に任(マカ)セテ本(主) (二) に還(二) シ―與(アタ)ヘヨ(身延文粹・上二二・6) (・その・まかす・かへす・あたふ) (・)

○且(タ)夫(レ)・百姓(田)地(舍)宅(返)を以(て)權(貴) (二) に賣(二) リ―寄(セ)ン者(は)蔭(贖) (入濁) (二) 論(二) (返)セ不(土)浪(二) 辨(二) (返)へ不(杖) (音)六十(二) 決(入濁) (二) セム。(身延文粹・上二二・6) (・また・それ・ゴンクキ・うる・よす・む・もの・ランゾク・す・わきまふ・クエツ・す・む) (・)

○若(シ)符(の)旨(返)に乖(キ)―違(ひ) (返)て囑(返) (返)を受(け)て買(ひ) (二) | 取(リ)・并(て)閑(地)荒(田) (二) を請(二) (け)―占(ム)ル「之」

家(上)有(下)ラは國(訓)須(ク)具(に)料(主)并(て)暑(平濁)―牒(の)「之」人(訓)・使(者) (の)「之」名(二) (返)を録(二) シテ早(速)に言(上) (上)す「須」(再讀) (下)シ。(身延文粹・上二二・8) (・

もし・そむく・たがふ・ゾク・とる・あはせて・しむ・あり・すべ
からく・つぶさに・レウシユ・あはせて・ジヨデフ・しるす・べし・

○論スルに違^キ勅^入返^返を以て曾テ寛^{カツ}宥^{クワン}宥^{イウ}セ不^シ。 (身

延文粹・上二二・10) (・す・キチヨク・かつて・クワンイウ・す・
じ・)

○判^ハ許^シ(の)「之」吏は見^見任^任(二)を解^解(三)却^却(入^入濁^濁)セン(身
延文粹・上二二・11) (・ハンキヨ・カイキヤク・す・む・)

○但シ・從^{モト}來^{トヨ}相^相(ハ)傳^傳へて庄^{シヤウ}家^ケ返^返と爲^シて券^{ケン}契^{ケイ}(去

濁^濁分^分明^明ニシテ國^國務^務(二)に妨^妨(三)返^返ケ無^無(か)ランハ・此の
限^{カキ}に在^在(ら)不^不仍^仍て須^須(ク)官^官符^符の到^到(り)て後^後・百か日

内に弁^弁(平^平濁^濁)行^行(平^平濁^濁)シテ状^{カタチ}返^返(返^返)を具^{ツク}シテ言^{コト}上^上(二)す

「須^須」(二)(再^再讀^讀) (し) (身延文粹・上二二・11) (・ただし・もとよ

り・つたふ・シヤウケ・す・クエンゲイ・に・す・て・さまざま・
なし・む・は・かぎり・す・かたち・つぶさにす・)

○應^應(に)文^文章^章の生^生(音^音)并^{アヘ}て得^得業^業の生^生(二)を補^フ(三)スル舊

例^例(上^上)に復^{フク}(中^中)ス「應^應」(再^再讀^讀) (下^下) (き)事^事(身延文粹・上二三

・3) (・あはせて・フ・す・フク・す・) (行末、「格」)

○右式^右部^部省^省の解^解(二)(を)得^得(三)ルに僞^{イハ}ク・大^大學^學寮^寮の解^解に

僞^{イハ}ク・文章博士正五位下都^{ミヤコ}の宿^宿禰^禰腹^{ハラ}赤^カ牒^{テフ}(に)僞^{イハ}ク・天^ヒ平^{ヘイ}

二年三月廿七日の格に僞^{イハ}ク・文章の生廿人・雜^雑任^任及^及白^白丁^丁(の)

聰^{チウ}慧^慧(二)ナランを簡^{ケン}(三)ヒ取^トレ(身延文粹・上二三・4) (・

ゲ・う・いはく・いはく・みやこ・はらか・デフ・いはく・テンビ
ヤウ・いはく・および・サウエ・なり・む・えらぶ・とる・)

○年^年(の)多^多少^少(二)と限^限(三)ル須^ヘ不^不。 (身延文粹・上二三

・7) (かぎる・べし・)

○者^{テイ}而^而を省^{シヤウ}の去^イシ弘仁十一年十二月八日(の)符に僞^{イハ}ク・太

政官の去^去(し)十一月十五日(の)符に僞^{イハ}ク・唐^唐式を案スルに・

照^照(去)文^文(平)崇^崇(平)文^文兩^兩館^館の學^學生^生には三^三品^品已^已上^上の子

孫^孫を取^トレ凡^凡流^流(平)を選^{エラ}ハ不^不レトイヘリ。(身延文粹・上二三

・7) (・ていり・シヤウ・いんじ・いはく・いはく・す・とる・
ハンリウ・えらぶ・ず・と・いふ・り・)

○今^チ須^須ク文章の生^生(上^上)には「者^者」良^良家の子^子弟^弟(返^返)を取^取(り)

て寮^寮・詩^詩若^若は賦^{モシ}(二)返^返に試^シ(三)ミテ之^之(返^返)を補^フ(上^上)ス「須^須」(再

讀^讀下^下)シ。(身延文粹・上二三・10) (・すべからく・もし・こ

ろみる・フ・す・べし・)

○生(上)の中に稍、進マン者(返)を選ンて省(上)・更に覆一試(平)

濁(し)て号シて俊一士と爲・俊一士の翹(上濁)一楚(上)ノ者(返)を

取(り)て秀一才の生(二)と爲(三)。(身延文粹・上二三・11)・

シヤウ・うち・やや・すすむ・む・もの・えらぶ・シヤウ・フクシ・

ガウ・す・ギヨウソノ・もの・シヤウ・す・)

○者ハ・今良一家と謂フ。(身延文粹・上二三・13)・(ていれば・

いふ・)

○偏(訓)に符の文(二)に據(三)は・三位已上を謂フに似タリ(身

延文粹・上二三・13)・(いふ・たり・)

○縦ヒ果て符の文の如セハ・學一道に妨ケ有ラン。(身延文粹・

上二三・14)・(たとひ・はたして・ごとくす・ば・さまざま・あ

り・む・)

○何ハ「者」・大一學は才(返)を尚フル「之」處・賢(返)を養フ

「之」地「也」(身延文粹・上二三・14)・(いかにとならば・たと

ぶ・やしなぶ・)

○天下(の)「之」俊(志)咸(コト)に來(り)・海内(の)「之」英(平)

竝(な)に萃(アツ)ル。(身延文粹・上二四・1)・(ことごとくに・エイ・

ならびに・あつまる・)

○游(入色)一夏(入色)か「之」徒(上)・元ト卿一相(の)「之」子(訓)

(二)に非(三)す。(身延文粹・上二四・2)・(ともがら・もと・)

○楊(入色)一馬(入色)か「之」輩(上)・寒一素(の)「之」門自(二)り

出(三)てタリ。(身延文粹・上二四・2)・(ともがら・たり・)

○高一才未(必)モ貴種(二)ナラ「未」(再讀)。(身延文粹・上二

四・3)・(いまだ・かならずしも・クキシヨウ・なり・ず・)

○々(貴)々(種)未(た)必(モ)高一才ナラ「未」(再讀)。(身延

文粹・上二四・3)・(かならずしも・なり・ず・)

○且(夫)レ「イ、且一夫」・王一者(の)「之」人(返)を用(ぬ)ルこ

と・唯(た)才(音)是を貴フ(身延文粹・上二四・4)・(また・

それ・もちある・たとぶ・)

○朝ニハ斯(平)一養爲レトモ・夕(上)ニハ公一卿に登ル。(身延文粹・

上二四・4)・(には・シヤウ・たり・ども・よは・には・の

ぼる・)(本文「ハニハ」は疑問)・)

○而を一況(や)・區(平)一々(區)生一徒・何ソ門一資(二)に

拘カハニラン。(身延文粹・上二四・5) (・いはむや・クク・セイト・なにぞ・かかはる・む・)

○竊ヒソカにハ恐おそハ・悠イウ悠タル後進ハク・此返に返因ヨ(り)て解カイ體センコトヲ。(身延文粹・上二四・6) (・ひそかに・おそらくは・イウイウたり・よる・カイタイ・す・む・こと・を・)

○又(た)中返就クに文章の生(の)中ウに俊士五人・秀才二人二を置ニク。(身延文粹・上二四・6) (・シヤウ・うち・おく・)

○良一家に非すと雖も・之を俊士に補フスルコトヲ聽ユルス。(身延文粹・上二四・8) (・フ・す・こと・を・ゆるす・) (・と) 点、位置が低い。)

○者テイハ・良一家の「之」子訓・還下一列に居リ號返を立ツルこと異返ナリと雖も・課クワ試シスレ同シ。(身延文粹・上二四・8) (・ていれれば・をり・たつ・ことなり・クワシ・これ・おなじ・)

○徒イタツラに節目増マシテ政途に益エキ無シ。(身延文粹・上二四・9) (・いたづらなり・ます・エキ・なし・)

○又(た)令リヤウに依ル・秀一才進士の二科有ニリ。

(身延文粹・上二四・10) (・リヤウ・よる・ニクワ・あり・)

○課クワ試シノ「之」法法・難易同返(し)カラ不。(身延文粹・上二四・10) (・クワシ・の・おなじ・)

○所コノ以ユヘに元ト文章得業ゴフノ生二人を置ニケリ。(身延文粹・上二四・11) (・このゆへに・もと・トクゴフ・の・をく・り・)

○才一學の「之」淺深に隨ニ(ひ)て二科(の)「之」貢コウ舉ニに擬キセリ(身延文粹・上二四・12) (・ニクワ・コウキヨ・ギ・す・り・)

○今専ラ・秀才の生二と曰ニフ(身延文粹・上二四・12) (・もはら・いふ・)

○恐おそハ應オウ科平ノ「イ」科に應スル者モ稀ナラン「矣」(身延文粹・上二四・13) (・おそらくは・の・もの・まれなり・む・)

○望マシヤウ請セラクハ・俊一士をは永ク停廢に從ヘ・秀才の生は舊一號に復セン。(身延文粹・上二四・13) (・マウシヤウ・す・らく・は・ながく・テイバイ・したがふ・フク・す・む・)

○文章の生選ハンコトハ・天平格ニに依ニラン。(身延

文粹・上二四・14) (・えらぶ・む・こと・は・テンビヤウ・キヤク・よる・む・)

○請フに依レ(身延文粹・上二五・3) (・こふ・よる・)

(以下続)

○謹(み)て處一分を請フ。(身延文粹・上二四・14) (・こふ・)

○者ハ・寮・解|狀(返)に依(り)て申(し)|送ル「イ、申送す」。

〔付記〕

(身延文粹・上二五・1) (・ていれれば・レウ・ゲジヤウ・をくる・)

本資料集の凡例は、『広島大学日本語史研究論集』創刊号に掲

○者ハ省・解|狀(返)に依(り)て官|裁を請フ(身延文粹・上二

載したものを)参照頂きたい。

五・1) (・ていれれば・ゲジヤウ・こふ・)

本稿(二)は、広島大学・大学院文学研究科平成二十七年度開

○者ハ・正三位行中納言兼(音)左|近|衛大將春|宮大夫良|

講の博士課程前期対象の授業における成果の一部である。

峯ノ朝臣安|世・宣(す)・奉|勅。(身延文粹・上二五・2) (・

本稿(二)に続くデータ集は順次連載の予定である。

ていれれば・トウキウ・ダイブ・よしみね・の・やすよ・セン・)

編集後記

●最初にお断りを記します。本誌の編集母胎は「広島大学日本語史研究会(広島大学文学研究科)広島大学日本語史研究論集編集委員会」を名乗っています。広島大学には、先に立ち上げられた広島大学・大学院教育学研究科教授・佐々木勇先生が主催の「広島大学日本語史研究会」がありますが、本研究会は、大学院文学研究科の卒業生、在校生で組織したものです。我々の研究会活動は、本誌の編集に限られていますので、その旨お断り致します。

●『広島大学日本語史研究論集』の第2号をお届けします。ご批評下さい。

●本誌に関して、なかなか厳しい批判を戴きました。

松本の研究室に放り込まれていた署名の無いプリントされたメッセージで、同僚の発信のように思われますが、学部4年生だとあって、

「インチキ雑誌で中国人の業績を明らかに水増し居ていること」

ゆゆしき表現ですが、本誌の事を批判されたものでしょう。真実、有り難いことだと思います。自分の研究が完成した、総てに通じて完全なものだと思うような方からのご批判だと思いますが、我々はまだまだ伸び代あると言うことでしょう。『インチキ』で無くすれば良い訳で立ち止まることなく、進めとの激励だと思って居ます。この雑誌が、完全なものと言う風には思い上がってはおりません。

●査読について記しておきます。

本号から、査読は論考篇に限り実施致します。一つには、編集委員の数が少ない割にみな多忙を極める年齢です。幸せなことですが、資料篇の投稿がかなりの量あります。資料篇の投稿は、所謂、「(稿)」なるものが多くあります。正直なところを告白すれば、大量の投稿を、少ない人数で査読するのも、大変でもありますが、資料篇の資料の編集方針は、各執筆者の方針が異なっており、査読の遣り取りが何往復もします。資料の作成方法の常識のようなものに固執する投稿者もあれば、自己の編集方針が他と違って、自己の研究的価値を守ろうとする個性も有り、査読をせず掲載することに踏み切ります。所謂、資料篇は、投稿者の責任において完成を目指したものであると位置づけます。然るべく、正誤表などは、本誌に掲載したく思います。

●編集委員および編集庶務は、以下の通りです。

[編集委員会]

○磯貝 淳一(新潟大学) ○岡野 幸男(鳥取短期大学) ○土居 裕美子(鳥取看護大学)

○橋村 勝明(広島文教女子大学) ○松本 光隆(広島大学) 〈五十音順〉

[編集庶務]

○王 暄(広島大学文学研究科院生)

[文責・Zen MA]

誌名 広島大学日本語史研究論集

ISSN 2189-2849

刊号 第二号

発行 2016年3月31日

発行者 広島大学日本語史研究会(広島大学文学研究科)
広島大学日本語史研究論集編集委員会

〒739-8522 広島県東広島市鏡山 1-2-3
広島大学・大学院文学研究科

日本文学語学研究室内

TEL・FAX 082-424-6669

e-mail: mmatumo@hiroshima-u.ac.jp